産調資料(40)

康徳三年度

縣技士見習生
農村實態調査報告書

(奉天省鐵嶺縣)

國務院實業部臨時産業調査局

康德三年度

縣技士見習生

農村實態調査報告書

(奉天省鐵嶺縣)

國務院實業部臨時產業調査局

緒　　言

滿洲國建國の基礎愈々鞏固となり、邦國產業經濟の建設に當りつゝあるの際、產業經濟萬般の事情に亘り迅速に基礎的調査を實行し、適正妥當なる政策の決定並に之が遂行に必要なる諸材料を提供するは、本局の目的とする所なり。

仍て本局調査部第一科第一班に於ては、康德元年度以降繼續して農村實態調査を全滿各縣に於て施行し來り、農村に於ける社會經濟的諸關係の基礎的事項を闡明し、以て土地制度、小作關係、農業勞働關係に對する諸對策、農業經營、農業金融、物資配給方法の改善、農民負擔の合理化等農業諸政策樹立の資を提供せり。

本局に於ける農村實態調査の經過を觀るに以下の如し。

康德元年度に於ては、先づ北滿穀倉地帶中下記一六縣を選び一七部落に亘りて實地調査を施行せり。

濱江省—海倫、望奎、綏化、慶城、呼蘭、巴彥、青岡、蘭西、安達、肇州

龍江省—富裕、訥河、拜泉、明水、克山、龍鎮

引續き康德三年度に於ては、全滿に亘り調査を行ふの趣旨に基き、主として南滿に力を注ぎ、下記二一縣を選び二一部落に亘りて實地調査を施行せり。

黑河省—瑷琿

龍江省—洮南

三江省—樺川、富錦

吉林省—敦化、磐石、楡樹

間島省—延吉

安東省—莊河、鳳城

奉天省—遼陽、遼中、蓋平、新民、梨樹、西豐、海龍

錦州省—黑山、盤山

熱河省—豐寗、寗城

更に康德三年度に於て、實業部農林技術員養成所縣技士見習生をして、中南滿中下記四縣を選び四部落に付調査を施行せしめたり。

奉天省—鐵嶺、法庫

吉林省—伊通、德惠

而して實地調査に當りては、各縣より原則として耕種農業を主産業となす一部落を選定し、當該部落に就て「戸別調査」及び「一般調査」をなし縣域又は關係市場等に於ける補助的調査を併せ施行せり。「戸別調査」に於ては、部落全戸に亘り各戸別に農家經濟の態様を聽取し、「一般調査」に於ては、全部落又は當該地方の自然的、社會的、歷史的諸條件並に各戸の相互關係を調査せり。之等調査と近隣部落の概況調査其他を綜合して村落社會の機構を訊し、更に進んで地方的事情を察知するに資せしめんとせり。

本報告書は、康德三年一一月三日より約一ケ月間に亘り實業部農林技術員養成所縣技士見習生の調査せるものにして、之が調査に當りては本局直接之が指導に當り、各調査班に指導員を置けり。

然れ共調査員たる縣技士見習生は一二月末より縣技士として赴任することゝなり、其間約一ケ月の報告取纏め期間あるに過ぎず、且調査技術上の理由に因り本局にて從前施行し來りたる農村實態調査と多少異る所あり、之が異なれる諸點を擧ぐれば次の如し。

一　調査方法　「戸別調査」に重點を置き「一般調査」及び縣域又は關係市場等に於ける調査は概要に止めたり。

又調査結果取纏めの期間充分ならざる爲、戸別調査結果の集計を現地に於て實施することゝせり。

二　報告書の様式　各縣別に「一般調査」及び「戸別調査」を取纏め一縣一冊とせり。仍て本報告書は、鐵嶺、法庫、伊通、德惠の四冊より成る。

三　調査員　本調査は實業部農林技術員養成所縣技士見習生を四班に分ち、各班に本局より班長一名外二名計三名の指導員を加へたり。

調査員の氏名次の如し。

班	氏名	班	氏名
鐵嶺班	西康世	法庫班	川俣浩
	今野善雄	（法庫縣第二區五臺子村園山子屯）	廣瀨外三郎
	藤岡磯次郎		久米兼友
	檜木恒秋		佐々木直
	工藤德之助		馬場[illegible]彦
	矢野明治		三島不可止
	前田伴次郎		香田大吉
	小比類卷正		李木正德
			池田[illegible]之

德惠班	小菅義博
	青島喜佐時
	四方茂
	宇都宮啓輔
	宇賀神正二
	山部義秋
	豐田勤三
	笠原藤郎
	小島太司

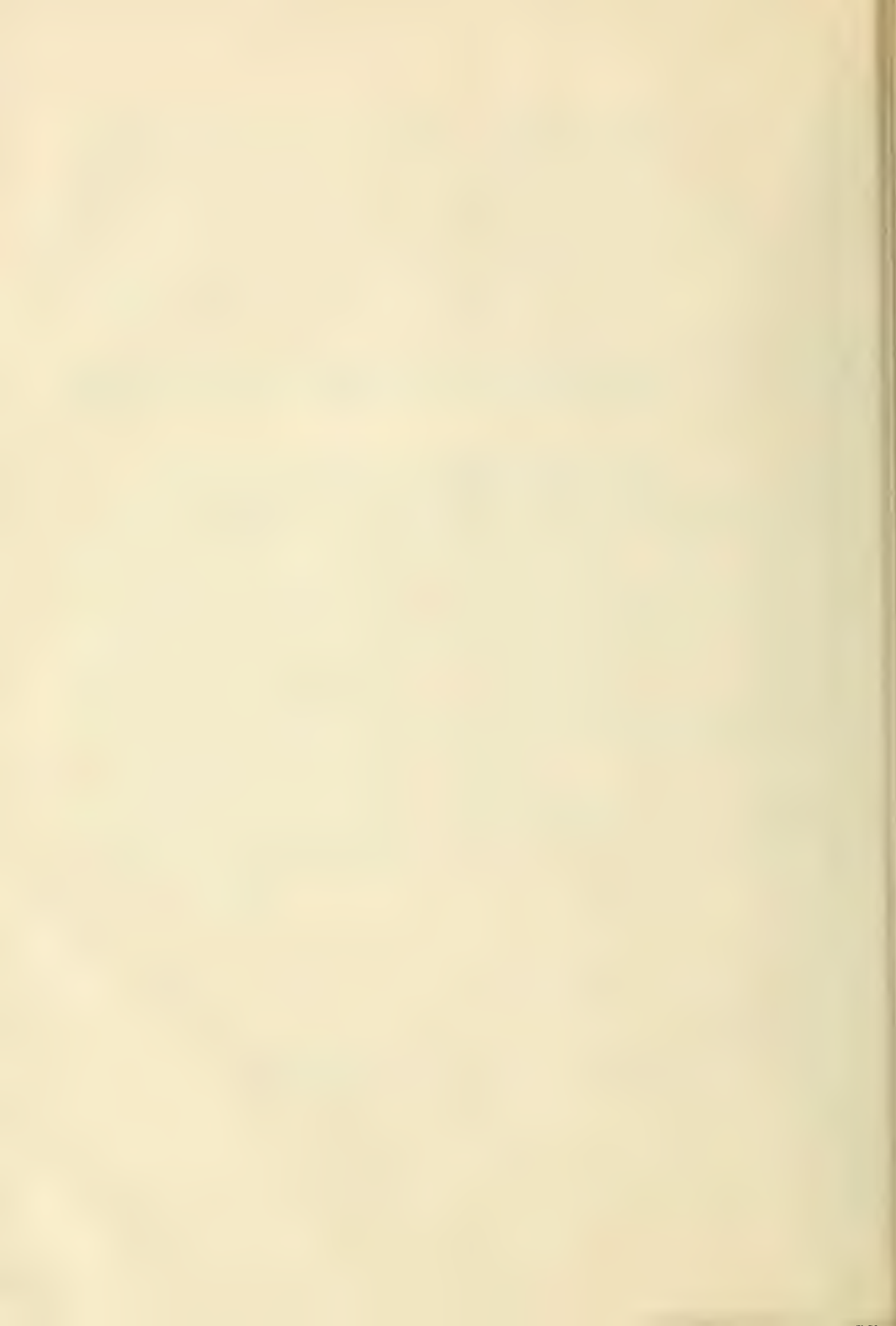
伊通班	福田泰助
	山片重光
	澁谷櫻太郎
	増田要明
	黒澤政信
	島田與平
	黒崎篤一
	土井義明
	伊藤喜代郎
	中村正夫

終りに本調査に對し諸種の援助と高配を賜はりたる關係各機關並に官民に對し深甚なる謝意を表す。

鐵嶺班調査擔當項目及び氏名

項目	氏名
鮮人集團部落、土地關係、開拓史	工藤德之助
村勢一般、小作關係	前田作次郎
縣勢一般、村勢一般、農家經營	西康世
市場關係、交通、度量衡	小北類巻正
農業金融、農村自治及び社會生活、通貨	藤岡磯次郎
農耕生産、耕種概要	今野善雄
畜産關係	橋本恒秋
農村自治及び社會生活、租税公課	矢野明治

康德四年三月

國務院實業部臨時産業調査局

凡　　　　例

1. 本報告書は之を記述、戸別調査集計表、選擇戸別調査、四隣屯其の他の四部に分つた。
2. 調査年度は調査の便宜上農民の慣習に從ひ陰暦をとり、陰暦康徳二年十二月末日現在の状況及び陰暦康徳二年一月一日より十二月末日迄の間に生起した事實に付調査した。但し或る事項に付ては康徳三年をも調査した。
3. 地積は當該地方に於て使用するものを其の儘用ひ、別に其の換算率を示し、度量衡は總て滿洲國新度量衡に據つた。
   滿洲國新度量衡は終に掲げた。
4. 縣略圖は縣内に於て占める調査屯の位置と交通關係を鳥瞰すれば足りるとし、敢て嚴密な正確さを求めなかつた。
5. 糧石公定價格圖表は、當該調査屯を管轄する税捐局が糧石課税標準として公定した價格を圖表化したもので、戸別調査表の集計に際して糧石税捐の算出と現物評價との基準價格とした。本圖表の穀物は、黄豆（大豆）、高粱、穀子（粟）、包米（玉蜀黍）其の他調査屯に於て重要な穀物を選擇せるもので、年度は税捐局發表が陽暦なる爲其の儘陽暦を用ひた。
6. 記述編は縣の一般事情と調査屯事情に大別したが、記述の關係上已むを得ず縣の説明を屯の部分で行ひ又其の反對に屯の説明を縣の部分で行つたものも一部分ある。
7. 選擇戸別調査は調査屯戸別調査表中より標準たるべき農家約四戸を選んだもので、各戸の内容を一貫して觀るに便じた。
8. 四隣屯其の他は調査屯の四隣及び同一縣内に於て調査屯とは地域的に或は經濟的に異れる條件の下にある屯の概要を示したもので、調査屯に於ける諸現象の特殊性並に普遍性を見るに資した。
9. 戸別調査集計表は十六表より成つて居るが、以下集計表を見る上の注意を順を追つて記述する。

第一　農家概況表

本表は第二表以下の各表より抽出して農家の規模及び性格を示した。

「農家番號」―調査年度たる陰暦康徳二年度末現在の農家戸數を表はすべきであるが、調査時期が陽暦康徳三年十一月なる爲其の間に於ける離屯者については調査不能となり、集計表より除外するの止むなきに至つたものがある。從つて集計表に記載せる農家戸數は、陰暦康徳二年末現在の實數よりは少い場合がある。

「經營様式」――各農家が現實に農耕に關與する仕方に從つて、基本形態を地主、自作、小作、雇農の四となし、之を組合せて次の十五の經營様式とした。農耕に關與しないものは一括して雜業者の名稱を與へた。

1. 地主　2. 地主兼自作　3. 地主兼自作兼小作　4. 地主兼小作　5. 地主兼自作兼小作兼雇農　6. 地主兼自作兼雇農　7. 地主兼小作兼雇農　8. 地主兼雇農　9. 自作　10. 自作兼小作　11. 自作兼小作兼雇農　12. 自作兼雇農　13. 小作　14. 小作兼雇農　15. 雇農　16. 雜業者

尚此の場合に於ける組合せ方は、次の規準によつて一應整理した。

(1)「地主」、「自作」――1畝以下の菜園を貸付或は自作する場合と雖も、地主或は自作の範疇に入れない。

(2)「小作」――小作面積が小であつても該農家にとり重要性を持つ場合には、1畝以下の小作を爲す者も小作とした。

(3)「雇農」――戸主が雇農なる場合は勿論、其の家族員が年工、月工、日工等の名で他家の農業經營に雇傭せらるる場合に於ても、其の勞賃が該農家の經濟上重要なる意義を持つ様な農家には雇農なる名稱を與へた

「家族」―「全數」欄には他出して居るものでも、經濟的に一世帶を爲す者は之を含み雇傭人員は之を含まない。

「勞働員數」とは家族員で農業勞働に常時從事して居る員數の意。

「實質的所有熟地面積」――第七土地關係表說明參照。

「役畜」――成畜のみを採錄した。第九飼養家畜表說明參照。

「牛具」――傭はれて居る場合は「貸」、雇つて居る場合は「雇」とした。

「副業」――便宜上農業の傍ら金錢收入を目的として行ふ農業に關係ある生產業のみを記入した、

「他業」――農業、副業以外の金錢收入を目的として、或は報酬として金錢收入の伴ふ業務を一括して此の欄に含めた。

第二　農家略歷表

本表は渡滿後の移動、家業の變遷を通じて農家の浮沈狀況を示した。

「同族關係」―屯內の同族關係を示す爲め符號を附した。同族とは分家關係で連がる親戚の意.

「出身地」―現戶主の出身地と謂ふ意味ではなく、當該農家の發祥地と謂ふ意味である、

「前身」――現戶主の前身ではなく、先祖の身分と謂ふ意味である。

「渡滿後の移動並に家業の變遷」欄中「a」「b」「c」「d」たる符號の意は次の通りである、

「a」――渡滿後の移住地。括弧內は該地居住年數。

「b」――移住の年代、年代の數字は必ずしも其の年を指すのではなく、其の頃と謂ふ意の場合が多い、

「c」――當時の所有地面積(出典地を含み、入典地を除く)、括弧內は耕作地面積(自作地+借入地)、

「d」――經　營　様　式

「1. 2. 3. ‥‥」欄は農家の住居の移動又は家業の變遷の順序を示す。

第三　家族構成表

本表は一世帶に含まれる家族と雇傭年工の性別年齡別人員を示した。

「家族計」――調査年度末同居してゐた家族以外に、出稼、仕官、遊學等の爲め不在なるも、送金、仕送り等により家計と密接な關係を有する者は含む。

「年齡」――數へ年に依り十二階段に分ち該當員數を記入した。

「修學中」――私塾、書房、小學、中學堂其の他を問はず、現に敎育を受けつつある家族員數、

「識字」――一般的に文字を解する家族員數。

「文盲」――全く文字を解しない者及び一般的に識字能力を有せざる家族員數、但し原則として七歲以下の者

を除いた。

家族員の勞働を「自家勞働」と「被傭勞働」とに分ち其の勞働能力については夫々調査屯に於ける呼稱を其の儘採用した。

「從屬者」——老人、病者、癈疾者、幼少者、學生等の如く「自家勞働」及び「被傭勞働」に何等關係なき家族員、即ち被扶養者の意、但し不具疾病者と雖、勞働に從事する者は之に含まない。

「年工」——調査年度中農業勞働に雇傭した年工。

第四　被傭勞働表

本表は家族員の勞力が他家の農業經營其の他に關與せる形式、程度及び之に對する勞賃等を示した。

「耕作地」——自作地＋借入地

「勞賃計」——全勞賃の總和

「年工」「月工」「日工」欄は、何れも農業勞働に傭はれた者のみを擧げた。

「其他被傭」——農業勞働以外の報酬を得て爲す勞働一切を含む。

第五　雇傭勞働表

本表は自己の農業經營及び其の他の業務につき、勞力を他家より雇傭せる諸關係を示した。第四被傭勞働表とは表裏の關係にある。

從つて「勞賃計」「年工」「月工」「日工」「雇牛具」「換工」「揷具」「其他雇傭」の扱ひは第四被傭勞働表と同樣である。

第六　勞働關係表

本表は農業其の他の勞働者（年工、月工、日工）各個につき勞働の種類及び條件其の他諸關係を示した。

「年齢」——夫々年工、月工の年齢を示す。

「勞務種類」——調査地方に於ける呼稱を其の儘採用した。

第七　土地關係表

本表は主として所有、押、典、貸借關係の下にある土地の種類、面積及び其の利用狀況を示した。

土地の種類は農民の慣行に依る地目に從つた。例へば宅地利用として作付してゐる面積も宅地として扱つた

土地の面積は實面積又は之に近い面積を表はし、地券面積とは必ずしも一致しない。第十一公租公課表說明參照。

「實質的所有熟地面積」——農家が實際に自作貸付に依り收益を爲してゐる熟地面積を示し、從つて出典面積を除き、入典面積を含んでゐる。

「貸付地」——貸付小作地の附加物及び建物附加物たる菜園、普通畑を含む。

「借入地」——借入小作の附加物及び建物附加物たる菜園、普通畑を含む。

共有地に付いては、屯の代表農家に共有地全面積を一括記入し、「備考」欄に共有農家を附記した。尙代表農家以外の共有農家に付いては、共有地全面積を括弧の上記入した。代表農家不明なる場合は、共有農家に夫

々全面積を括弧の上記入し、

「備考」欄に共有農家を記載した。共同使用地についても同様に扱つた。

第八　建物大農具表

本表は建築物並に大農具につき示した。

「住居房子數」——住居に供せらるゝ家屋の間數の意。

「家族種類」——家屋の建築樣式を示す。

「農舍房子數」欄及び「畜舍」欄の「所有」には便宜上入典を含み出典を除いた。農具の共有、共用については第七土地關係表の共有と同樣に扱つた。

第九　飼養家畜表

本表は役畜及び農家經濟上重要なる用畜の年度末保有數並に年度内に於ける增減等を示した。

成仔の標準は牛は滿二年未滿、馬・騾・驢は滿三年未滿、豚・緬羊・山羊は滿一年未滿を以て仔とした。

「貸付」（寄託）欄及び「借入」（受託）欄には長期に亙るもののみを採錄した。家畜の共有、共用に付いては第七土地關係表の共有と同樣に扱つた。

第十　小作關係表

本表は小作關係として比較的表示し易い部分に付いてのみ示した。

「地主」——括弧內は又小作の中間地主を示す。

「證書及保證人の有無」——(書)は證書あり、(人)は保證人ありの意。

「小作地」——小作附加地を含まざる小作面積。

「小作地附加物」——小作地以外に地主が小作人に無償で貸與又は給與するもの。

「小作料附加物」——主たる小作料(糧石、現銀)以外に小作人が地主に納付するもの。

「繼續年數」——當該小作關係が實際に繼續した年數。

共同小作については第七土地關係表の共有と同樣に扱つた。

第十一　公租公課表

本表は課稅物件、課稅額並に納付狀況を示すと共にその分擔關係をも示した。

公租公課の納付額は、調査年度中に納入されたものに付いてのみ記入した、從つて年度欄に「大元」とあるは、調査年度中に納付した稅額の中大同元年度分を示す。

本表（其一）田賦の項につき。

「所有面積」——第七土地關係表（其一）の「所有地」欄の「總計」と同一のもの。

「地券面積」——地券面上の所有面積にして實際の所有面積とは一致しないことが多い、調査屯に於て土地所有者に夫々より地券の提示が困難であつた爲已を得ず地券面積は屯民の言ふ所に從つた。また登記なき爲地券面では一人の名義たるも實際には數人に分割所有せられてゐる場合がある、分家について特に多い、斯かる場合には「地券面」「課稅面積」「應納額」「納付稅額」の記入は地券保管農家に一括記入し保管せざる

農家の該當欄には括弧の上記入した。此の場合に於ける租稅負擔分の授受は便宜上夫々「地主への支拂額」「小作人よりの受入額」欄に括弧の上記入した。

「課稅面積」——地券面積を基準として、その全面積或は何割かになつて居り、地方に依つて一樣ではない。本欄「差引計」は自己名義課稅面積の計を示した。本欄「所有地」は入、出典地を含まざる純所有地、「出典地」「入典地」は典契の手續を經たるものを表はし、括弧内の數字は未だ手續を經ざる面積を示す。

「應納額」——「課稅面積」に對する課稅額。

「納付稅額」——調査年度中に納付したる額。

「罰款」——納期を經過せる爲徵收せられた罰金

「入典者よりの受入額」——土地を出典せる場合未だ稅契手續を爲さざる爲め、該土地に對する稅負擔を入典者より受入れたる額、或は入典者が出典者に代つて直接納稅せる額を示す。

「出典者へ支拂額」——前項と逆の關係である。

「小作人よりの受入額」「地主への支拂額」——地主及小作人との間に於ける租稅の負擔關係を表はす。但し括弧内に付いては前記「地券面積」欄說明參照。

「差引」——該農家の實際に負擔せる額を示す。

第十二　作物別播種面積並收量表

本表は農作物の種類、播種面積、收量及び作付の變遷を示した。

「播種面積」——宅地利用作付地を含み二毛作面積についてはその延面積とした。

「收量半減以下面積」欄中の括弧内は收穫皆無面積を示す。

第十三　農産物賣却表

本表は農産物及び副産物につき賣却量、時期、賣却方法、販賣費、手數料、稅捐等を示した。

「自己支出」——車馬借入費又は運搬費、飲食費、宿泊費、警備費等販賣に要したる經費の中「手數料」、「稅捐」以外の費用を指す。

「手數料」——糧棧或は車店等に於て農産物販賣代金受取の際、その中より直接差引かれた手數料を示す。

第十四　生活費現金支出表

本表は農家の生活費の中現金支出（未拂を含む）を示した。

本項調査に於ては調査の便宜上、生活費現金支出の全部を調査せる農家と、豫め重要費目を指定して、それのみを調査した農家とがある。從て集計も二種に分れてゐる。

「住居費」——家賃を含む。

「年紙」——年末に正月用として購入する祭祀用品。農民の年紙と稱するものゝ中には單に祭祀用品のみならず正月を迎ふる準備として購入する食料品其他を含むも、茲には單に祭祀用品のみとする。但し農民の記憶不明のため、已むを得ず一括したものもある。

凡

例

第十五　貸借關係表

本表は農家の貸借關係を示した。

貸借は貨幣及び現物の兩者につき（一）調査年度以前に借入（貸付）をなし調査年度末に於て未濟（未回收）のもの（二）調査年度以前に借入（貸付）をなし、調査年度内に返濟（回收）せるもの（三）調査年度中に借入（貸付）をなし同年度内に返濟（回收）せるもの（四）調査年度中に借入（貸付）をなし年度末に於て未濟未回收のものにつき總て調査した。

尚茲には現實に行はれた貸借の外、調査年度以前に於ける掛買、掛賣及び小作料其の他の未收、未拂についても貸借關係として取扱つた。

國幣以外の貨幣に依る貸借は總て國幣に換算し、現物貸借の評價は次の基準に依つた。

糧石は糧棧局發表に係る公定價格の平均價により評價した。但し公定價格表に記載なきものは零賣物價表に依つた。

各縣の評價基準は次の如くした。

小麥は七月乃至十二月の平均價

小麥以外の糧石は九月乃至十二月の平均價

第十六　現金收支表

本表は農家の現金收支（未拂、未收を含む）を示した。

各項目に付三段に分ち中段は實際に授受せられたる現金を表はし下段は未收又は未拂を示し上段はその合計である。

新制度量衡對照表

一 尺度

名稱	命位	メートル法	日本國尺貫法
尺	—	0.32メートル	1.056尺
弓	5尺	1.60メートル	5.280尺
里	360弓 1,800尺	576.00メートル	1,900.800尺 5町16間4尺8寸

二 量

名稱	命位	メートル法	日本國尺貫法	露西亞
撮	千分之一升	1竓	0.055435勺	0.00813チアルカ(査耳喀)
勺	百分之一升	10竓	0.55435勺	0.0813チアルカ(査耳喀)
合	十分之一升	1竕	0.55435合	0.81303チアルカ(査耳喀)
升	—	1立	0.55435升	0.81303クルーミユカ(庫路西歐喀)
斗	10升	10立	0.55435斗	0.81303ヴエドロ(維得羅)
石	100升	100立	0.55435石	2.71008アンカー(客格)

三 衡

名稱	命位	メートル法	日本國尺貫法	露西亞
絲	百萬分之一斤	0.5瓱	0.13333毛	0.01125ドラ(多拉)
毫	十萬分之一斤	5.0瓱	1.3333毛	0.11252ドラ(多拉)
釐	一萬分之一斤	0.05瓦	1.3333厘	1.12523ドラ(多拉)
分	千分之一升	0.5瓦	1.3333分	1.2523ドラ(多拉)
錢	百分之一斤	5.0瓦	1.3333匁	1.17121ゾロトニツク(索羅他尼克)
兩	十分之一斤	50.0瓦	13.3333匁	1.46516ラナ(拉那)
斤	—	0.5瓩	133.3333匁	1.22097フント(分特)
擔	100斤	50.0瓩	1.3333貫	3.05241プート(普得)

鐵嶺縣農村實態調査報告書 目次

調査地域全圖

鐵嶺縣略圖

開原縣
法庫縣
瀋陽縣
撫順縣
清原縣
第一區
第二區
第三區
第四區
第五區
第六區
第七區
第八區
凡例
河川
山岳
鉄道
縣道
国道
區界
縣界
附屯
主要村
調査屯
縣城

鐵嶺縣度量衡・地積表

1 度量衡

A 度

種類	單位(舊尺)	滿洲國(新制度量衡)	日本尺
屯ノ木尺	1 尺	0.954 尺	1.05 尺
屯ノ裁尺	1 尺	1.067 尺	1.17 尺

B 量

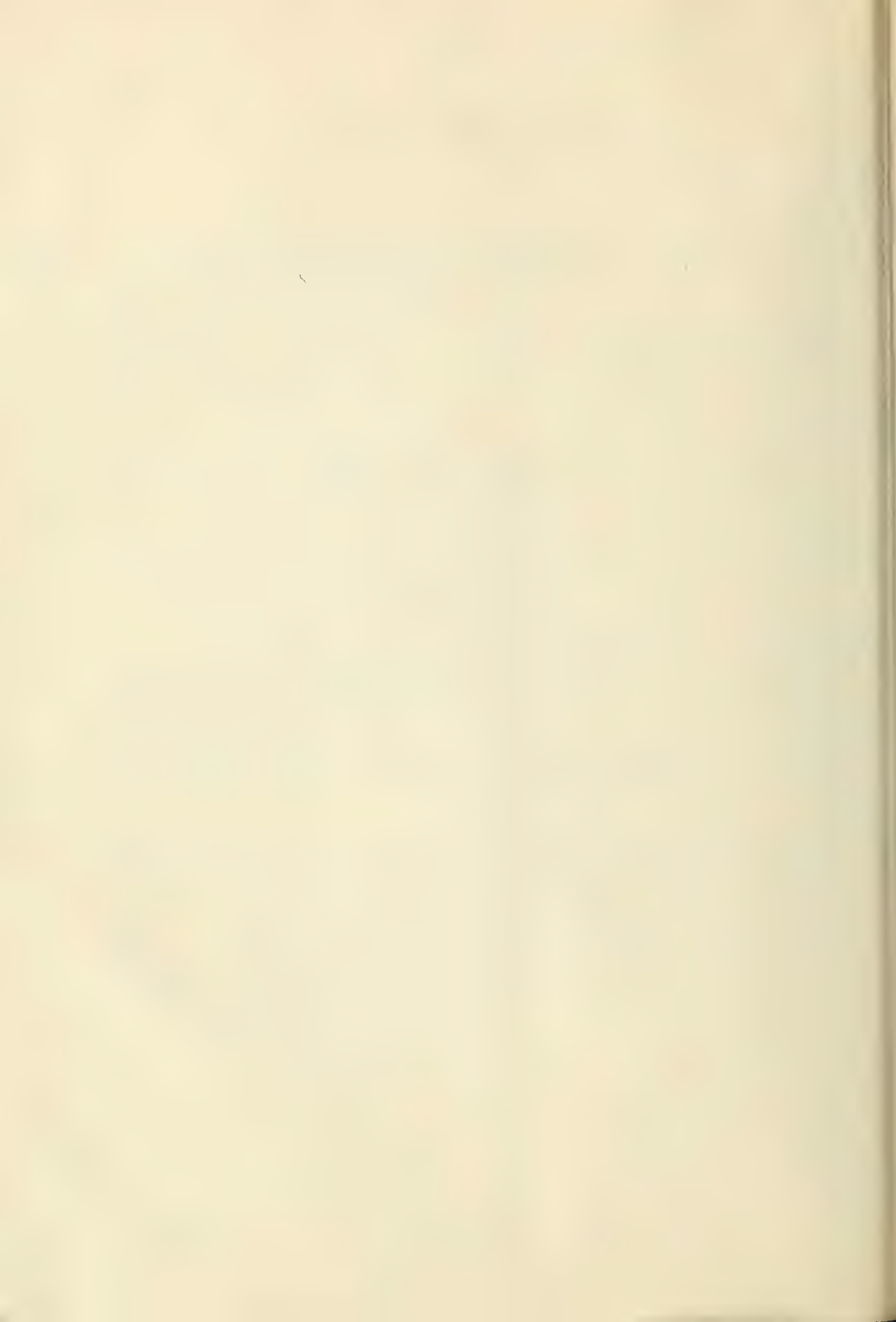
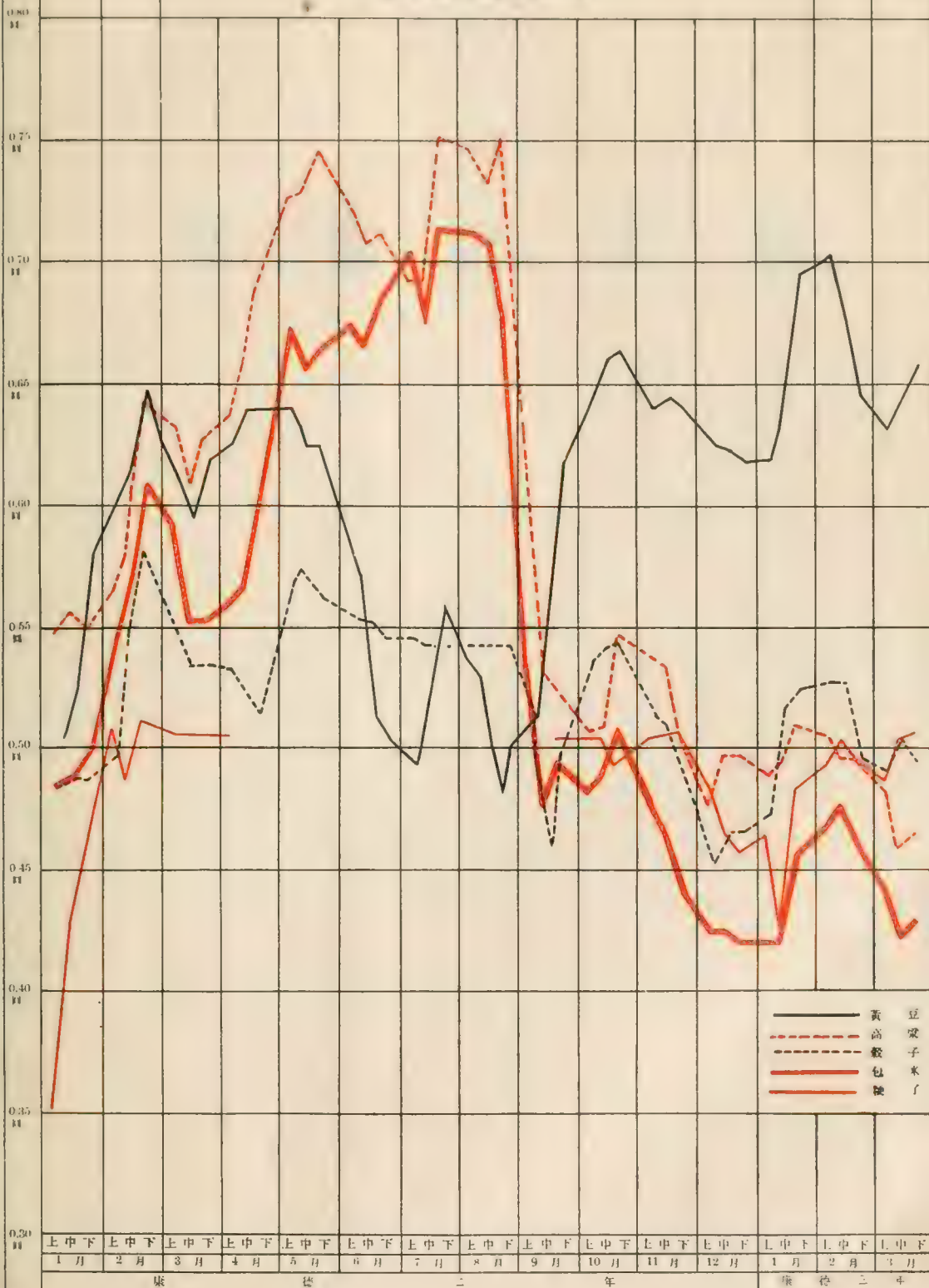
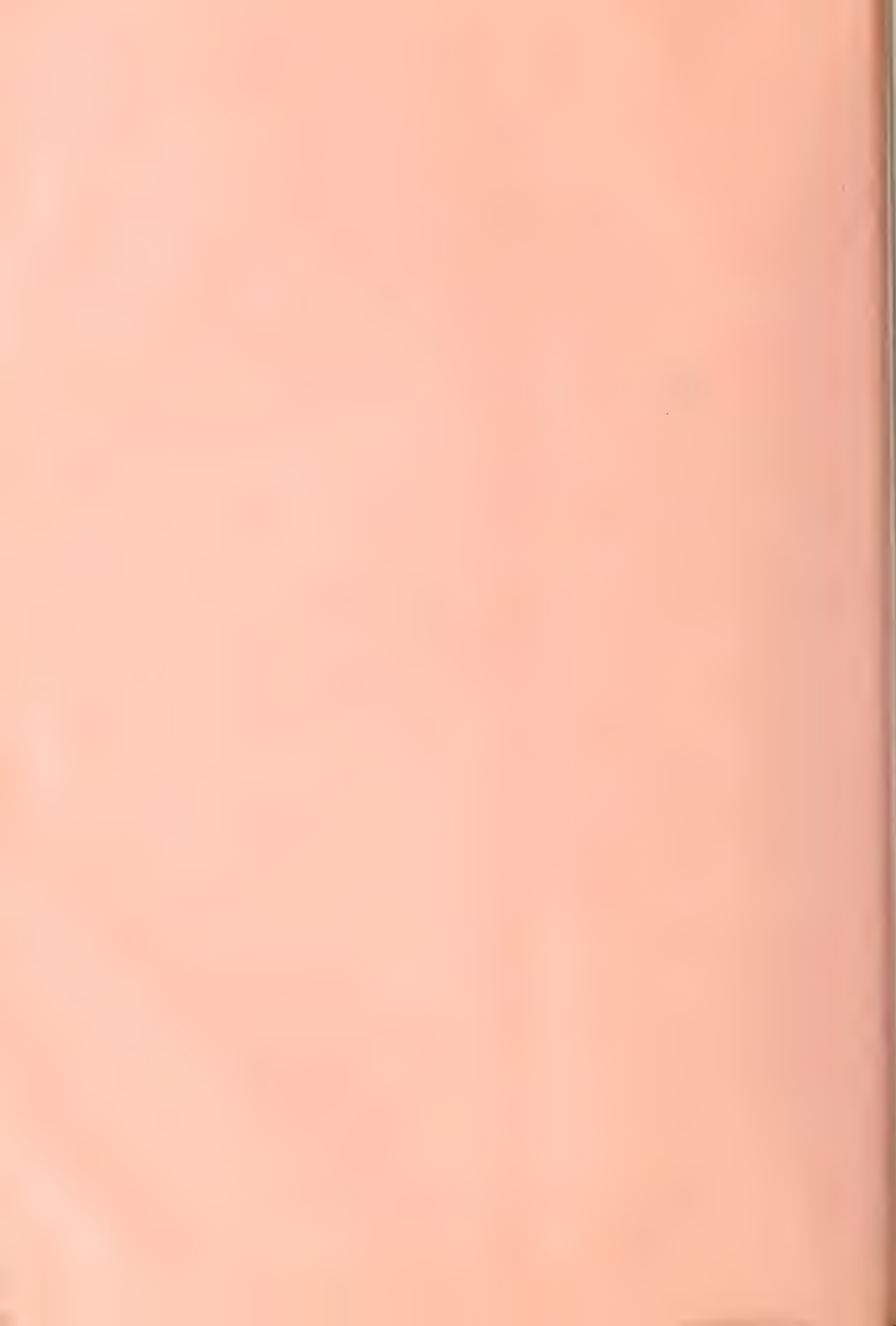
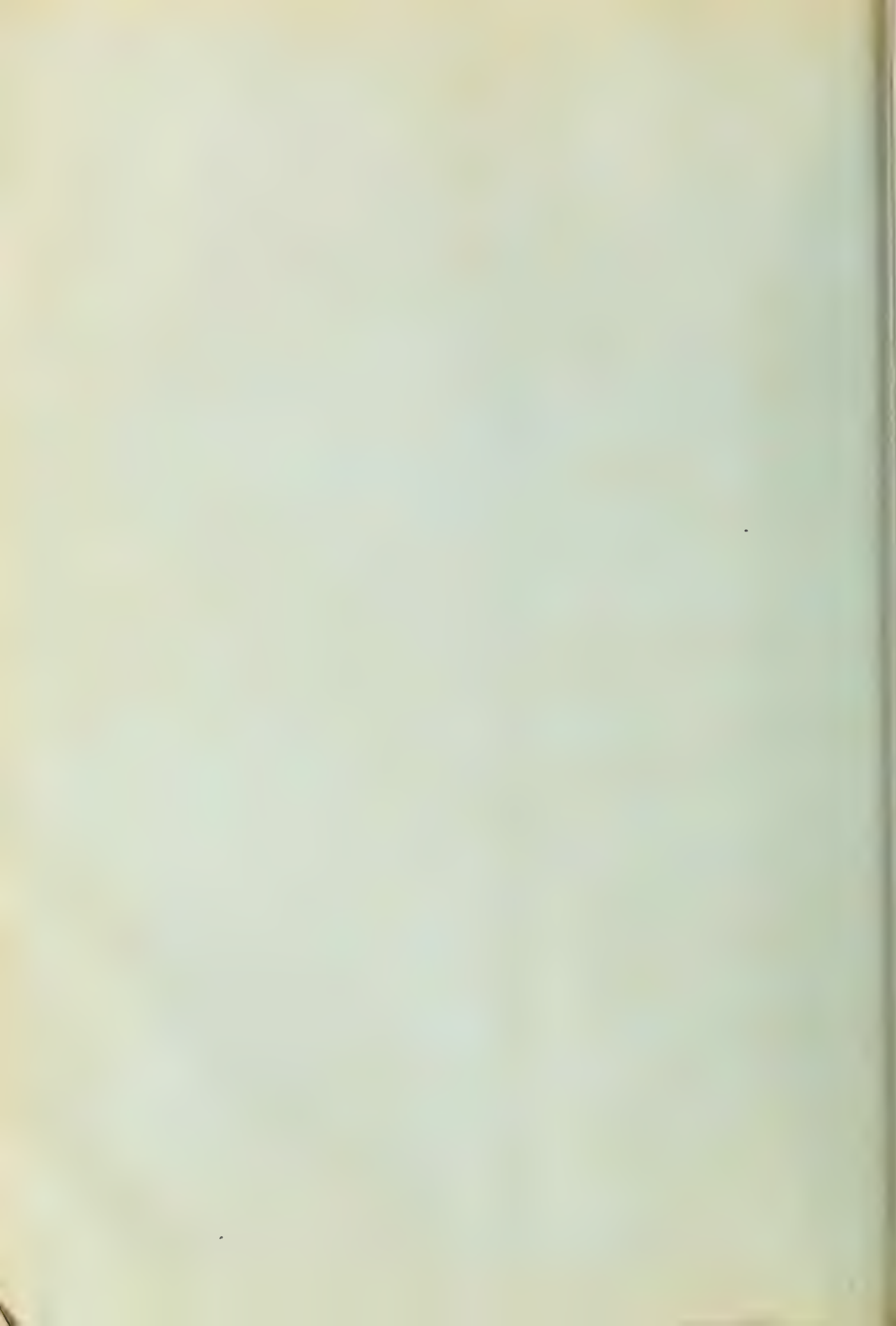
種類	單位(舊斗)	滿洲國(新制度量衡)	日本斗
屯ノ枡	1 斗	2.70 斗	1.49 斗
縣ノ枡	1 斗	2.37 斗	1.31 斗

C 衡

種類	單位(舊斤)	滿洲國(新制度量衡)	日本斤
屯ノ秤	1 斤	1.23 斤	0.9223 斤
縣ノ秤	1 斤	1.02 斤	0.8500 斤

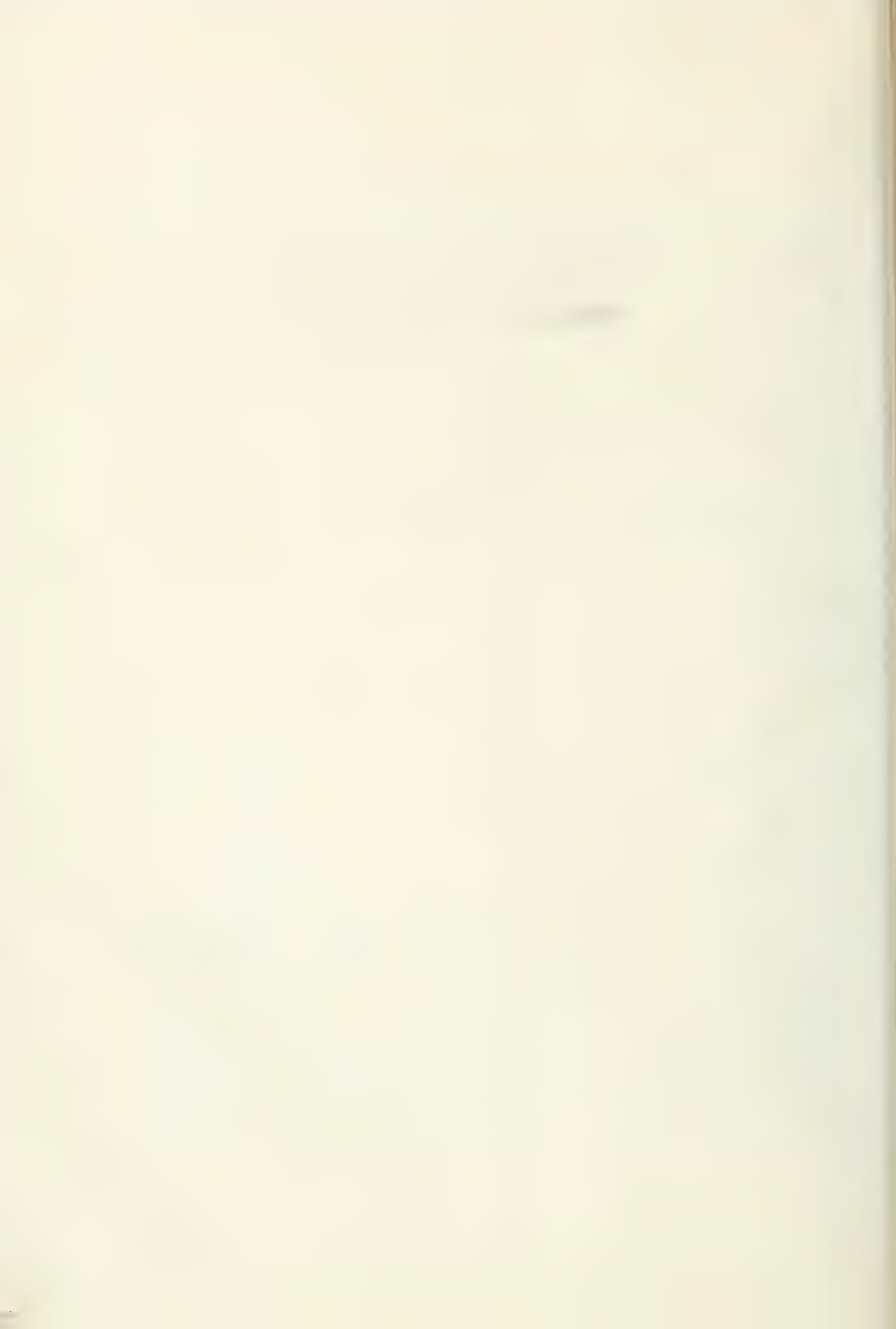
2 地積

單位	地積	日本	單位	地積	日本
1 弓	木尺 5尺平方	5.25 平方尺	1 天地	10 畝	6 段 2 歩
1 畝	240 弓	6 畝	1 方	45 天地	

鐵嶺縣粮穀價格表
(滿洲國新制度量衡石建)
0.80 円
0.75 円
0.70 円
0.65 円
0.60 円
0.55 円
0.50 円
0.45 円
0.40 円
0.35 円
0.30 円
黄豆
高粱
穀子
包米
稗子
上 中 下
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
康德二年
1月 2月 3月
康德三年

第一部　記　述　編

第一編 縣 勢 一 般

鐵嶺縣城ノ全望、龍首山頂上ヨリ望ム

鐵嶺縣城内大通リ露店商ノ賑ヒ

鐵嶺縣農村實態調査報告書

第一部 記 述 編

第一編 縣 勢 一 般

第一章 縣の沿革及び現狀

第一節 自 然 的 條 件

一 位 置

本縣の位置は北緯 42 度 25 分、東經 123 度 35 分で、奉天省の西北部に當り、南は新台子驛を過ぎて瀋陽縣に接し、北は山頭堡驛を越えて開原縣に連つてゐる。滿鐵本線を中軸として縣域東方約132 粁のところ、500 米を摩する壘々たる山系を以て清原撫順縣と境を接し、西方遼河沿岸廣漠とした沃地を隔てゝ法庫縣に連つてゐる。

二 地 勢

山系は多く東部及び北部に發達し、汎河及び柴河の南北兩岸に沿つて山陵起伏し、之等は多く東西に走り、鐵嶺縣城に迫れるものは龍首山となつてゐる。

遼河以西は平原が甚だ多く、一望百里沃野限り無く續いており、間に山巒があるが、然し餘り高い山はない、河川は先づ遼河があつて北から縣内に流れ込んで、山岳地帶の西端に沿つて蜒々として貫流し、西南から出ていつてゐる。之に加ふるに汎河と柴河は略竝行して縣境内の山間地帶を縫ひ、西流して何れも遼河に注いでゐる。汎河は柴河よりも長く、南の方を流れており、この三河は何れも軍事、商業、交通上重要なる意義を有する。

三 地質及び土性

東部に發達してゐる山地は太古系で、北部のものは中生層に屬してゐるけれども、之等の山系は概して傾斜甚だしく農耕地の價値尠いものであるが、20 度以上の斜面をも耕作してゐる。殊に、中生層には割合に傾斜緩かな所があるので、耕地は比較的多い。

又汎河は太古系山脈より出で、狹少な沖積層を形成しながら本流たる遼河に注ぐ、遼河は太古層と中生層の間にあつて流れ、支流に比べて、大きな沖積層が形成せられてゐる。沖積層の地勢は大體平坦であるが、

所々に小形の風砂丘がある。中生層たる徳西貝河、三理子、吊龍灣、木廣方面には各所に昔の河床であつた沼地や窪地が出來てゐる。

(イ) 土　　質

鐵道沿線は壤土で、アルカリ性を含む重粘な排水不良土であり、燐酸加里の含有量が多い。遼河沿岸は沖積層であるが、壤土及砂土である。

東部及び北部は壤質砂土及礫質壤砂土が多い。

本縣内を通じて遼河沿岸及び山岳地帶の一部を除いては、農耕上概して良好である。

(ロ) 表土の深さ

東部及び北部地帶は一般に淺く 20~25 粍であり、西南地帶は 25~30 粍であるが、遼河沿岸は沖積層砂土である爲、20~35 粍の深さである。

(ロ) 表 土 の 色

本縣内は黑土の箇所はなく、總て黃色土である。

四 氣　　象

康德2年度鐵嶺縣氣象概況　　　滿鐵農務課調

	時期	期間	備考
初霜	9月 13日	133日 (無霜)	
終霜	5月 2日		
初雪	11月 3日		雪の深度　最深3寸
降雹	6月 8日		
結氷期	11月 24日頃		
解氷期	3月 25日		
地下凍結初			
地下凍結終	12月 10日		
地下凍結深度	1 m、37~60		
卓越風	西南風(軟又は和風) 4~5 月にかけて强い、北風は 11 月に多い。		
地下水			

區別	地名	井戸深	水深	水面高
		m	m	m
1	黑油房	4.0	1.0	3.0
2	張家樓子	3.5	1.5	2.0
3	遼海屯	7.9	6.0	1.9
4	懿路	12.0	6.0	6.0
〃	范家屯	9.5	6.5	3.0
5	諸民屯	10.7	4.5	6.2
6	養馬堡	8.8	4.5	4.3
7	夏家樓	6.0	3.8	2.2
8	阿吉堡子	8.0	2.8	5.2

雨　　期　　7月10日から 8月10日頃迄

播種期の雨量　　極く少なかつた。2年 4月には 7・2 粍(2・8 粍少) 5 月は 24・3 粍 (41・2 粍少) 然し全體としては餘り少くない。平年の 717・8 粍に比し、其の差は僅かである。

康徳3年度(昭和2年度)鐵嶺氣象　　　　滿鐵苗圃觀測

月別	午前10時氣温	最高	最低	最低地温	地中温度 0.1	地中温度 0.2	地中温度 0.3	水蒸氣張力	濕度	降水量	日照時數	晴日	曇日	雨日	蒸發量
1	90.21	95.67	82.76	79.21	91.59	93.21	94.63	2.1	87.6	5.5	—	—	—	—	42.8
2	91.74	273	88.40	85.04	87.33	95.39	96.07	3.2	77.4	0	202.90	21	7	—	88.7
3	4.43	8.61	94.15	91.02	0.14	0.13	99.91	4.0	63.4	4.5	254.00	23	8	2	156.0
4	12.84	17.30	1.66	98.19	6.24	5.31	4.85 (—4)	6.2	55.7	7.2	268.70	19	11	3	292.[illegible]
5	19.49	24.05	7.80	3.87	14.09	13.32	13.30	10.0	58.9	24.3	263.50	16	15	8	322.2
6	22.21	25.58	14.86	12.00	19.95	18.93	18.83	15.4	77.8	125.2	165.15	11	19	7	143.2
7	25.81	28.94	19.88	17.33	24.73	23.81	23.59	20.3	82.4	118.6	145.20	11	20	16	126.2
8	26.10	29.45	18.13	15.45	21.56	24.30	24.55	19.2	75.7	76.1	76.10	23	8	5	151.0
9	21.28	25.23	10.90	6.68	17.46	18.32	19.05	12.71	66.8	32.4	230.50	22	8	2	149.8
10	13.95	17.61	6.08	2.00	10.98	11.81	12.94	8.6	71.8	87.5	159.25	19	12	12	104.2
11	99.96	3.09	91.56	87.75	1.44	2.96	4.28	3.71	12.5	13.9	136.00	18	12	4	62.2
12	90.53	94.45	82.02	—	—	—	—	—	—	0.7	206.20	26	5	1	63.0
計										495.9		209	125	60	1.702.2
年平均		14.5	1.5												
	晩霜	4月2日		降雹		4月3日									

康徳3年度鐵嶺縣井水檢査成績表　(滿鐵)

	新臺子(5號井)	新臺子(6號井)	亂石山(市街井)	亂石山(社宅井)	不頂堡(驛井)	鐵嶺(水源井)	鐵嶺驛
色度	微黄色	無色	無色	〃	〃	〃	〃
濁度	少量の褐色沈澱あり	透明	〃	〃	〃	〃	〃
臭味	微泥臭あり	異狀なし	赤褐沈澱あり	〃	異狀なし	〃	〃
反應	弱アルカリ	〃	〃	〃	〃	〃	〃
l	10.650^{mg}	14.910^{mg}	56.800^{mg}	10.650^{mg}	74.550^{mg}	0.8165^{mg}	0.7810^{mg}
No. 23	微量檢出	不檢出	〃	微=檢出	不檢出	〃	〃
NH_3	不檢出	〃	〃	痕跡	不檢出	0.948	0.790
$KMnO_4$の消費量	1.264	1.264	1.896	1.896	3.160	171.6	181.0
硬度(獨逸法)	5.56	5.83	4.58	5.89	4.16	5.31	5.11
1c.c中の細菌聚落數	918	334	27	80	106	23	21
飲用	不適	適	〃	不適	適	〃	不適

第二節　沿　　　　革

本縣は遼東半島の一僻隅に位してその歴史も極めて古く、開發年代も亦他縣に比べて古い。

本縣は遠く唐の時代にはその青州の北域をなし、虞のときには營州の北域にたり、夏の時代を經て商の時代にはやはり唐代と同樣であつた。

周のときは肅愼氏に屬し、秦のときは遼東郡に編入その北部を占めてゐた。

漢の時代には、挹婁國地の樂浪郡に屬した。

魏に至り初め遼東北部に屬し、又後に樂浪郡の一部に編入せられたのである。

晋のときは、高麗と關係をもつたが、その間宋、齊、梁、陳は、未だ中國版圖に入らなかつた。

隋の時には、越喜國地で唐に至り富州の一部となつた。

五代のとき北女眞地であり、宋のとき遼東に屬し、遼時代には、本縣境內に咸州、興州、貴德州、双城縣信州があつたが、この內咸州は現在の北境の平頂保村に當り、興州は鐵嶺南方 60 滿里の鎰路村が之であり、貴德州は東南方で、瀋陽東北方を距る 90 滿里に位しており、汎河の流域に屬し、現在の大汎河村に當り、双城は遼河西方を距る 60 滿里古城子村に當り、信州は東北界に屬してゐる。

遼の時代には斯くの如くであつたが、次いで金の時代に於て縣內は銅山縣（遼河、汎河、柴河に抱かれたる部分今の縣城）、新興縣（以前富州、熙宗皇統 3 年に改稱、地域は同前今の縣城）、挹婁縣（遼時代の興州、常安縣の地）、双山縣（同前）、貴德縣（汎河の流域）、に分けられた。

元の時代今の鎰路村は、鎰州と呼ばれ、遼陽路に屬してゐたが、貴德州は改廢せられた。

明の時代には、咸平府の鐵嶺衛を廢し、洪武 21 年本縣內に鐵嶺衛を設けられ、遼東都指揮司の下に屬したのである。

この前の鐵嶺衛と、後の鐵嶺衛とは、500 滿里を隔てゝ岫巖と界してゐるので、遼陽の南の鐵嶺を移したものと見られてゐる。遼東都指揮司と言ふのは 20 個衛を統轄し、鐵嶺はその第 6 衛に當つて居た。正統 4 年からは汎河に城を設けられてあつた。

清の時代康熙 3 年鐵嶺衛は廢せられ、鐵嶺縣と改稱奉天府に屬したが、縣は依然明時代の舊衛城に在つた。（今の縣城の西門は舊城の東門に當つてゐる）其後乾隆 46 年 8 月に至り、今の縣城が築造されて今日に及んでゐるのである。

本縣縣勢の消長は遼河の利用と言ふことと密接の關係があり、特に近世において然りである。

即ち遼河を控へてゐる本縣は、南滿に於ける物資集散、交通、軍事の大中心地であつたが、鐵道開設せらるゝに及んで其の影響を受け、本縣市場は漸次蕭條の一路を辿つゐる。

本縣に於ける一般的航運の起りは、清の咸豐 3 年に奉天將軍の奏請によつて、城西を距る 5 滿里の馬蹄溝河を航運港として、東西圍場の荒地を次第に拂下げたのに始まる。

毎年冬季になると、遼河上流の東西北各地の糧車は何れもこの馬市に集まつて、從つて光緒 20 年には本地にある糧棧は大小 70～80 家の多數を數ふるに至つた、それらは春季解氷と共に船舶で直接營口迄運輸したものであるが、移出品は主として黄豆で、同地は實に重要港であり、遼河岸屈指の良港でもあつた。

故にこの時代は本地商業ひいては工業の極盛時期であつて、又航運の極盛期でもあつた。

然し時世の進歩は抗しがたく、南滿鐵道が敷設せらるに至つて、遼河は奥地向品の荷揚地たるの意義を失ひ、加ふるに又、瀋海線、四洮線等敷設せらるゝに及んで、東山地方特産物の大部分を奉天、開原、四平街等に奪はれるに至り、高率の運賃（鐵嶺、營口間は特産物1石運賃 1.90圓～ 2.30 圓、之を黃豆30噸車175 石の鐵道運賃と比較すると、210.20 圓 對 402.50 圓であつて約2倍弱の高率に當る）はその利用價値を著しく低下せしむるに至つた。

以上の諸點に依り多大の影響を來し、航運は蕭條たる狀況を呈する樣になつた。

第三節　開　拓　史

本項はもと旗署衙門に勤めて居た、現縣農會長石吉昌氏より聽取したものである。

一　開拓以前の狀況

本縣の開拓以前明の時代までは全然不明であるが、清朝當初までは全部旗地であつたものゝ如く、遼河西岸に幾分の官莊、莊園等があつたと言はれて居る。

現在の第 1、4 區は殆んど荒地で、第 5、6、7、8 區は濕地多く、第2區は森林地域と言はれて居た。

森林地帶と稱しても勿論大樹が密生してゐるわけではなく、數株の樹木が曠野の諸處に散在し、他地方よりも比較的多いと言ふ程度のものであつた。

當時は現在の內外蒙古地方から蒙古人が流入して來て、遊牧を業として居たと言はるゝから全くの遊牧地帶であつた樣である。

明の時代縣城附近に 200 戶位の人家があつたと言はれ、當時現縣城の東方 20 滿里の處に樹林があり、其處に虎が棲生し、每夜人畜を害したと言ひ傳へられて居る。其の當時から本縣地方一帶を銀洲と呼んだ。

清の初代康熙年代（約 250 年前）から漸く移住する者があり、乾隆年代（約 200 年前）には中部支那から漢民族が移住して農耕に從事した。

この頃には漢人でも其の家族の氏名と人數を記載して、旗人入籍希望を當局に申請して許可を得れば自由に旗人となることが出來、土地を領有することも出來た。之が即ち歸化旗人と稱して居るものである。

嘉慶道光年代（約140～150年）前になつてから、二品、三品以上の功勞者でなければ旗人となることが出來なくなつた。旗人と言ふのは即ち滿洲旗人で、歸化旗人のことを漢軍旗人とも言ふ。

二　縣の開拓史

明の末頃一部耕作せられた土地もあつた樣なことも言はれて居るが、はじめて一般に土地の解放を行つたのが康熙年代（約 240～250 年前）であると言はれてゐる。

当時は何人でも旗署衙門に願出れば、其の土地の番號、面積及び拂下人の氏名を魚鱗冊と言ふ一種の土地臺帳に記載して、無償無條件で其の願出面積（多いのは 1,000 天地少ないのは 10 天地位）の拂下げを受けることが出來た。

拂下げ後は耕作せると否とに拘らず課税せられたが、其の税額は不明である。

此の拂下げ土地は、縣城を中心にして東、西、南、北の四つに分け、それぞれ正白、正藍、廂白、廂黄と稱し、其の領有して居る土地によつて實際居住して居る地域の如何を問はず、正白旗人、正藍旗人、廂白旗人、廂黄旗人と稱した。此の様に比較的優遇した移民政策をとつたのは、當時既に中國の人口が過剰であつた爲で、純然たる植民政策に依るものであつた。

當縣地方に於ては特に清丈と言ふ様なものは行はれたことはなく、唯光緒 27 年（西暦 1,901 年）頃に從來 10 畝の實際面積に對し、6 畝分丈課税して居つたものを實際面積通り課税することにし、地券の檢査と稱して、1 天地に付 1.25 圓の經照費を徴收し、此の際 10 畝以上の面積の土地例へば 15 畝、20 畝の土地に對しても 10 畝の割合で課税し、10 畝以下 8 畝、或は 3 畝の土地に對しても 10 畝の割合で課税をした。此の經照費は、升科大照と稱する地券の紙代として徴收し、其の半額は政府に、他の半額は之に從事する役人の費用とした。

次に光緒 30 年(1,904 年頃) 佈告を發布して、浮多地の整理を行つた。其の内容は浮多地を使用收益して居る者は此の佈告が發布せられてから、6ヶ月乃至1ヶ年以内に屆出でなければ、誰でも其の浮多地を屆出でた者の所有にすると言ふものであつた。

此の佈告は第1回、第2回縣衙門で施行したが、浮多地を屆出で正式に自己の所有とするには、1畝に付 1.44 圓 の經照費を徴收したのである。

第2回の佈告は現在まで勵行せられて居る。

三　農民移住及び耕地増減の状況

康熙年代（約 210～250 年前）から光緒 10 年（1,884 年）までを1期とすれば、其の全面積 180,000 天地の中、既耕地は 140,000 天地（正式に臺帳に記載せられた耕地 100,000 天地、浮多地 40,000 天地）、他の 40,000 天地は不可耕地で、この時代は比較的人口の割合に耕地の多い時であつた。

光緒 10 年から鐵道敷設當時（清朝末頃 1,911 年）までは第2期とも稱すべき時で、土地と人口との割合が丁度適當な時代であつた。

鐵道敷設以後現在までを第3期とも稱すべき時代で、耕地不足の時代である。之は當縣より毎年北滿に移住する者が 500 戸位あると言ふことによつても察知出來るのである。

民國年代に山東、河北に大飢饉あり、窮民の1日 10 人乃至 20 人位づつ流入した事があるが、本縣に永住した者少なく、一時農業勞働等に從事し、多少の旅費を貯へて更に北滿に移住したものが多い。

奉直戰爭で本縣に避難した者は、本縣に親類や知人等のある者丈で、極めて少數である。それ等の中には農業勞働により賃銀を貯へて土地を購入獲得した者もあるが、また現在も尚其の當時の儘の生活を營んで居るものもある。

一般的に見て移住民が急激に増加して、耕地もそれに從つて増大したと言ふ様なことはない。

遼河の上流第6區大台山と、第5區石佛寺間50滿里は其の河の沿岸に50,000天地(全縣の3割6分)の耕地があり、毎年の如く河水氾濫して耕作不可能であつたが、民國19年(1,930年)から縣農會で在大實業廳より180,000圓の補助金をうけ、更に一般寄附金を募つて堤防を築き大同2年に完成し、其後支流の第5、8區に亘る地域に、28滿里の堤防を築造してから全く水害の憂がなく、良好な耕地になつた。

四　中心都市の發達

鐵道開通以前、第1區高麗站は陸路交通の中心で、戸數も500戸以上あり大旅館等も數戸あつて、非常に賑かだつたが、鐵道開通以後は全く寂寞とした處となつた。

鐵道開通以前、結氷期は鐵嶺縣城、夏季は其の西方遼河沿岸の小河口に法庫、康平縣方面の特産物が集つて居たものであつたが、鐵道開通以後は小河口、大高子を經て第5區新台子に集る様になり、物資の集散に大改革が行はれた。

尚康熙年代に本縣城の地域に、8人の大資本家が商店や糧棧等を開き、或は移住して地主に、又は錢莊等を營み漸次大商店が軒を並べて本縣城發展の基となつた。

五　政治組織の變遷

本縣の草分け明の時代は銀州と呼んで旗署衙門が置かれて居たが、清朝の時代になり縣制が布かれ、鐵嶺縣と改稱せられた。

光緒29年(1,903年)全縣に區制を置き區長村長を置いた、當時村長のことを首保、地方、老干等と呼び辨公所を設置した。

第四節　面　積、戸　口

一　面　　積

1　總　面　積　4,172,866畝

1區　612,083畝	2區　1,326,881畝	3區　378,747畝	4區　631,306畝	5區　254,662畝
6區　346,077畝	7區　323,795畝	8區　275,315畝	9區　24,000畝	

2　旣耕地面積　1,620,834畝

(イ)　熟　地　1,610,438畝　　　(ロ)　廢耕地　10,396畝

1區　171,316畝	熟　地　169,006畝	廢耕地　2,310畝
2區　169,960畝	熟　地　167,340畝	廢耕地　2,620畝
3區　240,122畝	熟　地　237,662畝	廢耕地　2,460畝
4區　184,937畝	熟　地　183,700畝	廢耕地　1,237畝
5區　200,615畝	熟　地　192,055畝	廢耕地　8,560畝

6區 213,894畝　熟地 204,434畝　廢耕地 9,460畝

7區 226,348畝　熟地 217,125畝　廢耕地 9,223畝

8區 209,030畝　熟地 206,257畝　廢耕地 2,773畝

9區 4,612畝　熟地 4,592畝　廢耕地 20畝

3　可耕未墾地　110,701畝

1區 35,520畝　2區 15,020畝　3區 250畝　4區 4,733畝　5區 10,042畝

6區 13,321畝　7區 17,060畝　8區 10,370畝　9區 4,385畝

4　不可耕地　2,440,331畝

1區 405,247畝　2區 1,140,901畝　3區 138,375畝　4區 441,636畝　5區 44,005畝

6區 118,862畝　7區 80,387畝　8區 55,915畝　9區 15,003畝

二　戸　口

戸口調査

區別	滿人				日本人 內地人				日本人 朝鮮人				其他		計	
	戸數	男	女	計	戸數	男	女	計	戸數	男	女	計	戸數	人口	戸數	人口
1區	6,626	21,497	19,629	41,126	—	—	—	—	142	426	343	769	—	—	—	—
2區	8,548	28,831	27,631	56,462	2	2	—	2	98	305	262	567	—	—	—	—
3區	6,796	19,632	19,510	39,142	1	1	—	1	126	317	273	590	—	—	—	—
4區	6,880	21,595	20,242	41,837	—	—	—	—	14	43	38	81	—	—	—	—
5區	5,403	17,122	15,975	33,097	1	1	3	4	453	1,268	1,124	2,392	1	男 1	—	—
6區	5,391	17,275	16,676	33,951	1	1	—	1	13	29	19	48	—	—	—	—
7區	5,142	16,824	15,791	32,615	—	—	—	—	1	1	1	2	—	—	—	—
8區	5,670	18,712	17,502	36,214	—	—	—	—	7	14	7	21	—	—	—	—
計	50,456	161,488	152,956	314,444	5	5	3	8	854	2,403	2,067	4,470	1	1	—	—

備考　滿人漢族竝清族を含む

鐵嶺附屬地警察署管內人口統計（康德2年度末現在）

派出所	戸數 日本人 內地人	戸數 日本人 朝鮮人	戸數 滿人	戸數 外國人	戸數 計	人口 內地人 男	人口 內地人 女	人口 朝鮮人 男	人口 朝鮮人 女	人口 滿人 男	人口 滿人 女	人口 外國人 男	人口 外國人 女	人口 合計 男	人口 合計 女	總計
鐵嶺	811	26	242	—	1,079	1,485	1,277	120	59	1,353	356	—	—	2,958	1,692	4,65[illegible]
平頂堡	12	5	12	—	29	26	21	16	12	35	24	—	—	77	57	134
得勝臺	12	—	17	—	[illegible]	[illegible]	16	-	-	[illegible]	[illegible]	—	-	[illegible]	44	11[illegible]
亂石山	14	2	20	—	36	28	20	6	4	51	34	—	—	85	58	143
新臺子	43	1	333	—	377	118	92	1	2	2,184	550	—	—	2,303	644	2,94[illegible]
總計	892	34	624	—	1,550	1,677	1,426	143	77	3,676	992	—	—	5,496	2,495	7,991

第五節　產　　業

一　農　林　業

本縣總面積 417,286 天地に對し、旣耕地面積は 162,083.4 天地、未墾地面積は 255,103.2 天地で、其の內不可耕地は 244,033.1 天地である。本縣の東半部は山地である爲、不可耕地が全面積の過半を占めて居る。

本縣は一般に高粱を主食糧食として居り、只東部縣境方面では包米(玉蜀黍)を常食として居るに過ぎず、從つて飼作物は高粱が大部分を占めて居り、商品作物として黃豆、穀子が主に栽培されて居る。この外大麥、小麥が栽培されて居るが、極く一部に限られて居る。

平均1天地當り收穫高を、康德2年度に於て示すと次の如くである。(舊石)

黃　　豆	4石5斗	穀　　子	8 石
高　　粱	8 石	水　　稻	12 石

水田は鮮人農民の耕作にかゝるもので、縣內在住鮮人 6,131 人中 5,701 人が之に從事して居り、水田總面積は 4,875.6 天地である、之等の水田は、鐵道沿線の東亞勸業公司經營の安全農村 2,200 天地、朝鮮民會經營の馬蜂溝農場約 500 天地、縣城內有力者の共同出資になる地運所農場約 350 天地を除く以外の大部分は自由移民の手になるものである、

全縣面積對耕地面積比率

全縣總面積	417,286.6 天地	100.0%
旣耕地面積	162,083.4 天地	38.9%
熟　地面積	161,043.8 天地	
廢耕地面積	1,039.6 天地	
可耕未墾地	11,070.0 天地	2.6%
不可耕地	244,033.1 天地	58.5%

可耕地面積對耕地面積比率

可耕地面積	172,717.0 天地	100.0
旣耕地地積	162,083.4 天地	93.8
可耕未墾地	11,070.0 天地	6.2

人　口　密　度

總　面　積	417,286.6 天地
人口總數	318,972 名
旣耕地面積	162,083.4 天地
總面積1天地に對し、人口	7.64 人
旣耕地面積1天地に對し、人口	19.6 人

鐵嶺縣內耕地面積(1戶當リ)

縣内平均（滿鐵農務課調）		1 戸當り	3.20 天地
部落調査屯平均（夏家樓村）	10箇村平均	1 戸當り	3.26 天地
（農民 1 人當り）			
縣内平均（滿鐵農務課調）			0.57 天地
部落調査屯平均（夏家樓村）	10箇村平均		0.57 天地
（役畜 1 頭當り）			
縣内平均（滿鐵農務課調）			5.41 天地
部落調査屯平均（夏家樓村）	10箇村平均		5.94 天地

耕地所有階級別農家戸數表

區別	地主	地主兼自作	自作	自作兼小作	小作
	戸	戸	戸	戸	戸
1	630	484	2,070	1,104	757
2	519	998	1,325	2,177	2,226
3	265	600	1,599	1,130	1,296
4	539	832	1,074	1,509	1,148
5	237	580	805	1,055	808
6	412	557	779	1,017	1,028
7	128	547	799	1,040	1,207
8	597	588	1,066	862	1,022
計	3,327	5,186	9,517	9,914	9,492

經營面積階級別農家戸數

區別	大農戸	中農戸	小農戸
	戸	戸	戸
1	148	1,665	2,897
2	147	2,112	4,333
3	256	1,048	2,849
4	147	1,663	2,983
5	246	1,227	1,624
6	249	1,22[illegible]	1,603
7	264	1,2[illegible]8	2,415
8	224	1,315	1,930
9	—	54	389
計	1,781	11,652	21,023

自小作別農家戸數

區別	自作農	自作兼小作農	小作農
	戸	戸	戸
1	1,905	1,7[illegible]3	758
2	2,600	2,026	1,61[illegible]

作物別生産數量

舊制度量衡に依る

作物名	本年收穫量	作物名	本年收穫量
黄豆	石 177,930.87	蕎麦	石 7,013.65
小豆	3,898.47	雑粮	〃 11,468.80
緑豆	899.91	棉花	斤 2,156
其他豆類	3,575.78	菸葉	〃 18,270
高粱	281,884.35	青麻	〃 99,280
穀子	98,072.04	線麻	〃 11,880
包米	45,360.60	小麻子	石 421.72
稻子	35,051.70	蘇子	〃 181.22
粳子	44,262.54	大麻子	〃 61.20
小麦	11,596.78	芝麻	〃 126.90
大麦	7,090.98	落花生	斤 335,634
糜子	969.15	馬鈴薯	〃 1,485,929
稗子	36,830.58	瓜子兒	石 0.30

農産物縣外移出入數量表

舊制石に依る

糧石種類	移出石數	移入石數
粗粮	石 120,128	石 31,1[illegible]
雑粮	34,050	—
油粮	90,051	13,223
豆類	405,886	235,086
計	**650,115**	**279,479**

畜産業に就ては、近年耕作用馬匹は一般に不足しつゝある。馬牛の素質劣等で、改良の必要特に大である。

羊は縣城附近に於て、小規模に行はれて居るに過ぎぬ狀態である。

牛は元來當地は蒙古方面から陸路法庫、康平を通じて南滿に出る牛の集散地として、年約8,000頭の取引が行はれて居たが、設備の不完全と道路の不良の爲、現在は約5,000頭の取引に減少するに至つた。

家畜家禽數

種類	頭數	種類	頭數
牛	[illegible]	羊	[illegible]
馬	[illegible]	豚	50,334
[illegible]	[illegible]	[illegible]	31,427
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

林業に就ては、現在殆んど見るべきものが無い。近時縣公署に於て、風致上の見地より龍首山の造林を行

ひつつある。主として松、杏であるが、其の成績は良好である。

造林面積表

區別	公有林面積	私有林面積	區別	公有林面積	私有林面積
1	[illegible]	1,[illegible]1	6	[illegible]	1[illegible]
2	1[illegible]	[illegible]	7	27	[illegible]
3	65	21[illegible]	8	[illegible]	4[illegible]
4	—	1,[illegible]41			
5	104	[illegible]	計	583	3.146

鐵嶺主要山産物一覽

品名	年産量	單價	總額	産出地	販路
榛子	斤 300,000	5	圓 15,000	各區	新京　吉林
山楂(さんざし)	149,000	4	5,215	各區	新京　吉林
梨	55,000	1.5	825	1.2.4區	法庫　康平

二　工　　業

油房　當地方の特産である金黄黄豆は含油率が大である爲に、油房は早くから發達し、地元供給は勿論大連方面に移出して、一時は名實共に滿鐵沿線随一の生産地であつた。然しながら一般に組織資本共に貧弱であり、又黄豆値が高くなつた爲、寧ろ一度買入れた黄豆をその儘大連方面に賣捌くのが有利になつて、油房が糧棧化して往年の様な盛況を示してゐない。

現在、域内に油房が6工場あり、鐵嶺出廻りの黄豆を約40%買付け、康徳2年度には18.49 瓲の移出があつた。

康徳2年度　油坊工業狀況

舊制度量衡に依る

油坊數	月別	消耗黄豆數量	出油量	産餅量
6	1	石 16,752.17	斤 600,671	片 98,177
〃	2	8,947.87	327,303	53,064
〃	3	10,043.55	379,388	64,136
〃	4	7,671.27	283,574	45,062
〃	5	6,428.87	233,342	6,356
〃	6	4,093.86	98,180	1,594
〃	7	379.27	13,492	4,671
〃	8	1,493.92	57,562	8,77[illegible]
〃	9	4,089.22	151,050	23,955
〃	10	10,490.41	527,450	84,614

油坊數	月別	消耗黃豆數量	出油量	產餅量
6	11	石 17,740.24	斤 615,454	斤 103,571
〃	12	20,671.39	689,002	120,743
合計	全年	108,802.04	3,976,468	614,713

織布業

當地は古くより南滿沿線に於ける綿糸布集散市場中樞要の地位を占め、家内工業の發達と共に大正15年滿洲織布株式會社が設立せられ、相當の成績を見たのであるが、機械工業の發達及各地に同工業が勃興した爲、次第に凋落し、又同會社が財界不況の影響を受けて、休業するに至り、今日に及んでゐる狀態である。現在の機紡數は大體70餘機紡、年產 120,000 疋で奉天、遼陽方面から原料を仕入れ、當地及び法庫、東平、昌圖、各縣の需要を充してゐる。

三　商業

當地取扱商品は大連、營口、奉天等から移入し來る製品であつて、南滿取引の中心であつた往日の傳統と因緣は未だ失はれない。此の附近のみでなく、四洮沿線から北滿方面に迄取引先があるのが特質である。然かも一般に人氣が良好である事と傳統的な商人道德の爲に、銀行筋からの信用も固く、農村購買力が衰退してゐるにも不拘、堅實な步調を辿つてゐる。

鐵嶺縣商會縣城商工業戶數統計表　（康德2年12月末日）

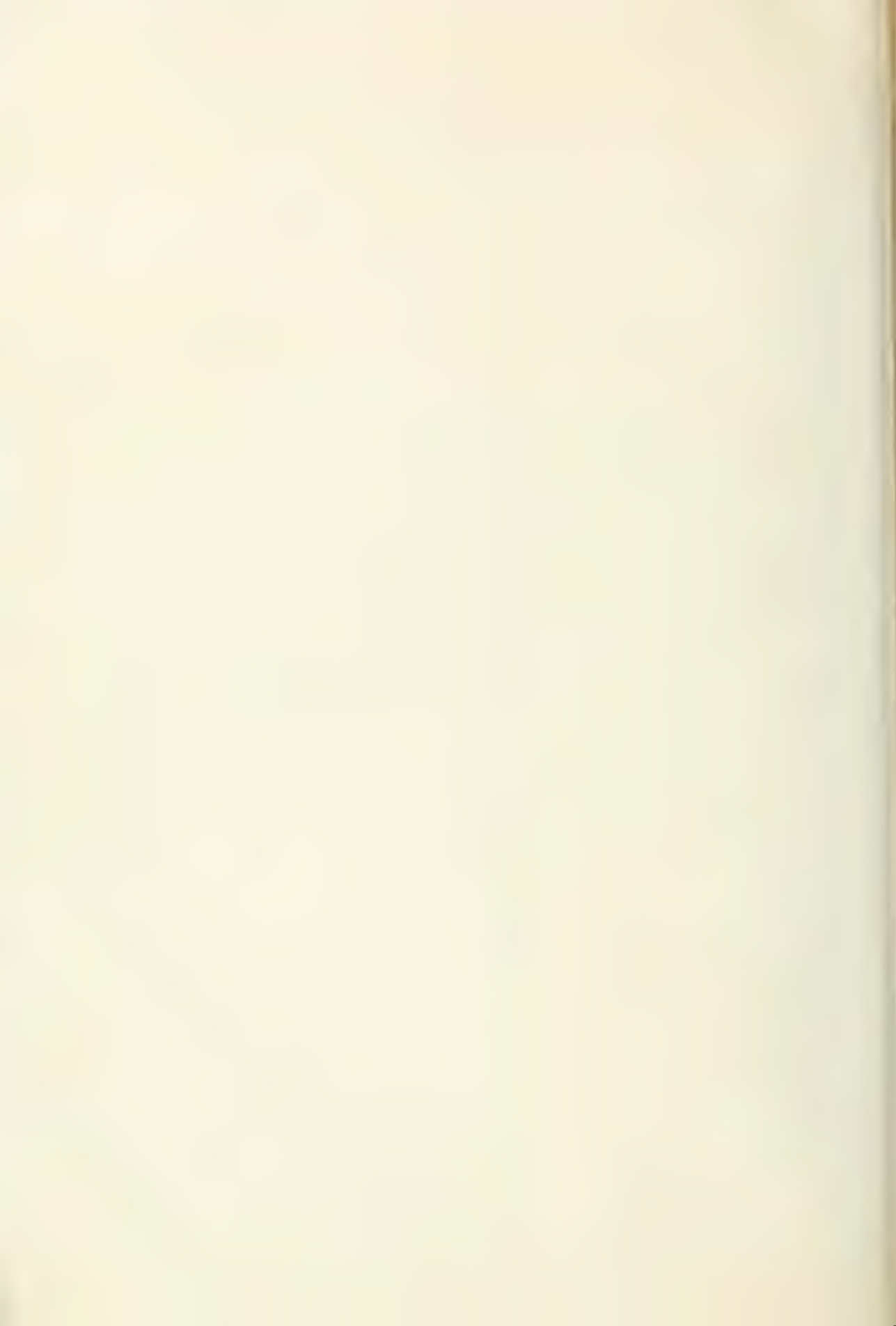
業別	商號戶數	資本總額	店員總數	對全市商工業總額之百分比
綢緞	15	圓 85,100	人 391	1.33
大布	25	20,230	206	[illegible] 〃
洋廣	23	17,550	147	2.47 〃
菸麻	16	18,280	74	1.41 〃
雜貨	19	7.701	91	1.68 〃
鹽麫	9	29,750	90	[illegible] 〃
當業	4	15,000	31	0.35 〃
錢業	5	2,300	8	0.44 〃
屠宰	10	1,040	24	0.88 〃
代理及運送	6	9,600	59	0.53 〃
煤炭	16	2,840	39	1.41 〃
糕點	20	11,300	129	[illegible] 〃
切麫	21	2,550	43	1.68 〃
魚菜	21	4,590	64	16.8 〃
梨果	20	3,840	[illegible]	[illegible] 〃
醫藥	68	68,297	244	[illegible] 〃
紙煙	23	1,815	39	[illegible] 〃

鐵嶺、法庫間幹道、遼河ノ橋ノ遠望（康德3年 11 月建立）
此ノ架橋前ハ自動車、馬車、人間總テ渡舟ニテ通行セリ

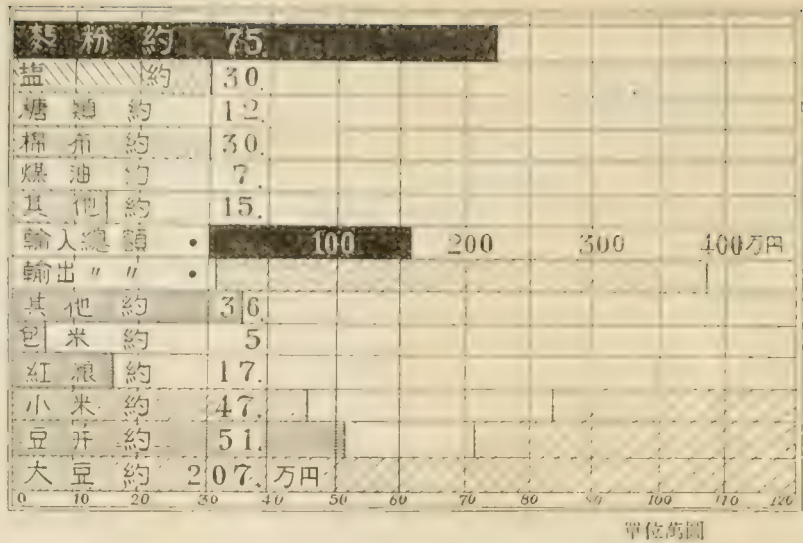
品目	金額
麦粉	約 75.
塩	約 30.
糖類	約 12.
棉布	約 30.
煤油	約 7.
其他	約 15.
輸入總額	100
輸出 〃 〃	
其他	約 36
包米	約 5
紅粮	約 17.
小米	約 47.
豆粕	約 51.
大豆	約 207. 万円

0　10　20　30　40　50　60　70　80　90　100　110　120

100　200　300　400万円

單位萬圓

開原縣境に鐵金の豐富な鑛脈が發見されて、精錬所設置、遼河水運利用等の案が起つて不況に惱んでゐる當地日滿人に一脈の希望を抱かせてゐる。

五　水産業

遼河、大汎河共に特別な水産はなく、日用魚類も營口、海城方面から移入されてゐる。

第六節　交　　　通

一　縣に於ける交通路

鐵嶺縣に於ける交通路の根幹をなすものは、鐵道及警備道路であつて、警備道路は康德3年度に完成を見、全縣下各區に通じ砂礫敷である爲、降雨期に於ても泥濘化することなく、四季自動車の運行可能である。康德2年度末に於ける縣道全長は、516,606粁、國道264,670粁である

二　縣內に於ける交通機關

交通機關としては、南北に縱貫する南滿鐵道と、鐵法長途汽車公司經營の公共汽車が運行する外馬車、人車及大車で、その類別及臺數は次の通りである。

種類	大車	人車	馬車	計	汽車(自動車)
臺數	646	2,088	222	2,956	乘用車 7　貨車 2

（康德2年度末）

三　調査屯に於ける交通機關

調査屯に於ける交通機關は汽車、大車、馬車等であるが、馬車は屯內にはなく縣城より雇ふもので、縣城より本屯までの雇賃は晴天2.50圓、曇天3圓を要する。大車は本屯に11臺あるが、總て個人所有である。汽車（乘合自動車）は、屯北部を東西に走る鐵法國道を每日2往復運行し、主村更家樓屯には停留所を有し、交通機關に惠まれてゐる。然し一般農民は汽車を利用するに至らず、徒歩で縣城との間を往復するのが普通である。

屯內に於て大車を有しない者は他の所有者より借用してゐるが、近屯よりの物資の運搬及嫁の輿入れ等に際しては料金を要しない。穀物を縣城に搬出する際の借用は親戚間に於ては無料であるが、他人の場合は料金を支拂ふもので、夏季5~6圓冬季2.50~3.00圓である。

四　鐵法長途汽車公司

鐵法長途汽車公司は日滿合辦の株式組織であり、資本金50,000圓を以て大同2年12月15日鐵嶺西關に設

六 鐵道開通時期及び交通運輸の沿革

南滿鐵道開通年代は光緒21年であるが、南滿鐵道開通以前は、所謂遼河の船運が交通運輸機關としての最大なるものであつたことは、前述の通りであつて、其航船數2,000有餘を算へ、營口方面、四平方面との間を交通してゐた、其の後南滿鐵道開通以後は逐年衰退して、現今は全く其の影を認められない。

事變後交通網の整備、産業開發等諸政の刷新に伴ひ、遼河架橋も劃策され、65,000圓を以て大體康德3年9月双安橋の完成を見ることゝなり、渡船による煩雜を除き時間を短縮することが出來るに至つた。又雨期に於ける泥濘膝を沒する惡路は變じて四季自動車の運行可能な良道となり、大甸子、法庫間には旅客及貨物の運輸が、汽車公司によつて行はれてゐる。

第七節 縣　　政

一 縣公署の組織

職　　員

日人官吏11名（參事官1、屬官1、經理官1、警佐2、巡官2、警長1、警士3）

滿人官吏104名（縣長1、科局長4、股長12、視學1、科員32、傭員54）

外に警察署長9名、署員606名

之が系統は次の如くである。

縣　　長
參 事 官
副參事官

縣長の下に屬して

經 理 官

總務科長	庶務股	文書股	會計股	
內務局長	行政股	實業股	技　士	
警務局長 警務指導官	警務股	司法股	保安股	特務股
財務局長	徵收股	理財股		
教育局長 視　　學	學務股	禮教股		

人事に關しては內務、教育、警務、財務、地方機關を一括して總務科で統轄し、縣長參事官の直接處分を俟ち、情實を打破するを目標としており、又各局長を通じての縣公署內の人事監察、各區行政指導員を通じて各村の人事監察を根本としてゐる。

現在各村助理員等の考査と、學校教員の老朽者淘汰とに努めてゐる。

民國時代との俸給の比較をすると

職　　別	事變前俸給高	現在俸給高	摘　　要

科　長	100.00	176.00	事變前より增額す
局　長	100.00	176.00	〃
股　長	45.00	75.00	〃

縣費支給　日人官吏として

師範學校教員1　　　通譯1　　　農業實習所教員3

7月1日康徳3年から日本朝鮮民會事務引繼以後、民會役員の内地人2、朝鮮人2を縣科員として採用した。

この外、縣の地方機關として

鐵嶺縣市民委員會長1（近く街長と改める）

各村長70名（俸給30圓）屯長　180名

中等學校長2名　　　中等學校教員34名

小學校長49名　　　小學校教員655名

等がある。

二　縣の財政

イ　負　　債

縣の負債は建國前、民國20年12月から、康徳2年6月に至る8件で、借款額は163,481.63圓である。建國前のものは42.078.41圓で、之は多くは接濟、政費のためになされたものでこの外、徴收發還畝捐や誤徴被災畝捐と言ふのもあり皆未濟である。

（ロ）　縣有財產（債權調查除外）

殆ど建築物である。此の總見積額は29,094.10圓で、之から生ずる收入は康徳1年度から3年間は毎年2,080圓である。

此の收入は公立醫院公署及官舍費用に充用せられてゐる。

（ハ）　縣の歳出入

大同2年康徳1年2年度決算及び3年度豫算に就て見ると

		歳　入	歳　出
大	2	394,276.03	474,035.06
康	1	363,868.63	366,706.80
康	2	236,886.91	192,791.92
康	3（豫）	447,513.00	529,985.00

即ち歳出入は共に著しく減少の傾向を辿つてゐる、之は歳入に於て花柳關係捐、木炭捐、渡口捐、商捐の減少の爲で、特に國庫補助金が康徳1年度以後に於て打切られてゐるのにも基因する。

歳出に就てみると、警察費の激減及縣廨修理費、教育費の漸減、それに積立金豫備費が康徳1年以降打切られた爲である、その他は大體に於て大した變りはない。又康徳2年度の決算についてみると

經　常　部　　　　　　臨　時　部

收入濟額　234,100.42圓(99.4%)　　2,786.49圓

調定濟額　238,059.19圓(100%)

未收入は縣税地捐畝捐糧捐が主である。

歳出に就てみると

	經常部	臨時部
豫算現行額	203,310.00圓(100%)	2,200.00圓
已支出額	190,591.92圓(89.1%)	2,200.00圓

殘りの 10.9%は不用額となつてゐる。

總額に於て

豫算現行額　238,059.19圓(100%)

已支出額　192,791.92圓(83.9%)

之で康徳2年度は 45,267.27 圓の剰餘を生じた譯である。

(詳細は縣務報告書及2年度決算書を參照)

又本縣の行政方針は

(1)　嚴正な人事　(2)　公平な縣村税徴收　(3)　縣村支出の嚴監による縣民負擔輕減

(4)　之に加ふるに東部の匪害の絶滅、西部の遼河、大汎河の水災豫防

等を念頭においてゐる爲、徴税も之に準じて行つてゐる。

鐵嶺縣下全村公所の豫算及び決算を示せば

	康徳3年度	康徳4年度豫算
	圓	圓
公所費	172,011.75	173,216.00
保甲費	—	30,192.00
教育費	320,944.20	275,236.00
救済費	3,500.00	3,500.00
財産造成費	11,082.10	14,348.00
臨時費	39,618.68	55,125.00
合計	547,156.73	551,617.00

康徳3年度總豫算は 547,000.00 圓餘であるが、現在の費用額から之を見ると、600,000.00 圓を超過すると思はれる。

この村費に就て從來各村村民は、規定以外に招待費その他種々の名目の下に、或は又村長と土豪等が結託し、數倍の金額を納付せしめらるゝことがあつたが、本年は過渡的便法として村費は一括縣で徴收することにして、村長等の隨意の徴收を許可せぬ事とし、又精確た土地臺帳の作製と相俟つて隱匿者の摘發嚴罰に努めた結果、村民に多大の好感を與へ、第1期徴集額 320,000.00圓の中、極貧者を除き 295,000.00 圓餘の徴收を了した次第である。

村豫算は縣で嚴密に査定し、毎月決算表を呈出せしめ、參事官及び各局長精査して、之を認可することにしてゐる。

縣負債調書

建國前後別	借款年月日	借款名稱及目的	借款額	利率	償還期限	處置狀況		擔保物件	債權者名
						償還額	未償還額		
後	大同1年 [illegible] 月 3 日	接濟警費	円 [illegible]	年利8厘	大同2年3月	—	—	以每月田賦收入總額十分之四提出償還	滿洲中央銀行奉天分行
後	大同1年 10 月 13 日	接濟政費	10,000.00	年利8厘	大同2年4月	—	—	同	同
後	大同1年 10 月 27 日	接濟政費	10,000.00	年利8厘	大同2年4月	—	—	同	同
後	大同1年 11 月 19 日	接濟政費	6,000.00	年利8厘	大同2年5月	—	—	同	同
後	康德1年 4 月 13 日	收回流通券	40,[illegible]	年利6厘	康德3 4 5年上期	—	—	—	滿洲銀行鐵嶺支行
前	民國 20 年 12 月	接濟政費	42,078.41	—	—	—	—	—	鐵嶺稅捐局
後	大同 2 年 1 月	徵收發還畝捐	28,327.41	—	—	—	—	—	各納畝捐戶
後	康德 2 年 6 月	誤徵被災畝捐	7,075.81	—	—	—	—	—	各納被災畝捐戶

縣有財產調查

種別	數量	評價額	財產收入			管理方法	備考
			康德1年度	康德2年度	康德3年度		
瓦房	60間	円 6,400.00	円 1,296.00	円 1,296.00	円 1,296.00	歷年修理	
同	10間	1,000.00	216.00	216.00	216.00	—	
土地	長寬 15丈 16丈	1,000.00	170.00	170.00	170.00		
瓦房	22間	5,000.00	—	—	—	—	公立醫院專用
同	123間	30,000.00	—	—	—	—	縣公署及各局專用
紡績會社株券	83株	7,694.10	398.00	398.00	[illegible]	—	
洋式瓦房	8處	50,000.00	—	—	—	—	縣長參事官及各局長日系官吏宿舍新築

備考　家屋の數量は1間房子を以て單位とす

歲入調査

款別	大同2年度決算	康德1年度決算	康德2年度決算	康德3年度豫算	備考
房租	1,854.70	1,240.75	530.60	2,004.00	
證明手數料	2,121.81	3,346.93	2,610.30	2,900.00	
稅收入	103,650.68	40,101.24	15,483.72	20,000.00	
畝捐	182,961.96	204,107.37	118,625.39	208,026.00	
園圃捐	—	437.20	889.84	880.00	
門戶捐	386.23	3,560.10	13,230.10	19,000.00	
商捐	1,643.10	28,450.01	20,766.61	36,000.00	
班捐	18,264.30	391.50	[illegible]	—	

款別	大同2年度決算	康徳1年度決算	康徳2年度決算	康徳3年度豫算	備考
	圓	圓	圓	圓	
省發行政經費	—	—	—	—	
省發補給金	—	—	—	—	
屠宰場使用料	—	—	—	1,560.00	
督促手數料	—	—	—	150.00	
國税[illegible]款徵收交付金	—	—	—	200.00	
納付金	—	—	—	2,070.00	
滯納利息	—	—	—	5,000.00	
生產物賣出金	—	—	—	100.00	
木捐	—	—	—	176.00	
房捐	—	—	—	21,000.00	
不動產取得捐	—	—	—	21,000.00	
合計	394,276.03	363,868.63	236,886.91	447,513,00	

歳出調査

款別	大同2年度決算	康徳1年度決算	康徳2年度決算	康徳3年度決算	備考
	圓	圓	圓	圓	
祭祀費	—	—	194.73	400.00	
公署費	96,893.19	78,262.23	39,562.47	94.694.00	
警察費	[illegible]	176,902,70	79,643.20	162,910.00	
土木費	—	—	231.46	300.00	
教育費	94,776.69	85,675.20	49,856.85	116,697.00	
屠宰場費	—	1,363.85	614.86	1,769.00	
給與金	—	—	1,002.00	3,000.00	
地方改良費	—	—	—	930.00	
勸業費	2,334.53	2,334.14	2,023.06	6,932.00	
財產造成費	—	—	—	475.00	
社會事業費	—	—	—	3,000.00	
電話局費	—	—	—	4,236.00	
豫備費	5,834.23	—	—	3.800.00	
償還金	—	1,702.46	3.015.34	57,446.00	
補助費	—	16,059.97	3,486.00	2,198.00	
[illegible]費	—	—	—	52,250.00	
[illegible]費	[illegible]	—	—	—	
積立金	26,404.66	—	—	—	
縣税辦理費	3,113.35	2,906.25	10,182.42	18,948.00	
救濟費	—	1,500.00	—	—	
土木費	—	—	2,200.00	—	
雜支出	—	—	779.53	—	
合計	474,035.06	366,706.80	192,791.92	[illegible]	

康徳三年度鐵嶺縣各村豫算一覽表

區別	村名	公所費	公所費內譯 給料	辦公費	雜費	旅費	修繕	保甲費	教育費	教育費內譯 給料	辦公費	雜費	旅費	修繕	學事諸費	圖書館費	民衆教育費	增級費	救濟費	財産造成費	臨時費	臨時費內譯 建築費	修繕費	[illegible]	合計
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
1	宿老屯	2,571.00	1,701.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	8,112.00	4,107.60	900.00	650.40	400.00	750.00	80.00	—	924.00	300.00	50.00	221.00	250.00	—	50.00	200.00	11,204.00
	熊官屯	2,744.00	1,934.00	300.00	240.00	120.00	150.00	—	3,294.00	1,726.20	300.00	241.80	100.00	300.00	30.00	—	396.00	200.00	50.00	117.[illegible]	[illegible]	—	[illegible]		6,255.[illegible]
	高力站	2,252.00	1,442.00	300.00	240.00	120.00	150.00	—	4,331.00	2,255.10	500.00	251.60	140.00	750.00	20.00	—	264.00	200.00	50.00	134.3[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	7,617.[illegible]
	溫庄子	2,562.80	1,612.80	300.00	260.00	240.00	150.00	—	5,022.60	2,570.00	602.00	408.60	250.00	900.00	60.00	—	132.00	100.00	50.00	146.00	50.00	—	[illegible]	—	7,231.4[illegible]
	平頂堡	2,322.00	1,512.00	300.00	240.00	120.00	150.00	—	4,527.00	2,406.60	600.00	264.40	120.00	500.00	40.00	—	396.00	200.00	50.00	142.00	1,2[illegible]	1,1[illegible]	[illegible]	[illegible]	8,271.[illegible]
	山頭堡	2,151.90	1,341.90	300.00	240.00	120.00	150.00	—	4,555.00	2,318.40	600.00	302.60	120.00	830.00	20.00	—	264.00	100.00	50.00	128.00	527.81	477.81	[illegible]		7,412.7[illegible]
	太平寨	2,571.00	1,701.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,417.00	2,280.70	500.00	379.30	150.00	947.00	60.00	—	—	100.00	50.00	138.30	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	7,556.[illegible]
	茨榆臺	2,422.80	1,612.80	300.00	240.00	120.00	150.00	—	4,949.00	2,583.00	550.00	216.00	270.00	350.00	70.00	—	660.00	200.00	50.00	171.00	52[illegible]	2[illegible]	[illegible]	[illegible]	8,112.6[illegible]
	小計	19,597.50	12,857.50	2,400.00	1,940.00	1,200.00	1,200.00	—	39,257.60	20,247.90	4,552.00	2,744.70	1,570.00	5,327.00	380.00		3,036.00	1,400.00	400.00	1,197.60	3,757.81	2,527.81	400.00	[illegible]	64,21[illegible]
2	大甸子	3,042.60	1,902.60	300.00	330.00	360.00	150.00	—	6,116.00	3,351.60	480.00	362.40	240.00	1,400.00	50.00	—	132.00	100.00	50.00	170.00	425.96	96.36	[illegible]	[illegible]	9,594.5[illegible]
	催陣堡	2,312.70	1,442.70	300.00	240.00	180.00	150.00	—	5,082.20	3,200.00	700.00	630.20	180.00	200.00	40.00		132.00	—	50.00	144.00	457.47	357.47	[illegible]	[illegible]	8,046.[illegible]
	西康庄子	2,640.30	1,770.30	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,685.00	2,595.60	550.00	370.00	213.40	300.00	60.00	—	396.00	200.00	50.00	157.00	365.3[illegible]	65.3[illegible]	[illegible]	[illegible]	7,898.17
	撫安堡	2,769.60	1,839.60	300.00	240.00	240.00	150.00	-	4,585.00	2,595.60	560.00	513.40	140.00	220.00	60.00	—	396.00	100.00	50.00	362.00	2,302.64	1,[illegible].46	[illegible]	[illegible]	10,999.2[illegible]
	常鋪屯	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	4,758.00	2,431.80	52[illegible]	466.20	940.00	250.00	50.00	—	—	100.00	50.00	137.00	2,369.[illegible]	2,1[illegible]	[illegible]	[illegible]	9,686.7[illegible]
	業樹興	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	2,229.00	1,474.20	200.00	134.80	240.00	150.00	30.00	—	—	—	50.00	100.00	277.46	67.46	[illegible]	[illegible]	5,049.1[illegible]
	岱海寨	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	752.00	390.60	60.00	79.40	30.00	50.00	10.00	—	132.00	—	50.00	71.00	199.92	59.92	[illegible]	[illegible]	3,445.6[illegible]
	白旗寨	3,041.10	1,871.10	300.00	480.00	240.00	150.00	—	2,818.00	1,814.40	300.00	183.60	240.00	150.00	30.00	—	—	100.00	50.00	130.00	1,140.92	890.92	[illegible]	[illegible]	7,150.[illegible]
	小計	20,924.40	13,154.40	2,400.00	2,250.00	1,920.00	1,200.00	—	31,025.20	17,853.80	3,370.00	2,740.00	2,223.40	2,720.00	330.00		1,188.00	600.00	400.00	1,271.00	7,589.34	5,648.54	400.00	1,540.80	61,209.94
3	大汎河	2,482.80	1,612.80	300.00	240.00	180.00	150.00	—	5,307.00	3,483.60	650.00	291.40	150.00	460.00	40.00	—	132.00	100.00	50.00	166.00	1,180.00	930.00	[illegible]	[illegible]	9,166.6[illegible]
	新殷屯	2,873.70	1,883.70	300.00	240.00	300.00	150.00	—	8,035.00	4,573.80	1,200.00	567.20	250.00	910.00	70.00		264.00	200.00	50.00	220.00	200.00	—	[illegible]	[illegible]	11,3[illegible]
	得勝臺	2,482.80	1,612.80	300.00	240.00	180.00	150.00	—	7,610.00	3,521.80	875.00	371.20	250.00	1,280.00	70.00	—	792.00	450.00	50.00	187.00	170.00	—	[illegible]	[illegible]	10,4[illegible]
	新興堡	2,322.00	1,512.00	300.00	240.00	120.00	150.00	—	4,947.90	2,204.90	400.00	300.00	120.00	1,255.00	40.00	—	528.00	100.00	50.00	137.00	935.00	720.00	[illegible]	[illegible]	8,391.9[illegible]
	英城子	2,582.80	1,612.80	300.00	240.00	120.00	310.00	—	5,370.00	2,935.80	500.00	362.20	200.00	420.00	60.00	—	792.00	100.00	50.00	166.00	250.00	—	[illegible]	[illegible]	8,416.6[illegible]
	八里庄	2,236.95	1,426.95	300.00	240.00	120.00	150.00	—	2,799.00	1,587.60	300.00	209.40	150.00	200.00	20.00	—	132.00	200.00	50.00	108.00	730.00	600.00	[illegible]	[illegible]	5,9[illegible]
	遼海屯	2,407.70	1,442.70	300.00	395.00	120.00	150.00	—	5,272.00	2,948.40	700.00	397.60	250.00	350.00	30.00	—	396.00	200.00	50.00	159.00	250.00	—	[illegible]	[illegible]	8,1[illegible]
	高臺子	2,312.70	1,442.70	300.00	240.00	180.00	150.00	—	3,773.00	1,801.80	498.00	207.20	100.00	530.00	40.00	—	396.00	200.00	50.00	144.00	490.00	—	[illegible]	[illegible]	6,769.7[illegible]
	英守屯	2,655.70	1,442.70	300.00	240.00	180.00	493.00	—	5,232.00	2,734.20	700.00	293.80	200.00	900.00	40.00	—	264.00	100.00	50.00	148.00	100.00	—	[illegible]	[illegible]	8,165.7[illegible]
	揚成樓	2,122.80	1,252.80	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,035.00	2,444.40	500.00	276.60	150.00	280.00	20.00	—	264.00	100.00	50.00	130.00	170.00	—	[illegible]	[illegible]	6,507.8[illegible]
	小計	24,499.95	15,241.95	3,000.00	2,555.00	1,680.00	2,003.00	—	52,380.90	28,236.30	6,323.00	3,276.60	1,820.00	6,585.00	430.00		3,960.00	1,750.90	500.00	1,575.00	4,475.00	2,250.00	500.00	1,725.00	83,410.8[illegible]
4	范家屯	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,311.00	2,809.80	450.00	217.20	140.00	200.00	30.00	—	264.00	200.00	50.00	142.90	530.00	360.00	[illegible]	[illegible]	7,415.90
	大康屯	2,428.25	1,442.70	300.00	240.00	180.00	265.55	—	4,050.00	2,482.20	550.00	385.80	180.00	240.00	30.00	—	132.00	100.00	50.00	136.00	510.00	[illegible]	[illegible]	[illegible]	7,174.2[illegible]
	李千戶屯	3,011.20	2,041.20	300.00	240.00	180.00	250.00	—	9,388.00	5,405.40	1,500.00	870.60	300.00	600.00	80.00	—	132.00	500.00	50.00	132.00	537.00	487.00	[illegible]	—	13,118.2[illegible]
	橫道河子	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	3,670.00	2,142.00	550.00	256.00	150.00	200.00	40.00	—	132.00	200.00	50.00	128.00	410.00	360.00	[illegible]	—	6,630.7[illegible]
	懿路	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	6,764.00	3,868.20	950.00	591.80	250.00	600.00	40.00	—	264.00	200.00	50.00	192.00	50.00	—	[illegible]	—	9,428.7[illegible]
	三岔子	2,971.20	2,041.20	300.00	240.00	240.00	150.00	—	5,915.00	3,351.60	900.00	449.40	250.00	450.00	50.00	—	264.00	200.00	50.00	193.40	470.00	120.00	[illegible]	[illegible]	9,509.6[illegible]
	未臺沖	2,692.80	1,612.80	300.00	240.00	240.00	300.00	—	6,797.80	3,893.40	950.00	530.40	250.00	640.00	70.00	—	264.00	200.00	50.00	396.60	80.00	—	[illegible]	[illegible]	10,017.0[illegible]
	腰堡	2,482.80	1,612.80	300.00	240.00	180.00	150.00	—	7,096.00	3,830.40	750.00	455.60	290.00	1,256.00	50.00	—	264.00	200.00	50.00	188.60	471.00	121.00	[illegible]	[illegible]	10,266.4[illegible]
	小計	20,713.65	13,148.10	2,400.00	1,920.00	1,680.00	1,565.55	—	47,991.80	27,783.00	6,550.00	3,756.80	1,810.00	4,186.00	390.00		1,716.00	1,800.00	400.00	1,509.50	3,058.00	1,808.00	400.00	850.00	73,672.9[illegible]
5	大鮑家崗子	2,769.70	1,839.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	6,632.00	3,780.00	800.00	586.00	300.00	400.00	70.00	—	396.00	300.00	50.00	200.00	330.00	—	50.00	[illegible]	9,981.7[illegible]
	達連屯	3,042.00	1,512.00	300.00	240.00	240.00	750.00	—	6,286.60	3,452.00	800.00	484.60	240.00	400.00	50.00	—	660.00	200.00	50.00	195.00	350.00	—	50.00	[illegible]	9,923.6[illegible]
	安心臺	2,599.50	1,669.50	300.00	240.00	240.00	150.00	—	3,551.00	2,091.60	400.00	215.40	150.00	200.00	30.00	—	264.00	200.00	50.00	132.00	1,670.00	1,500.00	50.00	[illegible]	8,002.5[illegible]
	鐵南庄	2,542.00	1,512.00	300.00	240.00	240.00	250.00	—	4,670.00	2,784.60	600.00	513.40	200.00	300.00	40.00	—	132.00	100.00	50.00	151.00	630.00	480.00	50.00	[illegible]	8,043.0[illegible]
	小河口	2,281.20	1,411.20	300.00	240.00	180.00	150.00	—	5,723.00	2,305.80	500.00	285.20	180.00	2,200.00	20.00	—	132.00	100.00	50.00	129.00	300.00	—	50.00	[illegible]	8,463.2[illegible]
	沙坨子	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	3,781.00	2,419.20	300.00	309.80	180.00	300.00	40.00	—	132.00	100.00	50.00	140.00	1,190.00	850.00	50.00	[illegible]	7,543.00
	珠爾山	2,133.20	1,263.20	300.00	240.00	180.00	150.00	—	2,931.00	1,575.00	300.00	252.00	120.00	200.00	20.00	—	264.00	200.00	50.00	107.00	330.00	—	50.00	[illegible]	5,551.2[illegible]
	宋家泡	2,353.70	1,483.70	300.00	240.00	180.00	150.00	—	3,931.00	1,890.00	800.00	357.00	150.00	350.00	20.00	—	264.00	100.00	50.00	133.00	550.00	250.00	50.00	[illegible]	7,317.7[illegible]
	石佛寺	2,442.00	1,512.00	300.00	240.00	240.00	150.00	—	5,435.00	3,049.20	800.00	377.80	240.00	300.00	40.00	—	528.00	100.00	50.00	166.00	1,625.00	1,375.00	50.00	200.[illegible]	9,718.00
	小計	22,545.30	13,715.30	2,700.00	2,160.00	1,920.00	2,050.00	—	42,940.60	23,317.40	5,300.00	3,381.20	1,760.00	4,650.00	330.00		2,772.00	1,400.00	450.00	1,353.00	6,975.00	4,455.00	450.00	2,070.00	74,363.9[illegible]
6	鎮西堡	2,151.90	1,341.90	300.00	240.00	120.00	150.00	—	4,820.55	2,772.00	629.55	305.00	100.00	500.00	50.00	—	264.00	200.00	50.00	145.00	230.00	—	50.00	180.00	7,397.45
	河夾心	2,452.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	220.00	—	3,913.55	1,921.60	504.55	221.40	100.00	540.00	30.00	—	396.00	200.00	50.00	109.00	456.36	100.00	156.36	200.00	6,980.91
	葉子崗	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,712.55	2,570.40	929.55	226.60	160.00	300.00	30.00	—	396.00	100.00	50.00	150.00	260.00	60.00	50.00	150.00	7,554.55
	羅家房身	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,644.55	2,116.80	627.55	280.20	150.00	600.00	40.00	—	528.00	300.00	50.00	145.00	230.00	-	50.00	180.00	7,451.55
	貝河村	2,312.70	1,442.70	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,195.55	2,293.20	529.55	246.80	100.00	300.00	30.00	—	396.00	300.00	50.00	137.00	1,310.00	1,200.00	50.00	60.00	8,005.25
	大青堆子	2,331.90	1,341.90	300.00	240.00	300.00	150.00	—	3,984.55	2,394.00	529.55	227.00	150.00	300.00	20.00	—	264.00	100.00	50.00	129.00	301.50	51.50	50.00	200.00	6,796.95
	紅崖咀	2,402.70	1,442.70	300.00	240.00	120.00	300.00	—	2,490.15	1,433.00	329.55	165.60	100.00	200.00	30.00	—	132.00	100.00	50.00	100.00	150.00	—	50.00	100.00	5,192.85
	東督盤	2,322.00	1,512.00	300.00	240.00	120.00	150.00	—	3,118.55	1,751.40	429.55	116.60	120.00	275.00	30.00	—	396.00	—	50.00	115.00	1,205.25	905.25	50.00	250.00	6,810.8[illegible]
	黃古洞	2,211.90	1,341.90	300.00	240.00	180.00	150.00	—	1,533.55	756.00	229.55	164.00	50.00	50.00	20.00	—	264.00		50.00	80.00	200.00	—	50.00	150.00	4,075.45
	老邊	2,209.95	1,310.40	329.55	240.00	180.00	150.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.00	46.00	200.00	—	50.00	150.00	2,505.9[illegible]
	小計	23,159.05	14,269.50	3,029.55	2,400.00	1,740.00	1,720.00	—	33,413.55	18,008.40	4,740.95	1,953.20	1,030.00	3,065.00	280.00		3,036.00	1,300.00	500.00	1,156.00	4,543.11	2,316.75	606.36	1,620.00	62,771.71
7	夏家樓	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,040.00	1,953.00	400.00	375.00	180.00	610.00	20.00	—	264.00	238.00	50.00	127.00	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	6,769.00
	前網戶屯	2,482.80	1,612.80	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,438.00	2,179.80	500.00	409.20	180.00	359.00	50.00	—	660.00	100.00	50.00	145.00	350.00	—	50.00	300.00	7,465.80
	孤山子	2,539.50	1,669.50	300.00	240.00	180.00	150.00	—	3,482.00	2,129.40	300.00	418.60	180.00	150.00	40.00	—	264.00	—	50.00	131.00	970.00	—	50.00	920.00	7,172.50
	娘娘廟	2,492.70	1,442.70	300.00	240.00	360.00	150.00	—	4,982.00	2,847.60	500.00	720.40	180.00	210.00	60.00	—	264.00	200.00	50.00	154.00	150.00	—	50.00	100.00	7,928.7[illegible]
	小明安碑	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	3,388.00	2,041.20	200.00	176.80	50.00	790.00	30.00	—	—	100.00	50.00	110.00	150.00	—	50.00	100.00	6,0[illegible]
	双樹子	2,211.90	1,341.90	300.00	240.00	180.00	150.00	—	3,681.00	1,562.40	300.00	194.60	240.00	900.00	20.00	—	264.00	200.00	50.00	109.00	350.00		[illegible]	[illegible]	6,401.90
	狼古洞坨	2,138.40	1,268.40	300.00	240.00	180.00	150.00	—	1,221.00	630.00	100.00	149.00	50.00	50.00	10.00	—	132.00	100.00	50.00	[illegible]	150.00	—	[illegible]	[illegible]	4,321.40
	双井子	2,281.20	1,411.20	300.00	240.00	180.00	150.00	—	1,710.00	945.00	100.00	153.00	120.00	150.00	10.00	—	132.00	100.00	50.00	86.00	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	4,417.20
	大江家屯	2,368.30	1,438.30	300.00	240.00	240.00	150.00	—	2,850.00	1,688.40	300.00	369.60	180.00	150.00	30.00	—	132.00	—	50.00	109.00	150.00		[illegible]	[illegible]	5,527.30
	小計	21,278.80	13,208.80	2,700.00	2,160.00	1,860.00	1,350.00	—	29,792.00	15,976.80	2,700.00	2,966.20	1,360.00	3,369.00	270.00		2,112.00	1,038.00	450.00	1,733.00	2,730.00		450.00	2,280.00	55,983.8[illegible]
8	阿吉堡子	2,303.40	1,373.40	300.00	240.00	240.00	150.00	—	2,456.00	1,638.00	200.00	116.00	90.00	150.00	10.00	—	132.00	120.00	50.00	103.00	891.4[illegible]	561.4[illegible]	[illegible]	[illegible]	5,803.8[illegible]
	烏巴海	2,303.40	1,373.40	300.00	240.00	240.00	150.00	—	6,078.75	3,301.20	900.00	344.80	240.00	350.00	40.00	—	396.00	506.75	50.00	171.0[illegible]	699.5[illegible]	249.5[illegible]	[illegible]	[illegible]	9,332.71
	古城子	2,754.90	1,404.90	300.00	240.00	180.00	630.00	—	7,267.00	3,011.40	900.00	486.60	240.00	1,650.00	50.00	—	264.00	665.00	50.00	171.00	391.4[illegible]	61.4[illegible]	[illegible]	[illegible]	10,684.8[illegible]
	蓮花臺	2,542.80	1,612.80	300.00	240.00	240.00	150.00	—	5,932.40	3,099.00	800.00	639.40	240.00	430.00	60.00	—	264.00	400.00	50.00	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	9,354.2[illegible]
	汪二臺子	2,281.20	1,411.20	300.00	240.00	180.00	150.00	—	4,128.40	2,011.40	350.00	261.00	180.00	700.00	30.00	—	396.00	200.00	50.00	126.[illegible]	891.4[illegible]	541.4[illegible]	[illegible]	[illegible]	7,477.0[illegible]
	長溝沿	2,382.00	1,512.00	300.00	240.00	180.00	150.00	—	5,270.00	3,011.40	900.00	446.60	280.00	250.00	50.00	—	132.00	200.00	50.00	162.00	1,493.8[illegible]	1,1[illegible]	[illegible]	[illegible]	9,387.8[illegible]
	王千總堡子	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	6,794.00	3,389.40	1,000.00	983.60	250.00	400.00	30.00	—	396.00	340.00	50.00	191.00	1,471.4[illegible]	1,[illegible]	[illegible]	[illegible]	10,579.1[illegible]
	楊相國屯	2,372.70	1,442.70	300.00	240.00	240.00	150.00	—	6,216.00	3,603.60	100.00	823.40	210.00	950.00	30.00	—	264.00	200.00	50.00	184.00	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	9,124.1[illegible]
	小計	19,313.10	11,573.10	2,400.00	1,920.00	1,740.00	1,680.00	—	44,142.55	23,065.40	5,150.00	4,111.40	1,760.00	4,880.00	300.00		2,244.00	2,631.75	400.00	1,287.00	6,490.42	3,640.42	400.00	2,450.00	71,6[illegible]
合計		172,011.75	107,168.65	21,029.55	17,305.00	13,740.00	12,768.55	—	320,944.20	174,519.00	38,685.95	24,930.10	13,333.40	34,782.00	2,710.00	—	20,064.00	11,919.75	3,500.00	11,062.10	39,618.68	23,646.52	3,606.36	13,3[illegible]	547,15[illegible]

註 康徳3年度は總豫算額 546,000 餘圓なるも現在の費用額よりみる時 600,000 萬を超過すると思ふ、外に保甲費 60,000 圓あり

三 治安工作

本縣に於ける治安は、昨年來驚異的良好を示して僅かに東方清原縣方面に東邊道方面から侵入する20～30名集團匪の出沒を見る程度であつたが、康德8年度に入つて急に東南方第2區清原縣境及第4區撫順縣境方面に、漸く其の出沒の度を加へて來た。

然し7月上旬に糸井部隊は、特別討伐隊編成し、之により殆ど東南方縣境に匪影を認めぬ様になつたが、之に引きつゞいて、縣に於て行つてゐる匪民分離宣傳、宣撫工作も多大の效果を收め、之に警察官の內部的の刷新及充實と相俟ち、保甲制度の整備と共に、一應的狀態を呈するに至つた。加ふるに7月末から日本守備隊の一部が白旗寨に駐屯後は、更に其の度を加へて目下平穩であるが、之を永久に持續せんと努力してゐる。

第4區撫順瀋陽縣境方面は、從來極平穩であつたが、金山好、草上飛、王司令、明山等の土共匪が漸次出沒するに至つた爲、本縣の現在に於ては治安の重點は全く同地方に在る狀態である。

叉法庫縣境から侵入した金山好の一味が分散して、20名余が1～2個道西地區、第7區、第8區方面に出沒してゐる狀態で、之が對策を講じてゐるが、今俄に樂觀出來ないものがある。

尚現在白旗寨に約40名の鐵嶺守備隊が、9月末まで駐屯してゐたのを機會として、同地域の徹底的粛正を行ふ爲、縣境山地にある家屋の集家を行ふと共に警備道路を整備し、警察隊を駐屯せしめ匪賊の入縣を防いでゐる。現在に於ける匪勢は次表に示す通りである。

匪數299名、匪首は11名であり、共匪は1名他は土匪である。警備區と行政區とは關係無く、鐵道以東3區以西には5區を設け、警察署は1箇所宛設けてある。

然しながら、治安狀況に就ては治安を克服するの見込みがたち、全縣が明るくなつた事は事實である

治安狀況調査

名稱	匪首	根據地	勢力範圍	匪數	武器數	摘要
土匪	振東	開原縣界	鐵嶺縣第1區第2區開原縣境一帶	11	長銃 11 拳銃 3	最近主に鐵嶺撫順縣境を横行しつつあり
〃	東江	清原縣	鐵嶺、清原縣境	16	〃 16 〃 6	
〃	九江	〃	〃	32	〃 30 〃 5	
〃	傻子	興京縣	鐵嶺、撫順、清原縣境	40	〃 30 〃 8	
〃	黑手	清原縣	鐵嶺、清原縣境	8	〃 3 〃 2	
〃	長山	〃	〃	35	〃 20 〃 15	
〃	北來	〃	〃	20	〃 18 〃 3	
〃	局勝	興京縣	鐵嶺、撫順縣境	25	〃 25 〃 1	
〃	明山	鐵嶺、撫順縣境	鐵嶺、撫順縣境附近	21	〃 12 〃 2	
〃	正山	興京縣 石人溝	〃	24	〃 24 〃 2	

名稱	匪首	根據地	勢力範圍	匪數	武器數	摘要
土匪	莫喜倫	法庫縣	鐵嶺、法庫縣境	7	〃 5 〃 3	
共匪	金山好	清原縣境	鐵嶺、撫順、清原縣境	60	〃 58 〃 2	

備考 康徳3年第2區縣境方面に於ける集家の實施、防禦の設備、交通網等を修築して以來同匪は同方面に於ける活動の餘地を失ひ、漸次第4區撫順縣境方面に移動横行しあり

（イ） 保　　甲

社會の秩序安寧を保持して、人類の幸福を增進して行くには、軍警力に俟つものであるが、民衆自體各人が、自治的に秩序を紊さぬのみならず進んで危害の防止に努めて、初めて國家の治安は全きを得るので、殊に支那、滿洲の如き情勢にあつて保甲法の緊切は感ぜらるゝのである。

今この本縣に於ける保甲狀態に就て略述しようと思ふ。

沿革　保甲の制度は遠く支那周代から比閭族黨の制があつて、地方の保安に任じてゐたが、それから降つて唐隋になつて漸く保甲の制度は備はり、清朝のはじめ順治元年に政府が令してこの制を州縣に行はしめた。次いで現今の 10 家を牌とし、牌長を設けたのは康熙乾隆年代からであつて、漸く完備して來たのである。

次で清の光緒 26 年拳匪の亂が起つてから、蓄賊が蜂起し、知縣と雖も之を處理することが出來なかつたので、省の首腦者及び地方の公正紳耆を若干人聘して保甲の計劃を立て、戸口を調査し四鄕の耆老を招集し、無事のときは散居し、有事のときは齊集する樣に計つた。而して城内に總局分鄕を 8 個所設け、その8個所は各々孝、勇、忠、信、仁、義、禮、智、で以て8分局とした。

標識は全境内に 66 保を設け、大保は 10 餘村、小保は7～8村で、毎保、保正1人、保副2人、其の下に100戸長若干人を設けた。

一鄕の家々は各連絡し、甲局の保と乙局の保とは丁度身體が臂を用ひて指さゝしむるごとくであつた。かくて、賊も身を容るゝところもなく匪賊も亦抵抗する力を失ひ、軍費も費さず治安を克保することが出來たのである。

次いで宣統1年に知縣徐鯤瑞の時に保甲の改革を行ひ、更に民國3年縣知事陳藝は再び改革を加へたのである。

その後二三の變遷を經て現今の制度に至つてゐるのである。

保甲狀況

現在南滿地域内で、本縣の保甲法は最も完備した縣の一つである。

滿洲國建國と共に、大同2年12月22日教令第 96 號を以て、暫行保甲法が布かれて以來の制度で行つてゐたのであるが、康徳3年7月から編制に改革を加へ、一層保甲の完全を期する爲に、1村1保主義に改めた。詳しくは別表に見るが如くである。

（ロ） 自　衛　團

自衛團の組織は2種に分れており、先づ保に於て主體となつて組織したのと、他は警察署長が保甲に命じて組織したものである。前者は資格として 18～30 歳迄の男子であり、義勇精神に缺陥なき者で、保内1

年以上居住者である。之は全人口の10%を占めてをり、之に該當せる18～40歳迄の男子で豫備團を設けてゐるが、團は1村1保を基にして組織するのである。

自衞團に與へられた使命としては、1 匪害、2 暴風雨、3 水火災、4 傳染病等に對策を講ずるにあるが、有時の際に役に立つを必要とする故に、訓練を重視してゐるが、武器は未だ所持せしめない。後者は警察より命ぜられた武裝自衞團である。之は純警察官と同様であつて、保甲自衞團中から選拔して編成し、全縣400名の團員を擁してゐる。

職業的自衞團は存在せず、義勇自衞團である。

自衞團の概況は次表に示す通りである。

保甲の役員及保長は、屯長の互選によつて之を決定する、尚その他の事は總て保甲法一般によつて行つてゐるので、別に特殊なるものはない。

鐵嶺縣保甲狀況（一）

年度	警察區數	保甲數			團數	團員數				武器			計両（7月—12月）		
		保數	甲數	牌數		無給 常備	無給 豫備	有給	計	長銃	拳銃	その他	戰死	戰傷	拉致
康德2年12月末	6	6	61	4,794	61	1,980	34,923	—	36,903	—	—	—	1	—	—
康德3年6月	9	9	151	5,868	151	675	38,977	—	39,652	70	—	—	—	—	—
同 7月	9	71	340	5,885	340	1,858	35,956	—	37,814	80	—	—	—	—	—
同 8月	9	71	340	5,903	340	1,909	35,864	—	37,773	117	—	—	1	—	3
同 9月	9	71	340	5,903	340	1,909	36,104	—	38,013	117	—	—	2	—	—

鐵嶺縣保甲狀況（二）

	賞罰件數 違坐罰						過怠金	褒賞	救恤	警察官數	
	內亂	外患	公危	叛徒	盜匪	火藥				行政	警察隊
康2、12	—	—	2	—	77	9	46	2	—	374	24[illegible]
康3、6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃 7	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—
〃 8	—	—	—	—	—	1	10	—	—	—	—
〃 9	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—

(ハ) 警察隊の人員

警察は縣公署內に警務局あり、警正1、警佐5で、33名中8名が日系（警正1、警佐2、巡官2、警士3）である。城內警察署をはじめ、第1區から第8區に各警察署が1ヶ所宛設けられてある。その分駐所は合計50ヶ所設けられ、第3區警察署を除く外は總て警佐が1名宛配置されており、警察員は合計572名である。水上警察署はこの以外に第3區馬蜂溝に設置され、巡官1名他13名である。水上警察は以前

營口警察の管轄する處であつたが、2 年前本縣に移管された。水上警察署の管區としては縣内のみならず河の上下に渉つて管轄してゐる。その外には特殊警察隊はない。

訓　　練

訓練は (1) 城内を主とし、(2) 縣境を主とし、(3) 中央の治安恢復せる部分を、主として行つてゐるが、

(1)は關東局附屬地警察に準據して行ひ、

(2) は武力を主とする爲、軍隊同樣で人選も之に準し思想堅固な土地の有力青年を選拔し、嚴重なる訓練を施し、自衛團と協力してゐる。

(3)は保甲や住民の生活に直接接觸し、搜査にも從事する(1)(3)は智識階級が多い。

訓練所は 1 ケ所城内にあり、年 3 回入所する、各 30~50 名の採用數である。

然し、治安の爲には警察の訓練充實のみでなく、保甲の方も緊密強化を怠らない樣に訓練してゐる。警察外には鐵嶺に日本軍が駐屯し、縣內鎭護の任に當つてゐる。

尙訓練所に騎馬警察隊 30 名があり、トラック 3 臺を備付けてゐる。

本縣の警備配置編成は、普通 1 等縣と同樣である。

縣 內 警 備 狀 況

警察局及警察署名	所　在　地	分駐所數	警　正	警　佐	巡　官	警　長	警　士	計
警　務　局	鐵嶺　城內	—	1	5	14	10	3	33
城　內警察署	〃	14	—	1	4	20	128	153
宿老屯警察署	號1區　宿老屯	4	—	1	1	5	31	39
大台子警察署	第2區大台子	8	—	1	5	9	[illegible]	84
大汎河警察署	第3區大汎河	4	—	—	2	5	31	38
范家屯警察署	第4區　范家屯	5	—	1	4	6	83	94
大鮑家崗子警察署	第5區大鮑家崗子	4	—	1	4	5	38	49
鎭西堡警察署	第6區　鎭西堡	3	—	1	2	4	24	31
夏家樓警察署	第7區　夏家樓	4	—	1	3	5	35	44
阿吉堡子警察署	第8區　阿吉堡子	4	—	1	2	5	34	42
水　上警察署	第3區　馬蜂溝	—	—	—	1	3	10	14
計		50	1	13	42	77	486	619

(二)　電信電話及び道路其の他

(a) 電　　話

本縣の警備網としての電話は從來のものを使用してゐるが、更に本年は縣營業電話を滿洲電信電話會

社に讓渡して、專ら警備專用の警備電話に改めてゐる。

警備電話は既に警察署並びに警察分駐所に設けてある外、更に本年 11,000 000圓を投じて增設補修中である。

(b) 電　　信

電々會社關係以外無いことは前述の通りである。

(c) 道　　路

警備道路は治安の根本であつて、又將來産業交通經濟築教育に大きい關係をもつてゐるので、本縣では特に新設改修に用意して之に着手してゐるが、山嶽地帶と河川多く、大部分が溪谷である爲、橋梁架設に苦心してゐる處であつて、多大の經費と相當の技術を要するのであるが、漸次經費を捻出して之が完成に努めてゐるものである。

鐵法縣道の以安溝の橋は本年竣成し、龍首山麓柴河橋梁は近く着手の豫定である。又9月より日人技術者1名を傭入れ道路橋梁の整備に當らせる豫定である。

道路の狀況は次に示す表の通りである。(路幅は大體5米)

區　　間	距離(粁)	修築年月
5區石佛寺～法庫瀋陽縣	3,456	民國 14 年7月
7區夏家楼～鮑家崗子	4,032	大同2年8月
5區新寨子～法庫、大孤家	13,248	〃
縣　城～2區夾河廠	73,000	大同2年9月
1區張家樓子～2區大甸子	20,000	〃
縣　城～4區鐙路	35,000	大同2年7月
3區遼海屯～4區横道河子	25,000	〃
縣　城～石佛寺	51,000	大同2年8月
縣　城～1區山頭堡	16,000	大同2年10月
縣　城～1區范耳山	19,000	〃
縣　城～7區娘々廟	34,560	康德2年5月
4區鐙路～5區鮑家崗子	14,400	康德2年10月
4區柴家堡子～4區三岔子	11,520	康德3年4月
7區娘々廟～8區大康屯	34,560	〃
2區白旗寨～清原縣南雜木	5,760	康德3年7月
2區大甸子～4區三岔子	40,000	康德3年8月
總　計	400,536粁	

(d) 治水工事

沿岸堤防は康德1年3月から起工して本年6月に至り、全長 45 粁を完成し、小河川(鐙路、新開河) 20 粁を修築したが、本年6月及8月の豪雨の爲、瀋陽、新民縣境の一部が決潰したのと、山地からの出水が多く8割以上の減收地(約15,000天地)を出したので、今後は各村に防堤機關を設けて不斷の修理に努むると共に、低濕地の治水工事に着手する豫定である。

本年に這入つてから

新設堤防　22,400米

補修堤防 10,665 米である。

四 産業經濟政策

（一） 農業實習所

縣經濟の根本は農村にあり、農村の振興は農村の中堅的人物を得るにあり、と言ふ見地から農業實習所を縣費を以つて設立して居る。

今其の内容を概述すれば次の通りである。

各村から村長其の他の有力者が推薦した青年 1~2 名を試驗の上入所させ、2 年間の農業教育、1 年間の精神教育を施し、卒業者は各自歸村して農村自力更生の原動力とする方針である。

入所人員現在 40 名 2 ヶ年で、縣下全村に當所卒業者 1 人宛を配置する豫定である。生徒の年齡は皆20歳以下の青年で、專任教師日人 2 人、滿人 2 名他に副參事官が所長を兼任して居る。

實習地は 10 天地で縣の農事試作場も兼ねて居る。

（二） 特産管理處(詳細は販賣の項參照)

當縣に於ける糧石買付は全部本處を通じて行はさせ、農民に對する不當な中間搾取を排除せんとするもので、日滿聯合組織をとつて居る、同處は縣立で總て現物取引に限られて居るが、當縣域に集る穀物の 5 割は當處を經由買賣されて居る狀態である。

（三） 農村の協同組合

本縣第 3 區大汎河村に黄豆の輸出組合、種鷄豚利用組合を設立し、縣より每年 200 圓の補助金を支出して居る。

何れも全村加入制で、普通組合員 1 圓、特別組合員は 2 圓宛出資し、更に縣から種豚 3 代雜種バークシャー 3 頭、鷄 40 羽を貸付けて居る。

督勵方針としては天下り式で無く、農民の自覺に依る設立申請があつた場合に補助金を交付し、設立せしめることになつて居る。

鐵嶺縣大汎河村鷄豚組合試行規程

第一章

第一條 本組合ハ鷄豚ヲ改良スルタメ各村屯ニ於テ鷄豚組合事務所ヲ設クル事ヲ得

第二條 本組合ハ試驗期間內ニ聯合事務所ヲ設ケズ縣公署實業股ニ於テ其ノ事務ヲ監督統制ス（暫時大汎河村ヲ試驗村トス）

第三條 組合事務ノ圓滑ヲ期スル見地ヲ以テ縣公署及縣農會ノ援助、經費ノ補助ヲ受ク

第四條 本組合ハ其ノ經費ヲ節約スルタメ事務所ヲ村公所內ニ附設ス

第五條 本組合ハ組合員ヲ以テ組織ス

第六條 本組合ハ組合長 1 名技術員兼事務員 1 名評議員若干名ヲ置ク

（一） 組合長ハ暫時村長ヲシテ兼任セシメ一切ノ事務ヲ管理ス

（二） 技術員及事務員ハ縣公署ニ於テ之ヲ選任シ其ノ事務ニ從事シ且ツ技術ノ指導ヲナス

(二) 評議員ハ組合員ヨリ推擧シ其ノ員數ハ組合長之ヲ決ス事務ノ建議及豫決算ニ事業ノ進行ニ關スル事項ヲ決議シ豫決算ノ査定ヲナス

第二章

第七條　組合事務所ノ所在スル村民ニシテ豚2頭以上鷄2羽以上ヲ飼養スル者ハ皆組合員タル資格アリ

(一) 本組合成立後3ケ月後ニ加入シタル者ハ須ラク現組合員2名以上ノ紹介ヲ要スルト共ニ組合長ノ承認ヲ要ス

(二)組合員ハ隨時組合費1圓ヲ完納スベシ組合費ヲ完納シテ後始メテ正式ニ組合員ト認メラル

但シ組合成立3ケ月以内ニ加入シタル者ハ優先組合員トシテ紹介人ヲ要セス組合費ノ免除シ隨時註冊スルコトヲ得

(三) 組合員ハ組合費1圓完納セル者及優先組合員ハ均ク終身組合員ト認メラル但シ其ノ相續人ハ其ノ權利ヲ承繼シ得ザルモノトス名義ヲ變更スル場合ハ須ラク規程ニ依リ組合費ヲ納ムベシ

組合員ハ退籍セル場合及規程違反ニ依リ除名セラレタル場合其ノ指導ヲ拒ミタルト雖モ組合費ハ返付セザルモノトス

第三章

第八條　本組合ハ組合員ノ生産ヲ増加セシムルタメ組合員ノ生産品ハ方法ヲ以テ販賣スルト同時ニ組合事務所ニ於テ共同輸出ノ事項ヲ施行ス

第九條　本組合ハ種鷄場及種豚場ヲ設置シ以テ組合員ノ使用ニ供スルモノトス

第十條　本組合ハ既ニ登記シタル鷄豚ニ對シテ必ラズ毎年2回ノ無料消毒及注射ヲ施行ス

第十一條　本組合ニ登記シタル鷄豚ニ疾病發生セル場合ハ本組合ニ於テ無料治療ヲナス

第十二條　本組合ハ組合員ノ輸出品ニ對シテ其ノ品質及疾病ノ有無ヲ檢査ス疾病ノアルモノハ消毒及ビ焚毀掩埋シ以テ其ノ蔓延スル事ヲ防グモノトス

第十三條　本組合ハ組合員ニ對シ鷄豚舍建築ノ設計ヲナス

第十四條　鷄豚病發生シタル時ハ其ノ登記セルヤ否ヤヲ論ゼズ本組合ニ於テ無料消毒及掩埋ス

第十五條　本組合ハ第二條ノ事項ヲ施行シタル場合ハ組合員ニ對シテ無料配種ヲナスコトヲ得

第十六條　組合員種豚種鷄ヲ購買セントスル場合ハ本組合ニテ實費ニテ代買シ或ハ種場ヨリ實費ヲ以テ分讓スルコトヲ得

第十七條　組合員ノ鷄豚ハ病氣發生シテ全滅シタル(廢レアル)場合ハ下ノ資格ヲ有スル者ハ第十八條ニ依リ種豚種鷄ヲ無料貸與シ得ルモノトス

但シ1ケ年間ニテ其ノ種豚種鷄ヲ回收シ以テ組合員ノ復活ヲ謀ルモノトス

(一) 牝豚2頭及牡豚1頭以上飼養スル者

(二) 種鷄10羽以上飼養スル者

第十八條　第十七條ノ事實アル場合ハ本組合ハ組合員ニ對シ種豚1頭種鷄2羽乃至4羽迄無料貸與スルコトヲ得但シ飼養數ノ多少ニ依リ之ヲ定ム

第十九條　豫防注射手術施行ノ誤ニ依リテ死亡セル場合ハ本組合ハ時價ヲ以ツテ之ヲ賠償ス　但シ無病菌ナルモノニ限ル

第四章

第二十條　組合員ハ本組合ニ參加シタル後ニ所有セル鷄豚數ヲ報告登記スルト同時ニ下記ノ手數料ヲ納ムベシ

(一) 成豚 (6ヶ月以上) 1頭ニ付年ニ　2角

(二) 成鷄 (　〃　) 1羽ニ付年ニ　1角

(三) 仔豚 (6ヶ月未滿) 1頭ニ付年ニ　1角

(四) 雛鷄 (　〃　) 免除但シ試驗期間內丈

第二十一條　本組合ハ鷄豚統制ノ爲之ヲ强制的ニ登記セシムル權利ヲ有ス

第二十二條　組合員ニ於テ飼養スル仔豚雛鷄ハ定ムル年齡ヲ超過後自家飼養或ハ讓渡スル場合ハ均ク登記費ヲ補納スベシ不納ノ場合ハ1倍ノ罰金ヲ課ス

第二十三條　登記事項ハ每年1月6月之ヲ施行ス

第二十四條　本組合ニ於テ組合員ノ生產品ヲ販賣スル場合ハ下記ノ手數料ヲ徵收ス

(一) 成豚　1頭　4角

(二) 種豚　1頭　1圓

(三) 去勢仔豚　1頭　1角

(四) 種仔豚　1頭　8角

(五) 雄鷄　1羽　1分

(六) 雌鷄　1羽　8分

(七) 雛鷄ハ前(五)(六)共半額トス

(八) 鷄卵　100個每ニ2角

第二十五條　第二十條及第二十四條ハ專ラ改良種ヲ指シテ謂フモノトス組合員普通鷄ノ販賣ヲ營ム場合ハ前二條ノ料金ノ半額ヲ徵收ス

非組合員ノモノモ之ヲ取扱フ但シ第二十四條ノ金額全額ノ手數料ヲ徵收スルモノトス

第二十六條　組合員間ノ賣買讓渡ノ場合ハ手數料ヲ免除ス

第五章

第二十七條　本組合ハ必ズ下記ノ帳簿ヲ置ク

(一) 現金出納簿

(二) 登記簿

(三) 組合員名簿

(四) 組合費手數料收入簿

(五) 分類出納簿

(六) 販賣登記簿

第二十八條　本組合ノ豫決算ハ必ズ評議員會ノ認可ヲ經テ縣ニ報告スベシ

第二十九條　本組合ノ會計年度ハ政府會計年度ヲ標準トス

第三十條　會計上ノ處理ハ須ク縣公署ノ指導監督ヲ受クベシ

第六章

第三十一條　本組合ハ組合費及各手數料ノ收入ヲ以テ組合資金トナス經費不足ナル場合及ビ其事業ヲ擴大スル場合ハ縣公署ニ補助ノ申請ヲナスベシ

第三十二條　本規程ニ記載洩レアルヲ發見シタル場合ハ臨時縣公署ニ申請スベシ

第三十三條　本規程ハ縣長ノ認可ヲ經テ之ヲ施行ス　　　以　上

（四）模　　範　　村

縣內に模範村3ケ所を、下記の通り選定して居る。

第3區　大氾河村は產業、協同組合方面を主とする。

第8區　阿吉牛堡子は共同利用の棉の乾燥室を設置して居る。

第3區　氾河屯は主として行政上の模範村たらしめんとして居る。

（五）縣農會を通じての農業獎勵方針

1　警備路及び遼河沿岸は落花生を獎勵す。

2　積極的に馬鈴薯の獎勵をなす。

3　煙草(バーヂニヤ種)農業實習所　大氾河村にて試作の上獎勵せんとして居る。

4　每年1回品評會を開催す。

一般農業行政は實業股に於て掌り、技術的な方面は縣農會で行ひ、試驗は農業實習所に擔當せしめて居る他、畜產方面で每年5,000頭の蒙古牛の生產力あり、之を充分統制して增產を圖る豫定である。

（六）治　　　水

遼河流域一帶に排水溝を作る計畫を樹立し、實業部から補助を受けて實施する豫定である

（七）財政經濟政策

村會費の整備節約をなし、全縣下で50,000圓の節約をなさしめた。

次に明年(康德4年度)小作制度を制定し、小作料は物納分益は地主3.5、小作人6.5の割合とし、金納の場合は1天地30圓を標準にし樣として居る。更に小作契約期限は小作人の掠奪的農法を排除し、地力の維持を圖る爲に、現在普通期限1ケ年の習慣であるが、之を3ケ年に延長する事を計畫してゐる。

尙近き將來に於て、肥料問題解決をも考慮せんとして居る。

五　教育及び宗教

（イ）教　　　育

（A）一般狀況

本縣下に於ては現在

縣立學校　18（內5は中等學校）

區立學校　10

村立　　　273（康德3年度には初級100級高級9級を增加した）

私立　　　3

以上の他に民衆學校118私塾18がある。

就學學生數は27,323名である（但し之は民衆學校及私塾196（男）は含んでゐない）が、之を民國19年の19,200名に比べると、大なる進歩と言ふべきである。

來年度には（康德4年度）初等小學校を全部街及村に移讓する樣研究してゐる。

新臺子小學校の如きは、今春文教部から模範小學校に指定されたので、日人教師2名を採用して勞作教育を校是とし、諸般の改善が計られてゐる。

本年春から開校した農業實習所は、各村自力更生の中心人物を養成する爲、農事知識の教授と共に縣公署と密接な連絡を保つて精神の訓育に努力してゐる。

鐵嶺縣各級學校統計表　（康德3年度）

設立別	學校數	學級數 高	學級數 初	學級數 計	教員數 男	教員數 女	教員數 計	學生數 男	學生數 女	學生數 計	備考
縣立	18	23	52	75	89	29	118	2,806	1,344	4,150	校長9人教員109人
區立	10	17	4	21	32	1	32	720	226	946	
村立	273	31	450	481	470	44	514	14,265	7,069	21,334	原爲271校後增蘇家屯西河夾心2校
私立	3	8	9	17	17	4	21	703	190	893	校長2人教員15人
合計	304	79	515	594	608	78	685	18,494	8,829	27,323	

（B）學校教育の方針

1. 滿洲國の建國精神を徹底せしめる。
2. 生徒の實力涵養。
3. 農業その他の實業の習得。
4. 勤勞を厭はざる氣風を養ふ爲に實習も行ふ、又畜類の飼養も行ふが農が主である。

學　　科

初級小學校　國文、日語、算術、修身、自然、體操、唱歌、手工、圖畫。

高級小學校　地理、歷史その他同上、實習地は村にある。

男子初級中學校　代數、幾何、物理、化學、其他高小に同じ。

女子初級中學校　家事裁縫を加ふ。

（C）學校數及系統表

一、縣　立

二、私　立

自彊日語學校（新井武八郎校長）	大同3年11月1日設立
協和學院（協和會設立）	康德1年設立

その他縣立圖書館

(D) 私　塾

私塾は現在18ヶ處存在してゐるが、生徒數は196名で男子のみで女子はゐない。

その授業料を示せば

1名年納授業料

最高	最低	平均
圓 12.00	圓 3.60	圓 6.50

である。

官立學校に對して有する關係は、官立學校少く又學校の設立も不可能な爲、私塾は官立學校の不足補助をなすもので、僻地村落地方農民の就學希望兒童を收容するを目的に、私塾が設けられてゐるが、現在の私塾教師は銓衡に依つて撰ばれ、成績不良者に對しては、目下命令を以て禁止し、學界の統一を圖る豫定である。

(ロ) 宗　教

當地で行はれてゐるものは佛教、キリスト新教、舊教、回教等であり、宗教では無いが、紅卍會が汎く行はれ、儒教は全部が之を修めてゐる。

佛教は城内に寺があるが、6割位の信仰者があらう。地方では1村に大抵一つの寺はある樣である。

天主教は舊教であるが、教會が城内に1ヶ所あつて、約1割の信仰者があり、地方には餘り見られない。新教は教會が城内に福音堂があり、2割位の信者で、地方には村に2ヶ所位ある。

伊斯蘭教は回々教で、城内に清眞寺と言ふ寺が一つある。村にはないが、信者は1割未滿である、

各宗教會の信者概數は次の通りである。

1. 救世軍	25人
2. 講演社	—
3. 滿洲國道德會鐵嶺縣分會	10
4. 大同佛教會	20
5. 清眞教會	1,629
6. 基督教會	159
7. 天主教會	305
8. 安息日會	266
9. 紅卍字會	97
10. 理世聯合會	110

六 義　　倉

本縣に於ける義倉は、次の地點に設置せられてゐる。

	名　　稱	設置地	管　　轄
(1)	鐵嶺縣本倉	縣城內	縣城內及附廓住民
(2)	〃 宿老屯分倉	熊官屯	第1區住民
(3)	〃 大甸子 〃	大甸子	第2區住民
(4)	〃 大汎河 〃	大汎河	第3區住民
(5)	〃 范家屯 〃	范家屯	第4區住民
(6)	〃 鮑家崗子〃	鮑家崗子	第5區住民
(7)	〃 鎭西堡 〃	鎭西堡	第6區住民
(8)	〃 夏家樓 〃	夏家樓	第7區住民
(9)	〃 阿吉堡子〃	阿吉堡子	第8區住民

各倉には倉長1名、辨事員1名、倉夫1名が、之を處理してゐる。

倉長は縣長から委任を受け、各倉庫所在地の保長が之を兼任し、縣長の命によつて倉庫及び儲蓄穀款の保管及び徵收に一切責任を負ふ者であり、辨事員は素行端正なる人3名を選出し、縣長、參事官が合議して之を採用する。然し此の外に又次の資格がなければならない。

（1） 資產 3,000圓 以上

（2） 初級中學以上の學校を卒業、又は之と同等の學力を有する者。

（3） 年齡 20 歲から 40 歲迄身體强健者。

辨事員は倉長の監督指揮を受け、徵穀款の收納、支出、帳簿整理、保管の事務一切を司る。

倉夫は倉長の擇用によつて、倉長及辨事員の指揮を受け一切に服務する。

又義倉委員會を縣公署內に設けて次の事項を司る。

（1） 義倉穀款の徵收、寄附その他一切の財產收入事項

（2） 義倉散放貸出手續其の他の穀款使用事項

（3） 義倉穀款の保管及變更事項その他倉庫建築修理事項

（4） 義倉財產の管理

委員會は會長1名で、縣長、副會長1名は縣參事官、委員若干名之は縣[illegible]官、主任、指導官、局長、經理官、倉長、保長、農商會長、市民委員長等が之に當つてゐる。

徵收は畝數割し、畝數によつて分等なく、每畝穀子8合を土地所有權者より徵收する。

戶別捐 （1） 一般住戶は、門戶捐によつて徵收する。

（2） 商工業者に對しては、商捐によつて徵收する。

(3) 貧戸に對しては、減免して之を徴收することが出來る。戸別捐の割合は別に規定されており、(諸税率の部參照)こゝには述べない。

鐵嶺縣に於ける各義倉積穀已徴、未徴の數目狀況は次表に示す通りで、大體成績良好である。又新舊義倉に於ける存貸穀款數目は次表に示す通りであるが、全縣の徴穀地は 1,628,643 畝である。而して又倉庫間數及容量は、分倉 8 所合計舊倉庫 50 間、新倉庫 21 間、總容量 20,316 石で別表の示す通りである。

鐵嶺縣新舊義倉存貸穀款數目表　(康德 3 年)

新倉之部

種別	積額數	積濟數	未積數	備考
糧石	石 13,029.144	石 12,800.640	石 228.504	全縣徴收面積 1,623,643畝にして1畝に付8合を徴收す
現金	圓 11,070.400	圓 9,730.200	圓 1,340.200	新制石に依る

舊倉之部

貸出種別	穀糧數目	換算金額	元金返濟額	利息返濟額	元利合計金額	未濟元金額	備考
穀糧	石 5,337.749	圓 40,033.118	圓 11,926.510	圓 6,274.930	圓 18,201.440	圓 28,106.608	貸出したる穀糧1斗を[illegible]圓高粱1斗0.5[illegible]圓に換算し現金にて返濟せしめたり 新制石に依る
紅糧	2,000.000	11,700.000	561.620	326.160	887.780	11,133.380	
現金	—	21,275.157	13,999.521	9,574.238	23,573.759	7,275.636	
合計	7,337.749	73,008.275	26,487.651	16,175.328	42,662.979	46,520.624	

鐵嶺縣各義倉積穀款己徴未徴數目表

倉別 \ 穀款數	積穀豫定額	積濟額	未積穀額	積金豫定額	積金額	未積金額	備考
鐵嶺縣本倉	石 63,584	石 63.584	石 —	圓 4,462.60	[illegible]	圓 561.90	新制石に依る
宿老屯分倉	1,371.424	1,369.000	2.424	751.30	631.00	[illegible]	
六甸子分倉	1,374.232	1,244.528	129.704	780.10	621.90	[illegible]	
大汎河分倉	1,953.040	1,926.888	26.152	1,177.00	1,158.60	[illegible]	
范家屯分倉	1,530.376	1,530.376	—	876.20	876.20	—	
趙家崗子分倉	1,551.464	1,481,240	70.224	854.90	473.50	[illegible]	
鎭西堡分倉	1,674.416	1,674.416	—	546.70	446,70	[illegible]	

倉別 ＼ 款數	積穀豫定額	積済額	未積穀額	積金豫定額	積金額	未積金額	備考
	石	石	石	圓	圓	圓	
夏家樓分倉	1,828,528	1,828.528	—	510.60	510.60	—	
阿吉堡子分倉	1,682.080	1,682.080	—	1,111.00	1,111.00	—	
合計	13,029.144	12,800.640	228.504	11,070.40	9,730.20	1,340.20	

鐵嶺縣義倉新舊倉庫間數容量表　（康德3年）

倉別	新倉庫				舊倉庫				共計		總容量	備考
	棟數	形狀	間數	容量	棟數	形狀	間數	容量	棟數	間數		
				石				石			石	
鐵嶺縣本倉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
宿老屯分倉	1	圓形	5	1,250	1	圓形	5	1,236	2	1[illegible]	2,486	
大甸子分倉	1	〃	4	1,000	1	方形	5	1,250	2	9	2,250	
大汎河分倉	2	圓方形	8	2,080	1	〃	3	900	3	1[illegible]	2,980	
范家屯分倉	1	方形	2	460	1	〃	8	1,840	2	1[illegible]	2,3[illegible]	
鮑家崗子分倉	—	—	—	—	2	圓形	11	2,200	2	11	2,200	
鎭西堡分倉	—	—	—	—	3	方形	15	2,400	3	15	2,400	
夏家樓分倉	2	方形	12	3,000	—	—	—	—	2	12	3,000	
阿吉堡子分倉	—	—	—	—	3	圓形	3	2,700	3	3	2,700	
合計	7	18(方)間 13(圓)	31	7,790	12	31(方)間 19(圓)	50	12.526	19	81	20.316	

第八節　產業團體

一　農　　會

（イ）　設立年代及び其の沿革の概略

光緒33年9月農商部より鐵嶺縣農務分會の創立を命し、宣統1年12月印[illegible]を下付され、商務會内に附設し、正式成立を告げた。民國1年部より條例を頒布され會則を定め、會長始め其他職員を選定し、民國12年5月農商部より民國1年頒布した條例を改正し、奉天省鐵嶺縣農會と改稱され、規模稍々擴大されるに至つた。民國14年9月移轉と同時に會長始め各職員改選され、民國16年11月農商部に於て農會條例を議定し、17年1月廳より該農會條例施行細則を送附され、同年7月1日更に改選した。民國20年3月縣より新農會法及施行細則傳達有り、幹事制に改め3月22日正副會長及幹事5名が決定した。大同1年6月省令に依り又會長制に復活し、康德1年7月西門裡より現會廳に移轉し交[illegible]東部元接生廳へ、同年8月に16年公佈された農會條例及施行細則を、暫時延用する様省令來り、康德3年5月省令を奉じ農會を整備し、縣長を會長に、參事官及び地方有力者を副會長並に評議員を[illegible]任職員とし、新に豫算を立て會則を議定して遂に舊農會を解散し、新農會を組織するに至つたのである。

（ロ）　役員の經歷及び給料

職別	姓名	年齡	原籍	履歴略歴
會長	趙景第		鐵嶺縣	
副會長	小島隆像		熊本縣	
同	石吉軒		鐵嶺縣	千當 4回 車馬員 2回
顧問	石之璋		同（城內）	
同	蔣枏芬		同（城內）	
評議員	王有文		同（1區）	
同	徐寶珠		同（2區）	
同	王家有		同（3區）	
同	呂佐門	43	同（4區）	
同	傅國秀	33	同（5區）	
同	李旭	36	同（6區）	
同	陸景生	38	同（7區）	
同	劉秀峯	45	同（8區）	

區農會は以前8ヶ所あつたが本年6月30日全部撤廢した。

（ハ） 會員は全縣の耕地主及農業學識のある者を會員としてゐる。（本年會員數不明

每區に付き會員代表1名推選

（ニ） 豫算決算

1. 康德2年收支豫算表

收入之部 種類	金額	說明
會費の徵收	圓 8,432.00	全縣耕地面積に付いて1,000畝每に會員1名勸誘す共內譯は自作農843名小作農158名農業學識及經驗を有する者52名面積計1,054,000畝1名年8圓
地租	30.00	本會は南林場に熟地206畝あり年に小作料30圓看山人に依賴して取扱ふ
合計	8,462.00	

支出之部 種類	實支金額	說明
人件費	圓 6,408.00	正會長1名月100圓副會長1名月80圓職員5名50圓苑[illegible]員2名各[illegible]圓ボーイ3名各12圓料理人1名10圓夜番1名8圓支給す
辨公費	1,270.60	
雜費	413.71	
小計	8,092.31	
事業費	369.69	東南兩林場の植林5萬株の栽培所要費なり
合計	8,462.00	

2. 康德3年度收支豫算表（本豫算表は康德3年7月1日より12月迄とす1月より6月迄は縣より支辨さる）

收入之部		説明
種項	金額	
會員費	8,500	耕地面積10畝に付0.10圓
合計	8,500	

支出之部					説明
款	項	豫算額	種目	半年豫算額	
1. 人件費		圓 1,770.00		圓	
	1. 馬車費	240.00			
			馬車費	240.00	副會長1名月20圓其他役員4名月各5圓支給す7月1日より12月末迄
	2. 津貼	510.00			
			職員手當	510.00	副會長1名月40圓技士2名各10圓其他職員特別手當25圓支給す
	3. 俸給	420.00			
			技術員俸給	240.00	技術員1名月40圓支給
			事務員俸給	180.00	事務員1名月30圓支給
	4. 給料	480.00			
			傭員給料	360.00	傭員3名月20圓宛
			夫役給料	120.00	夫役2名月10圓宛
	5. 賞與	120.00			
			賞與	120.00	
2. 事業費		5,250.00			
	1. 造林費	600.00			
			造林費	600.00	
	2. 養蜂費	250.00			
			養蜂費	250.00	
	3. 種鷄費	1,000.00			
			種鷄費	1,000.00	
	4. 養羊費	1,400.00			
			養羊費	1,400.00	
	5. 試驗費	150.00			
			試驗費	150.00	
	6. 村事業指導費	300.00			
			村事業指導費	300.00	
	7. 品評會費	350.00			
			品評會費	350.00	
	8. 獎勵金	200.00			
			獎勵金	200.00	
	9. 養豚場費	1,000.00			

支出之部					説明
款	項	豫算額	種目	半年豫算額	
		圓	養豚場費	圓 1,000.00	
3、事務費		1,080.00			
	1、會議費	150.00			
			會議費	150.00	
	2、旅費	200.00			
			旅費	200.00	
	3、修繕費	60.00			
			修繕費	60.00	
	4、文具費	120.00			
			文具費	120.00	
	5、印刷費	90.00			
			印刷費	90.00	
	6、消耗費	60.00	消耗費	60.00	
	7、備品費	90.00			
			備品費	90.00	
	8、煤炭費	90.00			
			煤炭費	90.00	
	9、電料費	100.00			
			電料費	100.00	
	10、雜費	120.00			
			雜費	120.00	
4、預備費		400.00			
	1、預備費	400.00			
			豫備費	400.00	
合計		8,500.00		8,500.00	

(ホ) 經費の徴收

1 課稅率　耕地面積 10 畝に付國幣 10 錢

2 徴收方法　村公所に委託し村公費と同時に徴收してゐる。

3 徴收成績　昨年度は 65%徴收濟本年度は未だ徴收せず。

4 滯納處分　無し

5 經費負擔の能力　耕地 1 畝年 1 錢の割合である爲、何等の困難を感ぜず皆負擔能力がある。

(ヘ) 實施事業

本年上半期令を奉じ整頓せしめられたが、各種計劃は未だ擧らず僅かに現狀を維持するのみで、茲に實行事業及將來行ふべき事業は次の如くである。

甲　實施の事業

1 造林 本年4月東林場に落葉松 54,000 株、油松35,000株、楡 39,500 株、槐 500 株、苔條 1,000 株植林し、南林場に油松 20,000 株、梧桐 4,000 株、計 154,000 株植林した、面積は 686 畝現に生育されるもの8割以上あり、舊來の分を加へて計 300,000 株で、植林の傍ら各村に造林方法を紹介し、造林の利を謀らんとしてゐる。

2 養蜂 康德2年第6小學校と合資して、養蜂場を始め本年より獨立飼養になり、現に蜂箱 50 箱あり各村に分讓し、共に養蜂の利を收めんとしてゐる。

3 養鷄 縣立第1初級小學校及農業實習所に委託し、各1ヶ所養鷄場の設備がある、各村に分讓し、家畜の改良に資せんとするのである。

4 本年1月會て全縣 70 主村より優良なる種子5種採集し、之を箱入陳列して觀覽に供すると同時に農產改良に資する。

5 山產の調査及山場を保護し、以て副業を振興すべく、又山產保護規則を制定して、天然の山梨、紅の木に山楂の木を接木する事を各村に勵行させ、又山產物組合を設け果樹の經營方法を紹介した。

乙 既に計劃し不日實行の事業

1 品評會の開催に係る章則を議定、並に農產、特產、山產及び工藝品を選集中である。11 月初旬に開催の豫定。

2 養羊出貸所 本會に於て多量の羊種を購入備付け、之を2回兩區の各村に貸與して其普及を期する。

3 農村之調査 土地面積、農產々量、食糧狀況、農民勞力、家畜勞役、農村經濟等の如く、又豆腐製造、小石採取、石灰製造、編織纖維業等の調査を行ひ、以て參考に供し改良を謀る。

4 病虫害及風水害等の調查豫防及救濟。

5 選種及種子交換の實施。

6 肥料製造。

7 種子消毒。

8 優良なる苗木の購入。

9 新式農具の購入助成。

10 山產の組合。

11 農產輸出組合。

12 蔬菜輸出組合。

以上各項は具體的な計劃であり、改組準備中の爲、未だ着手しておらぬが、今後逐次實施の豫定である。

(ト) 基本財產

本會は林場他2ヶ所所有してゐるが、南林場は下則地 206 畝で看林人が之を耕作して居り、其内草房6間計300 圓の價値がある、東林場には正瓦房5間計價 1,000 圓熟地 15 畝評價 150 圓があり、看林人が無料居住耕作して居る、其他林場2ヶ所 1,500 畝並に各種樹木 300,000 株あるが、培養期間である爲、收益は無い。又本會舍瓦門房5間は約 1,000 圓の價値がある。

(チ) 負債無し

（リ） 農會役員名、會員代表名、職員名．

鐵嶺縣農會役員名簿

職別	姓名	年齡	原籍	現住所	報酬	略歴
會長	曹秉弟	—	鐵嶺縣	城內	—	北京私立中華大學卒業省署秘書處課長河北豐潤縣知事海龍縣長
副會長	小島龍像	—	熊本縣	〃	—	本縣參事官省公署事務官
〃	石吉軒	[illegible]	鐵嶺縣	〃	—	奉天省立法政專門學校卒業推事區長區農會長縣農會正會長
顧問	石之璋	—	〃	〃	—	日本東京宏文書院畢業歴充勸學所長奉天省議員
〃	蔣桂芬	—	〃	〃	—	憲政講習所畢業奉天省議員元農會長清潔會長
評議員	王有文	40	〃	宿老屯	—	高小卒業村村長
〃	徐寶琛	41	〃	大甸子	—	高小卒業村長
〃	王家有	38	〃	大汎河	—	同
〃	呂佐周	43	〃	范家屯	—	范家屯高小卒業村長
〃	傅國秀	33	〃	鮑崗子	—	縣立第1小學卒業會員村長
〃	李旭	36	〃	鎮西堡	—	初小卒業文牘會計雇員村長
〃	陸景生	38	〃	夏家樓	—	初小卒業村長
〃	劉秀峯	45	〃	阿吉堡子	—	省立中學卒業村長

鐵嶺縣農會會員代表名簿

職別	姓名	年齡	原籍	現住所	報酬	略歴
會員代表	王有文	40	鐵嶺縣	宿老屯	—	高小卒業村長
〃	徐寶琛	41	〃	大甸子	—	同
〃	王家有	38	〃	大汎河	—	同
〃	呂佐周	43	〃	范家屯	—	范家屯高小卒業村長
〃	傅國秀	33	〃	鮑崗子	—	縣立第1小學校卒業會員村長
〃	李旭	36	〃	鎮西堡	—	初小畢業會計僱員
〃	陸景生	38	〃	夏家樓	—	初小卒業村長
〃	刘秀峯	45	〃	8區 阿吉堡子	—	省立中學卒業村長

鐵嶺縣農會職員名簿

職別	姓名	年齡	原籍	現住所	報酬	略歴
主事	張爾圻	27	鐵嶺縣	南門裡7號	—	公主嶺農校卒農會勸導員苗圃主任實業股長
會計	王澤溥	45	〃	西門外楊公館胡同7	—	鐵嶺初級師範卒教員現本會々計股長
事務員	張玉琨	45	〃	西門裡公立醫院胡同	30	奉天兩級師範校卒校長税捐局文牘教育局事務員農會文牘

職別	姓名	年齢	原籍	現住所	報酬	略歴
技術員	金堃	25	鐵嶺縣	東關富貴街1の4	40	東北農林學校卒業山海關苗圃技士
〃	黄富甲	2[illegible]	海城縣	西關蠶桑校	10	奉天敬業養蜂所養蜂場長3年鐵嶺蠶絲學校技士
〃	崔鳳琦	2[illegible]	朝鮮平安北道	奉天北關29號	10	奉天農家高級中學卒業現農業實習所教員

二 商會

本縣は嘗つて南滿交通産業の動脈であつて、物資集散の随一の中心地であつたが、當地に馬蜂溝の繁榮及び鐵嶺の發展を促した遼河は、滿鐵線が敷設されると共に次第にその意義を失ひ、又遼河修理不充分の爲、泥土堆積し舟運悪く、その上運賃高率な爲に運用價値を減じて來たので、昔日ほどの盛況は見られない有様である。本縣商會は本縣商工業の發展を目的として設置せられたものであるが、場所は城内倉房胡同にあり、成立年月は遠く光緒 32 年 4 月である。

本會の組織は會長を助けて副會長があり、之に日系連絡員があつて外部との連絡をはかつてゐる。

會長の下に書記長、水會隊長、同業組合、會常務が直屬し、書記長の下に會計係、庶務係、調査係がある。

縣城内に於ける商工業戸數 862 資本總額 603,270 圓で、店員總數 4,741 人全市商工業總額に對して 67.15%を占めてゐる。

三 金融合作社 (詳細は金融關係の項參照)

(イ) 以前の當縣の金融狀況

當地の金融業は、特産取引の興廢に依存してゐる事は勿論であるが、建國以前には東三省官銀號支行及びその傍系の積穀公濟棧があつて、特産買占めを目的として一般農商民に對し、放漫な放資を行つたのと、農村が好調であつた爲相應活潑であり、特に建國前 3～4 年は特産品取引が盛んであつた爲、奉天から正隆銀行が出張して對農商民金融をやつてゐた。

然し舊政權が没落してから右の様な金融機關は一掃されて、滿洲中央銀行支行が設けられ、亂雜であつた私帖流通券の回收に當ると共に、従來の情實的な貸付投機的金融の弊害を打破し、城内商舗 40 軒を得意先として貸出も亦官銀號時代 14 萬圓に對して 16 萬圓に達し、堅實な歩みを辿つてゐる。

この他に大正 7 年設立せられ、附屬地日本人商工業者に對する殆んど唯一の金融機關である朝鮮銀行支店があるが、貸出額は約 30 萬圓である。

又日華銀行は同行から大部分の融通を受けてゐるものであるが、貸出約 13 萬圓に達してゐる。

然し放漫な貸付のため、近年農村不況に際して多額の焦付債權となつて、結局銀行側は貸出手控をなすに至り、商工業者間には金融梗塞を來すこと相當深酷なものがあつた。

農業金融機關としては、公濟棧が閉店して後は特別な金融機關はなくなつた。

(ロ) 設立

鐵嶺金融合作社は大同 2 年 11 月 14 日奉天に金融合作社創設後、康徳 1 年 12 月 17 日にその支所として開設せられたのであるが、その後法令によつて財政部管轄に移つたのである。

(ハ) 職　　員

社長 1　理事 1　監事 3　評議員 7（之は議決機關であつて執行機關でない）

(ニ) 業務概況

康德3年9月11日現在で業務概況を各區別に示すと次表の如くである。

區別	社員數	預金額	貸付金額	摘要
1	人 172	圓 —	圓 4,205.00	
2	108	—	1,140.00	
3	302	—	13,270.00	
4	187	—	3,105.00	
5	299	—	15,965.00	
6	233	515.10	16,005.00	
7	152	—	11,929.00	
8	239	—	15,975.00	
9	23	—	637.00	
計	1,715	515.10	82,231.00	

又康德2年度後半期（7月1日—12月末日）の業務概況は次表に示す通りである。

康德2年度　鐵嶺金融合作社　事業概要　（自2年7月1日—至同12月31日）

項目	金額	備考
未收出資金	圓 5,050.00	
出資金	7,740.00	出資金及未出資金は6月末現在殘高であつて2年度中增減はない
貸出金	24,655.00	
預り金	13,634.21	
借入金	15,575.32	
社員數	1,455名	

康德2年度　預金なし

第二章　小作關係

第一節　一般的小作形態

縣つ一般的な小作形態を概觀すれば、地味の肥瘠、治安の良否或は水害等の立地的條件に依つて一律では
ないが、概ね次の如き形態をなしてゐる。

(A) 定　額
- 銀　納
  - 前　拂
  - 後　拂
  - 分　拂
- 物　納
  - 前　拂
  - 後　拂　｛2色又は3色均交
- 銀物混交

(B) 分　益＝物　納｛4：6　圃場渡し｝｛5：5　脫穀場渡し｝

地味肥沃であり、治安良好且其他の自然的條件も優良なる地方は定額銀納前拂の形態多く、之に反する地方は物納定額の形態をなして居り、前兩様の中間は銀納定額後拂若くは分拂又は銀物混交の形態をなしてゐる。

分益物納は極く僅少で親戚、知人等の間に其の關係を結ぶものが多く、次に大規模小作、共同小作等の特殊た小作形態はないが、城内附近には400乃至500件の菜園小作がある。其の外、出典小作等も相當點在し、全體の$\frac{1}{100}$乃至$\frac{2}{100}$を占めてゐる。

不在地主で親戚、知人等を中介人として小作人の能力狀態を調査し、或は直接親戚、知人を小作人として小作契約を結ぶものが約$\frac{1}{100}$で、殆ど全區に其の例が見られる。

尙地區別に小作形態の差違を窺へば、第3區は最も富裕た地區で銀納定額の形態多く、第1區第4區は、銀納、物納、5：5の分益等混然と散在して居り、第6區第7區も同樣銀納、物納、定額或は4：6の分益形態をなして居り、本縣としては中位の區に屬してゐる。

第2區は治安不良の爲、第5區第8區は水害の影響に依つて分益又は物納の形態が多く見られ、銀納定額は特に少い傾向を持つてゐる。

縣の一般的小作料

本縣の小作料は立地的條件或は治安の關係、小作人の多寡等に依つて異るが、1天地に付銀納最高35圓、平均20圓、最低10圓を標準とし、これより多少上下する程度で、物納は最高2.5石、平均1石7～8斗、最低1石位を標準としてゐる。

縣の一般的小作料並に1天地當收量及地價を次表に示す。

石は舊制に依る

區別	小作形態	1天地當收量	1天地當小作料	地價 最高	地價 平均	地價 最低	備考
		石	石	圓	圓	圓	
第1區	銀納、物納	高粱 5.0	高粱 2.0	300	250	180	中位
第2區	物納、分益	3.0	1.0	250	180	120	治安不良
第3區	銀納	6.0	2.5	350	280	190	最良
第4區	銀納、物納	5.0	2.0	300	250	180	中位
第5區	物納、分益	3.5	1.5	260	170	110	水害多
第6區	銀納、納物	5.0	2.0	300	250	180	中位
第7區	銀納、物納	5,0	2.0	300	250	180	中位
第8區	物納、分益	3.7	1.5	280	190	150	水害多

備考　上掲數は各區の一般的な標準を表記したものである。尙1天地當小作料は全部高粱を以て表はしてゐる。

第二節　小　作　契　約

一　小作料騰落の趨勢

本縣に於ける小作料騰落の趨勢を民國 11 年以降 3 期に類別して考察すれば次の如くである。

第1期　漸騰期　自民國 11 年　至民國 15 年

奉票の下落に由來して特産商品高騰し、其の影響に起因して地價も從つて暴騰し、1 天地 800 圓乃至 1,000 圓に達し、爲に金を貸して居た者特に入典者は莫大な損害を蒙つた。

小作形態は物納定額より漸次銀納定額に轉換して、末期には小作料が最高に達したのである。

第2期　最高期　自民國 15 年　至民國 20 年

前半期は銀納形態最高に達し、物納形態は全く銀納形態に移り、1 天地當小作料 35 圓乃至 40 圓を上下する樣になつた。

後半期は奉票下落と、民國 18 ～ 19 年の戰亂の爲、漸次下向の趨勢を辿つて來た。

第3期　漸落期　自民國 20 年　至康德 2 年

第 2 期後半期の影響漸く深刻となり、銀納率低下し物納又は分益の形態に變遷し、更に村費の高率賦課に依つて小作人の負擔が過重となり、小作料低落に一層拍車を加ふるに至つた。

此の時代の銀納は全體の約 2 割で、現在に至つては極貧區には銀納前拂の形態殆ど殘存せず、全く後拂或は分拂となつた。

然し第 7 區は今尙銀納前拂の形態を保ち、1 天地小作料 30 圓前後を示してゐるのである。

二　小作料附加物及び義務勞働

小作料附加物は主として莖稈類で分益形態に於てのみ存し、其の割合は契約書に依存し 5 ： 5 或は 4 ： 6 の割合である。

義務勞働は捞外靑（靑戶）の場合に地主が小作人に對し、食料又は役畜等を提供すれば、小作人は地主の盤炕（おんどる修理）抹牆（壁塗）等に出役する位のもので、勞働日數は小作關係に依つて一定しない。

其の他小作人の義務として耕作道路の修理を負擔して居り、降雨の多い年には 1 天地の耕地面積に對し約 2 ～ 3 町（日本里）の道路修理を 4 ～ 5 回行はせられる。

三　小作料納入の時期及び方法

小作料納入方法は銀納の形態に於ては小作人直接地主に納金するもの多く、物納形態に於ては小作人が納入物を地主の宅に運搬し、食費は小作人負擔とするのが普通であるが、地主が徵收に巡回する例もまた稀

ではない。

次に納入の時期は小作契約に依つて一定してゐないが、概略次の如くである。

銀納前拂	陰暦	11 月 3 月	物納前拂	陰暦	11 月	分　益	陰暦	11 月
銀納後拂	陰暦	9 月 10 月	物納後拂	陰暦	9 月 10 月	銀 物　納	陰暦	11 月 9月～10 月

尙分納は2回乃至5回位に亙つて居り、納入時期も確定して居らない。

四　租稅分擔に對する根本觀念

土地を對照とする諸稅を小作人が負擔する樣になつた習慣は、光緒 31 年小學校設置後村費を徵收され、地主は小作人に對して、其の負擔をさせるに至つたことから始まつてゐる。

小作契約書には此の分擔關係等が判然と記載がない爲、小作爭議の原因となり、村公所或は縣公署等に其の調停を煩はした事例も尠くない。

縣はこれに對して一般的な事例に鑑みて處決するが、村公所の場合は小作人は本意を曲げず村費を負擔しない者を生じたが、現在は土地使用收益に對する義務的な觀念として居る樣に窺はれる。

國稅の地主負擔は康熙1年頃に起生し、畝捐は光緒 31 年から地主負擔となり、民國9年には國稅と畝捐とを合併して納入する樣になつた。

更に遡つて滿漢不通婚、或は旗民不交產等の民族的排他的思想を「趙爾巽」が奉天省々長の時代に改革して、爾來漢人官吏を任官した場合は給料を支給し錢糧を徵收し、滿人官吏の待遇は土地を分與し、其の子孫の代に至つて免官した時は錢糧を徵收せりと言ふて居り、之が國稅の始めとなつたものゝ樣である。

其の後土地の移動は實に千變萬化にして、諺に「千年八百主」と稱せられてゐるのを見ても、其の片鱗を窺ふことが出來る。

五　小作人の過不足及び原因

本年は第2區に匪賊の襲擊を受け多數の廢耕地を生したが、其の他には全然廢耕地がない。之は小作料率高い場合は小作人は雇農階級に移り、極端に小作料低下せば地主は雇農を傭つて自作するからである。

六　特殊なる小作契約

園藝小作契約に就いて其の特質を述ぶれば、この小作關係は主として城内に見られ、小作料は普通小作の約3倍位である。

附加物は家屋・農具・井戶等で、契約年限は5ヶ年を通常としてゐる、之は葡萄の樣な永年作物（葡萄）を栽培する關係から長期契約が行はれてゐる。

白菜・甜瓜等は1ヶ年契約で、小面積であれば口頭契約をするものが多く、西瓜はまた輪作の關係上 20 年間に同一圃場に對して1回の契約をしてゐる。

小作面積は1～1.5天地位で耕作者は2人位を普通とする。小作形態は全部銀納定額分納で $\frac{1}{3}$ は契約時に納入し、$\frac{1}{3}$ は陰暦5月、殘額は陰暦 7～8 月頃納入してゐる。

尙特色を有する事柄は、菜園地の中に小作人が新畦を作製した場合は 10 錢、更に新畦に灌漑の便を圖つた場合は 30 錢、苗を定植した時は 50 錢を地主が支給し、之に反して小作人が畦を荒廢さした時、或は韮圃を小作した場合は、地主に對して前の小作料金を納入するものである。

菜園小作に依り日露戰爭當時莫大な利を收め、自作或は地主階級に向上した者も尠くない。

七　小作人の移動定着狀況

地主と小作人との關係は親密で概して移動性なく、多くは同一屯に定着して永きは數十年も小作關係を繼續してゐるのが見られる。

他縣より縣內に移住する小作人は全然ないが、縣外へ流出する者が相當にあり、主として吉林省密山縣で、1ヶ年に約200戶位移住し、鐵嶺屯を形成してゐる。尙三江省蘿北縣へ移住する者も多少ある。

之は小作料が低率で、小作條件良く、地主は小作人へ食料・農具・家屋等を提供し、且又耕地面積が大きく尙勞力拂底の爲、小作人を歡迎して居る等の事情に依るものであつて、特に第2區は治安不良の爲、縣外に移住する者が多い。

小作條件即ち小作料、小作期間、延滯利息、閏稅、畝捐、付費等の分擔關係等は地主と小作人合議の上決定し、契約書を作製するか、或は口約で契約を結んでゐる。

小作契約の方法は地方に依り、地主に依つて異なつてゐるが、契約書、口頭中介人、無中介人等あり、一般には口頭契約の無中介人が最も多い。特殊な小作手續は鮮人の水田經營に於てだけ見られる。

八　法院判決の事例

由來本縣は小作問題極めて少く、小作問題に關する法院判決の事例殆んどなく、村公所或は縣農會、縣公署等が調停の任に當り圓滿に解結し、法院の勞を煩はすことが少ないからである。

最近發生した法院判決の事例を揭げる。

小作爭議發生の原因は主として出典小作地に多く、物價の急激なる變動若しくは自然的災害、例へば水害、病蟲害、風、霜、雹害等に依り收量の激減せる際に發生する。

【第1表】　鐵嶺地方法院民事判決　簡字第147號

判　　決

原　　告　　劉　　星　　五　　住鐵嶺本城

被告人　　强　　國　　忠　　同　　　前

右兩造因解除租約涉訟一案本院判決如左

主　　文

原告與被告所立之租約應准解除被告所持之租契返還原告

訴訟費用由被告負擔

事　　實

原告請求判如主文之判決其陳訴事實要旨略稱被告於民國 21 年 3 月 16 日傾中張春生、黃文緒、強國治等承租原告之園地 16 畝內有草正房 4 間水井半眼水車半架並根菜畦 1,100 個言明按兩期交納租金大洋 200 元第 1 期由夏曆 10 月初 1 日交 100 元第 2 期至來年夏曆 5 月初 10 日交 100 元大同 3 年第 1 期租金應於大同 2 年夏曆 10 月初 1 日交納現已逾期數月屢經追討竟置而不理是以訴請判將租約解除被告所契之租契即與返還等語

被告答辯意旨略稱被告租種原告之園地租金未納因無現款等語

理　　由

查民法債編第 440 條第 1 項規定承租人租金支付有遲延者出租人得定相當期限催告承租人支付租金如承租人於其期限內不爲支付出租人得終止契約本件被告承租原告之園地應支付之租金已遲延數月不給原告在本院民事調解處聲請調解被告仍不肯支付因而原告請將租約解除依前開規定自應照准被告所持之租契須即返還原告據上論結原告之訴爲有理由合依民事訴訟條例第 97 條判決如主文

不服本判決於送達後 20 日內上訴於本院合議庭

大同 3 年 2 月 12 日

鐵嶺地方法院民事合議庭

推　事　李　省　三

本件證明與原本無異

書記官　達　人

大同 3 年 2 月 12 日

【第 1 表】 鐵嶺地方法院ノ民事判決

判　　決

原　告　人　劉　星　五　鐵嶺縣城ニ住ム

被　告　人　强　國　忠　同

右ノ兩者ハ租約ヲ解除スル訴訟ノ件　本院ハ左ノ如ク

主　　文

原告及ビ被告ノ樹立シタル租約解除ヲ許可ス、被告ノ所持スル租約證書ヲ原告ニ返濟ス。

訴訟費ハ被告ガ負擔ス。

事　　實

原告ノ請求ハ主文ノ判決ノ如ク、其ノ陳述シタル事實ノ要旨ハ、即チ被告タル者ハ民國21年3月16日ニ於テ張春生、黃文緒、强國治等ノ紹介ニヨッテ原告タル劉星五ヨリ菜園16畝、草房 4 間、井戸 1 眼水車 1 輛（2 戸共有）ヲ租借ス、菜園ノ畦ハ總テ 1,100 個ニシテ、小作料ハ 200 圓ヲ 2 期ニ分ケ、第 1 期ハ舊暦10月 1 日ニ 100 圓ヲ、第 2 期ハ翌年ノ 5 月 10 日ニ 100 圓ヲ納付スルコトヲ言明セリ、而シテ大同 3 年度ノ第 1 期ノ小作料ハ依然大同 2 年度ノ如ク納付スベキモノナルニ、現在既ニ數ケ月間ヲ過ギタルモ未ダ納付セズ、幾度カ催促シタリシモ之ヲ履行セズ、何等ノ回答ヲモセザリシ爲、訴訟ヲ起シテ租約ノ解除ヲ請求シタリ。

被告ハ答辯シテ曰ク、原告ノ菜園ノ小作料ヲ未納シアルハ現金ナキ爲ナリト。

理　　　由

民法債編第440條第1項ノ規定ノ査スルニ、小作料ノ滞納スル者ニ對シテハ、地主ガ當然其ノ期限ニ催促スルヲ得、小作人ガ若シ期限内ニ不納スル場合ハ、地主ハ其ノ契約ヲ解除スル權利ヲ有ス、本件ハ被告ガ原告ノ菜園小作料ノ支拂ヒヲ已ニ數ケ月遲延シタル爲、原告ハ本院民事調解處ニ調解ノ請求シタルモノナルガ、依然被告ハ之ヲ納付セズ、依而原告ハ租約解除ヲ請求セリ。

被告ハ規定ニ當然服從シ、被告ガ所持スル租約ハ直チニ原告ニ返濟スベシ、以上ノ論結ニ據リ原告ノ訴訟ハ當然ニシテ、民事訴訟條例第97條ノ判決ハ主文ノ如シ。

本判決ノ送附期日ヨリ之ニ服從セザル場合ハ、20日内ニ本院合議庭ニ訴訟スベシ。

大同3年2月12日

鐵嶺地方法院民事合議庭

推　　事　　李　　省　　三

本件證明ハ原文ト異ラズ。

書 記 官　　達　　　　人

大同3年2月12日

【第2表】 奉天鐵嶺地方法院民事判決　2年上字第162號

判　　　決

上　訴　人	尹	扶	卿	住高力站
右訴訟代理人	尹	國	忠	住同前
上　訴　人	王	百	川	住同前
被上訴訟人	朱	德	貴	住西豐
右訴訟代理人	呂	景	新	律師

右兩造因請求給付租糧涉訟一案上訴人不服本院簡易庭大同2年12月13日第1審判決提起上訴本院判決如左

主　　　文

上訴駁斥

第2審訴訟費用由上訴人負擔

事　　　實

上訴人等求將原判決廢棄另爲適當之判決上訴要旨略爲民王百川於民國18及20兩年租種被上訴人土地言明每年租糧紅糧元豆各40石已給付紅糧13石2斗元豆4石6斗現洋268元9角有李克功、宋文祥、周炳文、侯秀峰、可證惟至今未將帳目清算原審竟判令民給付紅糧元豆各40石實有未當云云、民尹扶卿並無給王百川作承還保情事原審判令民負承還責任實難甘服云云、王百川提出賬簿爲證

被上訴人求將上訴人等之上訴駁斥並判令上訴人等負擔第2審訴訟費用答辯要旨略謂上訴人王百川於民國20年春經上訴人尹扶卿作承保租種被上訴人土地言明每年租糧紅糧、元豆各40石立有租契所有民國20年租糧迄未給付有李克功、王者民、朱成章可證所收紅糧、元豆及現洋係抵還前欠民國18年之租糧有李克

功可證云云、提出租契一紙爲證

理　　由

本案被上訴人主張上訴人王百川拖欠民國20年租糧、紅糧、元豆、各40石擬提出租契爲證後經原租人李克功到案證明屬實足證其主張爲實在雖王百川辯稱已給付紅糧13石3斗元豆4石6斗現洋268元9角有李克功等可證至今未將賬目算清云云、被上訴人曾收此項紅糧、元豆及現洋已爲被上訴人所是認惟係抵欠民國18年之積租已經李克功證明其抗辯至今未將賬目算清云云、自不可信原審判令給付被上訴人紅糧、元豆各40石並無不當

上訴人尹扶卿爲王百川之承還保不惟經王百川、李克功、王者民、朱成章供認屬實且在德潤油房與王百川債務執行案本院於民國20年秋查封王百川之糧石上訴人曾提起異議之訴主張伊爲王百川租種被上訴人土地之承還保毫無疑意原審判決如王百川無力給付時該上訴人應代爲給付亦無不當據上論結本案上訴爲無理由爰依民事訴訟條例第517條判決如主文

審判長　推事　劉　瀚　漳
推事　李　省　三
推事　田　玉　明

不服本判決得於送達後20日內上訴於奉天高等法院

大同3年2月12日

本案證明與原本無異

大同3年2月27日

【第2表】 奉天省鐵嶺地方法院民事判決　2年上字第162號

判　　決

上訴人	尹扶卿	高力站ニ住ム
右訴訟代理人	尹國忠	前ト同ジ
上訴人	王百川	前ト同ジ
被訴訟人	朱德貴	西豐ニ住ム
右訴訟代理人	呂景新	律師

右兩名小作料タル糧穀納付ヲ請求スル件、上訴人ハ本院簡易庭判決ニ同意セズ、2年12月13日第1審ニ於テ提決シタ結果判決ハ左ノ如シ。

主　　文

上訴駁斥

第2審ノ訴訟費用ハ上訴人ヨリ負擔ス。

事　　實

上訴人等ハ原判決ヲ廢棄シ、別ニ適當ナ判決ノ下サムコトヲ請求ス、上訴ノ主旨ハ王百川ハ民國18年及同20年ノ2ヶ年間被上訴人ノ畑ヲ耕シ、毎年小作料タル糧穀ハ高粱、黄豆各40石ニシテ高粱13石2斗、黄豆4石6斗、現洋268圓90錢ノ既ニ納付セリト稱ス、當時李克功、朱文彬、周銘文及ビ侯秀峰ノ保證人アリテ、未ダ帳簿判然セヌ等、原審ハ上訴人ニ對シ高粱及黄豆各40石納付スル事ヲ要求セリ、斯ハ實

ニ不當モ甚ダシ。尹扶卿ハ王百川ノ保證人ヲセズ、然ルニ原審ハ尹扶卿ニ責任ヲ負擔ノ命令ブルモ、實ニ不當ナリト言フ、王百川ガ賬簿ヲ提出シテ證ス。

被上訴人ハ上訴人等ノ上訴ノ反駁シ、並ニ上訴人ニ對シ第2審ノ訴訟費用ノ負擔セシメントシ、答辯ノ要旨ハ上訴人タル王百川ガ民國20年ノ春上訴人タル尹扶卿ノ保證人ヲ受諾被上訴人ノ畑ヲ耕作シ、毎年高粱黄豆各40石ノ糧租ヲ記入セル借用證書ヲ有シ、民國20年ノ糧租ハ未ダ納付セズ、李克功、王者民、朱成章等ノ保證人有リ、受領シタル高粱、黄豆及ビ現洋ハ民國18年ノ未納ノ糧租ナル事、並ニ李克功ノ保證タル事ヲ言明シ、借用證書ヲ提出シテ證明ス。

理　　由

本件ニヨリ被訴人ハ原訴人タル王百川ガ、民國20年ノ糧租ハ高粱、黄豆各40石ニシテ借用證書ヲ提出シ以テ證明スルコトヲ主張シタルカ後、原租人タル李克功ノ證明スル所事實ナルニヨリ其ノ主張ハ眞實ナル事ノ立證ス、王百川ハ高粱13石3斗、黄豆4石6斗、現洋268圓90錢ノ納付セシコトハ李克功ニヨリ證明ス、現在ニ到ツテハ賬簿ハ判然セズト稱ス、被訴人ハ曾テ此ノ高粱、黄豆、及現洋ヲ受領セリト承認シタルモ、民國18年ノ糧租ハ李克功カ證明シ、完全ニ納付セズト稱ス、之ニ依ツテ原訴人ハ被訴人ニ對シ、高粱ト黄豆各40石ヲ納付セシメタル事ハ事實ナリ。

上訴人タル尹扶卿ハ王百川ノ保證人ヲ爲シ、王百川、李克功、王者民、朱成章ノ承認ヲ受ケタルノミナラズ、又查スルニ德潤油房ト王百川トノ債務執行ノ件ニ對シ、本院ハ民國20年ノ秋調査シテ王百川ノ糧石ノ封ジタル上訴人ガ、曾テ異議ノ訴訟ヲ提出シ、彼ハ王百川カ被上訴人ノ畑ヲ耕作スル所ノ承還保ト毫モ疑フ所無シ。原審ノ判決ハ若シ王百川ガ納付不能ノ場合ハ、上訴人ハ代納スルヲ當然トス。

上ノ論結ニ依リ民事訴訟第517條ニ依リ判決ハ主文ノ如シ。

審判長　推事　劉　瀚　障
推事　李　省　三
推事　田　玉　明

本判決ニ不服ノ場合ハ、送達後20日以内奉天高等法院ニ上訴スベシ。

大同3年2月12日

本件ノ證明ハ原文ト異ラズ。

大同3年2月27日

【第3表】 鐵嶺地方法院民事判決　1年簡字第143號

判　　決

原　　告　　宮　聘　卿　住　東　關

被　　告　　子　占　江　住　高　次

右兩造因請求退地涉訟一案本院判決如左

主　　文

被告應將租種原告生落拉馬臺村上地一段退歸原告

訴訟費用由被告負擔

事　　　　實

原告求爲如主文所示之判決其陳述事實要旨略謂被告於民國13年租種原告留落拉馬臺土地1段每年臨時議租或立租契或僅口頭約定至去年冬原告曾囑被告來原告處商議租地事詎被告竟不前來原告曾給被告寄信數封亦不回信至本年舊曆3月初7日原告特遣人給被送信一封言本年須增租並須交現租如願租種速前來訂定詎被告僅指來一回條增地租無論多少秋成再論現租辦不到査被告既不認可增租且肯交現租故原告不能再將地租與被告耕種三々提出回條一紙作證

被告請駁斥原告之訴並判令原告負擔訟費其答辯要旨略謂被告租種原告土地一般去年冬原告至被告處取租糧時曾與被告訂明本年仍歸被告耕種但金悲蕉有李不一一在場可證不意今春原告田地租大漲遂又要求增租並須給付規殊無理由云々提出信一封作證

理　　　　由

本案被告應否將前租種原告之土地退留原告宜就兩造本年是否曾訂有租地契約認定之本院査閱、被告提出原告所寄之信內載要旨須增租並須交現租原告提出被告所寄之回條內載要旨租金多寡租成再論不能交現租是被告對于原告之要約並未承諾其契約即不能認爲、成立因之原告請求退還土地即不能不認爲有理由雖被告辯稱曾與原告訂明本年仍有被告耕種金照萬有李品一在場可證云々、但査李不一係被告之至戚且在被告家傭工並轉租被告租得之土地耕種其他證言自不採

據上論原告之所爲有理由受依民事訴訟條例第97條判決如主文

鐵嶺縣地方法院民事簡易庭

推　　事　　田　　玉　　明

不服本判決得于送達後20日內上訴于本院合議庭

大同2年5月27日

本件證明與原本無異

書記官　　王　　海　　龍㊞

【第3表】 鐵嶺地方法院民事判決　1年簡字第143號

判　　　　決

原　　告　　宮　　聘　　卿　　東關ニ住ス

被　　告　　于　　占　　江　　高次ニ住ス

右兩者ハ土地返濟ヲ請求スル件　本院判決ハ左ノ如シ

主　　　　文

被告ハ原告ノ拉馬臺村ノ土地1ヶ所小作地ヲ原告ニ返濟ス。

訴訟費用ハ被告ヨリ負擔ス。

事　　　　實

原告ノ請求ハ主文ニ記載セル判決ノ如ク、其ノ陳述ノ要旨ハ被告ガ民國13年原告ノ拉馬臺ノ土地1ヶ所ノ租作ヲ爲シ、毎年臨時ニ協議シ又ハ被告ノ記入表ハ口頭ニテ契約スルモ、昨年ノ冬原告ガ被告ニ小作契約ニ關シ協議シタキ旨ヲ通知セシモ被告ハ到來セズ、其ノ後原告ハ被告ニ對シ、數回ニ亘リ通知セシガ、何ノ回答ニモ接セズ、舊暦本年ノ3月7日ニ原告ハ人ヲ被告ノ所ヘ特派次ノ事ヲ送信セリ、即チ本

年ハ必ズ小作料ノ増加シ、並ニ現納スヘキコト、被告人ニ於テ耕作希望アラバ原告ノ許ヘ来リ契約スヘキ事ヲ通達セリ。然ルニ被告ハ只一通ノ手紙ヲ送付セシノミニテ、小作料ヲ増ス事ニ對シテハ、幾何ナリトモ秋ニ至ツテ協議スルコト、前金納ハ不能ナリト稱ス、査スルニ被告ハ既ニ小作料ヲ増スコトヲ認メズ、且現金ノ小作料ヲ納付セヌ爲、原告ハ再ビ畑ヲ被告ニ耕作セシメズト稱ス。

被告ハ原告ノ訴訟並ニ原告ノ訟費ノ負擔ノ棄却スルコトヲ請求ス、其ノ答辯要旨ハ被告ガ原告ノ畑ノ小作シ、昨年ノ冬原告ハ被告ノ許ヘ小作料ノ催促ニ来タル際、嘗テ被告ト本年モ依然被告ニ耕作セシメル事ヲ言明セリ、但金ハ李丕一ガ保證人ニシテ、任意ニ今年春小作料騰貴シ、又小作料ノ増加シ、且現金支拂ト言フ如キハ不當モ甚シ、書翰ヲ提出シテ證ス。

理　　由

本件ニヨリ被告ハ原告ノ土地ノ返還スルヤ否カ、原告ハ被告ト本年、小作契約ヲ認可シタルヤ否カハ、本院ハ査スルニ被告ハ原告ヘ手紙ノ送付セル文面中「小作料ノ多少ハ論ゼズ成立後協議シ、現金ハ支拂不能ナリ」ト稱ス、之ニヨツテ被告ハ原告ノ要求ニ對シテ承諾セズ、其ノ契約ハ成立不能ナル爲、被告ハ原告ニ對シ本年モ依然被告ニ耕作セシメ小作料ハ前年ト同様ナルコトヲ證明ス、但シ査スルニ李丕一ハ元來被告ノ親戚ニシテ、且被告ノ家ニ雇傭サレ居ル者ニシテ被告ヨリ租借シテ耕作セリト稱ス。

上述ニヨツテ民事訴訟第 97 條ニヨツテ判決ハ主文ノ如シ。

鐵嶺縣地方法院民事簡易庭

推　事　　田　　玉　　明

本判決ニ不服ノ場合ハ、送達後 20 日以内ニ本院會議庭ヘ上訴スベシ。

大同 2 年 5 月 27 日

本件證明ハ原文ト異ラズ。

書記官　　王　　海　　龍㊞

第三節　小作關係の變遷

本縣の小作關係の變遷を總括的に述べると、以前は全部口頭契約で無中介人であつたが、最近社會狀勢の複雜化するに從つて有契約書中介人等の習慣を生じて來た。日露戰爭前は小作料も低額であつたが、戰爭當時勞銀並に穀價高騰の勢に乘じて俄然小作料上昇して來たが、其の後滿洲事變前後世界的な經濟恐慌の波動を受け、農村は疲弊困憊甚だしく、加ふるに康德 2 年は春期の旱害、秋期の水害等連續的な災害に遭遇し、收量皆無の地方を生じ、農民の食料は陰曆 4 月には全く缺乏し、其の窮狀は實に慘憺たるものがあり、殊にまた第 2 區の如きは匪賊の掠奪を受け縣外移住者を續出し、小作料低落に一層拍車を加へた。

次に縣內主要小作料變遷一覽表を示し參考の資とする。

縣內主要小作料變遷一覽表

小作型態	地區別	民國11年	民國12〜14年	民國15〜16年	民國17〜18年	民國19年	民國20年	大同1年	大同2年	康德1年	康德2年
銀納 物納（2色）	1	20圓 2石	30圓 2石	35圓 2石	35圓 2石	35圓 2石	20圓 2石	20圓 2石	20圓 2石	15圓 2石	15圓 2石
分益	2	5：5	5：5	5：5	5：5	5：5	5：5	5：5	5：5	5：5	5：5
銀納	3	25圓	35圓	40圓	40圓	40圓	25圓	25圓	25圓	20圓	20圓
銀納 物納（2色）	4	第1區に同じ									
分益	5	第2區に同じ									
銀納	6	第1區に同じ									
銀納	7	第1區に同じ									
分益	8	第2區に同じ									

備考　物納２色均交は高粱と黃豆である。石は舊制を以て表はす。

第三章　雇傭關係

第一節　雇傭關係の地域別特徵

鐵嶺縣は地勢的に見て東部山岳地帶と、西部平原地帶とに二分され、然も滿鐵本線は略々縣の中央を貫走し、此の二分化を裏書して居る如く思はれる。東部山岳地方と、西部平原地方には總ゆる點に於て發達の程度に共の差異を認める事が出來る。

鐵道沿線東部山岳地帶（第２區を主とせる地區）は丘陵起伏し、從つて耕地面積狹少（第１表參照）１戶當り耕作面積極度に少く、又一面地味惡く農產物1天地當り收量も西部地方に比し非常に少い。然も高粱繁茂期になれば匪賊の橫行常に甚だしく、最も鐵嶺縣に於て治安惡き地方である、故に以上の諸惡條件の反動として、近年撈裡靑、撈外靑が多く出現したと言はれて居る，治安惡きが故に高粱繁茂期には、地主は殆んど縣城內に居を一時移す狀態にある、此の地方では撈裡靑、撈外靑の多くの出現は當然の現象であると、思考せられる，他地方は概れ特別な雇傭關係はなるが、第３區地方は裕福な爲、雇傭の勞貨が他地方に比べて高いと言はれてゐる，然し縣統計（第３表）によると、第２區の日工勞貨が最も高く、第８區が最も低率を示して居る。

第二節　勞働力、勞賃及び勞働市場

本縣は其の開發年代古く、現在では可耕、未耕地殆んどなく、土地は極端に細分化せられ、（第１表參照）人口の割合に耕地少く、鐵嶺縣全體の農業勞働力は、過剩の狀態にある。

次に鐵嶺縣農村狀況統計表、各區別勞働過不足概數及び各區別勞賃の最高、最低、普通の賃銀を揭げて參考とする。

第 1 表 (康德2年6月末縣統計に依る)

區別	耕地面積	自作農			自作兼小作			小作農			被傭耕者戸數
		戸數	耕地面積	1戸當面積	戸數	耕地面積	1戸當面積	戸數	耕地面積	1戸當面積	
	畝	戸	畝	天地	戸	畝	天地	戸	畝	天地	戸
第1區	146.296	1,905	62,906	3.30	1,793	53,117	2.90	788	30,273	3.80	1,068
第2區	155.951	2,600	61,815	2.30	2,326	56,939	2.40	1,919	37,197	1.90	1,348
第3區	196.351	1,256	72,824	5.90	1,626	81,703	5.00	1,025	41,824	4.00	1,916
第4區	163.885	1,733	60,864	3.50	1,985	59,548	3.00	901	43,473	4.80	1,597
第5區	166.149	934	59,067	6.30	1,244	68,379	5.10	969	38,703	4.00	1,341
第6區	171.144	1,054	64,445	6.10	1,288	67,198	5.20	943	39,501	4.10	1,405
第7區	190.028	1,177	61,188	5.20	1,426	73,158	5.10	1,242	55,682	4.50	86[illegible]
第8區	189.005	720	58,861	8.10	1,619	87,862	5.40	915	42,282	4.60	1,684
第9區	8.030	36	50	1.40	81	2,500	0.03	320	5,480	1.70	6
合計	1,386.839	11,415	502,020	4.40	13,388	550,404	4.10	9,022	334,415	3.70	11,228

註 第9區は城内である。

第 2 表 (康德2年度縣統計に依る)

區別	過剩概數			不足概數		
	春	夏	秋	春	夏	秋
	人	人	人	人	人	人
城内	122	76	50	—	—	—
第1區	550	—	244	—	45	—
第2區	259	—	93	—	12	—
第3區	1,065	1,484	908	—	—	—
第4區	39	—	—	—	6	170
第5區	298	不明	—	—	—	320
第6區	557	517	—	—	—	144
第7區	—	280	—	645	—	1,020
第8區	—	—	—	170	46	415
合計	2,890	2,357	1,295	815	109	2,069

註 季節區分の春は自3月至5月、夏は自6月至8月、秋自9月至 11 月。

第 3 表 各區別農業勞働者賃銀表(康德2年度縣統計表に依る)

種類 / 區別	最高	最低	普通
	圓	圓	圓
城内	0.70	0.25	0.40
第1區	0.50	0.30	0.40
第2區	0.70	0.35	0.45
第3區	0.55	0.30	0.40
第4區	0.55	0.30	0.40

種類 區別	最高	最低	普通
第 5 區	0.55	0.30	0.40
第 6 區	0.53	0.28	0.40
第 7 區	0.65	0.30	0.40
第 8 區	0.50	0.25	0.30

第2表を見ると、第1、第2、第3區は勞力が豐富であり、第7區、第8區は最も不足してゐる事が分る。然し全體としては勞力は過剩であり、農繁期でも大擧、山東苦力群の來る事はないが、若干は、他縣より或は又山東苦力が入り込むが、其の數は不明である。

本縣の勞働者は滿洲事變以來稍其の數が增したと言はれて居る。

縣に於ける勞働力の配給所である勞働市場を見ると、1ケ年常設の市場と臨時開設の市場とに區別される。

（一） 常設勞働市場 （縣內2ケ所）

（a） 白塔寺勞働市場

鐵嶺縣公署西方約3町、西門の一角に高く聳ゆる白塔がある、此の白塔の下に勞働市場がある爲、白塔寺の勞働市場と呼ばれて居る。除草期及收穫期の農繁期になれば、勞働者最も多く集り400人に及ぶ。普通は概ね200人位である。

以前は西門の所に此の市場があつたが、今より 15 年前今の白塔寺に移り、勞働市場の開設以來 40 年を經過して居る。

此處に集る勞働者は農繁期には殆んど農家に雇傭せられるが、農閑期には土建の仕事をも爲す狀態であつて勞働者は無統制に來た者で、其等の把頭或は苦力頭なるものは無く、團結的力や或る組織の下に集つて居ると言ふ事もない。彼等は城內又は城內附近の者が多く、數年前又は數十年前山東より來つた者で、山東より來る農業勞働者は少ない。此處に注目すべき事は、山東よりの農業勞働者が北滿の地に行く途中鐵嶺迄來て旅費が缺乏した時、此處で日工となり賃銀を得て後更に北上する事である。之は以前は多かつたが、現在は減少した樣に思はれる。勞働者の雇傭者は縣城を中心として、30 滿里以內の農家が最も多い樣である。

賃銀の決定法は其の當時の物價の狀勢、勞働者の需給關係に依るのは勿論であるが、一般に雇傭者が此の勞働市場に集り、雇傭者自身で値段を定め、若し其の値段で勞働者が同意せぬ場合は、段々競上げて行く、然して一番早く連れて行つた値段が、其の日の賃銀となる譯である。

普通は 30 錢で食事附であるが、農繁期には 50 錢、60 錢となる。

（b） 大天町洋工市場 （城內附屬地）

此處の市場を洋工市と稱して居る如く、此處に集る勞働者は建築及び土木方面の勞働者で、農業に雇はれて行く勞働者はない。白塔寺の勞働市場より此處に來る者があるが、此處より白塔寺に行く者はない。此處には把頭が統制して居り、賃銀を決定する。普通賃銀 40 錢で食事は自分持である、最も多い時は 200 人を越すと言はれて居るが、普通は 100 人位である。

（二） 臨時勞働市場

除草期と收穫期の農繁期に、各區の大きな村には勞働市場が立つと言はれて居るが、詳細は不明である。次に知り得た丈を記すこととする。

（a） 第6區大青堆子臨時勞働市場

大青堆子は遼河の西で一番の大村で、西の鎮帯と呼ばれ本屯347戸である。陰暦4月15日から6月15日迄と、8月15日から9月15日迄1ヶ年に3ヶ月勞働市場が立つ、此處に集る者は、多き日は100人を越える。民國7~8年頃此の地方は水害を被り、荒地が多く出現し、其の復舊に勞働者を多く必要とした爲、自然勞賃も高くなり多くの勞働者が集つて來て、其の當時最も殷賑を極めた。

又殷賑を極めた理由の一つとして、當時日本人が甜菜を奨勵し、其れを買ひ上げてゐたが、當時其の栽培者多く、勞働力の缺乏が甚だしかつた爲であるが、然し此の甜菜も民國11年頃より耕作する者がなくなつた。現在此處に集る勞働者は、殆んど附近屯の勞働者である。

此の勞働市場は村公所の門前の廣場である。午前3時頃から勞働者は集つて來る、雇傭者も其の時刻前に來り、其の日の勞働者の數を見、村公所に集り其の日の賃銀の相場を定める、定めた賃銀により各々其の日の相場で勞働者を連れて行く。

勞賃の後拂ひなどの時、何月何日は勞賃いくらと言ふ證據の爲に、村公所は日々の勞賃を書いて年内は保存して置く。不幸にして康德2年度の賃銀表は旣に破棄してゐたので、賃銀の日々の高低を見る事が出來なかつた。村公所では此の市場の取締りを行つて居り、康德2年度に於て6月頃勞賃最も高く60錢位であつた。

（b） 第6區東貝河勞働市場

多い時は80人位集ると云ふが、普通50人位で、詳細は不明である。

（c） 第8區汪家荒地勞働市場

多い時は40~50人の勞働者が集る。

（d） 第7區倘三家子

法庫縣との縣境に在り、最西部の勞働市場として相當多くの人間が集る。此處は大青堆子と張り合ひ、地の利が惡い爲、勞働者の集りが少く、大青堆子の勞賃より安い爲、大青堆子と倘三家子の中間の農家又は大青堆子に寄つた農家迄も、倘三家子より勞働者を求むる傾向がある。

倘三家子と汪家荒地の市場の賃銀決定方法は、何れも市場が廟の前にあつて、前夜附近の地主、財産家等勞働者を雇傭する者が廟に集り、勞働者の數を豫想し勞賃を定め、其の定めた値段を翌朝廟の和尚が、本日の勞賃はいくらと言つて發表する、それが其の日一日の値段となる譯である。

然し和尚は自ら値段を決定する權限は有しない。

以上の如く第6區、第7區、第8區に夫々臨時勞働市場が立つのを見て、各區1ヶ所或は2ヶ所づつ勞働市場が立つものと思はれる。然も之等臨時の勞働市場に集る勞働者は、殆んど全部附近の屯より集る者で、縣外或は山東より來る者の少き狀態より見て、農業勞働の豐富なことが分る。

以上の各勞働市場より勞働者を雇傭する場合は、3日間は始めの約束又は相場の勞賃を支給し、其の3日間の内に勞働市場の値段が上つても又は下つても關係がない、又次の3日間は其の最初の日の勞賃で支給

する。之を「三日市」と稱して居る。故に永く勞働者を雇ふ場合は、3日目付の賃銀相場で支拂ふ習慣となつてゐる。

◎鐵嶺縣一般雇傭勞働賃銀

◎年　　工 {打頭的＝70圓、隨當的＝60圓}

◎月　　工＝8圓、高いのは9圓

◎炊　事　夫＝月4圓乃至5圓

日工		
	春	30錢～40錢
	夏（除草期）	40錢～60錢
	秋（收穫期）	50錢～80錢
	脫穀時	60錢

註　縣農會書記長の談。

次に康德2年度縣統計による農業勞工の賃銀を見ると次の如くである、

		最高	普通	最低
長工	年工	70圓	60圓	50圓
	月工	10圓	9圓	7圓
日工	播種時	40錢	30錢	20錢
	除草時	60錢	50錢	40錢
	收穫時	80錢	70錢	50錢

第四章　農耕生產

本縣に於ける康德2年度の作付面積は「145,083.9」天地で、1年度に於ては「141,863.8」天地で大して增加して居ない、今康德1年・2年度に於ける各作物の作付面積並に收量を示すと次表の如くである。

本表に依つて各作物の作付面積を見ると、2年度に於ては1年度に比較して包米・小麦・棉花・菸(米國種)・馬鈴薯が、皆々増加を示して居る。包米は本縣では比較的良く生育し、將來は穀子に代るべきものとなるであらう。小麦・黄色菸・棉花の増加は奨勵した結果であると言ふ。注目すべき事は馬鈴薯であるが、之は年々増加する傾向がある。食料として又1天地當收量も他作物に比較して多く、食料生產上より見ても土地利用上より見ても有利である。

之に依つて見ても本縣(南滿)では次第に集約農法に進んで居り、日本内地の東北地方の北部、北海道の如き農法に至る日も、間もない事と考へられる。

康德1年・2年度特に1年度は天候不順で、1般に收量は少なかつたと言はれてゐる。

次に地方別に依る1天地當生產狀態を示すと次の如くである。

主要作物各區別生產力

作目＼區域	第1區	第2區	第3區	第4區	第5區	第6區	第7區	第8區	上　地	中　地	下　地
黄　　豆	8.50石	8.00	10.00	12.00	14.00	9.00	11.00	10.00	14.00	9.00	7.50
副産物	1,200斤	1,000	1,200	1,300	1,500	1,200	1,300	1,200	1,500	1,200	[illegible]
高　　粱	14.00石	[illegible]	15.00	15.00	[illegible]	14.00	15.00	[illegible]	[illegible]	16.00	14.00
副産物	2,500斤	2,300	2,500	2,800	3,000	2,500	2,500	2,400	3,000	2,800	2,400
穀　　子	14.00石	13.00	15.00	14.00	15.00	18.00	14.00	13.00	18.00	15.00	12.00
副産物	1,400斤	1,200	1,500	1,400	1,700	2,000	1,500	1,300	2,000	1,500	1,300
小　　麦	7.50石	5.00	7.00	10.00	8.00	6.50	7.00	6.00	12.00	7.50	6.00
副産物	1,000斤	800	900	1,500	1,000	800	1,200	800	1,600	850	800
稗　　子	23.00石	14.00	20.00	14.00	30.00	15.00	20.00	14.00	23.00	16.00	14.00
副産物	1,800斤	1,000	1,200	1,000	2,300	1,500	1,700	1,200	1,500	1,400	1,200

註　度量衡は新制に依る。

即ち本表に依ると、第6區・7區が最も生產力大で、第2區は最も生產力が少ない。即ち第2區は山岳地帶で、然も植林少ない為、表土流失して土中に可吸態肥料成分の不足して居る事によるもので、第6區・7區の地方は比較的平地で然も昔河床であつた所で、今尚肥料成分殘存して居る為である。

本縣に於ける土中成分を見れば、有機質窒素最も不足を來して居り、燐酸加里之に亞ぎ、窒素肥料施肥に依つても收量に相當の開きを生ずると言ふ。(以下屯調査の地力減耗の項參照)

主要作物の分布狀態を見れば次の通りである。第1區は地勢稍高くて黄豆の栽培適地である。第2區は山岳地帶で、黄豆・穀子が栽培されてゐる。第3區は平原地帶で高粱・包米等が栽培されてゐる。第4區は東部稍高く黄豆が栽培されて居り、西部は平地であつて、高粱が栽培されてゐる。第5區東南部は平地であつて、高粱が栽培され、西部は河川有り水稗子が栽培されてゐる。第6區は平地多く高粱栽培され、運河沿岸一帶は小麦が栽培されてゐる。第7區は平地であつて、高粱・黄豆が栽培されてゐる。第8區は小麦・高粱等が、栽培されてゐる。

第五章　市場關係

第一節　概　　觀

一　縣の特殊性

（イ）　縣の位置及び沿革

鐵嶺縣は大連より北に距ること292哩、新京より南方145哩の地點に在り、山東南北滿洲を縱貫する樞要街道中部に位し、且滿洲平原を貫流する遼河の水運の便を有し、開港場として營口との間に古くから取引が行はれ、滿洲中部の商工業地即ち物資の集散地、經濟都市として殷賑を極め、其の出廻り範圍も廣く東は今日の奉吉線沿線の各地、西は法庫門を通じて遠く蒙古奥地とも交易してゐた。

當時は黄豆、黄豆粕、高粱、瓜子等が、營口及奉天に向け輸出され、綿布、緞子、鐵器類、砂糖、アンペラ等が、營口及奉天より水路又は陸路船、又は大車によつて輸入されてゐたもので、仕入價格の安價な營口より輸入されるのが大部分を占めてゐた。

然るに光緒24年南滿鐵道開通するに及び貨物の運賃政策と、輸送の迅速化は著しく水運を減殺せしめ、併せて沿線各地の新市場開設によつて益々出廻量が減少した。

殊に奉吉線、大通線の開通は背後地の特産物を吸收し、鐵嶺市場の衰退を餘儀なくさせたのである。

新市場として見るべきものは、縣内南部に位する新臺子及縣外北部の開原で、之等市場に禍され逐年減少の一途を辿り往時の面影の見るべきものはないが、地理的自然的條件に惠まれた鐵嶺の地は容易に朽つることもなく、中滿屈指の市場として其の名を馳せてゐる。

而して近郊の景勝地龍首山は、既に滿洲に於ける名所として、その眺望の雄大さは滿洲隨一との定評があり、今後一般遊覽者の招致により一層その發達が約束されてゐる。

（ロ）　販賣購入關係

事變前に於ては官憲の不當政策に禍されて、當地の出廻り不振は其の極に達したのであるが、事變後此の障碍は除去された爲、出廻も遽かに增加するに至つた。

事變直後は大集團匪賊の跳梁によつて尠からざる損害を受けたが、翌年は稀有の豐作て銀價の昂騰並に特産物の暴騰に惠まれ、損害も緩和された外、治安の恢復に伴ひ人心も安定し、購買力も增加して來たのである。

近年特産物の不振の爲、農民の疲弊加はり取引も消沈の狀態を呈してゐるが、全體的に見れば事變後は前途期待裡に堅實なる進展振りを示してゐる。

現今綿糸、綿織物、化粧品、薬品、麦粉、砂糖、塩、磁器類、アンペラ等が安東、大連、奉天等より輸入されてゐるが、輸入品の大部分は日本製品で9割餘を占め、主に朝鮮經由安東より入るものである。
輸出品としては黄豆、黄豆粕、高粱、穀子等が、大連、安東、奉天及營口等に出てゐる。

(ハ) 商工業の狀況

遼河の水運を有し、廣範圍に亘る出廻中心地としての中滿唯一の大市場である鐵嶺は、自然的に雜貨舖、糧棧等農民相手の商店軒を並べ商業大いに發達し、鐵道開通前に於て雜貨舖100餘、大糧棧50餘、小糧棧24を算し、殷賑を極めてゐたものである。
鐵嶺は又工業地としても發達したもので、交通の至便、水量の豐富、工場敷地選擇の容易、並に人夫供給の自由、勞働者賃銀の低廉等各種の好條件に惠まれ、古くから織物、製粉、油房等の諸工業が發達し、中でも製粉工業は滿洲に於ける嚆矢であると言はれてゐる。
之等諸工業は歐洲大戰の好況に惠まれ一時殷盛を極めたが、戰後の不況に禍され休止したものが多い。然し大消費地としての大奉天を控へてゐる關係上、工業地としても將來の躍進が期待されてゐる。
康德2年度に於ける商工業の營業種類68、商數1,132、資本637,040圓である。

(ニ) 治 安 狀 況

縣內治安狀況を見ると、事變前後殊に直後は大匪賊の跳梁少くなかつたが、滿洲國建設と共に諸政の刷新充實に伴ひ逐年減少し、警備道路の完成と電話網の擴充とは西部山岳地帶の一部を除き、匪賊の橫行を許さず治安確立の狀態にある、從つて穀物の市場搬出等の如きも、昔時より警備を附する樣なことはない。

(ホ) 縣 の 政 策

鐵嶺縣は土地肥沃で穀物の不足を來す樣な事は殆んど無い。從つて縣外移出或は穀價の暴騰に對する價格の統制の如きも行はれたことはないが、中部を貫流する遼河、柴河、范河等大小河川の多い爲、氾濫による被害が多く、殊に民國18～19年6～7月の氾濫は交通杜絕實に1ヶ月、被害耕地50,000天地に達したと言はれて居る。
斯くの如く河川の氾濫による農作物の被害は農民の經濟力に彈力性を缺かせることが大きい爲、之が救濟策として民國19年護岸工事に着手大同2年度本流、康德2年度支流を夫々完了したもので、將來は水害は緩和されるものと思はれる。

(ヘ) 取 引 關 係

往昔に於ける中滿唯一の大集散地としての鐵嶺は、自然的に發達の過程を辿り、穀物の取引の如きも統制ある基本取引を行つてゐたものであるが、大同2年9月20日公正圓滑な市場とする目的で、特產物[illegible]設立され、中間搾取の排除による農民の負擔輕減、並に商品價値の向上に努力してゐる。

二　調査屯の特殊性

調査屯は鐵嶺縣城の西方45滿里の地點にあり、鐵嶺から法庫に通ずる國道に沿ふ夏家樓屯の西南1滿里の地に在る部落で、第7區夏家樓村の附村41戸の農家より成る純農村である。

鐵嶺法庫間には鐵法長途汽車公司經營の公共汽車が毎日2往復運行し、屯より僅1時間で鐵嶺縣城に達し得る、然し乍ら一般農民は自動車を利用することなく、大車又は徒歩に依て往復するもので、冬季道路の凍結せる頃（農民は響道と稱す）は5時間、降雨期（濘道）は8時間餘を要する。

1日で往復可能である爲、穀物の販賣、生活必需品の購入は、多くの場合縣城に於て行はれる。

本屯は中滿唯一の大集散地鐵嶺を控へ商品經濟に發達したもので、往時より販賣作物として高粱、穀子を栽培しており、約100年前より黄豆、陸稻を栽培するに及び殊に黄豆の如き世界的商品作物に於て經濟界の影響を受けることが多く、村民の經濟力も自然變遷して來たものである、今日世界經濟界の不況に依る黄豆價格の下落は、農民の經濟的伸度を著しく縮少せしめてゐる。

南滿鐵道の開通は鐵嶺に於ける物資の集散を激減せしめたが、本屯は地理的關係上古來より鐵嶺を中心として今日に及んでゐる、即ち穀物搬出の如きも特殊のものを除き鐵嶺に出廻るもので、[illegible]出廻は1割に滿たぬと言はれてゐる。

康德3年9月には遼河に雙安橋が架けられ交通上の利便に伴ひ、縣城とは益々緊密の度を増加しつゝある。本屯には古來より特用作物の栽培無く、蔬菜類の如きも僅少のものが、屯內で賣買されるのみで、他屯又は縣城に搬出するが如きことは行はれてゐない。

商品化作物としては黄豆、陸稻、穀子、高粱の範圍に限られてゐるが、南滿通有の土地細分化と、搾取的農業經營とは地力の減退を招き生産量尠く、從つて販賣する量も亦尠い。

然し自然經濟を離れ現金經濟に進歩したこの地方では、穀物の現金化は必然的に行はれるもので、食物の如きも自家用高粱、穀子の他黄豆、陸稻等は賣却し現金に代へるものであるが、生産尠きこと及び大車、役畜の不足等の關係によつて庭先渡しをする者が大部分を占めてゐる。縣城に搬出するとしても數名共同するか、或は役畜、大車の借用又は屯外輸送業者の雇傭によるものが多い。

副産物として穀子稈、高粱稈の賣買が行はれてゐるが、冬季間に限り夏家樓村の廣場で市場取引されてゐる。

雇農階級は農閑期に草刈、馬糞拾ひ等によつて増收の途を講じて居り、農耕者が肥料として之を購入するものである。

第二節　販　賣　事　情

一　販賣事情の沿革

鐵道開通前は出廻り範圍も廣く遼河の船運、又は陸路大車によつて營口、奉天等に輸出されてゐたが、開

通後は新市場の開設、併行線の開通等に禍されて、背後地の出廻を奪はれたばかりでなく、縣内に於ても南北に分散する様になつた。
現今移出先は大連、奉天、安東、營口等であるが、船運は全く行はれてゐない。

（イ） 商品化作物の變遷

最近朝鮮人移民による水稻作の異常な發達増加がある。即ち本縣は水利の便に富み、水田適地を有し、夙に鮮人によつて開拓されてゐたが、事變後は逐年増加を示してゐる。
其の他粳子の朝鮮向輸出減がある。即ち日本に於ける米増産計畫と併行して殖民地産米増殖計畫も樹立されて以來、米の過剰生産による米價の下落を招來し、米作農業の内地農民を悲慘のどん底に陥らせ、之が救濟策として殖民地内産米消費が劃策され、それが爲、輸出粳子に對しては從來の優遇を廢止する様になつた爲である。

（ロ） 出廻量の變遷

鐵道開通前の鐵嶺は現在の奉吉線沿線地帶一帶を背後地とし、即ち東豐、清源、西安、西豐、開原並に撫順、西は康平、昌圖及法庫門を通して遼源及び蒙古奥地より出廻つたもので、1日の最高出廻3,000車1ヶ年買付總計120萬石に達し殷賑を極めたが、南滿鐵道開通後開原市場の開設を見て以來逐年減少し、光緒25年以降は1日の最高出廻2,000車1ヶ年總計85萬石、新台子市場開設により更に民國8～9年頃は1日の最高出廻1,000車1ヶ年總計45萬石、奉海線の開通により背後地は奪はれ康德2年度末に於ては最高出廻1日600車年總計23萬石に過ぎない。
斯くの如く今日の鐵嶺は昔日殷盛の面影もなく、衰微の一途を辿り來つたものである。

（ハ） 販賣條件の變化

往時は馬車取引で糧棧は道路上に農民を待受け賣買を行つてゐたが、中滿の大市場として殷盛に赴くに連れ斯かる取引は人數及び廣大な地域を要し、價格且品質の比較、選擇の不能等不便多く、自然的に見本による取引が行はれる様になつた。當時藥王廟門前は市場として殷賑を極めてゐたが、その後北門外に於て行はれるに至つたもので、現在では東門裡特産物管理處構内で行はれてゐる。
見本取引は上述の如き諸缺點の除去に寄與したことは勿論であるが、農民側の異物を混入する不正行爲、若くは契約を破棄して他賣所謂「一糧二賣」又は糧棧側で契約後院内に搬入させ、異物を理由に單價の切下を行ふとか、或は掌盤人、斗官、挑夫、檢査員の收賄等の不正行爲多く、之を矯正し公正且圓滑な取引を行はせ、併せて商品價値の向上による市場再興を理想として、大同2年9月20日北門外に特産物管理處の設立を見た。而して縣城出廻り糧穀は總べてこゝを經て取引されてゐるのである。
特産物管理處は康德2年12月20日改組され、康德3年3月1日現東門裡に移轉、構内で晴雨の如何を問はず取引を行はせてゐる。8月1日以降は新制斗量を用ひてゐる。
管理處設立によつて、農商の經費負擔輕減を示すと次の如くである。（大同2年10月1日）

名稱	上年應納數目	農商分擔數	收受者	本年納數目	農商分擔數	收受者	本年輕減數
斗用	每石 大洋1角	農戶 5分 商戶 5分	粮車店斗用小洋4元 售糧會[illegible]小洋[illegible]元	每石大洋4分	商戶2分 農戶2分	粮車店 斗用3分 特產物[illegible]1分	每石 大洋6分
扦倒錢	每石 小洋5元	農戶 2元 商戶 3元	歸扦夫	每石大洋6分	農戶3分 商戶3分	歸扦夫	每石減大洋2分3厘
粮樣子	每石 打粮1升	農戶	歸買粮商號	每石打粮1合	農戶	歸買粮商號	每石 減 9合
[illegible]價	每石 2角	〃	〃	無	無	無	全減
倒口袋小費	每石 大洋5分	〃	歸扦夫	〃	〃	〃	〃
斗捐	每石 大洋6分	農戶 3分 商號 3分	歸財務局	每石大洋6分	農戶3分 商號3分	歸財務局	不減
斗夫勒索小費	每石 大洋4分	農戶	斗夫	無	無	無	全減
掏汰粮樣	每石 1升	〃	歸買粮商號	〃	〃	〃	〃
總計	每石7角3分3厘	農戶6角3厘 商戶1角3分		每石1角7分	農戶9分 商戶8分		每石5角6分3厘

(ニ) 特產物管理處

特產物の公正な取引を圖り積弊を改善し、集荷の增進を促し、鐵嶺市場の再興を圖る目的を以て日滿協力により成立したるもので、會長1名、副會長2名、議員7名を置く、會長、副會長は日本側商工會議所會頭、鐵嶺縣商務會長及び縣農務會長が分任する。議員は日本側より2名滿洲國側より5名で、選任によつてゐる。次に事業概要を示すと

(一) 市場秩序を圖る爲開市時間を規定した。(取引方法參照)

(二) 市場立會人の整理

市場立會人として掌盤人、買糧人はそれぞれ願書を提出し、認可章を交付された者及び農民以外の出入を禁じてゐる。認可章は掌盤人には糧經紀、買糧人には入場證と夫々番號と共に刻明されてゐるもので、必ず胸部に付することになつてゐる。

(三) 「一糧二賣」の弊害を防ぐ爲1人1個以上の見本は許さない。

見本は車店備付けの手布又は袋に少量入れ掌盤人に依賴するもので、手布又は袋には車店名と番號が記入され、管理處の認印が捺されてゐる、契約後買糧人は手布又は袋に見本少量を入れて持歸る、若し見本と現物と異る場合には管理處へ訴へ出る。

(四) 約定價格の變更防止

現物を院內に導きたる後、異物を理由に糧棧側に於て價格の切下を強要し、契約不履行の場合は管理處に訴へ出る。

(五) 立會人の派遣

契約不履行の訴に接した時は、管理處から立會人を派遣する、立會人は鑑定により是非を訊し、取引を履行せしめる。

(六) 掌盤人、扦夫、斗官の不正防止

作物 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
[illegible]米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	29.35
小糜子	52.34	1.10	1.40	—	—	—	—	—	—	0.53	13.42	61.49	130.28
小米	3.10	1.66	3.30	9.17	4.60	3.00	14.47	8.72	1.26	—	1.18	65.32	115.78
糜子	7.73	4.00	—	4.32	—	—	—	—	4.60	—	8.95	2.83	32.93
元米	20.02	3.80	1.27	1.51	3.34	—	—	—	0.40	—	1.55	21.10	52.99
江米	37.99	22.06	1.00	1.00	16.69	0.40	—	—	—	2.38	7.49	19.00	108.01
膝米	11.36	—	16.26	4.70	19.03	—	—	—	—	—	—	13.70	65.05
黴豆	4.17	0.58	1.32	—	0.21	—	—	—	6.12	5.36	9.99	12.48	40.23
黄豆	—	0.84	—	—	—	—	—	—	—	11.33	3.51	126.82	142.50
青豆	0.64	—	—	1.05	—	—	—	—	—	—	1.03	—	2.72
蘇子	10.28	10.42	0.25	—	12.75	—	—	—	—	—	12.98	12.97	59.65
雑粮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.00	—	1,620.33	1,631.33
合計	42,967.91	13,263.6[illegible]	8,759.26	7,244.84	1,731.65	1,812.89	2,257.21	5,740.79	11,400.22	23,005.51	40,267.[illegible]7	6[illegible],[illegible]42.3[illegible]	[illegible]

上表によつて明なる如く出廻量は12月を最高とし、1月、11月、10月の順となるが、之は10月以後は冬仕度及び金錢貸借の決濟であり、12月、1月は年関を控へての準備費入用によるものである。

次に月別による賣却理由を示すと、

月別	作物別	賣却理由
9月	陸稻、黄豆、高粱、穀子、稗子、蕎麥	脱穀費（日工勞賃）、冬季準備、
10月	〃	借金返濟、納稅、冬季準備、
11月	〃	〃
12月	〃	納稅、借金返濟、年關準備、
1月	〃	年工、月工、賃銀支拂、小作料、
2月	〃	〃
3月	〃	播種準備、月工、日工、賃銀支拂

本屯は季節別の販賣作物の種類、生産量及び大車役畜の少い關係上、鐵嶺に搬出すること尠く、納稅、借金返濟、冬季準備の爲、價格の騰貴を待つて賣却することなく、糧販子へ庭先で早賣を餘儀なくされる場合が多いが、12月迄は一度に賣却するよりも數度に分けて賣却するのが普通であつて、年度を新にした賣却量も少く僅かに小作料、年月工賃銀準備として殘すことがあるに過ぎない。

本屯の小作料は前拂定額金納が普通行はれ、年工の如きも就勞1～2ケ月内に契約金の全額を支給する關係上、不足額を親戚、知己より借款することがある、然して借款は總べて年内10月が決濟期とされてゐる。

三 搬出方法

治安比較的良好な爲、往時より警備を附することなく搬出してゐたもので、搬出方法は次の如くである。

（イ） 自家勞力により搬出する。

（ロ）　少量の場合は人に依頼する。

（ハ）　他の農家が大車で搬出する際、好意的に積載して貰ひ自分も随行する。

（ニ）　運送業者を雇ふか、大車又は役畜を借りて搬出する。

（ホ）　各自大車、役畜を出し合ひ共同で搬出する。

人に依頼する場合大車家畜の借用共同搬出は普通親戚、知己間に於て行はれ料金を要しないが、運送業者の雇傭又は大車、役畜を借用する時は料金を支拂ふ。（料金は運賃参照）本屯は鐵嶺まで冬季 5~6 時間で到達するもので、出廻期ともなれば往還の人馬絶えない為、開市時間に間に合ふ様夜中出發するもので、即日賣却歸宅可能であるが、日用品の購入その他の都合上搬出當日 1 泊するのが普通である。

宿泊所は大車店で、宿泊料は 1 車に付 30 錢食事は車店に於て供せず、各自飯店に於てなすものである。役畜の飼料も又車店に於て給せず農民各自が持参する。

四　出廻狀況

縣内出廻は地理的關係により北部と南部に分けられる、勿論價格、販賣條件、交通路、治安狀況の良否等により一定しないものであるが、北部に位する地域即ち 1、2、3、6、7 區は縣城へ 4、5、8 區は新臺子へ出廻るものである。

（イ）　出廻を決定する條件

本屯より出廻地迄の里程、所要日數、交通關係、治安狀況を示せば次の如くである。

地名	里程	所要日數	交通關係	治安
縣城	45 滿里	1 日～2 日	四季良好	良
新臺子	80 〃	2 日	冬季のみ良好	良

本屯は地理的關係上、その出廻も普通鐵嶺を主とするが、油房關係に依つて品質による價格の差が大きい爲、不良物の取引が行はれない場合がある、且取引も煩雜であるから比較的取引の容易な新臺子に搬出することもあるが稀である、而して大車を雇ふて搬出する様な事は全く行はれず、搬出するとしても自家勞力によるものである。

（ロ）　賣却狀況

階級別	賣却				備考
	賣却價格	鐵嶺賣却	狼陌子賣却	其の他賣却	
地主	圓 270.66	石 18.96	石 37.05	石 —	新制石に依る
地・自	1,150.80	170.64	6.75	8.10	
自作	468.50	—	68.31	15.93	
自・小	893.00	40.29	122.85	—	
自・小・雇	520.00	—	81.00	10.80	
自・雇	152.40	5.93	23.76	—	
小作	202.00	9.81	31.86	—	
小・雇	429.50	15.42	55.35	10.80	
計	4,086.86	261.05	426.93	45.63	

(ハ) 本屯縣城に於ける糧穀販賣價格

作物名	地名	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
		最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
黄豆	本屯	錢 55.5	錢 55.5	錢 55.5	錢 55.5	錢 57.4	錢 57.4	錢 62.9	錢 62.9	錢 62.9	錢 62.9	錢 62.9	錢 62.9
	縣城	60.7	48.9	66.2	58.2	63.2	59,0	65.4	60.3	65.4	61.1	59.9	47.2
高粱	本屯	48.1	48.1	48.1	48.1	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8	55.5	55.5
	縣城	56.9	50.6	65.8	50.2	65.4	54.8	69.6	54.8	75.9	68.3	72.9	63.3
穀子	本屯	48.1	48.1	48.1	48.1	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8
	縣城	49.7	46.4	59.0	48.5	57.3	50.6	54.0	50.6	59.0	55.6	56.1	54.8

作物名	地名	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
		最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
黄豆	本屯	錢 59.2	錢 59.2	錢 53.7	錢 53.7	錢 55.5	錢 55.5	錢 59.2	錢 59.2	錢 59.2	錢 59.2	錢 59.2	錢 59.2
	縣城	56.1	48.1	54.9	47.6	62.4	50.6	71.3	61.6	67.5	62.9	64.1	61.6
高粱	本屯	55.5	55.5	55.5	55.5	55.5	55.5	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7
	縣城	77.2	65.4	82.2	[illegible]	67.5	48.5	56.1	47.6	56.1	49.7	51.4	49.4
穀子	本屯	51.9	51.9	51.9	51.9	50.6	50.6	50.6	50.6	50.6	50.6	50.6	50.6
	縣城	56.5	54.0	55.6	54.9	52.7	46.4	58.2	50.6	54.0	46.4	50.6	43.0

(ニ) 運　　賃

本屯より出廻地迄穀物を運搬するに要する運賃は大體次の如くである。

地名	數量	降雨期(夏季)	結氷期(冬季)
縣城	1斗	0.12圓	0.03〜0.04圓
	1車	5〜6圓	2.50〜3圓
新臺子	1斗	—	0.10圓
	1車	—	5〜6圓

本屯内で運送業を營む者は1人も無く、總べて屯外多くは法庫縣方面から入つて來る者を雇ふ

(ホ) 糧穀税の相異

鐵嶺縣下に於ては各地とも糧穀税は同率で、糧穀公定價格によつて賣却價格を算定し、課税するもので税率は租税公課の欄を參照。

(ヘ) 桝目の相異

桝目は鐵嶺新臺子は同一であるが、各區によつてその數量が異る樣である。

地方名	舊斗1斗の新斗に對する量
鐵嶺	2斗07
新臺子	2斗37
本屯	2斗70

五　取引方法

（イ）　農民が穀價を知る方法

本屯は鐵法國道に近く毎日2往復の公共汽車（乗合自動車）の運行を見る外、出廻季節ともなれば遠く法庫方面から搬出する者等往還の多い關係上、其等より聽取するのが普通とされてゐる。

（ロ）　取引方法の種類

出廻地鐵嶺に於ける取引方法は、特産物管理處構内に於て行はれる見本取引に限られてゐる。

（ハ）　特産物管理處に於ける取引

農民は先づ大車店に至り見本として、豫め備付の手布又は袋に少量の穀物を入れ掌盤人に依頼し、共に市場に行き賣買契約を行ふのであるが、先づ買人は掌盤人と掛合品質の如何によつて豫め價格を定め、而して後農民の諾否を聽き其の承諾によつて初めて契約が成立する。

管理處からは市場立會人が出て取引の最高最低價格を掲示し、院内整理、不正防止取引の圓滑を圖つてゐる。

（一）　掌　盤　人

往時に於ても大車店で雇傭し、店業組合が許可してゐたのであるが、特産物管理處設立以來管理處の認可を得て身分を取得するもので、一定の章を胸に付してゐる。

掌盤人は大車店に集つた農民より見本の依頼を受け、市場に於て農民を代表して買粮人と掛合ふものである。各大車店には必ず雇傭してゐるもので、食事附年 80 圓～100圓を支給してゐる。

（二）　斗　　夫

斗夫も亦大車店で雇傭してゐるが、縣城には 78 人ゐる。

食事附月 8圓～18圓を支給され、專ら計量に從事してゐる。而して雇傭期間は出廻最盛期の10月～2月の5ヶ月間であつて、出廻量減ずるに連れ人員を減ずる傾向がある。

斗夫の身分取得は斗夫誓願書を特産物管理處に提出し、認可されたる者であつて、一定の章を胸に付してゐる。

斗夫に不正行爲のあつた時は身分を剥奪される。

（三）　抗　　夫

抗夫は約100年前より世襲權を持つ様になつたもので、權利の賣買の如きも 30 圓～ 40 圓で行はれてゐる。

鐵嶺縣城を東南西北の四つに區分し、各區には頭目があり統制してゐるが、頭目は互選によつて決定し、各區には頭目以下124人の抗夫が居り、1日毎に區域を交代し一巡するものである。

頭目は毎朝特産物管理處市場に出て、受持區内各糧棧の買糧を調べ抗夫の配置を考慮する。

抗夫の給料は管理處取引規定に制定せられた抗倒糧袋1石に付 2.1 分であつて、買粮側より徴集する。而して各抗夫の當日の總收入金額は均等に分配するのであるが、特に頭目は抗夫の2倍即ち2人分を取得する權利がある。

（ニ）時　　期

晴雨の如何を問はず行はれるもので、休市は端午節、中秋節、及び年關より正月6日迄である。市場の繁昌する期間は 10 月から翌年2月迄である。

（ホ）時　　間

季節により異るもので最も早きは夏季の午前5時、遅きは冬季の午前7時である。

自 12 月 26 日	至 3 月 1 日	午前	7 時
〃 3 月 2 日	〃 4 月 11 日	〃	6時 30 分
〃 4 月 12 日	〃 5 月 11 日	〃	5時 30 分
〃 5 月 12 日	〃 8 月 14 日	〃	5 時
〃 8 月 15 日	〃 9 月 21 日	〃	5時 30 分
〃 9 月 22 日	〃 10 月 31 日	〃	6 時
〃 11月 1 日	〃 12 月 25 日	〃	6時 30 分

（ヘ）取引される作物

黄豆、紅粮(高粱)、包米、穀子(粟)、蕎麥、小豆、青豆、粳米、粳子、稻子、稻米、芝蔴、豌豆、小麥、大麥、粘子、稗米、小蔴子、大蔴子、小米、糜子、元米、紅米、粽米、菉豆、靑豆、蘇子等であつて、最も多いのは黄豆、紅粮、穀子、包米等である。

（ト）市場に集まる大車數

春	最 少	100車	最 多	300車
夏	〃	18車	〃	50車
秋	〃	100車	〃	300車
冬	〃	300車	〃	600車

（チ）買粮人と農民との取引關係

市場で賣買契約が成立後、買粮人は見本を持歸る。農民即ち賣却人は、穀物を買粮人の構内に搬入し、賣却人が麻袋を引起し扛夫に負はせて、院内穀倉でいを開き見本と對照し、同一と認めた時斗夫が之を計量する。若し論爭を生じた時は、管理處に訴へ出て檢査を受けることもある。斗官の計量に際して徴する手數料は斗用錢と稱し、買粮側より車店に支拂ふ、又扛夫の徴する手數料も買粮側に於て支拂ふものである。

代金は計量後買粮側に於て價格を算定し農民に支拂ふ。

（リ）其の他市場

特產物管理所に行はれる一般糧穀市場の他、菜市場、果品市場及牲畜市場等がある

（一）菜市場及果品市場

菜市場と果品市場は東門外にあり、古い歴史を有し毎日未明より日沒まで取引が行はれてゐる、

菜市場に搬出される野菜類は、縣城近郊殊に北大街西大街の菜園より生産されるものが大部分を占め、白菜、芸頭、地豆(馬鈴薯)・地瓜(甘藷)・山药(山芋)、蘿蔔、香菜、菠菜(菠薐草)、芹菜、韮菜、

油菜、牛蒡、トマト、茄子、豆角、西瓜、酸菜（白菜の漬物）、鹹菜（大根の漬物）等の外豚肉、鶏卵、鶏肉、牛肉、羊肉等が販賣されてゐる。

野菜類は季節により其の出廻量が異るとして、每日春秋 300 簡、夏季 400 簡、冬季 150 箇内外であつて、敷地料なく農民の搬出自由である。每日の人出 4,000 人に達する。

果品市場は同一地域にあり、苹果、梨、山楂（さんざし）、雷柑、紅棗、桃、杏、葡萄、栗、榛（団栗）、山拉紅（さんざしの小なる物）、瓜子（西瓜の種子）、落花生、柿子、香蕉（バナナ）等が販賣され、每日行はれてゐる。

（ニ） 牲畜市場

牲畜市場は南大街にあり、往時は相當殷賑を極めてゐたものの様である。

税捐局の監督によつて端午節、中秋節、年關より正月末日までの休市を除き、每日早朝より開かれる。

取引される家畜は馬、牛、騾、驢、及び山羊、緬羊等である。

月別 種目	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11 月	12 月	計
牛	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	4
馬	2	3	23	8	3	—	—	2	5	2	7	2	57
騾	2	11	19	8	—	—	—	3	6	2	10	2	63
驢	6	14	81	53	9	1	—	2	25	4	17	2	214
合計	13	28	123	69	12	1	—	7	36	8	35	6	338

上に示す如く春期耕作前に於て取引が最も多く行はれ、遠く蒙古方面よりも出廻る。

取引方法は牙行（仲介人）によつて行はれ、之が手數料は買主に於て負擔してゐる。

同市場には税捐局より每日人を派し、即時税金を徴集する様にしてゐる。

（ヌ） 道路上の賣却

鐵嶺は統制ある見本取引を行つてゐるので、道路上の賣却は全く行はれてゐない。

（ル） 大　車　店

農民が穀物を搬出して縣城に行つた時の宿泊所は大車店に限られてゐる。

縣城には大車店數 26 あり、宿泊料は車數に付徴するもので、1 車に付 30 錢である。大車店では食事を給しない爲、農民は隨意に飯店に於て食事する。

又馬の飼料も農民各自持參するもので車店では供しない。穀物を數人共同で 1 車に積載搬出して大車店に宿泊するとしても、宿泊料は 1 車分である。

各大車店には掌盤人、斗官を雇傭し、穀物賣却上農民の便宜を圖つてゐる。又農民の穀物の委託にも應ずるもので、即ち農民が穀物を搬出し、價格下落に遭遇する時は 2~3 日宿泊して値上りを持つこともあるが、普通の場合は委託して歸宅するものが多く、この際車店では麻袋に封印をなし、暗號を明記帳簿に記載し、錯誤せぬ様注意してゐる。

大車店は相場の向上した頃を見計ひ手紙又は近屯民に口答で通知を依頼する。通知に接した農民は、再

び大車店に來り販賣するが、倉敷料、手數料、通信費は徴收されない。

次に大車店を示せば、

大車店名	資本	斗夫數	所在地
李家店	円 2,000	人 4	西門
聚成店	5,000	4	〃
公合店	1,000	4	〃
永源店	1,000	4	〃
永盛德	1,000	4	北街
福運店	4,000	4	〃
白家店	2,000	4	南街
東興昌	4,000	3	東門
久遠店	2,000	3	〃
信増店	2,000	3	〃
公益成	500	3	西街
天聚昌	500	3	東門
義興隆	3,000	3	西門
三多全	500	3	南門
元發店	1,200	3	北街
源升和	3,000	3	〃
興聚永	1,000	3	〃
會發店	3,000	3	東街
康家店	1,000	3	北街
萬聚店	1,000	2	東街
震興盛	2,000	2	西街
福興長	3,000	2	南街
公集厚	1,000	2	〃
東興大	1,000	2	北街
同聚福	500	2	西門
公興厚	1,000	2	南門
計	47,200	78	

（ヲ） 屯內での賣却

本屯は販賣穀物數量及び役畜、大車等の少い關係上、糧販子へ庭先渡しをする者が多く、糧販子は別名糧車的とも稱し大車で屯を廻歴し、少額の資本で穀物を買求め市場に賣却して其差額を利するもので、屯內には１人もなく、總べて屯外より入つて來るものである。

屯內穀物所有者が雇農階級に糧食を賣却することがあるが僅少である。

穀物別賣却量

品　目	生産量	賣却量	生産に對する%	賣却價格	備　考
	石	石	%	圓	
黄　豆	597.89	521.83	87.28	3,024.21	黄豆賣却量中には小豆6.21石34.50圓磨石豆2.70石14.00圓を含む
粳　子	200.07	109.82	54.89	567·90	石は新制に依る
穀　子	295.11	44.25	14.98	200.50	
高　粱	595.44	37.56	6.31	145.50	
蕎　麥	27.00	16.59	61.44	84.00	
稗　子	12.69	3.56	28.05	16.25	
計	1,728.20	733.61	42.45	4,038.31	

月別による穀物賣却量

作物別／月別	黄豆		粳子		穀子		高粱		蕎麥		稗子		備考
	賣却量	賣却價格	賣却量	賣却價格	賣却量	賣却價格	賣却量	賣却價格	賣却量	賣却價格	賣却量	賣却價格	
	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	
3　月	10.80	62.00	—	—	—	—	5.40	22.00	—	—	—	—	
4　月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1[illegible]	5.[illegible]5	
5　月	—	—	—	—	—	—	2.70	11.00	—	—	—	—	
8　月	4.05	22.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9　月	58.11	290.66	—	—	—	—	7.11	33.00	—	—	—	—	
10　月	207.76	1,221.85	78.90	343.00	21.30	97.00	—	—	—	—	—	—	
11　月	129.75	756.00	18.77	106.50	2.70	12.00	—	—	16.59	84.00	2.37	10.50	
12　月	111.36	719.70	12.15	118.40	16.20	75.00	22.35	79.50	—	—	—	—	
計	521.83	3.072.71	109.82	567.90	40.20	184.00	37.56	145.50	16.59	84.00	3.56	16.25	

附記　黄豆賣却量中には小豆 6.21石　34.50圓　磨石豆　2.70石　14.00圓を含む。石は新制に依る。

（ワ）　糧棧への糧穀販賣の强制

本屯は民國18～19年の頃大水害を被つたことがあるが、その後大なる天災を被ることなく生活も比較的安定してゐる爲、借款の如きも村内の知人、友人間に於て行はれ、縣城等に於ても親戚以外の雜貨舗、糧棧等より借款することは全く無く、從つて取引の上でもそうしたことによつて制肘を受ける樣なことはない。

（カ）　計　量　方　法

各車店で雇傭する斗夫が、新制斗量を用ひて計量する。計量は賣手買手立會ひの下に、扛夫が麻袋の口を開き斗夫が行ふ。

（ヨ）　品　質　の　鑑　定

糧穀取引は買糧人と掌盤人との協議により豫め價格を決定するものであるから、品質の良否による確たる價格の等差は無いが、買糧人は次の諸點によつて良否を檢する。

鐵嶺より奉天及び大連までの1車當り運賃を示せば次の通りである。

鐵嶺より奉天迄	72.30圓
鐵嶺より大連迄	244.20圓

（ツ） 特殊農產物其の他畜產物の賣却

高粱稈類は燃料又は屋根葺用で、殊に10月～1月の4ヶ月間は東家樓村糧場で取引される外、個々に賣買するを普通とする。次に高粱稈100束穀子稈は100斤に付月別にその賣買價格を示せば、

種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
高粱稈	円 1.00	円 1.00	円 1.00	円 1.20	円 1.50	円 1.70	円 1.70	円 1.70	円 1.70	円 1.00	円 1.00	円 1.00
穀子稈	1.40	1.40	1.60	1.60	1.20	1.00	1.00	1.00	0.90	0.90	1.00	1.20

其の外雇農階級に於ては農閑期に馬糞拾ひをするもので、2車2,000斤に付2.50圓内外で賣買されてゐる。

本屯に於ける役畜の賣買は縣城内に在る牲畜市場に於て行はれるのが普通であるが、屯内、近屯に於ては直接行つて賣買をなすこともある。又各農家の飼育してゐる豚の如きは仲買人に賣却してゐる。

之等賣買に當つては直接なす場合と仲介人に依頼する場合とあり、後者は多く親戚、知己を仲介人とし、仲介料金を要しない。

第三節 購 入 事 情

一 縣城に於ける購入事情の沿革

光緒24年鐵嶺縣の設置以前は、所謂遼河の水運の華かな時代で、日用品雜貨類が輸入され、諸地方に分散してゐたものである。當時の仕入先は營口、奉天であつたが、主に營口で花旗白布、花旗粗布等の布類、綿糸、鐵器類、砂糖、鹽、アンペラ等が船又は大車によつて輸入され、船運賃の安價及び輸送の安全等の關係で、最も普通に利用されてゐた。鐵道開通後は運賃政策と運輸の迅速化により水運は逐次衰退し、これに伴ひ仕入地も居遷し、現在では安東、大連、奉天及び少量の營口等である。

縣に於ける雜貨の變遷

往時は營口を經て支那製品が輸入されてゐたが、光緒32年初めて日本製品の輸入を見、以來逐次增大の一途を辿り來つた。然し事變前は軍閥の不當政策排日空氣に左右され幾分停滯の觀を呈したが、事變後には此の障碍が除去された爲、その輸入益々增大し、今日では全商品の95％を占めてゐる、其の主なるものは綿布、綿糸、磁器類、藥品、化粧品類、罐詰等である。

二 調査屯に於ける購入事情

鐵嶺縣は古くより經濟の中心地として發達したもので、本屯でも之が影響を受けて自然經濟より商品經濟に進歩し、物資の購入は總べて現金にてなされてゐる。

支出の主なものは被服費、生活費、小作料、雇傭勞働賃銀等で之等は總べて現金で行はれる。

衣服費に最も多いのは富農階級であるが、屯内では緞子の如きを着用することは全然無く、一般小農階級では好んで綿布で、幾度も修繕して最大限度に着用してゐる。農民の常食は高粱、粟子、稗で年関、端午節、中秋節等には白麺を食するが、自給の範囲を出てゐない。又生産者で穀物の余量を売却して食糧を購入する者も全く無い。

雇農階級は年工、月工、日工賃銀の外、副業による収入で糧食を購入するが、屯内より購入するを便利としてゐるも、屯内生産者は収穫後自家用以外の余剰は全部販売するので、已むを得ず屯外又は縣城から購入する様である。

農民の日用品は少量の場合、行商人又は近屯雑貨屋等より購入するが、比較的多額を要するものは総べて縣城で購入するのが普通である。

三 購 入 時 期

農民の購入の多い時期は春、秋及び年關で春は3月及び5月、秋は8月及び10月である。

食糧品の購入の主なるものは高粱、小麦粉、粉條、豆油、塩、砂糖、焼酒等であるが、之等は必要に應じて随時購入する。

雇農の食糧は現金で決済される為、其の生活用品は年中を通じて購入せざるを得ない状態にある。

本屯で食糧の缺乏する時期は6月、7月でこの時期は次の如き方法を取る。

（イ） 野菜、馬鈴薯で補充

（ロ） 親戚より無利子で少量借りる

（ハ） 食糧を屯外或は縣城より購入す

次に購入時期を示すと、

種類	月別	備考
綿布	3、5、8、10 月	3 月袷　5 月單衣　8 月袷　10月綿入(冬物)
綿花	8、10 月	冬仕度
糧食類	6、7 月	糧食缺乏期
塩	4 月	味噌製造用
什器	12 月	年關用
年紙類	〃	〃
豆油	5、8、12 月	端午節、中秋節、年關
焼酒	〃	〃
粉條子	〃	〃
砂糖	〃	〃
小麦粉	〃	〃
豚肉	〃	〃
石油	10～1 月	夜間裁縫靴修理

石油の需入は秋冬夜間の長い時期で、即ち男は烏拉靴の修理、[illegible]に女は裁縫を[illegible]。[illegible]は10月中旬より11月末まで、嫁が里歸りして夜遲くまで裁縫する習慣がある。

四 購 入 方 法

(イ) 購　入　地

少額の需入は行商或は青堆子の雜貨舗からするが、大量の場合は[illegible]て行つてゐる。但し燒酒は法庫縣内の調兵山の燒鍋より購入するのが多い。

(ロ) 屯 内 購 入

購入者は直接所有者を訪ねて相談するのが普通であるが、親戚、知己を仲介人に立てることもある。但し料金は要しない。

(ハ) 掛　　　買

掛買は元來信用ある者のみに限られてゐる。

本屯では、民國15年乃至18年頃[illegible]雜貨舗と掛買を行つてゐたが、不況に赴くにつれ漸次減少し、現在は全く行はれてゐない。

又近屯雜貨屋との掛買は青堆子で、民國 18 年頃に最も盛んに行はれてゐたが、現在僅かに地主階級が行つてゐるに過ぎない。

期間は短きは1ヶ月であるが、普通端午節、中秋節、年關の3期に決済するもので、期間を經過する時は利子月利2分を徴することがある。

掛買をするには保人を立てる場合もあるが、これは信用程度によつて定めるものである。取引に際しては「發票」を農民に與へる。

掛買契約を行ふ以前雜貨舗は豫め信用程度を調査するので、從つて支拂不能によつて紛爭を釀すこともない。

(ニ) 物 々 交 換

屯内には物々交換を業とする者は1人もなく、總べて屯外より入り來るものである。その慣例を示せば、

豚骨1頭分	燐寸2包又は又は曹達2斤又は椀4ヶ
豚毛1頭分	〃
鐵屑1斤	曹達半斤又は針1包半
木綿屑1斤	〃
馬の鬃1頭分	石油3斤半
馬の尾毛1頭分	石油6斤
狗　皮	石油6斤
鶏卵3ヶ	燐寸1包
馬糞5車	高粱4斗

(ホ) 商人との關係

本屯民は糧棧雑貨舗よりの借款なく、それ等に制肘されることはない。又農産物販賣に當り糧棧、雑貨舗の結託により商品券を與へる様な事は全く行はれてゐない。

(へ) 購入品價格表

品名＼地名		鐵嶺縣城	青堆子	行商人
白麺	1斤	円 円 0.07～0.08	円 円 0.10～0.12	円 円 0.15
高粱米	1斗	1.45	0.62	—
粉條	1斤	0.15	0.18	0.12
鹽	1斤	0.07	0.07	—
豆油	1斤	0.18	0.22	—
燒酒	1斤	0.20	0.20	—
麺鹹	1斤	0.05	0.05～0.06	0.05
醤油	1斤	0.20	0.20	0.25
酢	1斤	0.05	0.03	—
砂糖	1斤	赤 0.12 白 0.15	赤 0.12 白 0.20	—
白布	1反	2.50～3.00	3.00	3.00
染布	1反	3.00	3.00～3.50	3.50
綿花	1斤	0.54	0.60	0.50～0.60
針	1包	0.025	0.03	0.033
糸	1斤	0.80	0.90	0.60～0.80
帽子	1ケ	0.50	0.60～0.70	—
石油	1斤	老牌 0.20	靑牌 0.16 赤牌 0.18	—
臘燭	1包	0.20	0.18～0.25	—
洋火(マッチ)	1包	0.05	0.06	0.08

第六章 金融關係

本縣の金融狀況を見ると、建國以前は東三省官銀號支行及び其の傍系の糧棧、公濟棧等が有つて特産買占を目的として一般農商民に放漫な放資を行つたが、當時は農村も好調であつた爲、相應じて活發な金融を示してゐた。特に特産取引の盛んであつた建國以前 3～4 年頃は、奉天の正隆銀行が出張して對農商民金融に從事してゐたが、張政權沒落して前記の如き金融機關が一掃され、滿洲中央銀行支行設立以後は、亂雜な私帖、流通等の回收に當ると共に、從來の情實的貸付及投機的金融の弊を打破して城内の主要商店 40 軒を得意先として貸出しを行ひ、其の放款額も亦官銀號時代の 14 萬圓に對し 16 萬圓に達し、堅實な歩みを示してゐる。中央銀行支行の外、當地には朝鮮銀行支行及日滿合弁の日華銀行等が有り、事變前迄相當多額の貸付けを行つてゐたが、事變及近年農村の不況に禍ひされて多額の回收不能額を示して（中央銀行は官銀號時代からの引繼回收不能額 11 萬圓、他の 2 銀行の貸出額は殆んど回收不能）其の結果金融の逼迫を來したのである

が、此の銀行側の貸出手控に依つて特產關係の大商人筋は相當深酷な金融の硬塞を來した爲、金融の圓滑を缺き從つて特產物價格の亂調子を招來したのである。一方農村金融としては公濟棧の代りに金融合作社が設立されて活動して居る。當地金融界は以上の如き狀態で有るが、縣民の力強い努力に依つて信用好轉して居る樣で有る。

第一節 粮棧、雜貨舖

縣城調査

糧棧名	貸付狀態	貸付多額の時	貸付少額の時	利子	擔保證書	貸付金額	回收狀況	備考
天 益 湧	—	—	—	—	—	—	—	—
人 和 滕	—	—	—	—	—	—	—	—
廣 源 公	最高 1,[illegible]圓 最低 5[illegible]圓	民國 1[illegible]年 (1920年)	現在	—	保證人 1 人	4,000.00圓	秋收穫回收す	—
東 盛 茂	—	—	—	—	—	—	—	—
橋本洋行	—	—	—	—	—	—	—	—
成 聚 生	—	民國 18~9 年 (1929~1930年)	—	2分	地券證人 1 人	50,000.00圓	少額	事變前倒産した

前記の表を見ても、8糧棧の調査によつて廣源公、成聚生の2軒が農民貸付を共れも民國 18~9年(1929~30年)遼河の氾濫及匪害甚大に依る農村金融の行詰つた時、廣源公は 4,000 圓、成聚生は 50,000 圓貸付けたに過ぎず、共の結果成聚生は回收不能で倒産した、共の後農民に貸付ける糧棧全く無く、即ち農民に信用なく地券を得ても商店では利用法ない爲、貸借關係が行はれておらない。

批糧、青苗買等は僅かに新台子方面で一部分行はれて居るが、縣城では全く行はれて居ない。

雜貨店縣城調査

名稱	資本		開業年月日
鴻 泰 盛	國幣	圓 7,000.00	民國 11 年 5 月
德 盛 號	〃	10,000.00	宣統 1 年 2 月
鴻 德 源	〃	7,000.00	民國 1 年 3 月
義 和 堂	〃	10,000.00	同治 13 年 9 月
天 德 亨	〃	4,000.00	宣統 1 年 7 月
德 裕 成	〃	3,000.00	康德 2 年 6 月
廣 泉 公	不明		大同 2 年 7 月

註 縣城にて代表的な商店を選ぶ

商店と農民との貸借掛賣の概觀

名稱	貸借關係	掛賣有無	掛賣の多かりし年	掛賣の方法	1人貸付金額	時期	取立方法	期限	備考
鴻泰盛	無	有	民國18年	100.00圓に2圓高とす、信用にて記載證介人1人有り	圓 50.00迄	年中	節句	6ヶ月以内	貸付は農作物の狀態を調査す、故に損はなし
德盛號	〃	〃	民國17～8年	信用にて記載	300.00迄	春種蒔期	〃	〃	現在掛賣の少ない理由、農民に信用なく商人も銀行よりの融通困難になりし爲
鴻德源	〃	〃	民國17～8年	信用にて記載	200.00迄	春、秋多し	〃	6ヶ月	現金は農民に信用なくなつた故に中止す
義和堂	〃	〃	光緒20年以後民國17～8年	保人、仲介人各1人帳簿記入	100.00迄	年中	秋收穫後に於て現金、現物、土地にて取立る	〃	返済は年闘、節句が多い
天德亨	〃	〃	民國17～8年	月利3分保人1人帳簿記入	1.00～300.00	播種期	秋收穫後現金及び現物にて取立る	〃	掛賣は一般に事變前多し
德裕盛	〃	〃	民國17～8年	保人1人利子1～2分記載のみ	10.00以下	〃	〃	2～3ヶ月	第1區大甸子村にて雜貨店開業の時が盛況
廣泉公	〃	〃	民國10年	信用貸、地券擔保共に2～3分	1,000.00以下	春、秋多し	節句	信用貸期限なし、地券擔保は2～3年	本店は現在當舖を經營す

當地雜貨舖の對農民金融は、民國18～9年頃德盛號、鴻德源の2雜貨舖が短期間の貸付を極少額行つたに過ぎず、事變後其の影響を蒙つて現在では皆無の狀態である。

掛賣に就ては各雜貨舖共多少の差違はあるが行つてゐる。最も盛んに行はれたのは民國17～8年特産價格の高騰した頃で、事變後減少してゐる。貸付最高額300圓程度、期限は大體6ヶ月以内で農民の信用如何に依つて普通保證人1名を要する。

雜貨舖中特異なものは上記廣泉公であつて、同號は當局の後援に依つて開業した雜貨舖兼銀號であるが、農民に多く掛賣を行ひ、其他信用貸、擔保貸等を行つてゐた。信用貸、擔保貸は共に月利2～3分期限は2～3年で、大同1年7月中央銀行支行開設後、東三省官銀號と共に、廣泉公も同行に接收され、其後同行は廣泉公の未回收銀の整理に當つてゐる。縣内で貸出の最も多かつたのは阿吉堡地方農民で、其の貸出額も約1萬圓に上つてゐる。

廣泉公の貸出狀態及回收狀態は次表の通りである。

積成當

月別	衣服類				金銀飾類				雜品類				合計			
	質入		質出		質入		質出		質入		質出		質入		質出	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
1	532	1,52[illegible].00	52[illegible]	1,483.[illegible]	947	3,376.[illegible]	[illegible]	3,[illegible]22.[illegible]	16[illegible]	[illegible]	161	4[illegible]5.[illegible]	1,648	5,495.80	1,397	5,300.00
2	365	1,028.00	358	955.20	810	2,630.50	683	2,535.00	138	325.00	130	300.00	1,313	3,983.50	1,171	3,790.20
3	485	2,329.00	479	2,238.00	1,015	3,503.70	185	3,405.00	186	638.00	181	608.00	1,686	6,470.70	845	6,251.00
4	636	1,925.00	629	1,895.19	1,063	5,142.00	808	5,038.00	208	536.00	200	529.00	1,907	7,603.00	1,637	7,462.19
5	725	3,9[illegible]5.0[illegible]	719	3,9[illegible]8.00	1,34[illegible]	7,547.7[illegible]	1,43[illegible]	7,43[illegible].3[illegible]	32[illegible]	823.00	331	7[illegible]5.00	2,903	12,265.70	2,455	12,010.30
6	796	3,700.00	790	3,700.00	1,650	6,735.30	1,289	6,493.20	329	735.00	322	708.00	2,775	11,170.30	2,401	10,901.20
7	738	2,839.00	730	2,783.00	1,679	5,729.20	1,308	5.689.50	235	536.00	230	508.00	2,652	9,104.20	2,268	8,980.50
8	696	3,025.00	690	2,983.00	1,392	6,022.90	1,095	5,833.30	285	608.00	281	596.00	2,373	9,655.90	2,066	9,422.30
9	325	1,895.00	325	1,895.00	848	3,043.20	708	2,898.90	139	305.00	137	298.00	1,312	5,243.20	1,170	5,091.90
10	236	1,053.00	230	1,053.00	691	2,600.00	545	2,490.50	128	285.00	136	296.00	1,055	3,938.00	911	3,839.50
11	255	1,235.00	248	1,235.00	789	2,690.70	618	2,519.40	136	296.00	130	280.00	1,180	4,221.70	996	4,034.40
12	236	1,158.00	227	1,158.00	836	3,405.00	611	2,408.50	125	256.00	120	240.00	1,197	4,819.00	958	3,806.50

新來當

月別		質入		質出		備考
		件數	金額	件數	金額	
1	月	1,147	4,234.30	985	1,653.40	
2	月	1,345	5,165.40	1,043	1,215.00	
3	月	1,345	5,165.40	1,043	1,215.00	
4	月	1,348	5,215.00	932	1,234.50	
5	月	1,583	6,016.60	845	1,456.00	
6	月	1,354	6,352.60	813	1,778.40	
7	月	508	1,845.20	798	2,631.50	
8	月	345	2,414.50	865	3,456.40	
9	月	345	1,945.50	989	2,916.50	
10	月	323	1,287.50	1,023	2,878.00	
11	月	383	1,655.50	1,195	2,711.00	
12	月	1,145	455.40	1,275	2,428.40	
合	計	11,181	41,752.90	11,806	25,574.10	

廣　泉　當

月別	衣服類				金銀飾類				雜品類				合計			
	質入		質出		質入		質出		質入		質出		質入		質出	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
		円		円		円		円		円		円		円		円
1	313	3,465.70	1,481	6,175.50	433	4,412.60	733	5,612.50	3	26.50	40	126.30	749	7,904.80	2,254	11,914.30
2	671	2,365.10	579	2.004.10	239	2,333.50	195	1,736.40	5	13.00	12	29.10	915	4,766.60	786	3.769.60
3	1,034	5,333.80	663	2,604.80	429	3,909.50	361	3,038.30	22	71.20	3	24.40	1,485	9,314.50	1,027	5.667.50
4	1,363	5,853.50	786	2,735.70	531	5,526.60	369	2,760.30	19	70.20	4	10.30	1,963	11,450.30	1,159	5,556.30
5	2,467	11,105.20	552	2,299.10	1,096	3,064.10	295	2,047.50	39	140.00	4	13.70	3,602	14,309.30	851	4,360.30
6	2,051	9,540.80	553	1,877.80	861	7,514.70	269	2,325.70	48	152.20	3	7.20	2,960	17,207.70	825	4.210.70
7	1,744	6,466.70	374	1,179.50	660	6,241.80	231	1,756.30	33	120.60	3	5.00	2,442	12,829.10	608	2.940.80
8	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	21	[illegible]	25	[illegible]	4	[illegible]	2.314	11.920.40	797	3.339.90
9	1,033	3,499.10	1,123	3,482.10	445	3,840.00	344	3,352.50	15	51.70	6	14.00	1,543	7,390.80	1,473	6,848.60
10	647	2,126.20	1,336	7,045.90	248	2,195.00	637	5,963.40	7	25.20	17	61.10	902	4,346.40	1,990	13,070.40
11	759	2,583.90	2,571	11,240.20	257	2,508.30	1,537	12,762.40	8	26.00	13	44.10	1,024	5,123.20	4,171	24,046.70
12	667	2,540.80	2,306	10,402.30	109	1,030.30	1,344	11,977.60	4	7.60	31	93.20	780	3,578.70	3,681	22,475.10

康德２年度営業狀況調査表

月別		質入	質出	餘額	備考
		円	円	円	
1	月	53,505.50	63,855.00	229,333.30	
2	月	38,907.20	30,397.30	237,843.20	
3	月	60,405.70	37,908.30	260,340.60	
4	月	67,513.10	34,389.30	293,464.40	
5	月	101,413.30	29,883.80	394,999.90	
6	月	93,331.50	28,365.00	423,366.40	
7	月	75,090.20	23,723.80	476,332.80	
8	月	71,491.60	32,967.90	514,856.50	
9	月	48,404.20	54,741.60	508,519.10	
10	月	34,220.90	75,674.60	467,065.40	
11	月	35,605.90	110,665.20	392,006.10	
12	月	32,865.80	110,333.90	314,538.00	
合	計	712,754.90	637,905.70	4,512,665.70	

表により質入の多い時期は５・６・７月で質出は 10・11・12・1 月と言ふ事が略々分明する。

當舗の利用層の概略表

當名	農民	金額	商工民	金額	其の他	金額
		円		円		
新來當	65 %	27,139.38	30 %	12,525.87	5 %	[illegible]
同德當	80 %	65,052.00	20 %	16,263.00	—	—
濟成當	75 %	62,978.25	20 %	16,794.20	5 %	4,198.55
廣泉當	70 %	77,099.26	30 %	33,042.54	—	—

上掲の如く同徳當の80%の農民利用を第一に、最少の新來當でも65%の利用があり、當舖が農民金融と密接な關係を持つてゐる事が分明する。商工民は20～30%で農民に比較して、稍遜れ、其の他に於ては殆んど無い。

利用方面の概略表

利用方面	金額	割合	備考
生產方面の用途計	104,532.22	90	
農業方面の用途	81,304.36	69 %	
商業方面の用途	4,645.36	4 %	
工業方面の用途	11,614.83	10 %	
勞働賃銀方面の用途	4,645.34	4 %	
其他	2,322,33	3 %	
消費方面の用途	11,614.83	10 %	

質物の評價概略表

戶別	新冬衣服木綿類	古冬衣服木綿類	絹物類(新)	絹物類(古)	金類飾物		銀類飾物	
同德當	1.50	0.60～0.80	4.00	1.00	1匁	14.00	10匁	16.00
新來當	1.00～2.00	0.40～0.50	2.50	0.80～1.00	1匁	11.00	10匁	13.00
積成當	1.50～2.00	0.50～0.70	3.00	1.50	1匁	13.00	10匁	12.00
廣泉當	0.70～0.80	0.30～0.40	3.00～4.00	1.00	1匁	10.00	10匁	12.00

鐵嶺當舖業範圍調査表

戶別	城東		城南		城西		城北		市内	備考
	距離	%	距離	%	距離	%	距離	%	%	
廣泉當	—	—	20	10	40	55	20	15	20	距離はその當舖の勢力範圍を示し、%は其の範圍内利用者の割合を示す。
東信當	—	—	20	15	40	55	20	15	15	
大昌當	20	15	30	40	20	20	20	10	15	
福興當	—	—	30	60	20	30	—	—	10	
世合當	—	—	30	60	20	30	—	—	10	
謙興當	20	30	30	60	—	—	—	—	10	
德興當	20	30	30	60	—	—	—	—	10	
同集當	20	30	30	60	—	—	—	—	10	
新來當	40	90	—	—	—	—	—	—	10	
積成當	30	30	—	—	20	20	40	40	10	
同德當	30	20	—	—	30	40	30	30	10	
平均	—	15.60	—	25.65	—	30.00	—	14.55	14.20	

上掲の如く各當舗共に市内は 10 %～15 %で以外は周圍の農村民が利用して居る。

質入時期の概略表

種類	質入	質出	備考
衣服類	5、6、7月	2、3、4月	
金銀飾類	5、6、7月	12、1、2月	
雑品類	5、6、7月	12、1、2、6月	

第三節 銀行

滿洲中央銀行支店

預金並貸出金月末現在高表(康徳2年度)

摘要／月別	預金			貸出	
	定期及普通	當座預金	特別當座預金	當座貸越	其他貸出
	圓	圓	圓	圓	圓
1	35,900.00	190,628.00	15,370.00	196,370.00	248,175.00
2	35,900.00	165,204.00	15,681.00	56,121.00	210,425.0
3	66,500.00	124,906.00	27,522.00	119,428.00	204,755.0
4	91,500.00	114,697.00	35,590.00	216,139.00	123,555.0
5	111,500.00	82,144.00	42,363.00	100,870.00	74,505.[illegible]
6	106,500.00	47,444.00	44,479.00	101,450.00	71,705.00
6	106,500.00	64,365.00	43,669.00	90,930.00	78,705.0
8	106,500.00	62,339.00	20,955.00	85,530.00	72,505.0
9	111,500.00	56,059.00	26,450.00	109,591.00	71,505.[illegible]
10	102,921.00	81,008.00	26,640.00	484,680.00	72,005.0
11	183,321.00	161,380.00	31,386.00	78,909.00	122,805.00
12	56,021.00	333,075.00	45,188.00	64,727.00	185,335.00

滿洲中央銀行利率(中銀)

貸　　出

種別	當座貸越		割引手形		不動產貸出		信用貸付		當舗に對する貸付	
	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票
最高	[illegible]分[illegible]厘	—	2分5厘	—	2分8厘	—	2分4厘	—	2分6厘	—
最低	2分[illegible]厘	—	2分[illegible]厘	—	2分5厘	—	2分4厘	—	2分5厘	—

預　　金

種別	定期預金 6ヶ月		定期預金 12ヶ月		當座預金		特別當座預金		通知預金	
	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票
最高	4.2%	—	4.7	—	3厘	—	7厘	—	9厘	—
最低	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

註　定期預金は年利、其他は100圓に對する日歩

奉天信託鐵嶺支店

無盡契約並給付金額

月別	口數	無盡給付契約高	無盡給付未濟金額	無盡給付濟金額	貸付金	信託預金
		圓	圓	圓	圓	圓
1	325	280,500.00	258,500.00	22,000.00	123,990.84	145,989.23
2	326	296,000.00	274,000.00	22,000.00	121,958.84	154,303.75
3	356	326,000.00	300,000.00	25,500.00	126,551.84	156,585.19
4	356	326,000.00	298,000.00	28,000.00	135,331.84	154,250.60
5	356	325,000.00	302,000.00	23,000.00	139,058.84	130,290.26
6	385	355,000.00	327,000.00	28,000.00	175,444.84	142,437.32
7	385	355,000.00	324,000.00	31,000.00	192,557.84	140,369.65
8	383	353,000.00	327,000.00	26,000.00	193,679.84	151,338.32
9	401	382,000.00	353,000.00	28,500.00	182,172.84	167,371.53
10	412	397,000.00	370,000.00	26,500.00	235,168.80	164,098.44
11	412	397,000.00	367,500.00	29,500.00	220,060.09	176,771.34
12	415	400,000.00	374,500.00	25,500.00	206,563.37	179,725.17

朝鮮銀行支店

貸出擔保類別金額

月別	不動産	有價證券	商品	債權	信用	計
	圓	圓	圓	圓	圓	圓
1	68,750.00	320.00	886,419.00	145,799.00	797,533.00	1,898,821.00
2	76,840.00	320.00	742,411.00	115,975.00	908,373.00	1,843,919.00
3	66,482.00	320.00	540,915.00	169,338.00	770,000.00	1,547,055.00
4	75,275.00	300.00	561,433.00	13,356.00	636,010.00	1,286,374.00
5	77,674.00	300.00	237,331.00	19,796.00	801,819.00	1,136,920.00
6	78,548.00	300.00	262,001.00	8,640.00	803,200.00	1,152,689.00
7	80,607.00	300.00	231,410.00	44,919.00	711,643.00	1,068,879.00

月別	不動産	有價證券	商品	債權	信用	計
8	80,380.00	300.00	97,460.00	20,514.00	805,492.00	1,004,146.00
9	84,348.00	480.00	116,660.00	64,575.00	786,312.00	1,052,375.00
10	80,297.00	480.00	158,877.00	37,622.00	900,894.00	1,178,170.00
11	65,314.00	480.00	897,908.00	83,238.00	1,199,920.00	2,246,860.00
12	38,000.00	160.00	285,425.00	23,019.00	1,028,007.00	1,374,611.00

朝鮮銀行支店

預金

月別	定期預金	當座預金	特別當座預金	諸預金	公金預金	合計
	圓	圓	圓	圓		
1	210,664.00	133,894.00	152,458.00	10,977.00	—	507,993.00
2	208,664.00	135,750.00	159,118.00	11,281.00	—	514,813.00
3	206,704.00	108,363.00	168,924.00	92,618.00	—	576,609.00
4	254,226.00	104,365.00	125,137.00	29,417.00	—	513,145.00
5	249,233.00	92,356.00	70,421.00	10,182.00	—	422,192.00
6	249,233.00	92,356.00	105,287.00	10,182.00	—	457,058.00
7	251,279.00	222,805.00	104,835.00	6,147.00	—	585,066.00
8	249,991.00	234,684.00	71,474.00	15,418.00	—	571,567.00
9	249,375.00	106,450.00	107,818.00	11,997.00	—	475,640.00
10	230,180.00	155,435.00	93,086.00	109,198.00	—	587,899.00
11	230,600.00	219,598.00	70,421.00	10,478.00	—	531,097.00
12	203,943.00	429,260.00	88,397.00	8,226.00	—	729,826.00

金銀出納高

月別	越高	入金	出金	月末現金
	圓	圓	圓	
1	137,246.00	7,961,955.00	7,960,955.00	[illegible]
2	138,771.00	5,761,955.00	5,709,656.00	540,706.0
3	40,706.00	6,922,577.00	6,926,161.00	37,122.
4	37,122.00	4,601,577.00	4,596,518.00	42,181.
5	42,181.00	3,680,017.00	3,676,758.00	45,440.
6	45,440.00	2,195,194.00	2,193,680.00	46,954.
7	46,954.00	3,163,047.00	3,163,047.00	60,808.0
8	60,808.00	1,963,884.00	1,963,800.00	60,892.0
9	60,892.00	3,153,765.00	3,157,010.00	57,647.
10	57,647.00	3,749,367.00	3,752,781.00	54,233.0
11	54,233.00	5,995,589.00	5,990,978.00	38,844.0
12	58,844.00	7,914,148.00	7,912,918.00	60,113.0

朝鮮銀行利率

預金

種別	定期預金 6ヶ月 國幣	定期預金 6ヶ月 金票	定期預金 12ヶ月 國幣	定期預金 12ヶ月 金票	當座預金 國幣	當座預金 金票	特別當座預金 國幣	特別當座預金 金票	通知預金 國幣	通知預金 金票
最高	4.2%	3.8%	4.7%	3.8%	3厘	2厘	7厘	6厘	9厘	7厘
最低	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

註 定期預金は年利、其他は 100 圓に對する日歩

貸付

種別	商品擔保貸出 國幣	商品擔保貸出 金票	證券擔保貸出 國幣	證券擔保貸出 金票	國債貸出 國幣	國債貸出 金票	當座貸越 國幣	當座貸越 金票	不動產貸出 國幣	不動產貸出 金票	信用貸出 國幣	信用貸出 金票	當舖に對する貸付 國幣	當舖に對する貸付 金票
最高	2分8厘	2分8厘	2分8厘	2分8厘	2分8厘	—	3分	—	2分8厘	—	2分8厘	—	2分8厘	—
最低	2分6厘	2分7厘	2分6厘	2分7厘	2分6厘	—	3分	—	2分6厘	—	2分8厘	—	2分8厘	—

註 100 圓に對する日歩

日華銀行

金銀出納高

月別	越高	入金	出金	月末現在
1	円 7,773.00	円 1,171,238.00	円 1,177,439.00	円 1,572.00
2	1,572.00	552,703.00	552,926.00	1,349.00
3	1,343.00	—	1,105,880.00	1105,797.00
4	1,432.00	708,359.00	708,381.00	1,410.00
5	1,410.00	1,210,948.00	1,209,053.00	3,305.00
6	3,305.00	583,288.00	579.185.00	7,408.00
7	7,408.00	546,561.00	552,485.00	1,484.00
8	1,484.00	497,037.00	474.866.00	3,639.00
9	2,657.00	751,562.00	750,948.00	4,272.00
10	4,272.00	695,784.00	695,121.00	4,937.00
11	4,935.00	2,044,346.00	2,044,028.00	5,255.00
12	5,255.00	1,435,525.00	1,425,525.00	9,451.00

貸出金額

月別	不動產	有價證券	商品	債權	信用	合計
1	円 137,769.00	円 90,300.00	円 7,679.00	円 3,100.00	円 1,170,793.00	円 1,409,641.00
2	137,769.00	90,300.00	10,503.00	3,100.00	1,166,807.00	1,408,479.00
3	137,769.00	90,300.00	22,925.00	26,450.00	1,139,571.00	1,417,015.00

月別	不動産	有價證券	商品	債權	信用	合計
4	137,769.00	90,300.00	18,065.00	—	1,159,662.00	1,405,796.00
5	139,569.00	90,300.00	18,005.00	—	1,150,649.00	1,398,523.00
6	137,651.00	74,800.00	22,710.00	39,600.00	1,120,723.00	1,395,484.00
7	137,671.00	74,800.00	22,110.00	28,400.00	1,144,627.00	1,407,608.00
8	137,671.00	74,800.00	21,090.00	20,800.00	1,148,747.00	1,403,108.00
9	137,671.00	74,800.00	30,090.00	20,500.00	1,146,404.00	1,409,465.00
10	131,820.00	74,800.00	12,766.00	27,500.00	1,152,018.00	1,398,904.00
11	128,936.00	74,800.00	114,122.00	19,100.00	1,225,344.00	1,562,302.00
12	132,564.00	54,670.00	173,290.00	—	1,346,184.00	1,706,708.00

預金

月別	定期預金	當座預金	特別當座預金	諸預金	公金預金	合計
	円	円	円	円	円	円
1	21,490.00	18,731.00	14,549.00	12,012.00	—	66,782.00
2	23,210.00	15,372.00	17,192.00	12,029.00	—	67,803.00
3	22,920.00	15,314.00	19,226.00	12,967.00	—	70,427.00
4	24,728.00	12,232.00	17,156.00	12,774.00	—	66,890.00
5	24,035.00	12,587.00	24,136.00	24,387.00	—	85,145.00
6	24,035.00	12,587.00	24,136.00	24,387.00	—	85,145.00
7	23,056.00	12,242.00	19,475.00	18,758.00	—	73,531.00
8	23,056.00	12,242.00	19,475.00	18,758.00	—	73,531.00
9	22,426.00	14,404.00	18,461.00	22,285.00	—	77,576.00
10	20,386.00	15,387.00	14,086.00	24,498.00	—	74,357.00
11	20,336.00	12,779.00	17,093.00	22,728.00	—	72,936.00
12	19,196.00	26,549.00	15,073.00	19,794.00	—	80,612.00

日華銀行利率

貸出

種別	商品擔保貸出		證券擔保貸出		國債貸出		當座貸越		割引手形		不動産貸出		信用貸出		當舗に對する貸付	
	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票
最高	3分2厘	3分2厘	3分5厘	3分5厘	3分5厘	3分5厘	4分	4分	4分	4分	2分5厘	3分5厘	4分	4分	3分5厘	3分5厘
最低	2分5厘	2分5厘	2分2厘	2分2厘	2分7厘	2分7厘	4分	3分	3分1厘	3分1厘	2分5厘	2分5厘	3分	3分	3分	3分

註　100圓に對する日歩

日華銀行利率

預金利子

種別	定期預金						當座預金		特別當座預金		通知預金	
	3ヶ月		6ヶ月		12ヶ月							
	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票	國幣	金票
最高	5.6%	5.6%	5.8%	5.8%	6%	6%	7厘	7厘	9厘	9厘	11厘	11厘
最低	5.4%	5.4%	5.6%	5.6%	5.8%	5.8%	—	—	—	—	—	—

註　定期預金は年利、其他は 100 圓に對する日步

第四節　金融合作社

金融合作社

月別	社員出資並拂込金額			預金	貸出金
	人員	出資金額	拂込金額		
	人	圓	圓	圓	圓
1	1,049	5,710.00	2,284.00	15,905.09	47,330.00
2	1,049	5,710.00	2,284.00	17,821.03	45,095.00
3	1,049	5,710.00	2,284.00	18,771.13	55,450.00
4	1,049	5,710.00	2,284.00	17,322.39	65,405.00
5	1,157	6,250.00	2,392.00	20,455.39	74,780.00
6	1,455	7,740.00	2,690.00	17,631.22	87,570.00
7	1,455	7,740.00	2,690.00	17,712.59	100,930.00
8	1,455	7,740.00	2,690.00	18,648.30	108,545.00
9	1,455	7,740.00	2,690,00	19,495.91	110,985.00
10	1,455	7,740.00	2,690.00	21,143.87	107,640.00
11	1,455	7,740.00	2,690.00	13,581.39	92,245.00
12	1,455	7,740.00	2,690.00	3,781.84	27,185.00

農民金融としては公濟棧の閉店以後、金融合作社の外特別な金融機關はない。

出資者は地主、自作等10天地以上の耕作者と5天地位の耕作者の少數で、經濟的に獨立を許されない者は資格がない、本縣に於ては 1. 2. 3. 4. 9 區は社員數及出資額等も少數である。朝鮮人及び内地人は資格はない。

社員數1,455人で出資額 7,740 圓の内拂込金額 2,690 圓で、預金は 3,781.84 圓と言ふ狀態で有る。

社員資格は前述の如く獨立の生計を營む者で有つて、且擔保物件を有する者でなければ加入不能な爲、土地無所有の農民は之を利用したくも加入出來ない現況である。

利用狀態を見ると1戸當150圓～200圓程度で、農耕生產及消費に利用され、現在27,185圓の貸出が有る。

手　續

申込書調製し、共に地劵を提出する。

條　件

農耕生產に當てる目的の融資額は多額で、消費方面は少額の貸出を行ふ。現在農民は自重す可き時期で、過渡期に當る爲、擔保貸と言ふ安全な方法による。地價に對する割合は、農民の信用の程度にもよるが、普通5割とする。保證團體は農民の自由にして居るが、4人以上の連體責任て村長、屯長の保證を得た者で有る。

合作社に對す農民の希望。

金額の多額、手續の簡單を希望する。

7區の夏家樓村には社員は無い。

農民の合作社に對する感じを見れば、合作社設立當時康德1年11月17日（1934年）一度募集したばかりで如何なる物か理解出來す、更に加入手續煩雜な爲、農民金融機關として以前の貯蓄會程度の物を求めて居る。然し屯民としては今一層合作社の內容を理解出來る樣希望して居る。

第五節　貯　　蓄　　會

設　立　　民國10年（1921年）

閉　會　　民國16年（1927年）

名稱	場所	資本金
市民貯蓄會	鼓樓西(城內)	圓 100,000.00
農業貯蓄會	〃〃	100,000.00
公民貯蓄會	鼓樓北	100,000.00
地方貯蓄會	〃西	200,000.00
鄉民貯蓄會	〃南	100,000.00

貯蓄會設立の目的

地方農民救濟の爲、設立されたのであるが、然し擔保物件の無い農民には、貸付を行はないので、目的に反した點が有る。

出資者

農民 70%（大地主及富農が出資）

貸付條件

金額は一定せず、利子は月利2分で期限6ヶ月、土地建物を擔保としてゐた。

利用層

利用者は件數で農民80%商人其他20%、金額で農民50%商人其他50%と言ふ割合であり、農民に少額を多數貸付てゐた。

會　員

金を有する者及擔保物件を有する者は縣外でも會員たる資格が得られ、10,000圓以上の出資者は理事になつてゐた。

貯蓄會の內容は以上の通りで設立より6年目に解會になつたが、現在でも農民間に於て容易に借れる點で好感を持たれて居るが、奉天票の不信用と奉天票の安價により解會の止むを得ない狀態になつたが、未整理の負債土地は無いと言ふ。

第六節　金　融　會

設　立　　大正15年3月5日（1925年）

目　的

會員の金融を緩和して其の經濟の發達を企圖する爲、會員に對しては資金の貸付、預金の受付、物品の共同購入、生產物の販賣、生產物の倉庫保管を行ふを目的とする。

會　員　　朝鮮人に限る。

出資金　　1口10圓、1回の拂込は1圓とする。

拂込金を怠つた場合は滿了後、1日に付拂込金の$\frac{1}{200}$に當る過怠金を徵收する。

會員となるには評議員の推選により精神的方面に重點を於て選ぶ。

貸　付

會員に對しては無擔保貸付金の最高200圓程度で、不動產、不動產上の權利、動產、有價證券、定期預金證書を擔保とする場合、最高500圓、擔保貸付は鑑定價格の$\frac{7}{10}$以內とする、物權の擔保の場合は10年以內の年賦償還、5年以內の定期償還とする。

大體の業務成績は次表に揭げる。

鐵嶺金融會

月別	社員出資口數及拂込金額			諸預金勘定	諸貸金勘定
	人員	口數	金額		
1	137	427	円 16,695.00	円 33,989.25	円 100,619.0
2	138	428	16,692.00	36,883.03	105,836.00
3	138	428	17,991.00	27,003.45	109,874.00
4	138	428	17,991.00	26,785.17	112,316.00
5	149	429	17,389.00	32,024.76	122.312.00
6	148	424	17,267.00	32,265.49	129,784.00
7	144	423	17,294.00	35,843.98	132,076.0
8	148	425	17,433.00	33,456.74	132,874.00
9	148	425	17,466.00	30,759.09	123,579.00
10	148	425	17,260.00	28,978.41	124,792.0
11	146	420	16,704.00	23,795.88	118,362.00
12	147	407	16,471.00	25,105.88	115,194.00

鐵嶺金融會融資使途別

使途	貸出		回收		未回收金	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
商業資金	18	円 4,350.00	18	円 4,350.00	—	円 —
年租資金	9	18,000.00	6	10,000.00	3	800.00
舊債償還金	10	3,214.00	6	1,464.00	4	1,750.00
揚水機購入資金	1	11,760.00	—	2,300.00	1	9,460.00
住宅購入資金	10	1,000.00	5	500.00	5	500.00
農耕資金	590	81,764.00	420	67,237.00	170	14,527.00
合計	**638**	**120,088.00**	**455**	**85,851.00**	**183**	**27,037.00**

鐵嶺金融會貸款明細

貸付金額別	口數	金額	回收金		未回收金	
			口數	金額	口數	金額
10.00 以上 50.00 以下	72	円 2,030.00	72	円 2,030.00	—	円 —
50.00 以上 100.00 以下	140	30,896.00	120	28,196.00	20	2,700.0
100.00 以上 150.00 以下	220	11,784.00	190	9,834.00	30	1,950.
150.00 以上 200.00 以下	56	11,000.00	23	8,500.00	35	2,500,0
200.00以上	150	64,378.00	50	37,291.00	100	27,087.
計	**638**	**120,088.00**	**455**	**85,851.00**	**185**	**34.237.00**

鐵嶺金融會利率

	預金	借入金	擔保貸付	普通貸付
最高	2錢5厘	2錢	4錢	5錢
最低	1錢	2錢	3錢5厘	5錢

註　100圓に對する日歩

第七節　其の他の金融機關

鐵嶺輸入組合　（商工會議所　昭和10年度　統計年報）

月別	組合員積立金及口數		諸貸出金		
	口數	積立金額	信用貸付金	擔保貸付金	合計
		圓	圓	圓	圓
1	1,667	82,327.44	140,645.00	16,170.00	156,815.00
2	1,614	79,677,47	139,632.00	12,490.00	152,122.00
3	1,625	80,116.58	137,462.00	15,355.00	152,817.00
4	1,715	84,526.85	135,196.00	16,555.00	151,751.00
5	1,715	84,726,35	137,210.00	16,555.00	153.765.00
6	1,720	84,948.31	137,541.00	16,555.00	154,096.00
7	1,720	84,948.31	137,272.00	15,555.00	152,827.00
8	1,721	86,007.38	134,942.00	15,355.00	150,297.00
9	1,721	38,007.38	131,999.00	15,503.00	147,502.00
10	1,721	85,007.38	136,068.00	14,438.00	150,506.00
11	1,741	85,007.38	136,968.00	12,305.00	149,273.00
12	1,720	84,981.62	134,762.00	11,385.00	146,147.00

鐵嶺郵便局　（商工會議所　昭和10年度　統計年報）

月別	受入之部		受入之部		受入之部	
	爲替		貯金		振替貯金	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
		圓		圓		圓
1	1,333	35,300.19	1,868	33,771.44	946	42,312.54
2	1,086	24,696.43	1,794	28,027.44	817	31,999.08

月別	受入之部		受入之部		受入之部	
	爲替		貯金		振替貯金	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
		円		円		円
3	1,2[illegible]6	32,185.85	2.150	34,421.03	716	31,574.96
4	1,227	33,052.54	1,130	25,880.43	970	51,869.20
5	912	25,735.74	828	13,325.91	974	29,947.96
6	844	23.181.52	638	22,276.81	708	28,836.81
7	1,159	29,298.26	3,196	43,270.04	664	29,597.33
8	1,050	22,076.78	3,191	22,679·93	678	26,805.81
9	849	20,962.73	1,710	23,495.54	542	37,556.15
10	833	21,646.60	814	21,174.21	608	30,808.13
11	727	19,755.38	476	18,207.03	631	29,545.85
12	1,713	43,966.47	1,568	33,304.50	615	24,847.99

郵便局(鐵嶺)　(昭和10年度　統計年報)

月別	爲替		貯金		振替貯金	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
		円		円		円
1	421	18,422.74	483	23.390.21	105	12,264.18
2	397	19,060.08	512	25,767.07	94	11,090.24
3	450	15,922.33	1,308	35,976.07	136	10,792.24
4	483	18,308.18	611	4,150.06	141	11,449.29
5	429	19,250.42	448	22,411.52	116	12,693.47
6	373	13,702.74	444	23,394.31	141	15,005.30
7	444	11,473.58	449	22,130.01	132	19,591.90
8	401	10,085.81	481	24,133.33	95	17,554.36
9	448	11,764.61	486	27,202.45	101	8,949.60
10	420	10,720.79	548	24,600.09	101	8.201.67
11	359	13,329.15	435	19,123.36	114	12,678.96
12	638	22,090.02	691	28,962.63	134	23,662.44

第八節　春耕貸款

春耕貸款

本縣では春耕貸款を大同2年5月15日（1934年）貸出47,673圓放款を行ふ。其の回收は康德3年3月(1936 年)に終了した。

調査屯に於て3號農家は民國 20 年東三省官銀號から農商貸款の名儀で800圓月利2分で地券を擔保に借入したが、如何なる物を農商貸款と呼ぶか不明で有る。

春耕貸款回收數日表

大同2年5月15日放出總額	國幣	47,673圓
大同2年度回收金額	〃	720圓
康德1年度回收金額	〃	42,015圓
康德2年度回收金額	〃	4,773圓
康德3年度回收金額	〃	135圓

康德3年3月末、回收終了

頼母子

屯内に於ては全然ない。

縣城に於て扒會が有る。

扒　會

目　的

困窮者の救濟の爲。

會　員　會員の資格は制定がない。

會員數　一定せず。

出資額

1圓掛、5圓掛、10圓掛等不定である。

落札方法

第1回は全額講主救濟の目的で講主が取る、以後は講員の入札により少額の入札者に落札し、殘額は均一分配とする。

期　間

講員數により月1回の開會である爲、30人の場合は30ヶ月とする。

其　他

屯内に於て短期間無利子の融通に個人貸借、親類間の貸借にて述べる如き挪錢と稱するものが有り、個人貸借で述べる。

第七章　租　稅　公　課

第一節　納　入

一　納　期

各稅目毎に其の納期を異にし、一定期間を以つて納期とされてゐるもの、或は一定することなく其の都度課稅徴收されてゐるものとある。

二 徵 收 機 關

徵收機關は縣財務局、稅捐局、村公所、特產管理處等である。

三 徵 收 方 法

徵收は縣內各區に駐區徵收處を設け此處に財務局員を派遣し、國縣稅の徵收を行つてゐる外、營業稅及糧穀捐に對しては、稅捐局分卡を設け課稅徵收してゐる。

特に田賦、畝捐、大車捐に關しては、各村長に管內納稅者を督促させ、期間內に納入せしむる樣徵稅援助の義務を負はせ、其の外財務局員を動員し、徵稅に遺憾なきを期して居る。尙納期の一定してゐるものに就ては納期前約半ヶ月頃に佈告を爲し、納稅者に告知し各々徵收機關に納入せしむるのである。納稅者は各々前記徵收機關に直接持參納入せしむるものであるが、特に徵收員が巡廻徵收に當るものもある。

四 督 促 方 法

納期間中に未納なものは、速やかに納入する樣佈告を貼布し、未納者に告知する外、更らに財務局員を派遣し、村長、屯長或は警察署員を督勵し、速やかに納入せしめる樣督促してゐる。

而して國稅は6月30日迄縣稅は7月31日迄を滯納期とし、更に其の滯納期間にも納付しなかつたものに對しては、縣公署に留置して懲戒を與へる規定であるが、まだ其の實例はない。

滯納期及滯納稅（國稅は6月30日迄即ち20錢迄とす）5月1日より31日迄納稅額1.00圓に對し滯納稅0.10圓

6月1日より30日迄1.00圓に對し0.20圓

7月1日より31日迄1.00圓に對し0.30圓

即ち滯納期間は國稅2ヶ月、縣稅は3ヶ月である。

2年度縣民の負擔及稅歲入

次に本縣農家の租稅公課諸負擔關係を見るに先立ち、縣の統計に依る縣稅歲入及縣民の國稅、縣稅及村費其の他の諸負擔狀況を見れば次表の如きものである。

縣民諸負擔狀況

1. 國稅及縣稅

種別＼年度	人口	戶數	國稅 稅總額	國稅 1人當負擔	國稅 1戶當負擔	縣稅 稅總額	縣稅 1人當負擔	縣稅 1戶當負擔
	人	戶						圓
康德2年度	363,097	5[illegible]	[illegible]	0.65	3.[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

2. 其の他

種別＼年度	人口	戶數	村公費 徵收總額	村公費 1人當負擔	村公費 1戶當負擔	農會費 徵收總額	農會費 會員數	農會費 1人當負擔	商務會費 徵收總額	商務會費 會員數	商務會費 1人當負擔
	人	戶	圓		圓	圓	人	圓	圓	人	圓
康德2年度	363,097	59,823	365,457.00	1圓強	6.19	8,432.00	1,053	8.00	27,600.00	800	34.5[illegible]

備考　其の他村公費中には保甲費を含む

1. 屯農家の總支出に對する租税公課諸負擔の割合

總支出	租税公課諸負擔	割合
13,122.88圓	1,309.87圓	10%

2. 屯農家1戸當り平均收入支出並に租税公課諸負擔

1戸當平均收入	1戸當平均支出	1戸當平均諸負擔
322.04圓	320.70圓	31.95圓

康德2年度税收入別及其の他收入（縣歳入）

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
房租	530.60	窰業捐	40.00	木炭捐	575.43	學校授業料	5,891.27
證明手數料	2,610.30	經紀捐	134.40	渡口捐	170.50	報償金	600.00
税收入	15,483.72	粮捐	18,797.90	肥料捐	180.00	歳計存款利息	72.07
畝捐	118,625.39	車捐	23,590.60	廣告捐	10.80	過怠金收入	89.70
闤闠捐	889.84	船捐	148.30	税罰款	652.53	售賣呈紙收入	272.30
門戸捐	13,230.10	屠宰捐	7,167.45	剪捐	618.90	不用品賣出金	280.05
商捐	20,766.61	戯捐	260.00	國税徴收交付金	1,280.84		
班捐	171.00	妓捐	1,635.00	農商貸款交付金	2,111.31	總計	236,886.91

第二節 税　　率

1. 地税々率表

等則別		國税			畝捐		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
上則地	每畝當	圓 0.154	圓 0.154	圓 0.154	圓 0.146	圓 0.146	圓 0.146
中則地	〃	0.110	0.110	0.110	0.140	0.140	0.140
下則地	〃	0.066	0.066	0.066	0.134	0.134	0.134
減則地	〃	0.033	0.033	0.033	0.067	0.067	0.067

税收額118,625.39圓

2. 粮穀税及粮捐税率表

種別	税別	粮穀税	粮捐
粗粮	從價	$\frac{5}{1,000}$	粮捐は種類別なく一率に1石當0.06圓但し3年度は從價の$\frac{1}{100}$
細粮	〃	$\frac{10}{1,000}$	
油粮	〃	$\frac{25}{1,000}$	
豆類	〃	$\frac{25}{1,000}$	

2年度税收は18,797.90圓

3. 牲畜税々率表

牛	從價	6/100	
馬	〃	〃	
騾	〃	〃	
驢	〃	3/100	但し驢に於ては最低16.00圓最高25.00圓を限度とし此の範圍にて課税徴收せらる
猪	〃	〃	
羊	〃	〃	

4. 車牌捐税率表(大車)

種類	2年度		3年度
1頭曳	1臺に付き	圓 1.00	1.50
2頭曳	〃	2.00	3.00
3頭曳	〃	4.00	5.50
4頭曳	〃	4.00	5.50
5頭曳	〃	6.00	7.00
	税收額　23,590.60圓		

註　5頭曳とあるは5頭曳以上

5. 屠宰捐

種類	2年度		3年度	備考
牛	每頭	圓 3.00	圓 2.50	豚は屠宰場で屠宰のものは1.10圓地方屠宰肉商よりは年100頭以上のものより年30.00圓80～100頭迄のものより26.00圓60～80頭よりのものより22.00圓 40～60頭迄のものより18.00圓徵税さる但し農村にて自家用に屠宰のものよりは上記0.50徵收さる
豚(客猪)	〃	0.50	1.50	
羊	〃	1.00	0.50	
税收額		7,167.45		

6. 門戶捐税率表

2年度は2回に分徵せらる

土地無所有者	0.15	1回當り
2 ～ 3　天地	0.30	〃
4 ～ 15　〃	0.45	〃
15 ～ 30　〃	0.60	〃
30 ～100　〃	1.00	〃
100～150　〃	1.50	〃

第三節　國　　税

一　田　　賦

1. 田賦等則別税率（別表參照）

2. 等則區分の標準

右標準は建國前、即ち舊政權當時其の儘を踏襲して居る爲、其の據る標準は曖昧であつて、容易に明らかにすることは出來ない。縣誌に依れば右等則區分の設定は、民國3年に始めて4等則に區分されたに始まり、當時の區分は旗地民地を問はず伸戸米地、民戸米地、加賦耗羨餘地、清賦上等荒地を總べて上則地とし、民銀地、餘地、續增首報私開地、民典旗餘地、暫行餘地、永遠餘地、舊拓清賦熟地及各項旗地を中則地とし、清賦下等荒地を下則地とし、清賦下則割引荒地は最下則地に定められたのである。

3. 地券面積と課税面積との關係

現在使用してゐる課稅徵租according冊は建國後、改められたものであるが、其の內容は舊政權當時の徵租according冊を其の儘援用し居る爲、以前と變る處なく地券面と課稅面の關係は實際同一なる可きであるが、多少不同の場合がある。其の理由は只民國時代行はれた、清丈の不徹底及所有者が排下開墾當時の報告に相違のあつた場合等に起因するものではないかと稱せられてゐる。農民自身實際其の理由を知らず明らかな根據は得難い。

4. 課 稅 免 除 地

水災又は其の他の災害に依り收穫皆無或は半減せる場合は、其の納稅者は村長を通じて減免稅の申請をなし得る、此の申請に基いて縣公署及稅捐局では係員を派遣し、調査して減免稅の處置を講ずるのである。右は普通耕作地に災害を被つた場合其の程度に依り減免稅されるのであるが、此の外に三園（菜園、墓地、宅地）は原則として課稅されてゐない。

本縣內を通じて約10,000畝程度の課稅されてゐない耕地、即ち未だ土地制度が確立してゐない爲、所有者が隱匿してゐる耕地、所謂脫稅耕地とも稱す可きものがある樣に推察されて居り（財務局徵稅股長談）、之等の土地は主として旗人の所有してゐたものであつて、漢人は山東、河北地方から渡來して土地を入手する際には同時に證書及地券を下附されるものであるから、從つて漢人にはそふした土地があり得べき筈がないと言はれてゐる。其の眞僞は何の程度のものか、單なる推察に依るものであるから明らかではない。

上述の如き土地を他人に賣却せんとする場合は先づ地券の取得が必要である爲、村長の保證捺印を受けた上、縣公署に出頭して地券の下附を受け、始めて賣却可能になるものである、此の實例は2年度に於て5件あつた。

康德2年度に於ける災害課稅免除地及免稅額

等則別	面積	免稅額
	畝	圓
上則地	366.34	56.42
中則地	14,048.76	1,545.36
下則地	7,633.98	493.84
減則地	5,310.12	175.23
計	27,359.20	2,270.85

二 出産糧穀税

1. 税　率（別表参照）

2. 糧穀税課税標準

課税標準は稅捐局で本縣特產管理處の市場相場を報告させ、それを毎月3旬に分け其の1旬間の平均を得て、それを翌旬の公定相場樹立の標準とし、此の公定相場によつて課税してゐる。

3. 糧穀公定相場決定の方法

公定相場の決定は本縣特產管理處で縣内特產賣買を圓滑公平に取引せしめる爲に、市場相場を立て取引標準として居るのを利用し、此の市場相場10日間の平均を以て公定相場の標準とし、奉天稅務監督署及隣接5縣に報告し、相互にそれを考慮し、大なる價格の差異を避ける樣講ぜられて居る。

尙公定相場は特產管理處の市場相場より糧穀稅を控除して決定し、例へば1日より10日迄のものとすれば其の月の16日より25日迄の10日間の課稅標準とし、其の間各々5日間を順繰りとして行つて居るものである。

縣内では此の公定相場を一本とし、各分卡と同一に縣内特產の糧穀稅を徵收して居る。

本縣公定相場の發生時期は、民國20年頃遼寧政府財政廳の訓令に基いて始めて設定を見たのであつて、本縣内には大體二通りの相場があると見られて居る、即ち新臺子を中心とするもの、及縣城を中心とするものに區別される樣である、然し政府の方針として同一縣内で桝の相違が著しくない限り1局1相場と定められて居る爲、縣内は本局の相場一本によつて統一されて居る。

尙特產管理處の市場相場は稅納入濟の相場である。

4. 納　入　方　法

糧穀稅及糧穀捐の納入は稅捐局、或は各分卡に直接農民、糧棧又は車店、或は仲買人が納入するものであるが、直接農民が納入するものより糧棧及車店等で代納するものが多い。即ち糧棧が買付けを行つた際、稅額は穀物代金から差し引いて購入するものである。特產出廻期になれば常設稅捐局分卡5ヶ所を10ヶ所に增設して徵稅を行ふが、此の時期には直接農民が納入するものが多い。

徵稅場所は縣城及新臺子の各集散地の分卡であるが、徵稅の他糧穀稅捐の脫稅防止に當つて居り、もし徵稅漏れがあつたとすれば、それは其の地の地場消費となるものと見られる。

5. 糧穀公定相場表（次表參照）

鐵嶺縣稅捐局粮穀公定相場

粮名＼價格＼月別	1月分 上旬	1月分 中旬	1月分 下旬	2月分 上旬	2月分 中旬	2月分 下旬	3月分 上旬	3月分 中旬	3月分 下旬
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
黄豆	0.502 1.190	0.527 1.250	0.582 1.380	0.607 1.440	0.616 1.460	0.649 1.540	0.616 1.460	0.599 1.420	0.620 1.470
紅粮	0.548 1.300	0.556 1.320	0.556 1.320	0.565 1.340	0.582 1.380	0.641 1.520	0.632 1.500	0.607 1.440	0.628 1.490
穀子	0.485 1.150	0.489 1.160	0.489 1.160	0.497 1.180	0.548 1.300	0.582 1.380	0.548 1.300	0.535 1.270	0.535 1.270
包米	0.485 1.150	0.489 1.160	0.497 1.180	0.540 1.280	0.556 1.320	0.607 1.440	0.590 1.400	0.551 1.310	0.551 1.310
粳子	0.350 .840	0.430 1.020	0.460 1.100	0.506 1.200	0.485 1.150	0.510 1.210	0.506 1.200	0.506 1.200	0.506 1.200
小豆	0.548 1.300	0.548 1.300	0.582 1.380	0.611 1.450	0.654 1.550	0.751 1.780	0.662 1.570	0.616 1.460	0.611 1.450
青豆	0.590 1.400	0.594 1.410	0.620 1.470	0.641 1.520	0.708 1.680	0.734 1.740	0.708 1.680	0.666 1.580	0.666 1.580
芝麻	0.974 2.310	0.945 2.240	1.012 2.400	1.046 2.480	1.075 2.550	1.143 2.710	1.063 2.520	— —	— —
粳米	0.932 2.210	0.970 2.300	0.995 2.360	1.012 2.400	1.050 2.490	1.105 2.620	1.088 2.580	1.037 2.460	1.054 2.500
小米	0.675 1.600	0.763 1.810	0.751 1.780	0.759 1.800	0.856 2.030	0.940 2.230	0.886 2.100	0.822 1.950	0.856 2.030
大麻子	0.506 1.200	— —	— —	0.518 1.230	0.544 1.290	— —	— —	— —	— —
稻子	— —	0.675 1.600	0.675 1.600	0.729 1.730	0.700 1.166	0.729 1.730	0.717 1.700	0.713 1.690	0.721 1.710
稻米	— —	— —	— —	1.075 2.550	— —	— —	— —	— —	— —
小麦	— —	— —	— —	0.548 1.300	— —	— —	— —	— —	— —
大麦	— —	— —	— —	0.421 1.000	— —	— —	— —	— —	— —
小麻子	— —	— —	0.337 0.800	0.295 0.700	0.295 0.700	— —	— —	— —	— —
江米	— —	— —	— —	1.097 2.600	1.075 2.55	— —	— —	— —	— —
落花生	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
棉究	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

粮名＼價格＼月別	4月分 上旬	4月分 中旬	4月分 下旬	5月分 上旬	5月分 中旬	5月分 下旬	6月分 上旬	6月分 中旬	6月分 下旬
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
黄豆	0.628 1.490	0.641 1.520	0.641 1.520	0.645 1.530	0.628 1.490	0.628 1.490	0.573 1.360	0.518 1.230	0.514 1.220
紅粮	0.637 1.510	0.662 1.570	0.691 1.640	0.725 1.720	0.729 1.730	0.746 1.770	0.721 1.710	0.708 1.680	0.713 1.690
穀子	0.531 1.260	0.523 1.240	0.514 1.220	0.565 1.340	0.573 1.360	0.565 1.340	0.556 1.320	0.555 1.310	0.548 1.300
包米	0.561 1.330	0.569 1.350	0.603 1.430	0.675 1.600	0.654 1.550	0.662 1,570	0.675 1.600	0.666 1.580	0.683 1.620
粳子	0.506 1.200	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
小豆	0.603 1.430	0.620 1.470	0.645 1.530	0.666 1.580	0.675 1.600	0.675 1.600	0.637 1.510	0.628 1.490	0.599 1.420
青豆	0.675 1.600	0.679 1.610	0.708 1.680	0.742 1.760	0.738 1.750	0.759 1.800	0.729 1.730	0.742 1.760	0.713 —
芝麻	1.097 2.600	1.054 2.500	1.075 2.550	— —	— —	— —	— —	— —	— —
粳米	1.054 2.500	1.075 2.550	1.088 2.580	1.113 2.640	1.122 2.660	1.126 2.670	1.097 2.600	1.101 2.610	1.071 2.540
小米	0.843 2.000	0.843 2.000	0.852 2.020	0.907 2.150	0.919 2.180	0.923 2.190	0.928 2.200	0.928 2.200	0.911 2.160
大麻子	0.337 0.800	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
稻子	— —	— —	— —	— —	0.717 1.700	— —	— —	0.675 1.600	— —
稻米	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
小麦	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
大麦	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
小麻子	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
江米	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
落花生	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
棉究	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

粮名＼價格＼月別	7月分 上旬	7月分 中旬	7月分 下旬	8月分 上旬	8月分 中旬	8月分 下旬	9月分 上旬	9月分 中旬	9月分 下旬
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
黄豆	0.497 1.180	0.527 1.250	0.552 1.310	0.535 1.270	0.493 1.170	0.502 1.190	0.524 1.220	0.556 1.320	0.620 1.470
紅粮	0.691 1.640	0.691 1.640	0.751 1.780	0.746 1.770	0.729 1.730	0.751 1.780	0.611 1.450	0.531 1.260	0.518 1.230
穀子	0.548 1.300	0.544 1.290	0.544 1.290	0.544 1.290	0.544 1.290	0.544 1.290	0.514 1.220	0.455 1.080	0.497 1.180
包米	0.704 1.670	0.675 1.600	0.713 1.690	0.717 1.700	0.708 1.680	0.675 1.600	0.493 1.170	0.476 1.130	0.497 1.180
粳子	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	0.506 1.200
小豆	0.590 1.400	0.548 1.300	0.548 1.300	0.569 1.350	0.565 1.340	0.556 1.320	0.548 1.300	0.544 1.290	0.603 1.430
青豆	0.717 1.700	0.691 1.660	0.742 1.760	— 1.76	0.759 1.800	0.751 1.780	0.721 1.710	0.713 1.690	0.755 1.790
芝麻	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1.097 2.600
粳米	1.033 2.450	1.012 2.400	1.016 2.410	1.029 2.440	1.054 2.500	— 2.630	1.097 2.600	1.071 2.540	1.113 2.640
小米	0.923 2.170	0.923 2.170	0.936 2.220	0.966 2.290	0.962 2.280	0.978 2.320	0.919 2.180	0.843 2.000	— 2.010
大麻子	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
稻子	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	0.649 1.540
稻米	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
小麦	— —	— —	0.544 1.290	0.540 1.280	0.527 1.250	0.527 1.250	0.514 1.220	0.514 1.220	0.561 1.330
大麦	— —	0.316 0.700	0.274 0.750	0.256 0.700	0.223 0.610	— 0.650	— 0.590	— 0.550	0.210 0.500
小麻子	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
江米	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
落花生	— —	— 1.320	— 1.320	— 1.320	— 1.32	— 1.320	— 1.320	— 1.440	— 1.440
棉究	— —	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240

粮名＼價格＼月別	10月分 上旬	10月分 中旬	10月分 下旬	11月分 上旬	11月分 中旬	11月分 下旬	12月分 上旬	12月分 中旬	12月分 下旬
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
黄豆	0.645 1.530	0.662 1.570	0.666 1.590	0.645 [illegible]	0.645 [illegible]	0.641 [illegible]	0.628 [illegible]	0.624 [illegible]	0.620 [illegible]
紅粮	0.506 1.200	0.510 1.210	0.548 1.300	0.540 1.280	0.535 1.270	0.506 [illegible]	0.497 [illegible]	0.497 [illegible]	0.497 [illegible]
穀子	0.535 1.270	0.540 1.280	0.544 1.290	0.514 1.220	0.510 1.210	0.485 [illegible]	0.451 [illegible]	0.464 [illegible]	0.464 [illegible]
包米	0.481 1.140	0.489 1.160	0.510 1.210	0.476 1.130	0.464 1.100	0.443 [illegible]	0.426 [illegible]	0.426 [illegible]	0.421 [illegible]
粳子	0.485 1.150	0.506 1.200	0.493 1.170	0.502 1.190	0.493 1.170	0.506 1.200	0.481 [illegible]	0.460 [illegible]	[illegible] [illegible]
小豆	0.616 1.460	0.611 1.450	0.611 1.450	0.611 1.450	0.607 [illegible]	0.603 [illegible]	0.594 1.410	0.607 [illegible]	0.628 [illegible]
青豆	0.746 1.770	0.725 1.720	0.755 [illegible]	0.755 1.790	0.755 [illegible]	0.759 [illegible]	0.729 [illegible]	0.755 [illegible]	0.759 [illegible]
芝麻	— —	1.772 4.200	1.670 3.960	1.497 3.550	1.362 3.300	— —	1.362 [illegible]	1.362 [illegible]	1.265 [illegible]
粳米	1.063 2.525	1.054 2.500	1.054 2.500	1.054 2.500	1.054 [illegible]	1.050 [illegible]	1.008 [illegible]	0.970 [illegible]	[illegible] [illegible]
小米	0.873 2.070	— 2.130	0.886 2.100	0.886 2.100	0.886 [illegible]	0.886 [illegible]	— —	0.776 [illegible]	[illegible] [illegible]
大麻子	— —	— —	— —	— —	0.759 1.800	— —	0.662 1.570	0.759 1.800	0.759 1.800
稻子	0.633 1.500	0.632 1.500	0.620 1.470	0.607 1.440	0.624 [illegible]	0.628 [illegible]	0.616 [illegible]	0.616 [illegible]	[illegible] 1.470
稻米	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1.476 [illegible]
小麦	0.586 1,390	0.624 1.480	0.632 1.500	0.620 1.470	0.611 1.450	0.624 1.480	0.632 1.500	0.632 1.500	0.620 [illegible]
大麦	— —	0.210 0.500	0.210 0.500	0.210 0.500	— —	— —	— —	— —	— —
小麻子	— —	— —	— —	— —	— 0.900	— —	0.358 0.850	0.337 0.800	0.358 0.850
江米	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
落花生	— 0.800	— 1.100	— 0.900	— 1.100	— 1.100	— 1.100	— [illegible]	— [illegible]	— [illegible]
棉究	— 0.200	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— 0.240	— [illegible]	— —	— —

註　太字は新制度量衡に換算出せる價格

6. 糧穀稅以外の課稅負擔

糧穀捐以外に縣城に出廻はるものは、縣財務管理處の經費每石（舊石）當り 0.01 圓斗大費 0.03 圓抗倒費 0.06 圓を糧桟及農民で折半負擔納入す（大同2年9月20日より 康德2年12月20日迄）

附　記

康德3年度農民の負擔は、糧穀捐のみに變はり縣城以外の賣買も糧穀捐のみとなる。

三 牲　畜　稅

1. 稅　　率（別紙參照）

2. 課 稅 物 件

牛、馬、騾、驢、猪、羊に課稅せられる。

3. 納稅義務者及納入時期

牛、馬、騾、驢共にその所有者は牲畜稅納入の義務あり、納付後の有効期間は 15 年であつて、此の期間を過ぎれば又納入の義務を有するのである。尙生後相當の時日を經過して使用し得るに至れば、同じく納稅の義務あるものであるが、此の決定は容易でない爲、實際は賣買の時に於てのみ納入するものである。即ち納入の時期は其賣買の都度行はれ納稅は總べて買受人の負擔となる。

4. 實 際 納 入 額

賣買價格に依り課稅せられるものであるが、買受人は納稅の際に買價以下に屆ける事もある樣に見られる。次に康德2年6月迄の課稅頭數及稅收入並に賣買總額を示せば次の通りである

種　　別	頭　　數	總　　額	稅　　收
牛	(頭) 4,840	(圓) 177,011.00	(圓) 10,620.00
馬	4,731	227,571.00	13,654.00
騾	5,876	323,160.00	19,390.00
驢	5,071	98,722.00	2,962.00
猪	8,537	153,994.00	4,620.00
羊	3,526	14,918.00	448.00
計	**32,581**	**995,376.00**	**51,694.00**

猪は屠宰用として賣買されるもの丈けに課稅せらるものである。

四 出 產 貨 物 稅

1. 課 稅 物 件

榛子、木炭、棉花、牛皮、羊皮、羊毛、山梨

2. 稅　　率

總べて從價の$\frac{15}{1,000}$

3. 納入時期場所及方法

納期は一定せず、販賣運搬の際に各分卡を通過するものに對して、随時課税徴收するのである。

本縣内に此の稅目に依る課稅物件は少く、從つて稅收も僅少の爲、2年8月廢稅となつたが、大なる影響はない。

五 契　　　　稅

1. 買　　契

買契に對しては買價の$\frac{6}{100}$を印花で課稅し、其の外縣稅として$\frac{2}{100}$を課稅する、買契紙費1枚に付き2圓及戶管1枚に付き2圓を買受人が負擔し、登記費は賣買價格の$\frac{5}{1,000}$を納入する。

2. 典　　　　契

典契に對しては、典契約價格の$\frac{4}{100}$を印花で課徴する外、典契紙費1枚に付き1圓戶管1枚に付き1圓を入典者が負擔し、法院に於ける典契登記費は$\frac{5}{1,000}$納入するのである。

調査屯では入出典は集計表に於て見られる如く相當多いのであるが、典契の屆出をしたものはなく、殆んど信用契約で個人間に於て契約證書の取交はしを行つてゐるのみである。

第四節　縣　　　　稅

一 畝　　　　捐

1. 畝捐等則別稅率 （別表參照）

等則區分の標準及地券面積と課稅面積との關係及課稅免除地並に納入場所及時期方法は前記田賦と同樣であつて、滯納期限は田賦より1ヶ月長く、期限後の處置も又田賦と同樣であるが、實際納入は一般に田賦と同時に行はれてゐる。

但し畝捐は其の年度内に納入されたものは、其の年度の收入とされてゐる。

其の他督促方法も總べて田賦と同樣である。

康德2年度課稅免除地及免稅額

	面　　積	免　稅　額
	畝	圓
上　則　地	366.34	53.49
中　則　地	14,048.76	1,966.83
下　則　地	7,633.98	1,022.95
減　則　地	5,310.12	355.78
計	27,359.20	3,399.05

二 糧　　　　捐

稅率以外には納入方法及納入場所時期等總べて糧穀稅と同樣、糧穀稅納入の際同時に納入するのが普通である。

附記　縣城に於ける特產賣買の際の農民及糧棧の諸負擔關係

大同2年9月より康徳3年8月迄の變遷

自大同2年9月20日
至康徳2年12月20日　粮穀税は農民負擔

斗夫(計量人夫賃)	毎石當り(舊石)	0.03圓
抗倒(揚卸人夫賃)	〃	0.06〃
粮捐(種類別なし)	〃	0.06〃
特産管理處費	〃	0.01〃
計		0.16〃

右0.16圓は特産管理處を經て賣買のものに限り、農民及粮桟が折半負擔するのである。

自康徳2年12月21日
至〃3年7月31日

斗夫(計量人夫賃)	毎石當り(舊石)	0.05圓
抗倒(揚卸人夫賃)	〃	0.05〃
特産管理處費	〃	0.02〃
計		0.12〃

右0.12圓は全部粮桟の負擔とし、粮穀税及粮捐は全部農民の負擔と改められた。

康徳3年8月以降は斗夫0.02圓抗倒0.02圓管理處費0.008圓に改められ、負擔關係は7月迄は變化がない。

三　屠宰捐

税率(別表參照)

本税は屠宰の都度課税徴收せられるのが原則であるが、僻遠の地にあつて屠宰賣買を業とするものに對しては、豫め等級を定めて納税額を決定しおき、或る時期に局員を派し徴税させるのである。一般農家の自家用として屠宰するものは、之を客猪と稱して課税徴收するが、此の場合は農民が徴收處に持參して納入するものである、この脱税行爲が發見された場合は倍額の罰款を課せられる。

四　車牌捐

特に農用大車にのみ付き調査す。

1. 税率　(別表參照)

2. 納入時期及方法

毎年9月を納期とし、各駐區徴收處に村長が管内の納付額を集めて取纏て納付する。

納入狀況は良好であつて、課税納入率が96%以上に上つてゐる(2年度)

五　門戸捐

税率　(別表參照)

縣は各戸を等級に區分し、之れに依つて2回に分徴され、納入は各區駐區徴收處に持參納付してゐる、本税は2年度限り廢止された。

六　農務會費

1. 縣農務會費

會費の用途は會長以下職員の俸給に最も多く使用され、其の他事業費として春秋の植樹費用 800 圓養蚕に 1,000 圓程度使用されるものを主としてゐる。

會費納入者は縣内耕作者全部であつて、自小作別を問はず 1 天地當り 8 錢を以つて割當標準としてゐる。

會費徵收の方法及時期は村費の中に含んで行はれ、從つて村費と同時に徵收され、春秋 2 回各村長は農會長に持參納入するのである。

2. 區農會費

本會費は名目は農會費であるが、殆んど農業方面に使用される事なく、縣公署及村公所との連絡機關として居在してゐる樣な實狀で、從つて其の方面に使用せられ、2 年度は調査屯の第 7 區では耕作者(自小作別なし)より 1 天地當り 30 錢を村費中に含めて村費として徵收されたのであるが、本會費の如きは徒らに農民の負擔を過重にし、農村に卑益する處が少ないと言ふ理由を以つて康德 2 年度限り區農會を廢止され、從つて本會費の負擔もまた消滅した。

七　義倉費

4 割當額決定の標準及納入者

徵收は土地所有者からは 1 畝當り穀子 8 合(新制)と定められ、其の他のものからは財務局で定めた等級に依つて義倉戶別捐として現金徵收を行つてゐる、納入者は農家、商家其の他縣內の全戶が納入の義務を有するものである。

然し村內で納入能力のないものがあつた時は、村長より縣長に免除方を申請し、免除せられるものである。

鐵嶺縣義倉戶別徵收計算表

等別	規定等級標準	換算土地	換算土	每畝徵穀	合計徵穀數	換算	換算	備考
	年收入額	標準	地畝數			單價	徵收額	
1 等	10,000圓 以上者	200圓を以て土地1天地に計算	畝 500	每畝年徵8合	石 4.000	換算單價は其都度決定す	圓 20.00	1石を以て國幣5圓とす
2 等	7,000圓 以上者	〃	350	〃	2.800		14.00	
3 等	5,000圓 以上者	〃	250	〃	2.000		10.00	
4 等	4,000圓 以上者	〃	200	〃	1.600		8.00	
5 等	3,500圓 以上者	〃	175	〃	1.400		7.00	
6 等	3,000圓 以上者	〃	150	〃	1.200		6.00	
7 等	2,500圓 以上者	〃	125	〃	1.000		5.00	
8 等	2,000圓 以上者	〃	100	〃	800		4.00	
9 等	1,500圓 以上者	〃	75	〃	600		3.00	

等別	規定等級標準 年收入額	換算土地標準	換算土地畝數	毎畝徵穀	合計徵穀數	換算單價	換算徵收額	備考
10 等	1,000圓 以上者	〃	50	〃	石 400		圓 2.00	
11 等	800圓 以上者	〃	40	〃	320		1.60	
12 等	600圓 以上者	〃	30	〃	240		1.20	
13 等	400圓 以上者	〃	20	〃	160		0.90	
14 等	200圓 以上者	〃	10	〃	080		0.40	
15 等	80圓 以上者	〃	5	〃	040		0.20	

說明 1. 金額を畝數に換算するには公平を期する爲、等級及規定等級標準は總べて稅捐局門戸捐等級に依り決定す

2. 各等門戸より徵收すべき種類は穀子を以て標準とし、其價格は穀價の漲落の關係上臨時決定す

鐵嶺縣義倉商家(縣城及郷村を含む)徵收額

等別	縣城商號 規定等級標準(營業稅に依り計算)	縣城商號 毎月徵收商捐額	縣城商號 義倉徵收額(年徵收額)	四郷商號 規定等級標準(資本額に依り計算)	四郷商號 毎季徵收商捐額	四郷商號 義倉徵收額(年徵收額)	備考
1 等	圓 —	圓 —	圓 —	8,001圓起至 10,000圓 以上	圓 22.00	圓 22.00	
2 等	27.00	20.00	20.00	6,000圓 至 8,000圓	17.00	17.00	
3 等	16.00	14.00	14.00	4,001圓 至 6,000圓	14.00	14.00	
4 等	12.00	10.00	10.00	2,001圓 至 4,000圓	11.00	11.00	
5 等	8.00	8.50	8.50	1,001圓 至 2,000圓	9.00	9.00	
6 等	6.00	7.50	7.50	701圓 至 1,000圓	6.50	6.50	
7 等	4.00	6.50	6.50	401圓 至 700圓	4.50	4.50	
8 等	3.50	5.50	5.50	25圓 至 400圓	3.00	3.00	
9 等	2.50	4.50	4.50	特等	50.00	50.00	本縣全縣は8區にして縣城内廣泉公を以て特等とす
10 等	2.00	3.50	3.50		—	—	
11 等	1.50	2.80	2.80		—	—	
12 等	1.20	2.20	2.20		—	—	
13 等	1.00	1.60	1.60		—	—	
14 等	0.50	1.30	1.30		—	—	
15 等	0.50	1.00	1.00		—	—	

本縣城内の商捐は商家の種類に依り等級を決定、毎月徵收し郷村商家は毎年2期に分ち徵收し、月額及び季額は年徵を以て計算す

八 賦　　役

警備道路修理の爲、縣公署より各村に對し、一定の區間を村長に責任を以つて擔當させ、村長は管内農民に割當てを行ひ修理監督するもので、各村に依り農民の賦役に多少の相違がある、之を調査屯夏家樓村に見れば人力賦役の外大車、役畜等はその所有者が各々賦課に應じて出役し、人1日の服役に對し5日の服役

に見積られ、大體耕作地1天地當り約5日の割合で賦役があつたと稱してゐる。不耕作者は賦役の義務はない。

第五節　村費其の他

一　村　　費

康德2年度迄村費は各村々長が、自治的に村費の割當を決定し、徴收を行つて居つたのである。從つて村費の割當徴收額は、各村各々其の額に非常な開きがあり、自然其の用途内容が詳らかでない。本縣各村の村費も同樣の狀態にあつた。

村費中には保甲自衛團費及農務會費を含み、調査屯夏家樓村に於ける2年度徴收割當は自小作の別なく耕作面積1天地當り 5.70圓を徴收され、全村徴收額は 9.516圓であり、此の中に前年度の繰越し債務償還金の割當を約1天地當り 1.00圓を含むでゐるが、實に高率な負擔であり農民自身田賦及畝捐の徴稅額には重壓を感じないが、村費の負擔は過重であると述べて居るものもあつた。

之を事變前と比較すれば事變前の約 3.00圓に比し次の通りである。

大同1年	11.00圓	
〃　2年	7.00〃	
康德1年	3.50〃	但し1年度は赤字になつたので2年度に負債として繰越した。
〃　2年	5.70〃	

次に2年村費の主なる用途別內容を見れば、

イ、村公所員薪水	約 1,200圓
ロ、〃　事務費	不　明
ハ、〃　雜　費	不　明
ニ、招　待　費	約 1,200圓
ホ、旅　　費	不　明
ヘ、修　繕　費	不　明
ト、縣區農會費(雜費を含む)	〃
チ、教　育　費	約 4,000圓
リ、保甲自衛團費	不　明

上掲中招待費約 1.200圓は、官公吏軍警の招待費として使用され、總額の實に 12% 以上の多額に上つてゐる。

徴收時期は3月、10月、12月の3回に分徴されたのである。

徴收割當額の決定は委員會に依り出席委員は次の通りである。

村　長	1　人
副村長	2　人
村より選出者	2　人

屯の大地主及代表者　　20　人

以上が割當決定の爲、村長の相談に與り決定される。

之は東寧樓村に於て行つて居たものであつて、康德2年度全縣村費徴收額は約 800,000 圓により、農民の負擔莫大なものがあつたので、3年度からは村費を全部縣公署で管理する様に改められた。

3年度村費の徴收及支出方法

康德3年度より從來村費の亂七八糟なる實情に鑑み、一方村政善導の見地より縣公署内に村費管理處を設置し、全縣各村々費の決定割當及その管理をなし、合理的に之が活用を行ひ、農民の村費負擔の輕減と村政の明朗化を目的として努力してゐる。

この管理處費は全縣各村々費の中より支出し、傭員5名を置き他に前年迄各區の區農會長の職にあつた者を村政指導員として全縣8區に各1名づゝ派遣し、別に縣公署より村公所への傳達員8名を置いてゐる。

割當及徴收方法

村費の割當は豫算に依り年3回に分徴される、之は村公所より提出の豫算を管理處で縣公署内各機關と審議檢討の上決定割當されるもので、3年度は各村に多少の相違はあるが、大體平均耕作者より1天地當り 4.50 圓程度たらんと言はれてゐる。3年度は最初の試みである爲、幾分高率ではあるが、昱年度よりは相當の減額になるだらふと見て居る様である。

商家其の他の不耕作者よりは、其の地方有力者と相談の上、適當に等級を定め課稅徴收してゐる。尙前年と同じく村費中には、農務會費及保甲自衞團費を含み、徴收は前記村政指導員に專ら徴收の任を負はさせ、一方村政の指導に當らせてゐるのである。即ち徴收方法としては、村公所へ農民に持參納入させてゐる。

斯して徴收された村費は、縣公署内管理處に持參し、全縣村費が保管されるのである。

支出及交付方法

各村長は其の必要に應じて入用費用を明細に記載し、之を管理處に提出、管理處で點檢の上其の可否を決定するもので、自然不必要と認められた場合は支出され得ない。從つて村公所員の薪水始め他の支出も月末に明細を提出し、翌月中旬に給與支出されるものであるから、急に現銀支出を必要とする様な場合は、村長が一時これを立替へてゐることもあると言ふ。即ち村費は全部管理處の許可なくしては使用し得ないのである。

縣内を通じて村費の最も多いのは 13,300 圓少ないのは 2,500 圓で、全村費の中 $\frac{1}{3}$ 程度は教育費に、$\frac{1}{3}$ は公所費に、他の殘りは其の他に充當されてゐる。

本縣本年度全村費額は約 600,000 圓で、此の中管理處費は 24,000 圓で、これを全縣耕作面積に割當てると1天地當約3錢位と言はれてゐる。

以上は3年度村費の徴收及割當支出關係の概略であるが、最初の事である爲幾多不備の點もあり、逐年これが改正をなし漸次合理的にせんとしてゐる。

二　保甲費及び自衞團費

右費用は個別的に徴收されず村費中に含まれ徴收し、大部分自衛團員の食料費及被服費に用ひられ、調査屯の主村夏家樓村では、自衛團費として自小作の別なく、全耕作者より1天地當り 22 錢を村費中に含んで徴收してゐる。

三 看　　青　　費

陰暦6月より8月迄の看青的に支拂ふものであつて、夏家樓全村10人の看青的の報酬を全村耕作者が負擔するもので、1 天地當り現物高粱3升（舊石）を負擔する、徴收は10人の看青的が各戸を巡廻して徴收し一旦村公所に持參し、之を10分するのである。

納入は 11 月

四 飯　　　　票

2年度迄は縣警察隊及官公吏の宿泊する場合は、共の謝禮を支拂ふが、不足の場合共の費用は村長より屯の各戸に割當されたものが普通であつたが、3 年度より縣公署は飯票を發行し、軍警及縣公署員が現地に赴き宿泊した場合は、共の飯票を村長に渡し後日村長之を縣公署に持參し、共の費用は縣公署で支出する方法である。尚此の飯票は馬1頭は人1人同樣に取扱はれてゐる。

第六節　變　　　　遷

一　稅 の 減 免

本縣内を流れる遼河の氾濫、降水等に依る被害は、年に依り甚大なる事もあり、毎年多少の相違はあるが、被害地區に對しては減免稅されてゐる。歷史的に共の減免稅の數字を得る事は出來得ない。

二　租稅銀納と小作料銀納との關係

清朝時代には租稅の物納を見られたが、民國年代に至りなくなつた。物納された時代は共の土地は旗地であつて、此の内銀地と稱するものは銀納の土地であり、米地と稱するものは物納の土地であつた。

民國時代に至り物納が廢止されたのは前記の通りであるが、それに從つて米地の租稅も銀納に變り自然物納小作料もまた銀納に逐次變遷したのである。今日小作料銀納に變化した原因はまた次の樣なこともある。本縣の土地が肥沃な爲、小作人の增加に從つて耕地が不足し、小作人同志で小作料を競りあげて銀納前拂或は後拂ひにまで變らせたのである。

三　徴收機關及び徴收方法の變遷

事變前には納稅者は直接財務局に納入して居たものであるが、事變後各區に徴收員を派遣駐在させて徴收に從事せしめてゐる。

3年度よりは納稅者に便宜を計る爲、各村長に管内徴收の責任を負擔させ、尚各區に徴收處を設け、派遣員を助けて稅票の調査と共に徴稅の督促を行はせて居る。

柴川流域ノ水田（鮮人經營）龍首山ヨリ望ム　（一）

柴川流域ノ水田（鮮人經營）龍首山ヨリ望ム　（二）

水田經營鮮人農家（七里屯）

第八章　鮮人集團部落

第一節　鮮人の現狀

鐵嶺朝鮮人民會管内鮮人分布略圖

戸口及作付面積表　（鐵嶺朝鮮人民會調査昭和11年3月末現在）

縣區別	村別	耕地面積	戸數	人口
		天地	戸	人
鐵嶺縣	附屬地	—	23	142
〃	居留地	—	233	1.200
〃	城内	—	62	323
鐵嶺縣第1區	莽山屯	130.0	23	140
〃	地運所	369.8	59	295
〃	河北	77.0	11	45
〃	山頭堡	73.5	23	63
〃	平頂堡	100.5	22	55
〃	三家子	72.0	13	64
〃	黃石摺子	45.0	7	36
〃	大盤嶺	101.0	11	70
鐵嶺縣第2區	大甸子	50.0	11	45
〃	撫安堡	78.0	13	91
〃	催陣堡	76.0	12	53
〃	磨盤	164.0	23	92
〃	當舖屯	61.0	8	52
〃	鷄冠山	86.0	14	75
〃	哈珊邊	100.0	14	91
〃	偕海寨	66.0	11	71
〃	韮菜峪	28.5	8	39
〃	昂邦河	91.7	16	80
〃	白旗寨	50.0	10	49
〃	孤家子	70.0	16	129
〃	頭臺子	125.0	19	107
〃	馬蜂溝	440.0	141	575
〃	新屯	10.0	4	18
〃	老官臺	8.0	2	8
〃	沙坨子	795.7	285	1,425
〃	柴家屯	179.9	55	235
〃	盜牛堡子	250.0	52	256
〃	新臺子	90.7	19	49
〃	腰長溝	178.5	45	194
〃第6區	申家坨子	97.0	14	69
〃	西貝河	45.0	8	40
〃第7區	雙樹子	85.0	11	56
〃第8區	蔡家坝	55.0	7	34

縣區別	村別	耕地面積	戸數	人口
法庫縣第5區	大卞邦堡子	天地 72.0	戸 14	人 135
〃	馮貝堡	80.0	13	65
〃	四家子	80.0	16	90
〃 第3區	大孤家子	65.7	7	45
康平縣第3區	公河來	102.0	15	65
計		4,649.5	1,375	6,730

一 職業及生活の狀況

鐵嶺朝鮮人民會管内の朝鮮人の職業は、次表に示す如く其の大部分が稻作を主とする營農者で、中にも小作農が最も多數を占めて居る。居留地及び城内に居住する各種商業者及び日稼勞働者が之に亞ぎ、何れも逐年增加しつゝある。而して管内總戸數の約 90 %を占める農業者は、孰れも朝鮮に於ける極貧者の移住したもので、其の大部分が移住當初より借財生活に出發して、年々之を繰越し辛ふじて生活を續けて居る細農民なる爲、市街地居住の一部商工業貿易業者を除くの外は概して餘裕のある者は少い。

昭和 11 年度に人民會が、其の管内農耕者に付調査した處に依れば、彼等全員を通じて多きものは、180圓少きものは 120圓乃至 130 圓平均 160 圓の借金を有し、1 戸 5 人家族の小作農 1 個年の生活費は普通 183圓内外を要するが、農業生活に依る 1 個年の收入は、4 天地(1 天地 6 反步)小作して折半の 20 石乃至 25 石、籾 1 石を 10 圓と見て 200 圓乃至 250 圓に過ぎず、之に各種の公課及び其他の負擔金を控除すれば生計上極めて窮狀にあるものが多い。

職業別調査表　(昭和 11 年度 3 月 31 日現在調)

縣別	職業別	戸數	人口			摘要
			男	女	計	
鐵嶺	農業	戸 1,206	人 3,327	人 2,712	人 6,039	
〃	商業	11	29	30	59	
〃	精米業	6	10	23	33	
〃	官公吏	6	13	9	22	
〃	醫師	3	5	8	13	
〃	教員	13	35	30	65	
〃	銀行員	1	1	4	5	
〃	會社員	7	11	9	20	
〃	旅人宿	2	6	3	9	
〃	飲食店	3	4	5	9	
〃	理髪業	1	2	2	4	
〃	料理店	4	4	22	26	
〃	日稼	60	78	70	148	
〃	其他	22	102	30	132	
	計	1,345	3,627	2,957	6,584	

縣別	職業別	戶數	人口			摘要
			男	女	計	
法庫	農業	戶 16	人 43	人 35	人 78	
〃	商業	2	4	4	8	
〃	芸人宿	1	2	2	4	
〃	官公吏	1	1	—	1	
	計	20	50	41	91	
康平	農業	6	22	16	38	
〃	商業	1	1	—	1	
〃	日稼	3	4	2	6	
	計	10	27	18	45	
	總計	1,375	3,704	3,016	6,720	

二 農業の狀況

天災地變のない限り不作の虞はないが、本年度は播種期に於て旱魃の爲水量不足に依り耕地面積の約$\frac{1}{3}$を旱田蒔きとした處、6月上旬頃より數回に亘り多量の降雨を見、同月下旬に至つて旱田地全部が水田化し、其の成育狀況も頗る良好であつたが、7月下旬の豪雨の爲流失、埋沒、侵水等の水害があり、豫想收穫より約2割內外の減收を見るに至つた。

作付面積及收獲狀況表

縣別	部落別	作付面積	收穫高	摘要
鐵嶺	蔡山屯	天地 130	石 1,560	1天地は6反步、1石は230斤とす
〃	地運所	293	3,516	
〃	河北	48	480	
〃	高力站	6	60	
〃	山頭堡	167	2,004	
〃	平頂堡	130	1,560	
〃	三家子	72	957	
〃	黃名招子	40	600	
〃	大盤嶺	48	500	
〃	大甸子	50	400	
〃	撫安堡	15	150	
〃	催陳堡	68	612	
〃	營盤	75	750	
〃	當鋪屯	40	150	水害に依り減收
〃	鷄冠山	67	420	〃
〃	哈爾邊	91	100	〃

縣別	部落別	作付面積	收穫高	摘要
〃	岱海寨	54	[illegible]	〃
〃	韭菜峪	33	200	〃
〃	昻邦河	65	150	〃
〃	白旗寨	50	350	〃
〃	孤家子	20	150	〃
〃	二寨子	27	270	
〃	頭寨子	102	1,350	
〃	馬蜂溝	[illegible]	4,300	
〃	新屯	10	100	
〃	老官寨	8	80	
〃	沙坨子	775	10,088	
〃	營家屯	178	2,136	
〃	盤牛堡子	250	3,000	
〃	賈家子	[illegible]	[illegible]	
〃	新寨子	[illegible]	60	
〃	腰長溝	178	1,424	
〃	雙樹子	37	440	
〃	泉眼溝	30	200	
〃	蔡家坝	64	550	
法庫	大卡邦堡子	52	530	
〃	大孤家子	58	928	
康平	公河來	46	607	
計		3,950	41,872	

水害狀況調查表

縣別	部落別	作付面積	被害面積	摘要
鐵嶺	營盤	天地 75	天地 25	
〃	催陣堡	68	20	
〃	撫安堡	15	15	
〃	大甸子	50	50	
〃	地運所	293	30	
〃	鷄冠山	67	23	
〃	哈爾沁	91	91	
〃	岱海寨	54	22	
〃	昻邦河	65	65	
〃	當舖屯	40	27	
〃	腰長溝	178	25	

縣別	部落別	作付面積	被害面積	摘要
〃	三家子	天地 72	天地 0	
〃	白旗寨	50	15	
〃	孤家子	20	16	
	計	1,138	427	

三 小作の狀況

従來東亞勸業株式會社の經營に係る鐵嶺農村は、昭和9年4月より自作農制度創定せられ、漸次生活安定の域に至りつゝあるが、其の他の小作人は主として滿人地主の土地を小作するもの多く、小作料は生產高の折半を普通とし、其れより村公費、出產稅其の他の雜稅及び借入金の利子を支出することとなる爲、實際の收入は4割內外に過ぎない。

第二節 七里屯部落

一 位　　置

冬枯れとは言へ今尙其の景勝を誇るかの樣に見える龍首山の麓をまわつて、東側縣公署から馬車で約40分縣城と反對側龍首山の東南麓柴河の岸に、七里屯と言ふ2～3滿人農家の他18戸からなる鮮人集團部落がある。

二 來住理由

農楔長（屯長）李贊赫氏宅で同氏より聽取調査を行つた。

同氏は朝鮮で2天地位の小作をして居たが、耕地狹き爲27年以前に渡滿し、開原縣に於て12天地の水田を耕作して居たが、匪害多き爲安全な土地を求めて16年前から本屯に來住したのである。

三 開　　田

現在6天地を小作して居るが、最初土地を借入れて畑を水田に變換するに、1天地につき40圓位の經費（內現金支出35.50圓）を要したと言ふ。そして其の費用は主に水路、堤防等を築造した費用であるが、每年水路修繕費として1天地につき35圓位の經費を要する。

四 耕作面積

當部落の水田全面積は110天地で、耕作面積は最大11天地、最小3天地、普通6天地となつて居る。普通に生活し得る程度と言へば6天地の耕作が必要とされ、それも穀物收入丈では少し不足するが、莚、縄等を副業として作つて賣るから漸く間に合ふ程度である。

五　小作關係

小作契約は全部物納分益折半で、縣公署、民會で作製した一定の契約書を使用して居る。期限は3年と規定されて居り、地主は皆縣城、附近部落の滿人である。小作地を返還するときは原狀にする必要もないが、水田に變換するに要した費用を地主から貰ふと言ふ樣なこともない。

六　耕種方法及農耕資金

農耕資金は1天地當30圓、農務會を通じて金融會から春4月（新）頃、日歩15厘で借入れ秋收穫後(11月)返濟して居る。

1天地に對する肥料は硫安3〜4叺を施用し、他は何も使用して居ない。(硫安1叺3.50圓）他に土糞1,500斤黄豆粕400斤位併用して居る者もある。

品種は京租が多く、直播式で4月20日頃機械等を使用せず、地面に線を引いて手で播いて行く丈である。

除草は年2〜3回で第1回5月20日頃、第2回、第3回は6月末までに適當に行ふ。

秋の收穫は舊9月1日から開始され降雪まで續く。耕作は役畜無き爲、全部滿人から雇牛具をして、除草期に鮮人には60錢、滿人には40錢位與へて日工を雇ふ。硫安は土糞等を併用する場合は、除草の時全部施用する、病虫害等はない。

七　收支及び生活狀態

收量は1天地當籾15〜16石から20石位までとれる、（前住地開原は1天地當12石位）舊石に依る。

販賣する場合は全部籾で賣買し、多く城内の日鮮精米所に賣却して居る。籾で販賣する方が買手も多く、且朝鮮以來の習慣でもあると言ふ。

同氏の生活狀況は次の通りである。

3間房子を1年30圓の家賃で借り、全家族8人、年工鮮人1人（1年80圓)で、其の中、働き得る者が3人である。

6天地を耕作して1天地當20石の收益を擧げ、之を1石15圓で賣却他に繩を製造して冬の間1日15〜17束位（機械）を作る。これを賣つて得た代金は衣服費に充當する。

除草期には60人位の日工を雇ひ、他は特に勞働者を雇はなくても充分である。

藁は小束100束で15〜6錢位から25錢位で1天地から1,500斤位とれるが、繩等に製品として賣る方が有利である。

冬期間の燃料は、主として籾殼を精米所から1麻袋10錢乃至15錢位で購入して（1石の籾で籾殼が2麻袋とれる)、1年間20圓位使用して居る。

康德2年度は上記の如く1ヶ年の全收入500圓を得たが、全支出400圓位で100圓位の利益を生じた。

尚水田以外の耕作はなく、野菜等は全部縣城で購入して居る。從來は耕地も多く餘裕があつたが、現在では不足を來たして居るので、農家が增加してゆく樣なことはないと思はれる。

八　地價及び耕地の取得狀態

當地の土地は普通 400 圓から 500 圓位で賣買されて居るが、普通滿人は水田にたつた土地は幾等高價でも賣却しないと言はれて居るが、七里屯に居住する鮮人で唯1人2天地半の水田を 1,900 圓で購入した者がある丈である。

第三節　水田經營の小作關係

本部落は總戸數 18 戸で全部水田を經營し、内1戸は2.5天地の所有地を有する丈けで、他は全部純然たる小作階級である。地主は滿人で縣城に住居し、所謂不在地主であり、絶對に土地を賣却せず、物納分益對半（5：5）の小作形態である。契約證書は縣公署で一定の形式に基いて契約書用紙を發行して、嚴密な契約を締結させて居る。

契約期間は普通3ヶ年で、3ヶ年毎に1回の小作契約の更新を行つてゐる。小作面積は最大 11 天地、最小3天地、普通6天地位で總面積 110 天地である。

小作料納入時期は毎年收穫調製後で、小作人の脱穀場（調製場）支拂ひで、全部籾の儘 5：5 の分益をしてゐる。小作地の附加物は全然なく、小作料の附加物としては藁を折半し、租税は地主全額負擔の慣行である。

小作人の義務等は殆んどなく、農耕資金は毎年4月1日1天地に付 30 圓延滯利子日歩 1.5 錢で、農務會を通じて金融會から借入し、收穫後（11月）に返濟してをり、農家の負債は全くないと言はれてゐる。

滿鮮民間耕地契約書

立地租田耕地契約人「李贄赫」今經「鄭寬堯」介紹將「王白安」領名坐落1區村地處耕地1段計 30 畝

分　厘依後列條款請願分細與鮮人「李贄赫」耕種承分個人業將後列條款逐項承認各無返悔除報縣公署

暨領事館備案外立此爲證雙方各執份

鐵嶺縣公署之印

收入貳　印紙分　印

出　　人	王　白　安	㊞
承　　人	李　贄　赫	㊞
介 紹 人	鄭　寬　堯	㊞
中 保 人	金　元　得	㊞
村　　長	賀　文　軒	㊞

鐵嶺縣海庄子村公所之圖記

計開條款

1、契約土地之長寬丈尺乃略圖

參　拾　畝

2、國稅縣捐稅歸地主徵納

3、村公費歸地主徵納

4、出租年限自康德3年3月 26 日至康德6年3月 26 日止

5、出產物分劈法地主得5成地戸得5成

6、租金每畝無各按5成分劈元 ○ 角 ○ 分共計 ○ 元 ○ 角 ○ 分

7、其ノ他　對於宿耕器具掘河引水工料及河打宿子工夫無項款均歸地戸擔負於地主無涉再如修道路時

歸地主擔負對肥料各擔一半肥料用款事限每年3月間交齊再設如水利花費歸双方擔負以上双方認可各無異説特屯今同爲證而旱地每年地租7年稻子歸地主

説明　1、本契約有効期間不得過5年

2、期限倘在1年以上時應將嘗年後每年租金之數目及交付方法於第7項内載明

1. 鐵嶺縣鮮人部落水田耕種概要表

品種名	播種期	播種法	除草期			有効分蘗期	收穫期
			第1回	第2回	第3回		
京租	陰暦 4月20日	直播 手蒔	陰暦 5月20日	〃 6月10日	〃 6月30日 止草	〃 7月15日	〃 自9月1日 至降雪期

2. 施肥量及び收量

種類	施肥量	施肥期	病虫害	種類	收量(1天地當)	備考
土糞	1.500斤	秋收穫後	全くなし	籾量	15石乃至20石	黄豆粕施用は
硫安	3.400匁	第一回除草期	〃	藁量	1.500斤	例外である
大豆粕	400斤	播種ト同時	〃	籾摺歩合	6分	

第九章　通　　貨

國幣統一以前の通貨を見れば次の如くである。

現大洋を基礎にして、

1. 東三省官銀號奉票種類

100圓、50圓、10圓、5圓、1圓、5角、2角、1角

2. 現大洋票種類

100圓、50圓、10圓、5圓、1圓、5角、2角、1角、1分(銅子兒)

3. 邊業銀行現大洋票種類

100圓、10圓、5圓、1圓、5角、2角、1角

4. 公濟平市錢號奉小洋票種類

100圓、50圓、20圓、10圓、5圓

次は調査屯に於ける通貨の沿革を見ると次の如くである。

1. 吊錢光緒30年 (1904) 迄流通した。

10戍は16個、16個は100錢、100錢1吊で有る。

2. 憑帖　光緒32年(1906年)頃流通した。

5圓紙幣、2圓紙幣、1圓紙幣、10錢紙幣、50錢

3. 銀圓　小洋で50錢紙幣、20錢紙幣、10錢紙幣

4. 奉票 大洋 10圓、5圓、1圓

5. 流通券 商務會發行

6. 國幣

建國後滿洲中央銀行の設立により直に舊貨の回收に着手し、中銀の前身の廣泉公の貸付銀の回收も開始され、現在では 90% 600,000圓は國幣が通用せられて居る。

舊紙幣對國幣壹圓換算率は次の如くである。

1. 公 濟 銅 元 60 圓 對 國幣1圓
2. 官銀號大洋 50 圓 〃 〃
3. 現 大 洋 1 圓 〃 〃
4. 邊業銀行大洋票 1 圓 〃 〃
5. 準 備 庫 券 1 圓 〃 〃
6. 官銀號哈大洋票
7. 邊業哈大洋票
8. 吉林官銀號哈大洋票 } 1圓2角對國幣1圓
9. 江省官銀號哈大洋 1圓2角 對 國幣1圓
10. 吉林官銀號大洋票 1圓3角 〃 〃

以上述べた率に依つて回收されたが、中銀鐵嶺支行の舊紙幣回收統計を見れば次の如くで有る。

回 收 狀 態

幣種	自大同1年7月1日 至大同2年12月末日	自大同2年1月1日 至大同2年12月末日	自大同3年1月1日 至康德1年12月末日	自康德2年1月1日 至康德2年6日6日	自大同1年7月1日 至康德2年6月末日 3ヶ年合計	備考
官銀號現大洋票	181,000.00	260,492.90	158,340.00	5,479.10	605,312.00	
〃 奉大洋票	131,500.00	116,429.80	62,058.50	1,259.20	311,247.50	
〃 哈大洋票	—	518.20	558.88	771.30	1,848.38	
公濟號錢號銅元票	—	3,141.60	7,911.30	185.00	11,237.90	
四行號聯合準備庫券	—	20,410.00	15,375.00	—	35,785.00	
江省官銀行哈大洋票	—	8.00	16.00	—	24.00	
邊業現大洋票	—	47,135.30	34,055.90	407.00	81,598.20	
邊業哈大洋票	—	10.96	180.48	—	191.44	
吉林官銀號大洋票	—	—	7.69	—	7.69	
吉林官銀號哈大洋票	—	—	64.00	—	64.00	
合計	312,500.00	448,146.76	278,567.75	8,101.60	1,047,316.11	

私帖

建國當時に於て縣公署當局は、「直ちに通貨の統一を目的に、又一面貨幣の變化に據る縣民の動搖防止策の一つとして、大同1年4月農商貸款的な私帖を發行した。之は中央銀行の設立前として止む得ない事であつた。

金 額 70,000圓

貨幣種類　1圓紙幣　50錢紙幣

其の通用の状態は、先づ縣城より漸次農村に及ぼして全縣に通用したが、其後中央銀行の設立と共に國幣發行され、回收に着手したのである。

回　收　狀　態

第1回　大同1年8月　　30,000圓（中銀より30,000圓借入れて充當す）

第2回　大同2年1月1日　　12,696圓

第3回　大同2年7月1日　　19,696圓

第4回　康德1年6月　　6,304圓

回收總額　　68,966圓

未回收額　　1,304圓

回收は中銀より6分利子にて借入れ、國幣1圓に對し私帖1圓の同價で、交換は縣公署内財務局が、縣民の持參した私帖に對して交換したのである。

未回收1,304圓は損失せる額で有る。

此の外には各商店、主として燒鍋及油房等で發行した商票が有るが、各々異つて居り建國以後は流通を見ない。

國幣統一の狀況

前記の回收狀態より見ても、餘程良好で現在は90%は國幣が通用して居るが、特殊的地區、及特殊な階級では舊幣（銀洋及銅子兒）が通用して居るが、銀地等の流通は全くない、然し次第に國幣に變りつゝ有る現況で、之は貨幣統一による通貨安定策として、康德2年6月末日を以て交換を打切つた事も一つの理由となつて居る。

第十章　度　量　衡

第一節　縣城に於ける計器の種類及び製造方法

度には尺、量には斗、衡には秤が有るが、新制度量衡施行以前には各縣獨自の度量衡を有し、其の數値も不定で、舊制による稻子1斗は鐵嶺に於て23斤、奉天21斤、開原26斤である、又縣内に於ても統一されてゐない。

尺には木尺を用ひ蘇尺、裁尺、營造尺等がある。蘇尺は別名大尺とも言ひ總べての標準尺とされてゐる、又裁尺は小尺とも言ふ。建造尺は建築業者の使用するもので、縣内同一數値であると言ふ。

斗には1斗、5升、1升の種類があり、1升は中仕切によつて5合をも計り得ることになつて居る。

秤には等子、桿鈎秤、桿盤秤等があり、その目的に應じて製作せられるものである。

縣城に於ける度量衡の數値を示すと

蘇尺1尺＝53.6Cm　裁尺1尺＝34.9Cm　營造尺1尺＝31.25Cm

1 斗＝新制2斗3升7合

1 斤＝新制1.02斤＝510瓦

滿洲に於ける度量衡は、錯雜混亂幾多の錯誤煩雜を免かれぬ狀態にあつた爲、大同3年1月25日敎令第5號で度量衡法令公布され、次いで2月27日施行規則制定せられ、全滿統一中である。

鐵嶺縣域では康德3年8月1日以降新制を實施しつつあるが、未だ一般に普及されてをらぬ狀態にある。

舊制度量衡は一般に城內大工が製造したもので、奉天財政廳、鐵嶺財務局が監督してゐたものである。

而して使用者之を求め、商務會の檢査を經て財務局から認可を受けるとされてゐるが、一般には檢査を受けぬものが多い。

第二節　調査屯に於ける計器の種類、製造方法及び使用年數

本屯內度量衡の名稱は鐵嶺縣域と同樣であつて尺、秤である。尺には大尺（門尺）小尺（裁尺）の2種あり、裁尺が標準とされてゐる。斗には半斗及1升の2種があり、1升は半仕切により半升を計り得る。秤には桿鈎秤、桿盤秤の2種が有る。

本屯內の斗、尺は大工に造らすもので、檢査を受けたものは一つもなく、その價格は1升50錢半斗1圓～1圓50錢位で尺は5錢位である。

秤は鐵嶺で購入したものであるが、檢査を受けてゐない。

斗器は破壞しない限り永久に使用するもので、甚だしいのは秤で釣糸を適宜修繕して使用するものもある。

第三節　屯に於ける計器の單位

（イ）度の單位

丈＝10尺　1尺＝10寸　1寸＝10分　大尺1尺＝64.0糎　裁尺＝35.2糎

（ロ）量の單位

石＝10斗　斗＝10升　升＝10合　1升＝2.7立

（ハ）衡の單位

斤＝16兩　兩＝10錢　錢＝10分　1斤＝615瓦

（ニ）大車の積載量

積載量は家畜の種類及季節に依つて異るが、冬季に於ては次の通りである。

	牛	馬騾	驢
1頭曳	350斤	400斤	100斤
2頭曳	700斤	800斤	200斤
3頭曳		馬騾 1,200斤	300斤
4頭曳		馬騾 1,600斤	400斤

（ホ）柴草類の計量

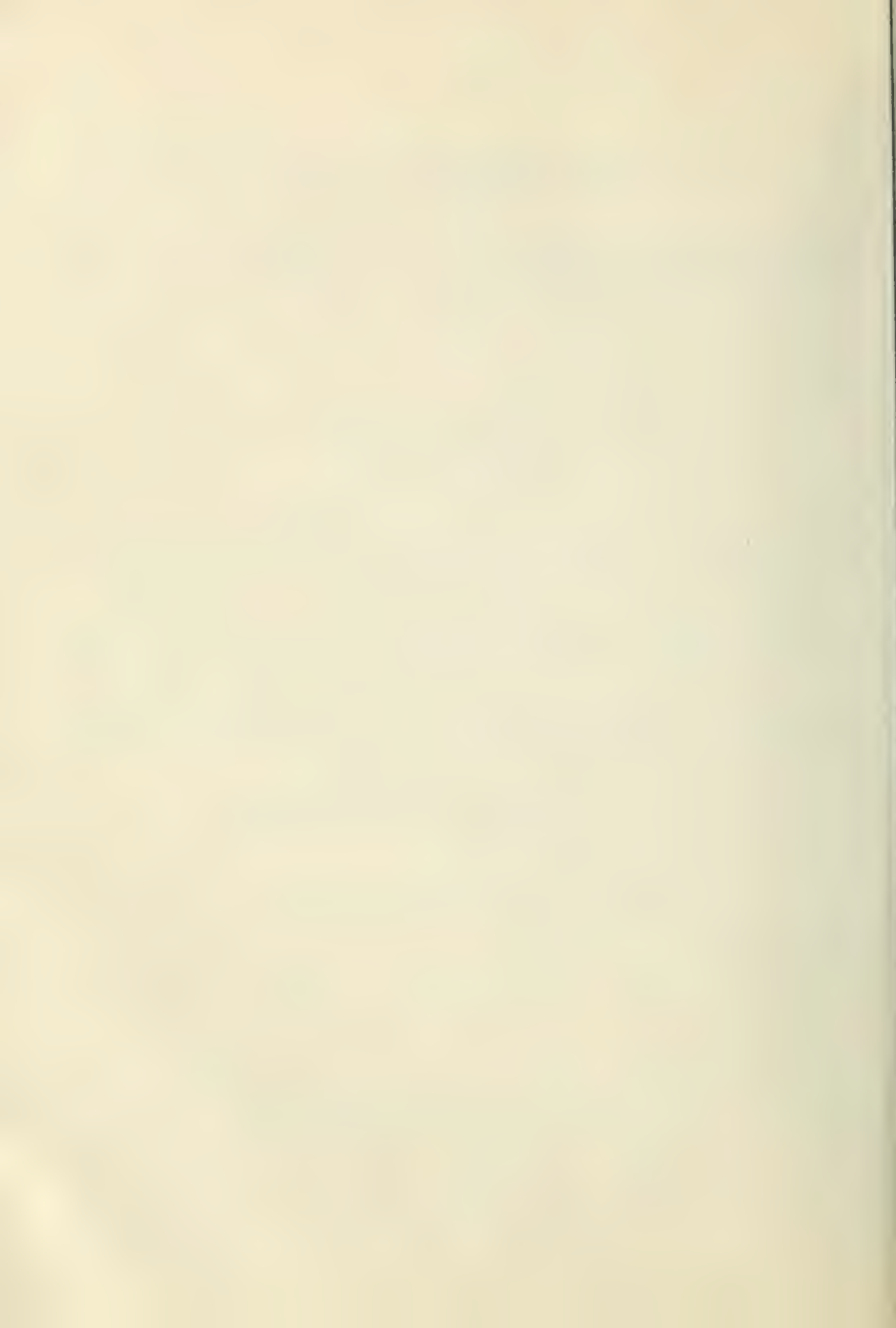
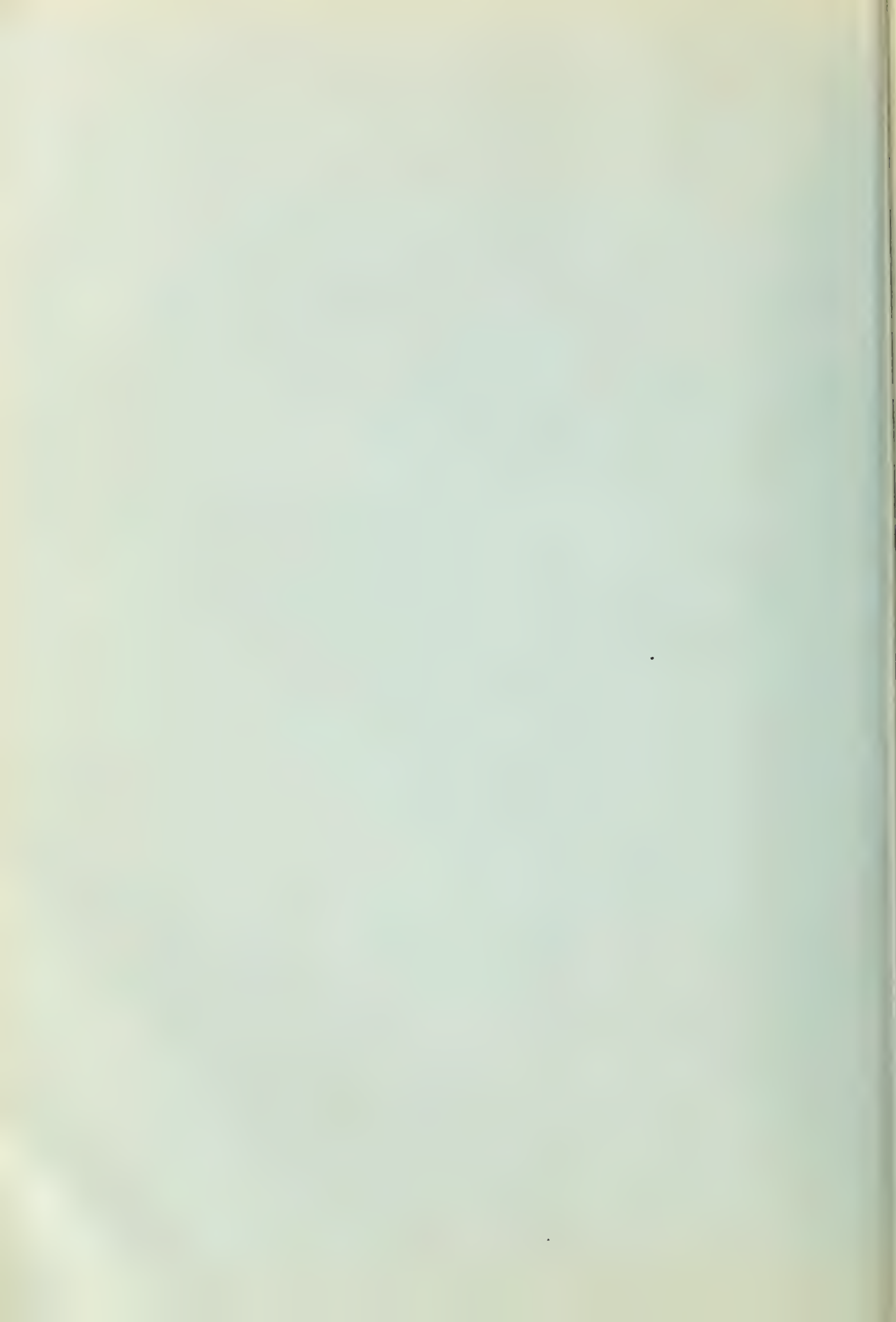
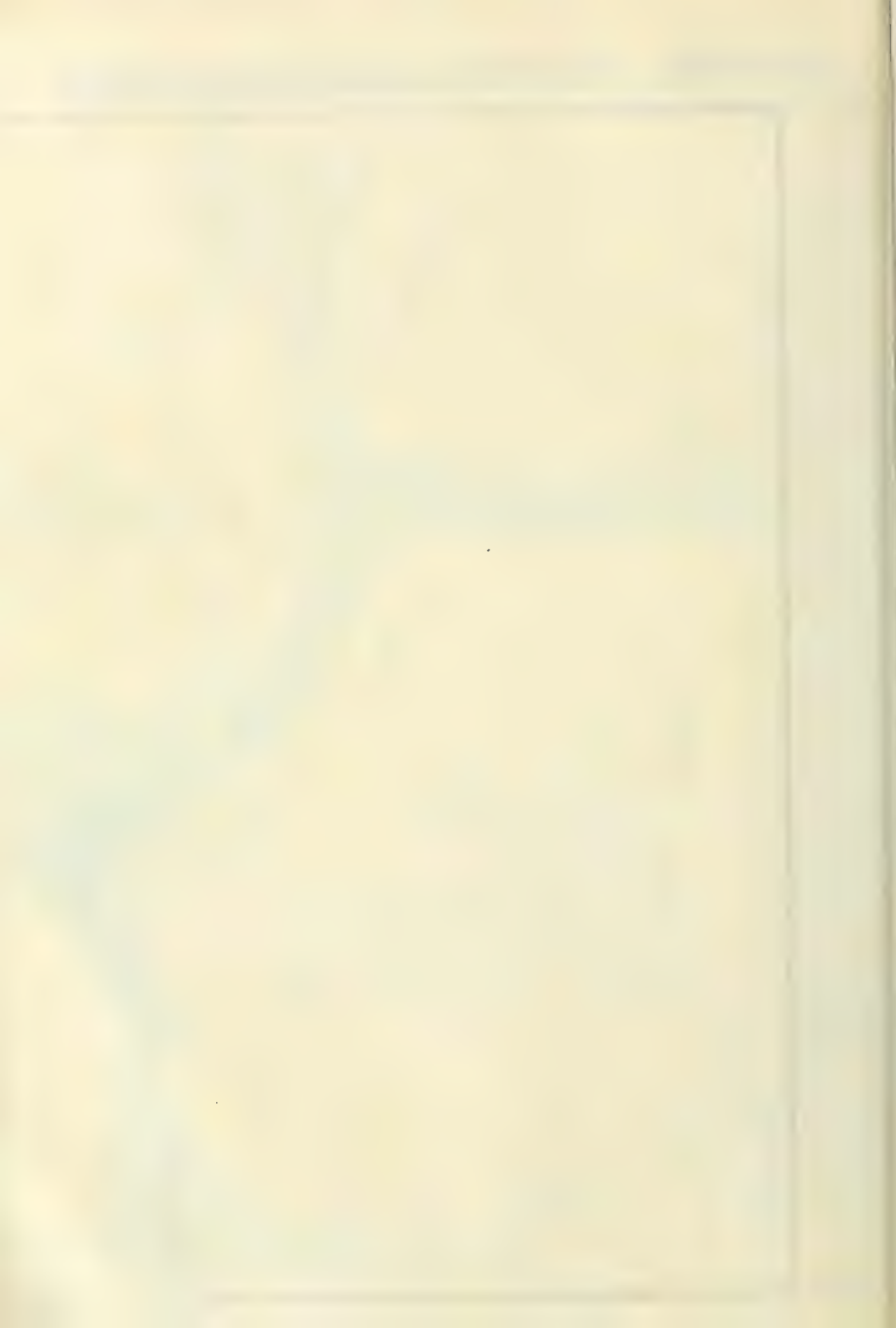
1 個－3匙内外

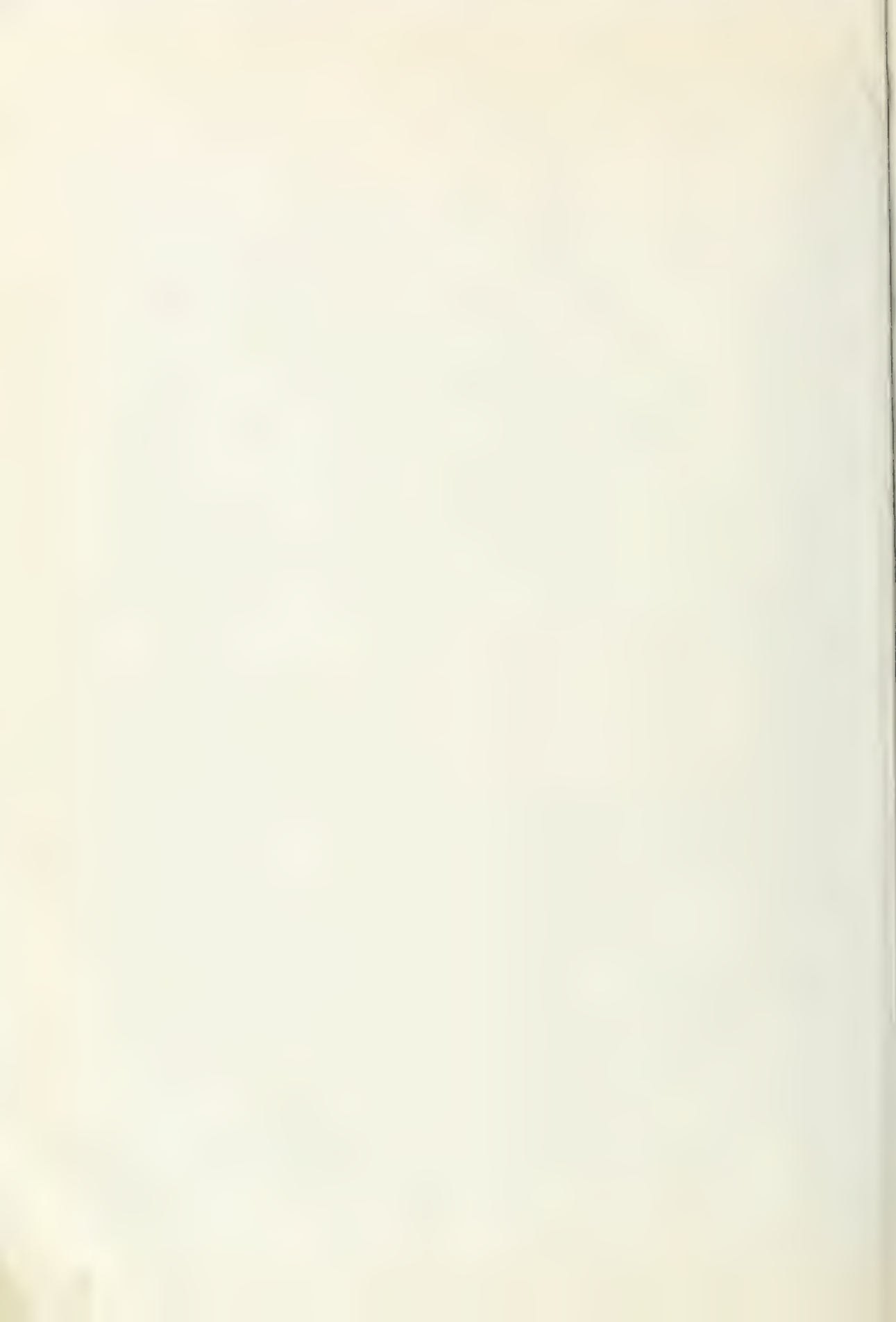
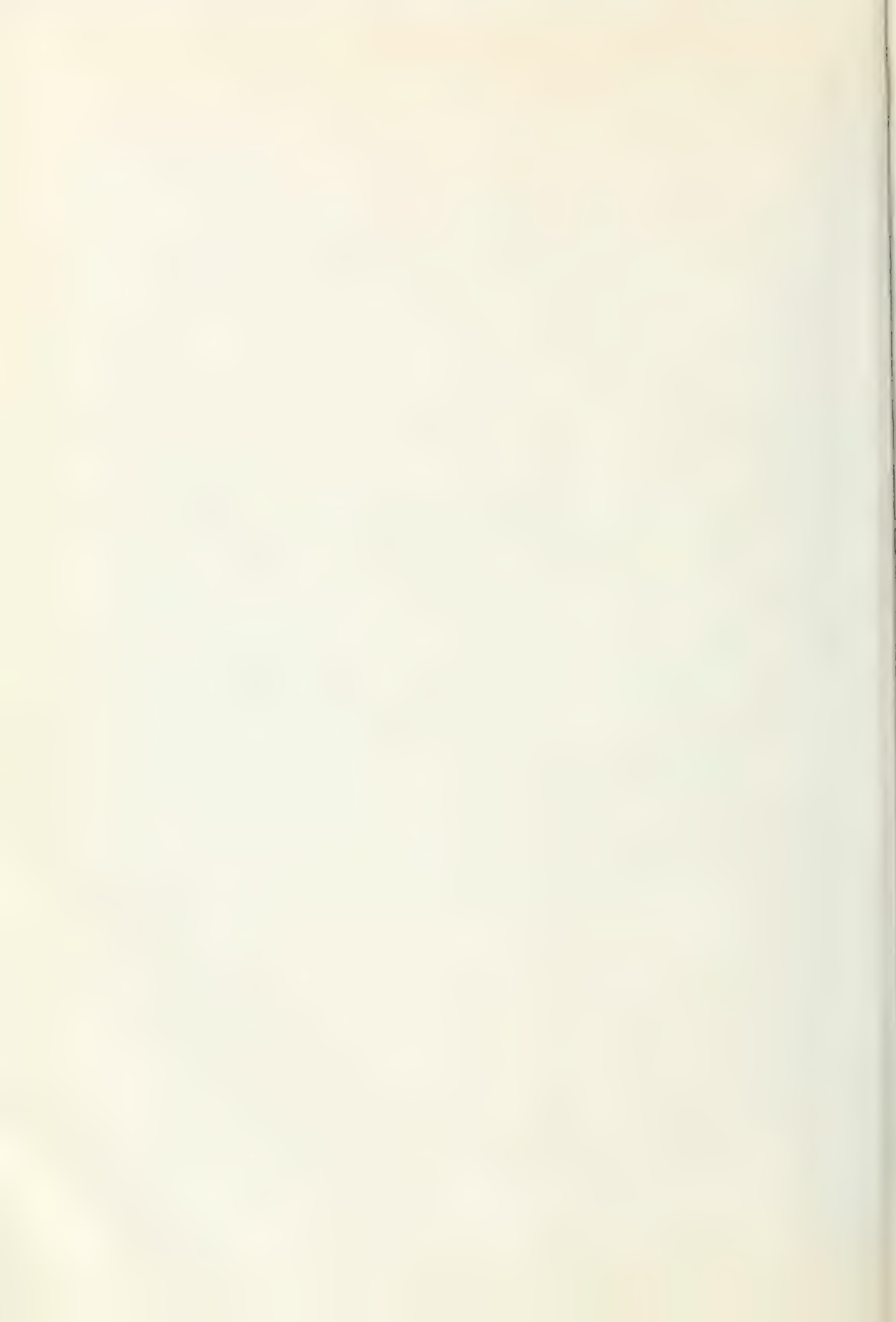
第四節　新制度量衡の普及程度

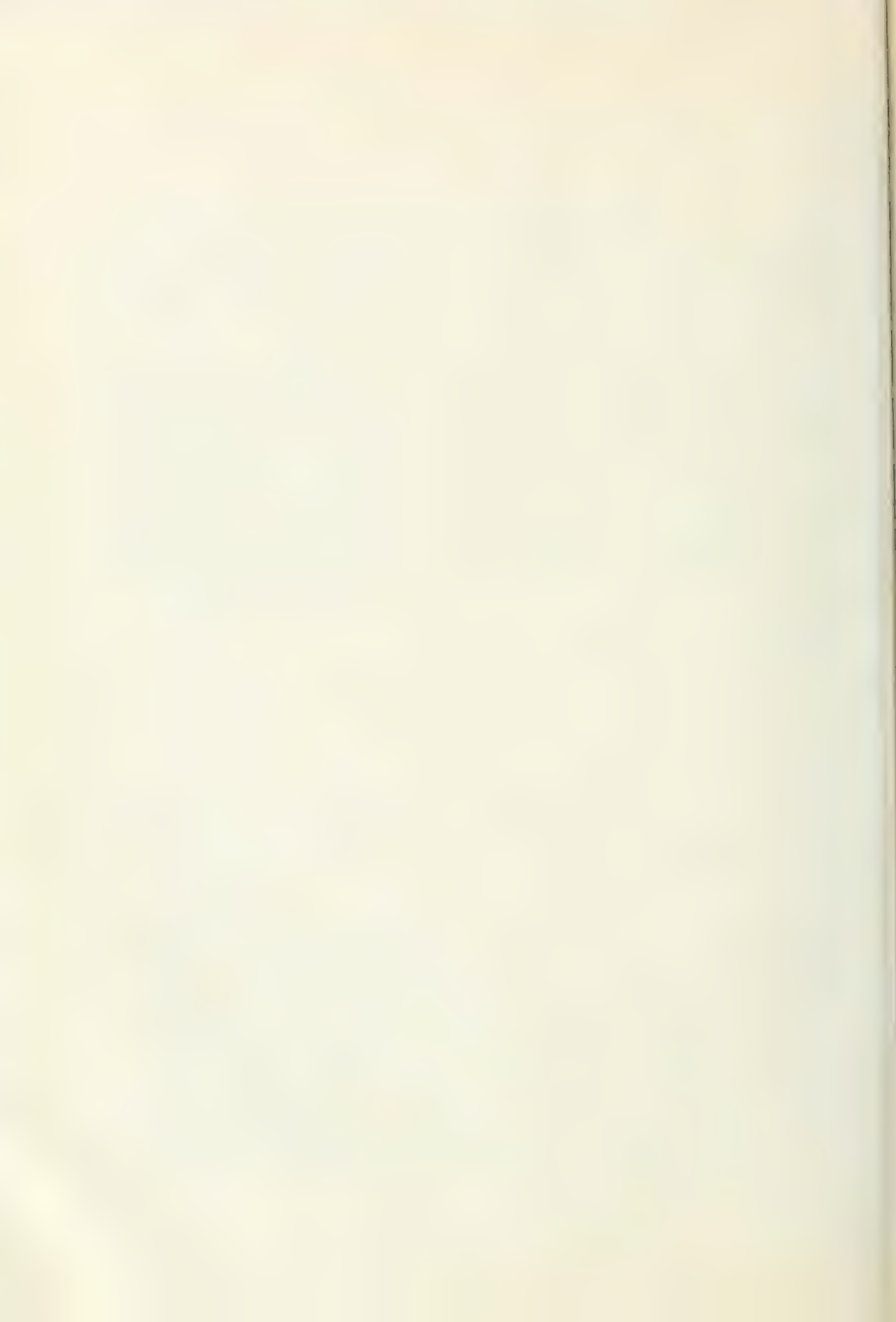
度量衡徴責官の言に依れば、縣内に於ける計器の普及狀況は、斗は約5割を最高とし、尺の 3～4 割、秤の 2 割程度であるが、未だ農村には普及してゐない。

第二編　調査屯事情

夏家樓村內境略圖

鐵嶺縣第七區夏家樓村畢家窩棚屯農家配置圖

鐵嶺、法庫間國道ヨリ夏家樓村ヲ望ム

調査屯、夏家樓村畢家窩棚屯

夏家樓村ノ大通

調査屯ノ遠望（前方ハ穀子ノ切株）

高粱切株ノ中ヨリ隣屯田家窩棚屯ヲ望ム

第二編 調 査 屯 事 情

第一章 村 勢 一 般

第一節 自 然 的 條 件

一 位　　置　鎮賚縣第7區の略々中央部に位し、村境は東は孫家子に至る 10 滿里、東南は大青堆子に至る 12 滿里の距離にある。

南は劉戸屯に至る8滿里、西南は大孫楡樹に至る8滿里、西方は小明安碑に至る5滿里、西北は小青堆子に至る 18 滿里又北は雙樹子に至る8滿里、東北は苑家窩棚に至る8滿里の所である。

二 地　　勢　平原で山と岡がなく、僅かに西南の方には長溝と云ふ小川がある、之は小明安碑村との境から流れて眞直ぐに田、鄧、畢の3窩棚に流れ入つて8區の長溝沼を過ぎて遼河に注いでゐる。

三 面　　積　南北は比較的長く、東西はやゝ狹く、西南東北は最も長い斜方形であり、東西8滿里南北 15 滿里で、耕地全面積は 2,400 天地である。

四 土　　壤　沖積層であり、主に壤土である。耕度の深さは 30~35 糎で色は殆んど黄色土である。

第二節 沿　　　革

本村は 300 年以前は蒙地で、屯民の來住前の領有狀況は不明であるが荒地であつた。來住當時の居住民族は漢人であり、當時の狀態に就て古老より聽取したが、詳細不明である。

約 300 年前清代康熙年間に山東より夏なる者が、生活困難の爲本村に來住、荒地を開墾し、家を建てゝ居住した。以後、夏一族の侵入する者が漸增した、夏家樓の起名も夏の建築した家が樓となつてゐた爲であるが、その樓の地點は夏家樓警察署の西方村公所の後方にある。

又本村の西 1 滿里足らずの地點に、夏の一族が分家移住開拓に從事した。之が小夏家樓の起りであつて、約本村に 10 年ほど後れて起つた。

夏家樓より約 30 年後れて村から西南3滿里の地點に夫々、鄧、田、畢の各窩棚が開拓された。この3名は何れも山東人で、何處を通つて來たか詳細不明である。腰堡は 200 年前劉連江の祖先が河北省順天府から渡滿し、開拓の祖となつた。腰は「窰」から起る、畢、鄧より 20 年位後である。

60 年前已に本村は開拓され盡され、未墾地は殆ど無く、官衙等も無かつた、戸數は現今と大差なく、現在各村屯5~6戸を增加したに過ぎない。行政機關としての村官衙は 56 年前出來た。當時村長は「屯千」と稱してゐた。

民國2年村制施行せられて田、畢、鄧の3屯は併合せられ、夏家樓に編入せられた。第7區長が治め、その

下に村長1名と、先生と稱する者1名である、前者は村民より徵税縣政府に納入する役、後者は記帳係で、之は民國 18 年迄行はれた。民國 18 年に村制再び改組されて、東方5滿里の地點にある腰堡も村に併合され、同時に村長1、副村長1、檢察員1、雇員1、村丁1の人員となつたが、之も滿洲事變が起つてから村長1、副村長 1、監帳員 1、雇員 1、村丁1に變化した。

康德2年 10 月から再び改編され、村長1となり、屯長3、協議員3、雇員2となり、同時に北高家房身屯は併合せられたのである。現在は8個の屯を含んでゐるが、其内腰堡は前後に分れ、夏家樓は大小に分れてゐる。滿洲事變當時本村民は舉つて建國工作に一致協力し、大同1年 10 月には東北義勇軍宋子陽の配下 1,000 餘名が當村内から襲撃して來たが、警察隊は民間の自衛團と協力300餘名の兵力で之を擊退した、その後治安確立され現在では至つて平和である。

水質は良好で少しく鹽分はあるが、生水でも飲む者がある。野生動物は屯が河邊に棲息する位のものである。

地味は姜家窩棚最もよく夏、畢、田の各屯及夏家樓が之に次ぎ、腰堡は窪地が多く最も不良地である。

發展狀況は姜家窩棚最も著しく夏、田、畢之に次で鄧は舊體依然である。

日露戰役當時前期は、露軍の鐵法街道を往來するを見たが、後期に至つて、日本軍が來て春の2月頃半ケ月第3軍の某將軍宿泊し、北進したとの事である。

今迄の著名な災害としては、民國 13 年1月から5月迄、降雨が無く7割位の收穫が減つた。

第三節 開　拓　史

一 開拓以前の狀況

本屯開拓以前は曠漠たる荒野で、旗地7割蒙地3割位であつて、隣屯の任家窩棚屯、田家窩棚屯に1乃至2戸の先住者が散在してゐるに過ぎず、法庫、鐵嶺等を取引市場として、農産物を販賣して生活を維持してゐる狀況であつた。清朝の康熙年代に（約 240～250 年前）畢家窩棚の名の通り、畢某が草分として開墾の犂を下したと傳へられてゐる。

二 土地の開放

土地の開放は、地局子の管轄に依り來屯と同時に拂下げを實施され、3 ケ年間は無條件で耕作し、3年後から課税されたと言はれてゐる。

旗人趙、任、安の3名は、拂下げの際本屯の3割位の面積の拂下げを受け、移住者に之を開墾させ、3ケ年間は無料で貸付け、3年後から小作料を徵收したと言ふ様なこともあつた。以上の様に直接地局子に依り攬頭等の介在したことが無く、從つて土地の二重賣買等は全然なかつた。

三 開　拓　者

開拓者は山東人で、畢某の1家族5名が最初に來住し、自己資本に依つて開墾を始め、漸次親戚、知人等來住する様になつた。

當時の小作形態は、物納で前と1天地に付2斗乃至3斗を納入し、作物は高粱、黄豆、粟子等を耕作し、1天地收穫3石前後であつたと、傳へられてゐる。全部自家勞力で開墾を續け、1天地に約 10 人の勞力

と、牛2頭引の大型犂丈1臺で、1日能力1畝乃至2畝の程度であつて、開拓後約70年で全部開墾終了し、戸數20戸、人口150人、熟地180天地に達し、漸次屯の形をなした。

開墾初年に開拓された耕地の面積は8乃至10天地で、全部旗民不交産の令が解除する迄、小作となし土地の取得は全然なかつた。

四 清丈升科

光緒1年から清丈を開始し、清丈總局は奉天に在り、鐵嶺分局の管轄に依つてゐたが、屯は全く清丈を施行したことがなく、全部届出に依つて面積を決定し、升科を定めたのである。

升科の決定は、光緒末年で租額1天地に付上地7乃至8圓、中地5乃至6圓、下地3乃至4圓程度であつて、許可後租額を徵收處へ銀納した。

五 主なる事件

一時に大土地の開放をしたことは無かつたが、光緒末年、旗民不交産の令が解除されてから土地の取得者を生じ、民國1年狼吉洞屯に縣城よりの商人侵入し、農産物の賣買旺になつたので、それに影響され經濟的に活氣を呈し、俄然屯の形を擴大し、戸數30戸、人口170人、熟地250天地に達し、1天地收量上地6石、中地5石、下地4石程度に生産力も亦增大した。

此の時代の地價は上地300圓、中地250圓、下地200圓であつて、小作形態は銀納定額前拂1天地18圓乃至20圓前後であつた。

次に自然的條件並に災害に就て調査すれば、最高豐年は民國20年で1天地收量黄豆6石、穀子7石、高粱7石を示し、穀價は1石に付黄豆12圓、高粱8圓、穀子7圓で、一般農家の經濟狀況は頗る良好であつた。大凶作は光緒12年で、7月中に7日7夜の連雨に見舞れ之が爲、山河屯の堤防は破壞され、附近一帶は泥海と化し、被害全面積に及び浸水3尺餘に達し、收量は半減以下に激減した。降つて光緒25年穀子の害虫、夜盗虫の發生甚だしく、共の被害により收量は殆ど半減された。

更に本年は黄豆に蚜虫の發生甚だしく、收量2割減となつた。交通機關の發達に依る諸影響を述べると、滿鐵開通に伴つて穀價高騰は現銀收入を增加し、一方購買必需品の價格が比較的廉價になり、經濟的に多大な好影響を及ぼした。

大同2年(昭和8年)法鐵バス線が竣工したので、交通運搬の便開け文化の浸潤急速になり、治安も亦良好となつた。

政治的諸現象共他

農民の知識程度低薄な爲、政治的諸現象を聽取することが出來なかつたが、民國20年滿洲事變の際中華民國の軍隊駐屯し、莫大なる食料品を徵發し、1戸當村費13圓以上に增稅され、農民の負擔過重となり、生活上相當重大な影響を蒙つたと言はれてゐる。

實質的には宣統初年(1909年)頃は農民の生活程度最も良好であつて、日露戰爭の當時高粱は1石20圓に暴騰したが、共後油房休業の爲、黄豆は1石5圓程度に下落した、然し一般的には農村の經濟には大なる影響はなかつた。

商品經濟の浸透と地主經濟の發展を見れば、商品價と農產物價とは常に相平行するが故に、農民經濟に及ぼす影響少なく、農作物の豐凶に依つてある程度迄、商工業は支配せられてゐるものである。地主經濟の進展と農民經濟との關係を見ると、張學良時代即ち軍閥時代には現在の地主階級が6～7割自作をなしてゐたが、滿洲事變後治安の關係に依り、地主階級特に不在地主に變化した者が多い。

甲一族の變遷は50年前土地所有20天地であつたが、分家後放慢な生活の結果土地を賣却し、零落して遂に30年前4戶程他屯に移住し、現在は2戶丈殘つて居る。

乙一族の變遷を調査すれば、咸豐10年(73年前)小作階級から漸次蓄積して自作となり、更に地主階級に累進して、現在では本屯に於ける地主の王座を占める樣になつた。

土地の分散集中を見れば、分家相續に依る土地の分散は最も多く、親戚、同鄉人等の共同開墾に依る土地の取得は約100年前に其の例を見たが、30年前に分家して細分化せられて現在に至つて居る。

負債の重壓に起因した土地の細分化は、民國17～18年頃最も多く、且又糧價下落の影響に依り、負債整理を斷行するもの續出し、土地の所有は愈々零細化される樣になつた。

土地の相對的過剩に依る分散は全くない。

地主と小作人との關係は現在はよく調和してゐるが、土地狹小の感があり、生活改善、農耕生產の增大並に販賣の合理化等の方法に依つて負債の整理を斷行し、畜力の充實耕地の獲得等を計り、其の生活を普通の程度に維持して行くには、1人當約3天地の土地を必要とすると言はれてゐる。

土地に對する課稅が重課である爲、小地主階級の生活は比較的困難で、沒落の過程にあるものが多く見られる反面に、勞力の豐富な小作階級の生計が、比較的容易なのは日本內地に於ける農村の現況に類似してゐる點がある。災害に對する備荒貯蓄は、康德2年から實施したが、從來は個人的にも備荒貯蓄をしたことが殆んどなく、其の日暮しの行き當り主義的他力本願の經營內容を多分に察知することが出來る。

第四節　戶　　口

鐵嶺縣第7區夏家樓警察署管內各村戶口職業表

村別	戶數	人口		職業				
		男	女	農	工	商	官公吏	其他
	戶	人	人	人	人	人	人	人
前孤山子	760	2,362	2,228	4,541	7	9	27	—
雙井子	417	1,548	1,260	2,644	8	4	22	10[illegible]
雙樹子	444	1,498	1,422	2,738	49	65	16	52
狼古洞坨	331	1,062	1,070	2,085	5	5	17	2[illegible]
前網戶屯	710	2,308	2.255	4,459	14	17	23	5[illegible]
夏家樓	617	2,026	1,886	3,806	23	18	65	—
娘娘廟	729	2,341	2,228	2,703	9	13	24	1,82[illegible]
大江家屯	433	1,367	1,274	2,600	9	15	17	—
小明安碑	657	2,266	2,026	4,210	10	15	28	29
總計	5,098	16,776	15,649	29,786	134	161	239	2.101

鐵嶺縣第7區夏家樓村戸口統計表 康德2年度

村屯別	戸數	人口			備考
		男	女	計	
大夏家樓	戸 155	人 338	人 407	人 745	
小夏家樓	39	145	116	261	
前腰堡	28	83	90	178	
後腰堡	60	164	163	327	
萬家房身	205	335	318	653	
畢家窩棚	43	147	146	293	
田家窩棚	36	101	91	192	
鄭家窩棚	45	145	145	290	
合計	611	1,463	1,476	2,939	

鐵嶺縣第7區夏家樓村人口生死調査表 康德2年度 7月1日より12月末日迄 同村公所調

月別 ＼ 生死別・性別	出生			死亡			全人口對比		備考
	男	女	計	男	女	計	出生	死亡	
7月	5	9	14	4	7	11	—	—	全人口は警察署統計による
8月	7	6	13	6	5	11	—	—	
9月	4	5	9	8	1	9	—	—	
10月	9	8	17	6	7	13	—	—	
11月	10	9	19	2	4	6	—	—	
12月	2	2	4	—	1	1	—	—	
合計	37	39	76	26	25	51	1.94	1.27	

鐵嶺縣第7區夏家樓警察署管內大家族（20名以上）姓名表

村別	現住所	姓名	人口數			備考
			男	女	計	
前孤山子村	同左	王景山	人 10	人 13	人 23	
大孤樹村	〃	鄭寶善	10	10	20	
四家子村	〃	徐文東	9	14	23	
〃	〃	閻振明	11	9	20	
〃	〃	徐朗	14	14	28	
娘娘廟村	〃	劉懷富	13	8	21	
〃	〃	王申	13	7	20	
〃	〃	尚廣坤	8	13	21	
〃	〃	王慶生	9	12	21	
大邊家屯村	〃	宋希德	12	12	24	

村別	現住所	姓名	人口數 男	人口數 女	人口數 計	備考
			人	人	人	
小明安碑村	沙後所	王玉科	37	37	74	沙後所卽小明碑階村
〃	小青堆子	曹合	10	14	24	
〃	〃	黨慶順	22	19	41	
〃	高家窩棚	桂永才	11	10	21	
雙井子村	同左	高慶	11	10	21	
〃	〃	孫廷憲	9	14	23	
〃	〃	王起仁	8	14	22	
〃	〃	廖起	14	20	34	
〃	〃	伍倉元	10	12	22	
〃	姜廖坨子	程殿元	9	12	21	
〃	小孤楡樹村	李青貴	14	13	27	
〃	〃	李金花	17	13	30	
〃	永收屯	宋永勒	18	13	31	
〃	馬圈子	聶玉堂	16	17	33	
〃	月牙泡	孟昭孔	16	19	35	
夏家樓村	同左	王貴有	15	12	27	
〃	〃	劉臣川	13	12	25	
〃	〃	白洪圖	16	16	32	
〃	〃	鄧國豐	15	19	34	
〃	〃	宋天有	12	11	23	
〃	〃	徐守金	10	10	20	
雙樹子村	〃	金玉文	10	14	24	
〃	〃	車臣武	11	12	23	
〃	〃	張廣恩	12	12	24	
〃	〃	高景福	11	11	22	
〃	〃	于長營	12	10	22	
范家窩棚	〃	劉信	15	18	33	
〃	〃	齊耀東	11	18	29	
〃	〃	陳玉文	21	16	37	
黄古洞坨村	〃	趙伯川	34	30	64	
〃	〃	李萬成	11	10	21	
〃	〃	李守連	12	14	26	
〃	〃	朱德潤	17	16	33	
〃	〃	李万祿	19	15	34	
〃	〃	郭鳳林	13	8	21	
合計		47人	622	632	1,254	

第7區鐵嶺縣夏家樓村内大地主氏名表

氏名	所有地面積	現住所	職業	備考
劉[illegible]	畝 [illegible]	鐵嶺	無	
劉玉川	67.7	夏家樓	農	
黄景新	83.3	鐵嶺	無	兄弟
黄景玉	59.3	万家房身	無	兄弟

夏家樓村有力家氏名表

村屯別	氏名	備考	村屯別	氏名	備考
夏家樓	劉成維	大地主	畢家窩棚	鄧維漢	
万家房身	楊俊山	協議員	鄧家窩棚	鄧國豐	屯長
腰堡	王煥章		田家窩棚	田喜豐	

次に調査屯たる畢家窩棚屯の人口構成は以下の如くである。

職業別戸數及人口

職業別	戸數	人口	備考
農業	[illegible]	[illegible]	「地主」2戸「地、自」1戸「地、自、雑」2戸「地、雇」1戸「自作」1戸「自、小」6戸「自、小、雑」1戸「自、小、雇」3戸「自、雇」5戸「小作」2戸「小、雑」1戸「小、雇」6戸「雇」4戸「雇、雑」4戸
雑業	2	5	雑業は裁縫其の他業をなす
計	41	272	

性別年齢別人口

性別＼年齢別	1より4歳	5より10歳	11より12歳	13より14歳	15より17歳	18より19歳	20より30歳	31より45歳	46より50歳	51より55歳	56より60歳	61歳以上	合計
男	人 18	人 16	人 5	人 8	人 5	人 6	人 23	人 19	人 8	人 7	人 3	人 13	人 131
女	2	26	2	5	7	7	27	18	7	8	1	11	141

所有地別、地目別土地面積 康徳2年度

所有地	普通畑	菜園	宅地	荒地	其ノ他	合計	押地	出典地	入典地	耕作地
屯内	畝 1,427.28	畝 55.10	畝 52.30	畝 7.00	畝 15.10	畝 1,556.78	畝 288.00	畝 213.30	畝 151.30	畝 1,714.08
屯外	245.50	—	—	—	1.00	246.50	—	30.00	10.00	7.50

耕地所有規模別農家戸數及面積並に貸付面積

耕地耕作規模別農家戸數及面積並に小作面積

自小作農別戸數及其面積　康德2年度

	地主	地・自	自作	自・小	小作	合計	備考
戸數	戸 3	戸 [illegible]	戸 [illegible]	戸 [illegible]	戸 [illegible]	戸 31	
面積	畝 437.80	畝 693.00	畝 256.20	畝 635.78	畝 384.00	畝 2,406.78	
貸付地	434.50	244.00	—	—	—	678.50	
借入地	—	—	—	385.8	384.0	769.80	

第五節　產　　業

一　農　　業

本村は早くから開墾され、開發好く行き屆き農業は集約的であつて、沼地の外は殆んど耕地になつてゐる。

村内の耕地面積は、康德3年度は康德2年度に比し122倍になつて居り、一般に增加してゐるが、稗子、穀子に於て特に增加が著しく、粳子のみは減少を示してゐる、收量は小麥、稗子の外激減してゐるが、之は天候不順、虫害等によつたものである。

鐵嶺縣夏家樓村農產物收穫量調査表

農產物種類	面積		收穫總額		面積100分比	1天地當收量		備考
	上年	本年	上年	本年	上年對本年	上年	本年	
黄豆	天地 567	天地 675	石 2.835	石 3.037	119.0	石 5.0	石 4.5	上年を100とする
高粱	709	720	3.899	3.600	101.5	5.5	5.0	
穀子	364	450	1.820	1.350	123.6	5.0	3.0	
粳子	129	125	903	812	96.9	7.0	6.4	
小麥	20	20	40	40	100.0	2.0	2.0	
大麻子	5	—	15	—	—	3.0	—	
稗子	77	110	231	330	142.8	3.0	3.0	
其他	—	—	—	—	—	—	—	
合計	1.871	2.100	9.743	9.169	122.2	—	—	

土地價格は次の如くである。

價格＼則	上則地	中則地	下則地	減則地
一般價格	1天地當り 圓 260～400	200～250	80～200	10～100
平均價格	300	250	150	90

等級別面積は次の如くである。

騾によつてゐる。

鐵嶺縣第7區夏家樓村公所家畜統計表　（康德2年度）

種類		原有數	本年生殖數	合計	總計
馬	牡	50頭	36頭	86頭	168頭
	牝	42	40	82	
騾	牡	55	37	92	176
	牝	44	40	84	
驢	牡	30	25	55	111
	牝	25	31	56	
牛	牡	6	16	22	43
	牝	4	17	21	
羊	牡	—	—	—	—
	牝	—	—	—	
猪	牡	400	210	610	695
	牝	61	24	85	
犬	牡	230	80	310	613
	牝	215	88	303	
兎	牡	—	—	—	—
	牝	—	—	—	
鷄	牡	200	55	255	1,200
	牝	745	200	945	
鴨	牡	5	5	10	70
	牝	45	15	60	
鵝	牡	3	5	8	21
	牝	5	8	13	

（參考）11ケ村の全數を示すと

馬	1,037	騾	1.227	驢	629	牛	285
狗	1,354	猪	1.582	羊	なし		

牧羊は縣城附近で行はれてゐる。

勞働狀況を見ると、本村では他から流れ込んで來た者は少い。勞銀、人數は次の如くである。

勞工種類	勞銀最高	勞銀最低	勞工人數
年　工	65圓	35圓	17[illegible]人
月　工	7	3	2[illegible]0
日　工	0.5	0.2	2[illegible]0

二　其の他

農業以外には別段特記すべき產業はない。

第六節　交　　通

本村は鐵法縣道の中途に當り、東は鐵嶺に至り西は法庫に至る。南は網戸屯北は小青堆子屯迄警備道路あり、その他屯として道路は完備し、交通は至つて便利である。

交通機關としてはバス、馬車があり、バスは鐵法長途汽車公司により經營せられ、鐵法縣道を毎日2往復し、縣城との交通には至つて惠まれてゐる。

郵政代辦所は本村中街警察署前胡同南興同鄕永に設けられ集配は毎日1回宛行はれてゐる。

法庫縣
法庫縣
原
縣
第六區界
第八區界
本圖凡例
警察署駐在村
分駐所駐在村
調査屯
主村
附村
縣界
區界
郷道
國道
警備道
警察用電線
河流
山脈

第七節　保甲及び警察

一　保　　甲

本村の保甲団は、鐵嶺第7區夏家樓保甲団と稱し、以前は鐵嶺縣第7保には入つてゐたが、康徳3年7月に制度が改められて以來、夏家樓村のみで1保を形成し、夏家樓甲、東腰堡甲、鄧家窩棚甲、萬家房身甲の4甲に分れる樣になつた、10家を以て1牌をつくつてゐるから畢家窩棚屯は4牌である。鄧家窩棚甲は鄧家窩棚、畢家窩棚、田家窩棚の3屯、夏家樓甲は夏家樓及び小夏家樓の2屯、東腰堡甲は前後兩堡・東腰堡の3屯、萬家房申甲は黃家窩棚、萬家房申の2屯から夫々成立つてゐる

保長は村長が兼ね、甲長は屯長が之を兼ねる事になつてゐる。

自衛團の組織は縣の一般に準じてゐる。

團長の任命は警察署長が之を行ひ、其の職務は縣の一般に準じてゐる、

保長、副長、甲長、副甲長、牌數及團長、副團長、團員數は次表に示す通りである

夏家樓保甲團長職業生年表

保甲別	保甲役員名	姓名	職業	生年	摘要
夏家樓保	保長	陸景生	村長	光緒27年	
夏家樓甲	甲長	劉成有	農	光緒25年	
〃	團長	李自新	〃	光緒34年	
東腰堡甲	甲長	劉濟清	屯長	光緒22年	住所前腰堡
〃	團長	劉天維	農	民國4年	
鄧家窩棚甲	甲長	鄧國豐	屯長	光緒20年	
〃	團長	田像豐	農	光緒19年	
萬家房申甲	甲長	曹明達	屯長	民國1年	
〃	團長	侯英山	農	民國2年	

鐵嶺縣夏家樓警察署管內保甲名稱及保甲長姓牌數團員數

保別	甲別	牌數	團員數	保甲役員名	姓名	摘要
夏家樓保		—	—	保長	陸景生	
〃	夏家樓甲	19	123	甲長	劉漢中	本甲小夏家樓、大夏家樓2屯
〃	〃	—	—	團長	李自新	
〃	東腰堡甲	9	71	甲長	劉濟清	前腰堡、後腰堡、東腰堡、3屯
〃	〃	—	—	團長	劉天維	
〃	鄧家窩棚甲	11	103	甲長	鄧國豐	畢家窩棚、田家窩棚、鄧家窩棚、3屯
〃	〃	—	—	團長	田像豐	

保別	甲別	牌數	閑員數	保甲役員名	姓名	摘要
夏家樓保	萬家房申甲	21	194	甲長	曹明達	黃家窩棚萬家房申2屯
〃	〃	—	—	閑長	侯英山	
小明安碑保		—	—	保長	楊　發	
〃	小明安碑甲	21	202	甲長	周慶明	
〃	〃	—	—	閑長	張　濤	
〃	沙後所甲	19	158	甲長	周　卿	
〃	〃	—	—	閑長	王恩厚	
〃	小青堆子甲	26	167	甲長	李萬榮	
〃	〃	—	—	閑長	孫貴誠	
狼古洞坨保		—	—	保長	郭景陽	
〃	狼古洞坨甲	32	325	甲長	劉興沛	
〃	〃	—	—	閑長	王佾志	
娘娘廟保		—	—	保長	李宗賢	
〃	娘娘廟甲	14	85	甲長	李萬全	
〃	〃	—	—	閑長	王巨峯	
〃	三家子甲	19	130	甲長	陳玉海	
〃	〃	—	—	閑長	佾志先	
〃	鰲多力房申甲	5	37	甲長	王金璽	
〃	〃	—	—	閑長	史洗心	
〃	施荒地甲	14	127	甲長	劉紹堯	
〃	〃	—	—	閑長	田雨潤	
〃	興隆屯甲	12	81	甲長	劉樹堯	
〃	〃	—	—	閑長	陳國良	
〃	望山屯甲	8	80	甲長	劉殿侯	
〃	〃	—	—	閑長	王慶海	
大江家屯保		—	—	保長	張壽齡	
〃	大江家屯甲	21	195	甲長	江湧生	
〃	〃	—	—	閑長	江恩厚	
〃	小江家屯甲	8	65	甲長	張犇元	
〃	〃	—	—	閑長	張富興	
〃	大朴起屯甲	16	81	甲長	張保忠	
〃	〃	—	—	閑長	李芝榮	
雙非子保		—	—	保長	任孟春	
〃	雙非子甲	13	166	甲長	周國良	
〃	〃	—	—	閑長	李顯榮	
〃	小孤榆樹甲	4	83	甲長	李　泉	
〃	〃	—	—	閑長	李金江	
〃	永收屯甲	4	99	甲長	朱永坤	

保別	甲別	牌數	團員數	保甲役員名	姓名	摘要
雙井子保	永收屯甲	—	—	團長	李向春	
〃	馬圈子甲	21	71	甲長	孟現蜃	
〃	〃	—	—	團長	聶德軒	
前網戸屯保		—	—	保長	王恩惠	
〃	劉荒地甲	8	62	甲長	劉秉信	
〃	〃	—	—	團長	劉巨呂	
〃	景荒地甲	7	65	甲長	王恩生	
〃	〃	—	—	團長	王殿林	
〃	宗荒地甲	12	117	甲長	孫朝臣	
〃	〃	—	—	團長	孫緒德	
〃	張家莊甲	5	38	甲長	張鳳池	
〃	〃	—	—	團長	曹鳳俊	
〃	前網戸屯甲	11	83	甲長	趙連舉	
〃	〃	—	—	團長	關錫倫	
〃	後網戸屯甲	10	74	甲長	孟繁忱	
〃	〃	—	—	團長	李子良	
〃	姜家窩棚甲	4	58	甲長	鄧　昆	
〃	〃	—	—	團長	田鴻盛	
〃	宗荒地甲	6	53	甲長	張祖廉	
〃	〃	—	—	團長	王希盛	
雙樹子保		—	—	保長	金佩生	
〃	雙樹子甲	28	271	甲長	姜鳳兆	
〃	〃	—	—	團長	張崇德	
〃	范家窩棚甲	14	132	甲長	邱化民	
〃	〃	—	—	團長	劉鳳林	

夏家樓村副保甲團長表

保甲別	保甲役員名	姓名	職業	生年月日	摘要
夏家樓保	副保長	劉漢中	農	光緒25年7月19日	保長係義務職由村廳任之
夏家樓甲	副甲長	徐文林	〃	光緒34年	亦義務職
〃	副團長	王寶賢	〃	光緒34年	〃
東腰堡甲	副甲長	譚文閣	〃	光緒27年	
〃	副團長	劉漢文	〃	光緒26年	
鄧家窩棚甲	副甲長	鄧國太	〃	光緒28年	
〃	副團長	李　恩	〃	光緒14年	
萬家岔山甲	副甲長	曹明達	屯長	民國1年	
〃	副團長	任洪恩	農	光緒3年	

二 警　　察

警察署は夏家樓の後街の關帝廟胡同にあつて、建物内に派遣所が1ヶ所ある。本警察署は清代光緒末年大青堆子に設けられた警察から起り、之を第5區官と稱してゐた。次いで民國 15 年夏家樓村に移轉し、之を第7區官と稱し區長が官長を兼ねた。民國18年からは公安局分局と改稱してゐた。

建國後大同元年警務局第7區分局、大同2年3月から第7區警察署、次いで康德2年1月から夏家樓警察署と改稱されたのである。

現在警察署職員は

署長　張秉鈞以下　　巡官　2名、　警長　6名、　警士　46名、　合計　55名になつてゐる。

又警察署管内における公安狀態は11ヶ月間に亘り、25件で割に平穩であると言へる。

防害公務罪	3件	鴉片罪	7件	賭博罪	7件
傷害罪	2〃	殺人罪	2〃	贓物罪	1〃
竊盜罪	1〃	槍奪强盜罪	2〃		

第八節　村　　　政

一 村 公 所

村公所は夏家樓本村に在つて草房4間、地基は800平方米であるが、北方萬家房身へは5粁餘、東方後腰堡へは3.3粁、西南方田、鄧、畢の3家窩棚へは夫々2粁を距てゝゐる。

村公所の職員は次の如くである。

村長	陸景生	36歲	本村
屯長	鄧國豐	43〃	鄧家窩棚
屯長	曹明達	25〃	萬家窩棚
屯長	劉濟清	41〃	腰堡
傭員	馮有田		
傭員	白洪書		
協議員	田豫豐		田家窩棚
協議員	楊俊山		萬家窩棚
協議員	白永祥		夏家窩棚

この村では鄧家の屯長は畢家、田家の3屯の長を兼ねてゐる。屯長は3名、協議員は3名が定員となつてゐるが、村政を議する場合には村長の下に3屯長、及3協議員で計7名を以て行つてゐる。

二 財　　政

(イ) 豫算決算

村の豫算決算を見ると次表の通りであるが、康徳3年度決算を全縣下の村の決算平均に比較すると、建築費、修道費、橋梁架設費を含む臨時費が著しく少い。教育費、救濟費、財産造成費は大差ない。

鐵嶺縣第7區夏家樓村支出決算表　康徳2年度

項目	款數	項目	款數
教育費	圓 1,235	村公所職員薪俸	圓 1,035
修道招	779	區農會費	777
招待費	532	其他雜費	4,760
村公所辦公費	637	合計	10.121

鐵嶺縣第7區夏家樓村收支表

項目	康徳3年度決算			康徳4年度豫算		
	款數	同上100分比	全縣村平均100分比	款數	同上100分比	全縣村平均100分比
公所費	圓 2,382.00	35.2	32.0	圓 2,491.00	—	—
保甲費	—	—	—	387.00	—	—
教育費	4,040.00	59.8	59.0	3,199.00	—	—
救濟費	50.00	0.7	0.7	50.00	—	—
財産造成費	127.00	1.8	1.9	174.00	—	—
臨時費	170.00	2.5	6.4	1,190.00	—	—
合計	6,769.00	100.0	100.0	7,491.00	—	—

この項目中に保甲費は含めて居らぬ全縣 60,000 圓

(ロ) 徵　　稅

國稅縣稅は、縣公署から2名出張して各村を巡廻して徵集するが、10月1日から12月末日(陰曆)は 4 名である。區農會費は納稅者自身納入に行く。

村費は春は陰曆3月1日秋 10 月1日以後之も戶別に巡廻徵集するのである。

稅率簡明表

稅別＼稅率	等則				計	備考
	上則	中則	下則	減則		
縣稅	圓 1.46	圓 1.40	圓 1.34	圓 0.67	—	1天地に對する稅率にして圓を單位とす
國稅	1.54	1.10	0.66	0.33	—	

夏家樓村の國縣稅徵收の狀況をみると、滯納額は縣稅に於て 44.43 圓、國稅に於て 28.14 圓で、之は全稅額に對して縣稅の方は 1.83 %、國稅の方は 0.89 %である。

額は國稅 3,132.79 圓、縣稅 2,421.57 圓である。

夏家樓村康徳2年度縣、國稅徵收狀況表

夏家樓村立義倉（之ト向合ツテ一棟アル）

税別 / 等則	納入額數		滯納額數		備考
	縣税	國税	縣税	國税	
	圓	圓	圓	圓	
上則	330.58	312.75	9.05	7.55	滯納者は所在不明
中則	1,843.29	2,356.22	20.99	16.50	
下則	142,08	294.90	4.23	2.11	
減則	61.19	140.75	10.11	4.98	
合計	**2,377.14**	**3,104.62**	**44.43**	**31.14**	

(ハ) 村有財産

會田136畝内 80 畝は收益なく 56 畝を小作させ、年收 84 圓を擧げて居る。

三 義倉

夏家樓分倉は村公所内に2棟あつて、康德2年度の積穀積款數目表は別表に示す通りであるが、夏家樓村の分は同表に揭げた通りで穀數、款數は其の1割内外である。康德2年度には支出は無かつた。

鐵嶺縣夏家樓分倉康德2年度積穀積款數目表

徵收は新制石に依る

倉庫地趾	全區畝數	每畝地應徵積穀數	共徵積穀數	徵款戶數	款數
	畝	合	石	戶	元
夏家樓分倉	228,566	8	1,828,528	1.704	510.60

夏家樓村分 150戶 175石 52元

第九節 教育、宗教其の他

一 教育 主村夏家樓に兩級小學校1ヶ所、附村萬家房身に初級小學校1ヶ所あつて、生徒數は高小1級、初小4級、教員6名(男5女1)、學生288名内男生193名、女生 95 名である。

職員氏名、俸給、經歷、學校經營狀況は屯の教育欄參照、民衆學校は級數3級、學生 72 名内男 38 名女34名、經費264 圓である。

二 衞生 春秋2季に種痘をやつてゐるとの事である。

三 宗教 全村孔教を以て主とし、佛教も行はれてゐる。主村夏家樓村に關帝廟が1ヶ所ある。幅1間、面積 150 米平方で、附村萬家房身にも亦關帝廟がある。

第二章 土地關係

第一節 地　　　積

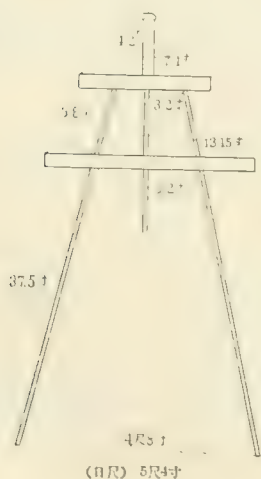
本縣で土地臺帳として最も古いのは康熙年代に使用せられた魚鱗册と稱するもので、之は土地拂下げに際して拂下人の氏名、土地番號、面積を記入したものであつた。其後光緒 31 年から徵根册と稱せられ、面積と氏名とが記入せられたものに改められ、建國以後更に現在の土地臺帳に改變せられたのである

光緒 31 年頃、浮多地に關する布告を出し之を勵行させたので、現在では土地臺帳の面積と實際面積とは大きな差異が無い様になつた。

地券上の面積は皆畝を單位として居り、今之を示せば次の様になる。

1 天地	=	10畝
1 畝	=	240方弓
1 弓	=	5尺(木尺)

耕地面積を呼稱する場合も所有面積を呼稱する場合も、總て天地と畝とを使用して居り、其の面積を實測する場合は縱横共に弓數を用ひて1弓毎、或は5弓毎に標識を付けた繩で測るのが普通であるが、第7區夏家樓村の調査部落畢家窩棚では、横は壟數縱は弓數で實測して居た。

鐵嶺縣第7區畢家窩棚にて一般に使用せらるる土地測量器(弓)

勿論縣城附近でも康熙年代には、壟數で面積を表示し、之を數へるときは道路側の壟も數に加へたと言はれて居る。そして其の頃は境界の諸所に封堆と稱し、墓の形をした土盛を作つて境界の標識としたと言つてゐる。

更に壟の幅は土地に依つて違ひ、平坦で比較的肥沃な處は木尺で1尺6寸、山間の割合瘦薄な土地は1尺8寸ある。

土地に關する紛爭等のあつた場合は、縣公署から1人、兩當事者、保證人、村長、仲介人が立會ひ縣公署の繩、或ひは弓で實測し、賣買の場合にも兩當事者、仲介人、保證人、四隣地主が立會つて前記の様にして實際に測量するが、小作及び典契約の場合には、普通呼稱面積を用ひて居る様である。

尙、調査屯第7區夏家樓村畢家窩棚では壟の幅が2尺と言はれて居り、壟の長さは賣買の時實測するが、壟の幅は實測したことがないと言はれて居る。

そして當地では1天地の面積は壟の長さ 720 弓で、壟數が 10 本あるのを標準として居る。

第二節 配分利用關係

（1）所有面積配分關係表

經營樣式	戸數	所有面積
地主	2戸	畝 494.60
地主、自作	3	770.00
地主、雇農	1	1.00
自作	1	167.30
自作、小作	7	227.73
自作、小作、雇農	3	57.50
自作、雇農	5	64.65
小作	3	—
小作、雇農	6	15.70
雇農	8	1.80
其の他	2	3.00
計	41	1,803.28

（2） 所有面積別農家戸數表

	區別	戸數	面積
地主	150畝以上所有	4戸	畝 1,330.90
	100畝～150畝所有	1戸	144.70
	51畝～100畝所有	1戸	84.00
自作	31畝～50畝所有	2戸	73.78
	11畝～30畝所有	5戸	95.30
	1畝～10畝所有	9戸	54.10
小作雇農	1畝～4.50畝所有	6戸	17.00
	1畝以下所有	1戸	0.50
	無職	1戸	3.00
	無所有	11戸	—
計		41戸	1,803.28

（3） 耕地面積別農家戸數表

區別	戸數	面積
300畝以上	1戸	畝 333.00
200畝以上 300畝未滿	1戸	209.00
150畝以上 200畝未滿	1戸	165.10
100畝以上 150畝未滿	1戸	111.00
70畝以上 100畝未滿	1戸	74.30
50畝以上 70畝未滿	4戸	250.00
30畝以上 50畝未滿	12戸	496.08
10畝以上 30畝未滿	4戸	68.30
10畝未滿	10戸	14.80
無耕作者	6戸	—
計	41戸	1,721.58

前表で見る樣に 41 戸中僅かに 3 戸の農家で屯內全耕地面積の 6 割 4 分を所有して居り、更に耕作面積で

は全農家の2割2分の農家が、全耕地面積の6割6分の耕作をして居る狀態で、所有耕作共に極端に偏在して居る。(戶別調査表より)

尙本調査屯內では不在地主の所有する土地が 50 天地位と稱されて居り、前記3戶の農家と不在地主で本屯內の土地殆ど全部を所有して居ると言ふ様な狀態で、純地主純自作と稱すべきものが僅か 5~6 戶に過ぎず、他は殆ど全部雇農兼營の農家丈である。

約200年前に本屯の草分けとして來住した畢某が、其の後生活費に追はれ後に來住した小作人、年工等に其の所有地を出典し、逐次之を彼等に賣却したので、從つて本屯の土地所有者の殆ど全部は小作人、年工等から漸次土地を獲得する様になつたもので、鄧一家を除く他は皆零細な土地を所有耕作して辛ふじて生活を維持して居る狀態である。

本屯に於ける1戶當り家族人員は6.4人(家族構成表より)平均で、此の人員で普通の生活を營むには地主は 15 天地の耕地が必要であり、自作農は5天地、小作農は6天地の小作が必要であると、稱されて居る。

前記の如く偏在して居る土地は、地主の負債の抵當或は出典地として、漸く都市の富豪及び商人等の手に移る様になり、不在地主の人數と共に其の面積も漸次增加して行く傾向である。屯民はこの土地を獲得し様としても資金が無いので、唯傍觀するより他方法が無い狀態である。

尙小作地の様なものでも 1~2 の例外を除き殆ど上期租であるから、資金乏しいものは耕地を求め様としても、其の狹少な耕地に甘んじて居るより他は無い。

故に斯くの如く耕地が不足して居るので、農民は少しでも現金に餘裕さへあれば小作地を增して耕作面積を增大し様と競つて居る。

又其の開拓に200年の歷史を有して居るので、可耕未墾地と稱すべきものが一つもなく、荒地も西河子溝の岸に僅か 17 畝ある丈で、其の中 10 畝は村公署が管理し、屯民は無條件で共同甸子として使用して居る丈である。

第三節　土地所有の集中分散

本屯の草分け畢某が、約200年以前に山東から移住し來つて、當時旗地であつた土地を自由に開墾耕作して居たが、數年後に政府の佈告によつて開墾面積を縣衙門に屆け、役人の檢分を經て「丈單」と稱する一種の地券の様なものを下附せられた。

「丈單」下付に際して1枚につき1吊錢を徵收せられ、其の年から1天地につき6.90圓の租税を納付した。

(康熙、乾隆通寶 16 個が 100、1,000 が1吊錢)

拂下げの面積等に關しては、何等の條件が無かつたと言はれて居る。

其の後、分墾或は勞賃の代りに土地を貰つたと言ふ様な例は無いが、唯次の様なことがあつた。

開拓當時の旗人で趙、佟、安の3人が未拂下の土地本屯の8割位の面積を拂下げてしまつたので、他に拂下げ得る土地が無かつた爲、遅れて來住した者は前記3人の旗人から未墾の土地を借りて之れを開墾し、3年間無料で耕作し3年後に一旦土地を旗人に返し、改めて小作契約を結んで其の土地を小作したが、其の旗人

徵收印花稅粘貼印紙處

鐵字第二〇六九號

奉天稅務監督署　爲

發給戶管事照得本省徵收田房稅定章每價國幣一元收正稅國幣六分叁釐照章有案合發

王化南用價奉大洋一百八十元置買李鳳鳴在鐵嶺縣下則項下納糧完納正稅國幣貳拾貳元八角除將官契粘連原契一紙老契一紙在騎縫鈐印發壹收執外合並填給戶管以憑管業須至戶管者

此地向在鐵嶺縣下則項下李鳳鳴名下納糧現在應割王化南名下遵照劃一田賦章程按則完納

右給業戶　王化南　收執

康德三年六月　日給

奉天稅務監督署支印

正稅之外祇收戶管工本費一元並無別項浮費如爲官吏人等額外需索分文准予控究

戶管

收入印紙　2分　2分　印

奉天稅務監督署　徵稅第一科　3.9.14　驗記

賣契

立杜賣契人李鳳鳴今經中人說允情願將李鳳鳴領名冊地一段賣與王化南名下管業坐落段至詳列如左言明賣價大洋三百八十元於填契日眼同中人如數交清並無拖欠自賣之後任由買主更名納稅不與賣主相干如有段址不清及其他糾葛統歸賣主清理並中保人負責爲此立契存證

不動產種類等則	下則
坐落段數	鐵嶺縣第三區古城子附村城南保村南々橋一段
四至　東至	周名南
南至	荒隔
西至	逢寶英
北至	道
原有額數	一百三十五畝七分五厘
出賣額數	二十五畝五分
原契張數	一張
原契登記號數	六五七六一
本契號數	
圖及長寬丈尺	

中華民國十九年十一月　日

鐵嶺縣古城子村公所圖記

村長	地鄰	介紹人	中保人	代字人
王家有印	周名南印　逢寶英印	賈德王印　郭吉王印	王官印　逄臣印　耿會亭印	周雲巖印

立賣契人　李鳳鳴　印

附記　南北長邊一百零六

遼寧省施行官契紙章程

第一條　凡民間典賣田房須依本章程領用官契紙

第二條　自本章施行後凡從前部頒官契紙及習慣上所用之白契均即廢止不再使用

第三條　在本章程施行後凡產權轉移均以官契紙及戶管為憑其仍用白契私行典買者無效

第四條　本章程所規定之官契紙由財政廳印發各縣委託各村村長發給之但村長不能負責者仍由縣政府發給之前項官契紙共分四聯一存根二繳縣三繳廳四契紙

第五條　契紙費每張現大洋一元以六成解廳二成留縣二成留給村長辦公用由縣發行者解廳八成

第六條　官契紙由村長發行後應將繳廳縣各聯連同契紙費按月繳縣彙核轉報但距縣較遠者得由縣政府查核情形展明彙繳惟至遲不得逾三月

第七條　村長繳解繳應縣各聯及契紙費須造具四柱清單連同契紙原本一併呈縣查核之

第八條　凡領用官契紙應按契面所列各項逐一填寫其未列事項均於附記欄註明之

第九條　契內新舊業主及連署人均須畫押蓋章村長名下並須加蓋村章

第十條　凡典賣契內田房之全部者須於立官契時提出老契眼同村長地鄰及中保人等注銷鈐蓋村章交與新業主俟投稅時一併呈縣驗收繳銷

第十一條　凡典賣契內田房之一部者須於立契時提出老契眼同村長地鄰及中保人等注明第某側撥出若干典賣某人字樣鈐蓋村章交新業主俟投稅時一併呈縣查驗蓋印再行發還

第十二條　凡典買不動產領用官紙契未經納稅即轉典轉賣者應令補稅並酌量情形處罰之

第十三條　凡典賣田房如不按眞實價值填寫官契紙者一經查出或被舉發除將新舊業主照章加罰外並將契內署名人之知情者一併處罰之

第十四條　縣政府或村長發行官契紙如有故意刁難稽延不發或浮收勒索等事准人民告發依法懲辦

第十五條　各縣政府及各縣村長如有保不力致將官契紙丟失者應賠繳工本

第十六條　人民領用官契紙如有遺失紛毀情事須隨時報告村轉告縣政府呈候財政廳核奪示遵

第十七條　本章程如有未盡事宜得隨時修正之

も漸次生活費に追はれて土地を賣却するに至つた。

生活費に追はれて負債を生じ遂に土地を賣却した例は全屯の5割に達し、年工が微細な土地を入典し、漸次其の土地を獲得したと言ふ例は3割位あると言はれて居るが、商業投資に依つて負債を生じ、土地を出典して居るのが現在唯1戸ある丈で他には無い。

民國 16～17 年頃は一番土地の賣買が多く行はれ、當時奉天票が下落して穀物始め其の他の物價が急騰した爲、農民に現金の所得が増加し、一方當時の上層階級の者が、生活費に追はれて土地を賣却したので、最も激しく土地賣買が行はれた。

民國 16 年1天地奉天票 600 圓であつたものが、民國 17～18 年には 1,200 圓位に倍増したのである。最も多く土地の移動激しく行はれるのは、本屯では何と言つても、地主階級の10天地以上所有者で、面積件數共に一番多い樣で、一度小土地所有者の手に入れば尠なくとも8年近くは移動する樣なことはないと言はれ、小土地所有者の內自作人階級は最も堅實な經營を行つて居る樣である。

第四節　土地の所有權

「丈單」の發行されなかつた頃は、縣城附近でも全般的に見て、其の所有權を表示する何物もなく、開拓後數年を經て（土地の集中、分散の項參照）「丈單」が其の土地に對する糧錢票を以て所有權を表示せられる樣になつた。以來光緒 31 年（1905年）に至つて「丈單」が地照（大照とも言ふ）に改められ、換照費として1枚に付き2吊錢を徵收せられた。

更に民國1年（1912年）に地照(戸管)の檢査を行ひ(國家の變革と共に)、之に新契紙を添附させて新契紙の添附なき地照は無効とし、新契紙1枚に就き奉天票1.50圓を、驗照費（驗契費とも言ふ）として徵收せられた。

當時法令を以つて民國3年より之を實施したが、法令施行第1年目に履行したものは新契紙1枚に就き1.50圓であつたが、第2年目履行したものは 2.70 圓、第3年目に履行したものは 4.05 圓を、徵收せられた樣である。

「丈單」を發行したのは旗署衙內であり、光緒 31 年に地照を發行したのは東三省將軍趙爾巽と稱する人で、人民の土地紛爭を避くる爲、正確な地券を發行する必要ありと當時の政府に申請し、許可を得て施行したものであつた。民國に至つて新契紙添附を行つたのは縣公署でなされた。

土地所有權の移轉ある毎に屆出でを必要とする樣になつたのは實際は光緒 10 年頃（1884 年）で、其の都度縣衙門若くは旗署衙門に屆出で捺印を受けさせた。

其の頃から屆出捺印の無いものを白契と稱して第三者に對抗することも出來なければ、又此の白契で無屆のまゝ所有權の移轉を行つて居た場合には、其の土地を旗署衙門及び縣衙門で評價し、其の價格に對し、次の樣な罰金を課したのである。

（1）實際に所有權を移轉してから6ヶ月後に白契なることが發覺した場合1割

（2）1年後に發覺した場合2割

（3）2年後に發覺した場合3割

（4） 4年後に發覺した場合4割

光緒31年以前は魚鱗冊に記載せられ、四至も實際とは非常に差異のあるものであつたが、同年佈告を發佈して浮多地の整理を行つてから非常に明確になつて來たと言はれて居る。

尚土地所有權の登記は、光緒33年(1907年)から施行せられ、登記料は土地の新所有權が地價100圓に就き50錢の割合で負擔し、比較的よく勵行されて居ると言ふ。

地照以外の確認の文書は無く普通地照と共に賣契が添附されて居る。土地賣買の時は買人は賣契と共に必ず舊地券を下附される故、地照一つ丈けでも亦賣契一つ丈けでも、完全な所有權の確認の證とはされない場合もあると言はれて居る。

尚光緒33年(1907年)からの登記は、之を履行しなければ第三者に對抗することが出來ず、法律的には勿論事實に於て一局部的に認められても、一般的には第三者に對抗出來ないことになつてゐる。典契は普通期限3年として居るが、實際の回贖期限は縣全般的に見れば20年とされて居り、20年經過すれば入典者が縣衙門に屆出て自己の所有とすることが出來る習慣だと言ふが、調査屯では回贖の期限等は全くないと言はれて居る。

白契の場合には一番紛爭を生じ易く大抵の場合白契は無効とされると言ふ。

賣買小作等に就いて面積の紛爭、境界の紛爭があつた場合は、地券によつて實測して地券面積通りにするが、斯る場合もし浮多地を生じた樣な場合には、兩者に折半して1畝に付き1.44圓の經照稅を徵收する。紛爭のある場合は、一番先に其の地券の正しいものであるか否かを調査して、其の正しい地券によつて判決するが、土地の紛爭を法院まで訴へるものは、縣城附近及び大土地所有者に多く、農村及び中小土地所有者の紛爭は割合少なく、彼等は多少紛爭があつても屯內で大體解決してしまふと言はれて居る。

奉天鐵嶺地方法院民事判決　2年上字　第153號

判　　決

上訴人　劉廣祿　住本城

被上訴人　劉廣文　同上

右兩造因請求退地涉訟1案上訴人不服本院簡易庭民國2年12月7日第1審判決提起1部上訴本院判決如

主　　文

原判決關於窖西地及訴訟費用部分廢棄

被上訴人在第1審關於窖西地部分之訴駁斥

兩審訴訟費用被上訴人負擔3分之2上訴人負擔3分之1

上訴人求將原判決關於窖西地部分廢棄將被上訴人在第1審關於窖西地部分之訴駁斥兩審訴訟費用均判令被上訴人負擔其陳述上訴要旨略謂上訴人曾於民國11年報領坐落本境窖西升科地1段計地12畝東至道西至附屬地南至左姓北至橋頭領有升科大照爲證至兩造與案外人劉煥廷3股夥有之土地12畝在上訴人報領之升科地以東中間隔有官道被上訴人竟謂上訴人報領之升科地12畝係夥有土地12畝內之浮多地訴請退還3分之1原審遽依所請判決實難甘服云云提出大照1低爲證

被上訴人求將上訴人之上訴駁斥並判令上訴人負擔第2審訴訟費答辯要旨略謂被上訴人與上訴人及案外人劉煥廷3股夥有坐落本境窖西土地1段計地12畝西至道惟內有浮多詎上訴人竟私自報領浮多地12畝且

將西至之道由西向東擠至西地中間查此項浮多土地 12 畝爲 3 股夥有之土地上訴人竟私自報領爲此上請退還 3 分之 1 原審判決並不當方方

理　　由

查當事人主張有利於己之事實應負舉證之責任本案被上訴人劉廣文主張上訴人劉廣祿報領坐落本城窰西土地 1 段計地 12 畝係兩造及案外人劉廣廷 3 股夥有坐落本城窰西土地 12 畝內浮多地畝作地換領爲查查換領內並無四至之記載自不能爲浮多土地之證據經本院履勘兩造及案外人劉廣廷 3 股夥有之土地現爲 10 畝 52 厘 8 毫難有不然與上訴人報領之土地 12 畝中間尚隔有寬 4 弓之官道尤不能謂上訴人報領之土地 12 畝爲夥有之土地按之前開說明即不能向被告請求退還土地況查上訴人於民國 11 年報領土地 12 畝既有大照爲證並於民國 12 年依法登記合法取得所有權管業至今 10 有餘年被上訴人忽主張爲夥有地內之浮多地畝訴請退還 3 分之 1 殊無理有原審遽依所請判決實有未當應將原判決關於窰西地及訴訟費用部分廢棄將被上訴人在第 1 審關於窯西地部分之訴駁斥

據上論結本件上訴爲有理由原依民事訴訟條例第 518 條第 109 條第 98 條但審判決如主文

奉天鐵嶺地方法院民事合議庭

審判長　推　事　劉　瀚　障

推　事　亢　占　魁

推　事　田　玉　明

不服本判決得於送達後 20 日內上訴於奉天高等法院

康德 1 年 5 月 12 日

本件證明與原本無異

康德 1 年 5 月 21 日　　書記官　王　海　龍㊞

奉天鐵嶺地方法院民事判決　2 年上字第 153 號

判　　決

原　　告　　劉　廣　祿　　住所本縣城

被　　告　　劉　廣　文　　同　　上

右兩名土地返還請求ノ爲、訴訟ニナル 1 案原告ハ本院簡易庭判決不服ニヨリ大同 2 年 12 月 7 日第 1 審判決ニ付 1 部上訴ヲ提出シ、本院ニ於テ判決スルコト左ノ如シ。

主　　文

原判決ニ係ル窰西地及ビ訴訟費用部分ハ廢棄スルコト。

被告ハ第 1 審ニ於ケル窰西地部分ノ訴訟ハ駁斥スルコト。

兩審ニ要セル訴訟費用ハ被告 3 分ノ 2 ヲ負擔シ、原告ハ 3 分ノ 1 ヲ負擔スルコト。

原告ハ原判決ニ關スル窰西地部分廢棄ヲ請求シ、被告ハ第 1 審ニ關スル窰西地部分ノ訴訟ヲ駁斥ス、兩審ニ要セル訴訟費用ハ、均ク被告之ヲ負擔スル樣判決サレタリ、ソノ陳述セル上訴要旨ハ大體原告ハ、民國 11 年ニ報領セル本城窰西升科地 1 個所計面積 12 畝東至道、西至附屬地、南至左姓地、北至橋頭、ノ升科大照ヲ下附サレアルヲ以テソノ說明ニ資ス。原告、被告及事件外ノ劉廣廷 3 名共有地12畝ハ、原告報領ノ升科地以東ニ所在シ、中間ニ官道ノ隔テアリ、被告ハ原告報領ノ升科地 12 畝ハ、共有地 12

第一部　記述編　第二編　調査屯事情

畝以内ノ浮多地ナリト稱シ、3分ノ1ヲ返還請求ノ原審ニ對スルソノ判決ハ實ニ甘心服從シ難シト言フ、大照ヲ提出シテ證明トナス。

被告ノ請求ハ原告ノ上訴ノ駁斥スル事、並ビニ第2審訴訟費ハ原告ニ於テ負擔スル事、ソノ答辯要旨ハ、大體被告ト原告及事件外ノ劉廣廷3名共有所在地ハ、本城窰西地1ケ所計 12 畝ニシテ西ハ道路ニ至ル(内ニ浮多地ヲ含ム)個所ナルガ、原告側デハ私カニ浮多地 12 畝ヲ報領シ、且西ニ至ツタ道ヲ、西ヨリ東ニ侵佔シ、西ノ土地ノ中間マデ侵耕スルト言フ。査スレバ此浮多地12畝ハ3名共有ノ土地ニシテ、原告ハ私カニ報領シタルモノニシテ、之ガ爲ニ3分ノ1ヲ返還スル請求原審判決ハ不公平ナ所ナシト言フ。

理　　由

査スレバ當事人ニ於テ利己ノ事實ヲ主張スル場合證明人ヲ擧ゲル責任ヲ負擔スベシ、本案ニ付キ被告劉廣文ハ、原告劉廣祿ノ報領シタル本城窰西土地1ケ所計土地12畝ハ、原告、被告及事件外ノ劉廣廷3名共有土地、本城窰西土地12畝内ノ浮多地ナリト確認シ、粮領(稅票)ヲ以テ證明トス。査スレバ粮領(稅票)ニハ四至ノ記載ナシ、自ラ浮多地ノ證據ニナラザルコトト認メ、本院ノ實地勘驗ニヨリ原告、被告及事件外ノ劉廣廷3名共有ノ土地ハ、現在 10 畝5分2厘8毫ニシテ相違アルト雖モ、原告ノ報領土地 12 畝中ニ尙幅4弓 (1弓5尺)ノ官道ノ隔テアリ、原告報領ノ土地 12 畝ハ別段ニアリテ、共有地12畝ノモノト關連ナキコトガ分明セリ、原告ハ土地退還請求ニ應ズル餘地ナク、民國 11 年ノ報領土地 12 畝大照ヲ以テ照明トス、尙原告ハ民國 12 年ノ登記法ニ依リ所有權ヲ取得シ、經營スルコト今マデ 10 餘年ニシテ、被告ガ忽チ共有ノ浮多地ト主張シ、3分ノ1ヲ退還請求ヲ提訴スルコトハ、實ニ理由ノナキコトナリ。原審ニ於テソノ請求ニ從フコト實ニ適當セズ、當然原判決ニ關スル窰西地及訴訟費用部分廢棄被告ノ提出シタル第1審窰西地部分ニ關スル訴詞駁斥スベシ。

上述ノ論結ニ據レバ本件ノ上訴ハ理由アルト認メ、玆ニ民事訴訟法條例第518條第109條第 98 條ニ依リ判決ハ主文ノ如シ。

奉天鐵嶺地方法院民事合議庭

審判長推事　劉　瀚　障

〃　田　玉　明

本判決ニ不服ノ場合送達後 20 日内ニ奉天高等法院ニ上訴スベシ。

康德1年5月 12 日

本件ハ原本ト相違ナシト證明ス。

書記官　王　海　龍

康德1年5月 21 日

鐵嶺地方法院第1審民事判決書　簡字第126號

判　決

原　告	劉　榮	未到	
訴訟代理人	劉李氏		女年齡 35 歲住所鐵嶺北關
被　告	王太昌		男年 41 歲住所鐵嶺下椴木嶺子農
	鄭康氏		女年 49 歲住鐵嶺東關商

右兩造因請求退地涉訟1案本院判決如左

主　　文

王太昌應將係爭地之土地退還原告

原告對於鄭康氏之訴駁斥

駁訴訟費用由被告王太昌負擔

事　　實

原告聲明求爲判決被告等將係爭之土地退還原告並負擔訴訟費用其陳述事實要旨略稱原告於去歲 11 月間經中人介紹買得被告鄭康氏之子鄭蘊堂所有坐落院屬下椴木嶺子處之中則畊地2段1段爲1畝不計、外共1段爲 19 畝、計長短壠152條四至計、南至河北至道西至張姓東至道立有賣契爲證並帶有原契爲憑不料被告王太昌竟謂彼於四至以內尙有土地2畝3分5厘、挖掘封堆不令耕種向鄭康氏詢問據聲稱已按數出賣不負任何責任而王太昌又蠻不講理是以訴追云云

被告王太昌請將原告之訴駁斥並令負擔訴訟費用其答辯意旨略稱其於原告之地內有2畝餘地約 30 餘壠內有家庙即該地並未出賣自不能令原告耕種除此2畝餘地之外尙有土地 19 畝方是原告之地云云

被告鄭康氏答辯意旨略稱其賣與原告之地係先買被告王太昌之地共長短壠150條南至河北至道西至張姓東至道自置得該地即租給王太昌向未親自耕種但無王太昌之家庙雖有小庙亦在四至以內云云

理　　由

本院審查被告鄭康氏爲原告出立之賣契內載之四至與被告王太昌原賣與鄭康氏地契內載之四至完全相同經實地履勘共4至以內連同不堪耕種之荒格共有土地 19 畝3分2厘、是該地已經被告王太昌原賣與鄭康氏轉賣與原告至爲明瞭雖照契載實地之數多有3分2厘、然該被告王太昌並未在該地四至以內留有2畝餘地已經鄭康氏及中人姜殿文蘇與文等到案證明是所多之地亦非該被告之地又毫無疑義況查該地四至以內之庙並非該被告王太昌之家庙乃辯稱係其家庙因而留出土地2畝有餘顯是捏詞詭賴毫不足取原告請爲退還自有理由惟侵佔原告之地此爲被告王太昌乃連同鄭康氏一併訴追即有不合

據上論結原告之訴爲一部有理由一部無理由合依民事訴訟條例第 98 條判決如主文

不服本判決得於送達後 20 日內上訴於本院合議庭

康德2年6月1日

鐵嶺地方法院民事庭

推事　李　省　三

本件證明與原本無異

書記官　達　人

鐵嶺地方法院第1審民事判決書　第126號

判　　決

原告	劉榮	未到(缺席)	
訴訟代理人	劉李氏	女年齡 35 歲	住所　鐵嶺北關
被告	王太昌	男年 41 歲	住所　鐵嶺下椴木嶺子(農)
	鄭康氏	女年 49 歲	住所　鐵嶺東關(商)

右兩方ハ土地賣却面積内一部返戻請求ノ爲、爭訟ヲ起シ本院ノ判決ハ左ノ通リ。

主　　　文

王太昌ハ紛爭ニナル土地ヲ原告者ニ返戻スヘシ。

原告者ハ鄭康氏ニ對スル訴訟ヲ取消スヘシ。

訴訟費ハ被告王太昌ガ之ヲ負擔スヘシ。

事　　　實

原告者ノ聲明スルコトハ、被告者ヨリ紛爭ニナル土地ヲ原告ニ退還判決スル樣請求シ、並ニ訴訟費モ負擔セザルコト、其ノ陳述要旨ハ即チ原告者ハ、昨年舊曆11月頃中介人ノ紹介ニ因ツテ、被告鄭康氏ノ子鄭蘊堂ヨリ中則地2個所、共一ハ1畝ノ土地ヲ購入セリ。所在地ハ本院管轄內椴木嶺子、等級ハ中則地、場所ハ2個所其ノ1畝ノ1個所ハ、隴數不明其ノ19畝ノ1個所壠數長短ヲ合セテ152條アリ。南ハ河ニ至リ、北ハ道ニ至リ、西ハ張姓地ニ至リ、東ハ道ニ至ル。四至分明ナルヲ以テ賣契ヲ立ツ、別ニ原契地照ヲ併セテ證據トナスモノナリ、然ルニ被告王太昌ハ、賣却土地四至ノ內彼ノ土地2畝3分5厘アリト稱シ、周圍(2畝ノ周圍)ニ掘溝シテ封堆ヲ作レリ。原告ハ耕作ノ可否ヲ鄭康氏ニ聞ケバ、彼ハ契約通リ賣却シタルモノナレバ其ノ責任負擔セズト稱ス。而シテ王太昌ハ、野蠻性ニシテ道理ヲ講ゼズ、故ニ訴訟ヲ提出スルモノナリ。被告王太昌ハ、原告訴訟駁斥並ニ訴訟費モ原告自己負擔スルコトヲ請求シ、其ノ答辯ノ意旨ノ略稱ニヨレバ彼ハ原告賣却地內ニ約2畝位 30 餘條壠ノ土地アルト稱スルガ、之ハ家庙ノ敷地ナルヲ以テ保存セル土地ナリ。曾テ賣却シタルコトナシ、自ラ原告ノ耕作ヲ許サザル故ニシテ、此ノ2畝餘ノ土地以外尙 19 畝アルハ始メテ原告ノ土地ナリト稱ス。

被告鄭康氏ノ答辯ニヨレバ、彼ハ原告ニ賣却シタル土地ハ、曾テ被告王太昌ヨリ買入レタ土地ニシテ、長短ノ壠數合計150條ナリ。南ハ河ニ至リ、北ハ道ニ至リ、西ハ張姓地ニ至リ、東ハ道ニ至ル。買入後直チニ王太昌ニ貸付ケ自作スルコト全然ナシ。但シ王太昌ノ家庙ハ無シ、小庙アルト雖モ四至ノ以內ニ含マレルモノナリト稱ス。

本院ノ審査ハ被告鄭康氏ヨリ原告ニ出セル賣契ニ記載セル四至ハ、曩ニ被告王太昌ヨリ鄭康氏ニ出セル賣契ノ四至トハ完全ニ相等シキモノニシテ、實地調査ノ結果其ノ四至以內ニ隣接シタル廢耕地約19畝3分2厘アリト稱ス。該地已ニ王太昌ヨリ鄭康氏ニ賣却シ、更ニ原告ニ轉賣シタモノナリ。之ハ極メテ明瞭ナルコトニシテ、地券面積ガ實際餘分ニ3分2厘多シト雖モ、被告王太昌ハ四至以內ニ、家庙敷地2畝餘リノ土地ヲ、保留スルコト全然無キコト、已ニ鄭康氏及ビ中介人姜殿文、蘇興文等ノ共同證明ニヨリ明瞭ナリ、其ノ浮多ノ土地モ被告王太昌ノモノニアラザルコトモ疑義無キモノナリ。況シヤ四至以內ニアル小庙ハ王太昌ノ家庙ナキニ於テヲヤ、王太昌ノ辯稱ハ家庙ノ爲ニ殘留セル2畝位ノ土地ト稱スルハ明ラカニ虛言ニシテ毫モ取ルニ足ラズ。原告ノ土地返還請求ハ確カニ理由アリ、惟シ原告ノ土地ヲ侵佔スル者ハ王太昌ニシテ、其ノ聯關ノ爲鄭康氏ヲモ訴追スルコトハ道理合致セズ、上述ヨリ論結スレバ原告ノ訴詞ハ一部理由アリ一部理由ナシ、茲ニ民事訴訟條例第98條ノ通リ判決シテ主文ノ如シ（最初主文參照）本判決ニ服セヌ場合送達後 20 日以內本院合議庭ニ上訴スベシ。

康德2年6月1日

鐵嶺地方法院民事庭

推事　李　省　三

本件ハ原本ト異ナル所ナキコトヲ證明ス。

書記官　達　人

第五節　土地、房子賣買の慣行

土地の賣買及び入出典の一番多く行はれるのは、立冬より立春までの間で、房子の租借は年2回で前半期は2月後半期は8月に行はれるが、賣買は何時でも所有者の都合によつて行はれる。

一　賣買方法

土地房子賣買の方法としては、城内では經紀（地媒、房媒とも稱し仲介を專業とする人）村では信用のある仲介人が、兩者の中に立つて接衡し、兩者が其の條件に承諾した時は、縣城內では賣主が賣價の$\frac{2}{100}$買主は買價の$\frac{3}{100}$を經紀に報酬として與へる習慣であるが、農村では斯ふしたことが無く新年及び冠婚の場合に招待して饗應するか、贈物等を買主がする樣である。

賣買成立した場合は、縣財務局或は村公所から官紙1枚1圓で購入し、買受人の家で契約書を作製するのである。

この時同族人、四隣地主、他に農村では、村長を此の土地及び房子に就いて何等紛爭が無いと言ふ證人として立會はさせるのである。

尙この契約書は必ずこの賣買に關係の無い人を賴んで代書して貰ふことになつて居る。契約書は次の通りである。

立賣地契文約人某々因有正用將自己領名中則冊地一段計南北壠若干條每條若干弓共若干弓核地若干畝坐落某處四至列後煩人說允甘愿賣與某處某々言明賣價國幣若干佰圓共錢筆下交分足文不缺自賣之後任憑買主更名稅契不與賣主相涉此係兩造情願各無返悔亦無族鄰爭競等情倘有狡賴行爲有族中保人一切承管恐後無憑立此賣契以備永遠存照

計開四至

南至某處北至某處東至某處西至某處

族中人　某々　某々　某々

地鄰人　某々

中保人　某々　某々

村長人　某々

代字人　某々

康德某年月日

立賣契文約人　某々㊞

賣地契約書ノ様式

賣地契約人○○○用金至急入用ニ付自己所有中則地一ケ所計南北壠若干條横ニ何弓合計面積若干畝所在地何處四至左記ノ通リ中介人ニ願ヒ取極メ某賣却ス。議定賣却價格國幣若干圓也、其金ハ當日拂濟決シテ滯納ナシ。賣却後買主ニ所有權讓渡ヲ承認シ、所有名義ヲ變更シ稅契セシムル外一切便宜ヲ與ヘテ干渉ノ餘地ナシ。之双方相願ヒシコトニシテ各返悔ナシ、亦同族人及ビ地隣等ノ紛爭事情等ハ決シテナシ。備モ相互間契約履行セヌコトアル場合賣主ノ同族人並ビニ保證人仲介人一切引受ケ後日ノ根據ナキヲ恐レ此賣買地契約書ヲ立ツルモノナリ。

計

四至東西至何處　　　南北至何處

	同族人	○	○	○印
		○	○	○印
		○	○	○印
	地隣	○	○	○印
		○	○	○印
屯ニ於ケル相當ナル者　手數料ナシ	(地媒)保證人	○	○	○印
		○	○	○印
	村長	○	○	○印
	代書	○	○	○印
	賣約人	○	○	○印

年　月　日

賣地契約書の說明　（鄧國珍の話）

本屯（畢家窩棚）從來土地買賣の慣習は、一般に次の樣に行はれてゐる。

契　約　經　過

1.　賣主の生活窮迫化した場合、土地賣却或は出典等を行ふが、土地賣却の時は、地媒（屯內で信用あり仲介の經驗ある者保證人を兼ねる）を通じ先買權の順序即ち同族、隣地主に相談して、誰も要らぬ時は一般人に賣却するのである。買主が決定すれば地價を定め賣買當日契約書を作製するが、その日買主は契約に立會ひ署名する同族人、地隣、地媒（保證人）村長、代書人等を招待し、先づ代書人は賣買當事者から條件を尋ね乍ら契約書を作製後代書人は契約書を讀み上げ、列席者はその條件に對して異議ある事無き時、初めて書面に賣主、同族、地隣、仲介人、村長、代書人の順序で捺印を行ひ、同時に買主は現金を出して公の面前で賣主に手交決濟後、賣主は賣契を買主に交付するのである。賣買終了後買主は列席者一同に饗應する。以上の賣買成立すれば、適當の日を選んで賣主買主は各印及納稅受領證、原契紙を一纏めにして、縣公署及地方法院へ稅契及登記の手續をして、然る後所有權も完全に移轉されるのである。

追而原地券の一部を賣却する場合は、財務局で賣却指定面積を、原地券に買主の姓名及賣却年月日を記載し、原契は賣主が保管し、全面積を賣却する場合原契は財務局が保管する。

買主より支出する手數料

一、劃押錢（賣主の捺印を請願する手當）

一、賣契紙（村公所）

一、登記費（法院）

一、稅　契

一、饗應費

一、登記旅費並びに宿泊費、食費（賣主の分を負擔）

契約書は4連になつて居るが、1枚は買主、1枚は財政部若しくは省公署、1枚は稅務監督署、1枚は縣公署財務局に殘る。

この契約書が書かれたとき立會人全部捺印して、代金の受渡しをなし買主の負擔によつて簡單な宴會を催す。

次に買主は稅契と稱して契約書に賣買價格の$\frac{8}{100}$の收入印紙を貼附して、縣公署に行き官印を貰つて地券に新所有者名を記した契約書を持參して、地方法院で賣買價格の$\frac{5}{1,000}$の登記料を納付して登記をする。これで完全に所有權が確認されるのである。

然し農村の縣城に遠い地域の者は、縣の稅契と同時に登記料も縣に納付し、受領證を交付され縣より通知のあつた時、行つて受領證と引換に新地照を受取つて來るが、登記費用も買主負擔である。

賣買面積の測量は兩當事者、四隣地主、仲介人、村にあつては、村長が立會ひ地券によつて目測歩測をするか（1弓は2歩とされて居る）、目測歩測で測定し難い時は、弓數を測り壠數を算へるか、繩で實測をするのである。

尙契約書作製の時は、賣主は地券及びそれに附帶した古い契約者、稅金の受領證等を提示し、四至面積段數を明瞭にし、買主が稅契の時これを財務局に持參する。財務局では古い地券に、何年何月何日誰某に賣却したと言ふことを、記載して廢紙して保存して居る。

數段の土地が1枚の地券に記載されて居る場合は、其の中第何段を賣却したと村長が記入捺印し、買主は之を持參して稅契をする時に、財務局では更にこれに捺印して、買主には新しい地券を與へ元の地券は、元の地主に返却するのである。

房子賣買の場合、農村では買主は元の樣に共同の井戸、道路等を使用すると言ふことに就て村人の承諾を經なければならない、但し村人の承諾と言ふことは村長か屯長、有志者等の立會ひで表現されるのである。

房子賣買に關して「水流舊道」と言ふことがあり、雨水の流れる處は必ずもとのまゝにして置くべきで、新しく買つたからと言つて隣地主の方に流れる樣にしたり等、することは出來ないのである。

房子買賣の契約書には、房子に附屬して居る門、草、木、等一切を賣却する場合には其の旨、然らざる場合には、其の旨を一つ一つ記入しなければならない。

普通農村で房子を賣買する場合は宅地、菜園、農庭等も附屬する習慣である。

二 先　買　權

先買權の順序は、普通の土地は近親、隣地主、屯內一般人の順序であるが、貸付地及び出典地は小作人（借地人）及び典權者、近親、隣地主、屯內、一般人の順序になる。この先買權を無視して賣買し、紛爭を生じた場合其の契約は無効となり、法院に訴訟を提起した場合にも先買權は認められると言ふ。

賣買の形式をとらないで典、贈與、交換等の形式で、土地所有權の移轉が行はれたのは旗民不交產の時代

（沿革參照）であつて、旗人が其の生活費に追はれて密かに典の形をとつて居り乍ら實際は賣買を行つたものであるが、現在では出典地で出典者が死亡し、遺産相續人の無い場合は、賣買の形式をとらなくとも入典者に其の所有權が移轉することがある程度のものである。又自己の知人近親等極貧な者に同情して、贈與することによつて所有權が移轉することもあるが其の例は少ない。更に土地の交換は表面上許されないが、手續きの上では賣買の形をとつても實際は交換して居る例もある。賣買に多く用ひられる諺として「換金量金、換玉量玉」と言ふはれてゐるが、これは賣人は自分の土地を賣却しなければならなくなつた理由の弱い處を秘して最も有利に賣却せんとし、買人もまた一番安く買ふとして居ると言ふ樣なことを言ふて居るのである。他にまた「貧者不賣、富者不買」と言ふことがあり、貧乏人は土地を賣らないが、土地を賣ることによつて、彼は土地まで賣る位だから餘程貧乏をして居ると言ふことを世人から言はれるのを恐れ、富者は土地を買ひ度いけれ共買ひ度い振りをして高價に押しつけられるのを警戒すると言ふ意味である。

小作期間中の貸付地を賣却して、買主が前の小作人に小作させることを承知しない樣なときは、賣主は小作人に對して殘存期間に對する賠償をなす義務がある。また房子の內貸家を賣つた場合は、契約期間中であれば（且家賃を前納して居た場合）他に別の家を見付けてやるか、前納になつて居る家賃を返却しなければならない。然し前條件でも借家人が不承諾の場合は、租借契約を取消し家賃を全部返却する外、家主は辨償をしなければならないが、決して賣買を取消すことが出來ない。

但し前記の先買權の外に、其の土地及び家屋が公共、公益事業、慈善事業等に使用されるものであるときは、絕對的な優先權を有して居り、先買權を主張しても成立されないとして居る。

「借地不拆屋」は契約の前に協定し、契約書に記入することを通例として居るが、もし中途で入典者及び借主が其の土地に家屋を建てた場合は、借地契約期間が滿了になれば、立會人（仲介人兩當事者）が評價して其の半分を貸主及び出典者が、借主及び入典者に支拂ふのが普通で、萬一其の家屋が新しい時は評價全額を支拂ふ習慣で「成屋不能損」と稱して居る。

尙房子賣買で、其の附加菜園に韮菜等があつた時は、買主は其の韮菜の代金も市場價格で支拂ふことになつて居る。

三　地　　價

左に全縣區別の地價を示すと（1 天地價國幣）

	上　地	中　地	下　地
第 1 區	300圓	200圓 250圓	100圓 150圓
第 2 區	大體第1區と同樣であるが清原縣、撫順縣、開原縣境は、治安惡いため半額でも買人なしと言はれてゐる。		
第 3 區	350圓 400圓	250圓 350圓	150圓 200圓
第 4 區	第1區に同じ、然し瀋陽縣、撫順縣境は、治安惡いため半額でも買手なしと言はれてゐる。		
第 5 區	250圓	150圓 200圓	90圓 100圓

第 6 區　　第 1 區に同じ

第 7 區　　第 1 區に同じ

第 8 區　　第 3 區に同じ　但し縣境は邊遐であるが、治安宜しく地味肥沃なる故、比較的に高價である。

次に調査屯に於ける地價を示すと（1 天地價國幣）

	價格	小作料	收量	註 新制石に依る
上地	450圓	金納 30圓 物納高粱 2.5 石	高粱 6.0 石 黃豆 5.5 〃	
中地	350圓	金納 30圓 物納高粱 2.0 石	高粱 5.5 〃 黃豆 3.5 〃	
下地	200圓	金納 18圓 物納高粱 1.5 石	高粱 2.0石～3.0石 黃豆 2.0〃	

地價は上地、中地、下地によつて異るは勿論で、此の上地、中地、下地の地味は、勿論地位の高低によつても影響せられて居ると言ふ。即ち本調査屯の樣に比較的平坦な地方では、低地は降雨の多い年には濕潤で、收量が少ないから地價も從つて安いとされて居る。尙地味は高粱畑ならば其の殘根が、太ければ太い程肥沃な處とされて居る。

旗民交產になつてから、殆んど地價が 2 倍になつたと言はれて居るが、實際幾等であつたかは不明である。以後鐵道敷設以前までは 1 天地 100 吊錢（國幣 13 圓位）であつたが、光緒 20 年（1894年）に鐵道が敷設されてから、25 年位經過して 100 圓から 200 圓位に急騰した。

尙日露戰爭當時調査屯では露軍が駐在して高粱、黃豆等を高價に買ひあげた爲、地價が急騰して上地 600 圓、中地 500 圓、下地 350 圓にまでなつたことがあるが、其の後漸次軍閥の搾取に因つて農村が疲弊して來たので、其の影響を受けて漸落し、前表の樣になつた。

第六節　典・押

一　典

當地方では一般的に典の稱號が多い樣である。

出典地を「當地」と言ひ入典地を「接典地」と稱して居る。更に地方によつては、出典者を「地東」、入典者を「地戶」と稱して居る處もあるが、一般的ではない。尙出典者を「出主」、入典者を「接主」とも稱して居る。「接典」の順序は小作人が優先權を有して居る外、特に優先權と言ふ樣なことは認められない樣である。然し其の優先權も絕對的なものでなく、たとへ小作人の優先權を無視した場合でも、小作人は其の事情を質問し得る程度のものである。

尙貸附地で其の契約期間內に出典し、其の入典者が從來の小作人に小作させ得ない樣な場合、小作人から殘存小作契約期間に對して損害賠償の請求があつた時は、出典者はこれに對して、賠償の責を負ふ義務があるとされて居る。然し乍ら實際的には斯うしたことを考慮して居て、大體小作契約期間は 1 ヶ年として居る樣である。

第 7 區畢家窩棚では、これに就いて「租不攔典」と稱して、小作人は小作地の出典を拒むことは出來得な

いと言ふことと、「典不攔賣」と稱して、出典地はこれを賣却しても、入典者は拒むことが出來ないと言ふ様なことが、普通の習慣として呼稱されて居る。

典地は一般に殆んど實測せず地券面積によることが多いが、調査屯第7區畢家窩棚地方では實測することが普通とされて居る。

典は必ず契約書を作製し、且必ず契稅を行ふを要するけれ共、賣買の如く法院に登記する必要はない。唯例外として、調査屯では押と典と同一と稱して居り、實際的には典の内容であるが、契稅を脱するために期間を1年及2年位にして、契約者に押と言ふ文字を使用して居るものが、典全體の1割位あると言はれて居る。從つて當地方では典と押と同一視して居る。

契約書は出典者が作製し、入典者が保管する、地券、納稅証書等も皆入典者が、保管して居るのが普通である。土地、房子の外に園林、碾子、磨等を單獨で出典して居ることはないが、土地、房子に附屬して出典が行はれることがある。其の場合には、其の價格も典價に見積り契約書に園林面積、碾子、磨の個數を記載して居る。

典の期限は光緒29年（1903年）に奉天省々會議で法令を發布し、期限は普通3ヶ年として回贖の期限は20年と限定せられて居り、房子の期限は5年とされて居る。然し20年經過した時でも、大抵は出典者から回贖の請求があれば、その回贖は可能とされて居る様であるが、一般的には矢張り20年で回贖權が消滅されて居る。

回贖のことを「抽」、「贖」、「投回」とも言はれて居る。

20年以内には、「追典行追贖不行」と稱して入典者が出典者に回贖を請求することが出來ないが、出典者は右期間内は何時でも回贖の請求權があるのである。期間3年とされて居るのは、別に特別の理由ある譯でなく、上記の通り光緒29年（1903）に法令で發布されたものを、習慣的に現在も施行して居ると言ふに過ぎない。

尙旗民不交産の時代には「老典」、又は「永久典」と稱して名稱は典の形であるけれ共、實際は賣買と等しい様な事例が盛に行はれた。（沿革の項參照）

轉典は原主（最初の出典者）に必ず通知する必要あり、第3次第4次の入典者が出典する場合も、原主に通知する必要あり、其の中間の轉典者には敢えて通知する義務は無い、但し其の時の轉典價は最初の典價と必ず同一にする必要がある。

轉典せられて居る典地を原主が回贖する場合には直接第1回の入典者に金を返済し、第1次の入典者は第2次の入典者に其の金を返し、最後の入典者に金が入つて初めて完全に回贖することが出來るのである。

回贖は秋收穫後3月以前とされて居る。

尙轉典は3ヶ年の期限經過後（房子は5年）でなければ、「轉典追典不追贖」と稱してこれを行ふことが出來得ない。

入典の場合の契稅其の他の費用は、全部入典者の負擔で契約書の作製手續きは賣買の場合と、殆んど同様であるが、典地の稅金丈は入典者が負擔するけれ共、回贖の場合其の回贖が3ヶ年の期限内なれば、半額丈出典者が負擔し、3ヶ年後の回贖の場合は其の典地の稅金は全部出典者が回贖の時、入典者に返す様になつて居る。

然し第7區の調査屯畢家窩棚では、回贖の場合でも出典者が入典者に、其の僅金を返す様なことは無いと稱して居る。

找價（拔價）3ヶ年の期限經過後であれば何回でも出來るが、必ずしも地價が騰貴した場合丈找價を請求し得るとは限らず、兩當事者間で協定が成立すれば找價を行ふ事が出來るのである。

轉典の場合は找價することは出來ないし、找價の代りに典地の面積を變更することも出來ない。

典地は期限經過後でなければ、處分することが出來ないが、例外として出典者が死亡して、其の相續人の無いときは、期限内でも入典者はこれを處分することが出來る。

典價は普通賣買價格の5割とされてゐるが、調査部落第7區夏家樓村畢家窩棚の典價を示せば次の通りである。

上　地	150圓
中　地	120圓
下　地	80～90圓

尙典價を契約書に記載する場合、以前は奉天票を以て唯何圓と丈記入して居たので、奉天票の下落した民國12年（1923年）より19年頃（1930年）迄は、之に就て多くの紛爭を生じたが、奉票何圓とでなく唯何圓と記入したものは、其の金額丈で回贖せられたので（下落した奉天票で）、入典者の不注意で契約書を粗末に作製した爲、非常な損害を蒙つた者も尠くなかつた。

然し民國20年（1931年）頃から政府で斯る種々の紛爭を起さぬ様にする爲、奉天票の毎月の公定相場を發表してから、斯ふした紛爭が少なくなつたと言はれて居る。

出典者が典地を耕作する所謂出典小作する場合は、普通の小作と同樣の契約を結び、小作料は典價に對する利子を考慮に入れて契約すると言はれ、一般に物納定租か金納定租である。物納分益も稀にあるが、極く珍らしいと言ふて居る。

この出典小作の小作料が、物納分益の場合の典權は全く所有權と似た樣なもので、敢へて典價の利子を考慮に入れて居る樣なことは無く、普通自己の所有地を貸付したものと同樣に考へられて居る。

斯る場合の典は「典」とも言はず「押」とも言はず普通「當」と稱して居る樣で、出典小作の小作料が物納分益の場合に特にこの名稱を用ひて居る樣である。

尙「茬」（楂）と稱することがあり、莖稈がとれても根が殘ると言ふ意味で、出典小作のことを「不出茬」と稱して居る。

入典者の使用收益權の限度は、出典者の承諾なく地目を變換することが出來ず、また家屋を建てたり果樹園を作つたりすることも、出典者の承諾を必要として居り、墓地にすることは絕對に許されない。

入典者が典地を耕作して地力の維持方法が、不充分な故に地力が幾分衰微した程度ならば回贖の場合、これを辨償する義務がないけれ共、堤坊を築造すれば河水の氾濫することを、防ぎ得る程度の處に堤坊を築かずに居て廢耕地とした樣な場合には、出典者は回贖の時に、其の損害倍償を請求する權利がある。

但し其の堤坊築造費が小額で、入典者が一寸した投資で出來得る場合のことであつて、多額の費用を要する樣な場合はこの限りでない。

また家屋の典に就いて「房倒亂價」と稱することがある。人力の及ぶ範圍内で入典者が手入れをしなかつた

爲、家が倒れたとか、破壞したとか言ふ様な場合は、出典者は典價を返濟せずに典契約を破棄することが出來る。また回贖の場合には、典價の $\frac{2}{100}$ の稅金を縣公署から徵收されるが、これは兩者折半負擔と言ふのが普通である。

典は押から利子を支拂へなくなつて典にするのと、普通の無擔保債務から苦しくなつて來て、出典してしまふのが一番多く、出典する者も亦回贖が出來ると言ふ様なことを氣休めとして多く利用して居る様で、調査部落第7七區畢家窩棚では、年工小作人等が土地獲得の方法として、典を利用して居るものが多い。然し縣城附近では斯ふしたことは少ないと言はれて居る。

出典する階級は大金持以下の財產家と稱する程度の者に一番多く、入典する階級は大金持か堅實な中流生活者に多い様である。

房子はまた貸家が無いので、外から入典するものもあるが、特別の事情ある者の外は、家賃を拂ふより有利だからと言ふので入典するものはない。

〔例 1〕　董桂華の入典地契約書　（出典者　鄧國珍　1.6天地　200圓）

立典地契文約人鄧國珍今有正用將自己冊地壹段南北壠 80 條共計地積1天6畝坐落7區夏家樓村畢家窩棚村東南處煩中人說允情愿典與董桂華名下耕種言明典價國幣200圓正其洋筆下交足分文不缺1典3年錢到許贖錢要不到永遠耕種爲業倘有異說有中人一面承管恐口無憑立契爲證

四至	東至本姓地(鄧)	南至官道	中保人	劉　　岳十
				李　　恩十
	西至本姓地(鄧)	北至本姓(鄧)	代字	王　國　元十

康德1年 12 月 15 日　　　立典地契文約人　鄧　國　珍

〔例 2〕　李恩の入典地契約
（出典者　本屯鄧國華
典價　100 圓
面積　1.2 天地
課稅面積　1.15 天地）

立典地契文約人鄧國華因有正用將自己冊地1冊1天2畝計南北壠 59 條半坐落西7區夏家樓村畢家窩棚村東南處南至道北至鄧姓東至彭姓西至鄧姓煩中人說允情愿出典與李恩名下耕種同業言明典價隨時大洋票金100圓整其錢筆下交足分文不缺1典3年錢到許贖如錢不到永遠耕種此係雙方情愿各無返悔如有反悔者中保人一面承管恐口無憑立典契爲證

	中保人	劉		岳十
		鄧	國	貴十
隨納稅課中則1天1畝5	代字	鄧	紹	周
康德1年舊曆 12 月 19 日	立典契人	鄧	國	華十

借　券　様　式

立借券字據人某〇〇因自用不足煩人妥允情愿借到某某隨時國幣若干元言明月利2分5厘生息由某月日起至某月日止共6個月度至期本利淸償如有拖欠等情承還保人擔負完全責任恐口無憑立此借據爲證

隨帶抵押品計地契若干畝數

承還保人　　某　々　　檢押

	代　字　人	某	々	押
康德某年月日	立借款字據人	某	々	押

借款契約書樣式

借款人〇〇〇用金不足ニ付仲介人ニ頼マレ取極メ某ヨリ國幣若干圓也ヲ借入レ月利2分5厘ト決定シ何月何日ヨリ何月何日迄合計6ケ月間ヲ期限トシ期ニ至レバ元利合計ノ清償スヘシ、若シ滞納等ノ事情アレバ保證人ハ完全ナル立替責任ヲ負擔ス、後日證書如件

追而別紙擔保物地照何枚計面積何天地何畝ヲ添附

	立替承認保證人	〇	〇	〇印
	代　　書	〇	〇	〇印
年　月　日	借　款　人	〇	〇	〇印

說　明

借帖（借款契約書）に添附指地作保の地券は貸款人に借帖と共に預けさせる。萬一清償能力がない場合保證人は責任上に於て此の土地に對し、差押をさせて清償責任を全ふさせる外、好い方法ない爲斯樣な手續をするものである。或は差押をなさずに他の貸款人を見付けて同樣の押地法を取ることもある。

二　押

押のことを「指地（指房）借錢」と言ひ、「以地作保」と同一でまた抵押とも言ふて居る。然し典の項で前述した樣に調査屯では、押と典と同一視して習慣的に典契稅をのがれん爲に、契約書に押と言ふ文字を用ひて居り、典と押と同一なものと主張して居り、吾人の言ふ押とは抵押のことでありとして、押と抵押とを區別して居るが、極めて特殊的な事と思はれるし、其の件數や金額等は發覺して罰金を課せられることを恐れて絕對に口外せず、詳しく聽取することが出來なかつたが、大體前記屯全典契約の1割位はあるだらふと屯民の或者が稱して居た。

「指地借錢に」對して「挪錢」と言ふものがある。

比較的多く行はれる習慣で、極く短期限で信用のある親類、知人同志で多く行はれ、無利子、無證文、無擔保である。不時の支出の場合にお互ひに利用して居る樣である。

「押照」と稱することあり、押品の證明書を有して居り擔保物件が土地の場合は賣契地券等を言ふのである。

「押地」は債權者でなければ處分することは出來ないし、且利子を納付して居ても期限毎に契約を更新することが必要であり、1ケ段の面積の一部分を押地とすることも出來る。

「押價」は一般地價の5割を普通として居るが、調査屯では地價の3割を普通として居る。

押は未知者間の貸借、債務者に適當な保證人無き場合の貸借及ど親戚、知人であつて無擔保であるが、債務者の信用が低下したと言ふ樣な場合に多く行はれる。

また、最初保證人丈で無擔保で行はれて居た貸借の場合に、債務者が返濟の能力がなくなつて保證人が其の財產を押として提供し、保證の責を負ふ場合もある。

尙他人に旣に押に入れてあるのを秘して、押に入れ或ひは賣却した樣な場合は、よく紛爭を生じて斯ふした例も少なくないが、この時は債務者に別に財產があるときはそれを提供させるが、他に何もなかつた場合

には、買主若しくは新しい押主は、金を出して古い押を解決するのが例となつて居る。

また新しい押主及び買主が、其の債務者及び賣主に現金を渡して居ない内に、其の事が發覺した樣な場合には、其の者の手を經ずに直接原押主に金を返して尙錢が後に殘つた場合は、其の金を債務者及び賣主に渡すのを普通として居る。

斯ふした紛爭を生ずるのは、一般に老契(古い地券)を吟味せずに契約した場合に、多く生ずる紛爭で、當地の事情を知らない人との間に多かつたと、言はれて居る。

然し最近10年間は相當減少したと稱して居る。

以上は鐵嶺縣農會長、及び第7區夏家樓村、畢家窩棚前第7區農會長鄧國珍氏より聽取したものである。

第三章 小 作 關 係

第一節 一般的小作形態

本屯は夏家樓村内で地味最も肥沃で、其の他自然的條件や治安關係等が良好であるから、小作料も最高率を示して居り、小作件數56件中銀納定額49件で全體の79%に達し、分益小作は6件で俗に拷靑と稱して居り、親戚、知人間に其の契約が多い樣である。

物納定額の形態は唯1件であり、それは出典小作地を又貸しの特殊的な形態で行つて居るものであり、稀に見る小作關係である。

本屯に於ける小作形態別耕地面積を概觀すれば、次表の通りである。次に形態別小作條件の差違を見へば

（イ） 銀納定額前拂

小作形態別小作件數一覽表

小作形態	件數	地主		屯内地主		屯外地主		適要
		屯内小作	屯外小作	屯内小作	屯外小作	屯内小作	屯外小作	
定額銀納前拂	件 49	件 37	件 12	件 26	件 10	件 11	件 2	
物納定額後拂	1	1	—	—	1	—	—	
物納分益	6	4	2	3	2	1	—	

型態別小作面積一覽表

小作形態	總面積	平均	屯内地主		屯外地主		適要
			屯内小作地	屯外小作地	屯内小作地	屯外小作地	
定額銀納前拂	畝 867.30	畝 17.68	畝 418.30	畝 221.50	畝 202.50	畝 25.00	
物納定額後拂	25.20	25.20	—	25.20	—	—	
物納分益	360.20	59.53	177.00	88.20	95.00	—	

契約時期は陰曆正月から3月迄に一般に實施され、契約證書及び保證人等はなく、全部口頭で頗る親密

に契約せられ、契約年限は普通1ヶ年である。

繼續年數は地主と小作人との相互間の事情によつて一定せず、小作料の附加物並に小作人の義務等は皆無であり、從つて小作地の附加物も全然ない。

租稅の分擔は國稅、畝捐（縣稅）は地主全額負擔で、村費は小作人が全額を納入する慣行である

尙小作料納入時期は前拂の契約であるから、契約と同時に全納するのが普通であるが、小作人の金融の事情によつて2回乃至3回に分納する場合もあり、此の場合には一般に無利子である。

（ロ） 物納定額後拂

契約期は10月（陰）で期限は3ヶ年である。納入物は高粱1色で調製後脫穀場渡しである。租稅の分擔は銀納定額と同樣で、小作料は每年契約の更新を行ひ、改めて契約證書を作製する。

（ハ） 物 納 分 益

定額銀納と同樣、證書並に保證人等なく全部口頭で契約をなしてゐる。契約期限は1ヶ年で、時期は1月(陰) 乃至2月（陰）中に施行され、全部對半（5:5）の小作形態である。

小作料納入は調製後、脫穀場又は庭先渡し或は小作人が、地主宅迄運搬する等一定してゐない。

小作地の附加物は種子、肥料の折半負擔か或は家屋、大農具等を附加するかであつて、地主と小作人との相互關係に依つて適宜契約されてゐる。小作料の附加物は、莖稈類を折半するを普通としてゐる

小作人の義務は殆んどなく、中には小作料運搬の義務を課せられるものもあるけれども、一般的ではない。租稅の分擔は國、縣稅は地主全額負擔で村費は折半負擔である、但し莖稈類を全部所得する場合には村費全額負擔の慣行である。

次に屯內地主と、不在地主との史的關係を観察すれば、清朝の康熙年間に畢一家が韋分として、旗地蒙地の茫茫たる荒野に開拓の犂を下してから、アルカリ性の强度な土壤も燃ゆるが如き不斷の努力に依つて漸次熟地と化し、山東方面或は隣縣隣屯等から移住する者續出し、屯の形成を見る樣になり、降つて光緒年間に旗民不交產例が解除されてから劃期的に屯の發展を來し、耕地所有面積も增大し勞力の不足な農家は小作人に耕作させる樣になり、其の後「千過八百主」の變遷を得て畢一族は淪落の過程を辿り、約 70 年前郭の一族が、雇農階級から勤儉力鬪耕地を獲得して現在では、本屯耕地の大半を所有して屯內地主階級の王座を占める樣になつたのである。

滿洲事變後、兵匪の難を逃れて縣城又は大夏家樓等に移住した者もあり、それ以來不在地主を生じて來た。

不在地主と屯內地主との小作關係は、其の間に何等の差違を認め得ないが、概して不在地主は定額銀納の形態によつて契約を締結し、凶作に依る不時の小作料の減收或は小作料徵收に要する手數等を合理的に除去して居る樣である。

尙特殊な小作關係に就ては、出典小作地の又貸し、或は入典地を自家の戶主に小作契約をして、小作料を徵收して居る等の滿人の家族制度を如實に表現してゐるものもある。

第二節 小 作 契 約

一 小作契約の手續方法

小作契約の手續は、大部分地主と小作人相互間の口頭契約に依り、仲介人又は保證人等が、介在することもなく證書も作製せずに頗る親密に然も圓滿に遂行されて居り、未だ小作爭議等の問題を惹起した事なく、どんな凶作に遭遇しても、農民は神の命なりと信じ、所謂「沒法子」的心理に依つて、小作料の低減運動、又は不納同盟等の樣な物議は全然醸されなかつた樣である。

親密な地主と小作人との間には、食料或は農耕資金の融通等をして、道義的に小作人を援助するものがある。

出典小作は脱税を目的として押の形で契約をするのが普通である、其の內容は出典小作と同樣で少しも異なる點を認められない。

但し長期間出典の場合、若くは複雜なる問題の介在する場合は、出典契約の手續をとつて居り、入典者は100圓に對し4圓50錢の税金を前納し、回贖の場合に出典者は、其の半額を入典者に返納してゐる。

二 契 約 の 時 期

小作契約の時期は、一般に陰曆の1月から3月に至る農閑期を選び、耕作前に豫め口頭契約をして、其の儘履行して居り、收穫後になつて本定にする樣なことはない、但し例外的には調製後10月乃至12月に契約を結ぶものも多少存在する。

三 契 約 の 期 限

契約期限は傳統的習慣に依つて普通1ケ年を主とし、前年の作況又は穀價の變動に準じて、其の小作條件を變更する樣である、

日本の如く長期契約或は永小作等は全然ない。

定額物納に於ては唯1件だけ1輪作期間即ち3ケ年を1期に契約してゐるが、小作條件の內容は年々變更するものである。

從つて契約期間中に小作地の取上げ、又は返上等の小作解約は一般になく、3ケ年契約の場合に於て地主が小作地を出典する際は、小作人は入典者と再契約をするが、若し此の場合施肥後であれば出典者は、小作人に對して施肥料金を辨償させられるのである。

地主は一般に優良小作人に對しては、小作契約の煩雜を省くのと地力の增進を得られる點で長期契約を歡迎するが、契約の自由變更に依る場合の小作料收入確保の爲には、地主はまた短期を欲してゐる、之に反し小作人は小作權の擁護、生活の安定を得る爲に長期を望んでゐるが、一方では穀價の騰落に依る場合の小作條件自由變更の目的には短期を欲してゐる狀態である、概して傳統的習慣に依つて1ケ年期限の小作契約を實施してゐる。

從つて契約的期間と、實質上の繼續年數とは一致しない例が多く、之は主に小作料を自由に變化させる日

的であり、且相互間の不利を未然に防止する一特長なのである。

期限の延長は收穫後翌年3月迄の農閑期に於て、地主と小作人相互談合して決定するのが普通である。

四　小作契約の終了

小作契約の終了は、地主と小作人との間で協議の上、契約解除が成立するもので、押租錢は出典者が入典者に半額を返納する。

土地改良、荒廢又は開墾等に對する責任報償は全然なく、家屋等の小作地附加物に對しては、地主は材料を提供し、小作人は勞力を提供して修理し、農具、役畜等に對する損傷は、小作人の負擔となるのが通例である

五　小　作　條　件

小作地の面積は凡て實測しなかつた爲、實際面積と呼稱面積と一致しない場合も稀にある。

又地味の肥瘠に依つて、實際面積より契約面積が8畝以內增減することがある。

小作地の狀況に關しては、壠の幅は小作人が自由に變更することができない。

地力の維持管理方法等に就ては、相互に協定して輪作耕種法を墨守してゐる。

小作地の附加地は何れの小作形態に於ても、其の例がなく房子は分益小作に於て、院子と共に附加して居り、井戸は共同井戸を利用してゐる、房子の間數は小作地の面積に支配されることがなく、小作人の成績又は能力或は家族數等に依り適當に附加せられ、增築修理等に對する費用の負擔は前述と同一である。

院子は房子の附加物で菜園として利用するのは小作人の隨意である、畜力即ち役畜は原則としては、小作人負擔であるが、分益小作に於て特に勞力不足して耕作困難な時、即ち中耕期、收穫、脫穀期等には地主が無償で役畜を提供することもあるが、割安の換工等をなす樣なことは全然ない。

又之と反對に當然地主負擔の畜力を小作人が家畜を所有してゐるから、これを使用しても小作料を減ずる樣なことはなく、頗る道義的に相互間の經營に支障のない樣に實施せられてゐる。

畜力の提供方法は、小作人の必要な場合に地主から借用し、飼料は全部小作人負擔である。

尙2～3日間繼續使用する場合は、小作人の畜舍に置いて飼養し、もし使用中に傷害を受ければ責任は全部小作人の負擔とされてゐる。

農具も畜力同樣分益小作の場合だけ地主が提供するもので、地主所有一切の農具の使用が自由である、撈裡靑の如き特殊なる小作人もある、損耗料は小作人が負擔しないけれども、破壞した場合は修理の責を果す義務がある。

種子の負擔は、分益小作に於て丈みられ、通常主要作物である黃豆、高粱、穀子、粳子(陸稻)等を折半負擔し、菜園の種子は地主は負擔しない。

分擔の方法は、播種期に於て地主が播種量の半分を小作人に提供する方法と、小作料納入の際播種量を控除して、小作人が貯藏する方法とあり、後者が普通に行はれてゐる。

1 天地に對する播種量を示せば次表の樣である。

主要作物1天地當播種量

作物名	黄豆	高粱	穀子	粳子	蕎麥	小豆	青豆	備考
播種量	斗 1.6	0.6	0.3	3.0	2.5	1.5	1.0	舊制石に依る

上表は一般的標準であるから、土質其の他農家の經營方法、虫、風害等に依つて一定せず、肥料の負擔は分益小作に於てだけ、地主と小作人との折半が行はれ、特に親戚關係の場合に實施される。

調製場、牧場の利用に關しては、小作人が菜園の一部を利用して調製場を作製するか、或は隣家の調製完了後に、無償で借用することが多く行はれ、特に地主が小作地の附加物として提供することなく、放牧地も濕地、荒地等を隨意使用するに過ぎない。

燃料採取地として特定してゐるものがなく、圃場の切株採取は自由に開放せられてゐて、一般に生活難で燃料不足の農家が採集してゐる。

六 小 作 料

本屯は地味の程度及び上、中、下地共に大差なく生産力は均等であるが、施肥量の多寡、管理の良否、或は耕地の遠近等、又は其の年の氣候の影響に依り收量に差違を來す。

諺に「離妻近地家中寶」とある如く近地は農耕に至便である爲、自然に地味が肥沃になり加ふるに管理が容易であるから、生産力も增大し之に反して、遠地程生産力低下の傾向がある、然しながら普通は生産力の低い濕地が旱魃の年には、反つて驚異的な收量を示すことがある。

次に農民から聽取した銀納定額小作料率を地價及び1天地當收量との割合を示す。

銀納定額小作料率

舊制度量衡に依る

地 間	小作料	地 價	地價との割合	1天地當收量	同上評價格	同上評價格との%
上 地	圓 30.00	圓 300.00	% 10.0	高粱 5.5石 蒸稈 2,300斤	圓 72.50	% 41.4
中 地	27.00	250.00	10.8	高粱 5.0石 蒸稈 2,000斤	66.00	40.9
下 地	25.00	200.00	12.5	高粱 4.5石 蒸稈 1,700斤	59.50	42.0

備考　小作料が上、中、下地共に大差のないのは、小作人多く耕作面積が狹小なる爲で、地價並に生産高に比して、下地の小作料率が最も高いから、小作人は一般に下地の小作を嫌ふ傾向があると言ふことを立證し得る。

次に1天地當主要作物收量の評價格算定の基礎を示す。

1天地當收量評價格算定基礎表　（康德2年度）

舊制度量衡に依る

作物名	主產物	副產物	主產物單價	副產物單價	主產物評價額	副產物評價額	評價額計
黄 豆	石 3.5	斤 1.200	1石 圓 15.00	100斤 圓 1.00	圓 52.50	圓 12.0	圓 64.4
高 粱	5.0	2.300	〃 11.00	〃 1.20	55.00	12.0	67.0
穀 子	4.0	1.200	〃 11.00	〃 0.80	44.00	9.6	53.6
粳 子	5.0	800	〃 12.00	〃 0.50	60.00	4.0	64.0

本屯は全部銀納定額前拂の形態であるが、小作人の金融の都合に依つて2回、3回乃至4回、6回位に細

分納するものもあつて、主に大地主と小作人との間に實施され、長期間に亘つて分納する際は、月利2分5厘乃至3分迄徴收する慣行である。

代物納した例はないが、一般に其の當時の穀價に換算して、納入するもので、其の後の穀價の變動に依つて利害得失を論することは出來ない。

物納定額の小作料を表記すれば次の様である。

代銀納換算の方法は、代物納と同樣當時の穀價に基準を置き、特に凶作の年、或は小作人が食料不足して穀物を必要とする場合には、地主と小作人協定の上實施するが、本屯には最近其の例を見ない。

物納分益小作料率 （康德2年度1天地當）

舊制石に依る

地目	分益割合	小作料			地價	地價との割合
		實納數量	實納量計	評價額		
			石	圓	圓	
上地	5:5	黃豆 2石 豆措 600斤	2.000 600斤	36.00	300.00	12%
中地	5:5	高粱 0.82石 黃豆 0.82石 穀子 0.272石 莖稈類折半	1.912石 折半	30.31	250.00	12
下地	5:5	黃豆 0.555石 高粱 0.666石 穀子 0.333石 稗子 0.222石 莖稈類折半	1.776石 折半	27.98	200.00	14

銀納と同樣地價との割合は、下地高率で中地、上地の順位を示してゐる。

小作料決定の條件は、多種多樣で凡ゆる見地から推察すれば、第1土地生產力、第2耕地の位置、第3穀價の變動、第4作況の如何等に依つて決定されるものであるが、一般的には前年の收量の半分を評價して、小作料とするのが慣例となつてゐるものゝ樣である。

即ち土地生產力大きく園場の位置近く加ふるに前年の穀價が好況であり、且豐作であれば當然小作料は高率を示し、之に反する場合には、小作料が低落するのである。

小作料の決定は、地主と小作人相互間の協定に依つて行はれ、地主だけの合同協定、或は小作人同志の協定等は全然なく、一般に大地主と大小作人との小作料が決定すれば、次々に小地主は之に追隨し、何等の不平も保證人等の中介もなく、平和に締結される樣である。

小作料納入時期は銀納定額前拂の場合は、契約と同時に納入させて居り、一地主が多數の小作人を有してゐる場合でも、納期を同一時期に指定して納入させる樣なことはなく、物納形態の場合に、調製終了後全部取纏めて豫め小作人は納入時期を報告するのである。

而して收穫物を納入する迄は、その占有權は小作人の所在に歸し、分配の際の計量枡は、屯內で最も正確な物を使用し、地主と小作人が立會の上小作人の調製場、又は院子內で實施し、納入穀物の品質が不良な場合は、5%の增枡をするが、極端に不良な場合は代銀納せしむることがある。

小作人側から納入する小作料が、質に於ても量に於ても、地主が滿足する樣なものを納入した優良者に對しては、地主は耕作資金、食料等を無利子で融通してゐるが、これは小作獎勵の一方法である。小作料の運搬は、主に小作人が行ひ、地主は小作人を饗應する慣行がある、小作料運搬に要する費用は地主全額負

擔であるが、本屯は集團部落であるから運賃は不用であるが、屯外地主の如き場合には契約の際に負擔の割合を決定する。

小作料受領は大地主は一般に受付臺帳を所有してゐて、これに記帳するのであるが、小作人は納入控帳の如きものは所有してゐないのが普通であつて、之は即ち知識程度低く記帳方法の不明な者が多い爲である。

次に小作料の收入狀況を觀察すれば、不納者は全くないが金融の都合に依り細分納するものがある。滯納の原因を詳細に調査すれば、小作條件の特に不良な場合、或は災害に依つて極端に收量が減じた年、又は穀價が激落して現銀收入少たく且相對的に生活費が過重で、加ふるに經營面積過少等の原因に依つて必然的に滯納するものが多い樣である。

尙事變前は諸稅公課の重壓等も影響したが、現在は此の樣なことはない。

不納又は不足滯納に對する處置は、本屯には全然其例を見ないが、隣屯には相當發生する。

凶作の年は減免又は延期の方法を採るか、負債に轉化して比較的圓滑に處理するか、或は保證人から徵收するか、仲介人を依賴して半强制的に取立てることもあるが、極端な例としては、地主が地方法院に訟訴を提起し、强制的に徵收し小作契約を解除すると言ふ樣なことも稀にある。

之に反して小作人の態度は極めて順應て、仲介人に延期又は減免を請願する程度で、小作人一致して不納同盟等の樣な小作爭議を惹起することなく、半封建的小作關係を慣行的に繼續してゐることが窺へる。

但し、本屯は傳統的たる美風にあり、大概の紛議は地主と小作人相互扶助の精神に依つて圓滿に解結してゐる。

小作料附加物並に小作人の義務は、分益小作形態の場合たけ存在し、藁稈類は全部折半しており、小作料の高低に依つて加減される樣な事はなく、其の他蔬菜類、果物類、鷄、卵、豚肉等を期節的に地主に贈與する等の良風も見られる。

附加物の納入は隨時に小作人が地主宅へ運搬するのが通常である。

小作人の義務は現在は殆ど行はれないが、以前は分益小作の場合に、家屋の修繕菜園の耕作、坑の修理等に服役させられたことがある。

換工は地主と小作人會議の上隨意的に實施され、義務的な換工はない、慶弔禍福の際小作人は義務的に手傳ふ樣なことはたいが、道義的に好意を以つて手傳つて居り、之は日本農村の美風と一致する所である。

七　租稅公課の分擔

土地に對する租稅を全部分擔することはたく、何れの小作形態に於ても田稅、畝捐は地主全額負擔で、村費は分益小作の場合だけ折半し、他は全額小作人負擔である。

納稅者名は全部地主で、土地1筆分は稅票1枚分であり、實際上は小作人が地主に納め、小作人不都合の場合には地主が之を代納し、地主の都合悪い時は小作人代納し、而して相互に納入後取立てることにしてゐる。租稅分擔に對する根本觀念は、土地使用收益に對する當然の負擔であるとして居り、村費は特に村の教育、行政其の他治安工作等に使用されるものであるが、小作人が全額負擔し、地主は村費の負擔を全然しないと云ふ樣な不合理を生ずることがある。

第三節　小　　作　　權

小作地に對する典權の設定、又は小作地の賣買に關しては、小作契約期間中は一應小作人に相談し、若し施肥後に賣渡されるときには、肥料代を支拂つて小作契約を解除し、一般に契約期間中の賣買及出典は可能ではないが、典權者又は新地主に對しては、小作條件を特に設定すべきであり、従前の條件を延長する様なことは出來ない。

小作權の賣買は殆んどないが、小作權を取得して更にこれを又貸して居る様なことは見られる、前述の如く實際は數年間引續いて小作契約をするが、年々契約を更新して居り、之は作況並に穀價が一定しない爲、相互に契約變更の自由を確保しやうとする爲であり、小作權利の不安定を意味するものではない、一般に定額物納は長期契約をなし、他の分益、定額銀納等は1ヶ年契約をしてゐる。

小作經營の獨立性に就いて一言すれば、作物の決定權に對しては全く小作人の隨意であつて、地主の制肘を受けないが、小作人は輪作耕種法を充分考慮して決定してゐる程で、決して地主は之に容喙することはない、尙日工の雇入、或は勞務者の勞務種類等に關しても、前同様であるが、新に移住した分益小作人に對しては例外である。

地主及び小作人の權利の强制力と言ふ様なことは、本屯には殆んど其の發動を見ないが、隣屯では前述の如く地主と小作人との意志の疎通がない場合、例へば仲介人に依つて生じた小作關係に發生することが多く、小作地の等級に依つて小作料納入額に異議の申立をなすことがある。

小作地の强制取上は、親戚に當る人に小作させる場合、又は不良小作人に對して行はれ、小作契約の强制繼續は信用ある物納小作人に對し、地主側から强いて依賴すると言ふ程度に於て發生することがあるに過ぎない。

第四節　特殊なる小作關係

（イ）　出典小作の又小作

康德1年2號農家は、縣城の某に1天地200圓で出典し、小作權確保の目的で25圓の銀納定額前拂の形態で、小作契約をなし、更に8號農家に分益對半の形態で小作せしめ、中間地主として黃豆1.818石粳子0.818石穀子0.2727石を所得したが、當時の穀價に換算すれば、黃豆10.63圓粳子8.99圓穀子3.00圓で累計22.63圓となり結局差引2.36圓の損失を招來した、それ以上に穀價の高いときは、それと反對の現象を見るのである。

（ロ）　小份子地の小作

26號農家の戸主の弟妻は、0.8天地を3號農家から入典し、24圓の定額銀納前拂で戸主に小作させ、小作料を徵收してゐるが、家族制度の特殊性が窺へる。

其の他特殊な共同小作、或は園藝小作等はなく、不在地主との小作關係も全く差異を認められない。

第五節　地主と小作人との關係

地主と小作人との貸借關係は少なく、農耕資本を一時融通する程度であるから、貸借關係に依つて小作條件

が劣惡低下して來ると言ふ樣なことはなく、親戚知人間に於ける小作關係は、一般に相互に援助し合つて居り、地主は小作人に對して、或は種子、肥料、農耕資金等の資本を無償て融通するものが多い。

地主と小作人の社會的地位の優劣は、人物の能力に依つて差違を生ずることは勿論であるが、實質的に地主階級は、知識程度も高く社會的に地位の優勢なことは當然の現象である。

交婚狀況は一般に親戚知人等階級の差の少ない間に行はれる。

小作爭議調停に關しては、實に公平に行はれ地主の專裁に默從する樣な事はない。

冠婚葬祭等に際しては、地主は小作人よりも上位にあり、今次に其費用を記して參考とすれば

	地　主	小作人
冠婚用仕度金	300圓～400圓	150圓以內
葬儀費用	500圓～600圓	50圓～80圓

第六節　小作人の移動定着狀況

小作人移動の理由は次の如き主因によるとされてゐる。

(1)　土地生產力の低下　(2)　負債の重壓　(3)　小作條件の惡化　(4)　天災事變

(5)　人情の惡化又は借家が無い等に依つて移動する。

小作人の上向、下向は小作人の能力に依つて、一律に斷ずることは出來ない。最近本屯に來住した小作人は依然として其の經營規模に變化はない。

第七節　變　　　遷

小作形態の變遷を探究すれば、開拓當時は全部無償で3ヶ年小作形態を繼續させたが、生產力が增加すると共に物納定額に變化し、1 天地に付2斗乃至3斗の高粱、黃豆、穀子等を納入し、咸豐年間に至りて土地が熟し益々生產力が增大した爲、4:6 の分益形態に遷り咸豐 60 年前には全部熟地と化し、物納定額3割4:6分益3割5:5分益形態3割となり、6:4分益形態も生ずるに至つた。

之は小作人の增加と共に、土地の生產力も最高に達し、1 天地7石乃至8石の收量を示す樣になつたためである。

其の後今から約 90 年前頃までは、隨意契約で地味の良否に依つて、上地は2石5、中地2石、下地1石5の物納定額に變化し、光緒初年に至つて銀納定額前拂が主として行はれ、後拂又は分納は稀になつた、

之は地主がその利益の增大を圖つた結果、銀納形態に變じたるものと見做されるのである。小作料は1天地12圓乃至 13 圓で1天地收量は7石內外であると言ふ、此時代にも物納定額の形態が殘存し、其の後大なる變化もなく現在に至つたのである。

日露戰爭及び滿洲事變に原因する小作形態の變化は全くない、最後に小作繼續年數一覽表を示し小作關係の屯の概觀を終る。

小作繼續年數一覽表　（康德2年度現在）

繼續年數	1ケ年	2ケ年	3ケ年	4ケ年	5ケ年	6ケ年	7ケ年	8ケ年	9ケ年	10ケ年
小作件數	24	17	4	1	1	1	1	—	4	3

第四章 雇傭關係

第一節 雇農の種類

一 雇農の種類

雇農の種類は年工、月工、日工に類別される。

年　工

陰暦2月1日より10月30日迄、9ケ月間雇傭せらるる者を年工の代表型とする、本屯に於ては大體以上が標準であるが、2月1日より少し遅れて雇はれ、其より9ケ月間即ち11月何日迄と雇はるる事がある。普通9ケ月以上雇傭する場合、9ケ月は年工とし以後は月工として雇傭するを普通とする、然し年工として廣く呼稱する場合は大體4~5ケ月以上を年工と呼んで居る。閏年に於ては10ケ月雇傭が普通である。本屯の年工の勞務種類は次の如くである。

打頭的、二打頭的、趕車的、隨當的、看靑的、大師夫、打更的

月　工

半ケ月以上4ケ月間以內の繼續被雇傭者を月工と稱する。半ケ月以上と言つても、17日、18日と言ふ如き半途の日數でなく、15日乃至1ケ月、1ケ月半と言ふ如く單位が半ケ月で完全に區別されて居る。普通2ケ月或は3ケ月契約である。其の勞務種類は、隨當的として雇傭されるのが普通で、打頭的、趕車的、大師夫、粉匠も本屯より雇傭されている。

日　工

日工は必要に應じ隨時幾日でも雇傭せらるる。

二 雇農の勞働條件

（イ）打頭的

1 打頭的となるには農業一般の事は何でも出來、然も他の勞働者より仕事が上手で、他の年工、月工、日工を率ひて仕事を爲し、或は仕事の分配、監督をなす丈の技能がなくてはならない。

2 播種は非常に重大なる意義を持つものであるから、脫穀の揚場（精選）と共に打頭的が此の仕事をなすのである。

3 金で買ふ必要のない農具は、打頭的が作り得なければならない。

4 始めて打頭的となるには、雇主が其の前年の仕事振りを見、今年は打頭的として使用するからと言ふ事を申渡す。然し勞働者仲間でも、屯一般でも打頭的となるの資格を認めなければならない。一度打頭的となつた者は、以後打頭的として雇傭されるが普通であるが、誰も打頭的として雇傭しない場合は、一段格を下げ隨當的として雇はれて行くか、又は打頭的として給料を下げて雇はるる事がある。

5 勞　　賃

屯內雇傭年工打頭的の年平均賃銀＝68.75圓

屯內より屯外への被傭年工打頭的の平均賃銀＝65.33圓

(ロ) 趕　車　的

1 趕車的は馬を御する仕事であるから、馬に良く馴れる性質があり、悪い癖のある馬を良く馴らし、車を出した時、事故を起さず良く馬を使ひこなさなくてはならない。

2 車を使ふ外に犂丈も良く使ひこなす事。

3 馬具及犂丈の臨時修理をなし得る事。

4 大車4頭曳以上は普通趕車的でなくては、外の人には御する事が出來ない。

5 勞賃 { 屯內雇傭年工趕車的の年平均賃銀＝70圓
　　　　 屯內より屯外への　〃　賃銀＝65圓

(ハ) 跟　做　的

1 打頭的に從ひ一般の農業の事を打頭的に、あまり劣らない位の能率を以て働かなければならない。

2 最も必要なのは除草の場合、鋤頭を良く使ひ又收穫の時鎌の使用が早い事。

3 堆肥の切返しが良く出來る事。

4 1俵の粮穀を肩で運搬する事が出來る事。

5 井戸から水を汲むのは跟做的の仕事である。

6 賃銀 { 屯內雇傭隨當的の年平均賃銀＝53.75圓
　　　　 屯內より屯外への　〃　51.25圓

(ニ) 大　師　夫

1 炊事に關し一般の事が出來る事。

2 華美に流れず皆を賄つて行く事。

3 少くとも 26 歳以上でなくてはならない。

4 高粱、穀子を精白する事が出來る事。

5 水を汲み農繁期には畑に食を運んで行く。

大師夫を雇ふのは大農家で、使用人の多い所であるが、大體使用人は9ケ月(年工)雇傭せられるので其の間は、家族の婦女子丈では炊事の事は出來ないから、大師夫を雇ふのであつて、冬期使用人が少くなり又は居なくなると、大概家族のもので炊事するから、大師夫の雇傭期間は一般雇傭者と同じく普通9ケ月である。

勞働時間は一般勞働者の起床 1~2 時間位前に起きて炊事を爲し、夜は前皆に食事をさせる樣にする。賃銀は農家番號 3 號が 9 月 80 圓で雇傭している、13 號農家は 9 ケ月 63 圓で屯外に雇はれた。

(ホ) 打 更 的

一般に此の勞務は年寄りのものであつて、畑に出て若いものと一緒になつて働く事が出來ないものがやる仕事である、即ち此の仕事は夜更を打つて夜警を行ひ、合せて夜間家畜に飼料を與へ、庭の掃除をなし、大師夫を助け穀物の精白を行ひ、又菜園ある場合は菜園の管理をする。

勞　　賃

趙國珍(3號農家)は年齢60歳の劉某を9ヶ月間、年工として雇ひ30圓を支給してゐる、斯くの如く打更的の勞賃は30~40圓が普通である。

(ヘ) 看 青 的

被傭年工として取り扱ふのは稍々其の性質を異にするが、5號農家は、康德2年度夏家樓の村公所に6月6日から10月30日迄雇はれて行つた。

此の仕事は屯內の作物を夜間看視するものである。

夏家樓村公所では6名を雇つてゐる、1人で2屯の看視をする。5號農家は新度量衡の10石餘を給與された。

看青的の費用は、耕作者より1天地當3升宛村公所に納入し(租稅公課の項參照)、之を集めるのは看青的であり、各農家を廻つて集め之を村公所に搬入し、そこで村公所より分配されるのである。

以上の內、年工或は月工の純農業勞働者のなす仕事を示すと次の如くである。

整地＝趕車的

播種＝打頭的、趕車的、隨當的、大牛拉子(牛拉子)

除草、中耕＝打頭的、趕車的、隨當的、大牛拉子

收穫＝打頭的、隨當的、大牛拉子

收穫物運搬＝趕車的、隨當的各々1人

脫穀、調製＝主に趕車的、然し他の者も行ふ。

穀物の賣却＝趕車的と主人

肥料調製＝趕車的を除いた外全部。

以上の勞働種類の外、本屯では月工に倒糞的、粉匠なるものがある。

倒糞的は馬小屋又は豚小屋から出した糞を細かにし、良土糞として堆積する仕事で、特別な技能を必要とせず、普通の隨當的なら誰でもやれる仕事である。

23號農家が大青堆子に、6月1日より8月1日迄行つて1ケ月の賃銀4圓50錢を得てゐるが、普通の隨當的8圓位に比べて安い。

粉匠は農產加工上に於ける勞務の一種類で粉條製造に於ける責任を一切負ひ、仕事の監督指導をするものであつて、粉條製造には或る特種の技能を必要とするので、從つて其の勞賃も高い。

3號農家の雇傭した粉匠1ヶ月平均賃銀　11圓16錢

屯外に雇はれて行つた38號農家の月平均賃銀12圓となつてゐる。

以上の內純農業勞働者の勞働時間は殆んど同じであり、日の出前より日沒に至る間で晝食事1時間、午前中30分、午後30分計1日2時間の休憩がある。

給食として3月1日迄は 2 回
　3月1日～9月1日迄 3 回
　9月1日以後　　　　2 回

一般に夜間は仕事をしないが、8 月 15 日から 8 月末迄は 15 日間脱穀の夜業をする、之は火事等を防ぐ爲脱穀を急ぐ爲である。

第二節　特殊なる雇傭關係

一　婦人、子供の勞働

（イ）　少年の勞働

本屯は其の殆んと全部が熟地であり、牧草地と稱する地域が全然ない。故に馬、牛等の家畜を賣却の目的で多數飼育するとか、農耕の必要以外に大家畜を飼ふてゐると言ふ事は全然なく、只農耕の必要にも足らざる家畜を飼養してゐるに過ぎない。

不足の家畜は搭具、雇牛具により補つてゐる狀態である爲、家畜の飼養管理も家族又は年工が之に當り、特別「馬倌兒」とか「猪倌兒」として少年勞働者を雇傭してゐる農家は全く無い狀態である。之は本屯に於ける勞力の過剩、土地の細分化に原因すると思考せられる。

唯少年は自家の農業、又は家畜等の管理の手助けをするに止まり、他の家に雇はれると言ふ事は殆んどなく、31 號農家の小半拉子が屯外に 20 日換工として除草に行き、換工の相手方より播種の時 2 日家畜、農具持參で當方に來たのが特例であるが、之は本屯に於ける小半拉子の他家に雇はれた唯一つの例である。

少年勞働者を無理に働かせない事は、本屯が裕福なる如く考へられるが實は村に發展性なく、成人の勞力の過剩を示して居るのである。

（ロ）　婦人の勞働

本屯41戸の内婦人農業勞働者として、他家に傭はれ勞賃を得たる者が7人ある。

婦人の勞働をなす目的に2種あり、1は苦しい家計を少しでも助けると言ふ事、1は家計には左程困らないが、女の働いた賃銀は全く女の所有となる爲に働く事の2種類である。

之は15號農家の例に於て見る如く、日工を90日も雇ひ、自作小作であり乍ら、女2人働きに行き計10圓を得ている。之は後者の代表的のものである。

婦人勞働は日工丈に限られる、康德2年度に於て女は 106 日賃銀22圓10錢を得、男の日工總勞賃91圓45錢に比べて、約$\frac{1}{4}$である。又其の勞務種類勞務期間は、自ずと限定せられ其の仕事は穀子の間引と、高粱の穗切に限られる。大體其の期間は除草20日、穗切10日 1 ヶ年中 1 ヶ月位である、男子被傭者は食事は雇主持であるが、婦人勞働者は自分持である。先きの男の日工總計91圓45錢は男10人である。之に依つても分明する如く男に比較して、其の勞賃安く大體間引に於て20錢、穗切に於て30錢位である。穗切は一般請負制度であつて、婦人勞働者の年齢は18歳上40歳以下である。

自家の間引、或は穗切に對して婦人が手傳をした場合は、一般に金を與へる風習があり、得た金は自己の「小份錢」として貯蓄してゐる。

二 出稼勞働

本屯は純農村で、其の生計を支へるものは農業以外に無い。本屯は前述の通り勞力過剩なる爲、又一面本屯の農家に雇はれるを嫌ひ、他村に農業勞働者として雇はれて行く者が多い。他村と言つても同じ第7區内で約日本里の 2~3 里の範圍である。第6區に雇はれて行つてゐる者があるが、それは大青堆子迄で日本里数2里足らずの所である。

屯内より屯外に雇傭せられた年工は 13 名で、其の内住込は8名である。屯内より屯外への雇傭せられた月工は 10 名であり、内住込は6名である。以上の屯外への住込勞働者は、特種な出稼勞働者と見る事は出來ない。

唯屯内に於て2家族より2人が、1は鐵嶺城内の藥種商に、1は新台子の鐵匠のもとに弟子入りしてゐるが、之等には寧ろ當方より着物等を仕送る狀態で、屯の家族に送金する事なく、現在では純粹の出稼勞働と名の付く者は本屯には無い。

三 雇牛具、換工、插具

(イ) 雇 牛 具

本屯で雇牛具を行つた者は 19 號、20 號農家の 2 戸で、貸牛具は 29 號農家1戸である。即ち 20 號農家は家畜を所有せぬ爲、29 號農家と雇牛具契約を春2月行ひ、先拂ひで3月 12 圓を支拂つた、然して29 號農家は播種の時驢1、犂丈1、人1で1日、中耕培土に驢1、騾1、人1人犂丈1持參で3日、收穫運搬に驢 1、騾 1、車 1、人1で1日、脫穀に驢1が2日行つて居る。他の 19 號農家は、屯外第 7 區姜家窩棚の郭慶なるものと雇牛具の契約を結んだ。之は變つた雇牛具の雇ひ方で、19 號農家は郭慶の家に年工として雇はれており、年 50 圓の支給を受けておる。然して自分の土地を耕す時雇主より馬、騾、犂丈等を借り自分も暇を貰ひ、其等の使用物持參で自分の土地を耕しに歸るのである。即ち康德2年度に於て、播種の場合犂丈1、馬1、騾1、人1で1日、中耕培土に驢1、馬1、犂丈1、人1で3日、收穫運搬に車1、馬1、驢1、人1で1日、肥料運搬に車1、馬1、驢1人1で1日、合計6日で1ヶ年8圓を支拂つたのである。然し年 50 圓の年工としての勞賃を支給される時、雇牛具代として8圓を、差引き 42 圓を支給されてゐるが、之を此の地方では「代套」と呼んでゐる。即ち以上の役畜について來る人1人と言ふのは本人の事で、向ふより人1人を雇牛具として、働きにやつた事になるのである。

此の19 號農家は、同じ雇主の家に10年繼續年工として傭雇せられ、雇主が其の實直さを賞し、好意的に此の「代套」をやつてゐるものである。19 號農家は收穫、調製を家で行ひ、其の時要する道具も借りると言ふ、然し本人は成人であるが農具等を借りる便宜ある爲、又休みを利用して自分の土地を管理する爲、自ら進んで大半拉子として雇傭されてゐる。

20 號農家は 1.36 天地の自作、雇農であり 19 號は 1.6 天地の自作兼雇農である。又、貸牛具の 29 號は、小作兼雇農で 4.05 天地を耕作し、驢1頭を有してゐる、雇牛具の場合の騾は、屯外の親類より無料で借りて來るものである。本屯には貸牛具專門の被傭人は無い。

◎雇牛具の組合及能力

イ 播種の場合の組合せ

馬1頭	牛1頭	牛1頭	驢2頭	驢2頭
騾1〃	騾1〃	騾1〃	牛1〃	馬1〃

ロ　中耕の場合前に同じ

ハ　運搬に於ける組合せ

馬と騾各々1匹の場合が多い、畑が遠く道が悪い場合には數を增加する。

能　率

馬と騾各々1頭(15天地)　　　牛1頭と馬1頭(13天地)

驢と牛各々1〃(10天地)　　　驢1〃と馬1〃(10天地)

以上は耕作可能の限度を示すものである。

屆牛具に於ける各役畜組合せの1日の能率

役畜組合せ	反種	壞地	中耕	收穫物運搬
馬1頭騾1頭	1.0　天地	2.0　天地	2.0　天地	人2人大車で2天地分の收穫物
馬1〃牛1〃	0.6　天地	1.5　天地	1.5　天地	1.5 天地
驢1〃牛1〃	0.5　天地	1.0　天地	1.0　天地	1.0 天地
驢2〃牛1〃	0.6　天地	1.5　天地	1.8　天地	1.0 天地
驢2〃馬1〃	1.0　天地	2.0　天地	2.0　天地	1.0 天地

屆牛具の契約方法及勞務

2月上旬頃契約し前金で渡す、期間は播種から脫穀後10月中旬頃迄、勞務種類は播種、中耕、運搬、脫穀に限定されてゐる。

屆牛具の賃銀

1天地を單位とし、6圓か7圓であると言ふ、耕作地1.34天地の20號農家の12圓は甚だ高い。賃銀は3月始めから3月末迄の間に支拂はなくてはならない、屆牛具の場合人丈には晝食を與へ、馬には飼料を給しない。

(ロ)　換　　　工

本屯には換工を行つた農家が4戶ある。然も純然たる農業上の換工は23號農家及31號農家の2戶であり、他の2戶は家の修繕に各々1日の換工をたしたに過ぎない。31號農家の小半拉子が、屯外第7區鄧家窩棚鄧闓順の家に20日除草に行き、鄧闓順は唐鋤1、馬1、驢1、人1て播種の時2日來た、2日と20日との換工は其の換算に於て、ひどい樣であるが小半拉子なる爲、當然なのであらう。23號農家は、第7區田家窩棚の田鴻殿と勞力丈の換工を行ひ、20日行き相手方より30日來たので、1日分の賃銀40錢を差引計算に於て支拂つてゐる。

一般に換工の少いのは勞力と役畜に於て、役畜を持つてゐるものは結局損をするのと、又一面勞力の過剰にもよる。

(ハ)　插　　　具

本屯に於て插具を行つた農家は14戶ある。其の農家の番號、經營樣式及家畜頭數は次の如くである。

農家番號	經營樣式	耕作地	家畜頭數 馬	騾	驢
4	地主、自作	5.6天地	1	—	—

農家番號	經營樣式	耕作地	家畜頭數		
			馬	騾	驢
9	自作、小作	3.648天地	―	―	1
10	〃 〃	4.000天地	―	―	1
11	〃 〃	4.770天地	―	―	1
12	〃 〃	3.350天地	―	―	1
14	〃 〃	4.290天地	―	―	1
15	自、小、雇(日)	7.430天地	―	1	―
16	〃 〃 〃(年)	6.900天地	1	―	―
17	〃 〃 〃(年)	3.300天地	―	―	1
18	自作、雇農(年)	5.700天地	1	―	―
27	小作、雇農(月、日、)	4.300天地	―	―	1
28	〃 〃 (月)	4.300天地	―	―	1
29	〃 〃 (月)	4.050天地	―	―	1
30	〃 〃農(年)	4.250天地	―	―	1

以上14農家の他、役畜を有する農家は6戸あるが、挿具を行つた農家の經營面積を見ると、12戸は4天地以上で、2戸は3.35天地と3.30天地の耕作者である。

挿具の内容を見ると整地、播種、中耕培土、收穫物運搬、肥料運搬の仕事に全部挿具を行つている。耕作面積より見て挿具を行つている農家は、中農以下と見らるべく、之等の農家には、役畜の不足を來している事を察知出來ると共に、彼等の生活を守る爲に、合理的な挿具が多く行はれているのを見られ、茲に即ち挿具の絕體必要性が生じて來たのである。

播種の場合には、人3人を必要とする爲、役畜と役畜との交換に更に人が跟いて行く、本屯では挿具を行つた家は、全部播種の場合人が跟いて行つている。之を本屯では「挿具換工」と稱して居る。

他の中耕、收穫、肥料運搬には、役畜丈の交換が普通行はれてゐる。

役畜と役畜とに於ける能率の換算

a 牛と馬＝牛は少し能率が遅いので、牛の方から農具を出し釣合ひを取るが、牛の方が少し耕作地が少い時は問題では無い。

b 驢は馬の半分の能力と見る、驢と馬の方が耕作面積が同等の場合は、釣合はないから驢の方より農具等を出すが、無い場合には貸牛具となる譯で賃金を出す。

c 馬と騾は同等に見る。

即ち本屯では15號と16號は、騾と馬との挿具で問題なし。

18號農家は馬と驢と挿具した爲

整地播種 { (騾1頭) 相手方 10日 / (馬1頭) 18號 6日 }　中耕培土 { 相手方 15日 / 18號 9日 }　收穫運搬 { 相手方驢 5日 / 18號馬大車 2日 }　肥料運搬 { 相手方 10日 / 18號 6日 }

以上の如き換算をして行つてゐる。

4號と14號に於ては、驢と馬丈が同日數を交換しているが、親類であり寧ろ例外と思はれる。他は全部驢と驢で同日數の畜力の交換である。

第三節　勞働の過不足

本屯の農家が、耕作する全耕作地は1,721.58畝で、自家勞働員數の男は48人である、之は實際に自己の耕作地に於て働く人數である。

今1人當りの面積を見ると、約3.586天地となる、之には菜園も含むが故に、實際に於ては尚少い譯である。耕作地所有者の内、自家に於て實際働く勞働員數である爲、純雇農8戸の員數は含まれておらない。然して純雇農8戸の勞働力10人及び6號、17號農家の自家勞働に入らざる勞力2人計12人を、自家勞働數に加へて全耕地を除して見ると1人當り2.869天地となる。本屯に於ける1人當り成人耕作可能面積4～5天地であると言はれてゐるが、其れより見る時は勞働力は過剩である事が立證さるれ。

	年工	月工		日工
		人數	延月數	
屯内より屯内へ	人 2	人 4	11.5	258
屯内より屯外へ	13	10	32.0	226
屯外より屯内へ	9	4	6.5	338
屯外より屯内へ勞働差引過不足	＋4	＋6	＋25.5	－112

上記の表に於て見る如く、色々の事情により年工、月工を屯外より屯内へ雇ふている、若し年工、月工を全部内より雇ふとすれば、年工に於て4人、月工に於て6人の過剩を來す譯である。然るに之等過剩の人員は屯外に行つておる爲、僅かに農繁期に於て日工延日數112人を不足して居る狀態である。

第四節　農業勞働者の生活狀況

勞賃收入と全收入との割合を見るに、

農家番號	經營樣式	勞賃收入計	年工	月工	日工	雜	全收入
5	地主・自作・雜(看靑的)	高粱 石 10.9[illegible]	圓 —	圓 —	圓 —	圓 高粱 10.95	圓 45.00
6	地主・雇農(年)	圓 66.00	66.00	—	—	—	81.00
9	自作・小作	3.00	—	—	—	—	372.00
13	自作・小作・雜・(大師夫漁業)	63.00	—	—	—	63.00	592.00
15	自・小・雇農(日)	10.00	—	—	10.00	—	[illegible]4.75
16	〃 〃 〃 (年)	70.00	70.00	—	—	—	2[illegible].50
17	〃 〃 〃 (年)	120.00	120.00	—	—	—	1[illegible]2.50
18	自作・雇農(年)	60.00	60.00	—	—	—	15[illegible].00
19	〃・〃 (年)	50.00	50.00	—	—	—	81.05
20	〃・〃 (日)	11.00	—	—	11.00	—	54.40
21	〃・〃 (年)	68.00	68.00	—	—	—	68.00

農家番號	經營樣式	勞賃收入計	年工	月工	日工	雜	全收入
24	自作・雇農（月・日）	圓 32.90	圓 —	圓 29.00	圓 1.40	[illegible]	[illegible]
25	小作・雜（行商・撿糞）	3.00	—	—	3.00	—	[illegible]
26	小作・雇農（年・月）	64.00	55.00	9.00	—	—	[illegible]
27	〃・〃（月・日）	33.00	—	30.00	3.00	—	303.00
28	〃・〃（月）	14.00	—	14.00	—	—	235.80
29	〃・〃（月）	47.00	—	35.00（外貸牛具12圓）	—	—	170.93
30	〃・〃（年）	50.00	50.00	—	—	—	141.5[illegible]
31	〃・〃（日）	22.95	—	—	22.95	—	96.15
32	雇農（年・日）雜（行商・撿糞）	64.30	55.00	—	9.30	—	[illegible]
33	雇農（月・日）・雜（撿糞）	35.00	—	16.00	19.00	—	35.0[illegible]
34	雇農（年・月）	143.00	128.00	15.00	—	—	143.00
35	〃（年）	50.00	50.00	—	—	—	50.00
36	〃（月・日）	87.30 外（高粱5.4石）	—	12.00（高粱5.4石）	27.65	47.65	121.30
37	〃（月）	44.25	—	43.00	1.25	—	44.25
38	雇農（月）・雜（粉匠）	79.50 外（高粱5.67石）	—	22.00（高粱5.67石）	—	57.50	115.10
39	〃（月）・雜（行商）	19.50	—	19.50	—	—	80.90
40	雜（裁縫）	2.00	—	—	—	2.00	51.88

年工として働きに出た戸數は、15戸17人である。內純雇農3戸4人である。

自作或は自小作の大部分は、現金を得んが爲に、或は到底自作或は小作、自小作によつて得た收入では生活困難な爲、年工、或は月工、日工として働く耕作者と、全々雇農による生活の爲に月工、日工又は年工となつて行く2種類を見る。

年　　　工

殆んど年工は前金により支給せられる。年工として働きに行つて居るものは、雇主の方で食を與へるから、殆んど賃銀を使ふ事なく家族に渡すことが出來る。普通年工は住込、通ひがあるが、通ひは近距離な場合雇主と年工と協議の上決定するもので、雇主の方でも良く家庭の事情に同情して、年工の申出でを聞いてゐる樣である。而して通ひは他の住込年工と同樣な仕事をする事は勿論である。

住込み雇人1ヶ年中の休日

4月18日（娘々廟祭＝畢家窩棚に於ける）

端午節1日

4月28日缶王廟の祭り1日

按鋤＝除草前1日

中秋節　　1日

按刀＝秋收穫前1日

外に時として演戯なるものがあり、之は水害とか旱魃等に於て、神の助力を願ひ、演戯をする事を約束し、其の約束を果す爲に、芝居を神前にて行ふ譯である。若し演戯があれば10里以內は4日、15里以內

は2日、20里以内は1日の休みを雇人に與へて歸寛を許すのである。然し住込みの年工は休み以外に家に歸れる事は殆んどない。

年工の勞賃は、月別或は日割にすると、月工、日工より少いが月工、日工の如く不安定でなく、確實なる收入を得る譯である、年50圓或は、60圓にて生活する。彼等の食事は實に粗食に耐え、人を怨まず悠々とした生活には驚く所であり、反つて土地を少く持ち、或ひは小さい土地の小作者等は稅金納入等の爲、純雇農者より負債を生じ苦しい立場にあるもがの多い。

雇農は稅等を收めず、又金を貸す人も無い爲貧乏の中にも裕々たる生活をしている。

年工は槪ね前金渡してある爲保證人あり、途中不都合あつて解雇された場合、本人が殘額を拂ふが、若し然らざる場合は、保證人が責任を負ふ。幾年も繼續雇傭され、又は良く知つている場合、保證人は不要の事がある。雇傭の契約は1月15日(陰曆)に、するのであるが、中介者を兩方の間に立てて纏めるのが普通である、然し熟知の間柄であれば直接の事もあり、本屯では殆ど直接であつた。

月　工、日　工

本屯に月工として、雇はれて行つたものは屯內、屯外合して14人であり、純然たる雇農6人である。即ち雇農は年工か、或は月工に必ず行つており、純然たる日工丈で生活して居る者は無い。

月工は大體に於て忙しい時2ヶ月か、3ヶ月雇傭されるので1ヶ月單位收入は年工に比べて多い、然し乍ら年工に比べて生活不安定である、月工に雇傭せられて行つた者の中には、月工として2～3ヶ所も行き、10ヶ月働いているものもある、日工は之に比較し尙不安定な爲、確實性のある年工、月工を欲するのであるが、雇用者なき場合、又は特種の家庭的事情ある爲、1日1日の日雇をして僅かに得る賃銀で、家計を細々立てて居る狀態で、年工を除いた月工又は日雇は農閑期は殆んど失職してゐるのである。

第五章　耕　種　概　要

第一節　家　　　畜

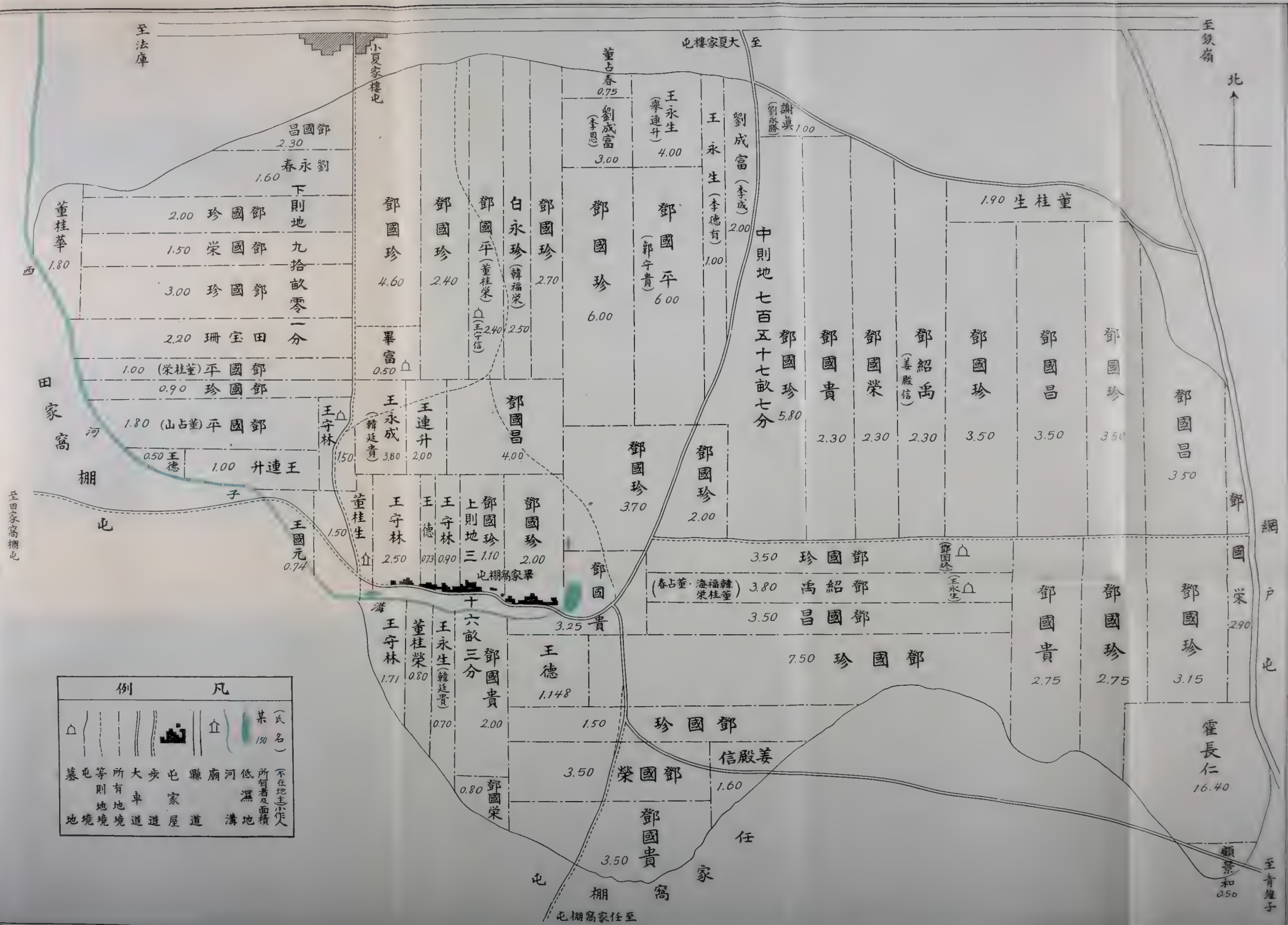
一　近年に於ける頭數增減の理由

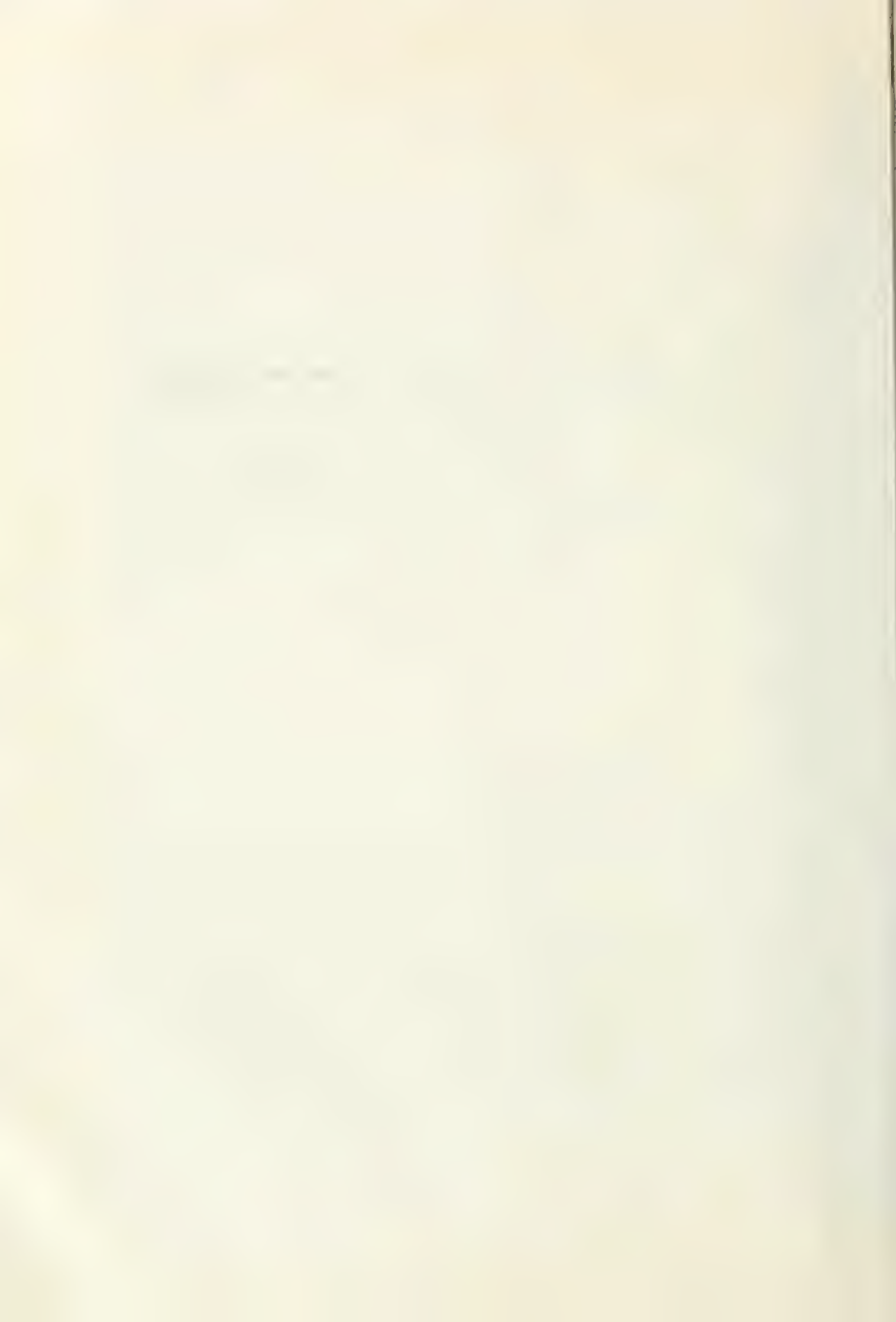
本屯に於ては近年になつて大家畜の農耕用役畜は、次第に減少して行く傾向がある。之は本屯が次第に農業經營小規模になつて、小家畜(驢)でも農耕用として充分間に合ふ爲である。驢の如きは飼育簡便で、體質丈夫であるから益々增加の傾向にある。牛の如きものは本屯では現在は飼育する者がない、牛は農耕用とする時は緩慢で、加之牛糞は肥料的に見ても不利なる爲である。

用畜としての豚は一般に增加の傾向にある。販賣用として豚糞は肥効大であるから、之を利用する爲である。

今康德1年、2年度に於ける家畜の頭數を示すと、

第一篇　記述篇　第二編　調査屯事情

鐵嶺縣第七區夏家樓村畢家窩棚屯耕地圖

小屋ヨリ放タレタ豚（在來種）

牛ト豚ノ集ヒ、右ハ豚小屋、左ハ牛小屋

年度 / 種類	康徳 1 年	康徳 2 年	年度 / 種類	康徳 1 年	康徳 2 年
馬	7	[illegible]	豚	[illegible]	[illegible]
騾	6	[illegible]	鶏	[illegible]	[illegible]
驢	13	15	家　鴨	5	[illegible]

備考　康徳1年度は大體の頭數で2年度は集計表による。

役畜は凡て農耕に使用し得るものである。

本屯住民の耕作面積は「172」天地であり、役畜頭數は「29」頭1頭に對しての耕作面積は約「5.8」天地である。

10 天地耕作するものは、役畜 2 頭で充分であると言はれて居り、此の耕作面積には菜園も含んで居るから、本屯に於ける役畜は一般に過不足のない狀態にあると言ふべきである。

二　家畜の能力及び利用價値

(イ)　役　　　畜

本屯に於て使用する役畜は馬、騾、驢である。今之等の役畜の各作業に於ける能力を見ると、

馬轅車1車に2,000～3,000斤積んで1日普通の道路を3?粁行くが、騾は馬と大體同じであり、人の乘る事は少々無理である。

驢800～1,000斤人も共に乘つて約18粁又馬、騾は1日に約半天地耕し、驢は其の半分1年間に馬、騾は各7.5天地に間に合ひ驢は馬の約半分である。

脫穀は馬、騾は1日に大體1天地の收穫物を脫穀して驢は約その半分である。

今10天地耕作する者は、馬、騾各1頭と驢1頭有れは充分耕作に間に合ふと言はれてゐる 又使用日數、使用年限を見ると次の通りである。

馬	1年間に280日	約20年間使用に耐ゆ
騾	〃　〃	約23年間　〃
驢	〃　330日	約18年間　〃

(ロ)　用　　　畜

本屯に於ける用畜は豚及鶏である。之等の飼養目的は、豚は販賣用の爲、又肥料を得んが爲であつて、豚糞は最も肥効大である。

鶏は主として卵を得るのが目的で、又穀物の屑を利用する爲である。

本屯では、販賣用としても亦肥料を得る爲にも、豚が最も重要である。鶏も卵を得て販賣する爲に、必要なものである。昔は家鴨等の水鳥を飼育した事も有つたが、附近に池、河等なく間もなく飼育を止めたと言はれて居る。

三　飼　養　管　理

豚小屋は家の西南或は東南に造つて居り、其の面積は6坪位で、4坪位は少しく深く掘り、そこに土を入れ

て上に糞尿がたまると又土を入れ、適當の時に之を外に出すのである。他の2坪位は少しく高くして其の上に屋根あり、夜豚を休ませ又は飼料を與へる場所にする。鷄舍は上部を草葉、石、又は瓦で蓋ひ、周圍は土で造つた箱の中に入れて居る。

馬、驢、騾は不完全ながら小屋の中に入れて置く。

豚は5～10月頃迄放牧する。時としては冬の間も放牧し、圃場に出て作物の根株を食する。

飼料としては糠其の他雜物を與へ、特に念を入れて飼料を與へないから、哺乳期に於ては仔豚の死亡する率が多い。

役畜には農繁期に高粱を與へる位のもので、其の他は作物の莖稈で間に合はして居る。

四　飼　　　料

各家畜別飼料種類及び1年間の所要量を見ると、

馬＝1年間に高粱6石莖稈1,000～2,000斤

騾＝馬と大體同じ

驢＝馬の約半分

豚＝酒粕250斤(3圓)穀物5斗(3.50圓)糠2.7石(3圓)

各飼料を買ふ事は經濟的に不利であるから、穀物の如きは屑を利用する、役畜に對しては購入肥料を與へる事はない。豚は年1頭に付4～5圓の飼料代を要する。

五　牧　　　野

牧野としては何等見るべきものはない、唯本屯の西南に小河あり、樹木があるが、其の下草を食はす爲に、放牧又は下草を採取する事は有るが、特筆する程のものでない。

六　畜産物の利用

特筆すべきものがない。

七　家畜の疾病斃死

毎年豚コレラ發生するが、何れから傳染して來るか不明である、毎年之に依り本屯で20頭位斃死すると言ふ、其の外役畜に疝痛の如きものがあるが、管理不充分より來るやうである、役畜の疝痛の時には靑堆子、双樹子より漢法獸醫が來る位のもので、斃死家畜は獸疫によるものは、土中に埋め他の疾病によるものは、販賣又は食料に供する事もある。

八　畜　産　經　濟

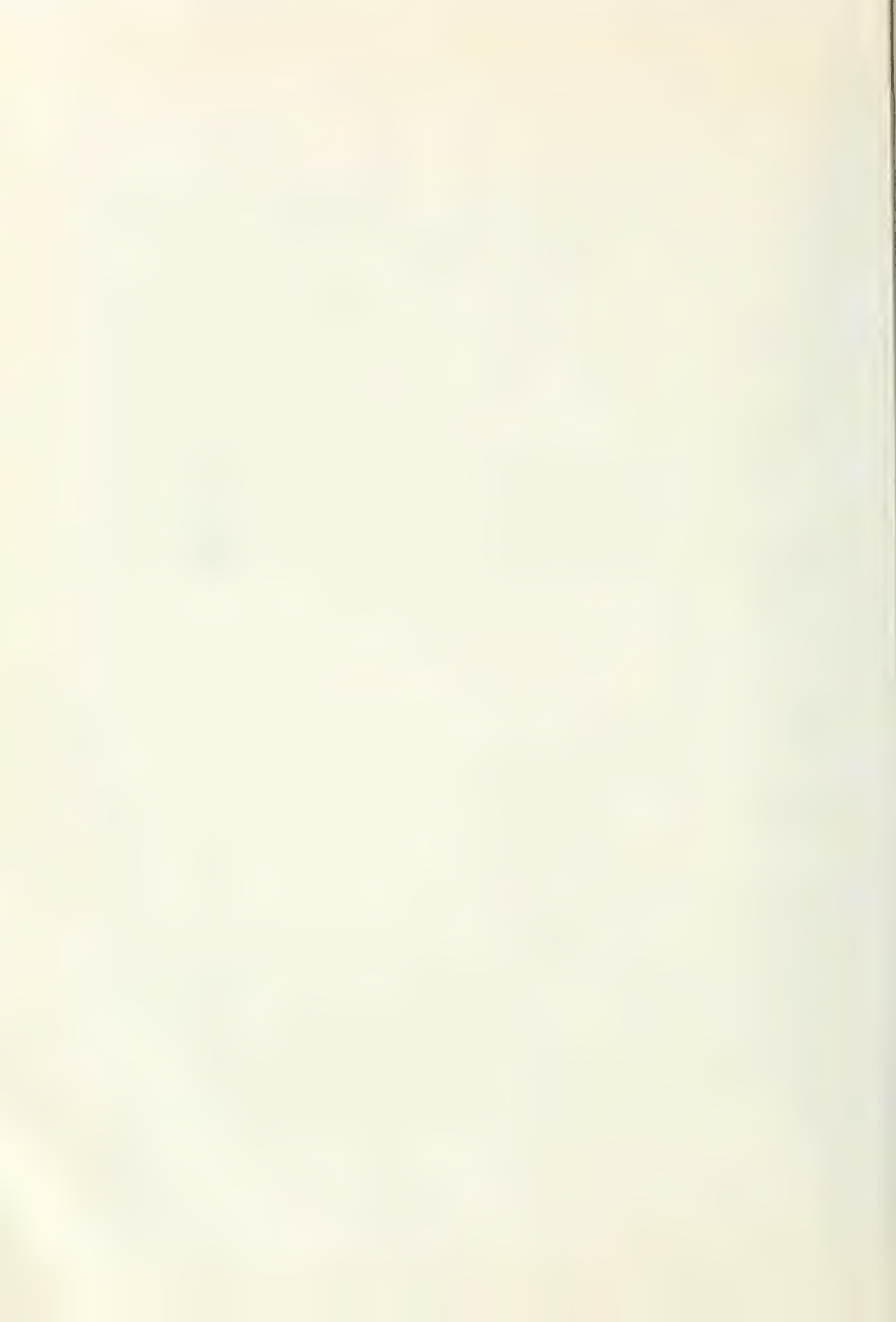
各家畜、畜産物の價格を示すと

騾＝農民の賣渡値段(成1頭に付き)70圓

馬＝　　　　同　　　　60〃

驢＝　　　　同　　　　20〃

調査屯地方ノ使用農具ノ一部

調査屯地方ノ使用農具ノ一部

豚＝農民の賣渡し値段(成1頭に付き) 15～20圓

豚肉＝毎斤 20～30 錢

鷄＝1羽　　30 錢

卵＝1個　　2 錢

各家畜を購入する時には、縣城又は他村に行き仲介人によつて値段を決め、現金ある時は1人の保證人を要する。後牲畜稅を納入して自分の所有とする。

賣却は豚の如きものは、縣城から來る肉商人の買集人に賣渡す。

役畜は過不足なく他村より借入れる事は殆んどない。

九　畜產諸施設

本屯に於ては何等見るべきものがない。

第二節　農　　　具

本屯に於て使用して居る農具を表示すると次の如くである。

用途	農具名稱	購入		自家生產			維持年限	修理狀況	作業能率	備考
		價格	購入狀況	材料費	工夫費	材料購入狀況				
		圓		圓						
耕墾用具	大犁	3.50		2.00	大工日工勞賃 圓 1.50	近屯及び本屯	一定せざるも大體8年位	犁底木4年に1度修理 1.50	1日1天地	犁1ヶ馬2頭人4人筐1ヶ糞筐1ヶ糞杁1ヶ1日1天地黃豆を播種する時に用ゆ
作條用具	壤耙	4.50		3.00	2.00	〃	〃	底木1年1度自分で修理	1日2天地	高粱、穀子、粳子の播種に用ゆ
犁丈附屬品	鏵子	0.20	縣城	—	—		1年			
〃	犁宛子	0.15	〃	—	—		10年			
壤耙附屬品	心子	0.20	〃	—	—		1年			
播種用具	點胡蘆	—		—	0.20	葫蘆と管の木、自製のもの	10年以上			穀子、高粱、粳子の條播に用ゆ
施肥用具	糞筐 糞耙	0.15 0.20	縣城	—	—		2年			撿糞にも用ゆ
鎭壓用具	木頭轆子	3.00		2.00	1.00	近屯本屯	5年	自分で修理	1日3天地	役畜1頭、人1人、1日に3天地、黃豆播種鎭壓に用ゆ、壓地球とも言ふ
〃	石頭轆子	3.00	本縣王欽忠堡子	—	—		永久	〃	〃	高粱、穀子、粳子の鎭壓に用ゆ
耕墾用具	鎬頭	0.40	近屯	—	—	把の部分自製	3年			
中耕培土用具	鐙犁	3.50		2.00	1.50		10年以上	犁底木4.5年1度修理 1.00	1日2天地	役畜2頭、人1人の場合
除草用具	鋤頭	0.50	近村鍛冶屋	—	—	本把自家製	鋤板1年毎に取替		1人3日間1天地	
收穫用具	鎌刀	0.25	〃	—	—	〃	3年	磨石2年1回磨擦	1日に1人で4畝	
燃料採取用具	草鎌	0.80	〃	—	—	〃	3年	〃	1日に200斤	芟刀とも言ふ
〃	竹杁子	0.30	縣城	—	—		2年			
脫穀用具	石頭轆子	2.00	王欽忠堡子	—	—		永久	木框自製	1日に5.4石	役畜1頭、人4人、1日2度打場
〃	木叉子	0.40	縣城	—	—		3年			
〃	木掀	0.60	〃	—	—		2年			脫穀楊場用、肥料運搬にも用ゆ
〃	木杁子	0.50	〃	—	—					莖稈を取除くために用ゆ樓耙とも言ふ

用途	農具名稱	購入 價額	購入狀況	自家生産 材料費	自家生産 工夫費	材料購入狀況	維持年限	修理狀況	作業能率	備考
〃	[illegible] 人力 / 畜力	[illegible]		自製	圓 0.30 / 0.80		10年以上			脱穀の時粒を集む
〃	竹掃帚	[illegible]	縣城	—	—					掃除に用ゆ
精白用具	碾子	[illegible]	王欽忠堡子	外に木框 5.00	大工 5.00		半永久	石匠に1度修理	1日に約1石5斗	役畜1頭、人1人
精選用具	扇車子	15.00	縣城	8.00	7.00		半永久		1時間 2.7石	人1人
〃	篩子	[illegible]	〃	—	—		5年			
〃	簸箕	[illegible]	〃	—	—		5年			
〃	[illegible]	[illegible]	〃	—	—		永久			穀物を入れる
製粉用具	磨	10.00	王欽忠堡子	—	—		半永久	2.3年1度修理 0.40	1日 3.5石	役畜1頭、人1人
貯藏用具	折子（穴子）	5丈長さ 0.60	近屯	—	—		4年			
〃	麻袋	0.40	縣城	—	—		2年			運搬用にも用ゆ
〃	口袋	1.20	〃	—	—		3年			運搬用にも用ゆ
〃	席子	0.80	〃	—	—		1年			穀物覆蓋する
〃	糧倉			5.00	5.00		永久			糧倉1間に付き
運搬用具	大車 車蓬 / 車脚	15.00 / 50.00	縣城	—	—		8年		3頭引き 1000斤	
〃	小車	[illegible]	縣	—	—		8年		3頭引 6[illegible]斤	
〃	挑筐	0.60	〃	—	—		1年		1人して 60斤	1人用
〃	抬筐	—		自製	—		1年		2人100斤	
〃	扁擔	1人用 0.60 / 2人用 1.00	縣城	—	—		5年			
〃	車套	3.00	〃	—	—		3年			
馬具	馱鞍子	1.00	〃	—	—		5年			
〃	鞍褥	0.50	〃	—	—		4年			
〃	遶腰	5.00	〃	—	—		5年			
〃	[illegible] / [illegible]蓋	5.[illegible] / 1.5[illegible]	〃	—	—		5年			
〃	大肚帶	2.50	〃	—	—		5年			
〃	挾板	1.50	〃	—	—		5年			
〃	套包子	0.70	〃	—	—		5年			
〃	大鞭 / 小鞭	2.00 / 0.70	〃	—	—		1年			
〃	兜嘴	0.15	〃	—	—		2年			
〃	要杆子	0.5[illegible]	近屯	—	—		5年			
〃	殺繩	3.00	縣城	—	—		5年			
肥料取扱用具	二齒鉤	0.50	近屯	—	—	木把自製	2年			高粱の根株堀り
飼育用具	鍘刀	2.00	縣城	木床1.00	1.00		永久	1年1度修理 0.40	1時間 30束	2人
〃	馬槽	10.00	王忠堡欽子	—	—		永久			馬 2頭
〃	猪槽	3.50	〃	—	—		永久			豚4.5匹
〃	腰子	0.60	縣城	—	—		3年			
〃	料斗子	—		0.30	0.20		5年			
雜用具	抹板子	0.20	近屯	—	—					壁塗用

菜園前ノ土糞ノ堆積

一日ノ勞働ヲ終ヘテ

用途	農具名稱	購入		自家生產			維持年限	修理狀況	作業能率	備考
		價額	購入狀況	材料費	工夫費	材料購入狀況				
		圓		圓	圓					
雑用具	磨刀石	0.50	縣城	—	—		5年			
〃	梯子	—		0.80	0.70	自製	半永久			
〃	斧頭	0.4[illegible]	縣城	—	—		5年			削物用
〃	剪子	0.2[illegible]	〃	—	—		3年			切物用
〃	拉扒架	—		0.20	0.30		2年			犂丈附屬品なり
〃	鐵鍬	0.80	縣城	—	—		2年			土を集むるに用ゆ
計器	大 100斤 小 10斤	4.00 1.50	〃	—	—		半永久			舊制度
〃	斗	1.00	〃	—	—		〃			舊制度
〃	升	0.50	〃	—	—		〃			舊制度
〃	尺 1尺 5尺	—		自製	—		〃			舊制度
〃	弓 5尺	—		〃	—		〃			土地測量用舊制度

本屯の西南約 16 粁の所に王欽忠堡子なる所が有つて、石材を豐富に産出し、本屯では建築用及上記農具中鎮壓用其他製粉用具を購入す。

第三節　肥　　料

一　種類及び製造法

肥料としては土糞のみで、この製法は先に家畜小屋に掘つて少し土を敷き、其の上に糞尿が貯つた時に又其の上に土を敷く、之を 3~4 回繰返した後に之を外に出す。

此の時に先の土糞場に土を 4~5 寸位敷き、其の上に家畜小屋より出した土糞を 1 尺位に積み、更に其の上に土を積み之を繰返す。最後に上に土を掛けて、醱酵させ時々切返しを行ふ。家畜小屋に於て敷藁を與へて、之を土糞に混入する事あるも少量である。

野菜類に用ゆるものは土を少量に入れ毎年施肥する。

其の他の作物には、1 天地當り 2,500~3,000 貫位施肥するが、毎年施肥する様な事なく、黄豆を播種する時に施肥する。追肥の如きは全然行はず、又金肥を使用する事も亦全然ない。

二　原料採集地の所有關係

本屯の西方に土取場があつて、此の場所を農民は泥場と言つて居る。土を此の場所から自分勝手に取り幾ら取るも自由である。

三　栽培作物による肥料の種類

施肥法並びに施肥量の差異は、輪作する時に黄豆の場合に施肥する丈で、他作物の時には殆んど施肥する

事は無い。

又作物に依つては肥料の種類及施肥量の變る事は無い、唯蔬菜類の如きものは每年施肥するが、特に金肥の如きものを入れる事はなく、 糞尿は殆んど利用されて居らない。

四　肥料購入の狀況

唯穀物賣却に縣城に行つた時に、車店より家畜糞を買ふ事があるが、例外と見るべきものである、

第四節　農耕技術

一　主要作物栽培の消長

開墾當時は作物としては糜子、稗子位のものであつたと言はれて居る。後種々作物栽培の結果、經驗的に黃豆、高粱、穀子等栽培可能である事を知つた。而して現在は黃豆、高粱が最も多く栽培されて居る。今各主要作物の作付面積を見ると、

年度／種別	康德2年度	步合	康德年3度	步合
	天地	%	天地	%
黃豆	65.51	38	44.96	32
高粱	46.54	27	39.13	28
旱粳子	14.85	9	16.03	11
穀子	33.12	19	31.35	22

備考　3年度の作付面積の減少は、屯全體の小作地の減少したもので、作付步合の減少を示さない。

二　主要作物分布の狀況

イ、東南部　高地で、高粱、穀子の栽培が盛である。

ロ、東北部　比較的低地が多い。黃豆、高粱、旱粳子等が栽培される、アルカリは比較的少い。

ハ、西北部　低地で、アルカリが多い。穀子が少し栽培される。

ニ、西　部　低地で、アルカリが多量である。旱粳子の如きは栽培全然不可能である。

三　主要作物名並びに品種名

主要作物作付面積並びに作付步合は上述の通りであつて、又各作物の品種を示すと

高粱の品種	穀子の品種
紅殼大蛇眼　30%	白穀子　70%

黒殻蛇眼紅	35%	紅根	30%
黄殻	15%		
紅殻	10%		
棒子	10%		

黄豆の品種

黄臍	50%	旱粳子の品種
白眉	50%	全部白光頭を栽培

四　農家の作付割合決定の理由

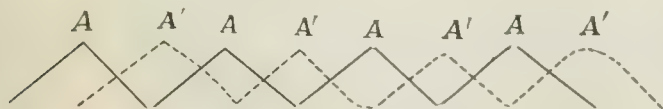
之は主に輪作關係によつて決定する。時に相場の關係上例へば黄豆を多く作付する事はあるが、收量減少甚しき爲に、又直ちに元の輪作に返る。

五　主要輪作様式及び肥料との關係

先づ作物組合せを見ると、

	1年目、	2年目、	3年目、	4年目
A	黄豆	高粱	穀子	
B	〃	〃	粳子	穀子

施肥する時は、第1年目の黄豆の時である。之は黄豆が主要作物中の大宗で、其の品質收量の如何は、直ちに農民の經濟上に大なる影響を及ぼすもので、加之黄豆の特性として之等主要作物に比し、肥料に對して甚しく敏感な爲による。滿洲の氣候を見ると降雨少く乾燥して居り、その爲に一般平地に於ては肥料養分流失する事日本に比して少量で、よく土壤に保持され、1年間にして而も全部分解吸收される事無く、滿洲に於て數年毎の施肥可能なる原因と考へられる。土地の肥沃なる所では4年輪作を行ひ、4年に1度施肥して居る。

更に輪作を說明するに黄豆、高粱、穀子を例に取る。

Aに1年目に黄豆を播種する。翌年更にAに高粱を播種する。之は黄豆の特性を利用して窒素質を利用する爲である。

A′に3年目に穀子を播種する。之は高粱の根株を掘る時に、Aの土がA′の所に行き、そこに自然に畦が出來る。又高粱は吸收力强くAよりは肥料養分を殆んど吸收する故に、Aより肥料養分のあるA′に播種する。4年目に又Aに黄豆を播種する。之は粳子の根は丈夫であるから、其の上に黄豆を播種する事が出來ない事と、他は施肥の關係とによる。

即ち3年目にAはA′よりも低いので、そこに土糞を入れてA′の土を其の上にかけて黄豆を播種する。此の畦の代る事を、本屯で「播擦子」と謂ひ黄豆の如き比較的弱き根を土の中に入れる事を「湯擦子」と言つて

居る（此の場合には畦は代らない）。

六　混播の主な様式

主な混播はない。唯高粱の發芽不良な時に、其の間に小豆を播種する事があるが、混播する意志の下に行ふのではなく、已むを得ず土地を利用する爲に行ふもので、混播と見るべきものではない。高粱を收穫する頃小豆は未だ青々として居り、高粱收穫後生長成熟するに至る。從つて各作物中小豆の收穫は最も遲い。
又小豆は、同樣の理由に依つて、穀子の間に播種する事がある。其の他圃場の周圍に大麻の如きものを栽培する事もある。

七　天災害、病蟲害及び其の他災害と其の對策

民國8年頃穀子に、夜盜虫發生して收量半減以下となつた。
民國13年頃降雨多く、各作物共相當の被害を受けた。
民國14年6月13日迄降雨なく、收量が4割方減少した。
民國15年9月上旬降雹あり、收量半減以下になつた。
又最近6ヶ年瞎眯虫（夜盜虫ならんか）發生し、黃豆、高粱等を食害した。比較的高地に多く發生し、午後1時頃から出て盛に食害を加へ、特に黃豆に甚しい害を加へたと言ふて居る。
而して之等に對しては何等の防蟲方法も講ずることなく、唯菜園に發生した害虫は、捕殺する事も有つたといふ程度である。

八　貯藏法設備、期間

本屯に於ては穀類の貯藏の場合には、大農家では粒のまゝ穀倉に入れ、小農家では囤子（柳の枝で造る）の中に入れる。取出しに便利の爲、其の上部に搯子（穴子）を取付けて居る。又麻袋に入れて部屋の中に置く事もある。
馬鈴薯も麻袋、又は筐の中に入れて部屋に置く。此の部屋は農舍に比して、暖く凍る事がないからであると言ふてゐる。
蔬菜類に就ては白菜、大根の如きものは、土中に穴を造り此の中に貯へゐるが、此の設備を「窖」と言ふ。
此の中に白菜と高粱の莖稈と交互に入れ、大根の如きは少量の土と共に交互に入れてゐる。
馬鈴薯も此の中に入れる事がある、此の場合には、大根と同樣の方法をとる。
葱の如きはその儘農舍に置く。之等の蔬菜類は、翌年の5月頃迄貯藏することが出來るのである。

九　採　種　法

今主要作物の採種法を見れば、黃豆は收穫する時に良い株を取り殘して好く追熟させる。
高粱は圃場、又は脫穀する時に穗選する。穀子も高粱と同樣である。旱稗子の如きは、圃場で良い穗を拔き取る。

菜園内ノ高粱ノ堆積

個人所有穀倉（調査屯）

精選した種子は更に注意して、脱穀後乾燥の良い所に貯へて翌年の播種用に供する。

蔬菜類の如きものは、自家で種子を取り、白菜の如きは種子を縣城附近の専門にやつて居る農家より買ひ、葱の如きものも、苗を購入してゐる。

農民は直接品種改良の如きことを考へて居ないが、自然に母本選擇に依つて、純系分離の如き方法を行つて居る。

十 主要作物耕種法

1 作物名 黄豆

(イ) 品 種

黄臍、白眉が主に栽培されてゐる。何れも收穫期早く收量大で品質も亦良好で、搾油原料、食料何れでも可である。

(ロ) 採種及び種子の貯藏

九の採種法の項參照

(ハ) 種子の豫措時期及び方法

採種の際適當に混雜物を除去してゐる程度で、特に播種前に豫措を行ふことはない。

(ニ) 整地、播種、鎭壓

先づ之等の順序を見るに

施肥する人1人→大犂1人→足で踏みながら鎬頭で土を碎く人1人→播種人1人

最後に前に播種した畦を、1度に2條大犂に付いて居る木頭棍子で鎭壓する。此の場合に、石頭棍子で鎭壓しない。之は黄豆粒は大きいから損傷を受くる事が有るからである。

施肥人は前に圃場に運搬した土糞を糞筐で一條に施肥する。(輪作の項參照)播種量1天地6斗5升位である。

大犂は馬、或は騾の3頭曳きであつて、1人が禦して前作物の根株を施肥した上に返轉し、其の次の人は鎬頭で土を碎きながら足で其の上を踏んで行く、最後に播種人が下種し乍ら1人進んで行く。人4人3頭曳き大犂1で、1日に1天地位の工程であると言ふ。

播種法は「點播」と「條播」との中間に屬すべきもので、「點播」の方に片寄る時には3~4寸の間に4~5粒づゝ播種する。

畦幅は昔は2尺位であつたが、現在は土地利用上、1尺8寸位になつたと言はれて居る。

以上の諸作業は4月中、下旬同期に行ふものである。

施肥量は土糞1天地 3,000貫位である。

(ホ) 管 理

除草 5月中旬 }
　　 6月上旬 } 3回
　　 6月下旬 }

除草は鋤頭で行ひ、第1回目の時は1人で3日間に1天地、他は5日間に1天地位の工程である。第1

回目の時には、土壌に保水させる爲、上部の土のみ軟にする。株間の面倒たる所の除草は、畦間の除草を行つた後に、女子供が手で行つて居り、4 人で1日1天地位である。

中耕は除草後直ちに行ひ、鎬犂1ヶ1人で1~2天地の工程である。

（ヘ） 開花期、成熟期

開花期7月上旬

成熟期9月中旬(白露の時)

（ト） 乾燥及び調製

收穫後束にして1ヶ所に 5~6 束集めて乾燥して置き、村公所の運搬命令を待つ。本屯では收穫物を運搬するのは、村公所の命令によるが、これは收穫物の野外乾燥中に、その盗難に會ふことを防止する爲であつて、若し命令前に運搬した事を看青的に發見された時は、盗んだものと見做され、それ相當の罰を受ける。村公所の命令のなかつた以前は、盗まれる事も時々あつたと言はれてゐて、屯民は此の制度を喜んで居る。

運搬したものを調製するには、先づ打場に高さ1尺位に積み、其の上を役畜をして磟子を引かせる。此の仕掛は午前午後各1回で終る、1打揚より大體黄豆 2.7 石位取れる。之は役畜1頭の場合である。

仕掛けた物を2度位返して後、莖稈を外に出して、黄豆粒を中央に集め、風を利用して精製する。

（チ） 包裝販賣慣行

約1石入の口袋の中に入れるが、これは木棉で造つたものである。

大農家は直接縣城に運搬し、小農家は仲買人に賣却する(販賣購入事情の項參照)。

2. 作物名　　高粱

（イ） 品　　　種

黒殻蛇眼紅、紅殻大蛇眼等主に栽培され、棒子も少しく栽培されてゐる。此の中紅殻大蛇眼は收量多く品質も良く收穫期も早いと言ふ。只黒殻蛇眼紅に比して稍黒穗病の多いのが缺點である。

（ロ） 採種及び種子の貯藏

九の採種法の項參照

（ハ） 種子の豫措時期及び方法

黄豆と同じく採種の際に混雜物を除草精選して、播種前に特に豫措を講ずることはない。

（ニ） 整地、播種、鎮壓

之等は何れも4月中旬頃同時に行ひ、堆肥は黄豆の時のみ行ふ。播種量は1天地2斗7升である。之に用ゆる農具の主なるものは壊耙である。其の他は大體黄豆に準ずる。

（ホ） 管　　　理

大體黄豆に準ずる。中耕は一般に除草後直ちに行ふ。間引きは1ヶ所より 4~5 本發生した時には、1~2本にする。

（ヘ） 出穗期、成熟期

何れも黄豆より少し早い。

（ト） 乾燥及び調製

9月中旬頃根元より刈取し、20束位1ヶ所に立てゝ乾燥させる。1天地に人2人位刈取りに要する。運搬する時に穗を切り取つて運搬し、其の他は大體黄豆に準ずる。

1天地の收穫物に對して人3人、馬1頭(驢2頭)を要すると言はれてゐる。

（チ）　包裝賣却慣行

黄豆に準ずる。

3.　作物名　　　穀子

大體高粱と同樣で播種量は1天地當7升である。

4.　作物名　　　旱粳子

大體穀子に同じ。播種量は1天地當4～5斗である。

旱粳子は播種期が早い程收量が大であると言つてゐる。

穀子と旱粳子とは播種前に、雜草の種子、不稔粒等を除く爲に水選する。

第五節　農　耕　生　産

一　作物別生産力

本屯に於ける各主要作物の生産力を次に示す。但し康德2年度の中則地の生産力は集計表によつたものである。而して屯民の語る所に依ると、2年度は平年作より少しく收量が少ない。(天災害、病虫害の項參照)

新制度量衡に依る

作物名＼年度		康德2年度			豐年			平年			凶年		
		上地	中地	下地	上地	中地	下地	上地	中地	下地	上地	中地	下地
高粱	主産物	石 15.00	石 12.79	石 9.00	石 18.00	石 15.00	石 12.50	石 16.00	石 13.00	石 10.00	石 13.00	石 10.00	石 6.00
	副産物	斤 2,600	斤 2,500	斤 2,300	斤 3,000	斤 2,800	斤 2,600	斤 2,500	斤 2,400	斤 2,200	斤 2,000	斤 2,000	斤 2,000
黄豆	主産物	13.00	9.13	7.00	16.00	15.00	13.00	15.00	13.00	12.00	10.00	8.00	5.00
	副産物	1,500	1,400	1,300	1,800	1,700	1,700	1,600	1,500	1,500	1,500	1,400	1,400
穀子	主産物	10.00	8.91	7.50	13.00	12.00	10.00	12.00	11.00	11.00	9.00	8.50	7.50
	副産物	1,800	1,700	1,500	1,800	1,800	1,700	1,800	1,700	1,600	1,600	1,500	1,300
旱粳子	主産物	16.00	13.47	10.00	20.00	19.00	16.00	17.00	16.00	15.00	13.00	11.00	7.00
	副産物	1,400	1,200	1,200	1,600	1,500	1,500	1,500	1,400	1,400	1,300	1,300	1,200

此の表に依つて見ると、第7區の生産力に於ては穀子の收量が少い。之は本地方に於ては、黄豆の如きを上級の土地に栽培して、穀子の如きは比較的中、下級地に栽培する結果であつて、又旱粳子の收量が第7區が比較的少いのは、別に收量其のものが少いのでなく、他より特に良く精選したものとして調査した關係であると言ふ。

要するに本屯の耕地は、全縣として見る時には、生産力大であつて、他地方の上則地に匹適すべきものと思惟される。

二　耕種法の如何による生産力の差異

本屯に於て、秋耕を行つたものを時々見受けるが、之を屯民に聞けば秋耕を行つた所は比較的濕地の所で

秋耕すれば春先になつて土壌水分が適當に發散し、加之に土地軟かになり作業容易で、播種した種子は發芽が早い、又收量特に旱粳子の如きは3割方增收を來すと言つてゐる。

此の秋耕は一般に濕地の所に行ふものであるが、北滿地方なれば一般に行つて良結果を來すと考へられる、即ち之による時には、土壌の分解を早め春先になつて土壌に吸熱力を增加させ、從つて發芽を早める。此の吸熱力は、土中の水分發散するに及んで益々增加する。併し南滿洲一帶に於ては、一般の土地に及ぼす事は、降雨の關係上不可能である。唯現在は濕地の所に、秋耕して居るものもあると言ふに過ぎない。

旱粳子は播種早い程收量增大する。普通の播種期より天候の關係で10日位早く播種するが、時には約1割5分の增收を來し、遲い時は是に反するか、又は全然收穫がない。高粱、黃豆は適期以外は、早晩播何れも1割方減收し、穀子は比較的播種期に左右され、減收を來す事は少ない。

三　位置、土壌の種類による生產力の差異

今各主要作物の土地の高低による生產力の差異を見ると、高粱は比較的低地に良く生育して、高地に於ける場合よりも、其の收量に於て約1割方增收を來し、黃豆は之に反して高地は收量多く、又品質も良好であり、特に含油量大である。

穀子の如きは、低地に栽培する時には半減し、旱粳子は却て2割方增收を來す。

更にアルカリ土に對して生產力を見ると、本屯の約7割を占める粘質壌土に對しては、高粱をアルカリ土に栽培する時には、約4割方減少を來し、黃豆は半減し穀子も亦半減し、旱粳子の如きは殆んど收穫皆無になると言はれる。

四　奪掠農法による地力減耗の狀態

開墾當初は無肥料で栽培するが、各作物の收量は大であつたと言はれて居る。然るに現在は漸く地力の減少を訴へ、收量は減少しつゝある。之は滿洲の氣候寒冷で、冬期の燃料として各作物の莖稈は勿論、路傍の一草に至る迄利用したが爲、長年月中土壌中特に、有機質窒素質不足を來した事による。今有機質と本屯の土壌との關係を見ると、先に有機物の植物に及ぼす關係を說明すれば、この關係は非常に複雜で、間接的と直接的との二つある。有機物は比重が輕いから、之を多く含んで居る土地は比重輕くなる、又有機物は水を吸收する事大であるから、本屯（南滿）の如く春先比較的降水の少ない所では、土壌中に有機質のあると言ふ事は、保水力に關係して重要の事である。本屯に於ける土壌は粘質のものであるから、有機質を土中に入れる事は必要の事である。即ち之による時には粘土をして團粒組織として其の硬化を防ぎ、空氣の土中流通を可良ならしめ、作物の生育を良好にする、又此の爲に、土壌微生物の生育を良好にして、土壌分解速になつて間接的にも直接的にも作物の生育を助長する、又有機質の黑色なるは、太陽光線吸收大きく從つて地溫を得て特に發芽に關係する。寒冷なる所では、此の事は大切の事である。又有機物の分解產物は種々植物に直接利用される。分解產物である炭酸、有機酸は、膠質に鑛物質を溶解する。故に間接的に植物（作物）に養分を供するものである。

以上の如く本屯では有機質不足を來して居る事は明かであるが、農民は土糞を使用して居るに過ぎず、堆肥は全然使用されて居ない。作物の莖稈は大部分燃料に使用して居る。堆肥の如きは日本に比べ、滿洲は寒冷で且乾燥して居る關係上、1年間位では施肥可能な程醱酵せず、又屯民には堆肥の有効なる事を知る

ものも有るが、燃料の關係上堆肥を使用せず、故に農民に堆肥を使用させるには、燃料を解決しなくてはならない。此の爲には30年位の間に植林を完成する事にある。

而して又有機質の外に窒素質不足を來して居る事も明かな事である。燐酸は窒素質程甚しくは不足を告げない。

今窒素肥料單用施肥によつても、收量に於て相當の增收を來すと言はれて居る。此の窒素肥料補供として、黃豆の輪作に依つて僅に利用して居るに過ぎない。

五　氣象と生產力との相關

本屯に於ける所謂豐年型と凶年型氣象を示すと、

豐年型　イ、播種前適當の降雨あり、發芽後無霜、無雹なる事

ロ、6~7月頃の各作物手入れ中降雨なく、後適度の降雨あり暖き事

ハ、降雨なく晴天にして、叉無霜、無雹なる事、特に雹のなき事（9~10月頃）

ニ、冬期には比較的暖く降雪少なき事、雪多きは春の播種に關係する

凶年型は豐年型に反する、特に春各作物發芽當時降雹あり、收穫期にも降雹ある時は、收量に非常に關係する、而して屯民の語る所によると、春先降雨有る年には一般に平年、叉は豐年であると言ふ。

第六章　農　業　金　融

本屯は第7區夏家樓村の附村であつて、西南1滿里の地にある純農村であり、北部を東西に走る鐵法國道に近く、東方45滿里には縣城が、西方45滿里には法庫縣城、南方75滿里には新臺子、西南10滿里には大靑推子等の市場が有る、鐵法國道には毎日2往復バスが運行し、交通機關に惠まれてゐる。

前記の都市の內、最も緊密な關係にあるのは縣城であつて、農產物の販賣及日用品の購買の約8割は縣城で行ふのが普通である。金融關係に就ては民國19年(1930年)に農商民救濟の目的で、貯蓄會が設立されたので、屯民は餘程恩惠を受けたのであるが、借入手數の簡便、利子が安く且期限の長い質屋利用が、最も普遍的に行はれてゐたのである。當時は特產物及勞働賃銀も高かつた爲、(年工100圓、日工收穫期80錢、普道40~50錢)一般農民は、經濟的觀念を缺き消費が亂雜であつたので、負債する者が多かつた。然し世界的不況に禍され、特產物價が下落したので、それに伴ひ信用も失墜し、現今少數の農民が廣泉當、東信當等に質入する程度である。大靑推子、大夏家樓屯は日用品其他の少額の購入の程度である。新臺子とは殆んど關係が無い。

治安狀態は民國20年（1931年）が最も悪かつたが、その前後は被害も尠く、金融上に不安を及ぼす樣な事は無かつたのである。

災害狀態に就ては、自然的條件に惠まれ、康德1年（1934年）に水害虫害を被つたが、災害と言ふ程でもなかつた。隣屯に比べて北方雙樹屯、雙林子屯、狼古洞坨屯は僅少で、南方の網戶屯、大楡樹屯は甚大で、本屯は中間位に有る。康德2年（1935年）の特殊性として、7月、8月に、近屯が少額の匪害を受けた位で平安で有る。家畜、衣服購入等の爲、特に借金の多かつたと言ふ事はなく、災害の影響も無い。

不在地主は小地主で、地主よりの金融に不便は無い。在住大地主無く農家が、之に依存して居る事も無い樣である。

概観表

（借　　入　　額）　　繰越債務を含む

農家態様	戸数	負債農家戸数	総戸数に対する負債農家戸数%	負債総額	全戸1戸當	負債農家1戸當
	戸	戸		圓		
地主	2	2	—	1,405.00	—	702.50
地・自	3	2	—	7,186.67	—	3,593.34
地・雇	1	1	—	8.35	—	8.35
自作	1	1	—	7.00	—	7.00
自・小	7	3	—	2,004.00	—	668.00
自・小・雇	3	—	—	—	—	—
自・雇	5	2	—	42.00	—	21.00
小作	3	3	—	163.71	—	54.57
小・雇	6	2	—	125.00	—	62.50
雇農	8	3	—	113.50	—	37.85
雑業	1	—	—	—	—	—
無職	1	1	—	50.00	—	50.00
合計	**41**	**20**	—	**11,105.23**	**平均** 270.86	**平均** 555.26

（貸　　付　　額）　　繰越債権を含む

農家態様	戸数	貸付農家戸数	貸付額	備考
	戸	戸		
地主	2	—	—	
地・自	3	1	743.67	
地・雇	1	1	75.00	
自作	1	—	—	
自・小	7	3	490.00	
自・小・雇	3	2	295.00	
自・雇	5	2	555.00	
小作	3	—	—	
小・雇	6	4	178.35	
雇農	8	1	20.00	
雑業	1	—	—	
無職	1	1	7.00	
合計	**41**	**15**	**2,364.02**	

康德2年度貸借一覽

農家態様	戶數	借入戶數	借入額	貸付戶數	貸付額	備考
地主	戶 2	戶 2	圓 275.00	—	—	
地・自	3	2	530.00	1	27.00	
地・雇	1	—	—	1	75.00	
自作	1	1	7.00	—	—	
自・小	7	2	357.00	—	—	
自・小・雇	3	—	—	—	—	
自・雇	5	1	2.00	1	5.00	
小作	3	3	141.00	—	—	
小・雇	6	2	125.00	—	—	
雇農	8	2	19.50	1	20.00	
雜業	1	—	—	1	7.00	
無職	1	—	—	—	—	
合計	41	15	1,456.50	5	134.00	

借入先	件數	金額	%	備考
7區（隣屯）	45	圓 4,083.00	37	
6區	3	1,285.00	12	
縣城	21	2,923.21	26	
屯內	29	2,714.02	24	
延壽縣	1	100.00	1	
合計	99	11,105.23	100	

備考　集計表より。

民國末期の好景氣に借金したが、現在其の負債に依つて屯內金融の逼迫して居る觀が有る。然し此の負債の爲、廢耕地を生ずるとか、小作人の小作地放棄等の事はない。土地の賣却は賣主は相當有るが、買主が無い爲に屯內に於ては僅少が行はれてゐるのみである。金融逼迫に依る家畜の賣却等の事は殆んど無く、又事變後特別に金融の硬塞して居ると言ふ事は無い。

第一節　金融の種類

農村に於て何等の金融機關を持たない農村は、自然其の金融を親戚或は知人、友人等から之が融通を受けて居り、農村の金融は殆んど之に依存しておると稱しても過言では無い。本屯は縣城から遠距離にあり、從つて當舖其他金融合作社等の加入は無く、金融機關には反つて惠まれておらぬ狀態で、前揭表に見る如く本屯の負債總額は相當巨額であるが、之は一部特殊農家が、民國時代銀行、或は其他の金融機關より借入れたもので、當舖利用等も至つて尠い。

家畜の賣却は屯内には大家畜數は少數であり、上述の通り金融逼迫に依る賣却は無いが、若し賣却するとしたら、其の順序は次の如く行はれると言ふ。

1. 家禽類　農耕に影響せぬ爲
2. 豚　　　農耕に必要なき爲
3. 牛
4. 騾
5. 驢
6. 馬　　　農民が馬を賣却するのは最後で有る

一 個人貸借

親類間貸借

件 數 44件 39%　　　　金 額 3,852.33圓 34%

知人間貸借

件 數 46件 52%　　　　金 額 5,159.34圓 47%

全負債中、個人貸借は90件で金額で81%で大部分を占めてゐる。

個人貸借の條件について見ると、親類、知人共に期間10ヶ月の作が多く、親類間で 61%知人間では30%を示して居る。利子から見れば、3分(月利)が多く、借入方法は殆んど直接口頭を以て行つてゐる。本屯では職業的な高利貸的性質を帶びて居るものはない。

親類同族間に於て「掛錢」と稱する貸借が有る。

掛錢に就て、

少額の金融で50圓以上は無く、期限も5日間以下で、無擔保・無保人・無證書で融通する、之を「掛錢」と稱してゐるが、期限の短いのは情實に依つて返濟が延び、取立に困難を感ずる爲である。

同族間の金融

妻の持參金は戶主の金として取扱ひ貸借關係は生ぜず、娘の金は別扱ひとしてゐるが、本屯の4號農家では40圓、月利2分8厘で、節句費用として借用した實例があり、然し1ヶ月とか2ヶ月の貸借は無利子が普通で有ると言ふ。

兄弟及姪、伯父、伯母、叔父、叔母等の貸借では、普通利息は月利1分5厘とか2分5厘迄とし、年利で2割を普通とする。

實　例

3號農家では

1、 姪老于より700圓
2、 姪老李より500圓

期間共に1ヶ年月利1分5厘で、借入方法は直接口頭で借入した。

3、 分家鄧國慶　150圓、月利2分5厘、期限1ヶ年

4、分家郭國朱　20圓、月利3分、期限1ヶ年

で借用した實例がある。

大家族の場合、家の借金と、家族内の借金の區別

家族の生活用に當てる借金は、戶主名儀て生活費用以外の家族内の借金は、借用者名儀であると言ふ、理由として大家族の場合は、不良性を帶ぶ不良分子が必ず居り、亂費の結果家を倒す事が有るのを防止する爲で、家族全體の借金は家族會議で之を決定する。

知人間の貸借で、民國17～18年(1928～1929年)頃に於て、特產黃豆の高價の爲、貸主少數に反し、借主多數の爲、月利8分位の高率を示めした事があつた、又事變後でも10圓以下の少額の場合に於てのみ、月利4分位の高率を見る。(鄧屯長より聽取)

二　地主―小作人　雇主―雇人間の金融

康德2年度(1935年度)に於て

地主―小作人間金融の概要

13號農家が不在地主より借入の實例が有る。

農家	金額	件數	用途	期間	利子	備考
13 農家	圓 60.00	1	小作料	10ヶ月	3分	不在地主

地主よりの借金は、小作料返濟、農具、家畜の購入の場合に借金するので、條件は普通利子が月利3分位で、他に條件はない。現物の借入は、食料缺乏期に極少量の2斗、3斗の借入を行ふ程度で有る。

取立方法

殆んど多くは秋收穫後地主は現金、或は現物で之を取立て、穀物收量少量等の場合でも、地主が秋收穫前に作物差押へする樣な事は無く、取立不可能の時は翌年に繰越してゐる。

貸借により小作條件に變化はない。

小作人が小作料を滯納する事は有るが、無利子で、之を地主は貸金として繰越す樣な事も無く、又地主は小作人に對して食料、種子の利子付貸借は、習慣的に行はれてゐるが、種子の貸與は小作條件の一部として行はれてはおらない。

雇主―雇人の金融

康德2年度に於て雇主から借金した者はないが、唯雇主の家族より借金した者がある。

農家	金額	件數	用途	期限	利子	備考
13 農家	圓 65.00	2	家の修理 馬の購入	10ヶ月	3分	雇主の妻 雇主の長男

以上の如く13號農家にその例を見るが、現金貸借の外現物の貸借も行はれるが、少量に限られてゐる。取立方法として勞賃より差引く。

雇人の負債による雇傭條件は何等變化なく、又勞賃にも變化はない、負債と雇傭關係は無關係で有る。負

債の返濟出來ぬ場合、次年度も雇傭されると言ふ事はなく、各自の勝手で有る。

然し他屯では負債の返濟迄、無理に雇傭されると言ふ例は有るが、之も雇傭條件に變化はない。

年工の前借に就て

年工が前借を申込めは、無利子、承認保人1人で貸すのであるが、此の場合全額、半額、一部分の前借かは年工の希望によるのであつて、前借により雇傭條件には何等變化を見ないのである。

雇主が雇人に對して勞賃の不拂の場合

年工の場合月利2分、月工、日工の場合は無利子である、又前述年工の前借に對しては無利子である。

三 現物貸借

康德2年度に於て

農家	石數(換算金額)	件數	利子	用途	期限	備考
23號農家	石 4.05(20.04)	1	圓 —	食料	秋收穫後	
25號農家	0.54 (2.67)	1	0.20	食料	3ケ月	
合計	4,59(22.70)	2	—	—	—	

特に現物貸借が多いと言ふ事なく、屯民の内に食料の缺乏を來した場合に生ずるもので有る。屯内で或農家が毎年多量に現物貸付を行ふと言ふ例はない。

貸主は家族數の少ない地主、及雇主等屯内でも富農で、借主は小作人及雇人で有る。

穀物の種類は大部分高粱と穀子で有り、主として食料用であつて、種子の借入は稀に行はれる。

返濟方法は、主に食料缺乏期に借りて秋收穫後返濟する事多く、總べて期限は短期である。

利子に就ては、年利2割が多いと言ふが、23號農家は無利子、25號農家は借入條件が、現金返濟故に月利20錢の利子を附してゐる。

取立方法は、返濟方法で述べた如く秋收穫した穀物で取立る、殆んど未濟は無いが、翌年に延びた場合は次年度に繰越し、同年秋收穫した穀物より取立る。

四 家畜、農具の貸借

知人、親類等よりの借入れは料金は不用で總べて「白借」である。

農具は使用中に壞れた物は使用者が修繕し、修繕出來ぬ大破損は辨償する。

五 糧棧雜貨舖

糧棧よりの負債實例

3號農家が民國18年（1929年）縣城の成聚生（倒産）より保證人手續を立て、手數料なく地券10天地を擔保とし、月利2分期限1年の條件で、500圓を借入れた一實例が有るだけで有る。

雜貨店との貸借關係及掛買狀況

夏家樓村(第7區)の雜貨店と農民の貸借關係に就て

1、 關係　親類、友人

2、 條件　貸借の場合は、10 圓以下で月利3分保人不要、10 圓以上の場合月利3分で保人を必要とする。

（實例） 32號農家が、夏家樓村の程連玉商店より 22 圓直接、口頭、月利3分現金一時拂ひ期限 10 ケ月の契約で借入れた實例が有る。

借金により商店より物資の購入を餘儀なくされて居る實例はない。

返濟不能の場合、保證人が返濟する、若し保證人の返濟不能の場合は村公署に出頭、最後に土地賣却を餘儀なくされる。

沿革的に見て商人が土地投資を熱望し、貸出した例は民國 17～18 年（1928～1929 年）に行れたが、現在では土地收得しても好き利用法無い爲、農民は借りたくとも商人が農民を信用せず貸出さない。

本屯では縣城商人との貸借關係はない。

本屯に於る掛買の狀況は、民國 14 年頃（1925年）から行はれ、農民は掛買の可能な商店に行つて購入する結果、各商店が競爭的に開始し、民國 17～18 年(1928～1929年)に至り、最も盛んに行はれ、民國20年(1932年)頃になつて掛賣範圍を縮少した。其の理由は穀價の暴落に依る農村疲弊し、農民は多額の掛買をして返濟不能に陷入つた爲である。

掛　買　方　法

信用借で帳簿に記入するのみ、1 ケ月以内は無利子で、1 ケ月以上は期間の長短に不拘月利2分5厘で有る。

品物は布、白麵等の衣服及日常品で有る。掛買による價格の變動はない、期間は普通3ケ月以内と限定せられ、節句に返濟する。

六　批　　　糧

本屯には現在ないが、民國 14 年(1925年)頃より行はれた、批糧は如何なる農家でも行つたが、比較的小農に多く、地主、大自作農に保證人になつて貰ひ賣却してゐた、之は農家が秋に現金に窮しての結果で、批糧を行へば必ず搾取される事を知り乍ら金融上止むを得ず行つてゐたのである。當時は各糧棧が行つてゐた。

批糧の方法は保證人 1 人を必要とされてゐた。

批糧の行はれる時期は、7 月頃で種類は黃豆に限られてゐた。石數は最高 20 石、最低5石で、普通は 5 石位が最も盛んに賣買された。價格は賣買當時の市價の最高價により取引され、納入期の價格の變動には關係が無い。

資金の用途　生活費、勞賃、負債返濟、家畜の購入。

批糧は、糧棧、農民共に希望して7月頃農民は金融上不利でも之を行つたのである。

保證人の責任　承認保人が全責任を負擔し、主として親類、同族、地主等がなつた。

作物の收穫出來なかつた場合

持無の時は他より購入して納入する、納入糧石が不良の場合は、他より品質最上のものを購入して納入し

てゐた。

批糧の行れた全盛の時代

民國6年(1917)頃から行はれ、民國 16 年(1927年)頃が最盛期で、民國 20 年(1931年)に至つて行はれぬ様になつた。之は民國 20 年 (1931年) 秋黄豆價格の暴落により、糧棧は此の影響を蒙つて、莫大なる損失を生じた爲である。

七　當　　　舖

質入件數　　8 件

借 入 金　　60圓50錢

總借入金に對する割合 (件數、8%　借入金　1%) .

次に康德2年(1935年)度の狀態は次表の如くで有る。

當舖へ質入狀態

階級	戸數	件數	%	金額	%	備考
地	戸 2	件 3	37	圓 35.00	58	
自・雇	1	1	13	2.00	3	
小・雜	1	1	13	15.00	25	
小・雇	1	2	25	5.00	8	
雇	1	1	12	3.50	6	
合計	6	8	100	60.50	100	

利用層は地主に多く、件數 3、金額 58% を示し、次は小、雜で件數 1 金額 25% を示し、其の他は大體同一である。

質　入　物　品

物品	件數	%	金額	%	備考
着物	件 2	25	圓 10.50	17	
毛皮	1	13	16.00	28	
布團	2	25	5.00	8	
車輪	2	25	27.00	44	
外套	1	12	2.00	3	
合計	8	100	60.50	100	

屯民の質入品は上記の如く衣服、布團、外套等で、農具、家具等の質入は無い。

屯民は一般に急に金の必要を感じた時質入を行ひ、質入を恥とする事はなく、各階級が行つてゐる。

質　入　時　期

縣城調査と同一で 5·6·7 月が多く、共他は金の必要に迫られる都度入質する。

質　出　時　期

縣風調査と略同一で 11 月、12 月、1 月、2 月、3 月が多い。之は年關に負債を整理する者と、春に至り夏物の質出をする事が多い爲である。

利　用　の　増　減

民國時代に比べ次第に減少しつゝ有る。

調査屯附近に於て利用の多い地方は、狐古司屯、雙井子の地方で、調査屯附近は少ない様で有る。

第二節　土地擔保金融

總借入金に對する土地擔保金融の割合を示すと次の通りである。

土地出典擔保	19件	19%	3,031.67圓	27%
地券擔保	5件	5%	2,085.00圓	19%
建物擔保	1件	1%	50.00圓	0%

以上が屯内の大略である。

土地の所有者が負債返濟の爲、土地賣却は相當多い様である。

又借金して土地購入するのは、4號農家に於て實例を見る。（出典證書は別表に記す）

擔保借入の概觀表

擔保保證	件數	金額	%	備考
無擔保	66	5878.06	53	現物評價を含む
土地出典	19	3,031.67	27	
地券擔保	5	2,085.00	19	
衣服及貴金屬	8	60.50	1	
建物出典	1	50.00	—	
合計	99	11,105.23	100	

出　典　證　書　（例 1）

立典地契文約人鄧國貴今因有正用將自地己冊地 1 段 1 天 2 畝 5 分計南北壠 75 條東至鄧姓西至鄧姓南至大道北至鄧姓特煩中人説妥情願出典與[illegible]成名下耕種言明典價隨時現洋票 130 圓整其洋筆下交清分文不缺 1 典 3 年錢到許贖如錢不到永遠耕種此係雙方情願各無返悔倘有返悔者有中保人承管恐口無憑立典契爲證

按年隨帶中則地畝　　　　李　　恩

中保人　王　連　升

代字人　鄧　宗　舜

舊暦康德 1 年 11 月 7 日　立典契文約人鄧國貴

出 典 證 書（例2）

立典地契文約人鄧國珍今有正用將自己冊地1段南北壠 80 條壠正共地1天6畝坐落7區大夏家樓馬村畢家窩棚村東南處煩中人說允情願典於門董桂花名下耕種言明典價國幣200圓正其洋筆下交足分文不缺1典3年錢到許贖錢要不到永遠耕種爲業倘有異說有中人一面承管恐口無憑立契爲證

隨代錢粮中則

東 本姓南官道		劉	岳	印
至 至	中保人	李	恩	印
西 本姓北鄧姓	代字人	王	國	元

康德1年3月6日　萬 15 立典地契文約人鄧國珍

出 典 證 書（例3）

立典地契人田寶珊因有正用將自己應分冊地1段 22 畝坐落鐵嶺第7區畢家窩棚村西處上則地南北壠 77 條壠經中人說允情願典於董貴花名下耕種1典3年爲限錢到回贖言明典價隨市通用國幣350圓整其洋筆下交足不缺贖地時省以通用國幣爲標準此係兩造情願均無異說有返悔者中保人双方承管恐後無憑立此典契爲證

畝捐錢粮均以上則按年繳納

	中保人	郎	雲	海㊞
	代字人	田	鏡	方㊞
中華民國 19 年古曆 12 月初1日	立典契人	田	寶	珊㊞

土地擔保と共に關係の深い保證人に就て

保證人　富農　信用の有る者がなる。

保證人の種類

保人、全責任を負ふ事はなく、負債した事を認める程度。

承認保人、負債の全責任を負ふ。

本屯では、保證人が責に任じた實例はない。

第三節　屯內金融の形式、性質

1. 借入先、貸付先

借入先は次表の如く、知人 31%（知人、友人）親類 23%で、質屋が 1%と云ふ狀態で、商人、合作社農工貸款、春耕貸款等よりの借入は全然無い。

貸 付 先

總べて知人貸付で有る。

借 入 先 概 觀

借入先	件数	金額	%	備考
知人	32	[illegible]	31	現物評價格を含む
親族	32	2,31[illegible]	[illegible]	
友人	14	[illegible]	[illegible]	
屋	2	1,200.00	11	
銀行	1	800.00	7	
同族	3	420.00	3	
嫂の弟	1	100.00	1	
當舗	8	60.50	1	
孫嫁の父	1	50.00	1	
戸主の妻	1	45.00	—	
戸主の長女	1	40.00	—	
地主	1	60.00	1	
戸主の息	1	20.00	—	
妻の兄	1	40.00	—	
合計	99	11,105.23		

2. 借入方法

仲介人を經る場合

親類、友人がなる爲、手數料は不用で、借入を證明する程度である。

證書を作る場合の作成方法、書式は別記の通りである。

借入方法概觀表

借入方法	件数	金額	%	備考
直接口頭	68	4,103.56	37	現物價評を含む
證書	31	7,001.67	63	
合計	99	11,105.23	100	

借用證書

立借叅字據人某玆煩人說妥借得某々名現大洋若干言明月利2分5厘生息由某月某日起然某月某日止以○個月爲度至期本利淸償如有拖缺等情有承還人負擔完全責任

恐空口無憑立此字據爲證

承還保人　○　○　○

代字人　〇　〇　〇

康德某年〇月〇日　　立借券人　〇　〇　〇

借用證書作成セル〇〇〇ハ〇〇〇ヨリ借リ得タ大洋何圓、利息年利2割5分ヲ證明セリ。何月ヨリ何月迄ノ1ケ年間定期ニ至リ元金利息共ニ返清ス、若シ返済セズ事有レハ責任負擔ハ總テ保證人ニ有リ、口頭ノミニテハ後日證據無キヲ恐レ此ノ證書ニテ證明ス。

保證人　〇　〇　〇印

代字人　〇　〇　〇印

年　月　日

借用證書作成者　〇　〇　〇印

3. 借入時期

春2月年工勞賃前拂金としての借入が多い、6～7月は食料缺乏期、12月には決算期である爲、借入が多い。

4. 借入額、貸付額

本屯の負債は 1、2、3、4 號各農家が、約 90 %の負債を有する、此の點より見て小農は或程度借入の能力無き者と見得る、貸付農家は屯内の中流農家が多い、故に中流農家が割合裕福である事が認められる。

屯内では民國 17～18年（1927～1928年）奉天票暴落の際、特産價騰貴と共に生活程度高くなり、金廻りよく過費の爲負債增加し、民國19年（1930年）奉天票の負債を大洋で返済する様になつたので、更に負債は重加し、事變後も變化はない。

5. 返済法

現物返済の場合、其の現物は高粱、黄豆等の換算は市價によるのであつて、最初より換算高は定めない。舊銀の返済の場合は、公定換算率に依つてゐる。負債を勞働で返済する事も有るが、其日數の計算は當時の勞賃に換算して支拂ふのである。

6. 期限

期限の慣行は無いが、大體別表の通りであつて、普通1ケ年が最も多い様である。

期限が來れば證書の書き換へ、或は又舊證書の上に書き換へる、強制的回收は行はず、利子を入れて居れば返済の強制はない。

期限の概觀

期限	件數	金額	%	備考
1ケ年	25	4.275.00	39	
3ケ年	19	3,031.67	27	
10ケ月	22	1,564.00	14	
無期	15	676.00	6	高粱8.10石を現金に換算す
6ケ月	3	268.35	2	高粱1.89石を現金に換算す
10ケ年	1	800.00	7	
5ケ月	1	250.00	2	
18ケ月	8	60.50	1	
2ケ年	1	100.00	1	
3ケ月	2	9.67	—	高粱0.54石を現金に換算す
秋收後	2	70.04	1	高粱4.05石を現金に換算す
合計	99	11,105.23	100	

7. 用途

用途は別表の如くで有る。

借入金中特に特產投機が多く、總計金額の36%を占めてゐるのは、第3號農家が民國17年頃から黃豆の投機を行ひ、之が損失を蒙り其の補塡及引續いて投機を行つたものである。

借入金の用途一覽表

用途	件數	金額	%	備考
舊債返還	36	4,877.00	45	
特產投機	11	3,996.67	36	
生活費	33	1,371.56	12	高粱 14.58 石を現金に換算す
小作料	7	290.00	3	
勞賃支拂	3	210.00	2	
結婚費	2	100.00	1	
土地購入	1	100.00	1	
農耕資金	1	50.00	—	
大家畜購入	1	45.00	—	
節句費用	1	40.00	—	
家の建築	3	25.00	—	
合計	99	11,105.23	100	

8. 取立方法、强制方法

本屯では、前述の通り期限が來ても支拂不能の場合、利子さへ納めておれば別に强制取立を受ける樣な事も無いが、本村附近では借主が承知して家畜を代りに取り立てる例も有る。「請吃大片肉」等の事は未だ行はれた事は無く、又貸借に關する紛爭も無い。

第四節　利　　　子

利子天引

慣習として、利子の天引は行はれてゐない。

利子計算方法

複利計算なし。

小月　3日間を言ふ　1ヶ月の$\frac{1}{10}$の利子を取る、若し11日の場合は3小月と稱し、端數2日の利子は計算せず。

別表屯內利子にて見る如く月利多く、月利中で2分5厘～3分が最も多く行はれており、無利子は知人、親類間の貸借に多い樣である。年利は少なく2割が、1件、2割8分が1件に過ぎない。

三年本利停

借主が返濟不能に至りたる場合に於て用ひられる。

契約上の利率と實際上の利子は同一で有る。

利子の變遷

民國17～18年（1928～1929年）特產價の昂騰、勞賃の高價により農民が過費し、其結果金に困り借金する者が增加し、之に反し貸主少く月利8分に上つた事が有るが、1年位經過して又3分位に低落し、現在に至つてゐる。事變後には變化はない樣である。

當舖利子

康德2年（1935年）春迄月利3分で有つたが、同年春より2分5厘に引下げられた。

農民の利子に對する感念は、普通2分5厘が妥當であると考へてゐる。

利子概觀

利　　　子	件　　數	%	金　　額	%	備　　　考
2 分 5 厘	27	28	4,368.50	40	
2 分 8 厘	3	3	240.00	2	
3 分	35	35	912.00	8	
2 分 3 厘	1	1	45.00	—	
2 分	3	3	250.00	2	
1 分 5 厘	2	2	1,200.00	11	
年利 2 割 8 分	1	1	60.00	—	
無	25	25	3,227.06	29	現物14.04石を現金に換算す
0.20圓	1	1	2.67	—	〃 0.54石 〃
年 利 2 割	1	1	800.00	8	
合　　　計	99	100	11,105.23	100	

第五節　投　　　資

1. 商工業資本の土地投資　　　行はれてゐない

2. 農民の商工業投資

3 號農家に於て、民國 17～18年 (1928～1929年) に特産投資をして惡仲介人の爲、3,000～4,000圓の損失を招いた。此の負債の爲、土地の出典、地券擔保で借金して返濟の止むなきに至り、現在では之が主因となつて同農家は益々財政上窮迫化してゐる。

3. 參　　考

第6區孤家屯に於て、李占久 (兄弟) が油房を經營してゐたが、康德1年 (1934年) に兄弟が死亡した爲、操業を中止したが、其の機械を購入して第7區夏家樓村小夏家樓屯に於て、同春油房が引續いて經營してゐる。

同春油房

經營株式大農家が1株 250 圓出資

株金拂込　康德3年 (1936年) 11 月下旬迄とする。

株　　主　劉巨川 (自作 60 天地)　　　徐守鈞 (地主3天地)

　　　　　田造豐 (地主 10 天地)　　　田喜豐 (地主10天地)

　　　　　鄧紹凱 (地主 15 天地)　　　田洪株 (地主10天地)

機械購入

李占久兄弟の油房機械を、株主鄧紹凱は親類關係である爲、450 圓で康德4年 (1937年) 2 月決算期返濟の約束で購入した。

株主關係　親類關係者で他の者は加入を許可しない。

家　　賃　株主徐守鈞の所有で、年 50 圓

勞 働 者　現在 12 人、實際勞働者 7 人

勞　　賃　1 人 10 圓、2 人 9 圓、1 人 8 圓、2 人 6 圓、3 圓大師夫（工賃は 1 人當を示す）

以上は總べて月工で、食費は油房が負擔し、1 人當 1 ヶ月 6 圓である。

勞働時間　晝夜更代、1 人當 9 時間勞働

午前 3 時――午前 12 時迄

午後 3 時――午後 12 時迄

役　　畜　8 頭(馬)農閑期利用、馬の持主が厩舍を提供す。

原　　料　自家黄豆を持寄及隣屯黄豆を株主が買占る。

所要原料　1 日黄豆 8 石 1 月 240 石

製 産 額　豆油 1 日 250 斤 1 月 6,100 斤(單價 1 斤 0.29 圓)

豆粕 1 日 50 枚 1 月 1,500 枚（單價 1 枚 1.60圓）

小賣を主とする爲販賣費は不用とする。

1 ヶ月收支決算

支出 3,721.80 圓

勞賃 51 圓

食費 42 圓

原料代 3,600 圓（240石）

家賃 4.50 圓

機械消耗費 3.75 圓

收入 4,020 圓

殘高 298.20 圓

決　　算　株主の全責任負擔で、康徳 4 年（1937 年）2 月下旬とする。

配　　當　6 人均等

販賣方法　小賣中心で隣屯に販賣、康平縣に一部出す。

出 資 金　現金、現物、家屋、勞力でもよい。

設立目的　農閑期を利用す。

將　　來　今年成功すれば一大擴張をする。

（小夏家樓屯、同春油房にて）

第七章　農家經營

第一節　經營面積

一　一戸當り經營面積

本屯に於ける全耕地面積は1,721.58畝で、之を1戸當りの平均耕地面積を見れば4.19天地であり、耕作農家1戸當りにすると、4.92天地である。之を村縣と比較すると多い様である。

夏家樓村　　3.59天地　（村公所調査）

鐵嶺縣平均　　3.20天地

10ケ屯平均(夏家樓村)3.26天地　（實態調査）

農家態様別所有面積表

農家態様 ＼ 戸數面積	戸數	總所有熟地面積	1戸當り熟地面積	總所有熟地面積の%
	戸	畝	畝	
地主	2	432.30	216.15	26.4
地・自	3	693.00	231.00	42.2
地・雇	1	5.50	5.50	0.3
自作	1	165.10	165.10	10.0
自・小	7	175.68	25.10	10.7
自・小・雇	3	74.30	24.70	4.5
自・雇	5	91.10	18.20	5.4
小作	3	—	—	—
小・雇	6	8.90	1.50	0.5
雇・農	8	—	—	—
雜	1	—	—	—
無職	1	—	—	—
合計	41	1,645.88	40.14	100

經營規模別經營面積表

規模 ＼ 經營數面積	經營數	經營面積
天地	戸	天地
10.1 以上	4	81.810
5.1——10.0	5	32.43
3.6——5.0	10	42.958
2.1——3.5	3	9.500
1.01——2.0	3	3.980
1.0 以下	10	1.480
—	6	—
合計	41	172,158

所有面積別農家態樣別戸數表　（康德２年度）

所有面積	戸數	所有總面積	地•主	地•自	地•雇	自作	自•小	自•小•雇	自•雇	小作	小•雇	雇	其の他
天地 10.1 以上	5	天地 147.560	2	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—
5.1——10.0	1	8.400	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.1——5.0	2	7.378	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
1.1——3.0	5	10.530	—	1	—	—	1	—	3	—	—	—	—
1.0 以下	16	7.260	—	—	1	—	5	2	2	1	3	2	—
—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	6	2
計	41	180.328	2	3	1	1	7	4	5	4	4	8	2

經營面積增減表　（康德２年度現在）

規模	戸數	本屯に於て經營開始當時	現在迄の增加	１戸當り	增減率
天地 10.1 以上	4	天地 8.0	天地 62.8	天地 15.7	% 785.0
5.1 —— 10.0	5	14.2	18.43	3.63	131.6
3.6 —— 5.0	10	7.33	13.588	1.36	185.3
2.1 —— 3.5	3	18.6	(−) 10.35	(−) 3.45	(−) 55.6
1.01 —— 2.0	3	15.73	(−) 14.95	(−) 4.93	(−) 95.04
1.0 以下	10	26.83	(−) 24.02	(−) 2.40	(−) 89.52
—	6	25.54	(−) 25.54	(−) 4.25	(−) 100.00
總計	41	116.23	(+) 19.958	(+) 5.66	(+) 17.17

二　家族員數と經營面積

本屯全人口に對する１人當り經營面積は 0.633 天地で、農民１人當經營面積は 0.696 天地であるが、之を村と縣とに對比すると次の如くである。

夏家樓村(農民１人當)　0.55天地　(村公所調查)

鐵嶺縣平均　0.57天地

村內10ヶ屯平均　0.57天地　(實態調查)

家族員數に對する勞働力の比率は

自家勞働力　17.2%

總勞働力　22.1%

但し總勞働力中には年工のみを含み、全家族員數は、經營地所有の分のみを含んでゐる。尙能力の率を成工１、大半拉子 0.75、半拉子 0.5、小半拉子 0.25、農手傳 0.25、として計算した。

勞働力１に對する經營面積をみると

自家勞働力　4.05天地

全勞働力　　　　3.16天地

である。

屯に於ける土地の配分状況表　（康徳２年度）

經營規模	經營數	％	家族員數及１戸當家族員數	％
10.1天地以上	4戸	9.7	47人 12	17.2
5.1 —— 10.0	5	12.2	40 8	14.7
3.6 —— 5.0	10	24.4	66 6.6	24.2
2.1 —— 3.5	3	7.3	24 8	8.9
1.01 —— 2.0	3	7.3	14 5	5.2
1.0 以下	10	24.4	56 5.6	20.6
—	6	14.7	25 4	9.2
計	41	100.0	272	100.0

家族員數と經營面積との關係表

家族員數	戸數	所屬家族數	經營面積	同上1戸當り	同上1人當り	最大經營面積	最小經營面積	普通經營面積
5人以下	16戸	58人	36.75天地	2.30天地	0.63天地	11.1天地	0.02（無耕作4あり）	1.34—4.77(6戸)
6人以上	20	147	66.51	3.33	0.45	16.51	0.02（無耕作1あり）	1.04—7.43(12戸)
10人以上	4	44	35.598	8.89	0.81	20.9	3.648	3.648—6.8(3戸)
20人以上	1	23	33.3	33.3	1.43	—	—	—
計	41	272	172.158	4.19	0.633	—	—	—

第二節　役畜及び大農具

一　家畜と經營面積

本屯に於ける役畜數は馬７、騾７、驢 15 で何れも成畜であるが、之を１戸當りにしてみると、0.707 頭である。

之を各省別平均役畜數に比較すると次の如くである。

省別	牛	馬	騾	驢	合計
奉天省	0.30	0.39	0.19	0.20	1.08
吉林省	0.54	0.92	0.34	0.10	1.90
黑龍江省	1.97	3.09	0.45	0.14	5.65
三省平均	0.56	0.85	0.26	0.17	1.84
畢家窩棚屯農戸１戸當り	0.195	0.195	0.36	0.828	0.707

尚之を縣及び村と比較すると

夏家楼村　　0.643　　但し農戸1戸當りである

鐵 嶺 縣　　0.935

又經營規模別に役畜の分布をみると次の如くである。

經營規模別役畜表

規模	經營數	役畜數	1 戸當	1 天地當	貸雇牛具	役畜1頭當り經營面積	備考
天地 10.1以 上	戸 4	頭 11	頭 2.75	頭 0.064	—	天地 7.43	
5.1 —10.0	5	6	1.2	0.035	—	5.40	
3.6 —5.0	10	10	1.0	0.058	貸付 1	4.30	
2.1 —3.5	3	2	0.67	0.011	—	4.80	
1.01—2.0	3	—	—	—	借入 1	—	經營面積 3.98
1.0 以 下	10	—	—	—	—	—	1.48
—	6	—	—	—	—	—	
計	41	29	0.707	0.168		5.93	

役畜1頭當りの耕作面積は 5.93 天地になつてゐるが、4天地以上の耕作面積を有しないところでは、役畜を有してゐないのは注意すべきである。

2.0 天地以下の耕作をしてゐて役畜を所有しない農家に於ては插具、雇牛具によつて耕作してゐると見られる。貸雇牛具は唯1件ある。即ち 3.6 ～ 5.0 天地の農家から 1.01 ～ 2.0 天地の農家へ貸牛具してゐる。

役畜の1頭當りの耕地面積を本縣全體について見ると

縣内平均　　5.41天地

村内 10 ケ屯平均　　5.94天地

1戸當りに就ては役畜 0.707 頭であるが、1天地當りでは 0.168 頭になつてゐる。

二　農具と經營面積

之を經營規模別にわけて見ると、大車は 11 臺で總べて經營規模 3.6 天地以上に限つてゐる、5.1 ～10.0 天地以上の經營農家に一番多く所有されてゐる。

犂丈は約8割は 3.6 天地以上の農家に所有せられてゐる、耕作地のない農家と雖も、小作人又はその他に貸付けてゐるのである。然し 1 戸當り最も多く備へてゐるのは、5.1 ～ 10.0 天地の範圍である、次に坡把は所有の 3.6 天地以上に限られて居り、矢張り 10.1 天地以上の農家が最も多く有し、1 戸當り平均 0.087 個になつてゐる。

總農具を、その價格及び、維持年限より考慮して 1 年單價を算出し、それより各農家體模別に價値を合すれば次表に見る通りで、之を 1 天地當りの價値を見るならば最も少額によつて耕作してゐるのは、2.1～3.5 天地であり、次いで 10.1 天地である。之は最も、農具の能率を發揮してゐる譯である、1.0 天地以下

では、9.89圓 1.0~2.0 天地では、3.82圓であるのに比較すれば、2~10 倍の働きをなしてゐるのである。

1 年間に働く農具の價値は、139圓20錢であり、1 天地當り、51錢2厘の農具によつて耕作せられてゐることになる。

經營規模別農具表

規模	經營數	大車	1戸當	犂丈	1戸當	壊把	1戸當	農具價値	1天地當り	無農具
天地 10.1以上	4	3	0.75	12	2.0	6	1.5	圓 77.00	圓 0.986	—
5.10—10.0	5	4	0.8	7	1.4	4	0.8	93.20	2.86	—
3.23— 5.0	10	4	0.4	6	0.6	4	0.4	87.87	2.05	2
2.1 — 3.5	3	—	—	—	—	—	—	1.28	0.13	—
1.01— 2.0	3	—	—	1	0.3	—	—	15.23	3.82	—
1.0 以下	10	—	—	3	0.3	—	—	14.65	9.89	—
—	6	—	—	3	0.5	1	—	3.15	—	—
計	41	11	0.064	32	0.186	15	0.087	292.38	0.512	—

第三節　經營の大小による農耕生産の比較

本屯に於ける主要作物の商品化率を示せば、次表の如くである。作付面積に於いて黄豆、高粱が最も多くを占めてゐる。兩者で總作付面積の 67% に及ぶ。而してこの中高粱は 6.3% が賣却されたのみで、93.7%は自家消費である。

商品用作物として栽培されてゐるものは黄豆、蕎麥であり、夫々 85.8 %及 61.4 %に及んでゐる。稗子は 54.9 %を賣却してゐる。

之の賣却率(商品化率)を經營の規模別に示すと、次表の如くである。

即ち黄豆に於ては、3.5~10.0 天地の農家に於て、最も商品化してをり、90~91%に及ぶ稗子は、3.6~10.0 天地の範圍が、最も商品化してゐる。

穀子は、2.1~5.0 天地に於て、最も多く、31.9~33.3%である。

畢家窩棚屯作物收量及賣却表 (康德2年度)

	黄豆	稗子	穀子	高粱	蕎麥	稗子	其の他
作付面積	畝 655.10 38%	畝 143.50 9%	畝 331.23 19%	畝 465.4 27%	畝 27.3 10%	畝 11.0[illegible] 10%	畝 1.[illegible](…子)
總收量	石 577.8[illegible]	石 2[illegible].07	石 2[illegible]5.11	石 5[illegible]5.44	石 2[illegible]	石 12.63	石 0.67(…子)
賣却量	石 512.92	石 1[illegible].32	石 41.55 小米 2.7[illegible]	石 37.56	石 15.5[illegible]	石 3.56	石 6.3 (小豆)
商品比率(%)	85.8 %	54.9 %	14.1 %	6.3 %	61.4 %	23.5 %	—

農産賣却(商品化)率

經營規模	黄豆 總收量 賣却量 商品比率	粳子 〃	穀子 〃	高粱 〃	蕎麥 〃	稗子 〃	其の他
10.1 天地以上	石 321.98 236.13 73.3％	石 116.10 19.26 16.6％	石 167.40 24.55 14.6％	石 253.80 15.38 10.0％	石 24.3 — —	石 — — —	0.67（糜子）
5.1 —10.[illegible]天	1[illegible]6.65 9[illegible].2[illegible] 91.2％	43.6[illegible] 35.1[illegible] 82.3％	44.55 2.7[illegible] 6.1％	108.00 5.07 4.7％	2.7 — —	— — —	
12.[illegible] — 5.[illegible]	127.17 114.74 90.3％	41.31 3[illegible].56 73.9％	6[illegible].45 20.25 31.[illegible]％	125.55 7.11 5.6％	— — —	— — —	
2.1 — 3.5	32.40 2[illegible].70 91.6％	— — —	12.15 4.05 33.3％	116.70 — —	— — —	— — —	
1.01 — 2.[illegible]	23.1[illegible] 8.0[illegible] 34.4％	— — —	7.5[illegible] 2.70 35.7％	20.25 — —	— — —	— — —	
1.0 以上	3.24 — —	— — —	— — —	7.02 — —	— — —	— — —	

主要作物作付面積に於て、康徳德2年度、及び康徳3年度とを比較すれば、次表の如くである。即ち、黄豆、粳子、蕎麥の商品作物に於ては、大體康徳3年度に於て減少してゐる。之は財界の不況によるものと思はれる。粳子の如き、又は穀子の如き自家用消費に充てるものは大して減少してゐない。高粱は大體に於て、僅少の減少を示しており、混作は 60％の減少を示してゐる。總面積に於ては、19％の減少である。

作付面積增減率

年度別	黄豆	高粱	粳子	穀子	糜子	蕎麥	稗子其の他	混作	蔬菜	總面積
康徳2年度	畝 655.10 38％	畝 456.40 27％	畝 148.50 9％	畝 331.28 19％	畝 1.00 —	畝 27.30 1％	畝 11.00 1％	畝 30.00 2％	畝 52.00 3％	畝 1,721.58 100.0％
康徳3年度	44[illegible].60 32％	391.3[illegible] 28％	160.3[illegible] 11％	313.50 22％	5.00 —	— —	8.[illegible] —	12.[illegible] 1％	54.78 4％	1,3[illegible]4.48 100.0％
康徳2年度を100として康徳3年度(％)	68.65％	84.07％	107.94％	94.63％	500.00％	—	72.72％	40.00％	103.84％	81.00％

又この作付面積の比較を經營規模別に比較すると、次表の如くである。

經營規模別作付面積

規模		黄豆	高粱	粳子	穀子	糜子	蕎麥	稗子其の他
10.1天地以上	康2	畝 312.00	畝 191.00	畝 80.00	畝 177.00	畝 —	畝 6.0	畝 —
	康3	98.00	100.00	26.0	59.00	3.0	—	—
5.1天—10.0天	康2	128.00	92.00	36.0	47.00	1.0	21.3	5.[illegible]
	康3	104.60	86.80	37.50	66.00	1.0	—	8.[illegible]
3.6天— 5.0天	康2	171.60	119.00	32.5	83.28	—	—	6.[illegible]
	康3	162.6	149.50	84.8	135.00	1.0	—	—
2.1天— 3.5天	康2	32.5	42.00	—	14.00	—	—	—
	康3	62.0	38.00	12.00	43.50	—	—	—

規模		黃豆	高粱	梗子	穀子	糜子	蕎麥	稗子其の他
		畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝
1.01天—2.0天	康 2	11.00	15.40	—	10.00	—	—	—
	康 3	28.00	17.0	—	10.00	—	—	—
1.0以下	康 2	—	6.00	—	—	—	—	—
	康 3	3.00	—	—	—	—	—	—
總計	康 2	**655.10**	**465.40**	**148.50**	**331.280**	**1.0**	**27.3**	**11.00**
	康 3	**449.60**	**391.30**	**160.30**	**313,50**	**5.0**	—	**8.00**

第四節　農家の收支

農家體様別に收入及び支出狀況を示せば次の如くである。

農家態様別收入

經營體様	戶數	總收入	經常收入		臨時收入
			農業的收入	其の他收入	
		圓	圓	圓	圓
地主	2	1,750.45	1,116.95	—	633.50
地主・自作	3	3,927.66	2,045.56	262.10	1,620.00
地・雇	1	81.00	81.00	—	—
自作	1	621.50	613.50	1.00	7.00
自・小	7	3,044.19	1,030.19	103.00	1,911.00
自・小・雇	3	866.75	746.75	-	120.00
自・雇	5	477.65	391.15	12.50	74.00
小作	3	391.20	216.20	34.00	141.00
小・雇	6	1,186.63	745.38	120.25	321.00
雇農	8	796.30	522.20	234.60	39.50
其の他	2	60.48	2.00	50.88	7.60
計	**41**	**13,203.81**	**7,510.88**	**818.33**	**4,874.60**

農家態様別現金支出

農家體様	戶數	總支出	農業的支出	其の他の支拂	臨時支出
		圓	圓	圓	圓
地主	2	1,712.87	208.72	1,088.65	415.50
地・自	3	4,075.62	1,340.18	1,516.64	1,218.80
地・雇	1	140.96	1.55	64.41	75.00
自作	1	491.68	289.34	120.84	81.00
自・小	7	2,971.80	937.04	858.76	1,176.00
自・小・雇	3	767.28	505.70	256.58	5.00
自・雇	5	471.53	115.76	309.27	46.50
小作	3	364.59	199.43	141.76	20.40
小・雇	6	1,310.82	852.96	355.76	102.10
雇農	8	760.75	7.65	674.10	79.00
其の他業	2	54.98	0.60	47.38	7.00
計	**41**	**13,122.88**	**4,459.43**	**5,434.15**	**3,229.30**

第八章　農村自治及び社會生活

第一節　共　同　生　活

一　親戚間の相互扶助關係

屯内農家間の相互關係は、他地方と異る事なく、親戚關係に依り結び付けられて居り、之等親戚關係は、同姓一族を親戚とし、(同姓異族は此の限りでない)異族間では、婚姻關係ある時は親戚である事に變りない。而して本屯にあつては、屯開發には先づ畢某最初に此の地に來て開墾したことに始まり、當初暫らく畢姓の勢力大なるものであつたが、軈て鄧某が來て逐次畢姓の勢力は鄧姓に移行し、鄧家の繁榮日を逐ふて盛になり、畢姓所有の土地は、次第に鄧姓に移り今日に至つて居る。畢1族及鄧1族は共に2戸及び4戸の少數であつて、他は崔1族、李1族、韓1族、王2族、劉4族此の外10戸足らずの異族であり、從つて相互扶助關係は先づ右同族親戚關係に依存され、次いで近隣農家間に結合されてゐる。屯内の連絡は、之によつて保持され、生活上の諸現象もこれによつて表現されて居る。而して親戚關係に於いては、相互扶助も緊密に金錢的に、又勞力的に、或は物質的に行はれて居る。然し、親戚と言ふても其の理由に限度があり、絶對的のものとは言へない。

二　屯内農家間の相互扶助

イ、金錢的及物質的相互扶助

食料及役畜、農具等は、親戚間のみに限らず貸借を行つてゐるが、先づ親戚間に於て先に行はれるのである。

金錢的には一時借りの少額のものに就ては、貸借が行はれるが、一般に親戚でも貸借される事少ないと言ふ。

ロ、勞力的相互扶助

親戚間にあつては、勞力の相互融通扶助が、行はれる事もあるが、一般には結局換工に依つて相互を扶助し合ひ、其の外突發的の事等にあつては、此の限りでなく、良く相互扶助の美風が行はれて居り、共同耕作、脱穀作業等も互に換工或は插具に依つて行つて居り、共同と言つても結局換工插具であつて、「幇忙兒」は、親戚以外には特殊な間柄、即ち近隣の緊密な農家にだけ行はれると言つてゐる。特に注意す可きは利害關係を考慮の上、插具が行はれる點である。

ハ、贈與、施與

貧者即ち生活に困難な者に對しては、富者は其の理由に依り施與される事はあるが、本屯内では此の例は近來全くなくなつた。

而して收穫後圃場の落穗拾ひは、一般に默認されて居り、尚富農の家に食料の施與を乞ふ様な慣習、及押掛けて行く様な事は、屯内農家には見られない。

ニ、自衛の爲の協同

自衞團員ノ訓練（夏家樓警察署所見）

事變當時は、屯近邊の治安悪化の爲、自治的に自衛協同し、充分治安の確保を得た、而して本屯では光緒30年頃から1回の匪襲もなかつた、それは屯民の協力は勿論であるが、夏家樓警察署に近いためでもあると言はれてゐる。

三　共同利用

屯内農家の共同利用と稱すべきものは、屯の西方にある1天地の共同墓地、及屯内5ヶ所の共同井戸位のものである。

屯内農家で肥養場、碾子、磨、大車等のないものは、地主又は富農の所有してゐるものを借用し、地主は小作人のみに限らず利用せしめて居ると言ふ即ち「白借」が多い。

四　協同生活と屯の階級構成

本屯内に於ける鄧1族の勢力は、相當のものである事は集計表に依る土地所有狀態を見ても明かである、即ち屯内の土地の6割近くを所有して居る關係上、此の1族に關係して生活して居るものも、多數で屯内の中心をなして居る事は事實と見なければならない。

而して本屯では自作(僅かの面積)兼雇農、又は小作兼雇農のものが半數以上あるが、別に協同生活に特色は見られず、唯地主に依存して生活して居る事を認めねばならない。尚屯内より排斥されたもの、及集團移住の例は見られない。

階級構成

地主　2、地主、自作　1、地主、自作、雜　2、地主、雇農　1、自作　1、自作、小作　6、自作、小作、雜　1、自作、小作、雇農　3、自作、雇農　5、小作　2、小作、雜　1、小作、雇農　6、雇農、雜　4、雇農　4、雜　1、無職　1　　　計 41 戸

第二節　自　衛　組　織

一　保甲制度運用狀況

調査屯は隣屯田家窩棚屯、鄧家窩棚屯と合して1甲とされ、甲長は此の3屯を統轄連絡してゐる。屯内に4牌長あり、4牌に區分されてゐる。

村公所よりの通達命令は、甲長より牌長に達し、牌長は各自管轄各戸に通達するものである。未だ牌長の會合等行はれた事はない。

甲長は3屯の屯長を兼ね一方自衛團長は、團員を招集する場合は、甲長と連絡をとつて後に行ひ、招集した自衛團は、これの指揮を待つことにして居り、18歳より40歳迄此の義務を有し、團員は交互に保自衛團本部に出頭し、團總、警察署長より指揮訓練を受けることになつてゐる。

保甲制連坐責任の實例はなく、甲長、牌長は共に徴税の援助をしてゐる。

(イ)　保、甲、牌長、區、村長の選擧任免

村長は各村民よりの選擧に依り決定されるものであるが、以前は有力者、即ち勢力のあるものが運動して

此の椅子を求めたものであるが、現在はそうしたことはない。保、甲長は村、屯長の兼任であるのが普通で、縣長より任命されるのである、即ち警察署長の推薦により大體決定されてゐる。

村長の選擧は、村内會費負擔の義務あるもので、大體1戸1票の選擧權を有してゐる。而して實際は選擧前に大體適任者を屯内有力者間で決定してゐる。

以前本屯より村、或は區の相談事のあつた場合は、鉦國珍(第3號農家)、鉦國昌(第2號農家)の2人は出席してゐたが、此の樣な會合には實際土地所有面積の多い者、及小作人の多い人に、其の權利は與へられる樣である。

（ロ） 保甲牌長等の仕事

保長——村長の兼任となり、依つて村政一般の統治、縣公署との連絡、及自衛團並に團總の指揮監督をなす。

甲長——屯長の兼任で牌長の統率をたし、保牌の連絡、及自衛團の編成、並に租稅徵收の援助をなす。

牌長——10戸を統率し、甲長よりの連絡、及情報の報告をなす。

（ハ） 屯内に於ける甲牌長

甲牌長は屯内にて德望あり、次で相當資産を有する者の中より定めらる、

（ニ） 保甲制に對する屯内の希望感想等

未だ國家觀念乏しき爲、保甲制に付き認識の程度は低く自然希望等の出る事なく、全く無意識に服從してゐる樣である。一部には常備自衛團員に雇傭されることを希望するものもあると言ふ。

二　屯内の相談及び決定

本屯内に於て相談事ある場合は、奉天師範學校を卒業した學歷智識を有し、且土地を多く所有する鉦國珍(第3號農家)は、第一に其の相談に預り、屯内の諸々の解決は彼一人で行つて居り、紛爭等のあつた場合にも、よく調停の役をなしてゐる樣である、從來から未だ屯内の申合せによつて、屯民に對して制裁等を行つたことはない。

三　滿洲國創立後の變化及之に對する感想

租稅の負擔中村費の負擔多く、道路修理の賦役多いのであるが、將來交通が便利になり、治安もよくなるので一時の苦痛であると言ふてゐる。

建國直後は軍警の宿泊多く迷惑を感じたものであつた。

幣制が統一されたのを非常に喜んで居り、商村公所員の活動が良く行はれるので、心ある村民は感謝してゐる。私銃が沒收された爲、自衛力の薄弱を感じてゐるが治安が良好なので、農民の生活が非常に明るくなつて來てゐる樣に思はしめて居る事は事實である。

最近に至り漸く滿洲國の建國を認識する程度に、一般農民に徹底される樣になつたと言はれてゐる。

四　一般農民の政治に對する關心

縣よりの佈告は交通不便の地には僅かに徹底を缺く嫌きあるが、本村内では短時間で徹底されて、而して縣公署に對しては絶對服從の考へを持つて居る。軍警に對しては以前と其の觀念を異にして居り、之を良く

夏家樓村ノ大家族ノ一部

縣立夏家樓初級小學校ノ全望

歡迎する様になつた、役人に對する贈賄の慣習は見られない様である。

五 自　　衛

（イ） 治安狀況は事變當時相當危險であつたが、匪害を受けた事はない、即ち別記の如く以前より警察署近くにある事が大なる力で、近時治安狀態は次第に良好になつて來た。

（ロ） 自衛組織は私銃が回收される迄は、職業武裝自衛團があつたが、其の後義務的な武裝してゐない棍棒を提げてゐる自衛團に改められた。

自衛團長は保長の推薦によつて、縣長が之を任命し、屯長と同地位と見られてゐる。

（ハ） 從來本屯の治安良好であつたのは、前記の如き理由に依るもので、別に治安の爲他屯に比し、特殊的方法を講ぜられたものでない、本屯の 49 部戸は全部 1 ケ所に集つて居らず、3 ケ所に分散されて居るものであるが、良く事變當時は治安に脅へつゝも、匪襲を受けずに過して來る事が出來たとは、屯民の話である。

第三節 家 族 制 度

一 家族の共同生活

（イ） 世帶の大きさ

本屯では 1 軒に家計を共同にして、數家族居住してゐるものは見られず、從つて大家族制度的のものなく、唯調査農家番號 26 號農家では、4 家族同居生活し、家計を共同にして居たのがあつただけである。

以下は 26 號農家に大家族制度に就て聽取したものである。

（ロ） 家族內の統制

家族を代表するものを、「當家」及「戶主」と呼び、當家の決定は、家族で適當なるものを、兄弟の中から決めるのであるが、兄弟の能力及智識等を考慮して決めて居る。

家族に對し、「當家」は指揮指導し、一家を支配して居り、「當家」直系のものに對しては、絕對的であるが、傍系に對しては、指揮指導はするが支配には限度あり、絕對的ではないと言はれてゐる。

殊に傍系の子女に對しては、其の父の意思により、特に娘が嫁に行く場合等には、「當家」の支配は受けないのである。

（ハ） 家內の協同及家計分離獨立の程度

大家族であつて、且大資產を有する家族間に於ては、家業上に各々分擔されて居るものがあるが一般には區別されて居る事は少く、各々相協力し家業に勵むのが普通の樣である。

家計の分離程度は、各自妻の小份子錢以外には分離されるものなく、殆んど共同家計であつて、「當家」が其の管理に當るのである。

而して若し家族內の 1 人が個人て負債を負ひ、又投資等する場合は、「當家」の 許可を必要とし、若し許可なく勝手に行つた場合は、家族全部が其の責任を負ふ事はない、此の樣な事が原因で家庭內に不和を

來す如き場合は、自然分家に至るのである、家族の行動は原則として、「當家」の許可を必要とするものであるが、常識的正當の範圍內では、自由に行動するも差支へないと言ふ。

（ニ） 大家族制度

大家族制度は左記長所に依る外、兄弟親しく父母を養老し、肉親に親しみを保持して行き、且また環境等に依つて大家族制に至るものの樣である。

大家族制の長所

1. 共同力の利用及經營上能率的なる事
2. 經濟的で家計費を節約し得る事
3. 肉親の親しみを保持し、且賑やかに生活し得る事

大家族制の短所

1. 多人數なる爲、意見の不一致を來し不和を招來し易き事
2. 食事等に不便を生じる事
3. 五月蠅く思はれる事

二 相續制度及分家

（イ） 相續人は一定して居ないが、主として長男が相續するのが普通である。

養子を迎へ相續せしめる場合は、男の子供のないとき、及全然子供のない場合に於て、行はれ此の場合は、多く同姓一族より求められるのである、若し女の子1人のみの場合は、同姓1族は血族關係にあたつてゐる場合は、別姓より其の娘に養子を迎へて家の相續をせしむるのであるが、之を「養老女婿」と言ふてゐる。

（ロ） 分家の原因は、分家の希望ある時、及家族內に不和を生した場合、及家族の1員が負債を生じた時、等であつて斯ふしたことが最も多く分家の原因となつてゐる。

分家は親族會議を開き定められるのが普通で、稀には開かずに行はれる場合もある、祖先の祭は親族全部で行ひ、祖先の遺牌を同じく書き留め、分家したものも之を祭るのである。

兄弟中で親を扶養する義務に就ては別段の定めなく、其の親達の好む子供が扶養するもので、分家の際は、親に養老財產が分けられ、親は之を持つて扶養する子供の下に行くのである。

分家に當つては分家單を作成し、分家單には一般に

1. 分家の理由
2. 分家前の事
3. 姓　名
4. 中見人
5. 代字人及注意書

等を書き留め作成されるのである。

三 家產の分割

（イ） 女子は不動産の分割には預からぬが、家に依り僅かの現金を分與される事がある。

（ロ） 親の養老財産は、親の死後扶養者が其の財産を獲得するのである、而して其の間は其の財産より得られる收益は、扶養者のものであり、分家の際別に多くの分け前を與へられれば、事實上養老財産が扶養者に分け與へられたと同じものである。

（ハ） 家産分割中先づ耕地の分割は、上則、中則、下則地を均等に分割するのであるが、其の爲不便を來す事は當然である。然し均等に分割されるのが普通で、若し耕地分散し耕作上不便を來す場合は、豫め此の點を考慮して、分家の際話合ひの上適當に處理し、均等に分割される様に計られるのである。

而して此の場合土地を多く分與されたものは、中地、下地を分與されたものに土地との差に相當する金、或は他のものを與へる等の方法を採つてゐるのである、即ち均等分割の結果耕作上に不便を來す事等と言ふ將來のことに關しては、餘り考慮する事なく分割するのが原則であり、尚土地の分割に困難を來す場合は、共有とするもので、此の場合は、其の旨分家單に記入するのである。此の如き例は、土地小面積なる事及遠距離にある場合等で、其の外草地は其の儘共有とされ、其の地券は多くの場合、長男が所有してゐる。

土地以外の不動産、特に家屋を分割する場合は、1人に家を與へ、他のものにはそれに相當する金、又は前記土地の分與を多くする様な方法を採られ、別に長男であるから是非それに家屋を與へると言ふ様な事はない。而して負債があれば家を分與されたものが、其の負債を繼承し、負債を繼承しないものは、家を與へられる事がない。他に現金のある時もまた總べて均等分割が原則である。

尚、家族の1人が縣城に生活し、分家の1人である場合は、矢張り同様土地家屋、現金等總べて均等に分割されるもので、之等の者に分割された土地は、一般に所謂不在地主の土地となる虞れが多いのである。土地の分割後地券の分割される事なく、其のまゝ從前通りにされて居る事は往々にしてあり、之は其の旨分家單に記入し、納稅は共有者各々面積に依り負擔されるのである。而して地券を分割の登記に際しては、實際上の土地と合致する様に計られるのである。

動産現金の分割は一般に老人の扶養者に多く、分與され、若し現金、土地、家屋以外の總べてに若し分割困難のものあれば、賣却して現金として均分し、役畜其の他耕作上に不便を來すものを處理する際は、之を得たものは他のものに金を多く與へる等、前記土地分割と同様である、負債の分割も同じく均分を原則とされ、家産分割に併用される、尚負債を各々分ける時は、債權者に同意を求め代表責任は、其の家を繼承する相續人が之を負ひ、出入帳も同様に處分され、相手に其の諒解を求めるのである。

第四節　教　　育

屯内には學校なく、就學兒童は總べて第7區夏家樓村立夏家樓兩級小學校に入學してゐる

夏家樓村立小學校

（イ） 沿　　革

原名鐵嶺縣夏家樓村立第1小學校、大同1年（1932）3月1日に兩級を成立し、康德2年（1935）2月鐵嶺縣夏家樓村立夏家樓初級小學校に改正す。

（ロ） 校　　訓

勤、誠、勇

意　　　義

立身の本を養ひ、處事の源を習ひ、果敢の行爲を鍛へ、不偏、獨立の性質を完成し、忠實剛健な公民となると言ふことを意識としてゐる。

（ハ）　教 育 方 針

各兒童の性質及心身發育の程度により日常生活に必要の知識技能を授け、刻苦精勤の習慣を養成せしめ、忠君愛國仁に親しみ、隣を恤しむ美德を完成せしめる。

（ニ）　勉强の方法

最低年級には啓發式を利用し、最高年級に獨學を補導す。

（ホ）　教訓之標準

校訓、勤、誠、勇

級訓、宏毅、整潔、勤學、

週訓、忠孝仁愛信義和平、品行を良くし、學に勉め、時を惜み、節約す、規律、整潔、寛恕、進取、禮讓、應對、謹愼、互助、勤勞、愛鄉、自治、知行、溫故

（ヘ）　養 護 方 法

1學期毎に身體檢査を1回施行。

1學期毎に1回種痘す。

1週間毎に1回大掃除を行ふ。

學生身體の鍛錬

課内の團體運動、普通體操、朝會と午會に建國體操をする、課外の個人運動等を行ひ、清潔隊を組織し、毎日全校一切の整潔を檢査す。

（ト）　作業教育、實施狀況

毎日教室の整理、校庭、教室の掃除を師、生共同で行ふ。村の北方の陽坑岸に師、生共同で楊樹、柳樹を230株植へ、又教室前の適地に師、生共同で草花を栽培してゐる。

（チ）　職員及教員並びに傭人

校長劉紹漢24歳で瀋陽縣立新制師範學校卒業、月給26圓、教員、康煥文22歳　鐵嶺縣立師範學校卒業月給24圓、李寶常24歳　遼陽縣立師範學校卒業月給22圓、朱蘭操　女24歳　鐵嶺縣立師範學校卒業月給23圓、傭員　劉化　月給7圓、賈春林　月給7圓である。

（リ）　卒業生狀況

初等3年級　男27人　女4人　合計31名

農業に就く者7名、商業に就く者1名他は上級に就學す。

（ヌ）　教室數及び面積

校舍8間房子、教員室1間房子、教室6間房子、房1間房子、便所2ヶ所、全校面積總べて20,808平方米突

（ル）　全年經費

2,390圓

（ヲ）　各學年別男女生徒數

1學期	男	36人	2學期	男	29人
	女	27人		女	6人
3學期	男	17人	4學期	男	25人
	女	5人		女	11人

合計　男　107人　　女　49人　　計　156人

（ワ）　通學屯名及學校と最も遠距離地名

畢家窩棚、田家窩棚、鄧家窩棚、黄家窩棚、腰堡内黄家窩棚、腰堡は學校より4滿里の距離に有る。

（カ）　寄宿生及屯名

孤山子3人、江家屯1人、興隆屯2人、小名安碑4人、姜家窩棚2人、合計12人、内初級3年生2人有り、殘餘は高等1年生である。

（ヨ）　毎日學生出席缺席狀況

毎日出席生徒は生徒總數の約90％以上。

（タ）　兒童學齡

學齡兒童でない者	5歲	男	20人	女	19人	合計	39人
	6歲	〃	24人	〃	34人	〃	58人
	7歲	〃	29人	〃	30人	〃	59人
	8歲	〃	22人	〃	28人	〃	50人
失學兒童		〃	62人	〃	109人	〃	171人
	總計		377人				
學齡兒童	9歲	男	34人	女	36人	合計	70人
	10歲	〃	35人	〃	29人	〃	64人
	11歲	〃	29人	〃	19人	〃	48人
	12歲	〃	24人	〃	30人	〃	54人
	13歲	〃	28人	〃	21人	〃	49人
	14歲	〃	27人	〃	24人	〃	51人
	總計		336人				

（レ）　生徒父兄の職業

農民	115人	工業	3人	商業	6人	教員	1人	警察	6人
官吏	1人	醫者	4人	勞工	25人	總計	161人である。		

（ソ）　本年度入學數

年齢	男	女	年齢	男	女
7	1人	—人	11	5	4人
8	22	23	12	1	2
9	13	8	13	1	1
10	17	2	合計	60	40

以上の通りである。

(ツ) 農村指導

村民に植樹を勧導し、造林の美徳と養成せしめ、植樹者は合計 20 餘戸で楊、柳等柞で 450 株に達してゐる。

紀念日、及日曜日に建國精神を宣傳し、以て一般民衆に日滿不可分離の關係を徹底せしめてゐる。

農家の收益增收の目的より家畜の改良に着手し、校庭を開いて畑とし範を農民に示めさんとしてゐる。

屯民の就學狀態

全屯民數 272 名　內就學者(現在就學中の者含む)61名である。

就學の內容

現在小學校　男　13 人　　女　2 人

　中學校　　　男　1 人(縣城)

　日語自强學校男　1 人(縣城)

　協學院　　　男　1 人(縣城)

　　合計　　18 人

就學者の內容

中學卒	師範卒	書房(2 年～10年)	私塾(1 年～6 年)	小學校卒(中途退學)	合計
1 人	1 人	6 人	8 人	23 人	44 人

故に屯內の無學者と就學者の率は、就學者61名として28%位で有る。

就學狀態を農家によつて見れば、地主階級、自作、小作の大農に限られて居り、雇農階級では、唯私塾を出た者が、40 號農家に有るだけである。

以上より見れば、如何に農民の就學率の低きかを推察することができる。

第五節　衛　　生

一　屯內の主要病名と養生法

(イ) 風土病はなく、流行病で困つた事もない。

(ロ) 感冒(風邪)

　炕を暖くし、湯に砂糖を入れ呑む。

(ハ) 赤痢　醫者に罹る(病人は別部屋に就寢さす)

（ニ） 肺　病　醫者及山野で自然養生。

（ホ） 暑氣當　醫者に罹る。

（ヘ）　産　　産婆に罹る。

二 迷　　信

（イ） 巫　　醫

巫醫は神の命により、病人に對し、祈禱すれば惡病退散すと言はれてゐる。

（ロ） 廟 参 拜

酒、饅頭を供へ祈る。

三 入　　浴

夏水浴するだけで、女は夜人の寢鎭つた時身體を洗ふ（富農に於て）位のものである。

四 醫　　師

夏家樓村には滿人の漢醫師（王家賦、高荣）の 2 人がゐる。

産婆は夏家樓にあつて、鐵嶺官立産婆傳習所修業の張國華と言ふ者 1 人である。

屯內に於ては投藥はない。

屯內に藥草はないと言ふてゐる。

醫料費、醫藥費。

7 號農家で 14 圓、13 號農家 8 圓(馬の病氣)、15號農家 2 圓、32 號農家 1 圓 80 拾錢の外にはない。

五 間引の習慣なし

六 調査年度に死亡者はない

45 歲以上の婦人の出産回數は平均 5 回位である。

第六節　風　俗、習　慣

一 結　　婚

年　　齡

普通結婚年齡は、男 15 歲、女 17 歲で昔時及び現在でも略同一で有る。特に富農に於て家族員數少數の場合に、家族を殖やす爲、男 13~14 歲で結婚する事が有るが、屯內にはない。

婚 約 時

媒介人により双方承諾すれば結納金を女の家に納入する。

金額は普通貧農で 80 圓から 100 圓以内である。

富農 40 圓から 50 圓

富農の場合、金と其の他に着物、布、指輪(金銀)、腕輪、耳飾等を、男の兩親と媒介者て納入する。

見合結婚は民國時代にはあつたが、現在ではない。

婚約期間は一定せす、1 ヶ月乃至 3 年位であつて、男が適齢に達した時に始めて結婚するが、婚約時代兩者の交際はない。

結婚前 2 ヶ月位前に「過禮」と稱し、男の方より兩親が饅頭 100 個、果物等を持参する。此の時女の方では饗應するのである。此の砌、女が茶、卵を持つて來れば、1 圓乃至 2 圓を女に禮として渡す、又歸る時女が見送れば、門の所にて 2 圓乃至 3 圓の禮をし、富農に於ては指輪を出すのが普通の慣習である。

結 婚 式

1 日目　　準　備

2 日目　　祝　宴

3 日目　　午前 1 時頃より 8 時迄の間に、嫁の乘つて來た乘物を、女の方から取りに來るが、此の日も前日通り親戚、友人を招いて饗應するのである。

貧農の場合金の無い時には、祝宴等は無く、唯神に禮拜をしただけで式を終る。

結婚費用

富農 500 圓、中農 300 圓、貧農 100 圓乃至 200 圓位である。

二 葬 儀

普通 15 歳以下の子供の死亡した場合は、棺もなく野に捨てて埋葬する樣な事は無く野晒しにして置く、富農の場合には棺を用ふる。

費 用

地主階級 500 圓

中農 〃 200～300圓

貧農 〃 50～60圓

悔み

悔みとして親類は豚、饅頭、紙、現金等を持参す。

知人の場合は白布(上等)を持参する樣である。

葬儀日數

普通 3 日間で親類の場合は 3 日間其處に居るが、知人の場合は 1 日しか居ない。

喪 服

普通白服

一般に頭巾、腰巾布(普通 7 尺 5 寸)を着用するが、貧農は腰巾布は 5 尺である。

墓参は 30 日間行ひ、兩親の時は 100 日間髭剃散髮は出來ない。

三　蓄妾習慣

本屯に於てはない。普通正妻に子供の無い場合に貰ふ。

正妻と妾の權利は同一である

纒足の習慣は屯内にはない。

阿片の吸飮、賭博、人身賣買も行はれておらない。

四　屯内の祭、娯樂

屯内の祭としては無いが、然し村として夏家樓に有る。

1　關帝廟　　5 月 13 日

漢の時代に3國有り、東呉國の帝王が漢の關帝を客に呼んだが、之は關帝を殺す目的であつたが、關帝は單身、劔1刀持つて乘込んで行つたので、呉國の帝王は關帝の威力に屈して、其の目的を捨てゝしまつた、其の時が正月13日であつて、此の日を祝ふのである。

供　　物

豚1頭、村民が祝ひ後に分配す。

2　關帝誕　5 月 23 日

關帝の誕生日で、豚1頭供へ村民禮拜す。

3　虫　王　6 月 6 日

虫の發生少なく、農作物のよく出來る樣虫王を祭る、

4　龍王廟　6 月 13 日

年内に於て旱魃、水害に罹らぬ樣に龍王を祭る。

豚等の供物がある。

5　火神廟　6 月 23 日

火の害のなき樣火神を祭る、

村祭の費用

村長以下集合相談して、費用は各自公平に割當てる。

一同の代表者は村長で有る。

農民の娯樂

屯内に於ては何も行はれず、高足踊等もなく普通の踊も時にはあるが稀である。

季節の贈答

正月には菓子、果物を贈る、又中秋節も同樣である。

慶弔の贈答

弔の場合には、麵粉及紙等を贈り、慶の場合には、指輪(結婚)腕輪(出産の時)等である、

五　訴訟　犯罪

屯内に於て訴訟等の事を起してゐる者は無い、犯罪も屯内に於てなく、10家連坐法と言ふ事もない、

六　家　　屋

夏家樓村の家屋についてその様式について區別すると

名　　稱	棟　數	間　數
磚 瓦 房	6	28
磚 平 房	4	25
磚 草 房	15	75
土 平 房	120	328
土 草 房	300	900
計	445	1,356

本屯では大部分土草房が殆んど全部を占め、土平房は約その$\frac{1}{3}$位である。磚房は極めて少く、豪家などの家で稀に見るにすぎない。

第七節　農民の生活程度

一　住　　　居

1間房子に住む人數。

富　　農	2人	板敷で紙天井である。
中　　農	4人	土　間
貧　　農	5人	〃
極 貧 農	6人	〃

構　　造

廣さは2丈、1丈8尺、1丈6尺等一定してゐない。換氣に就ては別段構ぜられてゐない。採光は窓が有るだけである。

年工、日工の寢所は普通家畜の居る近くである。

二　衣　　　類

普通4季を通じ1季に1揃である。衣類は木棉で柄物等はなく皮衣服等もない。

三　家　　　具

箪笥、机、皿、箸、燈火(洋燈、蠟燭)等。

四　食　　　事

常食は高粱、穀子、包米である。正月には餃子、白麺、肉類を食膳に供するが、之は但し農家の中等以上に於てである。

食料缺乏期には高粱を粉にして汁にして食べる。

菜は白菜、人參、豆角子、南瓜、王瓜、葱、大根等である。尚小根菜、苦菜、青菜を乾燥して食べる。

以上の如く富農を除く以外は、非常に生活程度が低い。

第二部　戸別調査集計表

概　況　表

貸付地	自作地	借入地	耕作地	主作物名	農具數 大車	農具數 犂丈	役畜數	牛具	他業	備考	農家番號
畝	畝	畝	畝		臺	架	頭				
746.10	909.78	821.80	1,721.58		11	(2) 32	29	借付 1 借入 1	—		屯內總計
250.00	3.30	—	3.30		—	3	—	—	—	貸付、借入欄ノ10.00畝ハ出典地ヲ借入レ更ニ之ヲ屯外ニ又貸セルモノ	1
189.00	—	10.00	—	—	—	3	—	—	—		2
209.00	333.00	—	333.00	黄豆、高粱、粳子、穀子	1	7	6	—	粉房		3
79.00	56.00	—	56.00	〃	1	1	1	—	—		4
12.00	4.00	—	4.00	高粱	—	—	—	—	—		5
5.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—		6
—	165.10	—	165.10	黄豆、高粱、粳子、穀子	1	2	3	—	—		7
0.70	77.00	132.00	209.00	〃	1	2	2	—	—		8
—	24.48	12.00	36.48	〃	—	—	1	—	—		9
—	22.00	18.00	40.00	〃	1	2	1	—	—		10
—	17.70	30.00	47.70	黄豆、高粱、穀子	—	1	1	—	—		11
—	13.50	20.00	33.50	〃	—	(1)	1	—	—		12
0.40	12.00	36.50	48.50	黄豆、高粱、粳子、穀子	1	2	1	—	漁業		13
0.30	7.60	35.30	42.90	黄豆、高粱、穀子	—	—	1	—	—		14
—	41.30	33.00	74.30	黄豆、高粱、粳子、穀子	1	2	1	—	—		15
—	25.00	44.00	69.00	〃	—	—	1	—	—		16
—	8.00	25.00	33.00	黄豆、高粱	—	—	1	—	—		17
—	57.00	—	57.00	黄豆、高粱、粳子、穀子	1	2	1	—	—		18
—	16.00	—	16.00	黄豆、高粱	—	—	—	—	—		19
0.20	13.40	—	13.40	〃	—	—	—	借入	—		20
—	3.50	—	3.50	高粱	—	—	—	—	—		21
—	1.00	—	1.00	蔬菜	—	—	—	—	—		22
—	—	111.00	111.00	黄豆、高粱、粳子、穀子	—	1	—	—	—		23
—	—	45.00	45.00	〃	—	—	1	—	—		24
—	—	28.50	28.50	高粱、穀子	—	—	—	—	行商撿糞		25
—	1.00	67.00	68.00	黄豆、高粱、粳子、穀子	花軲轆 1	2	2	—	—		26
—	2.00	41.00	43.00	黄豆、高粱、穀子	1	(1)	1	—	—		27
—	3.00	40.00	43.00	〃	—	—	1	—	—		28
—	—	40.50	40.50	黄豆、高粱、粳子、穀子	—	1	1	貸付	行商撿糞		29
—	2.50	40.00	42.50	〃	1	—	1	—	—		30
—	0.40	10.00	10.40	黄豆、穀子	—	1	—	—	—		31
—	—	1.00	1.00	蔬菜	—	—	—	—	撿糞		32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	0.20	0.20	蔬菜	—	—	—	—	—		34
—	—	0.20	0.20	〃	—	—	—	—	—		35
—	—	0.90	0.90	〃	—	—	—	—	—		36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
—	—	0.40	0.40	蔬菜	—	—	—	—	—		38
—	—	0.30	0.30	〃	—	—	—	—	行商		39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

鐵嶺縣郭家窩棚屯　第二農家

農家番號	同族關係	經營樣式	出身地	滿渡年代		滿渡後ノ移動並 1	2	3	4	5	6
1	A	地主	山東省登州府	200年前	A	鐵嶺縣第7區郭家窩棚屯 (130)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	同治5年	光緒26年	宣統2年	民國3年	民國4年
					C	—	— (40.00)	900.00 (900.00)	1,335.00 (745.00)	403.30 (403.30)	423.30 (40.30)
					D	雇農（年•月•日）	小•雇（年•月•日）	自作	地主•自作	自作	地主•自作
						(12)	(13)				
					A	本屯	本屯	—	—	—	—
					B	康德1年	康德2年				
					C	275.30 (3.30)	275.30 (3.30)				
					D	地主	地主				
2	A	地主	山東省登州府	200年前	A	鐵嶺縣第7區郭家窩棚屯 (130)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	同治5年	光緒26年	宣統2年	民國3年	民國4年
					C	—	— (40.00)	900.00 (900.00)	1,335.00 (745.00)	403.30 (403.30)	423.30 (40.30)
					D	雇農（年•月•日）	小•雇（年•月•日）	自作	地主•自作	自作	地主•自作
3	A	地•自•雜（粉房•區農會長）	山東省登州府	200年前	A	鐵嶺縣第7區郭家窩棚屯 (130)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	同治5年	光緒26年	宣統2年	民國3年	民國13年
					C	—	— (40.00)	900.00 (900.00)	1,335.00 (745.00)	661.00 (331.00)	669.00 (339.00)
					D	雇農（年•月•日）	小•雇（年•月•日）	自作	地主•自作	地主•自作	地主•自作
4	B	地主•自作	山東省濟南府	200年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	170年前	光緒3年	民國6年	民國10年	民國11年
					C	14.00 (—)	14.00 (50.00)	11.00 (50.00)	31.00 (20.00)	51.00 (46.00)	65.00 (60.00)
					D	雇農（年）	自作•小作	自作•小作	地主•自作	地主•自作	地主•自作
5	C	地•自•雜（看青的）	山東省	200年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	100年前	50年前（光緒年代）	民國6年	民國9年	民國9年
					C	—	23.30 (23.30)	53.30 (53.30)	65.30 (65.30)	18.30 (18.30)	17.00 (16.00)
					D	雇農（年）	自作	自作•雇農(月)	自作•雇農(月)	自作•雇農	自作•雇農(日)

註　本表＝現レタル所有及耕作面積ハ總テ畝ヲ以テ單位トス

略　歷　表　（其一）

家業ノ變遷 7	8	9	10	11	本屯來住理由	本屯在住年數	備考	農家番號
本屯 民國14年(春) 498.30 (455.30) 地主・自作	本屯 民國14年(秋) 562.00 (455.30) 地主・自作	本屯 民國18年 275.30 (152.[illegible]) 地主・自作	本屯 民國20年 275.30 (65.30) 地主・自作	本屯 大同2年 275.30 (85.30) 地主・自作	家族數多ク生活困難トナリ且本屯ハ耕地多ク勞賃高キヲ聞キ年エトシテ來屯ス	[illegible]年	光緒30年頃マデハ旗民不安產ナリシ故ニ三閤ノ名目ニテ每年2乃至3天地位宛取得セリ旗民安產トナリテヨリ急ニ土地ヲ購入セリ民國3年兄弟5人ニテ分家更ニ民國18年兄弟5人ノ內先妻ノ子供2人、後妻ノ子供3人ト2組ニ分家セリ	1
—	—	—	—	—				
本屯 民國14年(春) 498.30 (455.30) 地主・自作	本屯 民國14年(秋) 562.00 (455.30) 地主・自作	本屯 民國18年 270.60 (2[illegible]) 自作	本屯 康德1年 448.60 (423.60) 自作	本屯 康德1年 219.30 (—) 地主	No. 1 農家ト同ジ	70年	民國18年迄 No.1 農家ト同ジ 康德1年 No.8 農家ト分家ス、倘出典地 40.00畝ノ中 10.00畝ヲ小作ノ形ニテ借入シ之ヲ更ニ又貸シス	2
本屯 民國18年 669.00 (149.00) 地主・自作	本屯 民國19年 669.00 (339.00) 地主・自作	本屯 康德1年 669.00 (333.00) 地主・自作	本屯 康德2年末 636.00 (333.00) 地主・自作	—	No. 1 農家ト同ジ	70年	民國3年マデ No.1 農家ト同ジ 民國18年自家勞力不足ノタメ一時自作面積ヲ減ジタルコトアレ共翌年元通リニ自作ス、康德2年度末33.00畝ヲ1,023圓ニテ賣却セリ、第7表ニ記載セラレズ	3
本屯 大同2年 84.00 (60.00) 地主・自作	本屯 康德1年 84.00 (56.00) 地主・自作	本屯 康德2年末 91.30 (63.30) 地主・自作	—	—	前住地山東ハ耕地少ナク生活困難ノ爲	200年	本屯來住當時ハ雇農トシテ生活シ其ノ後賃銀ヲ貯ヘテ漸次土地ヲ購入セリ康德2年秋收穫後ニ No.9 農家ヨリ 7.30畝ヲ 340.00圓ニテ購入ス第7表ニハ含マレズ	4
本屯 康德1年 17.00 (4.00) 地・自・雜（看青的）	—	—	—	—	前住地山東ニテ生活困難ノタメ本屯ノ草分ケ畢氏ヲ賴リテ來住	200年	民國9年叔父王正、王德ト分家、康德1年土地ヲ貸シ看青的トナル	5

鐵嶺縣畢家窩棚屯　第二農家

農家番號	同族關係	經營様式	出身地	渡滿年代		渡滿後ノ移動狀 1	2	3	4	5	6
6	D	地主・雇農（年）	山東省登州府	200余年前	A	不詳	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	200年前	130年前	90年前	民國9年	民國15年
					C	不詳	不詳	不詳	不詳	3.00 (3.00)	—
					D	不詳	不詳	不詳	不詳	自作•雇農(年)	雇農（年）
7		自作	山東省永壽府	150年前	A	熱河省朝陽縣西山左塔(105)	本縣本村萬家房屯(16)	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	150年前	45年前	29年前	民國3年	民國3年	民國[illegible]年
					C	不詳	—	—	2.00 (2.00)	5.00 (5.00)	[illegible] (17.1[illegible])
					D	雇農（年）	雇農（年）	雇農（年）	自作•雇農(年)	自作•雇農(年)	自作
						(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	
					A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	—
					B	民國14年	民國15年	民國18年	民國20年	康德2年1月	
					C	94.05 (91.85)	116.55 (114.25)	134.15 (111.95)	145.85 (143.65)	167.30 (165.10)	
					D	自作	自作	自作	自作	自作	
8	A	自作・小作	山東省	200年前	A	鐵嶺縣第7區鄧家窩棚屯(130)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	同治5年	光緒26年	宣統2年	民國3年	民國[illegible]年
					C	—	— (40.00)	900.00 (900.00)	1,335.00 (745.00)	403.30 (403.30)	[illegible]
					D	雇農（年•月•日）	小•雇(年•月•日)	自作	地主•自作	自作	地主•自作
						(12)	(13)				
					A	本屯	本屯	—	—	—	—
					B	康德1年	康德2年				
					C	180.20 (113.20)	144.70 (209.00)				
					D	自作	自作•小作				
9	C	自作・小作	山東省	200年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	100年前	50年前 (光緒年代)	民國9年	民國15年	康德[illegible]年
					C	—	23.30 (23.30)	53.30 (53.30)	29.60 (29.30)	34.7[illegible] (34.78)	[illegible]
					D	雇農（年）	自作	自作•雇農	自作	自作	自作•雇農(日)
10	E	自作・小作	河北省	120年前	A	奉天省西豐縣(20)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	120年前	100年前	光緒27年	宣統3年	民國2年	民國5年
					C	—	—	— (20.00)	8.00 (60.00)	2.00 (1.00)	1.00 (0.50)
					D	雇農（年）	雇農（年）	自•小•雇農(日)	自•小•雇(年)	自作•雇農(年)	自作•雇農(年)

註　本表ニ現レタル所有及耕作面積ハ總テ畝ヲ以テ單位トス

略 歷 表（其二）

農家番號	…ニ家業ノ變遷 7	8	9	10	11	本屯來住理由	本屯在住年數	備考
6	…屯 …同 2年 1.00 (0.50) [illegible]	本屯 康德 2年 1.00 (—) [illegible]	—	—	—	山東ニテ生活困難トナリタル故當時ノ政府ノ移民獎勵ニ從ヒ土地ヲ獲得セシタメ	200年	祖先本屯ノ草分ケトシテ來屯 130年前頃ニハ本屯ノ全面積ヲ所有シ富貴ヲ極メタリシカド90年前ニ至リ所有地全部ヲ失ヒ以後年工トシテ生活セリト言フモ詳細不明ナリ民國15年弟 No. 21 農家ト分家ス No. 13 農家ヨリ5.00畝ヲ入典シ之ヲ貸付ケ労ラ年工トシテ生活ス
7	…屯 …國 7年 24.40 (24.40) …作	本屯 民國 8年 35.05 (32.85) 自作	本屯 民國 8年 58.05 (55.85) 自作	本屯 民國 9年 68.05 (65.85) 自作	本屯 民國 12年 73.05 (70.85) 自作	生活困難且ツ前住地ハ土地瘦薄ナリシ故肥沃ナル耕地ヲ求メテ來屯ス	29年	最初年工ノ勞賃ヲ貯ヘテ土地ヲ買ヒ其ノ後自作シテ殘リタル金ヲ以ツテ毎年ノ如ク土地ヲ1天地200圓位ヨリ400圓位マデニテ29年間ニ 167.30畝ノ土地ヲ獲得セリ
	—	—	—	—	—			
8	…屯 …國14年(春) 498.30 (455.[illegible]) …主•自作	本屯 民國14年(秋) 562.00 (455.[illegible]) 地主•自作	本屯 民國 13年 270.60 ([illegible]) 自作	本屯 康德 1年 448.60 ([illegible]) 自作	本屯 康德 1年 229.30 ([illegible]) 自作	No. 1 農家ト同シ	70年	康德1年マデ No.2 農家ト同ジ分家直後康德1年末土地 49.10畝ヲ 970圓ニテ賣却シ更ニ康德2年2月 35.50畝ヲ 1,200圓ニテ賣却シ[illegible]畝ヲ[illegible]トシテ小作ス
	—	—	—	—	—			
9	…屯 …德 2年 34.78 (36.48) …作•小作	本屯 康德 2年 (10月) 27.48 (36.48) 自作•小作	—	—	—	No. 5 農家ト同シ	200年	民國9年分家以前 No.5農家ト同ジ康德2年末7.30畝ヲ No.4 農家ヘ賣却セルモ秋收獲後ニ付第7表及ビ第11表ニ含マレル
10	…屯 …國 15年 8.50 (18.00) …作•小作	本屯 民國 20年 8.50 (33.00) 自作•小作	本屯 大同 2年 8.50 (40.00) 自作•小作	—	—	本屯ノ草分ケ畢氏ヲ賴リ農業勞働者トシテ來屯ス	100年	民國2年父ノ代4人ニテ分家シ民國5年更ニ No. 17農家ト分家ス

鐵嶺縣畢家窩棚屯　第二農家

農家番號	同族關係	經營樣式	出身地	渡滿年代		渡滿後ノ移動並 1	2	3	4	5	6
11	F	自作•小作	河北省順天府	200年前	A	本縣第7區網戸屯(100)	本縣網戸屯	本縣網戸屯	本縣網戸屯	本屯	本屯
					B	200年前	197年前	130年前	100年前	光緒6年	光緒25年
					C	—	— (100.00)	— (10.00)	18.00 (135.00)	18.00 (110.00)	14.00 (50.00)
					D	雇農(日)	小作	小作•雜(旅館)	自作•小作	自作•小作	自作•小作
12	F	自作•小作	河北省順天府	200年前	A	本縣第7區網戸屯(100)	本縣網戸屯	本縣網戸屯	本縣網戸屯	本屯	本屯
					B	200年前	197年前	130年前	100年前	光緒6年	光緒25年
					C	—	— (100.00)	— (10.00)	18.00 (135.00)	18.00 (110.00)	14.00 (50.00)
					D	雇農(日)	小作	小作•雜(旅館)	自作•小作	自作•小作	自作•小作
13		自•小•雜(大師夫漁業)	山東省濟南府	200年前	A	本縣第7區姜家窩棚屯(180)	本屯	本屯	本屯	本屯	—
					B	200年前	民國6年	民國15年	民國17年	康德2年(春)	
					C	—	— (15.00)	— (46.50)	18.90 (47.50)	18.90 (48.50)	
					D	雇農(年)	小作	小作	自作•小作	自•小•雜(大師夫漁業)	
14		自作•小作	山東省登州府	300年前	A	本縣第7區任家窩棚屯(265)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	300年前	光緒27年	民國1年	民國3年	民國4年	民國6年
					C	—	—	— (40.00)	—	— (12.00)	—
					D	雇農(年•月•日)	雇農(年•月•日)	小•雇(年)	雇農(年)	小•雇(月•日)	雇農(月•日)
15	E	自•小•雇(日)	河北省	120年前	A	奉天省西豐縣(20)	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	120年前	100年前	光緒27年	宣統3年	民國2年	民國4年
					C	—	—	— (20.00)	8.00 (60.00)	2.00 (1.00)	2.00 (40.00)
					D	雇農(年)	雇農(年)	小作•雇農(日)	自•小•雇(年)	自•雇(年)	自作•小作
					A	本屯	—	—	—	—	—
					B	康德2年					
					C	39.00 (74.30)					
					D	自•小•雇(日)					

註　本表ニ現レタル所有及耕作面積ハ總テ畝ヲ以テ單位トス

略　歴　表　（其三）

家業ノ變遷 7	8	9	10	11	本屯來住理由	本屯在住年數	備考	農家番號
本屯 民國 18 年 9.50 (30.70) 自作・小作	本屯 民國 18 年 9.50 (35.70) 自作・小作	本屯 康德 1 年 9.50 (47.70) 自作・小作	—	—	前住地ニテ生活困難トナリタル故本屯ニ耕地多キヲ聞キテ來屯ス	100年	130年前小作ノ傍ラ旅館ヲ兼營シ本屯來住前マデ繼續セリ 130年前ニ分家光緒[illegible]年ニ3人ニ[illegible]更ニ分家再度光緒25年ニ分家シ更ニ民國18年ニNo.12農家ト分家セリ 此ノ時No.3農家ヨリ耕地12畝ヲ入典シ自作ス	11
本屯 民國 18 年 1.50 (30.00) 自作・小作	本屯 康德 1 年 1.50 (33.00) 自作・小作	本屯 康德 2 年 1.50 (33.50) 自作・小作	—	—	No.11農家參照	100年	民國18年以前No.11農家ノ項參照康德1年No.8農家ヨリ土地13.00畝ヲ130圓ニ入典シ現在ニ至ル	12
—	—	—	—	—	妻ノ叔父ヲ頼リテ來屯ス	20年	渡滿以後久シク年工トシテ生活シタルモ本縣姜家窩棚ニテ分家本屯ニ來住シテ始メテ小作ス	13
本屯 民國 13 年 5.60 (5.60) 自作・雇農(月・日)	本屯 民國 18 年 9.60 (17.60) 自作・小作	本屯 民國 20 年 9.60 (30.90) 自作・小作	本屯 大同 2 年 9.90 (42.90) 自作・小作	本屯 康德 2 年 9.90 (42.90) 自作・小作	前住地ニテ生活困難トナリタル故妻ノ親類ヲ頼リテ來屯ス	35年	民國3年ニ地主ノ都合ニヨリ小作ヲ中止セシコトアリ民國13年ニ屯内ヨリ5.70畝ヲ大洋60圓ニ民國18年ニ4.00畝ヲ奉票6,000圓ニテ購入ス	14
本屯 民國 13 年 17.00 (65.00) 自作・小作	本屯 民國 14 年 25.00 (73.00) 自作・小作	本屯 民國 18 年 39.00 (97.00) 自作・小作	本屯 大同 2 年 39.00 (61.00) 自作・小作	本屯 康德 1 年 39.00 (80.00) 自作・小作	農業勞働者トシテ本屯ノ草分ケ畢氏ヲ頼リテ來住ス	100年	民國2年マデNo.10農家ト同ジ 民國14年頃ヨリ餘裕ノアル毎ニ10.00畝200圓位ノ値段ニテ土地ヲ購入シ更ニ自家勞力ノ增加スルニ伴フテ小作地ヲ增加シ現在ニ至ル	15
—	—	—	—	—				

農家番號	同族關係	經營樣式	出身地	渡滿年代		渡滿後ノ移動並 1	2	3	4	5	6
16	E	自•小•雇(年)	河北省	120 年前	A	奉天省西豐縣 (20)	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯
					B	120 年 前	100 年 前	光緒 27 年	宣統 3 年	民國 2 年	民國 17 年
					C	—	—	— (20.0[illegible])	8.00 (6[illegible])	2.00 (1.0[illegible])	2.00 (21.0[illegible])
					D	雇　農(年)	雇　農(年)	小作•雇農(日)	自•小•雇(年)	自作•雇農(年)	自•小•雇(年)
17	E	自•小•雇(年)	河北省	120 年前	A	奉天省西豐縣 (20)	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯
					B	120 年 前	100 年 前	光緒 27 年	宣統 3 年	民國 2 年	民國 5 年
					C	—	—	— (20.00)	8.00 (60.00)	2.00 (1.00)	1.00 (0.50)
					D	雇　農(年)	雇　農(年)	小作•雇農(日)	自•小•雇(年)	自作•雇農(年)	自作•雇農(年)
18	E	自 • 雇(年)	河北省	120 年前	A	奉天省西豐縣 (20)	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯
					B	120 年 前	100 年 前	光緒 27 年	宣統 3 年	民國 2 年	民國 4 年
					C	—	—	— (20.00)	8.00 (60.00)	2.00 (1.00)	7.00 (6.00)
					D	雇　農(年)	雇　農(年)	小作•雇農(日)	自•小•雇(年)	自作•雇農(年)	自•小•雇(日)
19	G	自 • 雇(年)	山東省	不　詳	A	不　詳(不詳)	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	—
					B	不　詳	光緒 10 年	民國 5 年	民國 18 年	康德 1 年	
					C	不　詳	—	—	1.00 (—)	17.80 (16.00)	
					D	不　詳	雇　農(年)	雇　農(年)	雇　農(年)	自 • 雇(年)	
20	C	自 • 雇(日)	山東省武定府	[illegible]年前	A	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯
					B	200 年 前	100 年 前	光緒 12 年	民國 6 年	民國 9 年	康德 2 年
					C	—	22.30 (22.30)	53.30 (53.30)	65.30 (65.30)	17.60 (23.40)	17.60 (13.40)
					D	雇　農(年)	自　作	自 • 雇(月)	自 • 雇(月)	自•小•雇(日)	自 • 雇(日)
21	D	自 • 雇(年)	山東省登州府	200 年前	A	不　詳	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯	本　屯
					B	200 年 前	200 年 前	130 年 前	90 年 前	民國 9 年	民國 15 年
					C	不　詳	不　詳	不　詳	不　詳	3.00 (3.00)	3.00 (—)
					D	不　詳	不　詳	不　詳	不　詳	自作•雇農(年)	雇　農(年)

註　本表ニ現レタル所有及耕作面積ハ總テ畝ヲ以テ單位トス

略　歴　表 （其四）

ニ 家業ノ變遷					本屯來住理由	本屯在住年數	備考	農家番號
7	8	9	10	11				
本屯 民國18年 10.00 (29.00) 自•小•雇(年)	本屯 大同 2年 10.00 (43.00) 自•小•雇(年)	本屯 康德 1年 10.00 (53.00) 自•小•雇(年)	本屯 康德 2年 10.00 (69.00) 自•小•雇(年)		No.10農家ト同ジ	1[illegible]年	民國2年マデNo.10農家ト同ジ民國18年 8.00畝ヲ133圓ニテ購入康德1年No.2農家ヨリ16.00畝ヲ150圓ニテ入典ス	16
本屯 民國14年 8.50 (18.00) 自作•小作	本屯 大同 2年 8.50 (38.00) 自•小•雇(年)	本屯 康德 1年 8.50 (23.00) 自•小•雇(年)	本屯 康德 2年 8.50 (33.00) 自•小•雇(年)	—	No.10農家ト同ジ	100年	民國5年マデNo.10農家ト同ジ民國14年7.50畝ヲ100圓ニテ買フ	17
本屯 民國8年 17.00 (14.00) 自•小•雇(年)	本屯 民國15年 24.00 (29.00) 自•小•雇(日)	本屯 民國18年 24.00 (52.00) 自作•小作	本屯 康德 2年 24.00 (57.00) 自•雇(年)	—	No.10農家ト同ジ	100年	民國2年マデNo.10農家參照民國4年5.00畝ヲ85圓民國8年ニ10.00畝ヲ80圓同14年ニ5.00畝80圓ニテ買ヒ同17年ニ屯外ヨリ22.00畝ヲ350圓ニテ入典ス康德1年16.00畝ヲ200圓ニテ入典ス	18
—	—	—	—	—	祖父ノ代マデ奉天省内ヲ轉轉トシテ生活シ本屯ニ來タリテ落チ着クト言ヘド詳細不明ナリ	50年	民國19年No.28農家ヨリ1.00畝ヲ60圓康德1年No.8農家ヨリ16.80畝ヲ480圓ニテ買フ	19
—	—	—	—	—	生活困難ノタメ本屯ノ草分ケ畢氏ヲ賴リテ來屯	200年	100年前未墾地22.30畝ヲ光緒12年熟地31.00畝ヲ銀10圓ニテ民國9年大洋100圓ニテ12.00畝ヲ買ヒ父ノ代兄弟3人ニテ分家ス	20
本屯 民國19年 3.00 (3.00) 自•雇(年)	本屯 大同 1年 3.00 (—) 雇農(年)	本屯 大同 2年 3.[illegible] (3.50) 自作•雇農(年)	本屯 康德 2年 4.00 (3.50) 自•雇(年)	—	No.6農家ト同ジ	200年	民國15年マデNo.6農家ト同ジ大同1年ニNo.28ニ3.00畝ノ出典康德2年正月回贖ス大同2年宅地ヲ買フ	21

農家番號	同族關係	經營樣式	出身地	渡滿年代		渡滿後ノ移動並 1	2	3	4	5	6
22	F	自・雇(月日)	河北省順天府	200年前	A	本縣網戸屯 ([illegible])	本縣網戸屯	本縣網戸屯	本縣網戸屯	本屯	本屯
					B	200年前	197年前	130年前	100年前	光緒6年	光緒25年
					C	—	— (100.00)	— (10.00)	18.00 (135.00)	18.00 (110.00)	14.00 ([illegible])
					D	雇農(日)	小作	小作・雜(旅館)	自作、小作	自作・小作	自作・小作
23		小作	山東省濟南府	400年前	A	法庫縣高力溝 ([illegible])	法庫縣高力溝	法庫縣高力溝	法庫縣高力溝	法庫縣高力溝	法庫縣高力溝
					B	400年前	道光初年	民國8年	民國9年	民國10年	民國15年
					C	—	— (50.00)	25.00 (55.00)	40.00 (60.00)	52.00 (72.00)	70.00 (100.00)
					D	雇農(年月日)	小雇(年月日)	自・小・雇(年・月・日)	自・小・雇(年・月)	自・小・雇(日)	自作・小作
24	H	小作	河北省順天府	123年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	123年前	75年前	光緒8年	光緒11年	民國6年	大同2年
					C	—	3.50 (—)	— (30.00)	—	—	— (10.00)
					D	雇農(年)	雇農(年)	小作・雇農(年)	雇農(年)	雇農(年)	小作・雇農(日)
25	H	小作、雜業(行商、撿糞)	河北省順天府	123年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	123年前	75年前	光緒8年	光緒25年	民國8年	民國18年
					C	—	3.50 (—)	— (30.00)	— (10.00)	— (25.00)	—
					D	雇農(年)	雇農(年)	小作・雇農(年)	小、雇(月、日)	小作	雇農(年・月・日)
26	H	小・雇(年、月)	河北省順天府	123年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	123年前	75年前	光緒8年	光緒26年	光緒29年	民國2年
					C	—	3.50 (—)	— (30.00)	3.50 (11.00)	3.50 (11.00)	3.50 (21.00)
					D	雇農(年)	雇農(年)	小作・雇農(年)	小、雇(日)	小・雇(月・日)	小・雇(日)
27	B	小・雇(月、日)	山東省濟南府	200年前	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	200年前	170年前	光緒3年	民國6年	大同2年	康德2年
					C	14.00 (—)	14.00 (50.00)	11.00 (50.00)	2.50 (2.00)	2.50 (25.00)	2.50 (43.00)
					D	雇農(年)	自作・小作	自作・小作	自作、雇農(年)	自作・小作	小作・雇農(月・日)
28	G	小、雇(月)	山東省	不詳	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	光緒[illegible]年	民國5年	民國[illegible]年	大同[illegible]年	康德1年	康德2年
					C	—	5.00 (20.00)	4.00 (23.00)	4.00 (26.00)	4.00 (29.00)	4.00 (43.00)
					D	雇農(年)	小、雇(年)	自・小・雇(月)	自、小、雇(月)	自・小・雇(月)	小・雇(月)

本表ニ現レタル所有及耕作面積ハ總テ畝ヲ以テ單位トス

略　歴　表（其五）

家業ノ變遷					本屯來住理由	本屯在住年數	備考	農家番號
7	8	9	10	11				
本屯 30年前 1.20 (10.00) 自•小•雇(日)	本屯 康德2年 1.20 (1.00) 自•雇(月•日)	—	—	—	No.11 農家ト同ジ	100年	光緒25年迄 No11. 農家ト同ジ、同年分家ス	22
法庫縣高力溝 大同2年 70.00 (90.00) 自•小•雇(日)	本屯 康德2年 — (111.00) 小作	—	—	—	土地狹少ニテ勞力過剩ノタメ土地ヲ求メテ來屯	2年	光緒32年ニ2人ニテ分家民國8年ニ10.00畝9年ニ15.00畝10年ニ10.00畝15年ニ18.00畝ト漸次土地ヲ購入獲得セシガ何人口多ク生活容易ナラザル故分家シテ本屯ニ來リ小作ヲシテ生活ス	23
本屯 康德2年 — (45.00) 小作	—	—	—	—	耕地少ナク生活困難ノタメ來屯	123年	75年前ニ3.50畝ヲ購入分家（No34外3人ト共ニ）光緒8年再ビ分家民國6年ニマタ分家ス	24
本屯 康德2年 — (28.50) 小作•雜業 (行商撿糞)	—	—	—	—	No24 農家ト同ジ	123年	光緒8年以前 No24 農家ト同ジ民國8年後小作ヲ中止シ康德2年ヨリ再ビ小作ス	25
本屯 康德1年 3.50 (21.00) 小作	本屯 康德2年 3.50 (68.00) 小•雇(年•月)	—	—	—	No24 農家ト同ジ	123年	光緒8年以前 No24 ト同ジ自家勞力ノ多クナルト同時ニ小作地ヲ增加シ小作ノ旁ラ年工ヲナス	26
—	—	—	—	—	No4 農家ト同ジ	200年	No4農家ト民國6年以前同ジ以後二度ニ亘リ小作地ヲ增加セルノミ他ハ變化ナシ	27
—	—	—	—	—	No 19 農家ト同ジ	50年	光緒10年迄 No 19 農家ト同ジ民國5年畑5.00畝ヲ買ヒ民國19年 No19 ヘ1.00畝ヲ賣却ス	28

略　　歷　　表（其六）

住家屋ノ變遷 7	8	9	10	11	本屯來住理由	本屯在住年數	備　考	農家番號
—	—	—	—	—	No.24農家ト同ジ	123年	光緒 8年以前 No.24農家參照康徳1年80.00畝ヲ撈外青トシテ小作翌年40.00畝ニ減ラシテ傍ラ月工ヲナス	29
—	—	—	—	—	生活困難ノ爲	85年	民國15年土地3.50畝ヲ買ヒ康徳 2年始メテ小作ヲナシ傍ラ年工ヲナス	30
本屯 30年前 1.20 (20.40) 自作・小作	本屯 民國18年 1.20 (33.40) 自作・小作	本屯 大同2年 1.20 (20.40) 自作・小作	本屯 康徳2年 1.20 (10.40) 自・小・雇(日)	—	No.11農家ト同ジ	100年	光緒25年マデNo.11農家ト同ジ其ノ後更ニ30年前ニNo.22外3人ノ兄弟ト分家ス	31
—	—	—	—	—	親戚ヲ頼リテ來屯ス	1年	民國17年ヨリ 3年間150.00畝ヲ小作セシガ洪水ノタメ約2,000圓ノ損害ヲ蒙リタル故窮境ニ陥リ以後雇農トシテ生活ス	32
—	—	—	—	—	No.27農家ト同ジ	200年	民國 6年以前 No.27農家ト同ジ民國6年分家ス	33
—	—	—	—	—	No.24農家ト同ジ	123年	75年前迄No.24農家ト同ジ民國 [illegible]年分家以後年工トシテ生活ス	34

鐵嶺縣畢家窩棚屯　　第二農家

農家番號	同族關係	經營樣式	出身地	渡滿年代		渡滿後ノ移動並 1	2	3	4	5	6
35		雇農（年）	山東省登州府	125年前	A	本縣第6區永安堡(62)	本縣第6區永安堡	本屯	• —	—	—
					B	125年前	80年前	63年前			
					C	—	—	— (0.20)			
					D	雇農（年）	雇農（年）	雇農（年）			
36		雇農（月•日）	山東省武定府	150年前	A	本縣腰堡屯(123)	本縣腰堡屯	本縣腰堡屯	本縣腰堡屯	本屯	本屯
					B	150年前	100年前	100年前	光緒30年	宣統1年	康德2年
					C	—	130.00 (130.00)	32.50 (29.50)	—	— (0.90)	— (0.90)
					D	雇農（年）	自作	自作	雇農（年）	雇農（年）	雇農（月日）
37	H	雇農（月）	河北省順天府	123年	A	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯	本屯
					B	123年前	75年前	光緒8年	光緒11年	大同2年	康德2年
					C	—	3.50 (—)	— (30.00)	—	—	—
					D	雇農（年）	雇農（年）	小作、雇農(年)	雇農（年）	雇農（年）	雇農（月）
38		雇農（月）雜（粉匠）	山東省萊州府	7代前	A	本縣第7區任家窩棚	本屯	—	—	—	—
					B	7代前	康德2年				
					C	—	— (0.40)				
					D	雇農（年）	雇(月)雜(粉匠)				
39		雇農（月）雜（行商）	河北省永平府	16[illegible]年前	A	法庫縣第2區胡家窩棚屯(154)	法庫縣第2區胡家窩棚屯	法庫縣第2區胡家窩棚屯	法庫縣第2區胡家窩棚屯	法庫縣第2區胡家窩棚屯	法庫縣第2區胡家窩棚屯
					B	160年前	140年前	130年前	120年前	65年前	民國6年
					C	40.00 (40.00)	40.00 (140.00)	—	6.66 (26.66)	1.00 (—)	1.00 (—)
					D	自作	自作•小作	無職	自作•小作	雇農（年）	雇農（年）
40		雜業（裁縫）	山東省萊州府	250年前	A	本縣第7區川家窩棚屯(160)	本縣第7區范家窩棚屯(4)	本屯(1)	本縣第7區大規樹屯(1)	本屯	—
					B	250年前	民國14年	民國18年	民國19年	民國20年	
					C	—	—	—	—	—	
					D	雇農（年）	雇農（月）	雜（裁縫）	雜（裁縫）	雜（裁縫）	
41	F	無職	河北省順天府	2[illegible]年前	A	本縣洞戶屯(100)	本縣洞戶屯	本縣洞戶屯	本縣洞戶屯	本屯	本屯
					B	200年前	197年前	130年前	100年前	光緒6年	光緒31年
					C	—	— (100.00)	— (10.00)	18.00 (135.00)	3.00 (100.00)	3.00 (30.00)
					D	雇農（日）	小作	小作	小作	小作	小作

註　本表ニ現レタル所有及耕作面積ハ總テ畝ヲ以テ單位トス

略　歷　表（其七）

[illegible]家[illegible]ノ變遷					本屯來住理由	本屯在住年數	備考	農家番號
7	8	9	10	11				
—	—	—	—	—	親類ノ娘ノ嫁入先ヲ賴リテ來屯	63年	80年以前兄弟 6人ニテ分家セリ	35
—	—	—	—	—	前住地ニテ生活困難トナリタル故親戚ヲ賴リテ來屯	27年	100年前 年工ニテ貯ヘタル賃銀ヲ以ツテ土地130.00畝ヲ買ヒ兄弟 4人ニテ分家ス光緒30年頃ヨリ生活費ニ窮シ土地全部ヲ賣却シ雇農トナル	36
—	—	—	—	—	No.24 農家ト同ジ	123年	大同 2年分家以前 No.24 農家ト同ジ 分家以後雇農トシテ生活ス	37
—	—	—	—	—	生活困難トナリタル故住ミ良キ土地ヲ求メテ來屯	1年	任家窩棚屯ニテ年工トシテ代々生活セシガ本屯來住後月工、粉匠トシテ生活ス	38
本屯 民國 20 年 (一) 0.30 雇(月)雜(行商)	—	—	—	—	親戚 No.11農家ヲ賴リテ來屯ス	5年	祖先前住地ニテ草分ケトシテ生活セシガ家族多クナリ生活費ニ窮シ土地全部ヲ賣却セリ、其ノ後120年前頃6人ニテ分家シ110年前ニハ殘レル僅カノ土地ヲモ賣却セリ、其ノ後民國6年、20年、2回分家シ遂次零細化シ月工、行商等ヲナシ辛ウジテ生活ス	39
—	—	—	—	—	生活困難ノタメ知人ヲ賴リテ來屯	5年	民國 8年マデ田家窩棚屯ニテ雇農トシテ生活セシガ戶主任秉貴精神病トナリテヨリ諸所ノ知人ヲ賴リソノ家族裁縫等ヲナシテ生活シ5 年以前再ビ本屯ニ來リテ現在ニ至ル	40
本屯 光緒 32 年 3.00 (一) 無職	本屯 康德 2 年 3.00 (一) 無職	—	—	—	No. 11 農家ト同ジ	100年	光緒6年以前No.11農家ト同ジ光緒31年マデ小作ヲナセシガ其ノ時夫死亡セシニヨリ僅カノ家ヲ賃貸シテ家賃ヲ得ル他娘ノ仕送リヲ得テ生活ス	41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第三 家族

農家番號	經營樣式	性別＼年齡	家族數 計	1–4	5–10	11–12	13–14	15–17	18–19	20–30	31–45	46–50	51–55	56–60	61以上	教育 修學中	教育 識字	教育 文盲	自農 男 成人	自農 男 大半拉子
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
14	自・小	計	5	—	—		—	—	1	—	—		1	—	2		—	5		1
		男	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—		3	—	1
		女	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—		—	2	—	—
15	自・小・雇（日）	計	7	—	1	—	1	—	1	—	2	—	—	—	2	1	1	5	1	—
		男	3	—	—	—	1		—	—	1			—	1	1	1	1	1	—
		女	4	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	4	—	—
16	〃（年）	計	7	1	2		—	—	—	1	1	—	1	1	—	1	—	4	1	—
		男	4	—	2	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—	2	1	—
		女	3	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—
17	〃（年）	計	9	1		1	1	1	—	3	—	2	—	—	—	1	1	6	1	—
		男	4	—	—	—	—	1	—	2	—	1		—	—	1	1	2	1	—
		女	5	1	—	1	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	4	—	—
18	自・雇（年）	計	9	—	1	1	1	1	1	2	1	—	1	—	—	1	1	7	1	1
		男	4	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1	—	—	1	1	2	1	1
		女	5	—	1	—	1	1	—	1	1	—	—	—		—	—	5	—	—
19	〃（年）	計	4	2	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—		1	1	1	
		男	1	—	—	—	—	—	—	—	1		—	—	—		1	—	1	—
		女	3	2	—	—	—		—	1	—			—	—	—	—	1	—	—
20	〃（日）	計	3	—	1	—	—			2	—		—	—	—	—	1	1	1	—
		男	1	—	—		—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1		1	—
		女	2	—	1	—	—	—	—	1		—		—	—	—	—	1	—	—
21	〃（年）	計	3		1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	1	—
		男	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—
		女	2	—	1	—	—	—		1			—	—	—		—	1	—	—
22	〃（月・日）	計	7	—	2	1		1	—	—	2	—	—	—	1		1	5	1	—
		男	2	—		1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	1	—
		女	5	—	2	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	4	—	—
23	小作	計	5	—	—	1	1	—		1	—	—	2	—	—	2	2	1	2	—
		男	4		—	1	1	—	—	1	—	—	1	—	—	2	2	—	2	—
		女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
24	〃	計	3	—	—	—	1	—		—	—	1	—	1	—		1	2	1	—
		男	2		—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	—
		女	1		—	—		—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
25	小作 雜（行商・撿糞）	計	9	1	2	—	1	1		—	2	—		—	2	—	—	8	1	—
		男	3	—	—	—	1			—	1		—	—	1	—	—	3	1	—
		女	6	1	2	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—		5	—	—
26	小・雇（年・月）	計	11	3	—	—	—	—	—	4	2		—	—	2		2	6	2	—
		男	5	1	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	1	—	2	2	2	—
		女	6	2	—		—	—		2	1		—	—	1	—	—	4	—	—
27	〃（月・日）	計	9	2	1	—	—	—	—	3	1	—	1	—	1			6	2	—
		男	5	1	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	1	—	—	3	2	—
		女	4	1	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	—	—	3	—	—

構　成　表（其二）

家族勞働					被傭勞働					從屬者	年齡										農家番號
男子		女子	他業	家事	農業				其他		計	11—12	13—14	15—17	18—19	20—30	31—45	46—50	51—55	56以上	
半拉子	小半拉子				成工	大半拉子	半拉子	女子													
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
—	2	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
—	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	2	—	2	—	—	—	2	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	2	—	2	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	2	1	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	3	—	3	2	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	3	—	3	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	2	—	4	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	2		4	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	1	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	1	—	—	2	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1	2	1	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25
—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	1	3	—	4	2	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26
—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	3	—	4	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	—	—	1	2	2	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27
1	—	—	1	—	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

鐵嶺縣畢家窩棚屯　第三　家族

農家番號	經營樣式	性別	家族數計	1-4歳	5-10歳	11-12歳	13-14歳	15-17歳	18-19歳	20-30歳	31-45歳	46-50歳	51-55歳	56-60歳	60歳以上	教育 修學中	教育 識字	教育 文盲	自農 男 成人	自農 男 大半拉子
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
28	小・雇（月）	計	9	1	2	—	1	—	1	1	2	—	—	—	1	—	2	5	1	1
		男	4	1	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2	—	1	1
		女	5	—	1	—	1	—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	5	—	—
29	〃（月）	計	3	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	1	2	1	—
		男	2	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
		女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
30	〃（年）	計	1	3	2	—	—	1	—	2	—	2	—	—	—	—	1	5	1	—
		男	5	3	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	1	1	1	—
		女	5	—	2	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	4	—	—
31	〃（日）	計	7	1	2	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1	—	1	4	1	—
		男	2	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	1	—
		女	5	1	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	3	—	—
32	雇農（年・日）・雑（行商・撿糞）	計	6	2	—	—	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	4	—	—
		男	3	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—
		女	3	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—
33	雇(月・日)・雑(撿糞)	計	7	2	1	1	—	—	—	1	1	—	—	—	1	—	—	5	—	—
		男	5	1	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	4	—	—
		女	2	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
34	雇農（年・月）	計	4	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	1	—	—	4	—	—
		男	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—
		女	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	2	—	—
35	〃（年）	計	6	1	—	—	1	—	—	1	1	—	1	—	1	—	2	3	—	—
		男	3	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	1	—	2	1	—	—
		女	3	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	2	—	—
36	〃（月・日）	計	8	2	1	—	1	—	—	2	—	—	1	1	—	—	2	3	1	—
		男	4	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	2	1	1	—
		女	4	1	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—
37	〃（月）	計	4	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
		男	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	3	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
38	雇（月）・雑（[illegible]）	計	7	—	3	1	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	4	—	—
		男	2	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	5	—	2	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
39	雇（月）・雑（行商）	計	6	2	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—	—	—	4	—	—
		男	4	2	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—
		女	2	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—
40	雑（[illegible]）	男	4	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	—	1	2	—	—
		女	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
		計	3	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	2	—	—
41	無職	計	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—

構　成　表　（其二）

家族勞働 農業 男子 半拉子	家族勞働 農業 男子 小半拉子	家族勞働 農業 女子	家族勞働 他業	家族勞働 家事	被傭勞働 農業 成工	被傭勞働 農業 大半拉子	被傭勞働 農業 半拉子	被傭勞働 農業 女子	被傭勞働 其他	從屬者	年工數 計	11—12	13—14	15—17	18—19	20—30	31—45	46—50	51—55	56以上	農家番號
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
—	—	2	—	2	—	1	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29
—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	1	1	—	1	1	—	—	1	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31
—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1	2	2	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32
—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33
—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34
—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1	3	2	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36
—	—	—	1	—	2	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	1	—	—	—	1	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38
—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1	2	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39
—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	2	2	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	2	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第四　被傭

農家番號	經營樣式	耕作地	家族全數		自家勞働員數				勞賃計		年工			月工				日工	
					農業		他業		現銀	現物	人數	勞賃		人數	延月數	勞賃		人數	延日數
			男	女	男	女	男	女				現銀	現物			現銀	現物		
		畝	人	人	人	人	人	人	圓	石	人	圓	石	人	月	圓	石	人	日
	屯內總計	1.721.58	131	141	48	29	11	2	1.312.70	高粱 21.87	13	772.00	—	男 12 女 —	38.5 —	244.50 —	高粱 11.07 —	男 10 女 7	285 106
1	地主	3.30	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
2	〃	—	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
3	地・自・雜（粉房區農會長）	333.00	12	11	3	—	3	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
4	地・自	56.00	2	4	1	1	1	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
5	地・自・雜（看青的）	4.00	2	2	1	—	—	—	—	高粱 10.80	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
6	地・雇（年）	—	1	1	—	—	—	—	66.00	—	1	66.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
7	自作	165.10	4	3	2	2	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
8	自・小	209.00	7	5	3	3	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
9	〃	36.48	5	6	2	—	—	—	3.00	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 1 女 —	10 —
10	〃	40.00	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
11	〃	47.70	2	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
12	〃	33.50	4	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
13	自・小・雜（大師夫漁業）	48.50	4	4	1	3	1	—	63.00	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
14	自・小	42.90	3	2	3	2	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
15	自・小・雇（日）	74.30	3	4	1	2	—	—	10.00	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 2	— 46
16	〃（年）	69.00	4	3	1	1	—	—	70.00	—	1	70.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
17	〃（年）	33.00	4	5	1	3	—	—	120.00	—	2	120.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
18	自・雇（年）	57.00	4	5	2	2	—	—	60.00	—	1	60.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
19	〃（年）	16.00	1	3	1	1	—	—	50.00	—	1	50.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
[illegible]	〃（日）	13.4[illegible]	1	2	1	—	—	—	11.[illegible]	—	—	—	—	男 — 女	— —	— —	— —	男 1 女 —	[illegible] —

勞働表 (其一)

工		貸牛具			換工		挿具		其他被傭							備考	農家番號
勞賃		件數	面積又ハ延日數	收入	面積又ハ延日數	對方	面積又ハ延日數	對方	勞務種類	人數	期間	勞賃			送金		
現銀	現物											現銀	現物				
圓	石		日	圓	日		日			人		圓		石			
91.45 22.10	— —	1	7	12.00	51	—	320	—	—	6	18ヶ月 125日	170.65	高粱	10.80	—		屯內總計
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		1
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		2
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		3
— —	— —	—	—	—	—	—	22	14號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ挿具換工[illegible]日ヲ含ム	4
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	看青的	1	6月6日〜10月30日迄4ヶ月24日	—	高粱	10.80	—		5
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		6
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		7
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		8
3.00 —	— —	—	—	—	—	—	20	27號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ挿具換工5日ヲ含ム	9
— —	— —	—	—	—	—	—	15 15	28號 17號	—	—	—	—		—	—	挿具中ニ3日ノ挿具換工ヲ含ム 挿具中ニ3日ノ挿具換工ヲ含ム	10
— —	— —	—	—	—	—	—	10	12號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ10日ノ挿具換工ヲ含ム	11
— —	— —	—	—	—	—	—	7	11號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ7日ノ挿具換工ヲ含ム	12
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	大師夫	1	2月2日〜11月1日迄9ヶ月	63.00		—	—		13
— —	— —	—	—	—	—	—	22	4號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ9日ノ挿具換工ヲ含ム	14
— 10.00	— —	—	—	—	—	—	33	16號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ8日ノ挿具換工ヲ含ム	15
— —	— —	—	—	—	—	—	37	15號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ7日間ノ換具換エヲ含ム	16
— —	— —	—	—	—	—	—	15 15	10號 28號	—	—	—	—		—	—	挿具中ノ日數ニハ3日ノ挿具換工ヲ含ム 挿具中ノ日數ニハ3日ノ挿具換工ヲ含ム	17
— —	— —	—	—	—	—	—	23	屯外	—	—	—	—		—	—	挿具相手ノ屯外ハ康德2年迄本屯ニ居住ス	18
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		19
11.00 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		20

第四　被　傭

鐵嶺縣畢家窩棚屯

農家番號	經營様式	耕作地	家族全数 男	家族全数 女	自家勞働員數 農業 男	農業 女	他業 男	他業 女	勞賃計 現銀	勞賃計 現物	年工 人數	年工 勞賃 現銀	年工 勞賃 現物	月工 人數	月工 延月數	月工 勞賃 現銀	月工 勞賃 現物	日工 人數	日工 延日數
		畝	人	人	人	人	人	人	圓	石	人	圓	石	人	月	圓	石	人	日
21	自・雇(年)	3.50	1	2	1	1	—	—	68.00	—	1	68.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
22	〃(月・日)	1.00	2	5	1	—	—	—	32.90	—	—	—	—	男 1 女 —	4.0 —	29.00 —	— —	男 — 女 2	— 7
23	小作	111.00	4	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
24	〃	45.00	2	1	2	1	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
25	小・雑(行商・撿糞)	28.50	3	6	1	—	1	—	3.00	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 1 女 —	10 —
26	小・雇(年・月)	68.00	5	6	3	3	—	—	64.00	—	1	55.00	—	男 1 女 —	2.0 —	9.00 —	— —	男 — 女 —	— —
27	〃(月・日)	43.00	5	4	3	—	1	—	33.00	—	—	—	—	男 1 女 —	3.0 —	30.00 —	— —	男 1 女 —	10 —
28	〃(月)	43.00	4	5	2	2	—	—	14.00	—	—	—	—	男 1 女 —	2.0 —	14.00 —	— —	男 — 女 —	— —
29	〃(月)	40.50	2	1	1	—	—	—	47.00	—	—	—	—	男 2 女 —	40 —	35.00 —	— —	男 — 女 —	— —
30	〃(年)	42.50	5	5	1	—	—	—	50.00	—	1	50.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
31	〃(日)	10.40	2	5	2	1	—	—	22.95	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 1 女 1	60 28
32	雇(年・日) 雑(行商・撿糞)	1.00	3	3	—	—	1	—	64.30	—	1	55.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 1 女 1	22 15
33	雇(月・日)・雑(撿糞)	—	5	2	—	—	1	—	35.00	—	—	—	—	男 1 女 —	2.0 —	16.00 —	— —	男 1 女 —	60 —
34	雇農(年・月)	0.20	2	2	—	—	—	—	143.00	—	2	128.00	—	男 1 女 —	2.0 —	15.00 —	— —	男 — 女 —	— —
35	〃(年)	0.20	3	3	—	—	—	—	50.00	—	1	50.00	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —
36	〃(月・日)	0.90	4	4	1	—	1	—	87.30	高粱 5.40	—	—	—	男 1 女 —	3.5 —	12.00 —	高粱 5.40 —	男 2 女 —	73 —
37	〃(月)	—	1	3	—	—	—	—	44.25	—	—	—	—	男 1 女 —	7.0 —	43.00 —	— —	男 1 女 —	5 —
38	雇(月)・雑([illegible]匠)	0.40	2	5	—	—	—	—	79.50	高粱 5.67	—	—	—	男 1 女 —	5.5 —	22.00 —	高粱 5.67 —	男 — 女 —	— —
39	〃 〃(行商)	0.20	4	2	—	—	1	—	19.50	—	—	—	—	男 1 女 —	3.5 —	19.50 —	— —	男 — 女 —	— —
40	雑業(裁縫)	—	1	3	—	—	—	2	2.00	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 1	— 10
41	無職	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男 — 女 —	— —	— —	— —	男 — 女 —	— —

勞働表 （其二）

工		貸牛具			換工		挿具		其他被傭						備考	農家番號
勞賃		件數	面積又ハ延日數	收入	面積又ハ延日數	對方	面積又ハ延日數	對方	勞務種類	人數	期間	勞賃		賃金		
現銀	現物											現銀	現物			
圓	石		日	圓	日		日			人		圓	石			
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		21
— 1.4[illegible]	— —	—	—	—	1	31號	—	—	雜業	1	10日	2.50	—	—		22
— —	— —	—	—	—	29	屯外	—	—	—	—	—	—	—	—		23
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		24
3.00 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		25
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		26
3.00 —	— —	—	—	—	—	—	20日	9號	—	—	—	—	—	—	挿具ノ日數中ニハ5日ノ挿具換工ヲ含ム	27
— —	— —	—	—	—	—	—	15 15	10號 17號	—	—	—	—	—	—	挿具日數ノ中ニハ3日ノ挿具換工ヲ含ム 挿具ノ日數中ニハ 3日ノ挿具換工ヲ含ム	28
— —	— —	1	7	12.00	—	—	18	30號	—	—	—	—	—	—	挿具ノ日數中ニハ 5日ノ挿具換工ヲ含ム	29
— —	— —	—	—	—	—	—	18	29號	—	—	—	—	—	—	挿具ノ日數中ニハ 5日ノ挿具換工ヲ含ム	30
15.75 7.20	— —	—	—	—	20日 1日	屯外 22號	—	—	—	—	—	—	—	—	屯外20日ハ除草（小半粒子）對方ヨリ整地插種2 日來ル	31
7.80 1.50	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		32
19.00 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		34
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		35
27.65 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	倉庫造 壁作・雜業	2	34日 57日	17.00 30.65	—	—		36
1.25 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	粉匠	1	5ケ月	57.50	—	—		38
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		39
— 2.00	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第五　雇　傭

農家番號	經營樣式	耕作地	家族全數 男	家族全數 女	自家勞働員數 農業 男	農業 女	他業 男	他業 女	勞賃計 現銀	勞賃計 現物	年工 人數	年工 勞賃 現銀	年工 勞賃 現物	月工	月工 人數	月工 延月數	月工 勞賃 現銀	月工 勞賃 現物	日工	日工 延日數
		畝	人	人	人	人	人	人	圓	石	人	圓	石		人	月	圓	石		日
	（屯內總計）	1,721.58	131	141	48	29	11	2	1,010.95	高粱 5.40	9	547.00	—	男 女	6 —	13 —	75.00 —	高粱 5.40 —	男 女	522 41
1	地　主	3.30	3	2	—	—	—	—	15.00	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
2	〃	—	2	5	—	—	—	—	2.00	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
3	地・自・雜（粉房區農會長）	333.00	12	11	3	—	3	—	661.50	—	6	395.00	—	男 女	2 —	4.0 —	32.00 —	— —	男 女	250 —
4	地・自	56.00	2	4	1	1	1	—	21.50	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	65 —
5	地・自・雜（看青的）	4.00	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
6	地・雇（年）	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
7	自　作	165.10	4	3	2	2	—	—	75.50	高粱 5.40	1	50.00	—	男 女	1 —	3.5 —	12.00 —	高粱 5.40 —	男 女	25 —
8	自・小	209.00	7	5	3	3	—	—	133.00	—	2	102.00	—	男 女	2 —	5.0 —	25.00 —	— —	男 女	20 —
9	〃	36.48	5	6	2	—	—	—	—	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
10	〃	40.00	3	2	1	—	—	—	1.80	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	3 —
11	〃	47.70	2	1	2	—	—	—	1.20	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	3 —
12	〃	33.50	4	2	2	1	—	—	4.10	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	11 —
13	自・小・雜（大師夫漁業）	48.50	4	4	1	3	1	—	—	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
14	自・小	42.90	3	2	3	2	—	—	4.20	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	10 —
15	自・小・雇（日）	74.30	3	4	1	2	—	—	41.00	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	90 —
16	〃（年）	6[illegible].00	4	3	1	1	—	—	6.00	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— 40
17	〃（年）	33.00	4	5	1	3	—	—	—	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
18	自・雇（年）	57.00	4	5	2	2	—	—	—	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —
19	〃（年）	16.00	1	3	1	1	—	—	8.00	—	—	—	—	男 女	— —	— —	— —	— —	男 女	— —

勞　　働　　表　(其一)

工		雇牛具			換工		挿具		其他雇傭					備考	農家番號
勞賃 現銀	勞賃 現物	件數	面積又ハ延日數	支出	面積又ハ延日數	對方	面積又ハ延日數	對方	勞務種類	人數	期間	勞賃 現銀	勞賃 現物		
圓 194.05 6.20	石 — —	2	日 13	圓 20.00	日 34	—	日 357	—	—	人 19	23ケ月 70日	圓 168.70	石		屯內總計
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	大師夫 家ノ修繕	1 10	11月1日〜12月30日 2ケ月 33日	5.00 10.00	—	大師夫ハ3ケ月（11月1日—1月30日）10圓ノ契約ニテ雇ヒ上工ノ時5圓滿工ノ時5圓ヲ支拂フ	1
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	塀ノ修繕	2	10日	2.00	—		2
91.00 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	打更的 大師夫 粉匠	1 1 1	2月1日〜10月30日 9ケ月 2月1日〜11月9日 9ケ月 3ケ月	30.00 80.00 33.50	—		3
21.50 —	— —	—	—	—	—	—	22	14號	—	—	—	—	—	當地方ニテ挿具換工ト稱シ人ガ役畜ニツイテ行ク事アリ、玆デハ9日アツタ、之ヲ挿具トシテ扱ヒ9日ヲ挿具日數中ニ入レタ以下同樣	4
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		5
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		6
7.50 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	家ノ修理	1	20日	6.00	—		7
6.00 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		8
— —	— —	—	—	—	—	—	2[illegible]	27號	—	—	—	—	—	5日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	9
1.80 —	— —	—	—	—	—	—	15 15	28號 17號	—	—	—	—	—	3日間挿具換工アリ挿具中含ム 3日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	10
1.20 —	— —	—	—	—	—	—	10	12號	—	—	—	—	—	10日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	11
4.10 —	— —	—	—	—	—	—	7	11號	—	—	—	—	—	7日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	12
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		13
4.20 —	— —	—	—	—	—	—	22	4號	—	—	—	—	—	9日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	14
41.00 —	— —	—	—	—	—	—	33	16號	—	—	—	—	—	8日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	15
— 6.00	— —	—	—	—	—	—	37	15號	—	—	—	—	—	7日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	16
— —	— —	—	—	—	—	—	15 15	10號 28號	—	—	—	—	—	3日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム 3日間挿具換工アリ挿具中ニ含ム	17
— —	— —	—	—	—	—	—	40	康2本屯ヨリ他屯移轉	—	—	—	—	—		18
— —	— —	1	6	8.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—		19

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第五　雇傭

農家番號	經營様式	耕作地	家族人數		自家勞働員數 農業		他業		勞賃計		年工			月工					日工	
			男	女	男	女	男	女	現銀	現物	人數	勞賃 現銀	勞賃 現物		人數	延月數	勞賃 現銀	勞賃 現物		延日數
		畝	人	人	人	人	人	人	圓	石	人	圓	石		人	月	圓	石		日
20	自・雇(日)	13.40	1	2	1	—	—	—	12.00	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
21	〃　(年)	3.50	1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
22	〃　(月・日)	1.00	2	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
23	小作	111.00	4	1	2	—	—	—	22.45	—	—	—	—	男	1	0.5	6.00	—	男	40
														女	—	—	—	—	女	—
24	〃	45.00	2	1	2	1	—	—	1.50	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	5
														女	—	—	—	—	女	—
25	小・雜(行商・撿糞)	28.50	3	6	1	—	1	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
26	小・雇(年・月)	68.00	5	6	3	3	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
27	〃　(月・日)	43.00	5	4	3	—	1	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
28	〃　(月)	43.00	4	5	2	2	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
29	〃　(月)	40.50	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
30	〃　(年)	42.50	5	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
31	〃　(日)	10.40	2	5	2	1	—	—	0.20	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	1
32	雇(年・日) 雜(撿糞・行商)	1.00	3	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
33	雇(月・日)・雜(撿糞)	—	5	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
34	雇農(年・月)	0.20	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
35	〃　(年)	0.20	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
36	〃　(月・日)	0.90	4	4	1	—	1	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
37	〃　(月)	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
38	雇(月)・雜(粉匠)	0.40	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
39	〃　(行商)	0.30	4	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
40	雜業(裁縫)	—	1	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—
41	無職	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男	—	—	—	—	男	—
														女	—	—	—	—	女	—

勞　働　表　（其二）

工		雇牛具			換工		插具		其他雇傭					備考	農家番號
勞賃 現銀	勞賃 現物	件數	面積又ハ延日數	支出	面積又ハ延日數	對方	面積又ハ延日數	對方	勞務種類	人數	期間	勞賃 現銀	勞賃 現物		
圓	石		日	圓	日		日			人		圓	石		
— —	— —	1	2	12.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—		20
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		21
— —	— —	—	—	—	1	31號	—	—	—	—	—	—	—		22
14.25 —	— —	—	—	—	30	屯外	—	—	換工 家ノ修理	1 1	1日 6日	0.40 1.80	—	換工ノ差引計算ニ於テ1日分40錢ヲ支拂フ	23
1.50 —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		24
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		25
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		26
— —	— —	—	—	—	—	—	20	9號	—	—	—	—	—	5日間ノ插具換工ハ插具中ニ含ム	27
— —	— —	—	—	—	—	—	15 15	10號 17號	—	—	—	—	—	3日間ノ插具換工ハ插具中ニ含ム 3日間ノ插具換工ハ插具中ニ含ム	28
— —	— —	—	—	—	—	—	18	30號	—	—	—	—	—	5日間ノ插具換工ハ插具中ニ含ム	29
— —	— —	—	—	—	—	—	19	29號	—	—	—	—	—	5日間ノ插具換工ハ插具中ニ含ム	30
— 0.20	— —	—	—	—	2 1	屯外 22號	—	—	—	—	—	—	—		31
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		32
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		34
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		35
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		36
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		38
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		39
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
— —	— —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

第六　勞働

其一

雇傭者	年齢	勞務種類	期間	能力	勞賃 現銀	勞賃 現物	勞賃 支拂方法	勞賃以外ノ給與 給食	勞賃以外ノ給與 其他
	才				圓	石			
(屯内) 3	28	打頭的	2月1日 10月30日	1.00	85.00	—	2月中2回全額支拂	2月1日～3月1日 10月以後 } 2回 外3回	—
〃	25	二打頭的	〃	1.00	75.00	—	2月中3回全額支拂	〃	—
〃	30	趕車的	2月20日 11月19日	1.00	70.00	—	〃	〃	—
〃	24	隨當的	2月10日 11月9日	0.75	45.00	—	〃	〃	—
〃	28	〃	2月1日 10月30日	1.00	60.00	—	2月中3回全額支拂	〃	—
〃	25	〃	〃	1.00	60.00	—	〃	〃	—
〃	52	大師夫	2月10日 11月9日	1.00	80.00	—	〃	〃	—
〃	60	打更的	2月1日 10月30日	1.00	30.00	—	〃	〃	—
7	30	打頭的	2月1日 10月30日	1.00	50.00	—	3月中1回拂	2月中10月以後2回外3回	—
8	30	〃	2月1日 10月30日	1.00	65.00	—	〃	普通3回　初春 晩秋 } 2回 外3回	—
〃	26	隨當的	2月1日 7月1日	1.00	37.00	—	〃	〃	—
(屯外) 第7區 夏家樓村公所	57	看青的	6月6日 10月30日	1.00	—	高粱 10.8石	1回(滿工)	—	—
第7區 姜万庫	42	打頭的	2月7日 11月7日	1.00	66.00	—	3月1回拂	2月中ト10月以後2回外3回	—
第7區 劉成維	52	大師夫	2月2日 11月1日	1.00	63.00	—	2月1回拂	〃	—
第7區 王菜	33	打頭的	2月1日 11月1日	1.00	70.00	—	2月ト3月2回拂	〃	—
第7區 田俊峯	49	〃	2月1日 10月30日	1.00	70.00	—	2月ト3月2回拂	〃	—
第7區 趙義	23	隨當的	2月1日 11月1日	1.00	50.00	—	2月ト3月2回拂	〃	—
第7區 鄧慶	33	〃	2月1日 10月30日	0.75	50.00	—	3月ト4月2回拂	〃	—
第7區 任鳳合	32	打頭的	2月5日 11月4日	1.00	68.00	—	3月15日1回拂	〃	—
第7區 厉紹卿	29	二打頭的	2月1日 10月30日	1.00	55.00	—	2月1日ヨリ3月1日マデ全額拂	〃	—
第6區 趙義	21	隨當的	2月8日 11月15日	0.75	50.00	—	1回前拂	〃	—
第7區 程連玉	29	〃	2月1日 10月30日	1.00	55.00	—	2月15日1回拂	〃	—
第7區 劉佰氏	50	打頭的	2月1日 10月30日	1.00	63.00	—	始メ1回拂	〃	—
第7區 劉菜	22	趕車的	2月1日 10月30日	1.00	65.00	—	2月1回拂	〃	—

關　係　表

年　工

仕込又ハ通ヒ	被傭手續	雇傭主トノ關係	家族ノ現住所	家業	貸金額	繼續年數	備考	雇傭者
通ヒ	保證人アリ	知人	第7區 鄧家窩棚	小作	—	1ケ年		(屯内) 3
仕込	〃	〃	第7區 狼古洞地屯	雇	—	〃		〃
〃	〃	〃	〃	〃	—	〃		〃
〃	直接口頭	〃	第7區 田家窩棚	〃	—	〃		〃
通ヒ	〃	〃	本屯(18號)	自・雇	—	〃		〃
仕込	〃	〃	第7區 万家房身屯	雇農	—	〃		〃
〃	〃	〃	第7區 鄧家窩棚	〃	—	〃		〃
〃	〃	〃	第7區 小夏家樓	〃	—	〃		〃
通ヒ	〃	知人	本屯(35號)	〃	—	1ケ年		7
仕込	〃	友人	第7區 小明安碑	農	—	1ケ年		8
〃	〃	知人	〃	農	—	〃	始メ9ケ月契約ナリシガ、本人ガ7月1日デヤメタルヲ以テ雇主ニ18圓ヲ拂ヘリ、始メ55圓デアツタガ結局37圓ヲ支給サル	〃
通ヒ	保證人アリ	役所	本屯(5號)	地主・自作	—	2ケ年		(屯外) 第7區 夏家樓 村公所
〃	直接口頭	知人	本屯(6號)	地主・雇農	—	2ケ年		第7區 姜万庫
仕込	保證人アリ	他人	本屯(13號)	自・小	—	1ケ年		第7區 劉成維
通ヒ	直接口頭	知人	〃(16號)	自・小・雇	—	2ケ年		第7區 王某
仕込	〃	友人	〃(17號)	自・雇	—	2ケ年	同一家族内ナリ	第7區 田俊峯
〃	保證人アリ	知人	〃(17號)	〃	—	1ケ年		第7區 趙義
通ヒ	直接口頭	親類	本屯(19號)	〃	—	10ケ年	10ケ年ナルモ康徳2年雇主ガ分家セリ	第7區 鄧慶
〃	〃	知人	〃(21號)	〃	—	4ケ年		第7區 任鳳合
仕込	〃	〃	〃(26號)	小・雇	—	10ケ年		第7區 房紹卿
〃	保證人アリ	他人	〃(30號)	〃	—	1ケ年	第6區ナレドモ本屯トノ距離10滿里足ラズナリ	第6區 趙義
〃	直接口頭	親類	本屯(32號)	雇農	—	1ケ年		第7區 程連玉
〃	保證人アリ	知人	〃(34號)	〃	—	1ケ年	同一家族ナリ	第7區 劉某
〃	〃	知人	〃(34號)	〃	—	1ケ年		第7區 劉某

其二

雇傭者	年齢	勞務種類	期間	能力	勞賃 現銀	勞賃 現物	勞賃 支拂方法	勞賃以外ノ給與 給食	勞賃以外ノ給與 其他
	歳		月日　月日		圓	石		圓	
(屯　內)									
1	30	大師夫	11. 1〜12.30	1.00	5.00	—	初メ1回	2	—
3	30	隨當的	4.18〜 6.18	1.00	16.00	—	5月15日1回拂	3	—
〃	20	〃	7.15〜 9.15	1.00	16.00	—	滿工1回拂	3	—
〃	40	粉匠	4.18〜 6.18	1.00	16.00	—	初1回 終了後1回 }2回拂	3	—
〃	40	〃	12. 1〜12.30	1.00	17.50	—	5回	2	—
7	26	隨當的	5. 1〜 7. 1	1.00	—	高粱5.40	1ヶ月後1回拂	3	—
〃	26	〃	7.20〜 9. 6	1.00	12.00	—	2回	3	—
8	28	二打頭的	9.21〜12.21	1.00	9.00	—	前1回拂	2	—
〃	37	隨當的	7. 1〜 9. 1	1.00	16.00	—	2回	3	—
23	30	〃	8.14〜 8.30	1.00	6.00	—	滿工1回	3	—
(屯　外)									
第7區 鄧昆	40	隨當的	4.10〜 6. 9	1.00	14.00	—	3回	3	—
〃 鄧昆	40	〃	7.11〜 9.10	1.00	15.00	—	3回	3	—
第6區 房紹卿	40	倒糞的	6. 1〜 8. 1	1.00	9.00	—	1回前拂	3	—
第7區 商奉岐	32	打頭的	3 .1〜 5.30	1.00	30.00	—	前1回拂	[illegible]	—
〃 姜鐵山	21	隨當的	4. 1〜 6. 1	0.75	14.00	—	4月ト5月2回拂	3	—
〃 鄧國貴	30	打頭的	7.15〜 9.15	1.00	19.00	—	始メ3回滿工16回	3	—
〃 鄧國盛	22	隨當的	4. 1〜 6. 1	1.00	16.00	—	4月1回拂	[illegible]	—
〃 劉荣	22	趕車的	11. 1〜12.30	1.00	15.00	—	滿工1回	3	—
〃 鄧國泰	28	二打頭的	5. 1〜 6.30	1.00	17.00	—	2回	3	—
〃 鄧昆	28	〃	7.20〜 9.20	1.00	17.00	—	2回	[illegible]	—
〃 王寶堂	40	隨當的	8. 1〜10. 1	1.00	16.00	—	初 終 }2回		—
〃 苗氏	40	〃	7.15〜 7.30	1.00	6.00	—	滿工1回	[illegible]	—
〃 劉佑	40	〃	1.15〜 4.15	1.00	—	高粱5.67	滿工1回	[illegible]	—
〃 王寶珍	40	粉匠	10. 1〜11.30	1.00	24.00	—	滿工1回	[illegible]	—
〃 劉荣	24	隨當的	3. 1〜 6. 1	0.75	16.50	—	滿工1回	[illegible]	—
〃 劉文季	24	〃	9. 1〜 9.15	0.75	3.00	—	1回	[illegible]	—

關　係　表

月　工

住込又ハ通ヒ	被傭手續	雇傭主トノ關係	家長ノ現住所	家業	前金額	繼續年數	備考	雇傭者
								（屯內）
通ヒ	直接口頭	知人	第7區 田家窩棚	農	—	—	11月1日ヨリ翌年1月末迄3ケ月契約デ雇ヒ初エノ時5圓滿エノ時5圓ヲ支拂ヘリ	1
住込	〃	親類	鐵嶺縣城內	〃	—	—		3
〃	〃	知人	第7區 田家窩棚	〃	—	—		〃
通ヒ	〃	知人	本屯(38號)	雇農	—	—		〃
〃	〃	〃	〃(38號)	〃	—	—		〃
〃	〃	〃	〃(36號)	〃	—	—	同人ヲ2回月エニ雇フ	7
〃	〃	〃	〃(36號)	〃	—	—		〃
〃	〃	〃	〃(37號)	〃	—	—		8
〃	〃	〃	〃(33號)	〃	—	—		〃
〃	〃	他人	第7區 田家窩棚	農	—	—		23
								（屯外）
〃	〃	知人	本屯(22號)	自雇	—	—	同ジ家ニ2回月エニ行ク	第7區 鄧昆
〃	〃	〃	〃(22號)	〃	—	—		〃 鄧昆
住込	〃	親類	〃(26號)	小、雇	—	—		第6區 房紹卿
〃	〃	〃	〃(27號)	〃	—	—		第7區 商春岐
通ヒ	〃	知人	〃(28號)	〃	—	—		〃 姜鐵山
住込	〃	〃	〃(29號)	〃	—	—	1家族內ヨリ2人月エニ行ク	〃 鄧國貴
〃	〃	〃	〃(29號)	〃	—	—	（同上）	〃 鄧國盛
〃	保證人アリ	〃	〃(34號)	雇農	—	—		〃 劉某
通ヒ	直接口頭	〃	〃(37號)	〃	—	—	1人ニテ1ケ年2ケ所ノ月エニ行ク	〃 鄧國奎
〃	〃	〃	〃(37號)	〃	—	—	（同上）	〃 鄧昆
〃	〃	〃	〃(38號)	〃	—	—	1人ニテ4ケ所ノ月エニ行ク	〃 王寶堂
〃	〃	〃	〃(38號)	〃	—	—	（同上）	〃 趙氏
〃	〃	〃	〃(38號)	〃	—	—	（同上）	〃 劉笛
〃	〃	〃	〃(38號)	〃	—	—	（同上）	〃 王寶珍
住込	〃	〃	〃(39號)	〃	—	—	1人ニテ2ケ所ニ月エニ行ク	〃 劉某
〃	〃	〃	〃(39號)	〃	—	—	（同上）	〃 劉文季

其三

男（成人）

労務種類	現銀ノ場合 普通	最高	最低	総平均	備考（給食其他）
	圓	圓	圓	圓	
整地（春耕）	0.25	0.30	0.25	0.281	給食 2回
施肥	0.30	0.30	0.25	0.275	〃
播種作業	0.35	0.40	0.30	0.330	給食 3回
除草 1 回	0.40	0.50	0.30	0.400	〃
〃 2 回	0.40	0.50	0.30	0.400	〃
〃 3 回	0.35	0.40	0.30	0.366	〃
中耕	0.30	—	—	0.300	〃
收穫	0.40	0.60	0.30	0.414	〃
收穫物運搬	0.40	—	—	0.400	〃
脱穀	0.25	0.30	0.25	0.284	給食 2回
[illegible]家ノ修理	0.25	0.30	0.20	0.280	〃　（春初メ秋終リ一般ニ暇ナ時行ク）
雑業	0.25	0.30	0.25	0.275	

其四　入屯出

屯内相互間 屯外ヘノ他出労働	年工	月 人数
	人	人
屯内ヨリ屯内ヘ	2	4
屯内ヨリ屯外ヘ	13	1[illegible]
屯外ヨリ屯内ヘ	9	4
屯外ヨリ屯内ヘ労働者引過不足	+4	+[illegible]

關　係　表

日　工

勞務種類	女（成人）現銀ノ場合 普通	最高	最低	總平均	備考（給食其他）
	圓	圓	圓	圓	
間引	0.15	0.20	0.10	0.154	給食ナシ
穗切	0.20～0.25	0.42	0.15	0.295	給食ナシ、一般ニ請負制度ナリ
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	

屯勞働者數

工 延月數	日工	備考
月	人	
11.5	258	
32.0	226	
6.5	338	
+25.5	−112	

關　　係　　表　（其一）

貸付（入典貸付ヲ含ム） 普通畑	菜園	自作地（入典自作ヲ含ム） 計	普通畑	菜園	借入地（出典小作ヲ含ム） 計	普通畑	菜園	耕作地（自作地＋借地）	備考	農家番號
畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝		
(10.00) (61.00) 673.00	2.10	(100.30) 809.48	(100.30) 756.48	53.00	(10.00) (5.00) 806.80	(10.00) (5.00) 801.80	5.00	1,721.58	耕作地合計欄ニハNo.2農家借入1[illegible]畝ヲ含マズ	屯內總計
[illegible]	—	3.30	—	3.30	—	—	—	3.30		1
1[illegible] 1[illegible]	—	—	—	—	10.[illegible]	(1[illegible]	—	—	貸付、借入欄ノ(10.00畝)ハ出典地ヲ借入レ更ニ其外ニ又貸シセルモノナリ	2
[illegible]	—	333.00	320.00	13.00	—	—	—	333.00		3
(5[illegible] 2[illegible]	—	56.00	50.00	6.00	—	—	—	56.00	本表記載以外ニ7.30畝ノ畑ヲ康2.10月No.9ヨリ購入セシガ秋收穫後ニ付記載セズ	4
12.[illegible]	—	4.00	3.00	1.00	—	—	—	4.00		5
(5.[illegible]	0.5[illegible]	—	—	—	—	—	—	—	貸付菜園0.50畝ヲNo.29ヘ無償ニテ貸ス	6
—	—	165.10	164.00	1.10	—	—	—	165.10		7
—	[illegible]	77.00	75.00	2.00	132.00	132.00	—	209.00	貸付菜園0.70畝ハNo.25ヘ0.50畝No.34ヘ0.20畝ハ貸家附加菜園ナリ	8
—		24.48	21.48	3.[illegible]	12.[illegible]	12.[illegible]	—	[illegible]	本表記載中ニハ康2.秋收穫後No.15ニ出典シアリタル7.30畝ノ賣却セル面積ヲ含ム	9
—		(14.00) 8.00	(14.00) 7.50	0.50	18.00	18.00	—	40.00		10
—	—	(12.00) 5.70	(12.00) 5.00	0.70	30.00	30.00	—	47.70		11
—	—	(13.00) 0.50	(13.00)	0.50	20.00	20.00	—	33.50		12
—	0.40	12.00	11.00	1.00	(5.00) 31.50	(5.00) 31.50	—	48.50	菜園貸付0.40畝ハNo.38ヘノ貸家附加菜園ナリ	13
—	0.30	7.60	5.60	2.00	35.30	35.30	—	42.90		14
—	—	(7.30) 34.00	(7.30) 34.00	—	33.00	33.00	—	74.30	本表記載ノ入典7.30畝ハ康徳2年秋出典者No.9ガ回贖セリ	15
—	—	(16.00) 9.00	(16.00) 8.00	1.00	44.00	44.00	—	69.00		16
—		8.00	7.50	0.50	25.00	25.00	—	33.00		17
—	—	(38.00) 19.00	(38.00) 18.00	1.00	—	—	—	57.00		18
—		16.00	16.00	—	—	—	—	16.00		19
—	0.2[illegible]	13.40	7.40	6.00	—	—	—	13.40		20
—	—	3.50	3.00	0.50	—	—	—	3.50		21
—	—	1.00	—	1.00	—	—	—	1.00		22
—	—	—	—	—	111.00	110.00	1.00	111.00	借入菜園1.00畝ハ小作地附加脫穀場ニシテ菜園ニ利用ス	23
—	—	—	—	—	45.00	45.00	—	45.00		24
—	—	—		—	28.50	28.00	0.50	28.50		25
—	—	1.00	—	1.00	67.00	67.00	—	68.00		26
—	—	2.00	—	2.00	41.00	41.00	—	43.00	借入地ハ實際43.00畝ナルモ2.00畝ハ窪地ニシテ耕作不能ナリ	27
—	—	3.00	—	3.00	40.00	40.00	—	43.00	借入地ハ實際41.00畝ナルモ1.00畝ハ窪地ニシテ耕作不能ナリ	28
—		—	—	—	40.50	40.00	0.50	40.50		29
—		2.50	—	2.50	40.00	40.00	—	42.50		30
—	—	0.40	—	0.40	10.00	10.00	—	10.40		31
—		—	—	—	1.[illegible]	—	1.00	1.[illegible]		32
—		—	—	—	—	—	—	—		33
—		—	—	—	0.20	—	0.20	0.20		34
—	—	—	—	—	0.20	—	0.20	0.20		35
—		—	—	—	0.90	—	0.90	0.90		36
—	—	—	—	—	—					37
—	—	—	—	—	0.40	—	0.40	0.40		38
—	—	—	—	—	0.30	—	0.30	0.30		39
—	—	—	—	—	—	—	—			40
—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

第七　土　地

鐵嶺縣畢家窩棚屯

農家番號	經營樣式	實質的所有熟地面積	所有地（出典地ヲ含ミ入典地ヲ除ク）									
			計		普通畑		菜園		宅地		荒地	
			屯內	屯外	屯內	屯外	屯內	屯外	屯內	屯外	屯內	屯外
		畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝
	（屯內總計）	1,645.88	1,556.78	246.50	1,427.28	245.50	55.10	—	52.30	—	7.00	—
1	地主	253.30	173.30	102.00	168.00	102.00	3.30	—	2.00	—	—	—
2	〃	179.00	110.30	109.00	110.00	109.00	—	—	0.30	—	—	—
3	地•自•雜（粉房區農會長）	542.00	669.00	—	637.00	—	13.00	—	11.00	—	3.00	—
4	地主•自作	135.00	69.00	15.00	58.00	15.00	6.00	—	4.00	—	—	—
5	地•自•雜（看青的）	16.00	5.00	12.00	3.00	12.00	1.00	—	1.00	—	—	—
6	地•雇（年）	5.50	1.00	—	—	—	0.50	—	0.50	—	—	—
7	自作	165.10	167.30	—	164.00	—	1.10	—	2.20	—	—	—
8	自•小	77.70	144.70	—	138.00	—	2.70	—	4.00	—	—	—
9	〃	24.48	34.78	—	28.78	—	3.00	—	3.00	—	—	—
10	〃	22.00	1.00	7.50	—	7.50	0.50	—	0.50	—	—	—
11	〃	17.70	9.50	—	5.00	—	0.70	—	0.80	—	—	—
12	〃	13.50	1.50	—	—	—	0.50	—	1.00	—	—	—
13	自•小•雜（大師夫漁業）	12.40	18.90	—	16.00	—	1.40	—	1.50	—	—	—
14	自•小	7.90	9.90	—	5.60	—	2.30	—	2.00	—	—	—
15	自•小•雇（日）	41.30	39.00	—	34.00	—	—	—	2.00	—	3.00	—
16	〃（年）	25.00	10.00	—	8.00	—	1.00	—	1.00	—	—	—
17	〃（年）	8.00	8.50	—	7.50	—	0.50	—	0.50	—	—	—
18	自雇（年）	57.00	24.00	—	18.00	—	1.00	—	1.00	—	—	—
19	〃（年）	16.00	17.80	—	16.00	—	—	—	1.00	—	—	—
20	〃（日）	13.60	17.60	—	7.40	—	6.20	—	3.00	—	1.00	—
21	〃（年）	3.50	4.00	—	3.00	—	0.50	—	0.50	—	—	—
22	〃（月•日）	1.00	1.20	—	—	—	1.00	—	0.20	—	—	—
23	小作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	小作•雜（行商撿糞）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	小•雇（年•月）	1.00	3.50	—	—	—	1.00	—	2.50	—	—	—
27	〃（月•日）	2.00	2.50	—	—	—	2.00	—	0.50	—	—	—
28	〃（月）	3.00	4.00	—	—	—	3.00	—	1.00	—	—	—
29	〃（月）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	〃（年）	2.50	3.50	1.00	—	—	2.50	—	1.00	—	—	—
31	〃（日）	0.40	1.20	—	—	—	0.40	—	0.80	—	—	—
32	雇（年•日）雜•（行商撿糞）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	雇（月•日）•雜（撿糞）	—	0.50	—	—	—	—	—	0.50	—	—	—
34	雇農（年月）	—	1.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	〃（年）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	〃（月•日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃（月）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	雇（月）雜•（粉匠）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	〃（行商）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	雜業（裁縫）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無職	—	3.00	—	—	—	—	—	3.00	—	—	—

關係表（其二）

其他		押地（所有地ニ含ム）		出典地（所有地ニ含ム）		入典地（所有地ニ含マズ）		耕作地		備考	農家番號
屯内	屯外	屯内	屯外	屯内	屯外	屯内	屯外	屯内	屯外		
畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝		
15.10	1.00	288.00	—	213.30	30.00	151.30	10.00	1,714.08	7.50		（屯内總計）
(5.00)	—	—	—	20.00	—	—	—	3.30	—	其ノ他(5.00)ハ同族No.2 No.3 No.8外屯外2名ノ共有墓地ナリ地券ハNo.3所有ス地券所有者ニアラザル故所有地ニ含マズ以下同ジ	1
(5.00)	—	—	—	10.00	30.00	—	—	—	—	其ノ他(5.00)ハNo.1參照出典地10.00畝ハ之ヲ借入レ更ニ又貸シセルモノナリ	2
5.00	—	280.00	—	108.00	—	—	—	333.00	—	出典地ノ108.00中康2.末ニ3..3畝ヲ賣却ス其他5.00畝ハ共同墓地地券ハNo.3所有ス	3
1.00	—	—	—	—	—	46.00	10.00	56.00	—	其ノ他1.00畝ハ同族No.4 No.27 No.33ノ共有墓地ナリ地券ハNo.4所有ス	4
—	—	—	—	—	—	—	—	4.00	—		5
—	—	—	—	—	—	5.00	—	—	—	菜園0.5畝ハNo.29ヘ無償デ貸與	6
—	—	—	—	—	—	—	—	165.10	—		7
(5.00)	—	8.00	—	63.00	—	—	—	209.00	—	其ノ他(5.00)ハNo.1參照	8
—	—	—	—	7.30	—	—	—	36.48	—		9
(4.00)	—	—	—	—	—	14.00	—	32.50	7.50	其ノ他(4.00)ハNo.18參照	10
3.00	—	—	—	—	—	12.00	—	47.70	—	其ノ他3.00畝ハ同族No.12No.31No.22ノ共有墓地ニシテ地券ハNo.11所有ス	11
(3.00)	—	—	—	—	—	13.00	—	33.50	—	同上參照	12
—	—	—	—	5.00	—	—	—	48.50	—		13
—	—	—	—	—	—	—	—	42.90	—		14
(4.00)	—	—	—	—	—	7.30	—	74.30	—	其ノ他(4.00)ハNo.18參照	15
(4.00)	—	—	—	—	—	16.00	—	69.00	—	同　上	16
(4.00)	—	—	—	—	—	—	—	33.00	—	同　上	17
4.00	—	—	—	—	—	38.00	—	57.00	—	其ノ他4.00畝ハNo.10 No.14No.15 No.17トノ共有墓地ナリ地券ハNo.18所有ス	18
0.80	—	—	—	—	—	—	—	16.00	—	其ノ他0.80畝ハNo.28トノ共有墓地ニシテ地券ハNo.19所有ス	19
—	—	—	—	—	—	—	—	13.40	—		20
—	—	—	—	—	—	—	—	3.50	—		21
(3.00)	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	其他(3.00)ハNo.11參照	22
—	—	—	—	—	—	—	—	111.00	—	耕作地内ノ1.00畝ハ小作地附加脫穀場ニシテ菜園ニ利用ス	23
(1.30)	—	—	—	—	—	—	—	45.00	—	其ノ他(1.30)ハNo.34ノ項參照ノコト	24
(1.30)	—	—	—	—	—	—	—	28.50	—	同　上	25
(1.30)	—	—	—	—	—	—	—	68.00	—	次男韓國貴ノ妻ハ鄧國珍ヨリ8.00畝ヲ入典シ之ヲ戶主ニ小作セシム其ノ他(1.30)ハNo.34參照	26
(1.00)	—	—	—	—	—	—	—	43.00	—	其ノ他(1.00)No.4參照	27
(0.80)	—	—	—	—	—	—	—	43.00	—	其ノ他(0.80)ハNo.19參照	28
(1.30)	—	—	—	—	—	—	—	40.50	—	其ノ他(1.30)ハNo.34參照	29
—	1.00	—	—	—	—	—	—	42.50	—		30
(3.00)	—	—	—	—	—	—	—	10.40	—	其ノ他(300)ハNo.11參照	31
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	耕作地1.00畝ハ借家附加菜園ナリ	32
(1.00)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	其ノ他1.00畝ヘNo.4參照	33
1.30	—	—	—	—	—	—	—	0.20	—	其ノ他1.30ハ同族ノ No.24 No.25 No.26 No.29No.37ノ共有墓地・地券ハNo.34所有ス	34
—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	—		35
(3.00)	—	—	—	—	—	—	—	0.90	—	耕作地0.90畝ハ借家附加菜園ナリ(3.00)ハ本村屯外腰堡屯ノ親類トノ共有墓地ナリ	36
(1.30)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	其ノ他(1.30)ハNo.34參照	37
—	—	—	—	—	—	—	—	0.40	—	耕作地ハ借家附加菜園ナリ	38
—	—	—	—	—	—	—	—	0.30	—	同　上	39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

鐵嶺縣窩家舉棚屯

第七 土地

農家番號	貸付地（入典貸付ヲ含ム） 計 屯内	計 屯外	普通畑 屯内	普通畑 屯外	菜園 屯内	菜園 屯外	自作地（入典自作ヲ含ム） 計 屯内	計 屯外	普通畑 屯内	普通畑 屯外	菜園 屯内	菜園 屯外
	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝
屯内總計	〔10.00〕 (51.00) 467.10	— (10.00) 208.00	〔10.00〕 (51.00) 465.00	— (10.00) 208.00	— — 2.10	—	— (100.30) 801.98	— — 7.50	— (100.30) 748.98	— — 7.50	53.00	— — —
1	148.00	102.00	148.00	102.00	—	—	3.30	—	—	—	3.30	—
2	〔10.00〕 100.00	79.00	〔10.00〕 100.00	79.00	—	—	—	—	—	—	—	—
3	209.00	—	209.00	—	—	—	333.00	—	320.00	—	13.00	—
4	(46.00) 8.00	(10.00) 15.00	(46.00) 8.00	(10.00) 15.00			56.00	—	50.00	—	6.00	—
5	—	12.00	—	12.00	—	—	4.00	—	3.00	—	1.00	—
6	(5.00) 0.50	—	(5.00)	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—	—	165.10	—	164.00	—	1.10	—
8	0.70	—	—	—	0.70	—	77.00	—	75.00	—	2.00	—
9	—	—	—	—	—	—	24.48	—	21.48	—	3.00	—
10	—	—	—	—	—	—	(14.00) 0.50	7.50	(14.00)	7.50	0.50	—
11				—	—	—	(12.00) 5.70		(12.00) 5.00	—	0.70	—
12	—	—	—	—	—	—	(13.00) 0.50	—	(13.00)	—	0.50	—
13	0.40	—	—	—	0.40	—	12.00	—	11.00	—	1.00	—
14	0.30	—	—	—	0.30	—	7.60	—	5.60	—	2.00	—
15	—	—	—	—	—	—	(7.30) 34.00	—	(7.30) 34.00	—	—	—
16	—	—	—	—	—	—	(16.00) 9.00	—	(16.00) 8.00	—	1.00	—
17	—	—	—	—	—	—	8.00	—	7.50	—	0.50	—
18	—	—	—	—	—	—	(38.00) 19.00	—	(38.00) 18.00	—	1.00	—
19	—	—	—	—	—	—	16.00	—	16.00	—	—	—
20	0.20	—	—	—	0.20	—	13.40	—	7.40	—	6.00	—
21	—	—	—	—	—	—	3.50	—	3.00	—	0.50	—
22	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	1.00	—
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—							—	—	—	—	—
25	—						—		—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	1.00	—
27	—	—	—	—	—	—	2.00	—	—	—	2.00	—
28	—	—	—	—	—	—	3.00	—	—	—	3.00	—
29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	—	—	—	—	—	—	2.50	—	—	—	2.50	—
31	—	—	—	—	—	—	0.40	—	—	—	0.40	—
32		—	—		—	—		—	—	—	—	—
33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37		—	—	—	—		—	—	—	—	—	—
38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

關　　係　　表　（其三）

借入地（出典小作ヲ含ム） 計 屯内	計 屯外	普通畑 屯内	普通畑 屯外	菜園 屯内	菜園 屯外	備考	農家番號
畝	畝	畝	畝	畝	畝		
(10.00) (5.00) 784.80	22.00	(10.00) (5.00) 779.80	— — 22.00	— — 5.00	— — —		(屯内總計)
—	—		-	-	-		1
(10.00)	—	(10.00)	—	—	—	貸付・借入欄〔10.00〕ハ出地典ヲ小作ノ形ニテ借入レ更ニ之ヲ又貸シセルモノナリ	2
—	—	—	—	—	—	自作地中ニ押地208.00畝ヲ含ム	3
—	—	—	—	—	—	貸付欄括弧内ハ入典貸付ナリ以下同ジ	4
—	—	—	—	—	—		5
—	—	—	—	—	—	貸付菜園0.50畝ハNo.29ヘ無償ニテ貸ス	6
—	-	-	—	—	—		7
132.00	—	132.00	—	—	—	貸付菜園0.70畝ノ内譯ハ No. 25 ヘ 0.50畝No. 34ヘ0.20畝ノ貸家附加菜園ナリ	8
12.00	—	12.00	—	—	—		9
18.00	—	18.00	—	—	—		10
30.00	—	30.00	—	—	—		11
20.00	—	20.00	—	—	—		12
(5.00) 31.50	—	(5.00) 31.50	—	—	—	借入欄括弧内ハ出典小作地ナリ 貸付菜園ハNo.38ヘノ貸家附加菜園ナリ	13
23.30	12.00	23.30	12.00	—	—	〃　No.39　〃	14
23.00	10.00	23.00	10.00	—	—		15
41.00	—	44.00	—	—	—		16
25.00	—	25.00	—	—	—		17
—	—	—	—	—	—		18
—		—	—	—	—		19
—	—	—	—	—	—	貸付菜園ハNo.35ヘノ貸家附加菜園ナリ	20
—	—	—	—	—	—		21
—	—		—		—		22
111.00	—	110.00	—	1.00	—	借入菜園1.00畝ハ小作地附加脱穀場ナルモ菜園ニ利用ス	23
45.00	—	45.00	—	—	—		24
28.50	—	28.00	—	0.50	—	借入菜園0.50畝ハ No.8ヨリ借家附加菜園ナリ	25
67.00	—	67.00	—	—	—	借入面積ハ實際 43.00畝ナルモ 2.00畝ハ窪地ニシテ耕作不能ナリ	26
41.00	—	41.00	—	—	—		27
40.00	—	40.00	—	—	—	借入面積ハ實際41.00畝ナルモ1.00畝ハ窪地ニシテ耕作不能ナリ	28
40.50	—	40.00	—	0.50	—	借入菜園0.50畝ハNo.6ヨリノ自借ナリ	29
40.00	—	40.00	—	—	—		30
10.00	—	10.00	—	—	—		31
1.00	—	—	—	1.00	—	屯外ヨリノ借家附加菜園ナリ	32
—	—	—	—	—	—		33
0.20	—	—	—	0.20	—	借入菜園ハNo.8ヨリノ借家附加菜園ナリ	34
0.20	—	—	—	0.20	—	〃　No.20　〃	35
0.90	—	—	—	0.90	—	〃　屯外　〃	36
—	—	—	—	—	—		37
0.40	—	—	—	0.40	—	〃　No.13　〃	38
0.30	—	—	—	0.30	—	〃　No.14　〃	39
—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—		41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第八　建物、大

農家番號	經營樣式	家族數	家屋種類	建物 住居房子 所有	入典	出典	貸付	家賃	借入	農舍房子數 所有	借入	畜舍 所有	借入
		人		間	間	間	間	圓	間	間	間	間	間
	（屯內總計）	272	瓦房	—	—	—	—		—	—	—	—	—
			草房	39.0	—	—	3.0	貸 52.00	7.5	5.0	—	1.5	—
			平房	50.0	—	—	9.5	借 74.00	8.5	33.5	11.5	16.0	2.0
1	地主	5	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	5.0	—	—	—	—	—	3.0	—	1.0	—
2	〃	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	8.5	—	—	—	—	—	3.0	—	—	—
			平房	1.0	—	—	—	—	—	—	—	1.0	—
3	地・自・雜（粉房匠農會長）	23	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	5.0	—	—	—	—	—	2.0	—	2.0	—
4	地・自	6	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	3.0	—	—	1.5	貸 4.00	—	—	—	1.5	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	地・自・雜（看青的）	4	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	1.0	—	—	—
6	地・雇（年）	2	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	自作	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	3.0	—	1.0	—
8	自・小	12	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	9.0	—	—	5.0	貸 12.00	—	6.0	—	1.0	—
9	〃	11	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	3.0	—	—	—
10	〃	5	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	1.0	—	1.0	—
11	〃	3	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	0.5	—	1.0
12	〃	6	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	2.0	—	1.0	—
13	自・小・雜（大師夫漁業）	8	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	3.0	—	—	1.5	貸 12.00	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	—

農具表 （其一）

畜圏數	穀倉	主ナル農具所有數 合計	大車	碾子	磨	扇車子	犁丈	壊把	繰綿機	脫穀機	大農具貸付 物件	大農具貸付 對價	大農具借入 物件	大農具借入 對價	備考	農家番號
27	57	(7) 87	11	(3) 8	16	3	(2) 32	(2) 15	1	1	1	—	1	—		屯內總計
1	草葺 3	5	—	—	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	平房5.0ニハ門洞1.0ヲ含ム	1
3	2	6	—	—	1	1	3	1	—	—	—	—	—	—	平房1.0ハ門洞ナリ	2
1	5	15	1	1	2	1	7	3	—	—	—	—	—	—	平房5.0ニハ門洞1.0ヲ含ム	3
—	4	4	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	住居草房1.5ハ買永金ニ貸付	4
—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		5
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		6
1	4	7	1	1	1	—	2	1	—	1	—	—	—	—		7
3	—	7	1	1	1	1	2	1	—	—	1	無料	—	—	貸付平房5.0ノ內、3.5ハ農舍平房2.0ト合ミ25號農家ヘ貸付0.75ハ34號農家0.75ハ37號農家ニ貸付 犁丈1ヲ25號農家ヘ無料貸付	8
1	1	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—		9
1	2	4	1	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—		10
—	1	4	—	1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	農舍平房0.5畜舍平房1.0ハ12號農家ノ入典セルモノヲ無料借入	11
—	1	(2) 1	—	—	1	—	(1)	(1)	—	—	—	—	—	—	犁丈壊把ハ27號農家ト共有 平房農舍2.0畜舍1.0ハ41號農家ヨリ入典セルモノ內農舍0.5畜舍1.0ハ11號農家ニ無料貸付	12
—	3	6	1	—	1	—	2	1	1	—	—	—	—	—	住居草房1.5ハ38號農家ニ貸付	13

第八 建物、大

農家番號	經營樣式	家族數	家屋種類	建物 住居房子 所有	入典	出典	貸付	家賃	借入	農舍房子數 所有	借入	畜舍 所有	借入
14	自・小	5	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.5	—	—	1.5	貸 6.00	—	—	—	—	—
15	自・小・雇(日)	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	3.0	—	—	—	—	—	1.0	—	1.0	—
16	〃 (年)	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	2.5	—	—	—
17	〃 (年)	9	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	1.0	—	1.0	—
18	自・雇(年)	9	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	3.0	—	1.0	—
19	〃 (年)	4	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	〃 (日)	3	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	3.0	—	—	1.5	貸 10.00	—	—	—	—	—
21	〃 (年)	3	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.0	—	—	—	—			—	—	—
22	〃 (月・日)	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	小作	5	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	1.5	—	—	—	—
			平房	—							5.[illegible]	—	—
24	〃	3	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	借 8.00	1.5	—	—	1.[illegible]	—
25	小・雜(行商撿糞)	9	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	借 6.00	1.5	—	2.0	—	—
26	小・雇(年・月)	11	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	—
[illegible]	〃 (月・日)	[illegible]	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.5	—	—	—	—	—	2.0	—	1.0	—

農　具　表（其二）

[illegible]圍數	[illegible]倉	主ナル農具所有數 合計	大車	碾子	磨	扇車子	犂丈	壞把	[illegible]機	脱穀機	大農具貸付 物件	對價	大農具借入 物件	對價	備考	農家番號
	2	—		—	—	—	—	—			-		—	—	住居平房1.5ハ3?號農家ニ貸付	14
1	3	(1)5	1	(1)	1	—	2	1	-	—	-	—	—	—	碾子(1)ハ 16號18號農家ト共有ナリ	15
1	2	(1)1	—	(1)	1	—	—	—	-	—	—	—	—	—	碾子(1)ハ15號 18號農家ト共有ナリ	16
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		17
1	3	(1)5	1	(1)	1	—	2	1		—	—	—	—	—	碾子(1)ハ15號 16號農家ト共有ナリ	18
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	—	—	—		19
—	1	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居平房1.5ハ35號農家ニ貸付	20
—	—	—	—		—	—	—	—	-	-		—	—	—		21
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		22
1	1	2	—	—	—	—	1	1		—	—	—	—	—	鄒國平ヨリ小作地附加物トシテ借入住居草房1.5農舍平房5.0畜圏1倉庫1外ニ脱穀場1畝ヲ菜園トシテ利用ス	23
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居平房1.5ハ41號農家ヨリ借入	24
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—		-		1	無料	犂丈 1ハ8號農家ヨリ無料借入 住居平房1.5農舍平房2.0畜圏1. 穀倉1. 外ニ菜園0.05天地アリ(8號農家ヨリ借入)	25
1	4	6	花桔轆 1	1	1	—	2	1	—	—	—	—	-	—		26
1	1	(2)1	1	—	—	—	(1)	(1)	—	—	—	—	—	—	犂丈及壞把ハ12號農家ト共有	27

鐵嶺縣畢家窩棚屯　第八 建物、大

農家番號	經營樣式	家族數	家屋種類	建物 住居房子 所有	典入	典出	貸付	家賃	借入	農舍房子數 所有	借入	畜舍 所有	借入
		人		間	間	間	間	圓	間	間	間	間	間
28	小・雇(月)	9	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	2.0	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	〃(月)	3	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	〃(年)	10	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	2.0	—	—	—	—	—	2.0	—	—	—
31	〃(日)	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.5	—	—	—	—	—	1.0	—	—	—
32	雇(年・日) 雜(行商撿糞)	6	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	借 13.00	1.5	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	1.0	—	4.0	—	1.0
33	雇(月・日)・雜(撿糞)	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	雇農(年・月)	4	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	借 3.00	0.75	—	—	—	—
35	〃(年)	6	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	借 10.00	1.5	—	—	—	—
36	〃(月・日)	8	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	借 8.00	2.0	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃(月)	4	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	借 3.00	0.75	—	—	—	—
38	雇(月)・雜(粉匠)	7	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	借 12.00	1.5	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	〃 〃(行商)	6	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	借 6.00	1.5	—	—	—	—
40	雜 [illegible]	4	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	—	—	—	—	借 5.00	1.0	—	—	—	—
			平房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無職	1	瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			草房	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			平房	1.5	—	—	1.5	貸 8.00	—	—	—	—	—

農具表 (其三)

畜圏數	穀倉	主ナル農具所有數 合計	大車	碾子	磨	扇車子	帚丈	壌把	種棉機	脱穀機	大農具貸付 物件	對價	大農具借入 物件	對價	備考	農家番號
1	—	—	—	—	—	—	—									28
1	3	2	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—		29
1	3	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		30
1	1	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—		31
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	鄧紹禹ヨリ借入住居草房1.5 平房1.0ハ門洞農舍畜舍畜圏穀倉ノ外附加物菜園1.00畝アリ	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居平房0.75ハ8號農家ヨリ借入外ニ附加物菜園0.20畝アリ	34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居平房1.5ハ20號農家ヨリ借入外ニ附加物菜園0.20畝アリ	35
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	姜家窩棚ノ鄧慶ヨリ借入外ニ附加物菜園0.90畝アリ	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居平房0.75ハ8號農家ヨリ借入外ニ附加物菜園0.05畝アリ	37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居草房1.5ハ13號農家ヨリ借入外ニ附加物菜園0.40畝アリ	38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住居平房1.5ハ14號農家ヨリ借入外ニ附加物菜園0.30畝アリ	39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	王永生ヨリ借入	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平房農舍2.0 畜舍1.0ハ12號農家ヘ出典 平房住居1.5ハ24號農家ヘ貸付	41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第九　飼　　養

農家番號	經營様式	耕作地	馬 康徳2年度末所有頭數 成	仔	年内増加 購入	生産	年内減少 販賣	斃死	貸付（寄託）	借入（受託）	康徳2年度末所有頭數 成	仔	年内増加 購入	生産
		畝	頭		頭		頭	頭			頭		頭	
	屯内總計	1.721.58	7	—	3	—	1	2	—	—	7	—	2	—
1	地主	3.30	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
2	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	地•自•雑（粉房區農會長）	333.00	2	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
4	地•自	56.00	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	地•自•雑（看青的）	4.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	地•雇（年）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	自作	165.10	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
8	自•小	209.00	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—
9	〃	36.48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	〃	40.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	〃	47.70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	〃	33.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	自•小•雑（大師夫漁業）	48.50	1	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—
14	自•小	42.90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	自•小•雇（日）	74.30	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
16	〃（年）	69.00	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	〃（年）	33.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	自•雇（年）	57.00	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	〃（年）	16.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	〃（日）	13.4[illegible]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	〃（年）	3.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	〃（月•日）	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	小作	111.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	〃	45.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	小•雑（行商撿糞）	28.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	小•雇（年•月）	68.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	〃（月•日）	43.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	〃（月）	43.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	〃（月）	40.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	〃（年）	42.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	〃（日）	10.40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	雇（年•日）雑•（行商撿糞）	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	雇（月•日）•雑撿（糞）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	雇農（年•月）	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	〃（年）	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	〃（月•日）	0.90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃（月）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	雇•（月）•雑（粉匠）	0.40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	〃 〃（行商）	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	[illegible]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

家　畜　表（其一）

年内減少 販賣	年内減少 斃死	貸付（寄託）	借入（受託）	驢 本年度末所有頭數 成	驢 本年度末所有頭數 仔	驢 年内増加 購入	驢 年内増加 生産	驢 年内減少 販賣	驢 年内減少 斃死	驢 貸付（寄託）	驢 借入（受託）	備考	農家番號
				頭		頭		頭	頭				
—	—	—	—	15	—	4	—	3	2	—	—		（屯内總計）
—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	馬1頭60.00圓=テ賣却　驢1頭110.00圓 〃 115.00圓	1
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	7月驢1頭19.00圓=テ賣却	2
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月馬1頭28.00圓=テ購入	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		6
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6月騾1頭60.00圓=テ購入	7
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月騾1頭10.00圓=テ購入	8
—	—	—	—	1	—	2	—	—	1	—	—	[illegible]月驢1頭[illegible]圓=テ購入	9
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1月驢1頭22.00圓=テ購入	10
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		11
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		12
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7月馬1頭35.00圓=テ購入	13
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	8月 〃 65.00圓=テ購入	14
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		15
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		16
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		17
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		18
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		19
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		21
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		22
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		23
—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	4月驢1頭18.00圓=テ購入	24
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		25
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—		26
—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—	—	1月驢1頭10.00圓=テ購入	27
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		28
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		29
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		30
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第九　飼　養

農家番號	經營様式	耕作地	豚 康德２年末所有頭數 成	仔	年內增加 購入	生產	年內減少 販賣	屠殺	斃死
	（屯內總計）	畝 1,721.58	頭 30	頭 28	頭 28	頭 64	頭 33	頭 6	頭 34
1	地主	3.30	1	1	2	5	5	1	—
2	〃	—	—	—	—	—	—	1	1
3	地•自•雜（粉房區農會長）	333.00	14	22	—	35	5	1	13
4	地•自	56.00	1	—	1	—	—	—	—
5	地•自•雜（看青的）	4.00	—	—	1	—	1	—	—
6	地•雇（年）	—	—	—	—	—	—	—	—
7	自作	165.10	2	—	2	—	—	1	1
8	自、•小	209.00	2	—	—	7	1	—	5
9	〃	36.48	—	—	1	—	—	—	1
10	〃	40.00	—	—	1	—	1	—	—
11	〃	47.70	1	—	—	—	1	—	—
12	〃	33.50	—	—	1	—	—	—	1
13	自•小•雜（大師夫漁業）	48.50	1	—	—	—	—	—	—
14	自•小	42.90	—	—	1	—	1	—	—
15	自•小•雇（日）	74.30	1	—	—	—	—	1	—
16	〃（年）	69.00	—	—	—	—	—	—	—
17	〃（年）	33.00	—	—	—	—	1	—	1
18	自•雇（年）	57.00	1	—	2	—	1	—	—
19	〃（年）	16.00	—	—	—	—	—	—	—
20	〃（日）	13.40	—	—	—	—	—	—	—
21	〃（年）	3.50	—	—	—	—	—	—	—
22	〃（月•日）	1.00	—	1	1	—	—	—	—
23	小作	111.00	—	1	—	—	—	1	—
24	〃	45.00	—	1	1	—	—	—	—
25	小•雜（行商撿糞）	28.50	—	1	—	8	—	—	8
26	小•雇（年•月）	68.00	—	—	1	—	—	—	1
27	〃（月•日）	43.00	—	—	4	—	4	—	—
28	〃（月）	43.00	—	—	1	—	1	—	—
29	〃（月）	40.50	4	1	6	—	—	—	1
30	〃（年）	42.50	1	—	1	—	—	—	—
31	〃（日）	10.40	—	—	—	—	—	—	—
32	雇（年•日）雜（行商•撿糞）	1.00	1	—	—	9	9	—	1
33	雇（月•日）雜（撿糞）	—	—	—	—	—	—	—	—
34	雇農（年•月）	0.20	—	—	—	—	—	—	—
35	〃（年）	0.20	—	—	—	—	—	—	—
36	〃（月•日）	0.90	—	—	1	—	1	—	—
37	〃（月）	—	—	—	—	—	—	—	—
38	雇（月）•雜（粉匠）	0.40	—	—	—	—	1	—	—
39	雇（月）•雜（行商）	0.30	—	—	—	—	—	—	—
40	雜業（裁縫）	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無職	—	—	—	—	—	—	—	—

註　緬羊山羊ノ購買販賣及所有頭數ナシ

家畜表（其二）

[illegible]	[illegible]	鶏	家鴨	犬	備考	農家番號
—	—	95	3	23		(屯内總計)
—	—	5	—	1	12月成豚1頭18.00圓ニテ購入 3月仔豚去勢ノモノ1頭1.50圓ニテ購入1月5頭分娩6月30.00圓ニテ賣却	1
—	—	[illegible]	[illegible]	1		2
—	—	1	—	3	3月成豚5頭100.00圓ニテ賣却	3
—	—	3	—	1	3月仔豚1頭2.00圓ニテ購入	4
—	—	4	—	—	3月仔豚1頭1.00圓ニテ購入肥育シテ後15.00圓ニテ賣却	5
—	—	—	—	—		6
—	—	4	—	1	年末所有ノ2頭ハ仔豚ヲ肥育セルモノ2頭5.00圓ニテ購入	7
—	—	5	—	1	年末所有ノ2頭ハ仔豚ヲ肥育セルモノ6月仔豚1頭0.50圓ニテ賣却	8
—	—	6	—	—	豚1頭1.00圓ニテ購入 8月斃死	9
—	—	2	—	1	1月仔豚0.70圓ニテ購入12月15.00圓ニテ賣却	10
—	—	2	—	1	成豚1頭18.00圓ニテ賣却	11
—	—	2	—	—	仔豚1頭1.00圓ニテ購入セリ	12
—	—	1	—	1		13
—	—	—	—	—	3月仔豚2.00圓ニテ購入12月10.00圓テ賣却	14
—	—	3	—	1		15
—	—	2	—	1		16
—	—	3	—	1	10月成豚1頭20.00圓ニテ賣却	17
—	—	2	—	1	2月10日仔豚2頭3.00圓ニテ購入12月15日1頭15.00圓ニテ賣却	18
—	—	1	—	—		19
—	—	4	—	1		20
—	—	2	—	1		21
—	—	2	—	—	仔豚1頭1.50圓ニテ購入	22
—	—	—	—	—		23
—	—	2	—	—	仔豚1頭1.00圓ニテ購入	24
—	—	—	—	—	成豚1頭12月仔豚7頭ト共ニ斃死	25
—	—	5		2	仔豚2月15日2.00圓ニテ購入	26
—	—	4	—	1	仔豚ヲ4頭4.00圓ニテ購入肥育後4頭40.00圓ニテ賣却	27
—	—	1	—	1	1月1頭2.00圓ニテ購入12月15.00圓ニテ賣却	28
—	—	—	—	—	10月成豚5頭30.00圓ニテ購入 1月仔豚1頭0.50圓ニテ購入	29
—	—	5	—	1	2月仔豚1頭1.20圓ニテ購入	30
—	—	1	—	1		31
—	—	1	—	—	成豚1頭仔豚8頭計69.50圓ニテ賣却	32
—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—		34
—	—	—	—	—		35
—	—	2	—	—	1月仔豚1頭2.00圓ニテ購入10月23.00圓ニテ賣却	36
—	—	—	—	—		37
—	—	1	—	—	8月成豚1頭12.00圓ニテ賣却	38
—	—	1	—	—		39
—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—		41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十 小 作

小作様式	地主 農家番號	地主 住所	地主 經營様式	小作人 農家番號	小作人 住所	小作人 經營様式	小作地所在	證書及保證人ノ有無	期限	契約時期	小作地 等級	小作地 面積	小作地ノ附加物 房子	小作地ノ附加物 其ノ他
									ヶ年	月		畝		
定銀前	1	屯内	地主	14	屯内	自・小	屯内	口頭	1	1	中	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	26	〃	小・雇（年・月）	〃	〃	1	1	上 中	9.00 13.00	—	—
〃	〃	〃	〃	9	〃	自・小	〃	〃	1	1	中	12.00	—	—
〃	〃	〃	〃	賈永魁	〃	不明	〃	〃	1	1	〃	30.00	—	—
〃	〃	〃	〃	29	〃	小・雇（月）	〃	〃	1	1	〃	29.00	—	—
〃	〃	〃	〃	李生	〃	不明	屯外	〃	1	1	〃	13.00	—	—
〃	〃	〃	〃	28	〃	小・雇（月）	〃	〃	1	3	〃	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	顧景和	屯外任家窩棚	不明	〃	〃	1	1	〃	26.00	—	—
〃	〃	〃	〃	顧景泰	〃	〃	〃	〃	1	1	下	16.00	—	—
〃	〃	〃	〃	劉振	〃	〃	〃	〃	1	1	中	13.00	—	—
〃	〃	〃	〃	顧景福	〃	〃	〃	〃	1	1	〃	8.00	—	—
〃	〃	〃	〃	顧景柏	〃	〃	〃	〃	1	1	〃	24.00	—	—
〃	2	〃	〃	劉禹	〃	〃	〃	〃	1	1	〃	44.00	—	—
〃	〃	〃	〃	27	屯内	小・雇（月・日）	屯内	〃	1	1	下	10.00	—	—
〃	3	〃	地・自・雜	15	〃	自・小・雇（日）	〃	〃	1	1	中	14.00	—	—
〃	〃	〃	〃	14	〃	自・小	〃	〃	1	1	〃	13.30	—	—
〃	〃	〃	〃	26	〃	小・雇（年・月）	〃	〃	1	1	〃	16.00	—	—
〃	〃	〃	〃	27	〃	小・雇（月・日）	〃	〃	1	1	〃	11.00	—	—
〃	〃	〃	〃	28	〃	小・雇（月）	〃	〃	1	1	〃	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	康永昌	屯外任家窩棚	不明	〃	〃	1	1	上	30.00	—	—
〃	〃	〃	〃	劉搖	〃	〃	〃	〃	1	1	〃	30.50	—	—
〃	〃	〃	〃	李生	〃	〃	〃	〃	1	1	〃	11.00	—	—
〃	4	〃	地・自	15	屯内	自・小・雇（日）	〃	〃	1	2	下	9.00	—	—
〃	〃	〃	〃	25	〃	小・雜（行商・撿糞）	〃	〃	1	3	中	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	13	〃	自・小・雜（大師夫漁業）	〃	〃	1	2	〃	9.00	—	—
〃	〃	〃	〃	27	〃	小・雇（月・日）	〃	〃	1	2	〃	16.00	—	—
〃	〃	〃	〃	28	〃	小・雇（月）	屯外	〃	1	3	〃	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	29	〃	〃	屯内	〃	1	2	〃	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	薄仁一	屯外小夏家樓	不明	屯外	〃	1	2	〃	15.00	—	—
〃	5	〃	地・自・雜（看青的）	張仁	屯外劉家窩棚	〃	〃	〃	1	3	〃	12.00	—	—

關　係　表（其一）

小作料 契約額	小作料 實納額	納入時期	納入方法	小作料附加物	繼續年數	小作人ノ義務	租稅公課分擔 地主負擔	租稅公課分擔 小作人負擔	備考
圓	圓	月			ヶ年				
1天地30圓 30.00	30.00	4	小作人持參	—	10	—	國稅响捐全額負擔	村費全額負擔	
〃 66.00	69.00	3〜4	〃	—	1	—	〃	〃	中地ハ 14.00 畝トシテ實納セリ
〃 36.00	36.00	3	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 90.00	90.00	3	〃	—	1	—	〃	〃	小作人康德 3年夏家樓ニ轉住セリ
〃 90.00	90.00	3〜6	〃	—	3	—	〃	〃	
〃 39.00	39.00	3. 5. 10	〃	—	1	—	〃	〃	3回ニ分納セリ小作人康德 3年轉住ス
〃 30.00	30.00	3	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 84.00	81.00	3	〃	—	3	—	〃	〃	
〃 48.00	48.00	4	〃	—	9	—	〃	〃	
〃 39.00	39.00	3	地主徵收ニ來ル	—	9	—	〃	〃	
〃 24.00	24.00	3	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 72.00	72.00	3	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 132.00	132.00	3〜5	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 30.00	30.00	1	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 42.00	42.00	1	〃	—	4	—	〃	〃	
〃 39.90	39.90	1〜5 4回	〃	—	7	—	〃	〃	4回ニ分納セリ
〃 48.00	48.00	1	〃	—	9	—	〃	〃	
〃 33.00	33.00	1〜6 6回	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 30.00	30.00	1	〃	—	9	—	〃	〃	
〃 90.00	90.00	1	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 90.15	90.00	1	〃	—	2	—	〃	〃	15錢ハ減免ス
〃 33.00	33.00	1〜3	小作人持參	—	1	—	〃	〃	小作人康德3年轉住ス
〃 27.00	27.00	1〜3	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 30.00	30.00	2	〃	—	1	—	〃	〃	村費次回納入
〃 27.00	27.00	3	〃	—	2	—	〃	〃	
1天地25圓 40.00	40.00	3. 5. 7. 10	〃	—	2	—	〃	〃	
1天地29圓 29.00	29.00	3	地主徵收ニ來ル	—	3	—	〃	〃	
1天地30圓 30.00	31.96	2〜9	〃	—	2	—	〃	〃	小作料延滯月利2分8厘ニテ 1.96圓納入セリ
〃 45.00	45.00	2	〃	—	10	—	〃	〃	
1天地25圓 30.00	30.00	3	小作人持參	—	1	—	〃	〃	

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十 小作

小作様式	地主 農家番號	地主 住所	地主 經營樣式	小作人 農家番號	小作人 住所	小作人 經營樣式	小作地所在	證書及保證人ノ有無	期限	契約時期	小作地 等級	小作地 面積	小作地ノ附加物 房子	小作地ノ附加物 其ノ他
									年	月		畝		
定銀前	6	屯內	地•雇(年)	13	本屯	自•小•雜(大師夫漁業)	屯內	口頭	3	1	中	5.00	—	—
〃	王永生	〃	不明	31	〃	小•雇(日)	〃	〃	1	3	〃	10.00	—	—
〃	〃	〃	〃	30	〃	小•雇(年)	〃	〃	1	2	〃	4.00	—	—
〃	鄧國平	本縣城	地主	10	〃	自•小	〃	〃	1	2	〃	18.00	—	—
〃	〃	〃	〃	16	〃	自•小•雇(年)	〃	〃	1	1	〃	34.00	—	—
〃	鄧紹禹	〃	教員	17	〃	〃	〃	〃	1	2	〃	[illegible]	—	—
〃	〃	〃	〃	13	〃	自•小•雜(大師夫漁業)	〃	〃	1	3	〃	22.50	—	—
〃	〃	〃	〃	25	〃	小•雜(行商•撿糞)	〃	〃	1	2	〃	19.00	—	—
〃	〃	〃	〃	16	〃	自•小•雇(年)	〃	〃	1	2	〃	10.00	—	—
〃	劉棨	〃	地主	12	〃	自•小	〃	〃	1	2	上	20.00	—	—
〃	〃	〃	〃	11	〃	〃	〃	〃	1	2	中	[illegible]	—	—
〃	謝貞	第7區魚古洞芹	不明	28	〃	小•雇(月)	〃	〃	1	3	〃	[illegible]	—	—
〃	田横豐	田家窩棚	地•自	17	〃	自•小•雇(年)	屯外	〃	1	2	〃	15.00	—	—
〃	徐守金	屯外小夏家樓	〃	15	〃	自•小•雇(日)	〃	〃	1	—	〃	10.00	—	—
〃	韓老氏	屯內	無職	26	〃	小•雇(年•月)	屯內	〃	1	12	〃	8.00	—	—
〃	白永珍	本縣城	不明	26	〃	〃	〃	〃	1	12	〃	30.00	—	—
〃	李生	屯內	〃	27	〃	小•雇(月•日)	〃	〃	1	2	〃	4.00	—	—
〃	白鴻洪	本縣城	〃	2	〃	地主	〃	〃	1	1	〃	10.00	—	—
〃	鄧慶	姜家窩棚	〃	14	〃	自•小	屯外	〃	1	2	〃	12.00	—	—
分益	1	屯內	地主	8	屯內	〃	屯內	〃	1	[illegible]	上 中	18.00 4.00	—	種子肥料折半
〃	〃	〃	〃	張炳臣	屯外田家窩棚	不明	屯外	〃	1	1	中	15.00	—	〃
〃	2	〃	〃	8	屯內	自•小	屯內	〃	1	[illegible]	〃	11.00	—	—
〃	3	〃	地•自•雜	劉貴	屯外第6區牧場	〃	〃	〃	[illegible]	1	上 中	[illegible] 43.20	1.5間房子	種子折半
〃	王永生	〃	不明	24	〃	小作	〃	〃	1	2	下	45.00	—	種子肥料折半
〃	鄧國平	本縣城	地主	23	〃	〃	〃	〃	1	[illegible]	上 中 下	[illegible] [illegible] [illegible]	[illegible]	1.5 [illegible] 5.0 種子折半
定物	2	本屯	〃	孫長貴	屯外娘々廟	不明	屯外	書有	3	11	下	[illegible]	—	—

註 小作料物納糧石ハ新制石ニ依ル

關　係　表（其二）

小作料		納入時期	納入方法	小作料附加物	繼續	小作人	租稅公課分擔		備考
契約額	實納額				年數	ノ義務	地主負擔	小作人負擔	
圓	圓	月			ケ年				
1 天地30圓 15.00	15.00	1	小作人持參	—	1	—	國稅晌捐全額負擔	村費全額負擔	出典小作ナリ
〃 30.00	32.10	10	〃	—	2	—	〃	〃	小作料延滯月利3分ニテ 2.10圓納入ス
〃 120.00	120.00	3～9	地主徵收ニ至ル	—	1	—	〃	〃	
〃 54.00	54.00	2	〃	—	5	—	〃	〃	
〃 102.00	102.00	3	〃	—	3	—	〃	〃	
〃 30.00	30.00	2～3	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 67.50	67.50	3	小作人持參	—	10	—	〃	〃	
〃 54.00	54.00	2	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 30.00	30.00	2	地主徵收ニ至ル	—	2	—	〃	〃	
〃 60.00	60.00	2～3	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 90.00	90.00	2～3	〃	—	1	—	〃	〃	
1 天地27圓 27.00	27.00	3	小作人持參	—	1	—	〃	〃	
1 天地30圓 45.00	45.00	3	年工勞賃ト交換セリ	—	1	—	〃	〃	
〃 30.00	30.00	1～3	小作人持參	—	2	—	〃	〃	地主韓老氏ハ26號農家戶主ノ次男韓國貴ノ妻ニシテ同人ガ小份錢ヲ以テ3號農家ヨリ8.00畝ヲ入典シ戶主ハ次男妻ヘ小作料ヲ支拂ヒテ耕作セルモノナリ
〃 24.00	24.00	12～3	〃	—	1	—	〃	〃	
1 天地25圓 50.00	50.00	12～3	〃	—	2	—	〃	〃	
〃 10.00	10.00	3	〃	—	1	—	〃	〃	
〃 25.00	25.00	3	〃	—	2	—	〃	〃	出典小作地ナリ 8號ニ又小作セシム
1 天地28圓 33.60	33.60	3	地主徵收ニ至ル	—	2	—	〃	〃	
5：5	黄豆 11.88石	調製後	小作人持參	豆楷 800斤	1	—	〃	折半負擔	
〃	〃 4.05	〃	〃	〃 400〃	6	—	〃	〃	
〃	黄豆 24.30 穀子 8.10 稉子 24.30	〃	〃	莖稈類折半	1	—	〃	〃	
〃	高粱 20.25 黄豆 22.95	〃	小作人ノ脫穀場渡シ	高粱稈 1.500束 豆楷 1.500〃	1	—	〃	〃	
〃	〃 6.75 高粱 8.10 穀子 4.05 稉子 2.70	10	庭先渡シ	莖稈類折半	1	—	〃	村費折半負擔	
〃	黄豆 16.54 高粱 16.88 穀子 16.07 稉子 8.10 蕎麥 2.03	9	脫穀場渡	〃	1	小作料運搬ヲ手傳フ	〃	〃	
1 天地 高粱 2.83石	高粱 7.09	調製直後	脫穀場渡シ	—	2	—	〃	村費全額負擔	毎年小作料ヲ契約ス

農家番號	經營樣式	年度	國稅納付額 總計	地稅 合計	田 所有面積	荒野面積	地券面積	課稅面積 差引計	所有地	出典地
			圓	圓	畝	畝	畝	畝	畝	畝
	（屯內總計）	康元 康二	233.62	180.48	1,803.28	7.00	1,787.79	(1,297.56) 355.62	1,409.88	(243.30)
1	地主	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	28.86	28.86	275.30	—	275.30	(270.00)	250.00	(20.00)
2	〃	康元	—	—	219.30	—	219.30	(212.98)	172.98	(40.00)
		康二	20.09	17.74	219.30	—	219.30	(212.98)	172.98	(40.00)
3	地・自・雜（粉房區農會長）	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	85.69	60.24	669.00	3.00	669.00	(625.80)	517.80	(108.00)
4	地・自	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	7.84	6.16	84.00	—	81.66	76.66	76.66	—
5	地・自・雜（看青的）	康元	—	—	17.00	—	17.00	12.00	12.00	—
		康二	1.32	1.32	17.00	—	17.00	12.00	12.00	—
6	地・雇（年）	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	0.55	0.55	1.00	—	1.00	—	—	—
7	自作	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	22.23	18.63	167.30	—	154.15	154.16	154.16	—
8	自・小	康元	—	—	180.90	—	180.90	(174.20)	111.20	(63.00)
		康二	23.18	13.66	144.70	—	144.70	(13[illegible])	75.0[illegible]	([illegible])
9	〃	康元	—	—	34.78	—	34.78	(34.78)	27.48	(7.30)
		康二	6.00	4.74	34.78	—	34.78	(34.78)	27.48	(7.30)
10	〃	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	2.99	2.99	8.50	—	8.50	7.50	7.50	—
11	〃	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	1.32	1.32	9.50	—	9.50	5.00	5.00	—
12	〃	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	1.43	1.43	1.50	—	1.50	—	—	—
13	自・小・雜（大師夫漁業）	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	6.93	0.93	18.90	—	18.90	(16.00)	11.00	(5.00)
14	自・小	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	0.62	0.62	9.90	—	9.90	5.60	5.60	—
15	自・小・雇（日）	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	4.21	4.21	39.00	3.00	39.00	37.00	37.00	—
16	〃（年）	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	3.34	3.34	10.00	—	10.00	8.00	8.00	—
17	〃（年）	康元	—	—	8.50	—	8.50	7.50	7.50	—
		康二	1.66	1.66	8.50	—	8.50	7.50	7.50	—
18	自・雇（年）	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	7.57	7.57	24.00	—	24.00	18.00	18.00	—
19	〃（年）	康元	—	—	17.80	—	17.80	16.80	16.80	—
		康二	4.45	3.70	17.80	—	17.80	16.80	16.80	—
20	〃（日）	康元	—	—	17.60	1.00	17.60	7.40	7.40	—
		康二	0.81	0.81	17.60	1.00	17.60	7.40	7.40	—

公　課　表 （其一國税）

賦										
積 入典地	應納額	納付 税額	納付月日	罰款	未納額	滯納額	入典者ヨリノ受入額	出典者ヘノ支拂額	差引負擔額	農家番號
畝	圓	圓		圓	圓	圓	圓	圓	圓	
(161.30)	189.77	42.84 153.42		—	未納 36.35	—	(7.73) 28.08	20.03	180.48	(屯內總計)
—	31.06	31.06	康徳2年11月	—	—	—	2.20	—	28.86	1
— —	24.06 24.06	{9.90 14.16} 9.30	康徳1年11月 康徳2年3月 〃 11月	— —	— 未納 14.76	— —	{入典者ヨリ受入ハ康徳1年ニ受入納付濟 5.72	— —	14.16 3.58	2
—	72.12	72.12	康徳2年11月21日 24日	—	—	—	11.88	—	60.24	3
(56.00)	9.23	—	—	—	未納 9.23	—	—	6.16	6.16	4
— —	1.32 1.32	1.32 —	康徳2年4月20月 —	— —	— 未納 1.32	— —	— —	— —	1.32 —	5
(5.00)	—	—	康徳2年11月	—	—	—	—	0.55	0.55	6
—	18.63	18.63	康徳2年11月21日	—	—	—	—	—	18.63	7
— —	20.70 16.72	20.70 6.82	康徳2年2月24日 康徳2年12月10日	— —	— 未納 9.90	— —	康徳1年受入濟(6.93) 6.93	— —	} 13.66	8
— —	3.17 3.17	3.17 3.17	康徳2年2月15日 康徳2年11月	— —	— —	— —	康徳1年受入濟(0.80) 0.80	— —	2.37 2.37	9
(14.00)	0.83	0.83	康徳2年11月26日	—	—	—	—	2.16	2.99	10
(12.00)	0.33	—	—	—	未納 0.33	—	—	1.32	1.32	11
(13.00)	—	—	康徳2年11月	—	—	—	—	1.43	1.43	12
—	1.48	1.48	康徳2年11月	—	—	—	0.55	—	0.93	13
—	0.62	0.62	康徳2年12月22日	—	—	—	—	—	0.62	14
(7.30)	3.41	3.41	康徳2年11月25日	—	—	—	—	0.80	4.21	15
(16.00)	0.88	0.88	康徳2年11月21日	—	—	—	—	2.46	3.34	16
— —	0.83 0.83	0.83 0.83	康徳2年1月15日 康徳2年12月22月	— —	— —	— —	— —	— —	0.83 0.83	17
(38.00)	2.42	2.42	康徳2年12月22日	—	—	—	—	5.15	7.57	18
— —	1.85 1.85	1.85 1.85	康徳2年1月19日 康徳2年11月21日	— —	— —	— —	— —	— —	1.85 1.85	19
— —	0.81 0.81	0.81 —	康徳2年3月 —	— —	— 未納 0.81	— —	— —	— —	0.81 —	20

農家番號	經營樣式	年度	國稅納付額 總計	地稅 合計	田 所有面積	荒野面積	地券面積	課稅面積 差引計	所有地	出典地
			圓	圓	畝	畝	畝	畝	畝	畝
21	自・雇(年)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	4.00	—	4.00	—	—	—
22	〃(月・日)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	1.20	—	1.20	—	—	—
23	小作	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	0.20	—	—	—	—	—	—	—
24	〃	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	0.54	—	—	—	—	—	—	—
25	小・雜(行商・撿糞)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	0.17	—	—	—	—	—	—	—
26	小・雇(年・月)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	3.50	—	3.50	—	—	—
27	〃(月・日)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	0.48	—	2.50	—	2.50	—	—	—
28	〃(月)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	4.00	—	4.00	—	—	—
29	〃(月)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	1.14	—	—	—	—	—	—	—
30	〃(年)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	4.50	—	4.50	—	—	—
31	〃(日)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	1.20	—	1.20	—	—	—
32	無業(年・日)(行商撿糞)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
33	[illegible](月・日)・雜 撿糞	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	0.50	—	0.50	—	—	—
34	雇農(年・月)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	1.30	—	1.30	—	—	—
35	〃(年)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
36	〃(月・日)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃(月)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
38	雇(月)・雜(粉匠)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
39	雇(月)・雜(行商)	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
40	[illegible]	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無職	康元	—	—	—	—	—	—	—	—
		康二	—	—	3.00	—	3.00	—	—	—

農家番號	其他合計	出産粮石税 黃豆	蕎麥	粳子	穀子	高粱	稗子	計
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
（屯內總計）	53.14	31.67	0.42	0.91	0.28	0.22	0.08	33.58
1	—	—	—	—	—	—	—	—
2	2.35	2.35	—	—	—	—	—	2.35
3	25.45	25.03	0.42	—	—	—	—	25.45
4	1.68	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—	—	—	—
7	3.60	—	—	—	—	—	—	—
8	9.52	2.70	—	0.54	0.28	—	—	3.52
9	1.26	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—
13	6.00	—	—	—	—	—	—	—
14	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—
16	—	—	—	—	—	—	—	—
17	—	—	—	—	—	—	—	—
18	—	—	—	—	—	—	—	—
19	0.75	0.75	—	—	—	—	—	0.75
20	—	—	—	—	—	—	—	—
21	—	—	—	—	—	—	—	—
22	—	—	—	—	—	—	—	—
23	0.20	—	—	0.20	—	—	—	0.20
24	0.54	—	—	—	—	—	—	—
25	0.17	—	—	—	—	0.17	—	0.17
26	—	—	—	—	—	—	—	—
27	0.48	—	—	—	—	—	—	—
28	—	—	—	—	—	—	—	—
29	1.14	0.84	—	0.17	—	0.05	0.08	1.14
30	—	—	—	—	—	—	—	—
31	—	—	—	—	—	—	—	—
32	—	—	—	—	—	—	—	—
33	—	—	—	—	—	—	—	—
34	—	—	—	—	—	—	—	—
35	—	—	—	—	—	—	—	—
36	—	—	—	—	—	—	—	—
37	—	—	—	—	—	—	—	—
38	—	—	—	—	—	—	—	—
39	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	—	—	—	—
41	—	—	—	—	—	—	—	—

公　課　表（其一國稅）

牲畜稅 課稅物件 買入種類	頭數	其他	納付稅額	備考	農家番號
	頭		圓		
—	8	—	19.56		（屯內總計）
—	—	—	—		1
—	—	—	—		2
—	—	—	—	康德2年間ニ於ケル全所有面積ハ前年度同樣ナルモ年末出典中33.00畝ヲ回贖賣却セル爲年度末所有面積ハ646.00畝ナリ、從ツテ入典者ヨリ稅金受入ハ賣却以前ニ受入レタルモノニシテ出典課稅面積ハ108.00畝トス	3
馬	1	—	1.68	所有面積84.00畝以外ニ7.30畝ノ所有アルモ此ノ分ハ康德2年秋收穫後No9農家ヨリ購入セルモノニシテ稅金ハ賣買前賣却者ニ於テ納付濟ナレバ面積ニハ加ヘズ	4
—	—	—	—		5
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナルタメ課稅セラレズ	6
騾	1	—	3.60		7
騾	1	—	6.00	康德2年所有面積37.48畝ナルモ同年末No.3農家7.30畝ヲ賣却（出典地）稅金ハ入典者ヨリ受入後ナルヲ以テ加ヘリ	8
驢	1	—	1.26		9
—	—	—	—		10
—	—	—	—		11
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	12
馬	2	—	6.00		13
—	—	—	—		14
—	—	—	—	入典地ハ康德2年秋收後返典セルモ稅金ハ出典者へ支拂フ	15
—	—	—	—		16
—	—	—	—		17
—	—	—	—		18
—	—	—	—		19
—	—	—	—		20
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	21
—	—	—	—	〃	22
—	—	—	—		23
驢	1	—	0.54		24
—	—	—	—		25
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	26
驢	1	—	0.48		27
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	28
—	—	—	—		29
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	30
—	—	—	—	〃	31
—	—	—	—		32
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	33
—	—	—	—		34
—	—	—	—		35
—	—	—	—		36
—	—	—	—		37
—	—	—	—		38
—	—	—	—		39
—	—	—	—		40
—	—	—	—	所有面積ハ三園ノ地目ナル爲課稅セラレズ	41

農家番號	年度	縣稅納付額總計		土地課稅合計		課稅面積	應納稅額	納入（月日）未納、滯納區分	納付稅額
		石	円	石	円	畝	円		円
（屯內總計）	康元		—		—	—	—	—	40.93
	康二	穀子11.05	255.71	穀子11.05	186.43	1,653.18	232.39	—	166.69
1	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子1.42	36.89	穀子1.42	35.19	270.00	37.99	康徳2年11月	37.99
2	康元		—		—	212.98	29.76	康徳1年11月 康徳2年3月	[illegible] 5.44
	康二	穀子1.47	13.68	穀子1.47	11.04	212.98	29.76	康徳2年11月	11.38
3	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子3.32	78.41	穀子3.32	58.36	625.80	88.08	康徳2年11月21日・24日	[illegible]
4	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子1.06	9.44	穀子1.06	7.84	76.66	10.84	未納	—
5	康元		—		—	12.00	1.68	康徳2年4月20日	[illegible]
	康二		2.18		1.68	12.00	1.68	未納	—
6	康元		—		—	—	—	—	—
	康二		1.00		0.70	—	—	康徳2年11月	—
7	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子1.24	27.51	穀子1.24	21.81	154.16	21.81	康徳2年11月21日	21.81
8	康元		—		—	174.20	24.60	康徳2年2月24日	[illegible]
	康二	穀子1.12	21.46	穀子1.12	13.89	138.00	19.53	康徳2年12月10日	6.93
9	康元		—		—	34.78	4.78	康徳2年2月15日	[illegible]
	康二	穀子0.13	3.34	穀子0.13	2.74	34.78	4.78	—	—
10	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子0.18	4.39	穀子0.18	3.09	7.50	1.05	康徳2年11月26日	[illegible]
11	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子0.04	1.98	穀子0.04	1.68	5.00	0.67	未納	—
12	康元		—		—	—	—		—
	康二		2.32		1.82	—	-		—
13	康元		—		—	—	—		—
	康二	穀子0.13	3.10	穀子0.13	1.50	16.00	2.20	康徳2年11月	[illegible]
14	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子0.05	1.08	穀子0.05	0.78	5.60	0.78	康徳2年12月22日	[illegible]
15	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子0.30	8.96	穀子0.30	6.11	37.00	5.09	康徳2年11月25日	[illegible]
16	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子0.19	3.24	穀子0.19	2.34	8.00	1.12	未納	—
17	康元		—		—	7.50	1.05	康徳2年1月15日	[illegible]
	康二	穀子0.06	2.70	穀子0.06	2.10	7.50	1.05	康徳2年12月22日	[illegible]
18	康元		—		—	—	—	—	—
	康二	穀子0.14	10.88	穀子0.14	8.03	18.00	2.58	康徳2年12月22日	[illegible]
19	康元		—		—	16.80	2.35	康徳2年1月9日	[illegible]
	康二	穀子0.14	5.30	穀子0.14	4.70	16.80	2.35	康徳2年11月21日	[illegible]
20	康元		—		—	7.40	1.03	康徳2年3月	1.03
	康二	穀子0.06	1.33	穀子0.06	1.03	7.40	1.03	未納	—

公　課　表（其二縣稅）

…款	…割負	入典者ヨリノ受入額	出典者ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	地主ヘノ支拂額	差引負擔額	農家番號
—	未納 65.70	(9.84) 34.24	22.89	—	—	186.43	屯內總計
—	—	2.80	—	—	—	35.19	1
—	未納 18.38	入典者ヨリノ受入ハ康德1年ニ受入納付濟 5.78	—	—	—	5.44 5.60	2
—	未納 14.60	15.12	—	—	—	58.36	3
—	未納 10.84	—	7.84	—	—	7.84	4
—	未納 1.68	—	—	—	—	1.68	5
—	—	—	0.70	—	—	0.70	6
—	—	—	—	—	—	21.81	7
—	未納 12.60	康德1年受入濟 (8.82) 8.82	—	—	—	13.89	8
—	未納 4.78	康德1年受入濟 (1.02) 1.02	—	—	—	2.74	9
—	—	—	2.04	—	—	3.09	10
—	未納 0.67	—	1.68	—	—	1.68	11
—	—	—	1.82	—	—	1.82	12
—	—	0.70	—	—	—	1.50	13
—	—	—	—	—	—	0.78	14
—	—	—	1.02	—	—	6.11	15
—	未納 1.12	—	2.34	—	—	2.34	16
—	—	—	—	—	—	1.05 1.0[illegible]	17
—	—	—	5.45	—	—	8.03	18
—	—	—	—	—	—	2.35 2.35	19
—	未納 1.03	—	—	—	—	1.03 —	20

農家番號	年度	縣稅納付額總計	土地課稅合計	畝 課稅面積	應納稅額	納入（月日）未納、滯納區分	納付稅額
		圓	圓	畝	圓		
21	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—
22	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.50	—	—	—	—	—
23	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	1.80	—	—	—	—	—
24	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.80	—	—	—	—	—
25	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.83	—	—	—	—	—
26	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	2.70	—	—	—	—	—
27	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	2.80	—	—	—	—	—
28	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.60	—	—	—	—	—
29	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	1.29	—	—	—	—	—
30	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.60	—	—	—	—	—
31	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.50	—	—	—	—	—
32	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.5	—	—	—	—	—
33	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.50	—	—	—	—	—
34	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—
35	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.50	—	—	—	—	—
36	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—
37	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—
38	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.50	—	—	—	—	—
39	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—
40	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—
41	康元	—	—	—	—	—	—
	康二	0.30	—	—	—	—	—

公　課　表（其二縣税）

捐 納付税額	義倉 割當額	義倉 納付税額	義倉戸別捐 割當額	義倉戸別捐 納付税額	門戸捐 割合額	門戸捐 納付税額	賦役 割合額	賦役 納付税額	備考	農家番號
圓	圓	石		圓		圓				
24.00	**1,380.40**	**穀子 11.05**	—	**3.40**	—	**23.30**	—	—		（屯內總計）
—	178.00	穀子 1.42	—	—	—	1.20	—	—	義倉費ハ1天地當リ新制石穀子8升ナリ	1
—	184.00	穀子 1.47	—	—	—	1.20	—	車1 人1 12日		2
6.00	415.00	穀子 3.32	—	—	—	2.70	—	人1 車1 5日 人2 車1 3日		3
1.00	133.00	穀子 1.06	—	—	—	0.60	—	人1 車1 2日 人1 10日		4
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	—		5
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		6
4.00	153.00	穀子 1.24	—	—	—	1.20	—	人1 車1 5日		7
4.00	141.00	穀子 1.12	—	—	—	1.40	—	人1 車1 10日		8
—	16.00	穀子 0.13	—	—	—	0.60	—	人1 驢1 1日 人1 10日		9
1.00	22.00	穀子 0.18	—	—	—	0.30	—	人1 馬1 2日 人1 10日		10
—	5.00	穀子 0.04	—	—	—	0.30	—	人1 15日		11
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	人1 13日		12
1.00	16.00	穀子 0.13	—	—	—	0.60	—	人1 車1 3日 人1 10日		13
—	6.00	穀子 0.05	—	—	—	0.30	—	人1 10日		14
2.00	37.00	穀子 0.30	—	—	—	0.60	—	人1 馬1 6日 人1 6日	屠殺捐ハ豚1頭ノ税金ヲNo.18ト分擔支拂フ	15
—	24.00	穀子 0.19	—	—	—	0.90	—	人1 馬1 6日 人1 6日		16
—	8.00	穀子 0.06	—	—	—	0.60	—	人 10日		17
2.00	18.00	穀子 0.14	—	—	—	0.60	—	人1 車1 6日 人1 4日	屠殺捐ハ豚1頭ノ税金ヲNo.15ト分擔支拂フ	18
—	17.00	穀子 0.14	—	—	—	0.30	—	人1 10日		19

農家番號	其他計	糧捐又ハ斗捐 黄豆	蕎麥	粳子	穀子	高粱	稗子	計	屠宰捐 種類頭數	納付稅額	車牌 所有 種類個數	納稅 種類個數
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	頭	圓	臺	臺
20	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	1.80	—	—	0.20	—	—	—	0.20	豚 1 頭	0.50	—	—
24	0.80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	0.83	—	—	—	—	0.33	—	0.33	—	—	—	—
26	2.70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大車 1	大車 1(1套)
27	2.80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大車 1	大車 1(2套)
28	0.60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	1.29	0.34	—	0.17	—	0.11	0.17	0.79	—	—	—	—
30	0.60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大車 1	—
31	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

公　課　表（其二縣稅）

捐	義倉		義倉戸別捐		門戸捐		賦役		備考	農家番號
納付税額	割當額	納付税額	割當額	納付税額	割合額	納付税額	割合額	納付税額		
圓	畝	石		圓		圓				
—	7.40	穀子 0.06	—	—	—	0.30	—	人 1 5日		20
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		21
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	人 1 6日		22
—	—	—	—	0.20	—	0.90	—	人 1 8日		23
—	—	—	—	0.20	—	0.60	—	人 1 10日		24
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	人 1 10日		25
1.00	—	—	—	0.80	—	0.90	—	人 1 12日		26
2.00	—	—	—	0.20	—	0.60	—	{人 1, 車 1} 1日 人 1 10日		27
—	—	—	—	—	—	0.60	—	人 1 15日		28
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	人 1 10日		29
—	—	—	—	—	—	0.60	—	{人 1, 馬 1} 1日 人 1 10日		30
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	—		31
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	—		32
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	—		33
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		34
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	—		35
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		36
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		37
—	—	—	—	0.20	—	0.30	—	—		38
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		39
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		40
—	—	—	—	—	—	0.30	—	—		41

農家番號	年度	納入額總計	土地ニ對スル税額計	村 課税面積	税率	應納額	納入額	滯納額	小作人ヨリノ受入額
		石	石	畝		円	石	円	円
（屯内總計）	康 二	高粱 19.88 穀子 5.40 円 820.54	高粱 19.88 穀子 5.40 円 820.54	1,728.78		899.23	高粱 6.72 穀子 5.40 円 820.54	30.00	—
1	康 二	高粱 0.14 10.55	高粱 0.14 10.55	18.50	5.70	10.55	10.55	—	—
2	康 二	高粱 0.45 31.35	高粱 0.45 31.35	55.00	〃	31.35	31.35	—	—
3	康 二	高粱 2.54 152.40	高粱 2.54 152.40	320.00	〃	182.40	152.40	未納 3[illegible]	—
4	康 二	高粱 0.41 28.50	高粱 0.41 28.50	50.00	〃	28.50	28.50	—	—
5	康 二	—	—	—	—	—	—	—	—
6	康 二	—	—	—	—	—	—	—	—
7	康 二	高粱 1.24 87.20	高粱 1.24 87.20	153.00	5.70	87.20	87.20	—	—
8	康 二	高粱 1.14 80.37	高粱 1.14 80.37	141.00	〃	80.37	80.37	—	—
9	康 二	高粱 0.32 22.50	高粱 0.32 22.50	39.48	〃	22.50	22.50	—	—
10	康 二	高粱 0.32 22.52	高粱 0.32 22.52	39.50	〃	22.52	22.52	—	—
11	康 二	高粱 0.38 26.51	高粱 0.38 26.51	46.50	〃	26.51	26.51	—	—
12	康 二	高粱 0.27 18.81	高粱 0.27 18.81	33.00	〃	18.81	18.81	—	—
13	康 二	高粱 0.39 27.08	高粱 0.39 27.08	47.50	〃	27.08	27.08	—	—
14	康 二	高粱 0.33 23.31	高粱 0.33 23.31	40.90	〃	23.31	23.31	—	—
15	康 二	高粱 0.57 39.90	高粱 0.57 39.90	70.00	〃	39.90	39.90	—	—
16	康 二	高粱 0.55 38.76	高粱 0.55 38.76	68.00	〃	38.76	38.76	—	—
17	康 二	高粱 0.26 18.53	高粱 0.26 18.53	32.50	〃	18.53	18.53	—	—
18	康 二	高粱 0.45 31.92	高粱 0.45 31.92	56.00	〃	31.92	31.92	—	—
19	康 二	高粱 0.14 9.58	高粱 0.14 9.58	168.00	〃	9.58	9.58	—	—
20	康 二	高粱 0.06 4.22	高粱 0.06 4.22	7.40	〃	4.22	4.22	—	—

農家番號	年度	納入額總計		土地ニ對スル稅額計		村 課稅面積	稅率	應納額	納入額		滯納額	小作人ヨリノ受入額
			圓・石		圓・石	畝	圓	圓		圓・石	圓	圓
21	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
22	康二		—		—	—	—	—		—		—
23	康二	高粱	0.89 31.35	高粱	0.89 31.35	55.00	5.70	31.35		31.35	—	—
24	康二	高粱	0.18 12.82	高粱	0.18 12.82	22.50	〃	12.82		12.82	—	—
25	康二	高粱	2.90 5.07	高粱	2.90 5.07	28.00	〃	15.96	高粱	石 2.67 5.07	—	—
26	康二	高粱	0.54 38.19	高粱	0.54 38.19	67.00	〃	38.19		38.19	—	—
27	康二	高粱	0.32 22.80	高粱	0.32 22.80	40.00	〃	22.80		22.80	—	—
28	康二	高粱	0.32 22.80	高粱	0.32 22.80	40.00	〃	22.80		22.80	—	—
29	康二	高粱	4.37 7.80	高粱	4.37 7.80	40.00	〃	22.80	高粱	4.05 7.80	—	—
30	康二	高粱 穀子	0.32 5.40	高粱 穀子	0.32 5.40	40.00	〃	22.80	穀子	5.40	—	—
31	康二	高粱	0.08 5.70	高粱	0.08 5.70	10.00	〃	5.70		5.70	—	—
32	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
33	康二				—	—		—		—	—	—
34	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
35	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
36	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
37	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
38	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
39	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
40	康二		—		—	—	—	—		—	—	—
41	康二		—		—	—	—	—		—	—	—

公　課　表 (其三村費其他)

…費		看青費								農家番號
地主ヘノ支拂額	差引負擔額	課税面積	税率	應納額	納入額	滯納額	小作人ヨリノ受入額	地主ヘノ支拂額	差引負擔額	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
—	31.35	110.00	0.0081	高粱 0.89	高粱 0.89	—	—	—	高粱 0.89	23
—	12.82	22.50	〃	〃 0.18	〃 0.18	—	—	—	〃 0.18	24
—	高粱 2.61 5.07	28.00	〃	〃 0.23	〃 0.23	—	—	—	〃 0.23	25
—	33.19	67.00	〃	〃 0.54	〃 0.54	—	—	—	〃 0.54	26
—	22.80	40.00	〃	〃 0.32	〃 0.32	—	—	—	〃 0.32	27
—	22.80	40.00	〃	〃 0.32	〃 0.32	—	—	—	〃 0.32	28
—	高粱 4.05 7.80	40.00	〃	〃 0.32	〃 0.32	—	—	—	〃 0.32	29
—	穀子 5.40	40.00	〃	〃 0.32	〃 0.32	—	—	—	〃 0.32	30
—	5.70	10.00	〃	〃 0.08	〃 0.08	—	—	—	〃 0.08	31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41

第十二　作物別播種

農家番號	經營様式	年度	計 播種面積	%	收穫面積	%	收量半減以下面積	%	黄豆 播種面積	%	收量半減以下面積	收量	一天地當收量	高 播種面積	%
			畝		畝		畝		畝		畝	石	石	畝	
	（屯內總計）	康二 康三	1,721.58 1,394.48	100 100	1,721.58 1,394.48	99 99	97.50 192.00	1 1	655.10 449.60	38 33	54.00 30.00	597.89 431.85	9.13 9.61	465.40 391.30	27 29
1	地主	康二 康三	3.30 3.30	100 100	3.30 3.30	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
2	〃	康二 康三	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
3	地・自・雜（粉房區農會長）	康二 康三	333.00 2.[illegible]	100 1[illegible]	333.00 2.[illegible]	— —	— —	— —	140.00 —	42 —	— —	175.50 —	12.53 —	112.[illegible] —	[illegible] —
4	地・自	康二 康三	56.00 56.00	100 100	56.00 56.00	64 82	20.00 10.00	36 18	20.00 10.00	36 18	20.00 10.00	10.80 4.05	5.40 4.05	15.[illegible] 2[illegible]	27 36
5	地・自・雜（看青的）	康二 康三	4.00 4.00	100 100	4.00 4.00	— —	— —	— —	— 3.00	— 75	— —	— 3.24	— 10.80	3.[illegible] —	75 —
6	地・雇（年）	康二 康三	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
7	自作	康二 康三	165.10 176.10	100 100	165.10 176.10	— 100	— 1.00	— —	57.00 58.00	34 33	— —	48.60 64.08	8.53 11.18	19.00 55.00	12 31
8	自・小	康二 康三	209.00 12.00	100 100	209.00 12.00	— —	— —	— —	80.00 —	38 —	— —	64.80 —	8.10 —	35.0[illegible] 10.[illegible]	17 83
9	〃	康二 康三	3[illegible].48 61.18	1[illegible] 100	36.48 61.18	5[illegible] 84	15.00 10.00	41 16	11.30 18.00	31 29	10.00 —	5.40 9.50	4.78 5.29	14.00 20.0[illegible]	38 33
10	〃	康二 康三	40.00 50.00	100 100	40.00 50.00	— 85	— 7.50	— 15	16.50 24.00	41 48	— —	16.20 21.60	9.83 8.99	9.0[illegible] 9.0[illegible]	23 18
11	〃	康二 康三	47.70 47.70	100 100	47.70 47.70	— —	— —	— —	15.00 15.00	32 32	— —	14.85 16.20	9.91 10.80	15.00 17.0[illegible]	31 36
12	〃	康二 康三	33.50 38.50	100 100	33.50 38.50	— —	— —	— —	20.00 15.00	60 39	— —	21.60 17.01	10.80 11.34	9.[illegible] 13.[illegible]	27 34
13	自・小・徘（大師夫漁業）	康二 康三	48.5[illegible] 48.50	100 100	48.50 48.50	86 59	7.00 20.00	14 41	20.00 14.00	41 29	— —	18.9[illegible] 13.50	9.45 9.45	11.0[illegible] 8.5	23 18
14	自・小	康二 康三	42.90 50.90	100 100	42.90 50.90	— 84	— 8.00	— 16	23.30 16.60	54 33	— —	16.20 8.10	6.9[illegible] 4.8[illegible]	10.[illegible] 4.[illegible]	23 8
15	自・小・雇（日）	康二 康三	74.30 70.30	100 100	74.30 70.30	— —	— —	— —	30.00 28.00	40 40	— —	32.40 32.40	1[illegible].8[illegible] 11.5[illegible]	22.[illegible] 17.[illegible]	30 25
16	〃（年）	康二 康三	69.00 59.00	100 100	69.00 59.00	42 83	4.00 10.00	58 17	33.00 16.00	48 27	— —	20.25 16.20	8.1[illegible] 10.1[illegible]	15.0[illegible] 12.5[illegible]	22 21
17	〃（年）	康二 康三	33.00 96.00	100 100	33.00 96.00	— 92	— 7.50	— 8	12.50 42.00	38 44	— —	10.80 43.20	8.64 10.2[illegible]	15.0[illegible] 18.[illegible]	45 19
18	自・雇（年）	康二 康三	57.00 71.00	100 100	57.00 71.00	— 85	— 11.00	— 15	20.00 22.00	35 31	— —	18.90 17.55	9.45 7.9[illegible]	17.0[illegible] 17.[illegible]	30 24
19	〃（年）	康二 康三	16.00 16.00	100 100	16.00 16.00	— —	— —	— —	7.00 8.00	43 50	— —	6.99 7.13	[illegible] 8.91	8.[illegible] 8.[illegible]	50 50
20	〃（日）	康二 康三	13.40 6.00	100 100	13.40 6.00	70 —	4.00 —	30 —	4.00 —	30 —	4.00 —	2.70 —	6.75 —	7.4[illegible] 4.0[illegible]	55 67

面積並收量表 （其二）

農家番號	子：量減以下面積	子：收量	子：一反地當收量	混作：播種面積	混作：%	混作：收量半減以下面積	混作：收量	混作：一反地當收量	蔬菜：%	蔬菜：播種面積	備考
	畝	石	石	畝		畝	石	石		畝	
屯內總計	—	12.69	11.53	30.00	2	-	高粱 40.50 穀子 5.40 小豆 1.08 穈子 1.08		3	52.00	
	5.00	5.40	6.75	12.00	1	1.0[illegible]	黃豆 0.80 粳子 6.75 小豆 1.62	—	4	54.78	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	100	3.30	
	—	—	—	—	—	—	—	—	100	3.30	
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6.00	蕎麥ハ一部青刈用
	—	—	—	—	—	—	—	—	100	2.00	3年度撈外青
4	—	—	—	—	—	—	—	—	10	6.00	穈子收量少ナキハ窪地ニシテ
	—	—	—	—	—	—	—	—	11	6.00	水害ニヨル
5	—	—	—	—	—	—	—	—	25	1.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	25	1.00	輪作
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	—			高粱 小豆 25.00	15	—	高粱 40.50 小豆 1.08	16.20 0.43	1	1.10	高粱小豆ノ混作ハ高粱發芽當時發芽不良、黃豆、小豆ノ混作ハ黃豆ノ虫害ヲ補フタメナリ
	—	—	—	黃豆 小豆 2.50	1	1.00	黃豆 0.80 小豆 0.27	4.00 1.40	1	1.10	
8	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	17	2.00	
9	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	14	8.18	
10	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.50	
	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.50	
11	—	—	—	—	—	—	—	—	6	2.70	
	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.70	
12	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.50	
	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.50	
13	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.00	
14	—	—	—	—	—	—	—	—	5	2.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	4	2.00	
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	粳子 小豆 10.00	14	—	粳子 6.75 小豆 1.35	6.75 1.35	—	—	
16	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1.00	稗子ノ收量少ナキハ雹害、蕎麥ハ晩播ニヨル
	5.00	5.40	6.75	—	—	—	-	—	2	1.00	
17	—	—	—	穀子 穈子 5.00	15	—	穀子 5.40 穈子 1.08	10.80 2.16	2	0.50	
	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.50	
18	—	8.10	16.20	—	—	—	—	—	1	1.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1.00	
19	—	—	—	—	—	—	—	—	7	1.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
20	—	—	—	—	—	—	—	—	15	2.00	
	—	—	—	—	—	—	—	—	33	2.00	

農家番號	作物＼年度	粟子 播種面積	%	收量半減以下面積	收量	一天地當收量	蕎麥 播種面積	%	收量半減以下面積	收量	一天地當收量	稗 播種面積	%
		畝		畝	石	石	畝		畝	石	石	畝	
21	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	康二	—	—	—	—	—	6.00	5	—	4.05	6.75	—	—
	康三	3.00	3	—	1.62	5.40	—	—	—	—	—	—	—
24	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.00	14
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	1.00	5	—	0.81	8.10	—	—	—	—	—	—	—
31	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	康二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	康三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

面積並收量表　（其二）

子			混作					蔬菜		備考	農家番號
收量半減以下面積	收量	一反地當收量	播種面積	[illegible]	收量半減以下面積	收量	一反地當收量	[illegible]	播種面積		
畝	石	石	畝		畝	石	石		畝		
—	—	—	—	—	—	—	—	14	0.50		21
—	—	—	—	—	—	—	—	1[illegible]	0.50		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	1.[illegible]	蔬菜ニ包米ヲ含ム未熟ノ時食用トセリ	22
—	—	—	—	—	—	—	—	100	1.[illegible]		
—	—	—	—	—	—	—	—	1	1.00	糜子ハ雹害ニヨリ收量少シ	23
—	—	—	—	—	—	—	—	7	8.00		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		24
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.50		25
—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.50		
—	—	—	—	—	—	—	—	1	1.00		26
—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.00		
—	—	—	—	—	—	—	—	5	2.00		27
—	—	—	—	—	—	—	—	1	2.00		
—	—	—	—	—	—	—	—	7	3.00	蔬菜ニ包米0.10石ヲ含ム	28
—	—	—	—	—	—	—	—	7	3.00		
—	4.5	7.5	—	—	—	—	—	1	0.50		29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10		
—	—	—	—	—	—	—	—	5	2.50		30
—	—	—	—	—	—	—	—	12	2.50		
—	—	—	—	—	—	—	—	4	0.40		31
—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.40		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	1.00		32
—	—	—	—	—	—	—	—	100	1.00		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.20		34
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.20		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.20		35
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.20		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.90		36
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.90		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.40		38
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.40		
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.30		39
—	—	—	—	—	—	—	—	100	0.30		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十二　作物別播

農家番號	作物名 年度 經營様式	合計 二年	合計 三年	黄豆 二年	黄豆 三年	高粱 二年	高粱 三年	旱稗子 二年	旱稗子 三年	穀子(谷子) 二年	穀子(谷子) 三年
		畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝
	屯內總計	1,721.58	1,394.48	655.10	449.60	465.40	391.30	148.50	160.30	331.28	313.50
	%	100	100	38	33	27	29	9	11	19	22
1	地主	3.30	3.30	—	—	—	—	—	—	—	—
2	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	地・自・雜(粉房區農會長)	333.00	2.00	140.00	—	112.00	—	20.00	—	40.00	—
4	地・自	56.00	56.00	20.00	10.00	15.00	20.00	7.00	7.00	7.00	12.00
5	地・自・雜(看青的)	4.00	4.00	—	3.00	3.00	—	—	—	—	—
6	地・雇(年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	自作	165.10	176.10	57.00	53.00	19.00	55.00	20.00	16.00	43.00	44.00
8	自・小	209.00	12.00	85.00	—	35.00	10.00	30.00	—	60.00	—
9	〃	36.48	61.13	11.30	15.00	14.00	20.00	3.00	5.00	5.18	10.00
10	〃	40.00	[illegible]	16.50	24.00	9.50	[illegible]	4.00	7.50	[illegible]	9.00
11	〃	47.70	47.70	15.00	15.00	15.00	17.00	—	—	15.00	15.00
12	〃	33.50	33.50	20.00	15.00	9.00	10.00	—	—	4.00	10.00
13	自・小・雜(大師夫漁業)	48.50	48.50	20.00	14.00	11.00	8.50	9.00	14.00	7.50	11.00
14	自・小	42.90	[illegible]	23.30	16.60	[illegible]	4.00	—	8.00	7.60	[illegible]
15	自・小・雇(日)	74.30	70.30	20.00	28.00	[illegible]	17.30	12.00	—	8.00	15.00
16	〃 (年)	69.00	[illegible]	23.00	16.00	15.00	12.50	8.00	12.5	8.00	9.00
17	〃 (年)	33.00	[illegible]	12.50	42.00	15.00	18.00	—	12.00	—	23.50
18	自・雇(年)	57.00	71.00	20.00	22.00	17.00	17.00	[illegible]	11.00	9.00	20.00
19	〃 (年)	16.00	16.00	7.00	8.00	8.00	8.00	—	—	—	—
20	〃 (日)	13.40	6.00	4.00	—	7.40	4.00	—	—	—	—
21	〃 (年)	3.50	0.50	—	—	3.00	—	—	—	—	—
22	〃 (月・日)	1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
23	小作	111.00	111.00	35.00	40.00	25.00	35.00	10.00	10.00	34.00	15.00
24	〃	45.00	19.00	18.00	5.00	12.00	7.00	7.50	2.00	7.50	5.00
25	小・雜(撿糞・行商)	28.50	22.50	—	5.00	13.00	7.00	—	—	10.00	10.00
26	小・雇(年・月)	68.00	58.00	25.00	20.00	23.00	20.00	4.00	7.00	15.00	10.00
27	〃 (月・日)	43.00	162.00	20.50	45.00	15.00	55.00	—	20.00	5.50	[illegible]
28	〃 (月)	43.00	45.00	20.00	10.00	15.00	12.00	—	10.00	5.00	[illegible]
29	〃 (月)	40.50	49.10	10.00	15.00	8.00	10.00	6.00	14.00	10.00	10.00
30	〃 (年)	42.50	19.50	17.00	—	10.00	7.00	3.00	4.00	10.00	5.00
31	〃 (日)	10.40	35.40	—	20.00	—	5.00	—	—	10.00	10.00
32	雇(年・日)雜・(撿糞・行商)	1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
33	雇(月・日)・雜(撿糞)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	雇農(年・月)	0.20	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—
35	〃 (年)	0.20	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—
36	〃 (月・日)	0.90	0.90	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃 (月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	雇(月)・雜(粉匠)	0.40	0.40	—	—	—	—	—	—	—	—
39	〃 (行商)	0.30	0.30	—	—	—	—	—	—	—	—
40	雜業(裁縫)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

種面積表（其三）

糜子		青麥		稗子		混作		蔬菜		備考	農家番號
二年	三年	二年	三年	二年	三年	二年	三年	二年	三年		
畝 1.00	畝 5.00	畝 27.30	畝 —	畝 11.00	畝 8.00	畝 30.00	畝 12.00	畝 52.00	畝 54.78		屯內總計
—	—	1	—	1	—	2	1	3	4		
—	—	—	—	—	—	—	—	3.30	3.30		1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		2
—	—	15.00	—	—	—	—	—	6.00	2.00		3
1.00	1.00		—	—		—	—	6.00	6.00		4
—	—	—	—	—		—		1.00	1.[illegible]		5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		6
—	—	—	—	—	—	高粱小豆 25.00	黃豆小豆 2.00	1.10	1.10		7
—	—	—	—	—	—	—	—	4.00	2.00		8
—	—	—	—	—	—	—	—	3.00	8.18		9
—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	0.50		10
—	—	—	—	—	—	—	—	2.70	0.70		11
—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	0.50		12
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00		13
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	2.00		14
—	—	2.30	—	—	—	—	粳子小豆 10.00	—	—		15
—	—	4.00	—	—	8.00	—	—	1.00	1.00		16
—	—	—	—	—	—	穀子糜子 5.00	—	0.50	0.50		17
—	—	—	—	5.00	—	—	—	1.00	1.00		18
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—		19
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	2.00		20
—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	0.50		21
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00		22
—	3.00	6.00	—	—	—	—	—	1.00	8.00		23
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		24
—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	0.50		25
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00		26
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	2.00		27
—	—	—	—	—	—	—	—	3.00	3.00		28
—	—	—	—	6.00	—	—	—	0.50	0.10		29
—	1.00	—	—	—	—	—	—	2.50	2.50		30
—	—	—	—	—	—	—	—	0.40	0.40		31
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00		32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	0.20		34
—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	0.20		35
—	—	—	—	—	—	—	—	0.90	0.90		36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
—	—	—	—	—	—	—	—	0.40	0.40		38
—	—	—	—	—	—	—	—	0.30	0.30		39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

農家番號	經營樣式	黄豆 賣却量	賣却時期	賣却方法	販賣費 自己支出	販賣費 手数料	税捐	手取價額 總額	手取價額 單價	梗 賣却量	梗 賣却時期
		石	月		圓		圓	圓	圓	石	月
	（屯内總計）	512.92			46.30	—	44.34	3,024.21	5.89	103.82	—
1	地　主	8.10	11	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	45.00	5.56	—	—
2	〃	18.96	9	特産物管理所ヲ經テ賣却	15.8[illegible]	—	3.2[illegible]	94.1[illegible]	4.[illegible]	24.[illegible]	1[illegible]
3	地・自・雜（粉房區農會長）	47.40	10	鐵嶺特産物管理所ヲ經テ賣却	6.8[illegible]	—	1[illegible].75	[illegible]	6.43	—	—
〃	〃	47.40	11	〃	6.80	—	10.79	308.00	6.50	—	—
〃	〃	42.66	12	〃	1.70	—	9.70	277.20	6.50	—	—
〃	〃	16.59	〃	〃	1.70	—	3.80	108.50	6.54	—	—
4	地・自	8.10	10	夏家樓ノ王寶臣ヘ庭先渡	—	—	—	39.00	4.82	4.05	1[illegible]
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	地・自・雜（看青的）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	地・雇（年）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	自　作	44.55	11	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	247.50	5.56	9.45	12
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	自・小	21.33	11	特産物管理所ヲ經テ賣却	7.50	—	3.78	108.00	5.06	7.11	11
9	〃	2.70	10	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	15.00	5.55	—	—
10	〃	13.50	10	〃	—	—	—	75.00	5.55	4.05	10
11	〃	13.50	12	〃	—	—	—	85.00	6.30	—	—
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	〃	20.25	12	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	135.00	6.67	—	—
13	自・小・雜（大師夫漁業）	16.20	10	〃	—	—	—	90.00	5.55	16.20	10
14	自・小	16.20	12	〃	—	—	—	102.00	6.30	—	—
15	自・小・雇（日）	29.70	10	〃	—	—	—	198.00	6.67	13.50	10
16	〃（年）	10.80	3	夏家樓王家油房ヘ庭先渡	—	—	—	62.00	5.74	8.10	10
〃	〃	17.55	10	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	97.50	5.56	—	—
17	〃（年）	9.45	9	〃	—	—	—	52.50	5.5[illegible]	—	—
18	自・雇（年）	16.20	10	〃	—	—	—	90.00	5.55	5.40	11
19	〃（年）	5.93	1[illegible]	特産物管理所ヲ經テ賣却	3.5[illegible]	—	1.05	3[illegible]	5.[illegible]	—	—
20	〃（日）	2.16	11	糧販子庭ヘ先渡	—	—	—	8.40	3.89	—	—
21	〃（年）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	〃（月・日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	小　作	16.20	9	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	69.00	4.26	2.70	12
24	〃	6.21	11	〃	—	—	—	39.10	6.30	2.70	11
25	小・雜（行商・撿糞）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	小・雇（年・月）	14.85	10	青堆子信昌大ニ庭先渡	—	—	—	82.50	5.55	4.05	10
27	〃（月・日）	10.80	10	住家窩棚ノ劉老八ニ庭先渡	—	—	—	60.00	5.55	—	—
28	〃（月）	16.20	10	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	90.00	5.56	—	—
29	〃（月）	5.93	10	特産物管理處ヲ經テ賣却	2.50	—	1.18	33.75	5.69	3.55	11
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	〃（年）	13.50	9	糧販子ヘ庭先渡	—	—	—	75.00	5.55	4.05	10
31	〃（日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	雇（年・日）雜・（行商・撿糞）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	雇（月・日）・雜（撿糞）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	雇・農（年・月）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	〃（年）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	〃（月・日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃（月）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	雇（月）・雜（粉匠）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	〃　〃（行商）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	雜　業（成縫）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	無　職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

賣却表 (其一)

賣却方法	販賣費 自己支出	販賣費 手數料	稅捐	手取價額 總額	手取價額 單價	穀子 賣却量	賣却時期	賣却方法	販賣費 自己支出	販賣費 手數料	稅捐	手取價額 總額	手取價額 單價	農家番號
	圓		圓	圓	圓	石			圓		圓	圓	圓	
	7.00	—	1.82	567.90	5.17	41.55 小米 (2.70)	—		3.00	—	0.83	180.50 20.00	4.34 7.41	屯內總計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	109.00	4.38	—	—	—	—	—	—	—	—	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	15.00	3.70	2.70	10	青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	12.00	4.44	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
粮販子へ庭先渡	—	—	—	98.00	10.37	小米 (2.70)	12	夏家樓某へ庭先渡	—	—	—	20.00	7.41	7
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
特産物管理所ヲ經テ賣却	3.50	—	1.08	54.00	7.59	11.85	10	特産物管理處ヲ經テ賣却	3.00	—	0.83	55.00	4.64	8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
粮販子へ庭先渡	—	—	—	18.00	4.44	4.05	10	粮販子へ庭先渡	—	—	—	18.00	4.44	10
—	—	—	—	—	—	5.40	12	〃	—	—	—	22.00	4.07	11
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	72.00	4.44	—	—	—	—	—	—	—	—	13
—	—	—	—	—	—	8.10	12	粮販子へ庭先渡	—	—	—	33.00	4.07	14
粮販子へ庭先渡	—	—	—	60.00	4.44	—	—	—	—	—	—	—	—	15
青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	36.00	4.44	—	—	—	—	—	—	—	—	16
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	24.00	4.44	—	—	—	—	—	—	—	—	18
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
特産物管理所ヲ經テ賣却	2.00	—	0.40	20.40	7.56	—	—	—	—	—	—	—	—	23
粮販子へ庭先渡	—	—	—	12.00	4.44	2.70	11	粮販子へ庭先渡	—	—	—	12.00	4.44	24
—	—	—	—	—	—	4.05	9	〃	—	—	—	16.50	4.07	25
青堆子、信昌大ニ庭先渡	—	—	—	16.50	4.07	—	—	—	—	—	—	—	—	26
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
特産物管理所ヲ經テ賣却	1.50	—	0.34	16.50	4.63	—	—	—	—	—	—	—	—	29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
粮販子へ庭先渡	—	—	—	16.50	4.07	—	—	—	—	—	—	—	—	30
—	—	—	—	—	—	2.70	10	粮販子へ庭先渡	—	—	—	12.00	4.44	31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41

農家番號	高粱								蕎		
	賣却量	賣却時期	賣却方法	販賣費 自己支出	販賣費 手數料	稅捐	手取價額 總額	手取價額 單價	賣却量	賣却時期	賣却方法
	石	月		圓		圓	圓	圓	石	月	
屯內總計	37.56	—		2.00	—	0.66	145.50	3.87	16.59	—	—
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	16.59	11	特產物管理處ヲ經テ賣却
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	5.41	3	36號農家ニ庭先渡	—	—	—	22.00	4.07	—	—	—
〃	5.13	12	35號農家ニ庭先渡	—	—	—	13.50	2.62	—	—	—
〃	12.15	12	粮販子ヘ庭先渡	—	—	—	40.50	3.33	—	—	—
〃	2.70	12	叟家樓某ヘ庭先渡	—	—	—	15.00	5.56	—	—	—
8			—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	2.70	5	粮販子ヘ庭先渡	—	—	—	11.00	4.07	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	7.11	9	特產物管理處ヲ經テ賣却	2.00	—	0.50	33.00	4.64	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	2.37	12	特產物管理處ヲ經テ賣却	—	—	0.16	10.50	4.43	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

賣　却　表（其二）

麦					小豆								
販賣費		稅捐	手取價額		賣却量	賣却時期	賣却方法	販賣費		稅捐	手取價額		農家番號
自己支出	手數料		總額	單價				自己支出	手數料		總額	單價	
圓		圓	圓	圓	石	月					圓	圓	
1.70		1.26	84.00	5.06	6.21	—	—	—	—	—	34.50	5.56	屯内總計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
—	—	—	—	—	4.05	8	粮販子へ庭先渡	—	—	—	22.50	5.56	2
1.70	—	1.26	84.00	5.06	—	—	—	—	—	—	—	—	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
—	—	—	—	—	2.16	12	粮販子へ庭先渡	—	—	—	12.00	5.56	7
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41

農家番號	稗子 賣却量	賣却時期	賣却方法	販賣費 自己支出	手數料	稅捐	手取價額 總額	單價	磨石豆 賣却量	賣却時期	賣却方法	販賣費 自己支出	手數料	稅捐
	石			圓	圓	圓	圓	圓	石			圓	圓	圓
(屯內總計)	3.56	—	—	1.00	—	0.25	16.25	4.56	2.70	—	—	—	—	—
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	—	—	—	—	—	—	—	—	2.70	10	粮販子ヘ庭先渡	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	1.19	4	特産物管理處ヲ經テ賣却	—	—	0.09	5.75	4.83	—	—	—	—	—	—
〃	2.37	11	〃	1.00	—	0.16	10.50	4.43	—	—	—	—	—	—
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

賣却表（其三）

手取價額 總額	手取價額 單價	白菜 賣却量	白菜 賣却時期	白菜 賣却方法	販賣費 自己支出	販賣費 手數料	稅捐	白菜 手取價額 總額	白菜 手取價額 單價	副產物 種類	副產物 數量	副產物 金額	備考	農家番號
圓	圓	斤	月		圓	圓	圓	圓	圓			圓		
14.00	5.19	1,476	—	—	—	—	—	12.00	0.813	高粱稈 穀子稈	2,800束 8,610斤 11,070斤	294.00		（屯內總計）
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		2
—	—	615	10	15號農家ニ庭先渡	—	—	—	5.00	0.813	—	—	—	白菜ノ手取單價ハ 100斤ニ付 0.813圓	3
—	—	369	10	16 〃	—	—	—	3.00	〃	—	—	—		〃
—	—	123	10	屯外韓長貴庭先渡	—	—	—	1.00	〃	—	—	—		〃
—	—	369	10	7號農家ニ庭先渡	—	—	—	3.00	〃	—	—	—		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱稈	800束	16.00		4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	穀子稈	2.460斤	40.00		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		6
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱稈	7.380斤	90.00		7
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	穀子稈	3.075斤	55.00		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	穀子稈	1.230斤	14.00		11
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱稈	1.230斤	12.00		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	500束	6.00		12
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	穀子稈	1.230斤	8.00		13
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	1.230斤	15.00		14
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		15
14.00	5.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		16
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		17
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		18
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		19
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		21
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		22
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		23
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		24
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱稈	800束	10.00		25
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		26
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		27
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		28
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱稈	500束	5.00		29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱稈	200束	2.00		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	穀子稈	1.230斤	13.00		〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		30
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	穀子稈	615斤	8.00		31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41

第十四　生活費現

鐵嶺縣畢家窩棚屯

農家番號	經營樣式	家族人數	家族一人當支出	合計 金額	合計 %	住居費 金額	住居費 %	食 穀類 金額	穀類 %	白麵 金額	白麵 %	豬牛肉 金額	豬牛肉 %	鹽 金額	鹽 %
		人	圓	圓		圓		圓		圓		圓		圓	
	（屯內總計）	**272**	**16.47**	**4,481.21**	**100**	**202.39**	**4**	**1,029.72**	**23**	**217.88**	**5**	**202.00**	**4**	**281.67**	**6**
1	地主	5	82.07	410.33	100	11.50	3	125.00	30	24.60	6	7.92	3	8.00	2
2	〃	7	47.55	332.87	100	6.70	2	75.00	23	6.40	2	—	—	14.00	4
3	地・自・雜（粉房區農會長）	23	48.03	1,104.75	100	49.95	5	240.00	21	34.80	3	19.25	1	42.55	4
4	地・自	6	23.47	140.82	100	1.70	1	—	—	7.00	5	15.00	11	6.00	4
5	地・自・雜（看青的）	4	7.90	31.59	100	—	—	—	—	—	—	3.20	10	3.50	11
6	地・雇（年）	2	32.20	64.41	100	1.55	2	22.00	34	1.82	3	1.53	3	1.05	2
7	自作	7	16.32	114.21	100	1.40	1	—	—	7.00	6	—	—	10.00	9
8	自・小	12	14.31	171.75	100	6.20	4	9.50	6	9.60	6	23.00	16	12.00	7
9	〃	11	11.81	129.90	100	4.20	3	30.00	23	6.50	5	13.20	10	6.00	5
10	〃	5	9.75	48.76	100	2.60	5	—	—	3.80	8	4.80	10	5.60	12
11	〃	3	11.20	33.59	100	0.40	1	—	—	3.20	10	5.40	16	6.00	17
12	〃	6	5.19	31.11	100	0.90	3	—	—	4.00	13	4.23	14	7.50	24
13	自・小・雜（大師夫漁業）	8	16.92	135.35	100	11.20	8	33.00	24	6.40	5	10.00	3	9.60	7
14	自・小	5	4.27	21.35	100	1.60	8	—	—	2.60	12	2.00	9	3.20	15
15	自・小・雇（日）	7	19.07	133.30	100	2.00	2	—	—	3.50	2	3.60	3	14.00	10
16	〃（年）	7	9.86	69.02	100	1.60	2	—	—	4.40	7	6.00	9	7.00	10
17	〃（年）	9	6.03	54.26	100	0.80	1	—	—	4.60	8	5.20	10	7.50	14
18	自・雇（年）	9	9.59	86.27	100	1.50	2	—	—	9.00	10	8.75	10	11.25	13
19	〃（年）	4	11.44	45.77	100	1.00	2	6.42	14	1.25	3	2.35	5	4.90	11
20	〃（日）	3	17.33	51.98	100	0.40	1	—	—	6.40	12	4.00	8	3.75	7
21	〃（年）	3	16.74	50.23	100	0.70	1	18.00	36	2.10	4	2.00	4	2.25	4
22	〃（月・日）	7	10.72	75.02	100	—	—	62.00	83	2.00	3	1.08	1	4.00	5
23	小作	5	9.17	45.87	100	3.80	8	—	—	5.90	13	—	—	9.00	19
24	〃	3	6.90	20.71	100	10.00	48	—	—	2.00	10	0.90	5	2.10	10
25	小・雜（行商・撿糞）	9	6.67	60.18	100	6.80	11	4.20	7	9.60	16	6.00	10	11.25	18
26	小・雇（年・月）	11	5.95	65.40	100	1.50	2	—	—	6.00	9	7.80	12	9.60	15
27	〃（月・日）	9	18.19	118.75	100	1.00	1	—	—	7.00	6	10.00	8	10.00	8
28	〃（月）	9	5.23	47.15	100	1.00	2	—	—	3.00	6	5.80	12	7.00	15
29	〃（月）	3	7.13	21.39	100	—	—	—	—	3.10	14	1.60	8	7.50	35
30	〃（年）	10	3.78	37.77	100	—	—	—	—	4.38	12	6.50	17	5.60	15
31	〃（日）	7	4.26	29.80	100	0.50	2	2.25	7	2.40	8	1.80	6	4.80	16
32	雇農（年・日）雜・（行商・撿糞）	6	32.31	193.84	100	21.40	11	114.00	59	5.46	3	5.18	3	4.70	2
33	雇（月・日）・雜（撿糞）	7	5.10	35.71	100	—	—	25.00	70	1.50	4	1.00	3	0.16	—
34	雇（年・月）	4	23.55	94.19	100	3.10	3	45.00	48	3.60	4	—	—	3.20	3
35	〃（年）	6	7.07	42.44	100	10.30	24	19.50	46	1.05	3	1.12	3	3.00	7
36	〃（月・日）	8	13.61	108.91	100	8.40	8	53.25	49	5.60	5	3.48	3	5.30	5
37	〃（月）	4	11.43	45.70	100	3.10	7	32.00	70	2.00	5	0.54	1	1.40	3
38	雇（月）・雜（粉匠）	7	9.53	66.68	100	12.15	18	28.10	42	3.20	5	2.00	3	3.50	5
39	〃 〃（行商）	6	10.45	62.72	100	6.30	10	46.80	75	0.07	—	0.90	1	2.96	5
40	雜業（裁縫）	4	9.99	39.95	100	5.00	13	31.50	79	1.05	3	—	—	1.05	3
41	無職	1	7.43	7.43	100	0.14	2	7.20	97	—	—	—	—	—	—

金支出表 (其一)

料								費		被				服				費		農家番號
猪油豆油		魚類		砂糖		其他		計		布類		棉花		其他		計		
金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	
圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓		
223.69	5	17.81	1	9.22	1	153.02	4	2,135.01	47	566.98	13	57.55	1	240.44	5	864.97	19	(屯内總計)
20.00	5	2.50	1	0.44	—	22.60	6	211.05	53	15.62	4	2.75	1	21.05	5	39.42	10	1
8.50	2	0.75	—	0.96	—	28.35	9	133.96	40	20.00	6	5.50	2	62.80	18	88.30	26	2
66.40	6	1.20	—	0.68	—	6.96	1	411.85	36	230.00	21	9.00	1	65.00	6	304.00	28	3
6.00	4	1.00	1	0.31	—	10.10	7	45.41	32	11.75	8	3.00	2	4.69	3	19.44	13	4
2.00	6	—	—	0.12	—	1.50	5	10.32	32	6.00	19	1.00	3	0.47	2	7.47	24	5
1.20	2	0.35	1	0.12	—	1.49	2	29.56	47	5.20	8	0.50	—	3.15	5	8.85	13	6
2.85	3	0.96	1	0.42	—	6.68	6	27.92	25	18.00	16	1.50	1	4.59	4	24.09	21	7
18.60	8	3.00	2	0.60	—	6.45	4	87.75	49	6.00	4	5.00	3	5.90	4	16.90	11	8
9.0[illegible]	[illegible]	2.00	2	0.23	—	3.35	3	70.33	55	15.60	12	2.50	2	5.35	4	23.46	18	9
3.6[illegible]	[illegible]	0.60	1	0.12	—	1.85	4	20.37	42	8.00	17	1.00	2	2.35	5	11.35	24	10
—	—	—	—	0.23	1	1.80	5	16.63	49	5.60	17	—	—	0.30	1	5.90	18	11
—	—	—	—	0.27	1	1.55	5	17.60	57	5.20	17	—	—	0.90	3	6.10	20	12
6.0[illegible]	4	—	—	—	—	4.2[illegible]	3	6[illegible].2[illegible]	51	8.[illegible]	6	—	—	2.65	2	10.65	8	13
1.8[illegible]	8	—	—	0.06	—	0.75	4	10.41	43	5.40	25	—	—	0.85	4	6.26	29	14
10.8[illegible]	8	—	—	0.83	1	11.15	8	43.93	32	23.00	17	6.00	5	9.80	7	38.80	29	15
8.0[illegible]	12	—	—	0.35	1	4.65	7	30.40	45	17.10	25	3.00	4	4.60	7	24.70	35	16
5.1[illegible]	9	—	—	0.10	—	3.45	6	25.95	47	5.20	10	1.80	3	4.76	9	11.76	22	17
10.0[illegible]	12	—	—	0.62	1	1.75	2	41.37	43	21.00	28	2.50	3	2.30	3	28.80	34	18
2.55	6	—	—	0.39	1	0.86	2	18.33	42	10.08	24	2.40	3	2.71	3	15.19	30	19
1.8[illegible]	3	0.60	1	0.28	1	1.75	3	18.58	35	4.75	9	—	—	2.40	5	7.15	14	20
1.0[illegible]	2	—	—	0.24	—	1.35	3	26.94	53	6.00	12	0.50	1	1.84	4	8.34	17	21
—	—	—	—	—	—	0.35	—	69.43	92	3.00	4	—	—	0.58	1	3.58	5	22
2.0[illegible]	4	0.80	2	0.12	—	5.40	12	23.22	50	4.50	10	—	—	3.05	7	7.55	17	23
0.4[illegible]	2	—	—	—	—	1.45	7	6.85	34	1.15	6	—	—	0.35	2	1.50	8	24
4.0[illegible]	6	—	—	—	—	1.92	2	35.97	5[illegible]	7.40	12	—	—	0.24	—	7.64	12	25
4.0[illegible]	6	—	—	0.12	—	3.12	5	30.64	47	18.00	27	2.00	3	0.46	1	20.46	31	26
3.0[illegible]	3	2.00	2	0.30	—	0.35	—	32.65	27	8.40	7	4.00	4	9.20	8	21.60	19	27
3.60	8	—	—	—	—	3.20	7	22.60	48	13.50	29	—	—	0.80	2	14.30	31	28
3.0[illegible]	14	—	—	0.26	1	1.11	5	16.57	77	0.90	4	1.50	7	0.80	4	3.20	15	29
3.60	10	—	—	0.12	—	1.70	5	22.00	59	9.00	24	—	—	2.17	6	11.17	30	30
2.0[illegible]	7	—	—	—	—	0.45	2	13.70	45	9.00	30	0.20	—	0.60	2	9.80	32	31
3.6[illegible]	2	0.60	—	0.16	—	3.02	2	136.72	72	6.76	4	—	—	3.85	2	10.62	6	32
0.5[illegible]	1	—			—	—	—	28.16	78	3.00	9	—	—	0.35	1	3.35	10	33
4.0[illegible]	4	—	—	0.12	—	4.30	5	60.22	64	10.25	11	—	—	0.67	1	10.92	12	34
0.35	1	—	—	—	—	0.65	2	25.68	62	1.50	3	—	—	0.70	1	2.20	4	35
1.5[illegible]	1	1.20	1	0.28	—	2.10	2	72.71	66	9.50	9	1.30	1	5.54	5	16.34	15	36
0.60	1	0.05	—	0.12	—	1.00	2	37.71	82	2.00	5	—	—	0.19	—	2.19	5	37
1.00	2	0.20	—	0.15	—	0.10	—	38.25	57	7.30	11	0.60	1	1.00	2	8.90	14	38
0.32	—	—	—	—	—	0.20	—	51.25	81	1.32	2	—	—	1.18	2	2.50	4	39
1.00	2	—	—	—	—	—	—	34.60	87	—	—	—	—	0.22	—	0.22	—	40
—	—	—	—	—	—	—	—	7.20	97	—	—	—	—	—	—	—	—	41

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十四 生活費現

農家番號	光熱費 石油 金額	%	其他 金額	%	計 金額	%	什器費 金額	%	教育費 金額	%	慶弔費 金額	%	嗜 酒 金額	%
	圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓	
屯內總計	**78.36**	**2**	**253.58**	**6**	**331.94**	**8**	**29.33**	**1**	**82.40**	**2**	**460.80**	**10**	**55.76**	**1**
1	5.40	1	75.50	18	80.90	19	1.00	—	10.00	2	25.00	6	14.00	3
2	3.50	1	24.01	7	27.51	8	2.70	1	—	—	40.00	12	—	—
3	28.75	2	72.30	6	101.05	9	10.50	1	40.40	4	90.00	8	16.00	2
4	3.20	2	7.80	6	11.00	8	2.25	2	—	—	50.00	36	1.00	1
5	—	—	1.30	4	1.30	4	—	—	1.00	3	10.00	32	—	—
6	0.80	1	16.95	26	17.75	27	0.75	1	—	—	4.00	7	—	—
7	2.70	2	13.60	12	16.30	14	0.50	—	—	—	12.00	11	3.00	3
8	4.00	2	1.40	1	5.40	3	1.00	1	10.00	6	30.00	18	4.00	2
9	3.60	3	0.72	1	4.32	4	—	—	—	—	20.00	15	—	—
10	0.80	2	—	—	0.80	2	1.14	2	1.50	3	5.00	11	1.00	2
11	1.00	3	0.30	1	1.30	4	—	—	—	—	7.00	21	0.36	1
12	0.36	1	0.10	—	0.46	1	0.05	—	—	—	4.00	12	—	—
13	1.80	1	0.50	—	2.30	1	1.00	1	—	—	25.00	15	—	—
14	0.40	2	0.18	1	0.58	3	—	—	—	—	1.00	5	—	—
15	1.80	1	1.12	1	2.92	2	2.05	2	7.00	5	10.00	7	5.00	4
16	1.00	1	0.32	—	1.32	1	—	—	3.00	4	3.00	4	2.00	3
17	0.72	1	0.63	1	1.35	2	—	—	1.50	3	5.00	9	3.60	7
18	0.90	1	0.50	1	1.40	2	1.20	1	3.00	3	3.00	3	4.00	5
19	0.60	2	0.30	1	0.90	3	0.35	1	—	—	5.00	11	—	—
20	1.00	2	0.30	1	1.30	3	—	—	—	—	15.00	29	—	—
21	1.00	2	8.35	17	9.35	19	0.90	2	—	—	3.00	6	—	—
22	0.20	—	0.31	1	0.51	1	—	—	—	—	1.50	2	—	—
23	1.20	3	0.30	1	1.50	4	1.04	2	5.00	11	1.80	4	0.20	—
24	0.10	—	0.15	1	0.25	1	—	—	—	—	0.30	1	—	—
25	1.00	2	0.65	1	1.65	3	—	—	—	—	3.50	9	0.20	—
26	1.00	2	0.30	—	1.30	2	—	—	—	—	9.50	15	—	—
27	3.50	3	0.70	1	4.20	4	1.50	1	—	—	50.00	42	0.20	—
28	1.00	2	0.20	—	1.20	2	—	—	—	—	5.00	11	1.00	2
29	—	—	0.62	3	0.62	3	—	—	—	—	1.00	5	—	—
30	0.60	1	0.70	2	1.30	3	0.20	—	—	—	2.00	5	—	—
31	0.60	2	0.15	1	0.75	3	—	—	—	—	3.00	10	—	—
32	2.00	1	10.00	5	12.00	6	1.25	—	—	—	2.50	1	—	—
33	0.50	1	0.20	1	0.70	2	—	—	—	—	1.50	4	—	—
34	0.60	1	10.15	11	10.75	12	—	—	—	—	5.00	5	—	—
35	0.32	1	0.14	—	0.46	1	—	—	—	—	3.00	7	—	—
36	1.28	1	2.28	2	3.56	3	—	—	—	—	5.00	5	—	—
37	0.15	—	0.05	—	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	0.60	1	0.23	—	0.83	1	—	—	—	—	3.00	5	0.20	—
39	0.30	1	0.17	—	0.47	1	—	—	—	—	1.20	2	—	—
40	0.08	—	0.05	—	0.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

金支出表 （其二）

好費				娛樂費		醫藥費		年紙		其他		備考	農家番號
其他		計											
金額	戸	金額	戸	金額	戸	金額	戸	金額	戸	金額	戸		
圓		圓		圓		圓		圓		圓			
74.60	2	130.36	3	6.30	—	25.80	1	124.38	3	87.53	2		屯內總計
8.65	2	22.65	5	2.00	1	—	—	5.80	1	1.00	—	洋火2箱碗4個ト豚毛ト交換	1
13.20	5	13.20	5	1.00	—	—	—	7.00	2	12.50	4	洋火1包ト豚毛•骨ト交換ス	2
14.00	2	30.00	4	—	—	—	—	7.00	—	60.00	5		3
3.00	2	4.00	3	—	—	—	—	5.00	4	2.00	1		4
—	—	—	—	—	—	—	—	1.50	5	—	—		5
0.90	1	0.90	1	—	—	—	—	1.00	2	0.10	—		6
—	—	3.00	3	—	—	14.00	12	15.00	13	—	—		7
0.50	—	4.50	2	—	—	—	—	10.00	6	—	—		8
—	—	—	—	2.00	2	—	—	5.00	3	0.59	—	鉢5個ト高粱4斤ト交換ス	9
0.50	1	1.50	3	0.50	—	—	—	4.00	8	—	—		10
—	—	0.36	1	—	—	—	—	2.00	6	—	—		11
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	6	—	—		12
10.00	8	10.00	8	—	—	8.00	6	3.00	2	—	—		13
—	—	—	—	—	—	—	—	1.50	7	—	—		14
12.60	9	17.60	13	—	—	2.00	2	5.00	4	2.00	2		15
—	—	2.00	3	—	—	—	—	3.00	4	—	—	鉢5個ト高粱7斤ト交換ス	16
1.00	2	4.60	9	—	—	—	—	3.00	6	0.30	1		17
—	—	4.00	5	—	—	—	—	2.00	2	—	—		18
—	—	—	—	—	—	—	—	5.00	11	—	—		19
1.25	2	1.25	2	—	—	—	—	2.00	4	6.30	12		20
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	2	—	—		21
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	石油1斤洋火1包ト鷄卵30個ト交換ス	22
—	—	0.20	—	0.30	1	—	—	1.46	3	—	—		23
0.30	1	0.30	1	—	—	—	—	1.50	7	—	—		24
—	—	0.20	—	—	—	—	—	3.42	6	—	—		25
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	3	—	—		26
1.00	1	1.20	1	—	—	—	—	5.00	4	1.60	1		27
—	—	1.00	2	—	—	—	—	2.00	4	0.05	—		28
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		29
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	3	0.10	—		30
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	7	0.05	—		31
4.70	2	4.70	2	0.50	—	1.80	1	2.10	1	0.25	—		32
—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	6	—	—	馬糞大車5車ト高粱1.08石ト交換	33
1.00	1	1.00	1	—	—	—	—	3.00	3	0.20	—		34
—	—	—	—	—	—	—	—	0.80	2	—	—		35
—	—	—	—	—	—	—	—	2.50	2	0.40	1		36
—	—	—	—	—	—	—	—	2.50	6	—	—		37
2.00	3	2.20	3	—	—	—	—	1.30	2	—	—		38
—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	2	—	—		39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.09	1		41

農家番號	借入先 番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返済方法	期限	用途	利子支拂額	返済時期	返済額	未済額
						圓	圓							圓		圓	圓
(屯內總計)	—	—	—	—	—	11,007.17	(高粱 14.58石) 98.06	—	—	—	—	—	—	500.74	—	1,807.25	10 713.46
	王永生	屯內	農	知人	民國20年	190.00	—	書	出典 2天地	無	現金一時拂	3年	負債整理	—	—	—	190.00
	鄧坤	第7區姜家窩棚	〃	親類	大同2年12月	現大洋(110.00) 110.00	—	直口	無	月利2分5厘	〃	10ヶ月	〃	41.25	3月	現大洋(110.00) 110.00	—
1	李鳴閣	縣城	地主	〃	康德1年12月	250.00	—	〃	〃	〃	〃	5ヶ月	〃	75.00	12月	250.00	—
	廣泉當	〃	當舖	他人	6月	7.00	—	〃	衣服2枚	〃	〃	18ヶ月	生活費	—	—	—	8.22
	尙啓先	第7區巡官屯	官吏	親類	12月	220.00	—	書	無	〃	〃	12ヶ月	負債整理	—	—	—	225.50
計						777.00								116.25		360.00	423.72
	10	屯內	自・小	友人	民國19年11月3日	210.00	—	書仲一人	出典 1.4天地	無	現金一時拂	3年	生活費	—	—	—	210.00
	16	〃	自・小雇(年)	〃	康德1年10月30日	150.00	—	〃	出典 1.6天地	〃	仲介人ヲ通ジ支拂フ	〃	〃	—	—	—	150.00
	鄧向氏	第7區夏家樓	無	親類	1年2月	20.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	1年	〃	6.00	9月	—	27.80
2	白鴻漢	縣城	學生	〃	1年	200.00	—	書仲一人	出典 1天地	無	〃	3年	生活費學資金	—	—	—	200.00
	鄧紹柏	〃	〃	〃	5月	20.00	—	直口	無	月利3分	〃	1年	〃	3.00	12月	—	21.80
	廣泉當	〃	當舖	他人	〃	16.00	—	〃	豹絨皮襖	月利2分5厘	〃	18ヶ月	生活費	3.20	—	—	16.00
	〃	〃	〃	〃	7月	12.00	—	〃	腕輪	〃	〃	〃	〃	—	—	—	13.80
計						628.00								12.20			639.40
	4	屯內	地・自	知人	民國17年	奉小洋(13.000) 216.67	—	直書	出典 1.[illegible]天地	無	現金一時拂	3年	投機資金	—	—	—	(奉小洋 13.000) 216.67
	孟贊廷	縣城	市民貯蓄會會長	友人	18年	20.00	—	直口	無	月利3分	〃	1年	特產投機	—	—	—	27.20
3	老于	第6區牧場屯	無	姪	〃	700.00	—	〃	〃	月利1分5厘	〃	〃	〃	—	—	—	826.00
	老李	第6區吉家子屯	〃	〃	〃	500.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	590.00
	石聘卿	縣城	地主	友人	19年	240.00	—	直書	〃	月利2分5厘	〃	6ヶ月	負債返還糧棧投機損失補塡	—	—	—	312.00

關係表（其一）

備考	貸付先 番號	貸付先 住所	貸付先 職業	關係	貸付時期	貸付 銀額	貸付 現物	擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
返濟額ニハ現物評價42.35圓ヲ含ム	—	—	—	—	—	圓 2,355.67	圓 高粱 1.89石 8.35	—	—	—	—	—	圓 450.18	圓 1,988.32	回收額ニハ現物評價42.35圓ヲ含ム	屯内總計
貸主ハ屯外ニ移住	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		1
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
屯內 仲介人韓國棟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
仲介人No.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
仲介人第7區夏家樓村白鴻圖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		2
5ケ月分利子支拂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
8ケ月分利子拂支	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
康德2年前ノ利子拂ズミ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		3
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

農家番號	借入先 番號	住所	職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返済方法	期限	用途	利子支拂額	返済時期	返済額	未済額
						圓	圓									圓	圓
	郭国慶	第7區郭家窩棚	自	同族	民国19年	150.00	—	直書	無	月利2分5厘	現金一時拂	1ヶ年	粮棧投機損失補塡	—	—	—	195.00
	成巨升	縣城	商	得意先	〃	500.00	—	〃	地券6天地	〃	〃	〃	特産投資	—	—	—	650.00
	郭国祿	第7區郭家窩棚	自	同族	20年	250.00	—	〃	無	〃	〃	〃	粮棧投機損失補塡	—	—	—	325.00
	東三省官銀號（農商貸款）	縣城	銀行	他人	〃	800.00	—	城内ノ劉巨川名義ニテ借ル	地券12天地	以前ハ月利2分5厘現在年利2割	年賦	10ヶ年	特産投資	16.00	6月 12月	—	[illegible]
	石萬章	〃	地・房主	友人	大同1年	600.00	—	直書	地券10天地	月利2分5厘	現金一時拂	10ヶ月	粮棧投資損失補塡	—	—	—	[illegible]
	劉巨川	第7區夏家樓村	自	親類	〃	250.00	—	〃	無	〃	〃	1年	舊債返還	—	—	—	325.00
	康永昌	第7區任家窩棚	自・木匠	〃	大同2年	350.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	455.00
3	劉中	〃	自	友人	〃	160.00	—	〃	出典1.3天地	無	〃	3年	〃	—	12月	160.00	—
	劉[illegible]	〃	〃	〃	〃	100.00	—	〃	出典1天地	〃	〃	〃	〃	—	〃	100.00	—
	劉[illegible]	〃	〃	〃	〃	100.00	—	〃	出典1天地	〃	〃	〃	〃	—	〃	100.00	—
	劉巨川	第7區夏家樓村	〃	親類	康德1年	330.00	—	〃	無	月利2分5厘	〃	1年	〃	—	—	—	429.00
	11	屯内	自・小	知人	〃	100.00	—	〃	出典1.2天地	無	〃	3年	〃	—	—	—	100.00
	18	〃	自・雇(年)	〃	〃	200.00	—	〃	出典1.6天地	〃	〃	〃	〃	—	—	—	200.00
	4	〃	地・自	〃	〃	250.00	—	〃	出典2天地	〃	〃	〃	〃	—	—	—	250.00
	康永泰	第7區任家窩棚	自	〃	〃	100.00	—	〃	無	月利2分5厘	〃	1年	〃	—	—	—	130.00
	任賓龍	〃	〃	〃	〃	250.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	325.00
	劉中	〃	〃	〃	〃	160.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	208.00
	劉志一	〃	〃	〃	〃	140.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	182.00

關　係　表（其二）

備考	貸付 貸付先 番號	住所	職業	關係	貸付時期	貸付 銀額	現物	擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
						円	円									
康徳2年前ノ利子拂濟ミ	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
大同1年ヨリ財務局管理トナリ以前ノ利子ハ天引 大同1年ヨリ年利2割トナル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
康徳2年以前ノ利子ハ支拂ヒズミ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
土地3.3天地ヲ賣リテ返濟ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		3
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
康徳2年前ノ利子ハ支拂ズミ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
康徳2年前ノ利子ハ拂ヒズミ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

農家番號	借入先 番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟方法	期限	用途	利子支拂額	返濟時期	返濟額	未濟額
						圓	圓							圓		圓	圓
3	王守祿	屯内	無	知人	康德1年	20.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	1年	特產投機	—	—	—	27.20
	鄧國朱	第7區鄧家窩棚	自	同族	〃	20.00	—	直書	〃	〃	〃	〃	舊債返還	—	—	—	27.20
	李子齊	第7區法庫縣境娘々廟	村長	親類	〃	50.00	—	直口	〃	月利2分5厘	〃	〃	〃	—	—	—	65.00
	韓老氏	屯内	無	知人	〃	100.00	—	直書	出典 0.8天地	無	〃	3年	〃	—	—	—	[illegible]
	劉耀	第7區任家窩棚	自	嫂ノ弟	2月	100.00	—	直口	無	月利3分	〃	10ヶ月	年工勞賃ノ前拂金	—	—	—	133.00
	張文	第7區小明碑屯	農	孫嫁ノ父	7月	50.00	—	〃	〃	〃	現金有時拂	〃	結婚費用	—	—	—	59.00
計						6,806.67								16.00		360.00	7,737.27
4	姜殿仁	第7區姜家窩棚	農	知人	1月	40.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	10ヶ月	生活費	—	—	—	54.40
	王小錯	屯内	無	戸主ノ長女	4月中旬	40.00	—	〃	〃	月利2分8厘	〃	〃	節句費用	—	—	—	48.96
	王守祿	〃	〃	親類	6月	100.00	—	〃	〃	月利2分	〃	〃	生活費	—	—	—	114.00
	馬有	第7區田家窩棚	農	知人	10月	100.00	—	〃	〃	月利3分	〃	〃	土地購入	—	—	—	[illegible]
	范茂生	第7區小夏家樓	〃	〃	12月下旬	100.00	—	〃	〃	月利2分8厘	〃	10月	生活費	—	—	—	100.00
計						380.00											426.36
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	29	屯内	小・雇(月)	親類	康德1年10月1日	—	(高粱1.89石)8.35	直口	無	無	現物一時拂	6ヶ月	食料	—	4月1日	(高粱1.89石)8.35	—
計							(高粱1.89石)8.35		〃							(高粱1.89石)8.35	

關　係　表　（其三）

備考	貸付先			關係	貸付時期	貸付		擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
	番號	住所	職業			銀額	現物									
						圓	圓						圓	圓		
娘ノ家ニ貸主ハ住ム 康德2年前ノ利子ハ支拂ズミ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
韓福榮ノ次男ノ妻ヨリ借ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		3
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
	3	屯内	地・自雑	知人	民國17年	(奉小洋13.000) 216.67	—	入典 1.9天地	無	3年	現金一時取立	—	—	(奉小洋13.000) 216.67	現在ハ土地獲得ノ狀態ナリ	
長女ノ結納金ヲ一時借ル	〃	〃	〃	〃	康德1年	250.00	—	入典 2天地	〃	〃	〃	—	—	250.00	康德3年ニ終了ス	
貸主ハNo. 14ニ寄寓	8	〃	自・小	〃	1年12月	250.00	—	入典 1.7天地	〃	無	〃	—	—	250.00		4
	13	〃	自・小雑	〃	3月1日	27.00	—	無	月利3分	10ヶ月	〃	12月	35.10	—	利子ヲ含ム	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
						743.67							35.10	716.67		計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		5
現物ニテ返還ス	13	屯内	自・小雑	知人	2月1日	75.00	—	入典 0.5天地	—	3年	現金一時取立	—	—	75.00		6
						75.00								75.00		計

農家番號	借入（借入先）番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟方法	期限	用途	利子支拂額	返濟時期	返濟額	未濟額
						圓	圓							圓		圓	圓
7	40	屯内	雜(裁縫)	友人	7月11日	7.00	—	直口	無	月利[illegible]分	現金一時拂	3ヶ月	衣服費	0.63	10月11日	7.00	—
計						7.00								0.63		7.00	
	26	屯内	小・雇(年月)	知人	康德1年2月1日	50.00	—	直口	無	月利2分5厘	現金一時拂	1年	食料及年工代	27.50	12月1日	50.00	—
	劉雨	第7區任家窩棚	農	親類	康德1年2月	—	(高粱5.4石)45.00	〃	〃	無	現金有時拂	無	食料	—	12月24日	45.00	—
	顧景才	〃	〃	知人	〃	—	(高粱2.7石)22.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	〃	22.00	—
	王守祿	屯内	無	〃	康德1年3月	60.00	—	〃	〃	月利2分5厘	〃	〃	食料及年工代	31.50	12月1日	60.00	—
	郊國慶	第7區郊家窩棚	農	〃	康德1年10月	100.00	—	〃	〃	月利2分	〃	〃	負債整理生活費	28.00	〃	100.00	—
	石王爺	縣城	〃	友人	〃	100.00	—	〃	地券0.5天地	月利2分5厘	〃	〃	〃	30.00	10月	100.00	—
8	馮貴田	第6區西背河	〃	親類	康德1年11月	85.00	—	〃	地券0.3天地	〃	〃	〃	〃	29.75	12月下旬	85.00	—
	6	屯内	自雇(年)	知人	康德1年11月11日	25.00	—	〃	無	月利3分	現金又ハ現物一時拂	1年	〃	—	11月11日	(高粱7.96石)34.00	—
	王永生	〃	農	〃	康德1年11月15日	180.00	—	直書	出典1.8天地	無	現金有時拂	3年	生活費分家前個人ノ借金ノ返濟	—	—	—	180.00
	31	〃	自雇(日)	〃	康德1年11月20日	20.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	1年	負債返濟	7.20	11月20日	20.00	—
	28	〃	小・雇(月)	〃	康德1年12月	60.00	—	〃	〃	年利2割8分	〃	〃	〃	16.80	12日	60.00	—
	郊紹玉	第7區郊家窩棚	農	〃	〃	100.00	—	〃	〃	月利2分8厘	現金有時拂	無	〃	33.60	〃	100.00	—
	劉老大	第7區溝子西	〃	〃	〃	20.00	—	〃	〃	月利2分5厘	〃	〃	〃	5.50	10月	20.00	—

第十五　貸借

農家番號	借入 借入先 番號	住所	職業	關係	借入時期	借入 銀額	現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟方法	期限	用途	利子支拂額	返濟時期	返濟額	未濟額
						圓	圓							圓		圓	圓
8	王福臣	第7區夏家樓村	農	知人	康德1年12月	260.00	—	直書	出典1.5天地	無	現金一時拂	3年	負債返濟	—	—	—	260.00
	12	屯內	自・小	〃	康德1年12月15日	130.00	—	〃	出典1.3天地	〃	〃	〃	〃	—	—	—	130.00
	4	屯內	地・自	〃	康德1年12月	250.00	—	直口	出典1.7天地	〃	〃	〃	〃	—	—	—	250.00
	鄧國慶	第7區鄧家窩棚	農	〃	2月	50.00	—	〃	無	月利2分5厘	現金有時拂	無	〃	—	—	—	63.75
計						1,490.00	(高粱8.1石) 67.00							209.85		696.00	883.75
9	15	屯內	自・小雇(日)	友人	康德1年11月1日	120.00	—	書	出典0.73天地 保1人	無	現金一時拂	3年	負債整理	—	10月1日	120.00	—
計						120.00										120.00	
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
13	劉金富	第7區小夏家樓	商	親類	大同1年11月	20.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	1年	小作料	15.60	2月上旬	20.00	—
	6	屯內	地・雇(年)	知人	2月1日	75.00	—	書	出典0.5天地 保1人	無	〃	3年	舊債返濟		—	—	75.00

關　係　表 （其五）

備考	貸付先 番號	住所	職業	關係	貸付時期	貸付 銀額	現物	擔保 保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
						圓	圓						圓	圓		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		8
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
返濟額696.00圓ノ內現物評價34.00圓ヲ含																計
保證人屯外王連生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		9
																計
	2	屯內	地主	知人	民國19年11月3日	210.00	—	入典 1.4天地 保1人	無	3年	現金一時取立	—	—	210.00	保證人屯內韓國棟	10
						210.00								210.00		計
	3	屯內	地・自・雜	知人	康德1年	100.00	—	入典 1.2天地 書	無	3年	現金一時取立	—	—	100.00	入典地 1.2天地中 0.1天地ハ耕作不能ナリ	11
						100.00								100.00		計
	41	屯內	無	叔母	民國年間10年前	50.00	—	入典 平房子3間	無	無	有時取立	—	—	50.00	大同1年50.00圓ヲ月利3分デ貸シ康德1年ニ80.00圓ニナツタノデ更ニ50.00圓出シ入典セリ	12
	8	〃	自・小	知人	康德1年12月15日	130.00	—	入典 1.3天地	〃	3年	現金一時取立	—	—	130.00		
						180.00								180.00		計
26ヶ月分利支拂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		13
								—								

農家番號	借入先 番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟方法	期限	用途	利子支拂額	返濟時期	返濟額	未濟額
						圓	圓							圓		圓	圓
13	劉金榮	第7區夏家樓村	商	親類	2月1日	45.00	—	直口	無	月利2分3厘	現金一時拂	10ヶ月	小作料	10.35	12月上旬	—	45.00
	謝恩厚	第7區姜家窩棚	農	〃	〃	25.00	—	〃	〃	月利3分	〃	〃	〃	7.50	〃	25.00	—
	劉紹繼	第7區夏家樓村	〃	雇主ノ息子	〃	20.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	家ノ修理生活費	6.00	〃	—	20.00
	王守祿	屯内	無	親類	〃	10.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	生活費	3.00	〃	—	10.00
	劉紹繼ノ妻	第7區夏家樓村	〃	雇主ノ妻	2月15日	45.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	馬ノ購入	12.15	〃	—	45.00
	鄧紹禹	縣城	地	地主	3月1日	60.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	小作料	14.40	10月	60.00	—
	4	屯内	地・自	親類	〃	27.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	高粱購入	8.10	12月	27.00	—
計						327.00								77.10		132.00	195.00
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	

關　係　表　（其六）

備考	貸付先			關係	貸付時期	貸付		擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
	番號	住所	職業			金額	現物									
						圓	圓						圓	圓		
ヶ月分利支拂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		13
9ヶ月分利子支拂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
8ヶ月分利子支拂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
10ヶ月分利子支拂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		14
	9	屯內	自・小	友人	康德1年10月1日	120.00	—	入典 0.73天地 保1人	無	3年	現金一時取立	10月1日	120.00	—	保證人 屯內 No.4	15
						120.00							**120.00**			計
	2	屯內	地　主	知人	康德1年10月30日	150.00	—	入典 1.6天地 保1人	無	3年	保證人ヲ通ジ取立ル	—	—	150.00	保證人 屯內 No.4	16
	8	〃	自・小	〃	康德1年11月11日	25.00	—	無	月利3分	無	現金又ハ現物一時取立	11月11日	（高粱7.96石）34.00	—	利子共＝34.00圓ヲ高粱＝テ支拂フ	
						175.00							**34.00**	**150.00**		計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		17
	田寶珊	第7區田家窩棚	農	友人	民國17年12月	350.00	—	入典 2.2天地 保1人	無	3年	現金一時取立	—	—	350.00	仲介人保證人 郎雲海（屯外）	18
	3	屯內	地・自・雜	〃	康德1年	200.00	—	入典 1.6天地 仲2人	〃	〃	〃	—	—	200.00	仲介人李恩（屯內）劉岳（任家窩棚屯）	
						550.00								**550.00**		計

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十五　貸　借

農家番號	借入先 番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟方法	期限	用途	利子支拂額	返濟時期	返濟額	未濟額
						圓	圓							圓		圓	圓
19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	28	屯　內	小・雇（月）	妻ノ兄	大同2年10月	40.00	—	直口	出典 0.3天地	無	現金一時拂	3年	負債返濟	—	1月	40.00	—
計						40.00										40.00	
22	某當舖	縣　城	當　舖	他人	4月15日	2.00	—	直口	布團1枚 外套1枚	月利 3分	現金一時拂	18ヶ月	高粱購入	—	—	—	2.48
計						2.00									—	—	2.48
23	鄧國平	縣　城	地　主	親類	2月	50.00	—	直口	無	無	現金一時拂	秋收後	農業資金	—	—	—	50.00
	〃	〃	〃	〃	〃	—	（高粱 4.05石）20.04	〃	〃	〃	現物一時拂	〃	食　料	—	—	—	（高粱 4.05石）20.0[illegible]
計						50.00	（高粱 4.05石）20.04										70.0[illegible]
24	王　某	第7區景荒地屯	農	親類	2月	10.00	—	直口	無	月利 3分	現金有時拂	無	生活費	—	—	—	13.3[illegible]
	左印忓	第7區左家崗岡屯	〃	〃	〃	15.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	19.5[illegible]
	22	屯　內	自・雇（月日）	知人	〃	5.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	6.6[illegible]
	范　青	第7區夏家樓村	農	〃	3月	6.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	7.8[illegible]
計						36.00											47.25
25	劉永才	第7區夏家樓村	農	親類	3月	30.00	—	直口	無	月利 3分	現金一時拂	10ヶ月	小作料	9.00	12月	—	30.00
	鮑居昌	第7區北三家子	〃	〃	〃	10.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3.00	〃	3.00	7.00
	廣泉當	縣　城	當　舖	他人	4月	15.00	—	〃	腕輪着物	月利 2分5厘	〃	18ヶ月	鹽買入	—	—	—	19.05
	鄧國平	〃	地　主	友人	7月	—	（高粱 0.54石）2.67	〃	無	月利 0.20錢	〃	3ヶ月	食　用	0.80	10月	2.40	—
計						55.00	（高粱 0.54石）2.67							12.80		5.40	56.05

關係表（其七）

備考	貸付先 番號	貸付先 住所	貸付先 職業	關係	貸付時期	貸付 銀額	貸付 現物	擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
	—	—	—	—	—	圓 —	圓 —	—	—	—	—	—	圓 —	圓 —		19
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		20
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		21
																計
	24	屯内	小作	友人	2月	5.00	—	無	月利3分	無	現金一時取立	—	—	6.65		22
						5.00								6.65		計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		23
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		24
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
10ヶ月分利子支拂フ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		25
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計

農家番號	借入先 番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額 (圓)	借入 現物 (圓)	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟方法	期限	用途	利子支拂額 (圓)	返濟時期	返濟額 (圓)	未濟額 (圓)
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
27	幾岡信	延壽縣	農	親類	1月	100.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	2年	小作料納入	30.00	10月	—	106.00
計						100.00								30.00			106.00
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
	38	屯内	雇(月)雑	友人	3月27日	20.00	—	直口	無	月利3分	現金一時拂	6ヶ月	家ノ建築ノタメ	3.60	9月27日	20.00	—
29	源泉當	縣城	當舖	他人	4月1日	2.00	〃	〃	外套2枚	〃	〃	18ヶ月	木匠賃金	0.36	10月1日	2.00	—
	〃	〃	〃	〃	〃	3.00	〃	〃	布團2枚	〃	〃	〃	〃	0.54	〃	3.00	—
計						25.00								4.50		25.00	
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	

關　係　表（其八）

備考	貸付先 番號	住所	職業	關係	貸付時期	貸付 金額	現物	擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
						圓	圓						圓	圓		
	8	屯内	自・小	知人	康徳1年2月1日	50.00	—	無	月利2分5厘	1年	現金一時取立	12月1日	77.50	—		26
						50.00							77.50			計
	—	—	—			—	—	—	—	—	—	—	—	—		27
																計
	21	屯内	自・雇(年)	妹ノ夫	大同2年10月	40.00	—	入典0.3天地	無	3年	現物一時取立	1月	40.00	—		28
	8	〃	自・小	知人	康徳1年12月	60.00	—	無	年利2割8分	1年	〃	12月	76.80	—		
						100.00							116.80			計
	6	屯内	地・雇(年)	親類	康徳1年10月1日	—	高粱(1.89石)8.35	無	無	6ヶ月	現物一時取立	4月1日	高粱(1.89石)8.35	—		29
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
							高粱(1.89石)8.35						高粱(1.89石)8.35			計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		30
	8	屯内	自・小	知人	康徳1年11月20日	20.00	—	無	月利3分	1ヶ年	現金一時取立	11月20日	27.20	—		31
						20.00							27.20			計

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十五　貸　借

農家番號	借入先 番號	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入 銀額	借入 現物	借入方法	擔保保證	利子手數料	返済方法	期限	用途	利子支拂額	返済時期	返済額	未済額
						圓	圓							圓		圓	圓
32	劉　中	第7區任家窩棚	農	親類	康德1年2月	8.00	—	直口	無	月利3分	有時拂	無	家賃及食料	—	—	—	13.5
	程連玉	第7區夏家樓	商	〃	1年4月	26.00	—	〃	〃	〃	現金一時拂	10ヶ月	薪木ノ購入	7.80	1月	—	34.5
	顧景泰	第7區任家窩棚	農	〃	1年12月	10.00	—	〃	保1人	〃	〃	〃	食料費	3.00	10月	—	10.6
	顧老花	〃	〃	〃	4月	4.00	—	〃	〃	〃	〃	〃	鹽買入	—	—	—	5.0
	白鴻圖	第7區夏家樓	〃	〃	12月	12.00	—	〃	無	〃	〃	〃	負債利子返済	—	—	—	12.3
計						60.00								10.80			76.1
33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	姜鐵山	第7區姜家窩棚	農	親類	康德1年5月	50.00	—	直口	無	月利2分	現金一時拂	1ヶ年	長男ノ結婚費	10.00	3月	50.00	—
計						50.00								10.00		50.00	
35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	東信當	縣　城	當　舖	他人	3月下旬	3.50	—	直口	着物布團	月利2分5厘	現金一時拂	18ヶ月	鹽買入	0.61	10月下旬	3.50	—
計						3.50								0.61		3.50	
37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計																	
41	12	屯　内	自・小	知人	民國年間10年前	50.00	〃	直口	出典平房3間	無	有時拂	無	生活費	—	—	—	50.0
計						50.00											50.00

關　係　表 (其九)

備考	貸付先 番號	貸付先 住所	貸付先 職業	關係	貸付時期	貸付 金額	貸付 現物	擔保保證	利子	期限	取立方法	回收時期	回收額	未回收額	備考	農家番號
						圓	圓						圓	圓		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
…人 儀(屯外)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		32
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
																計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		34
																計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		35
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		36
																計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		37
	29	屯内	小雇(自)	友人	3月27日	20.00	—	無	月利3分	6ヶ月	現金一時取立	9月27日	23.60	—		38
						20.00							**23.60**			計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		39
	7	屯内	自作	友人	7月11日	7.00	—	無	月利3分	無	現金一時取立	10月11日	7.63	—		40
						7.00							**7.63**			計
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		41
																計

鐵嶺縣畢家窩棚屯　第十六　現　金

農家番號	收入總計	經常收入 合計	總計ニ對スル %	農業的收入 計	合計ニ對スル %	農產物賣却	副產物賣却	小作料收入	勞賃收入	小家畜賣却	畜產物賣却	林野產物賣却	貸牛具收入	其一 計	合計ニ對スル %
	圓	圓	%	圓	%	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	%
屯內總計	13,205.06	8,330.46	63	7,510.88	90	4,148.02	294.00	1,493.86	1,130.05	383.00	7.35	42.60	12.00	819.58	10
1	1,245.00	726.00	58	726.00	100	45.00	—	651.00	—	30.00	—	—	—	—	—
2	505.45	390.95	77	390.95	100	228.95	—	162.00	—	—	—	—	—	—	—
3	3,052.00	1,889.00	62	1,639.00	87	1,133.10	—	405.90	—	100.00	—	—	—	250.00	1[illegible]
4	820.66	373.66	46	361.56	97	66.00	56.00	229.96	—	—	—	9.60	—	12.10	3
5	45.00	45.00	100	45.00	100	—	—	30.00	—	15.00	—	—	—	—	—
6	81.00	81.00	100	81.00	100	—	—	15.00	66.00	—	—	—	—	—	—
7	621.50	614.50	99	613.50	100	468.50	145.00	—	—	—	—	—	—	1.00	—
8	1,485.19	235.19	16	223.19	100	222.69	—	—	—	0.50	—	—	—	12.00	—
9	372.00	18.00	5	18.00	100	15.00	—	—	3.00	—	—	—	—	—	—
10	126.00	126.00	100	126.00	100	111.00	—	—	—	15.00	—	—	—	—	—
11	151.00	151.00	100	151.00	100	107.00	26.00	—	—	18.00	—	—	—	—	—
12	141.00	141.00	100	141.00	100	135.00	6.00	—	—	—	—	—	—	—	—
13	592.00	285.00	48	200.00	70	162.00	8.00	—	—	—	—	30.00	—	85.00	3[illegible]
14	177.00	177.00	100	171.00	97	146.00	15.00	—	—	10.00	—	—	—	6.00	3
15	394.75	274.75	70	274.75	100	258.00	—	—	10.00	—	6.75	—	—	—	—
16	279.50	279.50	100	279.50	100	209.50	—	—	70.00	—	—	—	—	—	—
17	192.50	192.50	100	192.50	100	52.50	—	—	120.00	20.00	—	—	—	—	—
18	189.00	189.00	100	189.00	100	114.00	—	—	60.00	15.00	—	—	—	—	—
19	81.05	81.05	100	81.05	100	31.05	—	—	50.00	—	—	—	—	—	—
20	54.40	32.40	59	22.40	69	8.40	—	—	11.00	—	—	3.00	—	10.00	3[illegible]
21	68.00	68.00	100	68.00	100	—	—	—	68.00	—	—	—	—	—	—
22	85.20	33.20	39	30.70	92	—	—	—	30.40	—	0.30	—	—	2.50	[illegible]
23	139.80	89.80	64	89.80	100	89.80	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	99.40	63.40	64	63.40	100	63.10	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
25	152.00	97.00	65	63.00	65	50.00	10.00	—	3.00	—	—	—	—	34.00	3[illegible]
26	240.50	190.50	79	163.00	86	99.00	—	—	64.00	—	—	—	—	27.50	14
27	303.00	203.00	67	133.00	66	60.00	—	—	33.00	40.00	—	—	—	70.00	34
28	235.80	135.80	58	119.00	88	90.00	—	—	14.00	15.00	—	—	—	16.80	1[illegible]
29	170.93	145.93	85	145.93	100	78.93	20.00	—	35.00	—	—	—	12.00	—	—
30	141.50	141.50	100	141.50	100	91.50	—	—	50.00	—	—	—	—	—	—
31	96.15	50.15	52	42.95	86	12.00	8.00	—	22.95	—	—	—	—	7.20	14
32	206.75	190.75	92	133.80	70	—	—	—	64.30	69.50	—	—	—	56.95	3[illegible]
33	35.00	35.00	100	35.00	100	—	—	—	35.00	—	—	—	—	—	—
34	143.00	143.00	100	143.00	100	—	—	—	143.00	—	—	—	—	—	—
35	50.00	50.00	100	50.00	100	—	—	—	50.00	—	—	—	—	—	—
36	121.30	117.80	97	62.65	53	—	—	—	39.65	23.00	—	—	—	55.15	4[illegible]
37	44.25	44.25	100	44.25	100	—	—	—	44.25	—	—	—	—	—	—
38	115.10	95.10	83	34.00	36	—	—	—	22.00	12.00	—	—	—	61.10	64
39	80.90	80.90	100	19.50	24	—	—	—	19.50	—	—	—	—	61.40	7[illegible]
40	51.88	44.88	87	2.00	4	—	—	—	2.00	—	—	—	—	42.88	9[illegible]
41	8.60	8.00	93	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.00	10[illegible]

收　支　表　（其一收入之部）

入							臨		時			收		入		年度始	農家番號
他		收		入													
賃	利子	商業收入	其他業收入	俸給收入	勞賃收入	其ノ他	計	總計ニ對スル%	土地賣却	大家畜賣却	大農具賣却	貸付銀回收	被贈與	借入金	其ノ他	繰越金	
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	%	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
2.00	63.83	127.60	204.50	200.00	170.65	1.00	4,874.60	37	2,563.00	304.00	23.00	344.00	132.60	1,456.50	51.50	2,002.82	屯內總計
-	-	-	-		—	—	519.00	42	—	285.00	7.00	—	—	227.00	—		1
—	-	—	—	—	—	—	114.50	23	—	19.00	16.00	—	—	48.00	31.50	71.5[illegible]	2
—	—	—	50.00	200.00	—	—	1,173.00	38	1,023.00	—	—	—	—	150.00	—	524.[illegible]	3
4.[illegible]	8.10	-		-	—	—	447.00	54	—	—	—	27.00	40.00	380.00	—	60.00	4
—	-	-				-	-	-		-	-	—	-	-	-	3.[illegible]	5
—	—	-	-	-	-	-	—	—	—	—	—	-	-	-	-	70.00	6
—	—	-	—	-	—	1.00	7.00	1	—	—	—	—	—	7.00	-	70.00	7
2.[illegible]	-	-		-	—	—	1,250.00	84	1,200.00	—	—	—	—	50.00	—	65.75	8
-	-	-	-	-	—	—	354.00	95	340.00	—	—	—	14.00	—	—	6.82	9
—	—	—	-	—	—	—	—	—	—	-	—	—	—	—	—	60.00	10
—	—	—	-	-	-	—	-	-	—	-	—	-	-	-	—	7.00	11
—	—	—		—	—	-	—	-	-	-	-	-	-	—	—	150.00	12
2.[illegible]	—	-	10.00	-	63.00	—	307.00	52	—	—	—	—	—	307.00	—	31.75	13
6.00	—	-	-	-	-	—	-	—	—	—	—	—	—	—	—	10.00	14
—	—	—	-	-	-	-	120.00	30	-			120.00	—	—	—	220.00	15
—	—	—	-	-	—		-	-	-	-	—	—	—		—	5.00	16
—	—	-	—		—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	10.00	17
—	—	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.00	18
—	—	-	—	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19
0.00	—	—	—	-	—	—	22.00	41	—	—	—	—	2.00	—	20.00	20.00	20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.00	21
—	—	—	—	—	2.50	—	52.00	61	—	—	—	—	50.00	2.00	—	—	22
—	—	—	—	—	—	—	50.00	36	—	-	—	—	—	50.00	—	1.00	23
—	—	—	—	—	—	—	36.00	36	—	-	—	—	-	36.00	—	—	24
—	—	20.00	14.00	-	—	—	55.00	35	—	—	—	—	—	55.00	—	20.00	25
—	27.50	—	—	—	—	—	50.00	21	—	—	—	50.00	—	—	—	155.00	26
—	—	—	70.00	—	—	—	100.00	33	—	—	—	—	—	100.00	—	15.00	27
—	16.80	—	—	—	—	—	100.00	42	—	—	—	100.00	—	—	—	126.00	28
—	—	—	—	—	—	—	25.00	15	—	—	—	—	—	25.00	—	120.00	29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.00	30
—	7.20	—	—	—	—	—	46.00	48	—	—	—	20.00	26.00	—	—	3.00	31
—	—	46.20	10.75	—	—	—	16.00	8	—	—	—	—	—	16.00	—	10.00	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.00	34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	35
—	—	—	7.50	—	47.65	—	3.50	3	—	—	—	—	—	3.50	—	—	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.00	37
—	3.60	—	—	—	57.50	—	20.00	17	-	—	—	20.00	—	—	—	2[illegible].00	38
—	—	61.40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.00	39
—	0.63	—	42.25	—	—	—	7.00	13	—	—	—	7.00	—	—	—	—	40
8.00	—	—	—	—	—	—	0.60	7	—	—	—	—	0.60	—	—	—	41

第二部　第十六　現金收支表　（其一收入之部）

農家番號	支出總計	經常								
		合計	總計ニ對スル%	農業						
				計	合計ニ對スル%	小農具購入	農具小修繕	小家畜購入	家畜費	種子購入
	圓	圓	%	圓	%	圓	圓	圓	圓	圓
屯內總計	**1,3122.88**	**9,893.58**	**75**	**4,459.43**	**45**	**31.75**	**8.60**	**79.40**	**25.60**	**13.50**
1	1,144.38	741.38	65	99.80	14	—	—	19.50	—	1.0
2	568.49	555.99	98	108.92	20	—	—	—	—	—
3	3,358.65	2,610.65	78	1,266.40	49	15.00	—	—	25.20	—
4	680.88	210.08	31	69.28	33	—	—	2.00	—	—
5	36.09	36.09	100	4.50	12	—	—	1.00	—	—
6	140.96	65.96	47	1.55	2	—	—	—	—	—
7	491.68	410.68	84	289.84	71	1.00	—	5.00	0.40	2.0
8	1,421.71	659.71	46	278.11	42	1.10	5.00	—	—	—
9	374.54	202.54	54	72.64	36	0.60	—	1.00	—	—
10	140.86	140.86	100	92.10	65	0.50	—	0.70	—	0.4
11	156.20	156.20	100	122.61	78	—	1.60		—	—
12	120.97	120.97	100	89.86	74	—	—	1.00	—	—
13	601.06	359.06	60	146.61	41	—	—	—	—	—
14	156.46	156.46	100	135.11	86	0.40	—	2.00	—	—
15	348.87	343.87	99	210.57	61	5.00	—	—	—	—
16	261.36	261.36	100	192.34	74	0.50	—	—	—	0.5
17	157.05	157.05	100	102.79	65	0.40	—	—	—	—
18	148.64	148.64	100	62.37	42	1.00	—	3.00	—	—
19	77.30	77.30	100	31.53	41	0.70	—	—	—	—
20	73.04	71.54	98	19.56	27	—	—	—	—	0.2
21	90.53	50.53	56	0.30	1	—	—	—	—	—
22	82.02	77.02	94	2.00	3	—	—	1.50	—	—
23	138.77	138.77	100	90.70	66	2.20	2.00	—	—	8.9
24	55.37	37.37	67	16.66	45	—	—	1.00	—	—
25	170.45	165.05	97	92.07	56	—	—	—	—	—
26	300.19	299.69	100	234.29	76	0.40	—	2.00	—	—
27	313.83	293.83	94	145.08	49	2.00	—	4.00	—	—
28	188.55	188.55	100	141.40	75	—	—	2.00	—	—
29	279.18	197.58	71	171.69	87	—	—	30.50	—	—
30	159.57	159.57	100	121.80	76	—	—	1.20	—	—
31	69.50	69.50	100	38.70	56	—	—	—	—	0.2
32	208.39	208.39	100	1.25	1	0.45	—	—	—	[illegible]
33	36.21	36.21	100	0.50	1	—	—	—	—	—
34	154.49	104.49	68	0.30	—	—	—	—	—	—
35	47.44	42.94	91	0.50	1	—	—	—	—	—
36	117.02	113.52	97	4.00	4	0.50	—	2.00	—	—
37	46.00	46.00	100	0.30	1	—	—	—	—	—
38	88.18	67.18	76	0.50	1	—	—	—	—	—
39	63.02	63.02	100	0.30	—	—	—	—	—	—
40	47.25	40.25	85	0.30	1	—	—	—	—	—
41	7.73	7.73	100	0.30	4	—	—	—	—	—

鐵嶺縣畢家窩棚屯

第十六　現　金

農家番號	經常支出 其他支出 送金	經常支出 其他支出 勞賃	經常支出 其他支出 利子	經常支出 其他支出 其ノ他	臨時 計	臨時 總計ニ對スル%	臨時 土地購入	臨時 建物新築	臨時 農具大修繕	臨時 大家畜購入
	圓	圓	圓	圓	圓	%	圓	圓	圓	圓
屯內總計	282.50	168.70	500.74	1.00	3,229.30	25	345.00	54.80	54.00	358.00
1	100.00	15.00	116.25	—	403.00	35	—	—	—	—
2	100.00	2.00	12.20	—	12.50	2	—	—	—	—
3	80.00	143.50	16.00	—	143.00	22	—	—	35.00	—
4	—	—	—	—	470.80	67	345.00	—	—	28.00
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	15.00	53	—	—	—	—
7	—	6.00	0.63	—	81.00	16	—	—	14.00	60.00
8	—	—	209.85	—	762.00	54	—	—	—	100.00
9	—	—	—	—	172.00	46	—	—	—	42.00
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—		—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	77.10	—	242.00	40	—	—	—	100.00
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	5.00	1	—	—	5.00	—
16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	—	—	—	—	1.50	2	—	—	—	—
21	—	—	—	—	40.00	44	—	—	—	—
22	—	—	—	—	5.00	6	—	—	—	—
23	—	2.20	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—	—	—	—	18.00	33	—	—	—	18.00
25	—	—	12.80	—	5.40	3	—	—	—	—
26	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—	—
27	—	—	30.00	—	20.00	6	—	—	—	10.00
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	—	—	4.50	—	81.60	29	—	54.80	—	—
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—
32	2.50	—	10.80	—	—	—	—	—	—	—
33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	—	—	10.00	—	50.00	22	—	—	—	—
35	—	—	—	—	4.50	9	—	—	—	—
36	—	—	0.61	—	3.50	3	—	—	—	—
37	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	—	—	—	—	21.00	24	—	—	—	—
39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	7.00	15	—	—	—	—
41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

收　支　表（其二支出之部）

借入金返濟	贈與	寄附	出産費	醫料費	葬祭費	冠婚費	貸付金	其ノ他	年度末在高金	農家番號
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
1.764.90	318.00	24.80	0.50	6.30	81.00	60.00	134.00	28.00	2.085.00	（屯內總計）
[illegible]	15.00	—	—	—	—	—	—	28.00	100.62	1
—	—	1.50	—	—	11.00	—	—	—	8.46	2
[illegible]	303.00	—	—	—	—	50.00	—	—	227.35	3
—	—	0.80	—	—	70.00	—	27.00	—	199.78	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.91	5
—	—	—	—	—	—	—	75.00	—	10.04	6
7.00	—	—	—	—	—	—	—	—	199.82	7
662.00	—	—	—	—	—	—	—	—	129.23	8
120.00	—	—	—	—	—	10.00	—	—	4.28	9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	45.14	10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.80	11
—	—	—	—	—	—	—	—	—	170.03	12
132.00	—	10.00	—	—	—	—	—	—	22.69	13
—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.54	14
—	—	—	—	—	—	—	—	—	265.88	15
—	—	—	—	—	—	—	—	—	23.14	16
—	—	—	—	—	—	—	—	—	45.45	17
—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.36	18
—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.75	19
—	—	1.50	—	—	—	—	—	—	1.36	20
40.00	—	—	—	—	—	—	—	—	17.47	21
—	—	—	—	—	—	—	5.00	—	3.18	22
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.03	23
—	—	—	—	—	—	—	—	—	44.03	24
5.40	—	—	—	—	—	—	—	—	1.55	25
—	—	—	0.50	—	—	—	—	—	95.31	26
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	4.17	27
—	—	—	—	—	—	—	—	—	173.25	28
25.00	—	—	—	1.80	—	—	—	—	11.75	29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.93	30
—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.65	31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.36	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.79	33
50.00	—	—	—	—	—	—	—	—	0.51	34
—	—	—	—	4.50	—	—	—	—	3.56	35
3.50	—	—	—	—	—	—	—	—	4.28	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.25	37
—	—	1.00	—	—	—	—	20.00	—	46.92	38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.88	39
—	—	—	—	—	—	—	7.00	—	4.63	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.87	41

第三部　選擇戶別調查

農家戸別調査票 (1)

農家氏名　韓　廷　貴

縣名	鐵嶺縣
區名	第七區
村名	夏家樓村
屯名	畢家窩棚屯
農家番號	24

職業	主業	小作	兼業	—
所有面積	屯内	—	屯外	—
貸付面積	屯内	—	屯外	—
耕作面積	自作	—	小作	4.5 天地
世帶人口	家族員數	3 人	年工	—

1 家ノ略歴

渡満年代	來ノ原住地	本屯來住年代及來住理由
約一百二十三年前	河北省順天府豐潤縣	約百二十三年前 生活困難ノタメ移住

年代	地名	農家態様					農家態様變遷ノ理由
		土地所有	貸付	自作	小作	勞働	
約 123 年前	本屯	—	—	—	—	年工	約 123年前祖父韓玉石ガ關內ヨリ渡滿他人ノ家ヲ借リ受ケ其處ニ居ヲ構ヘ、年工トシテ生活ヲ立テタリ。
約 103 年前	〃	—	—	—	—	年工	約20年後玉石子供兄弟４人ハ父ニ代リ勞働者（年工）トシテ約30年間生活ヲ續ケ來タル。
約 75 年前	〃	0.35天地	—	—	—	年工	此ノ時代迄ニ共同ニテ土地 0.35天地ヲ購入シ、後共同ニテ墓地 0.13天地ヲ購入ス。
約 52 年前（光緒 8 年）	〃	—	—	—	3天地	—	兄弟４人分家ス、耕地 0.35天地ヲ３男德明ガ取得、他ノ３人ハ現金ヲ均分シ、墓地0.13 天地ハ共有トス。 分家後德瑞、德發ハ小作トシテ生計ヲ立テ德元ハ依然年工ニ從事ス。
約 49 年前（光緒 11 年）	〃	—	—	—	—	年工	僅カ３年後ニ於テ小作ヲ止メ年工トシテ生活セリ。
約 18 年前（民國 17 年）	〃	—	—	—	—	年工	父韓福廣死亡後其ノ子供２人ハ１年後分家セリ。
大同 2 年	〃	—	—	—	1天地	日工	延貴ノ長男德庫ハ財產ノ分ケ前ナク分家セリ。
康德元年	〃	—	—	—	1天地	日工	康德元年ヨリ延貴ハ小作ニテ生活シ、其ノ傍ラ日工トシ生活ス。
〃 2 年	〃	—	—	—	4.5天地	—	撈外靑トシテ生活（王永升）王永升ハ３年２月景荒地ニ移轉（土地ハ本屯ニアリ）

```
        ┌德瑞─福廣─┬國明
        │           └延貴─┬德庫
        │                  └德俊
        ├德發─福增
韓玉石─┤
        ├德明─福榮
        │
        └德元─福海─國臣
```

2 家族構成

番號	氏名	性別	年齡	續柄	現住所	教育	自家勞働				被傭勞働			備考
							農業	能力	他業	家事	農業	能力	其他	
1	韓 延貴	男	56	戸主	本屯	—	農	成人						
2	韓 王氏	女	48	1ノ妻	〃	—	農手傳	〃		家事				妻ノ農手傳ハ除草.
3	韓 德俊	男	13	1ノ次男	〃	小學２年ニテ退學	〃	小半粒子						小半粒子ハ除草ノ手傳
	計	男 女	2 1											

3 雇傭勞働者

番號	年工(撈裡青ヲ含ム) 氏名	年工 住込又ハ通ヒ	月工 氏名	月工 住込又ハ通ヒ	日工延日數	雇牛具氏名	挿具氏名	家族現在所	備考
1	--	-	--	—	5 日	—	--	--	5 月ニ雇フ、5 日間賃銀計 1.50圓

4 農耕生産

作物	種別 名	康德二年度 播種面積 單作	混作	間作	計	收量半減以下面積	收量	播種晌當收量	康德三年度 播種面積 單作	混作	間作	計	收量半減以下面積	收量	播種晌當收量
		天地			天地		石	石	天地			天地		石	石
普通作物	高粱	1.20	—	—	1.20	—	16.20	13.50	0.70	—	—	0.70	—	8.10	11.58
	黄豆	1.80	—	—	1.80	—	13.50	7.51	0.50	—	—	0.50	—	5.40	10.80
	穀子	0.75	—	—	0.75	0.75	5.40	7.21	0.50	—	—	0.50	—	5.13	10.26
	稗子	0.75	—	—	0.75	—	5.40	7.21	0.20	—	—	0.20	0.2	1.35	6.75
	計	4.50			4.50				1.90			1.90			

收穫半減ノ理由(康德二年)

康德2年度穀子ノ收穫半減ハ水害ノタメナリ

作付增減ノ理由(康德三年)

3 年度ハ小作地ヲ回收サレタル爲面積減少

備考

普通作物ノ周圍ニ稗子ヲ耕作シ畜類ノ食害ヲ防ギタルモ收穫ナシ

註 特用作物、園藝作物ナシ (新制石ニ依ル)

5 農産物賣却

	種類	賣却時期	賣却先	賣却方法	販賣費	賣却量	手取價額 總額	手取價額 單價	糧穀稅 稅目	糧穀稅 總額	糧穀稅 單價	糧穀稅 納入方法	賣却價格	備考
						石	圓	圓					圓	
普通作物 主産物	黄豆	陰 11 月下旬	粮販子ヘ賣却	庭先渡	—	6.21	39.10	1 石 6.30	—	—	—	—	39.10	
	穀子	〃	〃	〃	—	2.70	12.00	〃 4.44	—	—	—	—	12.00	
	稗子	〃	〃	〃	—	2.70	12.00	〃 4.44	—	—	—	—	12.00	
	計												63.10	

「註」 特用作物、園藝作物ナシ (新制石ニ依ル)

6　土　地　關　係

種別	地目		總面積	普通畑	菜園	水田	宅地	廢耕地	山林	原野	墓地	備考
屯内	所有地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廢耕ノ理由
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		入典自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小作地		天地 4.50	—	—	—	—	—	—	—	—	
屯外	所有地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	總有地共有地 共有墓地 1.3天地計リ有ス（地券ハ韓國明が所有）
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小作地		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

地　税、雑　税

税種		課税面積	税額	單價	納期	納入額	滯納又ハ未納額	地主ヨリ受入額	地主へ支拂額
康徳元年分	田賦（大租地租）	—	—	—	—	—	—	—	—
	晌捐（畝捐）	—	—	—	—	—	—	—	—
康徳二年分	田賦（大租地租）	—	—	—	—	—	—	—	—
	晌捐（畝捐）	—	—	—	—	—	—	—	—
村費		天地 2.25	12.82	1天地 5.70圓	春——秋	12.82圓	—	—	—
自衛團費		—	—	—	—	—	—	—	—
農務會費		—	—	—	—	—	—	—	—
看青費		天地 2.25	石 0.18	1天地 石 高粱 0.08	10月	石 0.18	—	—	—

税目	課税物件	税額	單價	納期	納入方法
車牌捐	—	—	—	—	—
牲畜捐	驢 1頭	0.54圓	—	—	—
門戸捐	家	0.60圓	1期 0.30圓	—	財務局駐區徴收所納付
義倉戸別捐	—	0.20圓	0.20圓	—	—
賦役	—	人1人10日	—	—	道路修繕

備考
村費、看青費ハ地主ト折半負擔トス
粮穀税　ナシ、康徳2年度税支出計　14.16圓

7 小作關係·耕作地所在

(1) 小 作 契 約

地主	氏名	職業	住所
	王 永 升	農	本 屯

小作地所在	屯内	證書無	口頭	保證人氏名(屯内ノミ)	ナシ
押租 ナシ	期限 1ケ年	契約時期 2月		繼續年數	1ケ年

小作地附加物	房 間房子	菜園 晌 畝	役畜	碾子	磨	農具	種子半分肥料半分

(2) 小 作 料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	—	4.5天地
定額	契約額	—	—	
	實納額	—	—	
	不足分ノ處置	—	—	
分益	契約額	—	—	撈外青收量$\frac{1}{2}$(外ニ作物稈ヲ含ム)
	實納額	—	—	高粱8.10石 黃豆6.75石 穀子2.70石 粳子2.70石
	不足分ノ處置	—	—	
其他		—	—	
納入方法		時期 10月 方法 地主ガ庭先迄受取リニ來ル		
減免ノ事例				
小作料附加物		黃豆ヲ除キ其他作物ノ稈ハ之ヲ折半ス	高粱 500束 穀子 500斤 粳子 100斤	
小作人ノ義務		—		

(3) 租 稅 ノ 分 劈

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅	地主負擔			
晌捐	〃			
村費	折半			

備考 度量衡ハ新制ニ依ル

(4) 耕 作 地 所 在

8　建　物

(A)　建

房別 ＼ 所有借入別 ＼ 種別	住居 所有	住居 入典	住居 借入	住居 家賃	住居 (家主名)	農倉 所有	農倉 入典	農倉 借入	農倉 家賃	農倉 (家主名)
瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平房	—	—	1.5 間	1ヶ年 8.00圓	李揚氏	—	—	—	—	—
馬架房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
畜圏	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
倉子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
馬棚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(B)　農

種別	大車	碾子	磨	扇車子	犁丈	壊耙	絲綿機	機織機	脱穀機
所有數	—	—	—	—	—	—	—	—	—

9　家

	康徳二年末所有頭數 總數	牝	牡	去勢	年内増加 年内購入 頭數	年内購入 價格(圓)	年内生産	年内減 年内販賣 頭數	年内販賣 價格	年内屠殺
役畜 牛 滿二年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 牛 滿二年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 馬 滿三年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 馬 滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 騾 滿三年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 騾 滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 驢 滿三年以上	1	—	1	—	1	18.00	—	—	—	—
役畜 驢 滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 牛 滿二年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 牛 滿二年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 綿羊 滿一年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 綿羊 滿一年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 山羊 滿一年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 山羊 滿一年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 豚 成	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 豚 仔	1	—	1	—	1	1.00	—	—	—	—

雞	2	家鴨	—	鵞	—	犬	—

農　　具

物

畜舎 所有	入典	借入	借料	（家主名）	其ノ他	出典 數量	入典者名	貸付 數量	借家人名	家賃	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	馬棚ハ驢馬ノ入ル5尺四方ノ簡單ナルモノナリ
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	豚及鷄ノ入ル25尺四方ノ畜舎アリ、總テ自製ナリ、倉子ハ3石入ル程度
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
25尺四方	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	圓形土塗リ四方	—	—	—	—	—	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

具

					貸付賃	借入賃	修繕費	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	農具ハ全部霍長仁、霍德財ヨリ無料借リ入レタリ

畜

少 年内斃死	差引 増減	牲畜税捐 牲畜税	牲畜税捐 牲畜捐	貸付	寄託	借入	受託	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	0.54	—	—	—	—	—	2年ニ購入、8歳ニシテ老齢ノタメ安價ナリキ
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	

兎	七面鳥	蜜蜂	備考
—	—	—	

10　雜　收　支

雜收入	銀額	摘要	雜支出	銀額	摘要
畜産收入	0.30	8ケ 10錢 鷄卵賣却	肥料購入	—	
商業	—		飼料購入	—	
工業	—		小農具購入	—	
作蠶	—		種苗購入	—	
其他兼業	—		家畜費	—	
出資銀配當	—		林産支出	—	
林産	—				
農産加工	—				
俸給	—				
貯金預金ノ利子	—				
出稼人仕送金	—				

11　生　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	四月 數量	四月 單價	四月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	數量	單價	價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
住居費	住居修繕費	—	—	—	—	—	2.00	—	—	—	—	—	—
	アンペラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年紙類									—	—	—	
食料費	包米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高粱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高粱米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	谷子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	白麵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	粉條	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	猪牛肉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鹽	—	—	—	30斤	0.07	2.10	—	—	—	—	—	—
	猪油・豆油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	蔬菜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	魚肉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	麵醬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	醋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	醬油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	赤砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	白砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	瓜果子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

臨時收支

臨時收入	金額	摘要	臨時支出	金額	摘要
土地賣却	—		土地購入	—	
建物賣却	—		建物新築	—	
大農具賣却	—		建物購入	—	
出資金回收	—		出資金	—	
被贈與	—		大農具購入	—	
			出産費	—	
			冠婚費	—	
			葬祭費	—	
			醫料費	—	
			送金(學費)	—	
			贈與	—	
			寄附	—	

費 (一)

八月						年關			總計		備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	
—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —	—	圓 2.00	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	1.50	—	1.50	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	20斤	0.10	2.00	20斤	2.00	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	3斤	0.15	0.45	3斤	0.45	〃
—	—	—	—	—	—	5斤	0.18	0.90	5斤	0.90	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	30斤	2.10	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2斤	0.40	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
500斤	—	1.00	—	—	—	—	—	—	500斤	1.00	屯内ノ人ヨリ現金(氏名不詳)
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2兩	0.01	行商人ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

12　生　　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	四月 數量	四月 單價	四月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	數量	單價	價額
被服費	白布	1丈	圓 1.00	圓 1.00	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —
	染布	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	其他布類	—	—	—	1尺	0.15	0.15	—	—	—	—	—	—
	染賃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	棉花	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	針	1包	0.02	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	糸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	衣服	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寢具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	帽子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	襪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	烏拉草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	烏拉靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光熱費	石油	0.5斤	0.20	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	蠟燭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	土煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	樹枝葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	稭草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	洋火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

13　生　　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	四月 數量	四月 單價	四月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	數量	單價	價額
	慶弔費	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 0.3.	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —
嗜好品費	酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煙草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	茶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	阿片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

「註」 什器費、其他諸費ナシ

費　　（二）

八		月				年		間	總	計	備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
	圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1丈	1.00	行商人ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1尺	0.15	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1包	0.02	青堆子ヨリ現金
—	—	—	0.5斤	0.30	0.30	—	—	—	0.5斤	0.30	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1斤	0.03	0.03	—	—	—	1斤	0.03	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5斤	0.10	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	1包	0.15	0.15	—	—	—	1包	0.15	行商人ヨリ現金

費　　（三）

八		月				年		間	總	計	備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
	圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.30	結婚贈與1回
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2斤	0.15	0.30	—	—	—	—	—	—	2斤	0.30	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.71	

14 貸　借　關　係

借　　入

	借入先 氏名	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入銀種類數量	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟法	期限	用途	利子支拂	實際返濟時期	返濟額數量	未濟額	備考
康德二年ノ借入並返濟	王　芹	第7區景荒地屯	農	親戚	2月	圓 10.00	直接口頭	無	月利3分	現金ニテ返濟有時拂	無	生活費	支拂ナシ	未濟	—	13.30	
	左印軒	〃 左家屯	〃	〃	〃	15.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	19.50	
	范　青	屯外夏家樓	〃	知人	3月	6.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	7.80	
	李德福	〃	〃	〃	2月	5.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	6.65	
	計					36.00										47.25	

註　繰越債務前年ヨリノモノ借入現物ナシ

15 貸　付　（ナ　シ）

16 現　銀　總　括　表

收入之部

種類	該當票	現銀	摘要
前年度ヨリノ繰越銀	ナシ	—	
勞賃收入	勞働條件票	—	
雇牛具收入	勞働條件票	—	
農產物收入	5	63.10	
副產物收入	5	—	
小作料收入	7	—	
建物貸賃收入	8	—	
農具貸賃收入	8	—	
家畜收入	9	—	
雜收入	10	0.30	
臨時收入	10	—	
借入銀	15	36.00	
貸付銀回收	14	—	
計		99.40	

支出之部

種類	該當票	現銀	摘要
翌年度ヘノ繰越銀	ナシ	44.03	
勞賃支出	勞働條件票	1.50	
雇牛具支出	勞働條件票	—	
販賣費支出	5	—	
小作料支出	7	—	
建物借賃支出	8	8.00	
農具修繕費	8	—	
農具借賃支出	8		
家畜支出	9	19.00	
臨時支出	10	—	
生活費支出	11. 12. 13.	12.71	
貸付銀支出	14	—	
借入金返濟	15	—	
諸稅公課	6. 7. 9.	14.16	
雜支出	10	—	
計		99.40	

備考　翌年度ヘ繰越44.03圓ハ3年度ノ小作契約ニ用ヒルタメ豫メ準備シタルモノ

農家戸別調査票 (2)

農家氏名　韓　國　明

縣名	鐵嶺縣
區名	第七區
村名	夏家樓村
屯名	畢家窩棚屯
農家番號	34

職業	主業	雇農(年工)	兼業	—
所有面積	屯內	0.13 天地	屯外	—
貸付面積	屯內	—	屯外	—
耕作面積	自作	—	小作	—
世帶人口	家族員數	4 人	年工	—

1 家 ノ 略 歴

家ノ原籍地	渡滿年代
河北省順天府豐潤	約一二三年前
本屯來住年代	及來住理由
約百二十三年前	生活難ノタメ

年代	地名	農家態様 土地所有	貸付	自作	小作	勞働	農家態様變遷ノ理由
約 123 年 前	本 屯	—	—	—	—	年工	約 123年前韓玉石ガ最初ノ渡滿者トシテ豐潤縣ヨリ直接ニ東屯ニ來住シ、年工トシテ居ヲ構ヘタリ、斯クシテ生活スル事約20年間ニ及ベリ。
約 103 年 前	〃	—	—	—	—	年工	其ノ後、即チ約20年後、玉石ノ子供兄弟4人ハ玉石ノ老身ナルタメ之ニ代リ、年工トシテ、生活ヲ續ケタリ。而シテ此ノ生活モ約30年間續ケラレ此間兄弟4人ニテ土地 0.35天地ヲ購入スル外、僅カノ金ヲ貯ヘタリ、此ノ頃墓地 0.13天地畝ヲ入手セリ。
〃 75 年 前	〃	天地 0.48	—	—	—	年工	
〃 52 年 前（光緒8年頃）	〃	天地 0.13（共有墓地）	—	—	3天地	月工 日工	約52年前ニ祖父德瑞達4人ノ兄弟ハ分家セリ、此ノ際0.35天地ハ3男德明ニ僅カノ現金ヲ3人ニテ分ケテ分家セリ、然シテ3天地位ノ小作ノ外月工、日工トシテ生活セリ、間モナク(7年後) 德瑞ハ死亡ス。
〃 49 年 前（光緒11年）	〃	—	—	—	—	年工	僅カ3年ニシテ小作ヲ止メ専ラ年工トシテ生活セリ。
〃 18 年 前	〃	—	—	—	—	年工	父福廣死亡子供2人ハ其ノ1年後ニ分家セリ。而シテ國明ハ年工トシテ生活シ、分家後モ小作スルコトナク、年工トシテ生活セリ。
康 德 2 年	〃	—	—	0.02	—	年工	

2 家 族 構 成

番號	氏名	性別	年齢	續柄	現住所	教育	自家勞働 農業	能力	他業	家事	被傭勞働 農業	能力	其他	備考
1	韓國明	男	2[illegible]	戶主	本屯	—	—	—	—	—	年工	成人	—	戶主及長男ハ年工トシテ出稼セリ
2	〃 德昌	男	22	1ノ長男	第7區腰堡	—	—	—	—	—	年工	〃	—	被傭先 {戶主…第7區任家窩棚63間劉居氏 長男…第7區腰堡61間劉氏
3	〃 劉氏	女	20	2ノ妻	東屯	—	—	成人	—	家事	—	〃	—	2ノ妻ハ3年2月肺病ニテ死亡
4	〃 薄氏	女	79	1ノ母	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	尙戶主ハ下工後燃料ノ採取ヲナス
	計	男 女	2 2											

年工トシテ戶主ノ行ツテナスコト

播種

除草

收穫

土糞積

長男ハ趕車的

3 雇傭勞働者ナシ

4 農耕生産

<table>
<tr><th rowspan="3">作物種別</th><th rowspan="3">作物名</th><th colspan="7">康徳二年度</th><th colspan="7">康徳三年度</th><th rowspan="3">收穫半減ノ理由(康徳二年)</th></tr>
<tr><th colspan="4">播種面積</th><th rowspan="2">收量半減以下面積</th><th rowspan="2">收量</th><th rowspan="2">播種畝當收量</th><th colspan="4">播種面積</th><th rowspan="2">收量半減以下面積</th><th rowspan="2">收量</th><th rowspan="2">播種畝當收量</th></tr>
<tr><th>單作</th><th>混作</th><th>間作</th><th>計</th><th>單作</th><th>混作</th><th>間作</th><th>計</th></tr>
<tr><td rowspan="3">園藝作物</td><td>包米</td><td colspan="4" rowspan="3">大地0.02畝混作收量不明</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td colspan="2" rowspan="3">前年ニ同ジ</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">作付增減ノ理由(康徳三年)
備考
包米、葱、馬鈴薯ハ未熟ノ中ニ自家用トセリ、菜園ハ家屋附加物ナリ</td></tr>
<tr><td>葱</td></tr>
<tr><td>馬鈴薯</td></tr>
</table>

「註」 普通作物、特用作物ナシ

5 農産物賣却ナシ

6　土地關係

種別		地目	總面積	普通畑	菜園	水田	宅地	廢耕地	山林	原野	墓地	備考
屯內	所有地	計	天地 0.13	—	—	—	—	—	—	—	天地 0.13	廢耕ノ理由
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		入典自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小作地		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
屯外（縣屯）	所有地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	總有地共有地
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	韓氏同族ニテ0.13天地ノ共有墓地アリ
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	地券ノ所有ハ圍明ナルニヨリ所有地ノ中ニ入レル
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小作地		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

地 税、雜 税

税種		課税面積	税額	單價	納期	納入額	滯納額又ハ未納額	ヨリ受入額	地主ヘ支拂額
康德元年分	田賦（大租 地租）	—	—	—	—	—	—	—	—
	晌捐（畝捐）	—	—	—	—	—	—	—	—
康德二年分	田賦（大租 地租）	—	—	—	—	—	—	—	—
	晌捐（畝捐）	—	—	—	—	—	—	—	—
村費		—	—	—	—	—	—	—	—
自衛團費		—	—	—	—	—	—	—	—
農務會費		—	—	—	—	—	—	—	—
賦役		—	—	—	—	—	—	—	—

税目	課税物件	税額	單價	納期	納入方法
車牌捐	—	—	—	—	—
牲畜捐	—	—	—	—	—
門戸捐	—	0.30	0.15	春 秋	村公所ヨリ徴收ニ來ル

備考

7　小作關係

8　建　物

（A）建

房別＼所有借入別＼種別	住居 所有	住居 入典	住居 借入	住居 家賃	住居 （家主名）	農舍 所有	農舍 入典	農舍 借入	農舍 家賃	農舍 （家主名）
瓦房	—	—	—	—	—		—	—	—	—
草房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平房	—	—	0.75間	1ヶ年 3圓	屯　内 部國貴	—	—	—	—	—
馬架房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
畜圏	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

註　B農具ナシ

9　家

耕作地所在　ナシ

農　具

物

畜舎					其ノ他	出典		貸付			備考
所有	入典	借入	借料	(家主名)		數量	入典者名	數量	借家人名	家賃	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	家屋、附加菜園0.02天地アリ
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

畜　ナシ

10 雜 收 支 臨

11 生 活

費目	種類	二月						五月					
		數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
住居費	住居修繕費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	アンペラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	窓戸紙	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年紙類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	包米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高粱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高粱米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	谷子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	白麵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	粉條	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	猪牛肉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鹽	—	—	—	40斤	0.08	3.20	—	—	—	—	—	—
	猪油・豆油	—	—	—	—		—		—	—	—	—	—
	大米	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
	蔬菜	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—
	魚肉	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—
	麵鹹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	酢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	醬油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	赤砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	白砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	瓜果子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

時 收 支

費 (一)

八月						年關			總計		備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
	圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12 枚	—	0.10	—	—	—	—	—	—	12 枚	0.10	行商人ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	3.00	—	3.00	縣城ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.10 石	45.00	青堆子及濰家屯ヨリ現金ニテ購入ス
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	1 袋	3.60	3.60	1 袋	3.60	縣城ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	20 斤	0.15	3.00	20 斤	3.00	屯內粉房ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	40 斤	3.20	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	20 斤	4.00	夏家樓ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	1.00	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 斤	0.10	青堆子ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 斤	0.20	縣城ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 斤	0.12	縣城ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

12　生　活

費目	種類	二月						五月					
		數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
被服費	白布	15 尺	0.10	1.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	染布	2.5 疋	3.50	8.75	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	其他布類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	染賃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	棉花	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	針	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	糸	4 兩	0.05	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	衣服	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寢具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	帽子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	襪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	烏拉草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	烏拉靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光熱費	石油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	蠟燭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	土煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	樹枝葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	稭草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	洋火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

13　生　活

費目	種類	二月						五月					
		數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
	教育費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	慶弔費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嗜好品費	酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煙草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	茶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	阿片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	娛樂費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他諸費	賣藥費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	化粧裝身具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通信費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

「註」什器費ナシ

費　　　(二)

八		月				年		間	總	計	備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
—	円 —	円 —	—	円 —	円 —	—	円 —	円 —	15 尺	円 1.50	縣城ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5疋	8.75	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 包	0.02	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	4 兩	0.20	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 足	0.30	〃
—	—	—	—	—	—	2 斤	0.075	0.15	2 斤	0.15	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 斤	0.60	〃
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	10.00	夏家樓ヨリ購入、現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 包	0.15	行商人ヨリ現金

費　　　(三)

八		月				年		間	總	計	備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
—	円 —	円 —	—	円 —	円 —	—	円 —	円 —	—	円 —	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.00	1 回平均 0.50圓10回贈與ス
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	5 斤	1.[illegible]	行商人ヨリ現金
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91.19	

14 貸借關係

借入

	借入先 氏名	借入先 住所	借入先 職業	關係	借入時期	借入銀額種類數量	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟法	期限	用途	利子支拂	實際返濟時期	返濟額種類數量	未濟額	備考
前年度繰越債務	姜鐵山	姜家窩棚	農	親戚	康德1年5月	50圓	直接口頭	—	月利2分	現金ニテ一度ニ返濟	1ケ年	長男ノ結婚費用	元金ト共ニ	2年3月	[illegible]圓	—	1年5月借入 2年3月ニ返濟

「註」 康德2年ノ借入並返濟、借入現物ナシ

15 貸付　ナシ

16 現銀總括表

收入之部 種類	該當票	現銀
前年度ヨリノ繰越銀	ナシ	12.00
勞賃收入	勞働條件票	143.00
雇牛具收入	勞働條件票	—
農產物收入	5	—
副產物收入	5	—
小作料收入	7	—
建物貸賃收入	8	—
農具貸賃收入	8	—
家畜收入	9	—
雜收入	10	—
臨時收入	10	—
借入銀	15	—
貸付銀回收	14	—
計		155.00

支出之部 種類	該當票	現銀
翌年度ヘノ繰越銀	ナシ	0.51
勞賃支出	勞働條件票	—
雇牛具支出	勞働條件票	—
販賣費支出	5	—
小作料支出	7	—
建物借賃支出	8	3.0[illegible]
農具修繕費	8	—
農具借賃支出	8	—
家畜支出	9	—
臨時支出	10	—
生活費支出	11. 12. 13.	91.1[illegible]
貸付銀支出	14	—
借入銀返濟	15	60.0[illegible]
諸稅公課	6. 7. 9.	[illegible]
雜支出	10	—
計		155.00

備考

農家戶別調査票 (3)

農家氏名　霍　長　仁

縣名	鐵嶺縣
區名	第七區
村名	夏家樓村
屯名	畢家窩棚屯
農家番號	7

職業	主業	自作		兼業	—
所有面積	屯內	16.73	天地	屯外	—
貸付面積	屯內	—		屯外	—
耕作面積	自作	16.51	天地	小作	—
世帶人口	家族員數	7	人	年工 1	人

1 家ノ略歴

家ノ出身地	渡滿年代
山東省永壽府	約一五〇年前

本屯來住年代	及來住理由
光緒三十三年	生活困難土地瘠薄（熱河）

年代	地名	農家態様 土地所有	貸付	自作	小作	勞働	農家態様變遷ノ理由
約150年前	西山左塔（熱河長陽縣）	—	—	—	—	年工	△詳細不明 △頼ル人ハ親戚知人共ニナク、父母土地ノ豐沃ヲタヨリニ居ヲ萬家房身ニ定ム（45年前）コノ時代ハ父母ノ最モ困難ナルトキナリキ、年工ニ從事ス
約45年前	縣内夏家樓村萬家房身	—	—	—	—	年工	
29年前 光緒33年	畢家窩棚	—	—	—	—	年工	△光緒33年本屯ニ父母來住ス、コヽニテ父ハ年工、長仁ハ他家ヘ居候、兄ハ閻家ニ年工、翌年父母歿。（兄ハ18歳長仁9歳）年工トシテ働キ精勵刻苦蓄金ヲ得テ本人ハ妻帶シ、（20歳）兄常理ノ名デ家ヲ構フ。兄ハ脚部ヲ患ヒ妻帶セズ、本人ノ稼金ヲ主トシテ土地ヲ購入自作ヲ初ム。
民國3年9月	〃	天地 0.200	—	天地 0.200	—	年工	△民國3年9月畢發ヨリ 0.2 天地（中則地）民國3年12月同人0.3 〃（中則地）合計30兩 民國7年12月1日 劉向榮 1.41天地（中則地）大洋200圓ニテ購入ス。
12月	〃	0.500	—	0.500	—	—	
7年12月	〃	1.910	—	1.910	—	—	
〃 7年12月	〃	2.240	—	2.240	—	—	民國7年12月1日 畢福、英坤等ヨリ家屋土地0.33 天地ヲ195圓ニテ、民國8年3月28日 劉承緒 1.265天地（中）大洋 200圓ニテ、民國8年5月 田賓珊 2.3天地 大洋200圓ニテ、民國9年2月 范秉湧ヨリ 1.0天地（上則地）150圓ニテ購入ス。
〃 8年3月	〃	3.505	宅地 0.22 菜園 0.11	3.285	—	—	
〃 8年5月	〃	5.805	—	5.585	—	—	
〃 9年2月	〃	6.805	—	6.585	—	—	
〃 12年2月	〃	7.305	—	7.085	—	—	民國12年2月20日 劉東榮ヨリ 0.5天地 110圓ニテ、民國14年4月 劉繼榮 2.1天地 420圓ニテ、民國15年2月3日 劉王氏ヨリ 2.25天地（上）大洋1,020圓ニテ、民國18年12月、白玉生ヨリ 1.76天地 830圓ニテ購入ス。
〃 14年4月	〃	9.405	—	9.185	—	—	
〃 15年2月	〃	11.655	—	11.435	—	—	
〃 18年12月	〃	13.415	—	13.195	—	—	
〃 20年7月	〃	14.585 16.315	地券面積ニツキ第4〜6表ノ實際面積ニ合致セズ	14.365 16.510	— —	— —	民國20年7月、李芳ヨリ1.17天地250圓ニテ（以上叔父霍長禮ノ名義デ）康德1年12月 鄧國貴ヨリ 1.83天地260元ニテ（長仁名義）購入ス。 現在16.510天地ノ自作ヲナセリ。但シ之ハ菜園、0.11天地ヲ含ム、宅地ハコノ外 0.22天地 上則地ハ0.55 天地及ビ3.25天地ノ二ツナリ。
康德元年12月	〃	—	—	—	—	—	

2 家族構成

番號	氏名	性別	年齢	續柄	現住所	教育	自家勞働 農業能力	他業	家事	被傭勞働 農業能力	其他	備考
1	霍長仁	男	[illegible]	戸主	本屯	—	農 成人	—	—	—	—	
2	石氏	女	43	1ノ妻（後妻）	〃	—	農手傳 半日	—	家事	—	—	本妻ハ約20年前33歳ニテ歿ス
3	霍文	男	[illegible]	1ノ長男	〃	書房4年	農 成人	—	—	—	—	
4	鄧氏	女	31	3ノ妻	〃	—	農手傳 半日	—	家事手傳	—	—	
5	霍留所子	男	[illegible]	3ノ長男	〃	—	—	—	—	—	—	
6	霍小小	男	[illegible]	1ノ次男	〃	—	—	—	—	—	—	
7	霍桂枝	女	[illegible]	1ノ長女	〃	—	—	—	—	—	—	
計		男	4	—	—	—	—	—	—	—	—	
		女	3	—	—	—	—	—	—	—	—	

3 雇傭勞働者

番號	年工（打頭的ヲ含ム）氏名	年工 住込又ハ通ヒ	月工 氏名	月工 住込又ハ通ヒ	日工 延日數	雇牛具 氏名	插具 氏名	家族現住所	備考
1	孫福伸	通ヒ	—	—	—	—	—	本屯（王國元）東房 孫殿科ノ子	年工賃金 50.00圓（打頭的）
2	—	—	—	—	—	—	—		月工賃金 月、高粱2石 自5月5日 至7月4日 2ケ月；月、12.00圓 自7月20日 至9月6日 1ケ月半
3	—	—	李永芳	通ヒ	—	—	—	本屯（李[illegible]ノ子）	日工内譯 [illegible] 李永芳 2月1日→20日 賃金1日 0.30圓；播種 3月15日—20日；中耕、苿（夏家樓村）4月21日—5月9日 賃金1日 0.30圓；日工賃金合計 13.50圓；賃金支拂計 現金 75.50圓 高粱 2石
4	—	—	—	—	45日	—	—	—	

註 支拂穀物ハ舊石

4 農耕生産

作物別	種名	康徳二年度 播種面積 單作	混作	間作	計	收量半減以下面積	收量	播種晌當收量	康徳三年度 播種面積 單作	混作	間作	計	收量半減以下面積	收量	播種晌當收量
		天晌			天晌		石	石	天晌			天晌		石	石
普通作物	高粱	1.9[illegible]	—	—	1.9[illegible]	—	27.0[illegible]	14.2[illegible]	5.5[illegible]	—	—	5.50	—	72.[illegible]0	13.2[illegible]
	高粱 小豆	—	2.50	—	2.50	—	40.50 1.08	16.20 0.43	—	—	—	—	—	—	—
	黄豆	5.70	—	—	5.70	—	48.60	8.53	5.80	—	—	5.80	—	64.08	11.18
	黄豆 小豆	—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	—	0.20	0.10	1.08	5.40
	穀子	4.30	—	—	4.30	—	32.40	7.53	4.40	—	—	4.40	—	32.40	7.37
	粳子	2.00	—	—	2.00	—	27.00	13.50	1.60	—	—	1.60	—	18.90	11.83
園藝作物	芸豆	0.05	—	—	0.05	—	—	—	0.05	—	—	0.05	—	20斤	—
	茄子	0.03	—	—	0.03	—	—	—	0.03	—	—	0.03	—	50〃	—
	大根	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	葱	0.02	—	—	0.02	—	—	—	0.02	—	—	0.02	—	20斤	—
	玉瓜	0.01	—	—	0.01	—	—	—	0.01	—	—	0.01	—	20〃	—
計		14.01	2.50	—	16.51	—	—	—	17.41	0.20	—	17.61	0.10	—	—

收穫半減ノ理由（康徳二年）

康徳2年ハ蛄蝲虫ノ地中ニ發生黄豆・高粱・穀子ノ芽ヲ食フ
康徳3年(1)多雨ー水害 (2)蛄蝲虫

作付増減ノ理由（康徳三年）

輪作
1. 1天地小作ヲ始ム（地主前屯ノ李盛）

備考

康徳3年黄豆・小豆ノ混作黄豆收量少キハ虫害ノタメ

註 特用作物ナシ

5 農産

		種類	賣却時期	賣却先	賣却方法	販賣費	賣却量
							石
普通作物	主産物	黄豆	11月15日	興合糧棧	糧販子へ庭先渡	—	44.5[illegible]
		高粱	12月15日	本屯	〃	—	12.15
		小豆	12月15日	本屯	〃	—	2.16
		粳子	12月15日	本屯	〃	—	9.45
		高粱	12月	村内（夏家樓市場）	小賣	—	2.70
		穀子	12月	村内	〃	—	2.70
		高粱	3月 5日	村内李玉魁	屯民へ小賣	—	5.4[illegible]
		〃	12月	屯内孫殿科	〃	—	5.13
	副産物	高粱稈	2月	本村除家店	運搬（自車）	—	6.000斤
		穀子稈	2月	内外屯民へ賣却	庭先渡	—	2.500斤

註　特用作物、園藝作物ナシ

物　　賣　　却

手取價額		營業税				賣却價格	備考
總額	單價	税目	總額	單價	納入方法		
圓	圓	圓	圓			圓	
247.50	5.56	—	—	—	—	247.50	在新臺子（販賣商劉黄地）
40.50	3.36	—	—	—	—	40.50	
12.00	5.56	—	—	—	—	12.00	
98.00	10.37	—	—	—	—	98.00	玄米
15.00	5.56	—	—	—	—	15.00	
20.00	7.41	—	—	—	—	20.00	
22.00	4.07	—	—	—	—	22.00	
13.50	2.62	—	—	—	—	13.50	
90.00	15.00	—	—	—	—	90.00	
55.00	22.00	—	—	—	—	55.00	

6　土地關係

種別		地目	總面積	普通畑	菜園	水田	宅地	廢耕地	山林	原野	墓地	備考
屯内	所有地	計	天地 16.73	天地 16.40	天地 0.11	—	天地 0.22	—	—	—	—	廢耕ノ理由
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	16.40	16.40	—	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小作地			—	—	—	—	—	—	—	—	—	
屯外	所有地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	總有地共有地
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小作地			—	—	—	—	—	—	—	—	—	

地稅、雜稅

稅種		課稅面積	稅額	單價	納期	納入額	滯納又ハ未納額	地主ヨリ受入額	地主へ支拂額
康德元年度分	田賦（大租地租）	天地 13.5[illegible]6	圓 16.61	上 天地 3.80 @ 圓 1.54 中 9.786 @ 1.10	康 1.11	圓 16.61	—	—	—
	晌捐（畝捐）	13.586	19.25	〃 @ 1.46 〃 @ 1.40	—	19.25	—	—	—
康德二年度分	田賦（大租地租）	15.41[illegible]	18.[illegible]	上 3.8[illegible] @ 1.54 中 11.616 1.1[illegible]	2.11.[illegible]	18.[illegible]	—	—	—
	晌捐（畝捐）	15.416	21.81	上 3.80 @ 1.46 中 11.616 @ 1.40	2.11.27	21.81	—	—	—
村費		15.300	—	5.70	—	87.20	—	—	—
自衞團費									
農務會費									
義倉費		15.300	1.24	0.08	—	高粱 1.24石	—	—	—
看青費		15.300	1.24	0.08	—	穀子 1.24石	—	—	—

稅目	課稅物件	稅額	單價	納期	納入方法
車牌捐	大車 1臺	4.00	4.00	10月	縣吏員村公所ニ出張
牲畜捐	騾 1頭	3.60	從價 $\frac{6}{100}$	4月11日	〃
屠宰捐	豚 1〃	0.50	0.50		村公所へ納入
門戶捐		1.20	0.60 0.60	1月末 10月	財務局駐區徵收所
賦役		人 1人 車 1臺 5日間			道路修繕

備考

課稅面積

0.550（上則地）
3.250（〃）天地 3.800

2.400（中則地）
1.910（〃）
0.300（〃）
3.470（〃）
1.706（〃）
1.830（〃）〃 11.616

計 15.416 天地

地券面積

第1頁ニヨリ

2年度稅支出計　136.94圓

7　小作關係・耕作地所在

(4) 耕作地所在

8　建　　物

（A）建

房別 ＼ 種別・所有借入別	住居 所有	住居 入典	住居 借入	住居 家賃	住居（家主名）	農舍 所有	農舍 入典	農舍 借入	農舍 家賃	農舍（家主名）
瓦房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
草房	3	—	—	—	—	4	—	—	—	—
平房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
馬架房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
畜圈	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
倉子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（B）農

種別	大車	轂子	磨	扇車子	犁丈	壊把	彈綿機	機織機	脫穀機
所有數	1	1	1	—	2	1	—	—	1

9　家

		康德二年末所有頭數 總數	牡	牝	去勢	年內增加 年內購入 頭數	年內購入 價格	年內生產	年內減 年內販賣 頭數	年內販賣 價格	年內屠殺
役畜 牛	滿二年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	滿二年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 馬	滿三年以上	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 騾	滿三年以上	1	—	1	—	1	60.00	—	—	—	—
	滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役畜 驢	滿三年以上	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 牛	滿二年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	滿二年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 緬羊	滿一年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	滿一年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 山羊	滿一年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	滿一年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜 豚	成	2	—	2	—	—	—	—	—	—	1
	仔	—	—	—	—	2	5.[illegible]	—	—	—	—

鷄	4	家鴨	—	[illegible]	—	犬	—

農　　具

物

畜舎					其ノ他	出典		貸付			備考
所有	入典	借入	借料	(家主名)		數量	入典者名	數量	借家人名	家賃	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—		—	—	—		—	—	—	—	
備 1	—	—	—	—	備 4	—	—	—	—	—	
—		—				—	—			—	

具

貸付賃	借入賃	修繕費	備考
1.00 李徳有（屯内）ニ鐵叉子ヲ貸シ破損セシメタル辨償金	—	14.00 大車ノ修繕 大工賃金、鐵、木代	

畜

減少	差引		牲畜税捐		貸付	寄託	借入	受託	備考
年内斃死	増	減	牲畜税	牲畜捐					
— —		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
— —		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
— —	+	1 —	3.60 —	— —	— —	— —	— —	— —	河套ノ商人ヨリ本屯ニテ購入 (6月15)
— —		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
— —		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
— —		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
— —		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
1 —		— —	— —	屠殺捐 0.50 —	— —	— —	— —	— —	

兎	—	七面鳥	—	蜜蜂	—	備考

10　雜　收　支

雜收入	額	摘要	雜支出	額	摘要
畜產收入	—	—	肥料購入	45.00	馬糞(10車) 正月15日城内公合店
商業	—	—	飼料購入	30.00	豆粕10個(城内＝テ) 正月15日
工業	—	—	小農具購入	1.00	鋤4個 @0.25
作蠶	—	—	種苗購入	2.00	葱
其他兼業	—	—	家畜費	0.40	鷄4羽 @0.10
出資銀配當	—	—	林產支出	—	—
林產	—	—			
農產加工	—	—			
俸給	—	—			
貯金預金ノ利子	—	—			
出稼人仕送金	—	—			

11　生　活

費目	種類	二月			四月			五月					
		數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額
住居費	住居修繕費	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —
住居費	アンペラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	年紙類												
食料費	包米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	高粱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	高粱米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	谷子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	小米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	白麵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	粉條	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	猪牛肉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	鹽	—	—	—	130斤	0.77	10.00	—	—	—	—	—	—
食料費	猪油・豆油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	大米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	蔬菜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	魚肉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	麵鹼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	醋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	醬油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	赤砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	白砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	瓜果子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

臨時收支

臨時收入	銀額	摘要	臨時支出	銀額	摘要
土地賣却	—	—	土地購入	—	
建物賣却	—	—	建物新築	—	
大農具賣却	—	—	建物購入	—	
出資銀回收	—	—	出資銀	—	
被贈與	—	—	大農具購入	—	
			出產費	—	
			冠婚費	—	
			葬祭費	—	
			醫料費	—	賣藥費ニ編入
			送金（學費）	—	
			贈與	—	
			寄附	—	

費（一）

八月						年間			總計		備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
	圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	2	0.70	1.40	2	1.40	
								15.00		15.00	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	2袋	3.50	7.00	2袋	7.00	
—	—	—	—	—	—	20斤	0.15	3.00	20斤	3.00	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	130斤	10.00	
—	—	—	—	—	—	38斤	0.18	2.85	38斤	2.86	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	2[illegible]	1.50	3.00	—	3.00	
—	—	—	—	—	—	6斤	0.16	0.96	—	0.96	
—	—	—	—	—	—	4斤	0.07	0.28	—	0.28	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	4斤	0.10	0.40	—	0.40	
—	—	—	—	—	—	1斤	0.12	0.12	—	0.12	
—	—	—	—	—	—	2斤	0.15	0.30	—	0.30	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

12　生　　　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	數量	單價	價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	數量	單價	價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
被服費	白布	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	染布	180丈	0.10	18.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	其他布類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	染賃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	棉花	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	針	3包	0.03	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	糸	—	—	—	—	—	—	不計	—	0.30	—	—	—
	衣服	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寝具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	帽子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	襪	—	—	—	1打	2.00	2.00	—	—	—	—	—	—
	烏拉草	—	—	—	5斤	0.07	0.35	—	—	—	—	—	—
	烏拉靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光熱費	石油	—	—	—	15斤	0.18	2.70	—	—	—	—	—	—
	蠟燭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	土煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	樹枝葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	稭草	2,220斤	—	12.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	洋火	10包	0.5	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—

13　生　　　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	三月 數量	三月 單價	三月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	數量	單價	價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
什器費	碗	10個	0.05	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	皿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鉢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	箸		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	教育費		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	慶弔費	—	—	1.50	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—
嗜好品費	酒	10斤	0.2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煙草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	茶												
	阿片	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	娯樂費	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他諸費	賣藥費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	化粧裝身具		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通信費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

14 貸借關係

借入

	借入先 家名	住所	職業	關係	借入時期	借入銀額 種類數量	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟法	期限	用途	利子支拂	實際返濟時期	返濟額 種類數量	未濟額	備考
康徳2年ノ借入並返濟	任秉貴	本屯	農	ナシ	7月	圓 7.00	口頭直接	—	月 0.03	一時拂 現金	10月11日	衣服費	元金ト同時 0.63圓	10月11日	現金 7.00圓		利子3ヶ月分支拂フ

註 繰越債務、借入現物ナシ

15 貸付（ナシ）

16 現銀總括表

收入之部 種類	該當票	現銀
前年度ヨリノ繰越銀	ナシ	70.00
勞賃收入	勞働條件票	—
雇牛具收入	勞働條件票	—
農産物收入	5	468.50
副産物收入	5	145.00
小作料收入	7	—
建物貸賃收入	8	—
農具貸賃收入	8	—
家畜收入	9	—
雜收入	10	1.00
臨時收入	10	—
借入銀	15	7.00
貸付銀回收	14	—
計		691.50

支出之部 種類	該當票	現銀	摘要
翌年度ヘノ繰越銀	ナシ	199.82	
勞賃支出	勞働條件票	75.50	外ニ高粱2石
雇牛具支出	勞働條件票	—	
販賣費支出	5	—	
小作料支出	7	—	
建物借賃支出	8	—	
農具修繕費	8	14.00	
農具借賃支出	8	—	
家畜支出	9	65.00	騾1豚2疋
臨時支出	10	—	
生活費支出	11. 12. 13.	114.21	
貸付銀支出	14	—	
借入銀返濟	15	7.60	
諸税公課	6.7.9.	136.94	
雜支出	16	78.43	
計		691.50	

農家戸別調査票 (1)

農家氏名　鄧　國　昌

縣名	鐵嶺縣
區名	第七區
村名	夏家樓村
屯名	畢家窩棚屯
農家番號	1

職業	主業	地主	兼業	—
所有面積	屯内	16.8 天地 (内出 2.0 天地典)	屯外	10.2 天地
貸付面積	屯内	14.8 天地	屯外	10.2 天地
耕作面積	自作	—	小作	—
世帶人口	家族員數	5 人	年工	—

家ノ移動地　山東省登州府

渡満年代　二〇〇年前（約七代前）

本屯来住年代及来住理由　同治四年五年[illegible]増加シテ生活難ノタメ来屯セリ

1 家 ノ 略 歴

年代	地名	農家態様 土地所有	貸付	自作	小作	労働	農家態様變遷ノ理由
200年前	鐵嶺縣鄧家窩棚	ナシ	-	-	-	雇農	△生活難ノタメ山東省登州府ヨリ渡満シ、雇農(年工•月工•日工)ヲナシ、生活ヲ營メリ。
同治4〜5年	畢家窩棚	ナシ	—	—	天地 4.0[illegible]	雇農	△家族數増加ノタメ、祖父鄧斌ノ代ニ来屯シ、4天地ノ小作ヲナシ、共ニ雇農ヲ營ミ鄧殿相・鄧殿卿ノ2人ノ子供ノ手傳ヒニ依リ、相當貯蓄セリ
光緒2[illegible]年	同上	天地 [illegible]	-	天地 [illegible]	-	—	△其ノ後旗民不交産ノ令解除シテ毎年2〜3天地ヲ購入、90天地ニ達セリ、1天地 200吊ナリキ。
宣統2年	同上	134.50〃	天地 6[illegible]	74.50〃	-	-	△満地2〜3天地ヲ連年購求シ、134.5天地ニ及ブ(宅、菜、墓地ヲモ含ム)74.5天地ヲ自作シ、60天地ヲ小作セシム、小作料1天地62吊ナリキ。
民國3年	同上	40.33〃	—	40.33〃	-	—	△民國3年兄弟3人ト叔父ト分家各65天地ヲ分配セシガ直チニ前妻ノ子2人ハ26天地後妻ノ子3人ハ40.33天地ヲ持分トシテ自作ヲナセリ(宅、菜、ヲ含ム)
同 4年	同上	423.30〃	天地 2.[illegible]	40.33〃	—	—	△鄧國昌ノ妻ハ本屯ノ畢長福ヨリ2天地ヲ購入、1天地1,100吊ヲ支拂ヒ、韓子楊ニ1天地奉票10圓ニテ小作セシム
同 14年	同上	49.83〃	4.30〃	45.5[illegible]〃	-	—	△夏家樓ノ劉健林ヨリ5.2天地ヲ購入1天地奉票300圓ナリ。尚鄧國昌ノ妻任家窩棚ノ劉居ヨリ2.3天地ヲ購入(1天地300圓)シ同人ニ1天地13圓ニテ小作セシム。
同 14年秋	同上	56.20〃	10.67〃	45.53〃	—	—	△同年秋11月網戸屯王芳ヨリ、6.37天地ヲ1天地奉票350圓デ購入韓德才ニ1天地12圓デ小作セシム。
同 15年	同上	57.80〃	12.27〃	45.5[illegible]〃		-	△同年3月ヨリ1.6天地ヲ1天地28圓ニテ購入、本屯ノ王守林ニ小作セシム、小作料奉票15圓銀納前拂ナリ、同様妻ノ所有トナス。
同 18年	同上	27.53〃	12.27〃	15.[illegible]〃	-	—	△後妻ノ子供3人45.53天地ヲ均分シテ分家セリ。妻ノ所有地12.27天地ハ小作セシメ他ハ全部自作ス、小作料35圓ナリキ。
同 [illegible]年	同上	27.53〃	12.00〃	15.53〃	-		△自作地15天地小作地12天地ニテ自作兼小作ノ農業經營ヲナセリ。小作料1天地20圓小作人11人ヲ有セリ。
同 [illegible]年	同上	27.53〃 (2天地出典)	19.00〃	6.[illegible]〃	-	--	△屯内ノ王永生ニ2天地190圓ニテ出典、自作6天地貸付19天地小作料1天地15圓銀納前拂デ13人ノ小作人ヲ有ス、小作料激落ノ年ナリ。
大同2年	同上	27.53〃 (同上)	17.00〃	[illegible]	-	—	△出典地前同様小作料下落ノ爲自作地2天地増加シ、小作地2天地ヲ減ゼリ。小作料2[illegible]圓小作人12人小作叢形同前
康德1年	同上	27.53〃 (同上)	25.00〃	[illegible]	-	—	△出典地前同様所有地全部ヲ小作セシメ、0.53天地ノ菜園ヲ自作スルノミ、之ハ小作料騰貴シ、勞力不足ノタメナリ、1天地30圓ナリキ。
同 [illegible]年		27.53〃 (同上)	25.00〃	0.53〃	—	—	△前同様純然タル地主トシテ所有地ヲ全部小作セシム。小作料1天地30圓ナリ。

2 家族構成

番號	氏名	性別	年齢	續柄	現住所	教育	自家勞働 農業	自家勞働 能力	自家勞働 他業	自家勞働 家事	被傭勞働 農業	被傭勞働 能力	被傭勞働 其他	備考
1	鄧國昌	男	48	戸主	本屯	私塾6年	—	—	—	家事監督	—	—	—	家系圖
2	鄧[illegible]氏	女	51	1ノ妻	同	—	—	—	—	家事手傳	—	—	—	
3	鄧紹祖	男	1[illegible]	1ノ長男	本縣城内協和學舍	小學校6年 協和學校1年生	—	—	—	—	—	—	—	
4	鄧紹興	男	10	1ノ次男	本屯	小學2年生	—	—	—	—	—	—	—	
5	鄧張氏	女	22	3ノ妻	同	小學3年生	—	—	—	家事	—	—	—	

家系圖

- 鄧[illegible]
  - 鄧殿卿（長男）
    - 鄧國珍（屯内）
    - 鄧國華（屯内）
  - 鄧殿相（次男）
    - 鄧國平（康徳三年死亡）（縣城）
    - 鄧國昌（戸主）
      - 鄧紹興
      - 鄧紹祖
    - 鄧國[illegible]（民國五年死亡）
    - 鄧國榮（屯内）
    - 鄧國貴（屯内）

3 雇傭勞働者

番號	年工（月極ヲ含ム） 氏名	年工 住込又ハ通ヒ	月工 氏名	月工 住込又ハ通ヒ	日工延日數	雇牛具氏名	挿具氏名	家族現住所	備考
1			孫德成	通ヒ	33日			田家窩棚	炊事夫トシテ陰11月ヨリ2ケ月雇ヒ、5.00圓支給セリ　日工勞賃支拂10.00圓

4 農耕生産

種別	作物名	康徳二年度 播種面積 單作	混作	間作	計	收量半減以下面積	收量	播種畝當收量	康徳三年度 播種面積 單作	混作	間作	計	收量半減以下面積	收量	播種畝當收量
園藝作物	胡瓜・包米・南瓜・茄子・豆角・葱韮	天地 0.33	—	—	天地 0.33	收量不明		—	天地 0.33	—	—	天地 0.33	收量不明		—
計		0.33	—	—	0.33	—	—	—	0.33	—	—	0.33	—	—	—

收穫半減ノ理由（康徳二年）

作付増減ノ理由（康徳三年）

備考　自家用トシテ隨時收穫セル爲收量不明ナリ

註　普通作物、特用作物ナシ

5 農産物賣却

種類		賣却時期	賣却先	賣却方法	搬賣費	賣却量	手取價額 總額	手取價額 單價	糧穀税 税目	總額	單價	納入方法	賣却價格	備考
普通作物 主産物	黄豆	11月	糧販子ヘ賣却	庭先渡	—	石 8.10	圓 45.00	圓 5.56	—	—	—	—	圓 45.00	

6　土地關係

種別		地目	總面積	普通畑	菜園	水田	宅地	廢耕地	山林	原野	墓地	備考
			天地	天地	天地		天地				天地	
屯内	所有地	計	15.33	14.80	0.33	—	0.20	—	—	—	(0.50)	廢耕ノ理由
		貸付地	14.80	14.80				—	—	—	—	
		自作地	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	2.00	2.00	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		入典自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小作地		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
屯外（縣屯）	所有地	計	10.20	10.20	—	—	—	—	—	—	—	總有地共有地 鄧國昌 〃榮 〃珍 〃貫 〃平 〃禹 共有墓地〇・五天地
		貸付地	10.20	10.20	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	出典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		出典小作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		典權者利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入典地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		入典自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	永租地	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		貸付地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		自作地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小作地		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

地　税、雑　税

税種		課税面積	税額	單價	納期	納入額	滯納又ハ未納額	入典者ヨリ受入額	地主ヘ支拂額
		天地	圓	圓					
康德元年度分	田賦（大租地租）	27.00	31.064	上 1.54 中 1.10 下 0.66	1年10月	31.06	—	2.20	—
	餉捐（畝捐）	27.00	37.986	上 1.46 中 1.40 下 1.34	〃	37.99	—	2.80	—
康德二年度分	田賦（大租地租）	27.00	31.064	上 1.54 中 1.10 下 0.66	2年11月	31.06	—	2.20	—
	餉捐（畝捐）	27.00	37.986	上 1.46 中 1.40 下 1.34	〃	37.99	—	2.80	—
村費		18.50	10.55	5.70	2年 8月	10.55	—	—	—
自衛團費		—	—	—	—	—	—	—	—
農務會費		—	—	—	—	—	—	—	—

税目	課税物件	税額	單價	納期	納入方法
車牌捐	—	—	—	—	—
屠殺捐	豚　1　頭	圓 0.50	圓 0.50	12月	村公所ニ納入
門戸捐		〃 1.20	〃 0.30	3月 6月 9月 12月	〃
義倉費	天地 17.80	穀子 石 1.424	穀子 石 0.08	10月	〃
看青費	〃 18.50	高粱 〃 0.14	高粱 〃 0.3	9月	〃

備考

村費ハ分益小作ニ於テノミ 5:5 ニ分劈納入、

看青費モ前同様ナリ、高粱（1天地ニ對シ）3升ノ割合ナリ。

義倉費ハ穀子（1天地ニ對シ）3升ノ割合ニテ地主負擔ト言フ。

2年度差引負擔　76圓30錢

7 小作關係・耕作地所在

(1) 小 作 契 約

小作人	氏名	職業	住所
	頤景和	農業	屯内

小作地所在　屯内　　證書　無　口頭　　保證人氏名(屯内ノミ)

押租 —　　期限　1年　　契約時期　2月　　繼續年數　10ケ年

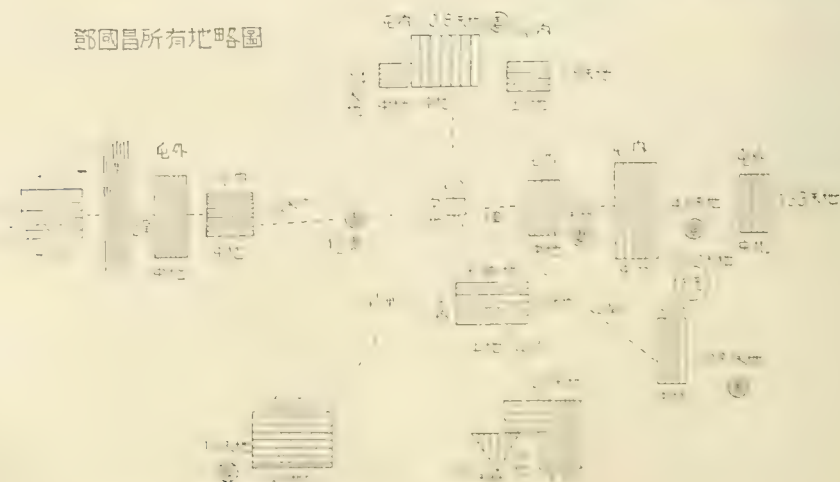
小作地附加物 ｜ — 房 — 間房子 ｜ 菜園 — 晌 — 畝 ｜ 役畜 — 碾子 — 磨 — 農具 — 種子 — 肥料 —

(2) 小 作 料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	1.0天地	—
定額	契約額	—	30.00圓	—
	實納額	—	30.00圓	—
	不足分ノ處置			
分益	契約額			
	實納額			
	不足分ノ處置			

納入方法	時期 4月　　方法 小作人持參セリ
減免ノ事例	—
小作料附加物	—
小作人ノ義務	—

(3) 租 税 ノ 分 劈

	税額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
国税	地主全額負擔セリ	—	—	
晌捐				
村費	小作人全額負擔セリ	—	—	
看青費				

(4) 耕 作 地 所 在

7 小作關係・耕作地所在

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	買永魁	農業	屯内

小作地所在 屯内	證書無 口頭	保證人氏名(屯内ノミ)	—
押租 —	期限 1ケ年	契約時期 1月	繼續年數 1ケ年

小作地附加物		
一房 一間房子	菜園 一晌 一畝	役畜 一 碾子 一 磨 一 農具 一 種子 一 肥料 一

(2) 小作料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	3.0天地	—
定額	契約額	—	90.00圓	—
	實納額	—	90.00圓	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額	—	—	—
	實納額	—	—	—
	不足分ノ處置	—	—	—
納入方法		時期 3月 方法 小作人持參セリ		
減免ノ事例		—		
小作料附加物		—		
小作人ノ義務		—		

(3) 租稅ノ分擔

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅 晌捐	地主全額負擔	—	—	
村費 看青費	小作人全額負擔	—	—	

備考

小作人康德3年夏家樓へ移住セリ

7　小作關係・耕作地所在

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	劉永勝	農業	屯内

小作地所在	屯内	證書無	口頭	保證人氏名(屯内ノミ)	—
押租	—	期限	1ケ年	契約時期	3月
繼續年數	1ケ年				

小作地附加物	一房 — 間房子	菜園 — 晌 — 畝	役畜 —	碾子 —	磨 —	農具 —	種子 —	肥料 —

(2) 小作料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	1.0天地	—
定額	契約額	—	30.00圓	—
	實納額	—	30.00圓	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額	—	—	—
	實納額	—	—	—
	不足分ノ處置	—	—	—

項目	内容
納入方法	時期　3月　方法　小作人持參セリ
減免ノ事例	—
小作料附加物	—
小作人ノ義務	—

(3) 租税ノ分擔

	税額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國税 晌捐	地主全額負擔	—	—	
村費 看青費	小作人全額負擔	—	—	

7 小作關係・耕作所在地

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	韓德才	農業	屯内

小作地所在	屯内	證書 無	口頭 —	保證人 —
期限 1ヶ年	契約時期 2月	繼續年數 4ヶ年		

小作地附加物	— 房 — 間房子	菜園 — 晌 — 畝	役畜 — 碾子 — 磨 — 農具 — 種子 — 肥料 —

(2) 小作料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	(實 2.9天地) 3.0天地	—
定額	契約額	—	90.00圓	—
	實納額	—	90.00圓	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額	—	—	—
	實納額	—	—	—
	不足分ノ處置	—	—	—
納入方法		時期 3月…70圓 10月…20圓 方法 小作人持參セリ		
減免ノ事例		—		
小作料附加物		—		
小作人ノ義務		—		

(3) 租税ノ分擔

	税額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國税	地主全額負擔	—	—	
晌捐				
村費	小作人全額負擔	—	—	
看靑費				

7 小作關係・耕作所在地

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	李 生	農業	屯内
小作地所在 屯内	證書 無 口頭	保證人 —	
期限 1ヶ年	契約時期 正月	繼續年數 1ヶ年	
小作地附加物	—房 —間房子	菜園 —晌—畝 役畜 — 碾子 — 磨 — 農具 — 種子 — 肥料 —	

(2) 小作料

地味	上地	中地	下地
小作面積	—	1.3 天地	
定額 契約額	—	39.00圓	
定額 實納額	—	39.00圓	
定額 不足分ノ處置	—	—	
分益 契約額	—	—	
分益 實納額	—	—	
分益 不足分ノ處置	—	—	
納入方法	時期 3月…20圓 5月…10圓 10月… 9圓 方法 小作人地主へ持參セリ		
減免ノ事例	—		
小作料附加物	—		
小作人ノ義務	—		

(3) 租稅ノ分劈

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅 晌捐	地主全額負擔	—	—	
村費 看青費	小作人全額負擔	—	—	

7 小作關係·耕作所在地

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	韓福榮	農業	本屯

小作地所在 屯内　證書 —　口頭　保證人 —

期限 1ケ年　契約時期 1月　繼續年數 1ケ年

小作地附加物	一房 一 間房子	菜園 一 晌 一 畝	役畜 一 碾子 一 磨 一 農具 一 種子 一 肥料 一

(2) 小作料

地味	上地	中地	下地
小作面積	0.9 天地(上地)	1.4 天地(實際面積 1.3 天地)	—
定額 契約額	27.00圓	(1天地30.00圓)39.00圓	—
定額 實納額	27.00圓	42.00圓	—
定額 不足分ノ處置	—	—	—
分益 契約額	—	—	—
分益 實納額	—	—	—
分益 不足分ノ處置	—	—	—
納入方法	時期 3月—4月　方法 小作人ガ地主宅へ持參		
減免ノ事例	—		
小作料附加物	—		
小作人義務	—		

(3) 租税ノ分擔

	税額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國税	地主全額負擔	—	—	
晌捐	地主全額負擔	—	—	
村費	小作人全額負擔トス	—	—	
看青費	地主全額負擔	—	—	

7 小作關係·耕作所在地

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	顧雲柏	農業(小)	鐵嶺縣 任家窩棚屯

小作地所在 屯外 任家窩棚屯　證書 一　口頭　保證人 一

期限 1ケ年　契約時期 1月　繼續年數 1ケ年

小作地附加物 一房一間房子　菜園 一晌一畝 | 役畜 一 碾子 一 磨 一 農具 一 種子 一 肥料 一

(2) 小作料

地味		上地	中地	下地
小作面積		一	2.4 天地(中地)	一
定額	契約額	一	(1天地30.00圓)72.00圓	一
	實納額	一	72.00圓	一
	不足分ノ處置	一	一	一
分益	契約額	一	一	一
	實納額	一	一	一
	不足分ノ處置	一	一	一

納入方法	3月　方法 小作人ガ地主宅ヘ持參
減免ノ事例	一
小作料附加物	一
小作人ノ義務	一

(3) 租稅ノ分擘

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅 晌捐	全額地主負擔	一	一	
村費 看青費	小作人全額負擔	一	一	

7 小作關係·耕作所在地

(1) 小　作　契　約

	氏名	職業	住所
小作人	顧景陽	農業(小作)	鐵嶺縣 任家窩棚

小作地所在	屯外 任家窩棚	證書 一	口頭	保證人 一	
押租 一	期限 1ケ年	契約時期	2月	繼續年數	2ケ年
小作地附加物	一				

(2) 小　作　料

地味		上地	中地	下地
小作面積		一	中地 0.8 天地	一
定額	契約額	一	(1天地30.00圓)24.00圓	一
	實納額	一	24.00圓	一
	不足分ノ處置	一	一	一
分益	契約額	一	一	一
	實納額	一	一	一
	不足分ノ處置	一	一	一
納入方法		3月　方法 地主ガ徴收ニ行ク		
減免ノ事例		一		
小作料附加物		一		
小作人ノ義務		一		

(3) 租税ノ分劈

	税額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅 晌捐	地主全額負擔	一	一	
村費 看青費	小作人全額負擔	一	一	

7 小作關係·耕作所在地

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	劉振	農業(小作)	鐵嶺縣 任家窩棚

小作地所在	屯外 任家窩棚	證書	—	口頭	保證人 —
押租	—	期限	1ヶ年	契約時期 1月	繼續數 9ヶ年
小作地附加物	—				

(2) 小作料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	中地 1.3 天地	—
定額	契約額	—	(1天地30.00圓) 39.00圓	—
	實納額	—	39.00圓	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額	—	—	—
	實納額	—	—	—
	不足分ノ處置	—	—	—
納入方法		3月 方法 地主ガ徴收ニ行ク		
減免ノ事例				
小作料附加物				
小作人ノ義務				

(3) 租税ノ分擔

	税額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國税	全部地主負擔	—	—	
畝捐				
村費	全部小作人負擔トス	—	—	
看青費				

7 小作關係·耕作所在地

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	顧景泰	農業(小作)	鐵嶺縣 任家窩棚

小作地所在 屯外 任家窩棚　證書 一　口頭　保證人 一

押租 一　期限 1年　契約時期 2月　繼續年數 9ヶ年

小作地附加物 ｜ 一

(2) 小作料

地味	上地	中地	下地
小作面積	一	一	1.6 天地
定額 契約額	一	一	(1天地30.00圓) 48.00圓
定額 實納額	一	一	48.00圓
定額 不足分ノ處置	一	一	一
分益 契約額	--		一
分益 實納額	一	一	一
分益 不足分ノ處置	一	一	一

納入方法 ｜ 4月　方法 地主ガ徵收ニ行ク

減免ノ事例 ｜ 一

小作料附加物 ｜ 一

小作人ノ義務 ｜ 一

(3) 租稅ノ分擔

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅	地主全額負擔	一	一	
畝捐				
村費	小作人全額負擔トス	-	一	
看青費				

7 小作關係·耕作所在地

(1) 小 作 契 約

小作人	氏名	職業	住所
	顧景興	農業	鐵嶺縣 任家窩棚

小作地所在	屯外 任家窩棚	證書	—	口頭	保證人	—
押租 —	期限 1ケ年	契約時期	2月	繼續年數	3ケ年	
小作地附加物	—					

(2) 小 作 料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	2.8天地（實面積2.6天地）	—
定額	契約額	—	（1天地30.00圓） 8400圓	—
	實納額	—	8400圓	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額	—	—	—
	實納額	—	—	—
	不足分ノ處置	—	—	—

納入方法	時期 3月 方法 地主ガ徵收ニ行ク
減免ノ事例	—
小作料附加物	—
小作人ノ義務	—

(3) 租 稅 ノ 分 劈

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅	全部地主負擔	—	—	
晌捐				
村費	全部小作人負擔トス	—	—	
看青費				

7 小作關係・耕作地所在

（1）小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	王徳	農業	屯内

小作地所在 屯内	證書 —	口頭 —	保證人 —
押租 —	期限 1ヶ年	契約時期 2月	繼續年數 1ヶ年
小作地附加物	—		

（2）小作料

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	1.2 天地	—
定額	契約額	—	（1天地30.00圓）36.00 圓	—
	實納額	—	36.00 圓	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額	—	—	—
	實納額	—	—	—
	不足分ノ處置	—	—	—
納入方法		時期 3月 方法 小作人ガ地主宅へ持參セリ		
減免ノ事例		—		
小作料附加物		—		
小作人ノ義務		—		

（3）租稅ノ分擔

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅 晌捐	地主全額擔負	—	—	
村村 看青費	小作人全額負擔トス	—	—	

7 小作關係・耕作地所在

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	張炳臣	農業	鐵嶺縣 田家窩棚

小作地所在 屯外名 田家窩棚　證書無　口頭　保證人氏名(屯內ノミ) —

押租 —　期限 1ケ年　契約期時 1月　繼續年數 6ケ年

小作地附加物 | 一房 一間房子 | 菜園 — 晌 — 畝 | 役畜 — 碾子 — 磨 — 農具 — 種子5:5 肥料5:5

(2) 小作契約

地味		上地	中地	下地
小作面積		—	1.5 天地	—
定額	契約額		—	—
	實納額		--	—
	不足分ノ處置	—	—	—
分益	契約額		5:5	—
	實納額	—	黃豆 4.05石	—
	不足分ノ處置	—	—	—

納入方法	時期 陰 9月上旬　方法 小作人持參
減免ノ事例	—
小作料附加物	黃豆稈（豆稭）大車半車 400 斤
小作人ノ義務	—

(3) 租稅ノ分劈

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅	地主負擔	—	—	
晌捐		—	—	
村費	8.55 圓	地主小作人折半	—	
看青費	2.25 升	地主小作人折半	—	

7 小作關係・耕作地所在

(1) 小作契約

小作人	氏名	職業	住所
	鄭國貴	農業	屯内

小作地所在	屯内	證書 一 口頭	保證人氏名(屯内ノミ) 一
押租 一	期限 1ケ年	契約時期 正月	繼續年數 1ケ年
小作地附加物	一房一 間房子	菜園 一晌一 畝	役畜 一 碾子 一 磨 一 農具 一 種子 一 肥料 一

(2) 小作料

地味	上地	中番	下地
小作面積	1.8天地	0.4天地	—
定額 契約額	—	—	—
定額 實納額	—	—	—
定額 不足分ノ處置	—	—	—
分益 契約額	5:5	5:5	—
分益 實納額	— 黄豆	11.8石	—
分益 不足分ノ處置	—	—	—
納入方法	時期 陰8月下旬　方法 小作人持參セリ		
減免ノ事例	—		
小作料附加物	黄豆稈(豆稭)大車1車 800斤		
小作人ノ義務	—		

(3) 租稅ノ分擔

	稅額	地主ヘノ支拂額	小作人ヨリノ受入額	時期
國稅	地主負擔	—	—	
晌捐	地主負擔	—	—	
村費	6.27圓	地主ト小作人ト折半	—	3月、8月、9月
看青費	3.3升	同 折半	—	9月

備考

看青費ハ高粱1天地3升ノ割合ナリ

8 建　　物

（A） 建

房別 ＼ 所有借入別 ＼ 種別	住				居	農				舍
	所有	入典	借入	家賃	（家主名）	所有	入典	借入	借料	（家主名）
瓦房	間 —	—	—	—	—	間 —	—	—	—	—
草房	4.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平房	—	—	—	—	—	3.0	—	—	—	—
馬架房	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
畜圈	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
倉子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（B） 農

種別	大車	碾子	磨	扇車子	犁丈	壊耙
所有數	—	—	—	—	—	—

9 家

			康德二年末所有頭數				年內增加			年內減		
							年內購入		年內	年內販賣		年內
			總數	牝	牡	去勢	頭數	價格	生產	頭數	價格	屠殺
役畜	牛	滿二年以上	—	—	—	—	—	圓 —	—	—	圓 —	—
		滿二年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬	滿三年以上	—	—	—	—	—	—	—	1	60.00	—
		滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	騾	滿三年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	驢	滿三年以上	—	—	—	—	—	—	—	2	225.00	—
		滿三年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用畜	牛	滿二年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		滿二年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	緬羊	滿一年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		滿一年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	山羊	滿一年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		滿一年未滿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	豚	成	1	1	—	—	1	13.[illegible]	5	5	[illegible]	1
		仔	1	—	—	1	1	1.50	—	—	—	

鷄	5	家鴨	—	鵞	—	犬	1

農　　　具

物

畜舎 所有	入典	借入	借料	（家主名）	其ノ他	出典 数量	入典者名	貸付 数量	借家人名	家賃	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	

具

繰綿機	機織機	脱穀機	貸付賃	借入賃	修繕費	備考
—	—	—	—	—	—	

畜

少 年内斃死	差引 増	減	牲畜税	牲畜捐	貸付	寄託	借入	受託	備考
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		− 1	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		− 2	—	—	—	—	—	—	1頭　115.00圓 〃　110.00圓
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	1月5頭分娩 6月15日韓徳才＝30.00圓＝テ母仔共＝販賣セリ、12月初メ＝購入12月下旬自家用＝屠殺セリ、牡去勢1頭ヲ3月＝購入
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		—	—	—	—	—	—	—	
—		1	—	—	—	—	—	—	豚屠殺毛ハ椀4ケト交換 骨ハ洋火2箱ト交換ス

兎	—	七面鳥	—	蜂窠	—	備考

10　雑　収　支

雑収入	銀額	摘要	雑支出	銀額	摘要	
畜産収入	豚毛	椀4個洋火2箱ト交換	肥料購入	—		円
商業	—	—	飼料購入	3.00	高粱糠　6斗 粳子糠　5斗	1.3 1.2
工業	—	—	小農具購入	—	—	
柞蚕	—	—	種苗購入	1.00	茄子苗　500本 葱苗　50斤	0.5 0.5
其他兼業	—	—	家畜費	—	—	
出資銀配當	—	—	林産支出	—	—	
林産	—	—				
農産加工	—	—				
俸給	—	—				
貯金預金ノ利子	—	—				
出稼人仕送金	—	—				

11　生　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	三月 數量	三月 單價	三月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	數量	單價	價額
住居費	住居修繕費	—	円 —	円 —	1回	円 —	円 5.00	—	円 —	円 —	—	円 —	円 —
	アンペラ	2枚	0.75	1.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料費	年紙類												
	包米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高粱	—	—	—	13.50石	5.56	75.00	—	—	—	—	—	—
	高粱米	—	—	—	4.74石	6.33	30.00	—	—	—	—	—	—
	谷子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	白麺	—	—	—	—	—	—	2袋	3.00	6.00	1袋	3.00	3.0
	粉條	30斤	0.15	4.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	猪肉	—	—	—	—	—	—	18斤	0.18	3.24	6斤	0.18	1.0
	鹽	100斤	0.08	8.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	猪油・豆油	100斤	0.20	20.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	米	0.80石	2.50	20.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	蔬菜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	魚肉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	麺鹹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	酢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	醤油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	赤砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	白砂糖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	瓜果子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

臨時收支

臨時收入	銀額	摘要	臨時支出	銀額	摘要
土地賣却	—		土地購入	—	
建物賣却	—		建物新築	—	
大農具賣却	7.00	大車ノ一部(車棚)賣却ス	建物購入	—	
出資銀回收	—	—	出資銀	—	
被贈與	—	—	大農具購入	—	
			出産費	—	
			冠婚費	—	
			葬祭費	—	
			醫料費	—	
			送金(學費)	100.00	長男ノ學資 食費 10圓 宿賃25圓 被服費30圓ソノ他35圓
			贈與	15.00	弊士 子供等ヘ
			寄附	—	
			移轉費	28.00	6月7日匪襲ヲ避ケルタメ縣城ニ移轉セリ

費 (一)

八月 數量	八月 單價	八月 價額	數量	單價	價額	年關 數量	年關 單價	年關 價額	總計 數量	總計 價額	備考
1回	圓 —	圓 5.00	—	圓 —	圓 —	—	圓 —	圓 —	2回	圓 10.00	鹽60斤 圓 4.80 土運搬 3.50 日工 1.70
—	—	—	—	—	—	—	—	—	2枚	1.50	
						7品		5.80	7品	5.80	縣城ヨリ現金購入
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.50石	75.00	高家窩棚現金購入
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.74石	30.00	索葦溝ヨリ現金購入
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2袋	3.00	6.00	—	—	—	3袋	3.20	9.60	8袋	24.60	縣城ヨリ現金購入
—	—	—	—	—	—	—	—	—	30斤	4.50	本屯ニテ行商人ヨリ現金購入
18斤	0.20	3.60	—	—	—	—	—	—	42斤	7.92	夏家樓ニテ同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	100斤	8.00	縣城ヨリ同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	100斤	20.00	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.80石	20.00	大靑堆子ニテ同上
3畝	3.00	9.00	—	—	—	—	—	—	3畝	9.00	本屯王永生ヨリ同上
—	—	—	—	—	—	10斤	0.25	2.50	10斤	2.50	本縣城ニテ現金購入
—	—	—	—	—	—	10斤	0.05	0.50	10斤	0.50	同上
—	—	—	—	—	—	4斤	0.05	0.20	4斤	0.20	同上
—	—	—	—	—	—	2斤	0.20	0.40	2斤	0.40	同上
—	—	—	—	—	—	1斤	0.12	0.12	1斤	0.12	同上
—	—	—	—	—	—	2斤	0.16	0.32	2斤	0.32	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	8.00	甜菜瓜西瓜果類現金

12　生　　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	三月 數量	三月 單價	三月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	六月 數量	六月 單價	六月 價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
被服費	白布	—	—	—	56尺	—	5.00	—	—	—	—	—	—
	染布	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56尺	0.12	6.7[illegible]
	其他布類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30尺	0.13	3.90
	染賃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	棉花	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	針	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	糸	—	—	—	1.5斤	0.80	1.20	—	—	—	—	—	—
	衣服	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寢具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	帽子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	襪	—	—	—	—	—	—	7足	0.35 0.15	0.70 0.75	—	—	—
	烏拉草	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	烏拉靴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光熱費	石油	—	—	—	15斤	0.12	1.80	—	—	—	—	—	—
	臘燭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	土煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	樹枝葉	—	—	—	—	—	—	350捆	2.50	8.75	—	—	—
	楷草	—	—	—	—	—	—	800〃	2.00	16.00	—	—	—
	洋火	—	—	—	3箱	0.15	0.45	—	—	—	—	—	—

13　生　　活

費目	種類	二月 數量	二月 單價	二月 價額	三月 數量	三月 單價	三月 價額	五月 數量	五月 單價	五月 價額	六月 數量	六月 單價	六月 價額
			圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	圓
什器費	碗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	皿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鉢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	箸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	教育費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	慶弔費	30回	0.50	15.00	—	—	—	10回	0.50	5.00	—	—	—
嗜好品費	酒	10斤	0.20	2.00	—	—	—	20斤	0.20	4.00	20斤	0.2[illegible]	4.[illegible]
	煙草	15斤	0.25	3.75	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	茶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	阿片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	娛樂費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他諸費	賣藥費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	化粧裝身具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通信費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

費　（二）

八月			十一月			年間			總計		備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
	圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
—	—	—	—		—	—	—	—	56尺	5.00	本縣城ニテ現金
—	—	—	—		—		—	—	56尺	6.72	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	30尺	3.90	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5斤	0.55	2.75	—	—	—	—	—	—	5斤	2.75	同上
5包	0.04	0.20	—	—	—	—	—	—	5包	0.20	同上
·	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5斤	1.20	同上
1箱	11.00	11.00	·	—	—	—	—	—	1箱	11.00	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2ケ	1.80 0.60	2.40	—	—	—	—	—	—	2ケ	2.40	同上
2足	1.40 1.60	3.00	—	—	—	—	—	—	2足	3.00	同上
—	—	—	—	·	—	8足	0.35 0.15	1.05 0.75	15足	3.25	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	30斤	0.12	3.60	—	—	—	45斤	5.40	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六月ハ縣城ニテ同上
—	—	—	1,000捆	2.50	25.00	—	—	—	1,350捆	33.75	11月ハ小楡樹ニテ現金購入
—	—	—	2,500〃	1.00	25.00	—	—	—	3,300〃	41.00	夏家樓ニテ現金
—	—	—	—	—	—	2箱 2〃	0.15 —	0.30 —	5箱 2〃	0.75 -	2箱ハ豚毛ト交換

費　（三）

八月						年間			總計		備考
數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	單價	價額	數量	價額	
	圓	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
—	—	—	—	—	—	4	—	—	4個	—	豚毛ト交換ス
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5個	0.20	1.00	—	—	—	—	—	—	5個	1.00	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.00	
10回	0.50	5.00	—	—	—	—	—	—	50回	25.00	
10斤	0.20	2.00	—	—	—	10斤	0.20	2.00	70斤	14.00	調兵山ニテ現金購入
10斤	0.25	2.50	—	—	—	—	—	—	25斤	6.25	縣城ニテ現金購入
—	—	—	—	—		6ケ	0.15	2.40	6斤	2.40	同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	20回	2.00	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	2品	—	1.00	2品	1.00	クリーム 蜜油　同上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410.33	

14 貸借關係

借入

	借入先 氏名	住所	職業	關係	借入時期	借入銀額種類數量	借入方法	擔保保證	利子手數料	返濟法	期限	用途	利子支拂	實際返濟時期	返濟額種類數量	未濟額	備考
前年ヨリノ繰越債務	郭坤	縣內姜家窩棚	農業	親戚	大同2年12月	圓 110.00 現洋	金主ノ宅ニテ直口	—	月利2分5厘	期限ニ元利一時拂	10ヶ月	負債整理ノタメ	—	康德2年3月	圓 151.25 國幣	—	小作料未收ノタメ借用
	李鳴國	本縣城內	地主	同上	康德元年12月	圓 250.00 國幣	同	—	同	同	5ヶ月	同上	—	同年12月	圓 325.00 國幣	—	同上
	王永生	本屯	農業	—	民國20年	190.00 國幣	金主ノ宅ニテ證書	土地2天出典	—	—	—	同上	—	—	—	190.00	證書占ケレドモ返濟期限ハ隨意
康德二年借入並返濟	何啓先	本縣巡崔屯	官吏	親戚	12月	220.00 國幣	直口	—	月利2分5厘	期限ニ元利一時拂	12ヶ月	同上	—	未濟	—	225.50	
	廣泉當	本縣々城	當舖	—	6月	7.00 國幣	直口	衣服2枚	同	現金一時拂	18ヶ月	縣城ニテ移轉費ニ充當ス	—	—	—	8.22	

15 貸付 ナシ

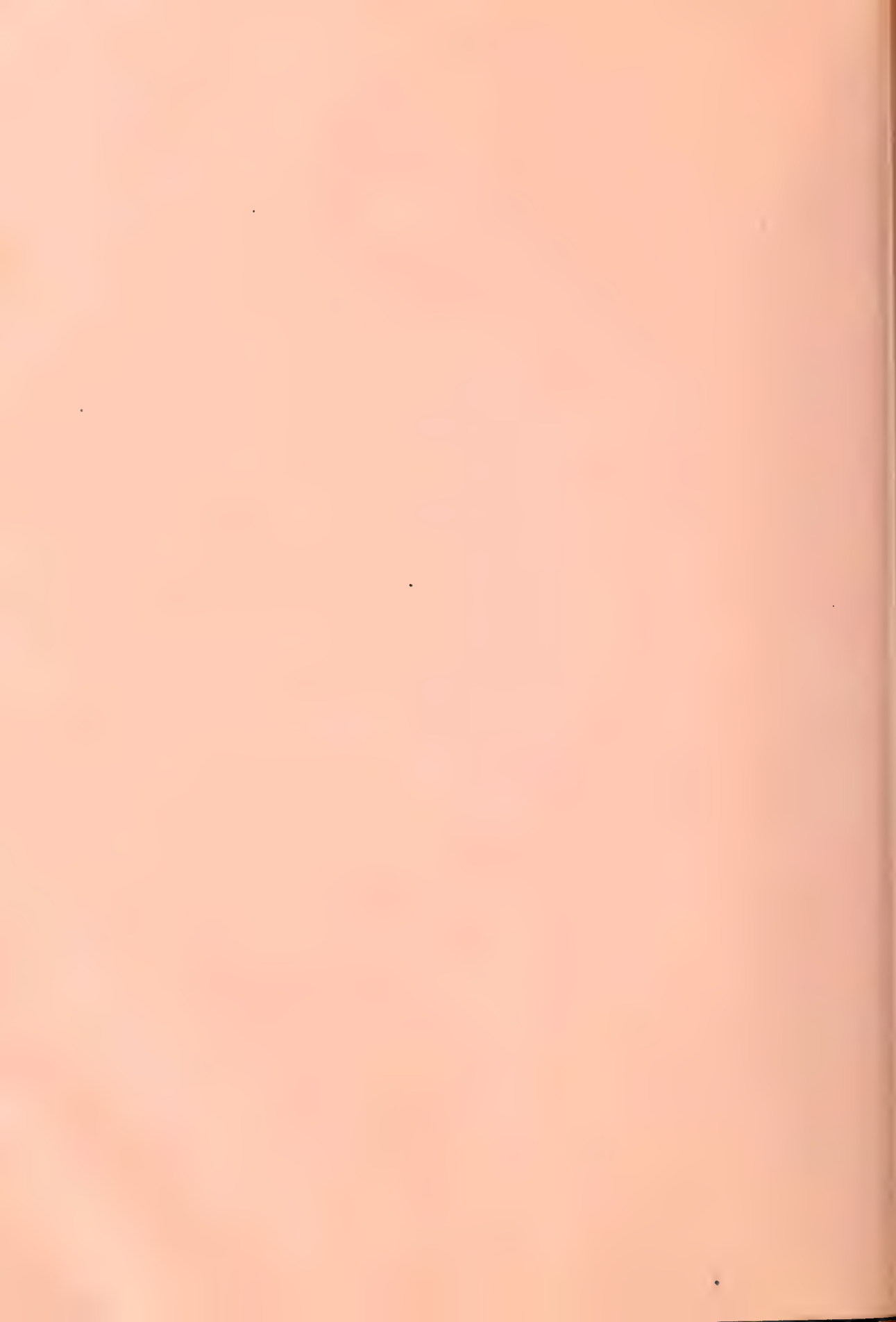
16 現銀總括表

收入之部 種類	該當票	現銀	摘要
前年度ヨリノ繰越銀	ナシ	圓 —	
勞賃收入	勞働條件票	—	
雇牛具收入	勞働條件票	—	
農產物收入	5	45.00	黃豆3石賣却代
副產物收入	5	—	
小作料收入	7	651.00	小作地21.3天地分
建物貸賃收入	8	—	
農具貸賃收入	8	—	
家畜收入	9	315.00	騾2頭 馬1頭 豚1頭 賣却代金
雜收入	10		
臨時收入	10	7.00	車棚賣却代
借入銀	15	227.00	借入件數3件
貸付銀回收	14	—	
入典者ヨリ受入	6	5.00	入典者ヨリ受入稅額
計		1,250.00	

支出之部 種類	該當票	現銀	摘要
翌年度ヘノ繰越銀	ナシ	圓 100.62	本年度剩餘金
勞賃支出	勞働條件票	15.00	月工日工勞銀、支出額
雇牛具支出	勞働條件票	—	
販賣費支出	5	—	
小作料支出	7	—	
建物借賃支出	8	—	
農具修繕費	8	—	
農具借賃支出	8	—	
家畜支出	9	19.50	豚2頭購入
臨時支出	10	143.00	學資金100圓贈與 15圓移轉費28圓
生活費支出	11. 12. 13.	410.33	生活費累計
貸付銀支出	14	—	
借入銀返濟	15	476.25	借入銀返濟2件
諸稅公課	6. 7. 9.	81.30	諸稅公課合計
雜支出	10	4.00	飼料種苗ヲ購入
計		1,250.00	

第四部　四隣屯其他

屯ノ概況

總　　括

1. 戸　　數　167戸

耕作農家	113戸	
其ノ他	54戸	

2. 人　　口

男	598人	
女	596人	
計	**1,194人**	

3. 勞　　働

雇傭年月工	31人	
被傭者	123人	（屯内　109人　　出稼　14人）

4. 土地所有

耕地	3,495.45畝	1戸當耕地　20.93畝

5. 土地利用

自作地	2,612.45畝	
小作地	3,509.00〃	
耕作地計	6,121.45〃	1戸當耕作地　36.65畝
貸付地	883.00〃	

6. 小作關係

定額金納	36件
定額物納	12〃
分益物納	47〃
計	**95〃**

7. 大家畜所有

馬	46頭
牛	7〃
騾	44〃
驢	34〃

8. 大農具所有

大車	42臺
犁丈	70架

屯ノ概況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・交通關係）

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

清朝ノ雍正２年＝萬某ガ本屯開拓ノ祖トナル、故＝萬家所身ノ屯名ヲ起因ス。

3. 交易關係

○中心都市・其レトノ交通關係　鐵嶺縣城内

○賣却及購入市場（都市名）　主トシテ鐵嶺＝シテ法庫トハ多少ノ關係ヲ有スルノミ、共同購入全然ナシ。

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等＝ツキ）

勞働市場ハ隣屯ノ三家子トス、行商關係ハ調査屯ト結ブ。

4. 自然的條件並＝災害

地　質・地　味　　　　　　　水　質

粘質黑土＝シテ地味肥沃ナレド、地下水高ク一般＝硬水＝シテ、あるかり性强度ナリ。

◎水　　害

光緒30年前後ハ水害甚ダシク８割ノ減收ナリ。
光緒８年＝降雨多ク、１週間ノ連雨＝調兵山ヨリ氾濫シ、耕地ノ８割浸水シ土垣ハ破壞サレ被害甚大ナリキ。康德１年ハ５割以上ノ被害ヲ受ケ作柄５割減トス。

◎旱・風　害

低濕地ナル故旱魃ノ年ハ他地方＝比較シ、作況豐＝シテ旱害全クナシ。
毎年風害アリ南北ノ畦＝特＝大ナリ、３月乃至４月頃ノ季節風＝再播種ヲナスコト尠ナカラズ。

◎病　虫　害

康德１．２年ハ虫害甚シク高粱、黄豆、穀子、小麥等＝寄生ス、高粱、小麥＝ハ蚜虫、黄豆ハ豆こがね、穀子ハ78年前特＝被害大ナリキ。　病害ハ黑穗病＝シテ小麥高粱＝多シ。

廢耕地ノ有無其ノ原因

廢耕地ハ全然ナキモ、屯ノ北4〜5滿里ノ處＝220天地ノ荒地アリ、濕地＝シテあるかり性强キ爲ナリ。

5. 匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ

民國20年本屯＝匪賊ノ襲來アリ、家畜、穀物等ヲ掠奪サレ、屯民ハ全部夏家樓及縣城＝避難セリ。
民國18年頃ハ本屯ノ黄金時代＝テ事變後ノ匪害＝依リ生活難＝陷入リシガ屯民ノ奮鬪努力ノ結果現在デハ７乃至８割迄恢復セリト。

6. 度　量　衡

桝ノ大キサ（メートル尺＝テ測ル）

舊秤　　斤８　新度量衡斤＝　　　　（同一物ヲ秤ル）

１晌＝7,200弓　１弓＝8.5平方尺(横) 1.7尺 (從) 5尺

１尺＝63cm

屯ノ概況

1 晌當收量並小作關係

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">天地當</th><th rowspan="2">地價</th><th rowspan="2">高粱</th><th rowspan="2">黄豆</th><th rowspan="2">粳米</th><th rowspan="2">穀子</th><th rowspan="2">棉子</th><th colspan="3">小作料</th><th colspan="3">附加物條件</th></tr>
<tr><th>金納</th><th>物納定額</th><th>分益</th><th></th><th>晌捐</th><th>村費</th></tr>
<tr><td rowspan="3">現在收量</td><td>上地</td><td>圓
200</td><td>石
4.0</td><td>石
3.5</td><td>石
—</td><td>石
3.5</td><td>石
—</td><td>圓
26</td><td>石
2.0</td><td>5:5</td><td rowspan="2">地主側負擔</td><td rowspan="2">全額負擔</td><td rowspan="2">分益ハ折半</td></tr>
<tr><td>中地</td><td>圓
150</td><td>3.0</td><td>2.0</td><td>4.0</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td><td>1.5</td><td>5:5</td></tr>
<tr><td>下地</td><td>圓
70
｜
80</td><td>1.0</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>3.5</td><td>14
｜
15</td><td>0.6
｜
0.7</td><td>5:5</td><td>小作人側負擔</td><td>—</td><td>全額負擔</td></tr>
<tr><td colspan="3">最豐作年時
其ノ收量</td><td>民國13年
石
4.5</td><td>同
4.0</td><td>同
4.5</td><td>同
4.0</td><td>同
4.0</td><td rowspan="3">備考</td><td colspan="5" rowspan="3">金納ノ場合ハ前納カ　民國7.8年頃ヨリ物納分
　益ガ漸次銀納型態ニ變化セリ
　全部銀納前拂ナリ
物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　全部高粱ナリ
小作料ニ附加物(建物•役畜•農具•種子•肥料)ナシ
小作人ノ義務　ナシ
不在地主ト屯住地主ノ差異ナシ</td></tr>
<tr><td colspan="3">最凶作年時
其ノ收量</td><td>光緒8年
0.6</td><td>同
0.5</td><td>同
3.0</td><td>同
3.0</td><td>同
3.0</td></tr>
<tr><td colspan="3">開拓當時收量</td><td>雍正2年
8.0</td><td>同
小麥
3.0</td><td>同
磨石豆
2.5</td><td colspan="2">地力ハ10年間位繼續セリ</td></tr>
</table>

舊制石ニ依ル

2 大地主

<table>
<tr><th colspan="6">屯內大地主</th><th colspan="7">屯外大地主（屯內ニ土地ヲ所有スル者）</th></tr>
<tr><th>氏名</th><th>職業</th><th>身分</th><th>所有耕地</th><th>所有廢耕地</th><th>其他所有地</th><th>氏名</th><th>住所</th><th>職業</th><th>身分</th><th>所有耕地</th><th>所有廢耕地</th><th>其他所有地</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>黄景新</td><td>鐵嶺縣域</td><td>地主</td><td>—</td><td>天地
70.00</td><td>—</td><td>天地
1.60</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>黄景正</td><td>同上</td><td>同</td><td>—</td><td>50.00</td><td>—</td><td>0.80</td></tr>
</table>

註　屯內大地主ナシ

屯ノ概況

雜　　項

1. 勞働ノ過不足

屯內勞働力ニテ足リルカ

不足ノ時期　過不足ナシ。

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係、其ノ大約ノ人數）

特ニ多忙ナル播種、除草期ニハ、王家子ノ勞働市場ヨリ1日ニ4人乃至5人ヲ雇フ、1ケ年ニ30人〜40人位ナリ。

2. 勞　　賃（年內平準値）

日工　25錢　年工（跟做的）　45圓　月工（跟做的）　5圓

勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

除草　20錢
收穫　30〃

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得ザレバ割合ノミ）

黃豆　200天地　高粱　200天地　粳子　40天地　棉子　70天地　穀子　90天地

特色アル作物ノ有無名稱

小麻子ハ圃場ノ周ニ耕作ス。

4. 主食物名

高粱　70％

穀子　30％

5. 販賣作物名

黃豆　640石　1石　12圓

粳子　110〃　〃　10圓

6. 主要ナル副業　　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

ナシ　　鐵嶺縣ヲ主トシテ行商ハ隣屯ヲ以ツテ主トス。

7. 特殊ナル事實

土地關係

入典地相當アリ、轉典或ハ入典貸付等ヲ見ル。
典價ハ1天地70圓乃至80圓ニシテ、轉典ノ場合ハ、原典價ヨリ高價ナルコトナシ。
回贖ノ場合地主ハ第一ノ入典者ヨリ行ハル。
不在地主ハ民國15年頃治安不良ノ爲、兄弟分家シテ縣城ニ移住セリ。

小作關係

錢納定額70％他ハ物納定額及分益ナリ。
分益小作ノ附加物全然ナシ。
土地ノ細分化ニ依ル影響ナリ。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

主トシテ屯內ノ融通ニシテ、例外的ニ質屋ヨリ借入ス。
屯內ハ月利2分ヲ普通トス。
1戶平均負債額150圓位ニシテ總額2萬圓トス。
土地ヲ擔保トシテ金融スル者多シ。
最高1戶4,000圓アリ、具體的償還方法ナキモ、生產ノ增加ヲ計リ生活ヲ向上セシメントス。

勞働關係（擠靑、雇牛具、插具、换工等ニ注意）

雇牛具、插具、换工等何レモ行ハレ耕作スルガ、擠靑ハ全クナシ。

共同耕作　ナシ

總有地　（山林　牧地等）

屯ノ北方ニ13天地ノ總有地アリ、豚ノ放牧地ニ供ス。

地稅ハ屯民均分負擔トス。

鐵嶺縣第七區夏家樓村萬家房身屯　　屯　　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年（月）工	被傭員數 屯內	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 牧地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
總計			598	596	31	109	14	4,185.70	3,495.45	63.00	258.00	369.25	2,612.45
一戶當平均			—	—	—	—	—	25.06	20.93	—	—	—	—
1	漢	地主	3	2	—	—	—	150.00	150.00	—	—	—	—
2	〃	〃	3	3	—	—	—	83.30	80.00	—	—	3.30	—
3	〃	〃	4	3	—	—	—	57.00	45.00	—	—	12.00	—
4	〃	〃	1	1	—	—	—	41.00	40.00	—	—	1.00	—
5	〃	〃	1	1	—	—	—	36.00	35.00	—	—	1.00	—
6	旗	〃	1	1	—	—	—	25.00	23.00	—	—	2.00	—
7	漢	地・自	3	4	—	—	—	223.00	223.00	—	—	—	45.00
8	〃	〃	2	2	—	—	—	170.00	170.00	—	—	—	10.00
9	〃	〃	3	1	—	—	—	92.00	90.00	—	—	2.00	10.00
10	〃	〃	3	2	—	—	—	41.30	40.00	—	—	1.30	10.00
11	〃	〃	2	3	—	—	—	43.00	40.00	—	—	3.00	30.00
12	〃	〃	1	1	—	—	—	21.50	20.00	—	—	1.50	10.00
13	〃	地・自・小	3	2	—	—	—	21.00	20.00	—	—	1.00	10.00
14	〃	地・小	4	4	—	—	—	15.00	15.00	—	—	—	—
15	〃	地・雇	2	2	—	年 1 日 1	—	12.00	10.00	—	—	2.00	—
16	旗	地・雇・雜	2	2	—	月 1	—	9.50	7.00	—	—	2.50	—
17	漢	自作	14	13	年 1	—	—	291.00	280.00	—	—	11.00	280.00
18	〃	〃	13	11	年 2	—	—	264.30	220.00	—	40.00	4.30	220.00
19	〃	〃	6	5	年 1	—	—	118.00	114.00	—	—	4.00	114.00
20	〃	〃	6	5	年 2	—	—	105.00	100.00	—	—	5.00	100.00
21	〃	〃	2	2	年 1	—	—	84.00	82.00	—	—	2.00	82.00
22	〃	〃	3	6	年 1	—	—	74.30	70.00	—	—	4.30	70.00
23	〃	〃	4	5	—	—	—	68.50	67.00	—	—	1.50	67.00
24	〃	〃	4	10	年 1 月 1	—	—	80.50	66.20	10.00	—	4.30	66.20
25	〃	〃	4	4	—	—	—	30.00	30.00	—	—	—	30.00
26	〃	〃	4	2	年 1	—	—	41.00	25.00	—	15.00	1.00	25.00
27	〃	〃	2	4	—	—	—	24.80	22.00	—	—	2.80	22.00
28	〃	〃	4	5	—	—	—	43.00	20.00	20.00	—	3.00	20.00
29	〃	〃	3	1	—	—	—	22.00	19.00	—	—	3.00	19.00
30	〃	〃	4	6	年 1	—	—	17.00	15.00	—	—	2.00	15.00
31	〃	〃	2	1	—	—	—	16.00	14.00	—	—	2.00	14.00

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

屯　ノ

農家番號	族別	經營様式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年(月)工	被傭員數 屯内	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 牧地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
32	漢	自作	2	3	—	—	—	17.75	11.25	—	5.00	1.50	11.25
33	〃	〃	3	3	—	—	—	13.00	10.00	—	—	3.00	10.00
34	〃	自・小	7	9	年 2	—	—	179.20	165.00	—	10.00	4.20	165.00
35	〃	〃	6	7	年 1 月 1	—	—	83.00	80.00	—	—	3.00	80.00
36	〃	〃	8	8	年 1	—	—	64.30	60.00	—	—	4.30	60.00
37	〃	〃	3	2	年 2	—	—	53.00	50.00	—	—	3.00	50.00
38	〃	〃	5	10	—	—	—	48.00	48.00	—	—	—	48.00
39	〃	〃	11	12	—	—	—	54.30	50.00	—	—	4.30	50.00
40	〃	〃	3	9	年 1	—	—	40.50	40.00	—	—	0.50	40.00
41	〃	〃	4	4	年 1	—	—	72.00	40.00	—	30.00	2.00	40.00
42	〃	〃	6	5	年 2	—	—	44.30	40.00	—	—	4.30	40.00
43	〃	〃	8	7	年 1	—	—	53.80	40.00	10.00	—	3.80	40.00
44	〃	〃	6	5	—	—	—	40.50	39.00	—	—	1.50	39.00
45	〃	〃	7	4	年 2	—	—	84.00	36.00	—	44.00	4.00	36.00
46	〃	〃	11	11	—	—	—	34.00	34.00	—	—	—	34.00
47	旗	〃	2	4	年 2	—	—	83.00	30.00	—	50.00	3.00	30.00
48	漢	〃	6	6	月 1	—	—	34.00	30.00	—	—	4.00	30.00
49	〃	〃	5	5	月 1	—	—	32.00	30.00	—	—	2.00	30.00
50	〃	〃	6	7	—	—	—	29.00	25.00	—	—	4.00	25.00
51	〃	〃	8	7	—	—	—	27.00	24.00	—	—	3.00	24.00
52	〃	〃	3	5	—	—	—	30.50	24.00	—	—	6.50	24.00
53	〃	〃	4	5	—	—	—	22.50	20.00	—	—	2.50	20.00
54	〃	〃	8	2	—	—	—	23.50	21.00	—	—	2.50	21.00
55	〃	〃	4	5	—	—	—	25.00	20.00	—	—	5.00	20.00
56	〃	〃	4	3	—	—	—	23.00	20.00	—	—	3.00	20.00
57	〃	〃	4	4	—	—	—	30.30	18.00	—	12.00	0.30	18.00
58	〃	〃	4	6	—	—	—	19.00	14.00	—	—	5.00	14.00
59	〃	〃	3	1	—	—	—	14.00	14.00	—	—	—	14.00
60	〃	〃	4	4	—	—	—	12.50	10.00	—	—	2.50	10.00
61	〃	〃	4	3	—	—	—	11.00	10.00	—	—	1.00	10.00
62	〃	〃	1	2	—	—	—	13.00	10.00	—	—	3.00	10.00
63	〃	〃	2	1	—	—	—	12.00	10.00	—	—	2.00	10.00
64	ノ	〃	6	4	—	—	—	12.00	9.00	—	—	3.00	9.00
65	〃	〃	1	5	年 1	—	—	10.50	8.00	—	—	2.50	8.00

註　本表＝現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	牛	騾	驢	大農具所有 大車	犁丈	備考	農家番號
畝	畝	畝	畝	頭	頭	頭	頭	臺	架		
—	—	11.25	—	—	—	—	—	—	—	換工ヲナシ耕作ス	32
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作ス年支出7圓	33
23.00	定金前20圓	188.00	—	1	—	2	1	1	2	所有地ニ入典地15畝ヲ含ム	34
100.00	分　益5:5	180.00	—	1	—	2	—	1	1		35
80.00	定金後20圓	140.00	—	1	—	2	1	1	2		36
80.00	分　益5:5	130.00	—	1	1	1	—	1	2		37
80.00	〃	128.00	—	1	—	1	—	1	1	出典地1畝アリ(所有地ニ含マズ)	38
60.00	定金前15圓 25〃	110.00	—	—	—	2	—	1	1		39
50.00	定物 1.2石 定金前29圓	90.00	—	2	—	1	—	1	2		40
40.00	分　益5:5	80.00	—	1	—	1	—	1	2		41
110.00	定　金　後	150.00	—	1	—	2	1	1	1	勞銀支出92圓小作地ハ不在地主所有ナリ	42
50.00	定　金　前	90.00	—	2	—	1	—	1	2	勞銀支出56圓出典地22.5畝アリ　(所有地ニ含マズ)	43
40.00	分　益5:5	79.00	—	1	—	—	1	—	—	插具ニヨリ耕作ス	44
40.00	定　金前$\frac{1}{2}$ 後$\frac{1}{2}$	76.00	—	1	—	1	—	1	1	勞銀支出88.60圓墓地共有ナリ	45
130.00	分　益5:5	164.00	—	1	—	2	1	1	2		46
50.00	定　金　前	80.00	—	1	—	1	—	1	2	勞銀支出年100圓ナリ	47
20.00	定金前14圓 分　益5:5	50.00	—	—	—	1	—	—	—	換牛具10日間ニテ耕作ス	48
90.00	定　金　前 分　益5:5	120.00	—	1	—	1	—	1	1	月工1ヶ月7.50圓ヲ支給ス	49
125.00	金納・物納 分　益5:5	150.00	—	1	—	1	—	1	2	換工插具ニ依リ耕作ス	50
96.00	分　益5:5	120.00	—	1	—	1	—	1	1	插具ヲナシ耕作ス	51
50.00	定金前20圓	74.00	—	1	—	—	1	1	—		52
20.00	分　益5:5	40.00	—	1	—	—	—	1	1	換牛具ヲナシ耕作ス	53
40.00	定　金25圓 分　益5:5	61.00	—	1	—	—	—	1	2	插具ニヨリ耕作ス	54
70.00	金納・物納 分　益5:5	90.00	—	1	—	1	—	1	1		55
10.00	分　益5:5	30.00	—	—	—	—	1	—	—	插具ニヨリ耕作ス	56
20.00	金　納20圓 物　納20石	38.00	—	—	—	1	—	—	1		57
50.00	分　益5:5	64.00	—	—	—	1	—	—	—	換工10日ヲナシ耕作ス墓地ハ共有ナリ	58
26.00	〃	40.00	—	—	—	—	—	—	—	插具ニヨリ耕作ス	59
20.00	定金前25圓	30.00	—	1	—	—	—	—	—	換牛具10日ヲナス	60
10.00	定金前20圓	20.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニヨリ耕作ス年支出20圓トス	61
20.00	〃	30.00	—	1	—	—	—	—	—	插具ニヨリ耕作ス	62
17.00	分　益5:5	27.00	—	—	—	—	1	—	—	宅地2畝ヲ入典セリ(所有地ニ含ム)	63
50.00	定　金　前 分　益5:5	59.00	—	1	—	1	—	1	2		64
45.00	〃	53.00	—	—	—	—	1	—	1	換工15日ヲナシ耕作ス	65

概　　　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	牛	騾	驢	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
畝		畝	畝	頭	頭	頭	頭	臺	架		
[illegible]	分 益 5:5 定金前	105.00	—	2	—	—	1	1	2		66
10.0	定金前10圓	28.00	—	1	—	—	—	—	2	換牛具10日ヲナシ耕作ス	67
[illegible]	定物後2.[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	1	—	—	所有地ニ入典地8畝ヲ含ム 換牛具5日ヲナシ耕作ス	68
17.[illegible]	定　金　前	24.00	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入26圓出典地12畝ハ所有地ニ含マズ	69
[illegible]	分　益 5:5	15.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具18圓ヲナシ耕作ス	70
[illegible]	〃	14.00	—	—	—	—	—	—	—	年工收入30圓入典地20畝ハ所有地ニ含ム	71
[illegible]	〃	130.00	—	1	—	1	—	1	3	警士年收50圓出典地20畝アリ所有地ニ含マズ	72
—	—	17.00	—	—	—	—	1	—	—	勞銀收入59圓ナリ	73
—	—	17.00	—	—	—	—	—	—	—	年工收入40圓ナリ雇牛具ヲナシ耕作年支出10圓	74
—	—	15.00	—	—	—	—	—	—	—	換牛具5日ヲナス	75
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具年支出12圓	76
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具4日ヲナシ耕作ス	77
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	年工收入40圓挿具ヲナシ耕作ス	78
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	挿具20日ヲナス墓地共有ナリ	79
—	—	12.00	—	—	—	—	—	—	—	本縣警士年收200圓トス	80
—	—	[illegible]	—	—	—	—	—	—	—	本縣[illegible]貸商ヘ1人年收35圓雇牛具ニテ耕作 ス年支出8圓	81
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具年12圓ニテ耕作ス	82
120.00	定金前20 圓分益5:5	120.00	—	1	—	1	1	1	1		83
110.0	分　益 5:5	110.00	—	—	—	—	—	—	1	小作地附加物トシテ役畜農具アリ	84
100.00	定金前12 圓分益5:5	100.00	—	2	—	1	—	1	1		85
85.00	分　益 5:5	85.00	—	—	—	1	—	—	—	挿具ニテ耕作ス	86
60.00	〃	60.00	—	—	2	—	1	1	1	家屋ト宅地ハ小作地ノ附加物ナリ	87
60.00	物納2.0石 分　益 5:5	60.00	—	—	—	—	—	—	—	換工ヲナシテ耕作ス	88
60.00	分　益 5:5	60.00	—	—	1	1	—	1	1	同　上	89
40.00	定　物　後	40.00	—	—	—	—	1	—	—	菜園3畝出典ス(所有地ニ含マズ)挿具ニテ耕作ス	90
35.00	分　益 5:5	35.00	—	—	1	—	—	—	1	挿具ニテ耕作ス	91
34.00	定物後2.0石	34.00	—	—	—	—	1	—	—	同　上	92
30.00	定　金　後 分　益 5:5	30.00	—	—	—	—	1	—	—	挿牛具11日ヲナス	93
28.00	定物後1.8石	28.00	—	—	—	—	1	—	—	換牛具10日ヲナス	94
25.00	分　益 5:5	25.00	—	—	—	—	1	—	1	挿具ヲナス	95
25.00	〃	25.00	—	—	—	—	—	—	—	換牛具ヲナス	96
10.00	定金前20圓	10.00	—	—	—	—	—	—	—		97
10.00	〃	10.00	—	—	—	—	—	—	—	親戚ヨリ農具役畜ヲ無償借用ス	98

鐵嶺縣第七區夏家樓村萬家房身屯　　屯ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年(月)工	被傭員數 屯內	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 牧地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
99	漢	小・雇	13	7	—	年 1	—	1.00	—	—	—	1.00	—
100	旗	〃	5	8	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
101	漢	〃	6	2	—	年 1 日 1	—	3.00	—	—	—	3.00	—
102	〃	〃	3	4	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
103	滿	〃	5	5	—	年 1 日 1	—	1.50	—	—	—	1.50	—
104	〃	〃	3	3	—	年 1	—	2.00	—	—	—	2.00	—
105	〃	〃	4	3	—	日 1	—	4.00	—	—	—	4.00	—
106	〃	〃	3	3	—	年 1 日 1	—	2.00	—	—	—	2.00	—
107	〃	〃	[illegible]	5	—	年 2 月 2		1.00	—	—	—	1.00	—
108	〃	〃	2	4	—	日 1	日 1	—	—	—	—	—	—
109	〃	〃	1		—	日 1		—	—	—	—	—	—
110	〃	〃	3	4	—	日 1	—	1.00	—	—	—	1.00	—
111	〃	〃	4	3	—	年 2	—	3.00	—	—	—	3.00	—
112	〃	〃	2	2	—	月 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
113	〃	〃	4	4	—	年 3 日 1	—	1.30	—	—	—	1.30	—
114	〃	小・維	3	5	—	月 2 年 1	—	4.00	—	—	—	4.00	—
115	〃	〃	5	2			打黠兒 1	—	—	—	—	—	—
116	〃	〃	3	3	—		大師夫 1	1.00	—	—	—	1.00	—
117	〃	〃	3	3			—	—	—	—	—		—
118	〃	〃	2	3	—		—	4.00	—	—	—	4.00	—
119	〃	〃	2	1			—	—	—	—	—	—	—
120	〃	雇農	5	2	—	年 2 日 2	—	5.00	—	—	—	5.00	—
121	〃	〃	4	1	—	年 2 日 2	—	—	—	—	—	—	—
122	〃	〃	3	3	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
123	〃	〃	6	2	—	年1月 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
124	〃	〃	3	1	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
125	〃	〃	2	2		年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
126	〃	〃	3	3		年 1 日 1		—	—	—	—	—	—
127	〃	〃	4	4	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
128	〃	〃	2	4	—	年 1 日 1	—	1.00	—	—	—	1.00	—
129	〃	〃	4	2	—	年 1 日 1	—	1.00	—	—	—	1.00	—
130	〃	〃	3	3	—	年 1 日 1	—	1.00	—	—	—	1.00	—
131	〃	〃	5	2	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
132	〃	〃	2	3	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況 （四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	牛	騾	驢	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
畝		畝	畝	頭	頭	頭	頭	臺	丁		
14.00	分益5:5	14.00	—	1	—	1	—	1	1		99
57.00	〃	57.00	—	—	—	1	—	—	—	挿具ニテ耕作ス年ニ15日間勞銀收入30圓	100
40.00	定金後	40.00	—	1	—	—			—	勞銀收入43圓	101
30.00	定金・物納 分益5:5	30.00	—	1	—	—	—	1	1	宅地菜園ヲ25圓デ借入ス、換牛具ニテ耕作ス	102
25.00	分益5:5	25.00	—	—	—	—	1		—	換牛具ヲナス	103
20.00	定金前20圓	20.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具年18圓支出2畝ハ共有墓地ナリ	104
20.00	定物後0.3石	20.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具年8圓ニテ耕作ス日工收入12圓	105
20.00	分益5:5	20.00	—	—	—	—	1		—	換工6日ヲナス	106
20.00	〃	20.00	—	—	—	—	1	—	1		107
30.00	〃	30.00	—	1	—	—	—	1	1		108
10.00	定金前	10.00	—	—	—	—	—	—	—	換牛具ヲナス	109
10.00	分益5:5	10.00	—	—	—	—		—	—	日工收入15圓換工ニ依リ耕作ス	110
10.00	定金前	10.00	—	—	—			—	—	年工收入100圓	111
5.00	定金後16圓	5.00	—	—	—	—		—	—	勞銀收入40圓換牛具年4—5日ヲナス	112
10.00	定物後1.8石	10.00	—	—	—	—	—	—	—	換牛具8日間	113
80.00	定物 分益5:5	80.00	—	1	—	—	2	1	1	冬期運搬業ヲナス年收60圓ナリ	114
40.00	定金後25圓	40.00	—	—	—	—	1	—		奉天ニテ打點兒ヲナシ年10圓送金ス挿具ニ依リ耕作ス	115
26.00	分益5:5	26.00	—	—	—	—	1	—	—	縣城ニテ大師夫ヲナス年收56圓換牛具3日ヲナス	116
20.00	物納1.5石 分益5:5	20.00	—	—	—	—	—	—	—	撿糞1人年收10圓アリ換牛具20日ヲナス	117
10.00	定金前8圓	10.00	—	—	—		—	—	—	換牛具10日ヲナシ耕作ス僧侶1人年收40圓	118
20.00	定金前12圓	20.00	—	—	—	—	1	—	—	畫匠ニテ年收30圓アリ	119
—	—	—	—	—	—	—	—	—		共有墓地ナリ冬期間撿糞ヲナス	120
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入83圓ナリ	121
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入78.60圓ナリ	122
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入71.10圓ナリ	123
—	—	—	—	—	—	—			—	勞銀收入70圓ナリ	124
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入60圓ナリ	125
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入57圓ナリ	126
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入38.50圓ナリ	127
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地1畝アリ勞銀收入75圓アリ	128
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地1畝アリ勞銀收入80圓	129
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地1.3畝アリ勞銀收入80圓	130
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入70圓	131
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入42.40圓アリ	132

鐵嶺縣第七區夏家樓村萬家房身屯　　　　屯　　　ノ

農家番號	族別	營業様式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年月工	被傭員數 屯内		被傭員數 出稼	所有面積 計	耕地	牧地	廢耕地	其ノ他	自作地
			人	人	人		人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
133	漢	雇　農	1	1	—	年、月	1	—	—	—	—	—	—	—
134	〃	〃	4	2	—	月 日	1 1	—	35.00	—	—	—	35.00	—
135	〃	〃	4	5	—	月 日	1 1	—	0.30	—	—	—	0.30	—
136	〃	〃	3	2	—	月 日	1 1	—	1.00	—	—	—	1.00	—
137	〃	〃	5	1	—	月 日	1 1	—	2.00	—	—	—	2.00	—
138	〃	〃	1	1	—	月、日	1	—	—	—	—	—	—	—
139	〃	〃	2	2	—	年	1	—	1.30	—	—	—	1.30	—
140	旗	〃	4	3	—	月 日	1 1	—	—	—	—	—	—	—
141	漢	〃	2	—	—	月 日	1 1	—	—	—	—	—	—	—
142	〃	〃	1	—	—	日	1	—	—	—	—	—	—	—
143	〃	〃	3	3	—	日	1	—	5.00	—	—	—	5.00	—
144	〃	〃	1	1	—	日	1	—	—	—	—	—	—	—
145	〃	雇　[illegible]	1	4	—	日	1	1	1.50	—	—	—	1.50	—
146	〃	〃	1	3	—	年	1	—	—	—	—	—	—	—
147	〃	〃	6	6	—	日	1	大師夫 1	1.50	—	—	—	1.50	—
148	〃	〃	1	1	—	月、日	1	會丁 1	—	—	—	—	—	—
149	〃	〃	3	—	—	年	1	日 1	—	—	—	—	—	—
150	〃	〃	3	2	—	日	2	—	2.00	—	—	—	2.00	—
151	〃	〃	3	1	—	日	2	—	13.00	—	—	—	13.00	—
152	旗	〃	2	3	—	日	1	鐵修理 1	—	—	—	—	—	—
153	漢	〃	2	5	—	日	1	—	2.00	—	—	—	2.00	—
154	〃	〃	2	4	—	日	1	—	0.25	—	—	—	0.25	—
155	〃	[illegible]　農	1	4	—		—	—	—	—	—	—	—	—
156	〃	〃	2	3	—		—	看青的 1	—	—	—	—	—	—
157	〃	〃	2	3	—		—	—	—	—	—	—	—	—
158	〃	〃	1	2	—		—	—	2.30	—	—	—	2.30	—
159	〃	〃	3	4	—		—	—	—	—	—	—	—	—
160	〃	〃	1	6	—		—	—	6.50	—	—	—	6.50	—
161	〃	〃	2	2	—		—	—	1.30	—	—	—	1.30	—
162	〃	〃	—	3	—		—	會丁 1	—	—	—	—	—	—
163	〃	〃	1	1	—		—	—	—	—	—	—	—	—
164	〃	〃	1	1	—		—	—	—	—	—	—	—	—
165	〃	〃	1	1	—		—	—	—	—	—	—	—	—
166	〃	〃	1	1	—		—	—	0.50	—	—	—	0.50	—
167	〃	〃	1	2	—		—	—	—	—	—	—	—	—

本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況（四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有				大農具所有		備　　考	農家番號
				馬	牛	騾	驢	大車	犂丈		
畝		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入42圓	133
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	所有地其ノ他35畝ノ内荒地30畝ヲ含ム 勞銀收入60圓荒地５畝ヲ32圓デ出典ス（所有地ニ含マズ	134
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地1.3畝ヲ含ム勞銀收入50圓	135
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	墓地1畝アリ勞銀年收55圓	136
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入[illegible]圓	137
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入35圓	138
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地1.3畝ヲ有ス豆腐製造ヲナス年收20圓	139
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入48圓	140
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入9.50圓親戚ニ寄偶ス	141
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10年前妻死亡シ獨身ナリ	142
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入20圓冬期間撿糞ヲナス	143
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入８圓冬期間撿糞ヲナス	144
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入３圓本縣城ニテ店員見習年送金20圓裁縫收入４圓	145
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入50圓	146
—	—	—	—	—	—	—		—	—	日工收入30圓大師夫年收20圓（小半拉子）	147
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀年收９圓會丁高粱2.5石６ケ月分ナシテ給與サル	148
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入36圓	149
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入10圓乞食ヲナス	150
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	所有地其他13畝ノ内荒地10畝ヲ含ム 勞銀收入30圓燃料採取20圓	151
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入27圓靴修理年收20圓	152
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地２畝アリ乞食ヲナス	153
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	撿糞收入５圓薪採取收入15圓乞食ヲナス	154
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	僧侶年收50圓	155
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	看青的年收25圓薪採取收入20圓ナリ	156
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商業（飯店）ヲナス年收80圓	157
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	行商人屯内ニテ食料店ヲナス年收50圓	158
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	屯内ニテ裁縫ヲナス年收80圓	159
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	墓地1.5畝ヲ有ス食料雜貨ヲ行商ス年收70圓	160
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	裁縫ニテ生活ス	161
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	裁縫ヲナス	162
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	會丁ヲナス年收高粱２石	163
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	撿糞又ハ乞食ヲナス	164
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	同　　上	165
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	共有墓地 3.5 畝ヲ有ス乞食ヲナス	166
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	乞食生活ヲナス	167

屯ノ概況

總　　　括

1. 戸　　數　133戸

耕作農家	77戸
其ノ他	56戸

2. 人　　口

男	397人
女	424人
計	821人

3. 勞　　働

雇傭年月工	59人		
被傭者	58人	（屯内　57人	出稼　1人）

4. 土地所有

耕地	4,379.83畝	1戸當耕地	32.93畝

5. 土地利用

自作地	3,845.40畝		
小作地	2,648.70〃		
耕作地計	6,494.10〃	1戸當耕作地	48.83畝
貸付地	534.43〃		

6. 小作關係

定額金納	42件
定額物納	8〃
分益物納	17〃
計	67〃

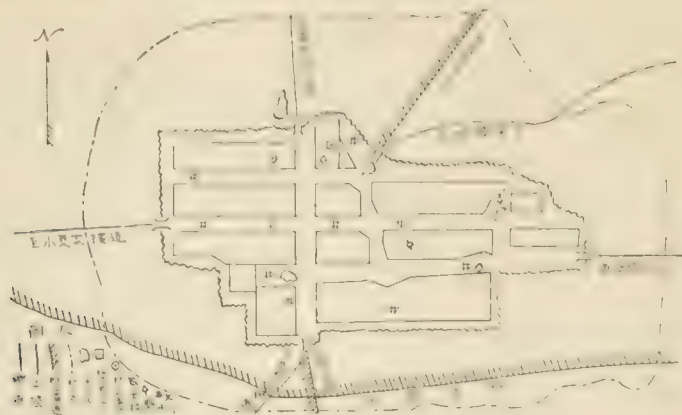
7. 大家畜所有

馬	34頭
騾	52〃
驢	25〃

8. 大農具所有

大車	32臺
犁丈	82架

屯ノ概況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・交通關係）

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

300年前清朝ノ康熙年間ニ夏ト稱スル人草分ヲナシ、家ニ樓ノ如キモノヲ建築セシ爲、夏家樓ト稱スルニ至ル。

3. 交易關係

〇中心都市・其レトノ交通關係　南滿鐵道開通以前ハ、法庫縣ニ2割、[illegible]縣城ニ8割位ナリシモ、鐵道開通後漸次本縣城ニ吸收サレ、現在デハ鐵嶺95%、法庫5%ノ交易關係ヲ有ス。

〇賣却及購入市場（都市名）　賣却ハ主トシテ本縣城デ、購入ハ鐵嶺及大靑堆子トス。

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）

勞力需給ノ關係ハ調査屯一般ニ耕作早キ爲、播種、除草、收穫等相當ニ需給關係ヲ結ブ　調査屯ヨリ0.6本屯ヨリ0.4ノ割合トス。　行商ハ日用品ヲ主トシテ行商人及雜貨商ヨリ購入シ、調査屯ヨリ行商ニ來ルモノ少シ。

4. 自然的條件並ニ災害

地質・地味
黑色壤土地味中庸ナリ。

水質
盆地ノ如キ地形ノ爲、あるかり性ノ硬水ニシテ水質不良ナリ。

◎水害
遼河ノ洪水ナキモ降雨ノ爲、立地的條件佳ナラズ。

◎旱・風害
民國7～8年頃大旱害ニテ春期間播種全面積ノ6割ニ達シ、陰5月13日ニ漸ク降雨ヲ見タルモ收量6割減少セリ。其ノ後旱害少ク、民國5～6年大風ノ爲、播種直後ノ種子ヲ吹飛シ被害甚ダシキモ其ノ後ハ大ナル風害少シ、小豆、稗、蕎麥ノ順ニ再播種シ、0.15ノ減收ヲ見タリ。

◎病虫害
民國10年穀子實穗期ニ粟螟虫ノ被害甚ダシク、康德1年黃豆、高粱ニ陸杵虫ノ發生多ク3～4割ノ減收ヲ來セリ。康德2年ノ被害等ハ少シ、高粱、粟等ノ黑穗病モ相當被害大ナリ

廢耕地ノ有無其ノ原因
低地ニテ濕地帶ニハ廢耕地所々ニ點在ス。　之ハ降雨多キ年ニ甚シク東北及西北方ニハ廢耕地約100天地アリ。

5. 匪害、事變等ノ影響　屯一般ノ暮向キ

淸朝時代ハ匪害相當有リ人質又ハ金物ヲ强要セラレシコトアレド、民國年代以降ハ比較的平穩ニシテ、事變後直接影響ヲ見ザレドモ、大同2年ニ討匪軍駐屯シ、豚約100無償徵收ノ爲、村費ノ負擔過重トナレリ。現在屯ノ狀態ハ民國以前ノ凶作ト事變直後ノ匪害、或ハ奉票ノ下落ニヨリ村ノ經濟狀況ハ水平線下ニ陷リ困憊ノ境ニ沈淪セリ。
現在ハ舊債償還ノ爲、生活程度未ダ恢復セズ。

6. 度量衡

桝ノ大キサ（**メートル**尺ニテ測ル）

舊秤斤　g 新度量衡斤＝　g　（同一物ヲ秤ル）

1晌＝7,200弓　　1弓＝8.5平方尺（橫）1.7尺（從）5尺

1畝＝縱 16弓 橫 15弓＝240弓

1尺＝1.3尺　　Cm

屯ノ概況

1 晌當收量並小作關係

天地當		地價	高粱	黃豆	包米	穀子	棉	小作料 金納	小作料 物納定額	小作料 分益	附加物條件	晌捐	村費
現在收量	上地	300圓	4.00石	4.00石	4.00石	3.00石	—	菜園25圓 普通20圓	—	5：5	地主側負擔	全額負擔	分益小作折半
	中地	200	3.00石	3.00石	—	2.50石	—	18圓	—	5：5	小作人側負擔		金納全額負擔
	下地	100	2.00石	1.50石	—	—	—	5圓～15圓	—	5：5			
最豐作年時			國國14年	民國14年	民國14年	民國14年							
其ノ收量			5.50石	5.5[illegible]石	5.[illegible]石	6.[illegible]石							
最凶作年時			民國初年	民國初年	民國初年	民國初年							
其ノ收量			2.00石	2.[illegible]石	2.[illegible]石	1.5[illegible]石							
開拓當時收量			300年前 アルカリ	[illegible]年前 性爆度ノ	30[illegible]年前 爲作付不	[illegible]年前 能、稗1.00	石黍1.00石						

舊制石ニ依ル

備考
金納ノ場合ハ前納カ　概シテ前拂ニシテ全體ノ約95%後拂ノ場合ハ利子ヲ附ス
物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　　ナシ
小作料ニ附加物（建物・役畜・農具・種子・肥料）分益ノ場合種子、肥料折半副產物小作人所得ノ場合ハ村費ハ小作人全額負擔ナリ
小作人ノ義務　　ナシ
不在地主ト屯住地主ノ差異　不在地主ハ5～6戶屯內地主ハ10戶位ナレドモ差違ナシ

2 大地主

屯內大地主 氏名	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地	屯外大地主（屯內ニ土地ヲ所有スル者） 氏名	住所	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地
劉巨川	地・自	豪農	75天地	—	2.3天地	劉成清	本縣城	地主	富農	120天地	—	1.9天地

屯ノ概況

雜　　項

1. 勞働ノ過不足

屯内勞働力ニテ足リルカ　過剰ナリ {年工 20%，月工 20〃，日工 20〃} 隣屯ニ吸收サル。

不足ノ時期

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係其ノ大約ノ人數）

大青堆子トノ勞働市場關係ナシ。

民國 5～6 年頃本屯ニモ勞働市場ヲ開催セシコトアレドモ雇主ナキ爲、有名無實ノ狀態ナリ。

2. 勞　　　　賃（年内平準値）

日工　0.30圓　　年工（跟做的）　45.00圓　　月工（跟做的）　5.00圓

勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

{除草 0.50圓，收穫 0.50〃} 極短期間ナリ。

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得サレハ割合ノミ）

黄豆　240天地　　高粱　240天地　　粳米　60天地　　其ノ他　30天地　　穀子　60天地

特色アル作物ノ有無名稱

ナシ

4. 主食物名

高粱　6割　　穀子　4割

5. 販賣作物名

黄豆收量ノ約8割　1石　12圓　　粳子收量ノ約5割　1石玄米11圓　白米23圓

6. 主要ナル副業　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

小農階級ハ拾糞ヲナス、黄家窩棚ヘ年工 3人縣城ヘ大師夫 1人畢家窩棚ヘ年工 1人鐵路員驛夫 1人其ノ他ナシ。

7. 特殊ナル事實

土地關係

民國18年土地ノ移動激シク1天地 800圓位ニ騰貴セリ、之ハ豐作續キト穀價騰貴ニ影響ノ爲ナリ。當時小作料1天地40圓ナリキ。其ノ後奉票下落ト貨幣統制等ニ起因シ、地價低落シ土地ノ移動漸次減少セリ。
其ノ他劉巨川（不在地主）ハ夏ヨリ稍遲レテ來屯シ、莫大ナル土地ヲ購入セリ。

小作關係

民國初年ハ物納定額ナリシモ、其後土地賣買ガ盛ニ行ハレ、小作地挪底シ漸次銀納、或ハ分益ノ型態ニ變遷セリ。
現在ハ土地ノ移動少キ爲、且勞動過剰ノ結果銀納型態ニアリ、物納小作ナシ。
撈裡青ナシ。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

主トシテ屯内、或ハ屯外ノ知人親戚間ニ金融ヲ行ヒ、特殊ナルハ質屋ヨリ小額ノ融通ヲ受ク、短期月利2分長期月利2.5分ノ利率ナリ、1戸平均50圓ノ負債ヲ有ス。
出典ノ方法ニ依ル金融關係1天地典價50圓乃至10[illegible]圓位ナリ、轉典スル場合ナシ。

勞働關係（撈青、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

(1) 撈　青　分益型態ノ小作ヲ撈青ト俗稱ス、約本屯ニ4～5戸アリ、勞力ハ全部小作人負擔トス

(2) 雇牛具　老牟ト稱シ雇牛具ノ請負ヲナス1天地5～6圓ニテ {雇主ハ 15戸，被雇牛具 7戸} 農具、勞力ヲ提供シ、人間ノ食料ノミ雇主ヨリ仰グ。

打點兒ハ人ト農具役畜ヲ提供シテ日工ス、1日1圓乃至1.50圓ナリ。

(3) 插　具　耕作面積ノ大小ニ依リテ役畜ノ日數ニ差違アリ。
本屯ニハ約20組40戸トス、5天地馬、騾3天地驢ノミナリ。

(4) 換　工　牛具トノ換工ハ勞銀ヲ基準トス　約 3戸
人ト人トノ場合ハ日數ニ依ル　約40戸

共同耕作

ナシ

總有地（山林　牧地等）

ナシ　墓地2ケ所 {0.5天地，0.2〃} 以前ハ官有地ナリシモ、現在ハ村公所之ヲ管理シ、特ニ貧家ガ埋葬ス。

鐵嶺縣第七區夏家樓村大夏家樓屯　　屯　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年(月)工	被傭員數 屯內	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地	小作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
32	漢	自作	1	5	—	—	—	11.00	10.00	—	1.00	10.00	—
33	〃	〃	1	1	—	—	—	10.50	10.00	—	0.50	10.00	—
34	〃	自・小	2	3	6	—	—	249.00	235.00	—	14.00	235.00	47.00
35	〃	〃	6	7	4	—	—	253.20	244.70	—	8.50	244.70	48.00
36	〃	〃	15	12	—	—	—	248.00	243.00	—	5.00	243.00	50.00
37	〃	〃	6	6	3	—	—	206.50	200.00	—	6.50	200.00	10.00
38	〃	〃	4	5	6	—	—	175.30	166.00	—	9.30	166.00	124.00
39	〃	〃	16	16	年工1 月工1	—	—	132.00	120.00	—	12.00	120.00	180.00
40	〃	〃	3	6	月 1	—	—	113.00	108.00	—	5.00	108.00	35.00
41	〃	〃	6	5	年 2	—	—	93.00	90.00	—	3.00	90.00	30.00
42	〃	〃	4	5	年 1	—	—	68.00	68.00	—	—	68.00	55.00
43	〃	〃	7	14	月 1	—	—	60.00	60.00	—	—	60.00	40.00
44	〃	〃	5	6	年 2	—	—	42.00	35.00	—	7.00	35.00	105.00
45	〃	〃	3	3	—	—	—	26.00	25.00	—	1.00	25.00	10.00
46	〃	〃	4	4	年 2	—	—	25.00	20.00	—	5.00	20.00	74.00
47	〃	〃	3	3	—	—	—	23.50	20.00	—	3.50	20.00	20.00
48	〃	〃	1	3	—	—	—	20.00	20.00	—	—	20.00	20.00
49	〃	〃	5	6	—	—	—	12.00	12.00	—	—	12.00	165.00
50	〃	〃	2	2	—	—	—	12.00	10.00	—	2.00	10.00	10.00
51	〃	〃	5	4	月 1	—	—	10.00	10.00	—	—	10.00	20.00
52	〃	〃	4	3	年 1	—	—	27.00	18.00	—	9.00	18.00	52.00
53	〃	自・小・雇	5	8	年 2	年 1	—	82.00	70.00	—	12.00	70.00	100.00
54	〃	〃	4	2	—	年 1	—	10.00	10.00	—	—	10.00	9.00
55	〃	〃	6	5	年 2	年 2	—	217.00	210.00	—	7.00	210.00	40.00
56	〃	自・雇	2	2	—	月 1	—	8.00	6.00	—	2.00	6.00	—
57	〃	〃	3	1	—	月 1	—	6.00	5.00	—	1.00	5.00	—
58	〃	小作	8	11	—	—	—	8.00	—	—	[illegible]	—	[illegible]
59	〃	〃	5	4	年 1	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
60	〃	〃	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
61	〃	〃	4	1	—	—	—	6.00	—	—	[illegible]	—	[illegible]
62	〃	〃	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
63	〃	〃	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
64	〃	〃	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
65	〃	〃	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況（四隣部落其他ノ部）

小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	騾	驢	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
	畝	畝			頭				
—	[illegible]	—	—	—	—	—	—	換工播種期ニ７日共有墓地アリ出典地30畝ヲ有ス（所有地ニ含マズ）	32
—	[illegible]	—	—	—	—	—	—	２間房子入典ス換牛具ヲナシ耕作ス	33
分　益5:5 定　金25圓	[illegible]	—	1	2	1	1	[illegible]	墓地３畝共有ス	34
定金前26圓	[illegible]	—	2	3	1	1	4	墓地共有ス	35
定　物1.0石 定金前26圓	293.00	—	1	3	—	2	4	入典地 15 畝ハ所有地ニ含ム	36
定金前30圓	210.00	—	1	3	—	1	2	1.3畝ノ墓地共有年工代180圓支拂フ	37
〃　26圓	[illegible]	—	—	—	—	—	—	出典地44畝ヲ200圓ニテ出ス（所有地ニ含マズ）	38
〃　20圓	[illegible]	—	—	4	—	2	6	墓地共有	39
〃　25圓	143.00	—	1	1	—	1	1	入典地 10 畝アリ所有地ニ含ム	40
〃　27圓	180.00	—	1	2	—	1	2	勞銀支出年125圓	41
〃　25圓	123.00	—	1	2	—	1	2	宅地８畝ヲ年45圓ニテ借用ス年工代支出45圓	42
〃　25圓 28圓	100.00	—	—	—	1	—	2	挿具ヲナシテ耕作ス月工代支出16圓	43
定金後28圓	140.00	—	1	1	—	1	2	墓地共有	44
定金前28圓	35.00	—	1	—	—	1	1	自作地中0.5畝ハ墓地ナリ大車ハ共有ナリ	45
分　益5:5	94.00	—	—	1	1	—	1	年工代支出71圓トス	46
定金前15圓 28圓	40.00	—	—	—	—	—	—	挿具換工ニテ耕作ス出典地40畝ヲ有ス（所有地ニ含マズ）	47
〃　28圓	40.00	—	—	—	1	—	1	入典家屋 80 圓トス驢ハ共有ナリ	48
〃　20圓	177.00	—	1	2	—	1	1	宅地家屋ヲ借入ス年35圓小作地ハ屯内トス	49
分　益5:5 定金前25圓	20.00	—	—	1	—	—	—	挿具ヲナス墓地共有トス	50
〃　29圓	30.00	—	1	—	—	—	1	換牛具ニテ耕作ス	51
分　益5:5	70.00	—	—	1	—	1	1	小作料１天地高粱２石トス換工ニ依リ耕作ス入典地 18 畝アリ所有地ニ含ム	52
定金前25圓 分　益5:5	170.00	—	1	2	—	1	2	墓地共有ナリ	53
定金前27圓	19.00	—	—	—	1	—	—	年工收入56圓借家料25圓挿具ヲナス	54
〃　24圓	250.00	—	1	3	—	1	6	年工收入75圓５畝ノ共有墓地アリ	55
—	6.00	—	—	—	—	—	1	墓地１畝ハ共有	56
—	5.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具５圓ニテ耕作ス	57
定金前25圓	150.00	—	2	1	—	1	2	墓地宅地ハ兄弟ノ共有	58
定金後25圓 分　益5:5	80.00	—	1	1	—	1	2		59
定金前25圓	60.00	—	1	—	—	1	1	小作地中22畝ハ１天地18圓トス	60
定金前25圓 定　物2.0石	58.00	—	1	—	—	—	—	出典地１天地アリ（所有地ニ含マズ）	61
分　益5:5 定　物1.2石	54.00	—	—	1	1	1	1	宅地家屋ハ８圓ニテ借入墓地共有	62
定　物1.0石	48.00	—	1	—	—	—	1	宅地家屋借入10圓共有墓地３畝	63
定　金20圓 28圓	45.00	—	—	—	1	—	1	外ニ出典地 5.5 畝アリ（所有地ニ含マズ）借家料 25 圓挿具ニテ耕作ス	64
定金前28圓	42.00	—	—	1	—	1	2	出典地12畝アリ（所有地ニ含マズ）	65

鐵嶺縣第七區夏家樓村大夏家樓屯

屯　ノ

農家番號	族別	經營様式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年(月)工	被傭員數 屯內	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地	小作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
66	漢	小作	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	35.00
67	〃	〃	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	25.00
68	〃	〃	2	1	—	—	—	2.00	—	—	2.00	—	25.00
69	〃	〃	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	24.00
70	〃	〃	3	3	—	—	—	2.00	—	—	2.00	—	23.00
71	〃	〃	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	20.00
72	〃	〃	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	20.00
73	〃	〃	2	2	—	—	—	3.00	—	—	3.00	—	19.00
74	〃	〃	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	18.00
75	〃	〃	1	4	—	—	—	2.00	—	—	2.00	—	12.00
76	〃	〃	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	15.00
77	〃	〃	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	8.00
78	〃	小・雇	8	10	—	年 1	—	—	—	—	—	—	180.00
79	〃	〃	7	10	—	年 1	—	—	—	—	—	—	120.00
80	〃	〃	4	3	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	42.00
81	〃	〃	3	5	—	年 1	—	—	—	—	—	—	40.00
82	〃	〃	1	3	—	日 1	—	3.30	—	—	3.30	—	37.00
83	〃	〃	4	5	—	年 1	—	4.00	—	—	4.00	—	30.00
84	〃	〃	4	4	—	月 2	—	—	—	—	—	—	30.00
85	〃	〃	2	3	—	日 1	—	2.50	—	—	2.50	—	23.70
86	〃	〃	4	4	—	年 1	—	—	—	—	—	—	20.00
87	〃	〃	4	1	—	年 1	—	—	—	—	—	—	10.00
88	〃	〃	6	3	—	年 2	—	1.30	—	—	1.30	—	9.00
89	〃	〃	3	3	—	月 1	—	—	—	—	—	—	5.00
90	〃	〃	1	2	—	年 1	—	4.00	—	—	4.00	—	4.00
91	〃	雇・雜	5	1	—	年 2 日 1	大師夫 1	1.30	—	—	1.30	—	—
92	〃	〃	2	2	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—	—
93	〃	〃	3	1	—	年 1 月日 1	—	3.00	—	—	3.00	—	—
94	〃	〃	2	1	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
95	〃	〃	2	1	—	年 1 月日 1	—	—	—	—	—	—	—
96	〃	〃	2	1	—	年 1 月 1	—	—	—	—	—	—	—
97	〃	〃	1	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
98	〃	〃	3	3	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
99	〃	〃	2	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	騾	驢	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
	畝	畝	頭	頭	頭	臺			
定金前25圓	35.00	—	1	—	—	1	2	換工ヲナス	66
定物(高粱2.0石 穀子2.5石)	25.00	—	—	—	1	—	—	插具ヲナス	67
銀定前25圓	25.00	—	—	—	1	—	—	出典地1畝アリ(所有地ニ含マズ)插具ニテ耕作ス	68
〃 27圓	21.00	—	1	—	—	—	—	馬ハ共有トス	69
定物 2.0石	23.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作ス	70
(定金前 17圓 分益 5:5)	22.00	—	—	—	—	—	—	2畝出典地アリ所有地ニ含マズ插具ヲナス	71
分益5:5	20.00	—	—	—	—	—	—	換工18日ヲナス	72
〃	19.00	—	1	—	—	—	—		73
定金前27圓	18.00	—	—	—	—	—	—	換工2日ヲナス	74
〃 20圓	12.00	—	—	—	—	—	—	換牛具ヲナス共有墓地27畝アリ	75
〃 25圓	15.00	—	—	—	—	—	—	換工15日ヲナス	76
〃	8.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具年6回ニテ耕作ス	77
分益5:5	180.00	—	1	2	—	1	2		78
〃	120.00	—	1	—	1	1	1	年工收入60圓墓地共有	79
(定物 2.0石 分益 5:5)	42.00	—	—	—	1	—	1	勞銀收入100圓插具ヲナス出典地5畝(所有地ニ含マズ)	80
(定金前 25圓 分益 5:5)	40.00	—	1	—	—	—	—	換牛具10日ヲナス	81
分益5:5	37.00	—	—	—	—	—	—	種子折半トス	82
定物1.5石	30.00	—	—	—	—	—	—	墓地共有	83
(定金前 27圓 分益 5:5)	30.00	—	—	—	1	—	—	換牛具6日ヲナス	84
定金前25圓	23.70	—	1	—	—	1	—	共有墓地6畝換工2日ヲナス小作地1天地ハ18圓ノ小作料トス	85
〃	20.00	—	—	—	—	—	—	換牛具ヲナス	86
〃 20圓	10.00	—	—	—	—	—	—	出典地1天地100圓(所有地ニ含マズ)雇牛具3回ニテ耕作ス	87
〃 25圓	9.00	—	—	—	—	—	—	換工ヲナス共有墓地ヲ有ス	88
〃 20圓	5.00	—	—	—	1	—	—	8.5間房子ヲ100圓ニテ出典ス勞銀收入30圓墓地3畝共有	89
分益5:5	4.00	—	—	—	—	—	—		90
—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入80圓大師夫收入30圓トス	91
—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入71圓借家料12圓	92
—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入94圓共有墓地2畝アリ	93
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入48圓	94
—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入80圓家屋100圓デ入典ス	95
—	—	—	—	—	—	—	—	借家料8圓共有墓地3畝ヲ有ス	96
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入40圓共有墓地1.3畝	97
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入40圓墓地共有	98
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入50圓	99

鐵嶺縣第七區夏家樓村大夏家樓屯　　屯　　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭年（月）工	被傭員數 屯內	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地	小作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
100	漢	雇・雜	2	1	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
101	〃	〃	2	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
102	〃	〃	2	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
103	〃	〃	1	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
104	〃	〃	2	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
105	〃	〃	1	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	—
106	〃	〃	2	4	—	年 1	—	3.00	—	—	3.00	—	—
107	〃	〃	1	3	—	月 1	—	—	—	—	—	—	—
108	〃	〃	3	1	—	月 1	—	—	—	—	—	—	—
109	〃	〃	1	1	—	月日 1	—	—	—	—	—	—	—
110	〃	雇農	1	1	—	月 1	—	—	—	—	—	—	—
111	〃	〃	2	1	—	月 1	—	2.00	—	—	2.00	—	—
112	〃	〃	2	—	—	日 2	—	—	—	—	—	—	—
113	〃	〃	2	1	—	日 1	—	—	—	—	—	—	—
114	〃	〃	1	1	—	月 1	—	—	—	—	—	—	—
115	〃	〃	2	2	—	日 1	—	—	—	—	—	—	—
116	〃	〃	—	3	—	日 1	—	—	—	—	—	—	—
117	〃	傭業	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
118	〃	〃	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
119	〃	〃	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
120	〃	〃	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
121	〃	〃	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
122	〃	〃	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
123	〃	〃	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
124	〃	〃	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
125	〃	〃	1	1	—	—	—	3.00	—	—	3.00	—	—
126	〃	〃	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
127	〃	〃	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
128	〃	〃	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
129	〃	〃	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
130	〃	〃	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
131	〃	〃	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
132	〃	〃	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
133	〃	〃	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概況（四隣部落其他ノ部）

小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有			大農具所有		備考	農家番號
			馬	騾	驢	大車	犂丈		
	畝	畝	頭	頭	頭	臺	架		
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入60圓	100
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入48圓	101
—	—	—	—	—	—	—	—		102
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入50圓	103
—	—	—	—	—	—	—	—	同　上	104
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入60圓	105
—	—	—	—	—	—	—	—	年工收入62圓	106
—	—	—	—	—	—	—	—	月工收入30圓左官收入20圓	107
—	—	—	—	—	—	—	—	月工收入12圓行商ヲナス共有墓地1.3畝	108
—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入24圓	109
—	—	—	—	—	—	—	—		110
—	—	—	—	—	—	—	—	墓地共有トス	111
—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入40圓	112
—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入30圓共有墓地1.3畝アリ	113
—	—	—	—	—	—	—	—	月工收入 4 圓墓地 3 畝ヲ有ス	114
—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入30圓	115
—	—	—	—	—	—	—	—	5年前夫死亡	116
—	—	—	—	—	—	—	—	雜貨商ヲ經營ス年利益300圓トス	117
—	—	—	—	—	—	—	—	行商賣上 60 圓利益 20 圓其ノ他出稼 9 ケ月 54 圓收入	118
—	—	—	—	—	—	—	—	行商年利益30圓	119
—	—	—	—	—	—	—	—	行商年利益30圓	120
—	—	—	—	—	—	—	—	雜貨商	121
—	—	—	—	—	—	—	—	行商人	122
—	—	—	—	—	—	—	—	靴修繕年收80圓	123
—	—	—	—	—	—	—	—	宿屋營業年收60圓	124
—	—	—	—	—	—	—	—	醫師年收60圓位ナリ	125
—	—	—	—	—	—	—	—	警士ナリ	126
—	—	—	—	—	—	—	—	同　上	127
—	—	—	—	—	—	—	—		128
—	—	—	—	—	—	—	—	看青的高粱4.5石年收	129
—	—	—	—	—	—	—	—	雜業＝從事ス	130
—	—	—	—	—	—	—	—	小使年收40圓	131
—	—	—	—	—	—	—	—	行商人收入30圓	132
—	—	—	—	—	—	—	—	乞食ヲナス	133

屯ノ概況

總括

1. 戶 數 59戶

耕作農家 45戶

其ノ他 14戶

2. 人 口

男 158人

女 160人

計 318人

3. 勞 働

雇傭年月工 11人

被傭者 29人 （屯内 15人 出稼 14人）

4. 土地所有

耕 地 1,037.40畝、1戶當耕地 17.58畝

5. 土地利用

自作地 1,047.40畝

小作地 741.50〃

耕作地計 1,788.90畝 1戶當耕作地 30.32畝

貸付地 一

6. 小作關係

定額金納 6件

定額物納 10〃

分益物納 14〃

計 30件

7. 大家畜所有

馬 13頭

牛 1頭

騾 7頭

驢 10頭

8. 大農具所有

大 車 7臺

犂 丈 24架

屯ノ概況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・交通關係）

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

250年前孫氏、揚氏、戴氏、來屯シ開拓ス、250年前ハ西鄉屯ト稱セルモ、　200年前、腰堡ト改稱セリ。

3. 交易關係

○中心都市・其レトノ交通關係

鐵嶺及大靑堆子トス。

○賣却及購入市場（都市名）

鐵嶺縣城ヲ主トシ、夏家樓大靑堆子之ニ次グ。

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）

關係ナシ

4. 自然的條件並ニ災害

地質・地味	水質
粘質壤土　地味不良	硬質

◎水害

低地ナル爲、降雨量多キ年ハ水害大ナリ。

◎旱・風害

旱害ノ年ハ濕地ナル故作況良好ナリ。　20年春期北方ノ季節風ノ爲、被害大ナリキ。

◎病虫害

高粱、黃豆ニ蚜虫多ク每年發生ス。　民國18年及ビ本年ハ特ニ被害大ナリ。

廢耕地ノ有無其ノ原因　　ナシ

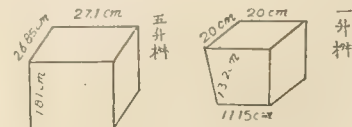
5. 匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ

匪害ナシ事變當時匪賊通過シ、食料ヲ徵收サレタルノミ。

屯ノ一般的生活狀況ハ夏家樓村內ニテ最モ疲弊困憊ス、之水害ト生產力低キ爲ナリ。

6. 度量衡

桝ノ大キサ（**メートル**尺ニテ測ル）

舊秤　　斤 8 新度量衡斤＝　　8　（同一物ヲ秤ル）

1垧＝7,200弓　　　1弓＝1.8尺（橫）　5尺（從）

1尺＝(裁尺)34Cm

屯ノ概況

1. 晌當收量並小作關係

天地當		地價	高粱	黃豆	包米	穀子	稗子	小作料			附加物條件		
								金納	物納定額	分益		晌捐	村費
現在收量	上地		4.5石	3.0石		2.5石		11〜12圓	1.5石	—	地主側負擔	全額	—
	中地		3.0石	2.0石		1.5石		8圓	0.7〜0.8石	—			
	下地		2.5石	1.0石		1.0石		4〜5圓	0.5〜0.6石	—	小作人側負擔	—	全額

	高粱	黃豆	包米	穀子	稗子
最豐作年時	大同1〜2年	民國15年		民國20年	
其ノ收量	5.0石	4.0石		5.0石	
最凶作年時	康德 1年	28 年前		康德 1年	
其ノ收量	2.0石	0.1〜0.2石		0.3石	
開拓當時收量	200年前 6.0石	200年前 4.0石			200年前 5〜6石

備考
- 金納ノ場合ハ前納カ　前納
- 物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　ナシ
- 小作料ニ附加物（建物・役畜・農具・種子・肥料）　ナシ
- 小作人ノ義務　ナシ
- 不在地主ト屯住地主ノ差異　ナシ

2 大地主

屯內大地主						屯外大地主（屯內ニ土地ヲ所有スル者）						
氏分	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地	氏名	住所	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地
張永昌	地・自	牌長	天地 15.5	天地 0.5	天地 0.6	黃景新	本縣城	地主	—	天地 12.00	—	—
						于俊川	同	同	—	12.00	—	—

屯ノ概況

雜　　項

1. 勞働ノ過不足

屯內勞働力ニテ足リルカ　過剩ナリ。
不足ノ時期　ナシ
補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係、其ノ大約ノ人數）
ナシ

2. 勞　　賃（年內平準值）

日工　30～40錢　年工（跟做的）　50圓　月工（跟做的）　6～7圓
勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）
除草　40～50錢
收穫　40～50錢

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得サレハ割合ノミ）

黃豆　20%　高粱　50%　包米　　棉　　穀子　30%
特色アル作物ノ有無名稱
ナシ

4. 主食物名

高粱　穀子

5. 販賣作物名

黃豆　高粱

6. 主要ナル副業　　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

ナシ

隣屯ニ年工月工トシテ働ク
行商人1人村內ヲ賣買ス

7. 特殊ナル事實

土地關係

土地ノ賣買價格ハ他屯ニ比シ安ク1天地150圓內外ナリ。
地味不良生活窮迫セル爲、入典少ナク出典地多シ。
58戶中土地所有者25戶位デ不在地主ハ特ニ多シ。

小作關係

定額物納後多ク銀納定額前後ハ$\frac{1}{10}$ニ過ギズ。
水害ノ年ハ小作料減免ノ事例尠カラズ。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

屯內ノ貸借關係極メテ少ナシ。
屯外ノ親戚知人等ヨリ金員又ハ穀物等ヲ借入ス。
伺縣城ノ當舖ヨリ借入スルモノアリ。
屯外ヨリノ負債總額1,000圓程度ナリ。

勞働關係（摟靑、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

摟靑ナシ。
雇牛具1天地5圓雇傭者食料飼料負擔トス。
插具　打點兒雇主ガ食料飼料ヲ負擔ス。
換工等モ一般ニ行ハル。

共同耕作

ナシ

總有地（山林　牧地等）

廟有地ガ總有地トシテ3天地アリ、廟ノ修理ヲナス。

鐵嶺縣第七區夏家樓村後腰堡屯　　　　屯　　　　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數		雇傭	被傭員數		所有面積				自作地
			男	女	年(月)工	屯內	出稼	計	耕地	林地	其ノ他	
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝
總計			158	160	11	15	14	1,142.20	1,037.40	6.00	98.800	1,047.40
一戸當平均			—	—	—	—	—	19.36	17.58	—	—	—
1	漢	自作	2	3	年工2人	—	—	164.70	158.70	—	墓地宅地菜園 6.00	158.70
2	〃	〃	2	5	月工2人	—	—	93.00	90.00	—	3.00	90.00
3	〃	〃	3	6	月工1人	—	—	72.00	70.00	—	2.00	70.00
4	〃	〃	3	2	—	—	—	50.00	47.00	—	3.00	47.00
5	〃	〃	5	2	—	—	—	45.70	43.70	—	2.00	43.70
6	〃	〃	3	2	年工1人	—	—	40.00	32.00	6.00	2.00	42.00
7	〃	〃	2	—	—	—	—	38.00	36.00	—	2.00	36.00
8	〃	〃	1	2	—	—	—	23.00	22.00	—	1.00	22.00
9	〃	〃	2	3	—	—	—	24.30	20.00	—	4.30	20.00
10	〃	〃	1	2	—	—	—	18.50	16.00	—	2.50	16.00
11	〃	〃	2	—	—	—	—	10.00	10.00	—	—	10.00
12	〃	〃	2	3	—	—	—	12.00	10.00	—	2.00	10.00
13	〃	〃	1	—	—	—	—	5.00	5.00	—	—	5.00
14	〃	自・小	4	4	月工2人	—	—	85.00	80.00	—	5.00	80.00
15	〃	〃	8	9	月工1人	—	—	94.00	90.00	—	4.00	90.00
16	〃	〃	3	7	—	—	—	71.00	67.00	—	4.00	67.00
17	〃	〃	4	3	—	—	—	34.00	32.00	—	2.00	32.00
18	〃	〃	7	7	—	—	—	32.00	28.00	—	4.00	28.00
19	〃	〃	2	6	—	—	—	29.00	27.00	—	2.00	27.00
20	〃	〃	3	5	月工1人	—	—	31.00	28.00	—	3.00	28.00
21	〃	〃	5	3	—	—	—	16.50	15.00	—	1.50	15.00
22	〃	〃	2	4	—	—	—	13.50	12.00	—	1.50	12.00
23	〃	〃	2	2	年工1人	—	—	14.00	10.00	—	4.00	10.00
24	〃	〃	2	3	—	—	—	12.00	10.00	—	2.00	10.00
25	〃	自・小・雇	2	2	—	日工1人	—	22.00	20.00	—	2.00	20.00
26	〃	自・雇	3	1	—	—	月工1人	17.00	15.00	—	2.00	15.00
27	〃	〃	2	4	—	月工1人	—	16.00	15.00	—	1.00	15.00
28	〃	〃	4	2	—	月工2人	—	20.50	18.00	—	2.50	18.00

註　本表＝現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕作面積	大家畜所有 馬	牛	騾	驢	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
畝		畝	頭	頭	頭	頭	臺	挺		
741.50	定金 6 定物 10 分益 14	1,788.90	13	1	7	10	7	24		總計
—	—	50.32	—	—	—	—	—	—		一戸當平均
—	—	158.70	1	—	1	—	1	2	張友山ト挿具ヲ行フ	1
—	—	90.00	1	—	—	—	—	—	張永昌ト挿具ヲナシ耕作ス	2
—	—	70.00	1	—	—	—	—	—	劉坤ト挿具、耕作	3
—	—	47.00	1	—	—	—	—	1	劉清ト挿具撿糞自家用ニス	4
—	—	43.70	—	—	—	1	—	2	宅地２畝ヲ入典ス所有地ニ含ム譚有庫、馮國治ト挿具撿糞自家用ニス	5
—	—	42.00	—	—	1	—	—	—	遼河屯ノ姜ト挿具ス土地10畝入典ス所有地ニ含ム	6
—	—	36.00	—	—	—	1	—	—	劉清ト挿具	7
—	—	22.00	—	—	1	—	—	—	王煥章ト挿具	8
—	—	20.00	—	—	—	—	—	—	出典２畝ハ所有地ニ含マズ馮總貴ト雇牛具(8.00圓)撿糞自家用ニス	9
—	—	16.00	—	—	—	—	—	—	高粱株ノ採取撿糞自家用ニス入典地６畝ハ所有地ニ含ム	10
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	入典10畝ヲ耕作ス所有地ニ含ム張有金ト挿具ヲス	11
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	張有金ト雇牛具(5.00圓)高粱株採取	12
—	—	5.00	—	—	—	—	—	—	入典 5畝所有地ニ含ム草房ハ無料借入雇牛具(馮有田)3.00圓 高粱株採取	13
30.00	定金前納 20圓 定物後納 1.1石	110.00	1	—	1	—	1	1		14
70.00	定金前納 70圓	160.00	1	—	2	—	1	2	張耀庫、張景林ト挿具換工入典地20畝ハ所有地ニ含ム	15
15.00	定物納　高粱 1.0石	82.00	1	—	1	—	1	2		16
15.00	定物後納　高粱1.0石 分益 5:5	47.00	1	—	—	—	—	1	劉振春ト挿具	17
116.50	定金納 30圓 定物後拂利子 月2.5分	144.50	1	—	—	1	1	2	李自生ト挿具換工ヲ行フ	18
10.00	定金前納 26圓	37.00	—	—	—	1	—	—	譚有庫ト挿具	19
15.00	分益 5:5	43.00	1	—	—	—	—	2	入典地 8畝ハ所有地ニ含ム馮有清、張繼珍ト挿具	20
20.00	定物後納　高粱 2.0石	35.00	—	—	—	1	—	2	程香永ト挿具	21
23.00	〃	35.00	1	—	—	—	—	—	馮有金ト挿具	22
70.00	定物後納　高粱1.5石	80.00	—	—	—	1	1	2		23
20.00	分益 5:5	30.00	—	—	—	1	—	1	程德如ト挿具	24
15.00	分益 5:5	35.00	1	—	—	—	—	—	王煥章ト挿具撿糞ハ自家用 4.0畝ヲ入典ス所有地ニ含ム	25
—	—	15.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具張耀珍 10.00 圓高粱ノ株採取	26
—	—	15.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具馮德富ヨリ(7.00圓) 6畝ノ出典アリ(所有地ニ含マズ)	27
—	—	18.00	—	—	—	1	—	—	張景山ト換工ヲ行フ撿糞ハ自家用入典 4畝ハ所有地ニ含ム	28

鐵嶺縣第七區夏家樓村後腰堡屯　　　屯　　　ノ

農家番號	族別	經營様式	家族員數		雇傭	被傭員數		所有面積				自作地
			男	女	年(月)工	屯内	出稼	計	耕地	林地	其ノ他	
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝
29	漢	〃	2	2	—	—	年工1人	11.00	7.00	—	4.00	7.00
30	〃	〃	3	2	—	—	—	5.00	3.00	—	2.00	3.00
31	〃	小作	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—
32	〃	〃	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—
33	〃	〃	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—
34	〃	〃	2	4	—	—	—	1.00	—	—	1.00	—
35	〃	〃	1	4	—	—	—	3.50	—	—	3.50	—
36	〃	〃	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
37	〃	〃	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
38	〃	〃	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
39	〃	〃	2	—	—	—	—	3.00	—	—	3.00	—
40	〃	〃	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	〃	小・雇	7	3	—	—	月工1人	5.00	—	—	5.00	—
42	〃	〃	2	4	—	日工1人	—	1.00	—	—	1.00	—
43	〃	〃	6	4	—	月工1人	月工1人	1.00	—	—	1 00	—
44	〃	小・雇・雑(行商)	4	1	—	月工1人	—	—	—	—	—	—
45	〃	〃	1	1	—	月工1人	—	—	—	—	—	—
46	〃	雇農	6	2	—	年工2人	年工1人	—	—	—	—	—
47	〃	〃	4	3	—	年工1人	月工1人	—	—	—	—	—
48	〃	〃	3	1	—	日工1人	年工1人	—	—	—	—	—
49	〃	〃	3	3	—	日工1人	月工1人	2.00	—	—	2.00	—
50	〃	〃	2	3	—	—	月工日工1人	3.00	—	—	3.00	—
51	〃	〃	1	3	—	月日1人	—	1.00	—	—	1.00	—
52	〃	〃	1	2	—	—	月工1人	—	—	—	—	—
53	〃	〃	3	1	—	—	月工1人	—	—	—	—	—
54	〃	〃	3	3	—	日工1人	—	—	—	—	—	—
55	〃	〃	2	3	—	—	月工1人	2.00	—	—	2.00	—
56	〃	〃	1	—	—	—	日工1人	—	—	—	—	—
57	〃	〃	2	2	—	—	日工1人	—	—	—	—	—
58	〃	雑業(裁縫)	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—
59	〃	〃(大工)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕作面積	大家畜所有				大農具所有		備考	農家番號
			馬	牛	騾	驢	大車	犂丈		
畝		畝	頭	頭	頭	頭	臺	架		
—	—	7.00	—	—	—	—	—	—	沈有發ト揷具換工ス高粱刈株採取自家用	29
—	—	3.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具馮德貴2.00圓	30
70.00	定物後納高粱（1.3石〜2.0石）	70.00	—	1	—	1	1	2	程德有ト揷具	31
40.00	定物後納　高粱1.0石	40.00	1	—	—	—	—	2	馮世榮、馮國治ト揷具	32
20.00	分　益　5:5	20.00	—	—	—	1	—	—	德榮繼ト揷具ス	33
15.00	〃	15.00	—	—	—	—	—	—	前腰堡某雇牛具4.50圓撿糞自家用ニス	34
10.00	〃	10.00	—	—	—	—	—	—	無料ニテ譚有發ガ耕作出典9.0畝（所有地ニ含マズ）	35
10.00	〃	10.00	—	—	—	—	—	—	譚有發、馮德貴ト換工揷具宅地2.0出典ス（所有地ニ含マズ）	36
10.00	〃	10.00	—	—	—	—	—	—	程青永雇牛具4.50圓	37
10.00	定金前納　20圓	10.00	—	—	—	—	—	—	揷具換工馮德貴ト行フ	38
5.00	分　益　5:5	5.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具馮有清3.00圓	39
5.00	〃	5.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具譚有發 1.50圓	40
50.00	定物後納　高粱2.0石	50.00	—	—	—	—	—	—	揷具程德有ト行フ	41
50.00	分　益　5:5	50.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具馮德富 4.00圓日工收入20.00圓	42
10.00	定金前納　15圓	10.00	—	—	—	—	—	—	劉振元ト換工月工收入57圓	43
10.00	分　益　5:5	10.00	—	—	—	—	—	—	行商ヲナシ 8圓ノ純益 月工賃銀張友山ヨリ23圓李德秀ト揷具換工ヲ行フ	44
7.00	〃	7.00	—	—	—	—	—	—	月工賃譚有發ヨリ 32圓雇牛具譚有發 4圓	45
—	—	—	—	—	—	—	—	—	年工賃128.00圓收入	46
—	—	—	—	—	—	—	—	—	年工賃38圓月工賃15圓收入	47
—	—	—	—	—	—	—	—	—	年工賃50圓收入高粱刈根採取	48
—	—	—	—	—	—	—	—	—	月工賃36圓撿糞3車ト高粱4斗ト物物交換宅地2.0畝ヲ馮世後ヨリ入典所有地ニ含ム	49
—	—	—	—	—	—	—	—	—	月日工賃36圓收入高粱ノ刈根ヲ掘取ル撿糞自家用	50
—	—	—	—	—	—	—	—	—	月日工賃26圓收入	51
—	—	—	—	—	—	—	—	—	月工賃24圓收入高粱刈根ヲ採取	52
—	—	—	—	—	—	—	—	—	月工賃12.00圓收入	53
—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工賃小半拉子5.00圓食料缺乏ノ時乞食トナル高粱根採取	54
—	—	—	—	—	—	—	—	—	月工賃36圓宅地 2.0畝 入典所所有地ニ含ム高粱ノ刈根採取自家用	55
—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工賃10.00圓收入	56
—	—	—	—	—	—	—	—	—	高粱刈根採取	57
—	—	—	—	—	—	—	—	—	裁縫デ生活ス高粱ノ根ヲ採取ス	58
—	—	—	—	—	—	—	—	—	大工收入40圓	59

鐵嶺縣第七區夏家樓村鄧家窩棚屯　　　屯　　　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭 年(月)工	被傭員數 屯内	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝
總計			132	147	11	28	3	1,321.10	1,245.80	7.50	67.80	1,143.70
一戸當平均			—	—	—	—	—	30.72	28.97	—	—	—
1	漢	地・雑（行商）	1	1	—	—	—	7.10	6.10	—	1.00	—
2	〃	地主・自作	3	1	—	—	—	25.00	25.00	—	—	20.00
3	〃	〃	3	2	—	—	—	25.00	21.00	—	1.00	18.00
4	〃	地・雇（月・日）	1	2	—	2（月1.日1）	—	30.00	30.00	—	—	—
5	〃	自作	14	21	6（年4.月2）	—	—	312.00	300.00	—	12.00	300.00
6	〃	〃	4	8	3（年2.月1）	—	—	164.00	160.00	—	4.00	160.00
7	〃	〃	4	8	—	—	—	100.00	96.00	—	4.00	96.00
8	〃	〃	1	3	—	—	—	22.00	20.00	—	2.00	20.00
9	〃	〃	1	2	—	—	—	55.00	53.00	—	2.00	18.00
10	〃	自作・小作	7	12	—	—	—	128.50	125.00	—	3.50	125.00
11	〃	〃	3	2	—	—	—	56.00	55.00	—	1.00	55.00
12	〃	〃	8	5	—	—	—	38.00	35.00	—	3.00	35.00
13	〃	〃	4	5	—	—	—	33.00	30.00	—	3.00	30.00
14	〃	〃	2	5	—	—	—	21.00	20.00	—	1.00	21.00
15	〃	〃	3	3	—	—	—	19.00	17.00	—	2.00	19.00
16	〃	〃	2	2	1（月）	—	—	16.00	15.00	—	1.00	15.00
17	〃	〃	4	5	—	—	—	10.00	7.00	—	3.00	7.00
18	〃	〃	1	1	—	—	—	7.00	7.00	—	—	7.00
19	〃	〃	1	3	—	—	—	6.00	6.00	—	—	6.00
20	〃	〃	3	2	1（月）	—	—	9.00	4.00	—	5.00	4.00
21	〃	自・小・雇（日）	6	5	—	2（日）	—	83.00	80.00	—	3.00	80.00
22	〃	〃（日）	7	3	—	1（日）	—	44.00	41.50	—	2.50	18.50
23	〃	〃（年・日）	4	4	—	2（年1.日1）	—	18.00	18.00	—	—	18.00
24	〃	自作・雇農（年）	3	6	—	1（年）	—	42.50	41.20	—	1.30	41.20
25	〃	〃（年）	3	2	—	2（年）	—	13.00	10.00	—	3.00	10.00
26	〃	〃（月・日）	3	1	—	2（月1.日1）	—	10.00	10.00	—	—	10.00
27	〃	〃（年）	2	2	—	3（年1.日2）	—	5.00	5.00	—	—	5.00
28	〃	〃（月）	3	2	—	1（月）	—	8.00	5.00	—	3.00	5.00
29	〃	小作	4	5	—	—	—	—	—	—	—	—
30	〃	〃	3	1	—	—	—	2.50	—	—	2.50	—
31	〃	小・雇（日）	3	5	—	—	2（日）	1.00	—	—	1.00	—
32	〃	雇農（年・日）	5	2	—	2（年1.日1）	—	1.00	—	—	1.00	—
33	〃	〃（年）	4	2	—	1（年）	—	—	—	—	—	—
34	〃	〃（年・日）	1	1	—	2（年1.日1）	—	—	—	—	—	—
35	〃	〃（年・日）	1	3	—	2（年1.日1）	—	—	—	—	—	—
36	〃	〃（月）	1	2	—	1（月・日）	—	—	—	—	—	—
37	〃	〃（日）	1	1	—	1（日）	—	—	—	—	—	—
38	〃	〃（日）	1	—	—	1（日）	—	—	—	—	—	—
39	〃	傭（大師夫）	1	1	—	大師夫 1	—	—	—	—	—	—
40	〃	〃（大師夫）	2	1	—	—	大師夫 1	—	—	—	—	—
41	〃	〃（打更的）	2	1	—	打更的 1	—	—	—	—	—	—
42	〃	無職	1	—	—	—	—	9.00	—	7.50	1.50	—
43	〃	〃	1	4	—	—	—	0.50	—	—	0.50	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作地	小作形態	耕地面積	貸付地	大家畜所有 馬	牛	騾	驢	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
畝		畝	畝	頭	頭	頭	頭	臺	架		
423.50	定金 15 定物 1 分益 3	1,567.20	47.10	10	1	8	10	13	23		總計
—	—	36.44	—	—	—	—	—	—	—		一戸當平均
—	—	—	6.10	—	—	—	—	—	—	小作人ハ弟ナリ	1
—	—	20.00	5.00	—	—	—	1	—	—	入典地5畝アリ所有地ニ含ム挿具ヲナシテ耕作ス小作料ハ2分5厘ノ利子ヲ附ス	2
—	—	18.00	6.00	—	—	—	—	—	—	換工ニテ耕作ス所有地中10畝ヲ出典ス(所有地ニ含マズ)	3
—	—	—	30.00	—	—	—	—	—	—	土地ハ第6區上三家子ニ所有ス	4
—	—	300.00	—	1	—	3	—	1	4	屯長	5
—	—	160.00	—	1	—	2	—	1	2	耕作ハ換工ニモヨル	6
—	—	96.00	—	1	—	—	1	1	2	入典地10畝アリ所有地ニ含ム	7
—	—	20.00	—	—	—	—	—	—	—	換工ニテ耕作ス	8
—	—	18.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具　〃	9
20.00	定・金　(前)	145.00	—	1	—	1	—	1	1	出典地45畝アリ(所有地ニ含マズ)康3.分家ス20畝ノ小作地ハ出典地	10
10.00	〃　〃	65.00	—	—	—	—	1	—	1	耕地25畝ハ小份地ナリ出典地10畝アリ(所有地ニ含マズ)10畝ノ小作地ハ出典小作挿具ヲナス	11
30.00	〃　〃	65.00	—	1	—	—	1	1	2	年末ニ耕地15畝出典ス(所有地ニ含マズ)	12
40.00	〃　〃	70.00	—	—	1	—	1	1	2	出典地20畝アリ(所有地ニ含マズ)	13
9.00	〃　(後)	30.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作、小作料後納利子2分5厘附ス	14
10.00	〃　〃	29.00	—	1	—	—	—	1	1	挿具ニテ耕作宅地1.5畝出典アリ(所有地ニ含マズ)小作料後納利子2分5厘	15
55.00	〃　(前)	70.00	—	1	—	1	—	1	1	出典地20畝アリ(所有地ニ含マズ)	16
40.00	〃　(後)	47.00	—	—	—	—	1	(小) 1	1	挿具ニテ耕作ス小作料後納利子2分5厘	17
20.00	〃　〃	27.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作ス	18
25.00	分・物　(5:5) 定物後(高粱3石)	31.00	—	—	—	—	1	—	—	挿具ニテ耕作ス	19
40.00	定・金　(後)	44.00	—	—	—	—	1	(小) 1	1	東2、西12畝出典ス(所有地ニ含マズ)挿具ニテ耕作ス小作料後納利子2分5厘	20
20.00	〃　(前)	100.00	—	1	—	1	—	1	1	換工ニテ耕作ス	21
20.00	分・物　(5:5)	38.50	—	—	—	—	1	1	2	挿具ニテ耕作ス	22
12.00	定・金　(後)	30.00	—	—	—	—	1	—	—	出典地12畝アリ(所有地ニ含マズ)挿具ヲナス小作料後納利子2分5厘附ス小作地ハ出典小作	23
—	—	41.20	—	1	—	—	—	—	1	挿具ニテ耕作	24
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	換工　〃	25
—	—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作ス	26
—	—	5.00	—	—	—	—	—	—	—	〃	27
—	—	5.00	—	—	—	—	—	—	—	〃	28
49.00	定・金　(後) 分・物　(5:5)	49.00	—	1	—	—	—	1	1	出典地15畝アリ(所有地ニ含マズ)挿具分益小作地ハ下地ナリ	29
20.00	定・金　(前)	20.00	—	—	—	—	—	—	—	雇牛具同族共有墓地2.5畝アリ換	30
3.50	〃　〃	3.50	—	—	—	—	—	—	—	換工種子賣却1ヶ年3.00圓ノ收入アリ出典地3.5畝アリ(所有地ニ含マズ)	31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	區農會ニテ6ヶ月雜役夫トシテ働ク	37
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	日工30日後ハ乞食ヲナス	38
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		39
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	城内デ大師夫ヲナス	40
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	打更的ノ傍ラ乞食ヲナス	41
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	精神病者	42
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	戸主病氣ニテ働ケズ妻ハ不具	43

屯ノ概況

總　　括

1. 戸　　數　35戸

耕作農家　29戸

其ノ他　6戸

2. 人　　口

男　134人

女　126〃

計　260〃

3. 勞　　働

雇傭年工　3人

被傭者　21人（屯内　13人　出稼　8人）

4. 土地所有

耕地　474.30畝　1戸當耕地　13.55畝

5. 土地利用

自作地　417.30畝

小作地　1,349.00畝

耕作地計　1,766.30畝　1戸當耕作地　50.46畝

貸付地　57.00畝

6. 小作關係

定額金納　23件

定額物納　1〃

分益物納　—〃

計　24件

7. 大家畜所有

馬　13頭

騾　15〃

驢　5〃

8. 大農具所有

大車　11臺

犁丈　30架

屯 ノ 概 況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・交通關係）

田 家 窩 棚 參 照

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

200年前雍正2年任ト稱スル人草分ヲナシ、開發ノ祖トナル。

3. 交 易 關 係

○中心都市・其レトノ交通關係

第7區大靑堆子場ヲ最モ中心トス。

○賣却及購入市場（都市名）

鐵嶺縣城ヘモ相當密接ナ關係ヲ有ス。

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）

勞力關係ハ主トシテ大靑堆子ニ依ル。

4. 自然的條件並ニ災害

地 質・地 味　　水 質

壤土ノあるかり性强ク地味肥沃ナラズ。　　硬 水

◎水 害

光緒12年降雨多ク、全屯ニ浸水シ收量半減セリ。　河川氾濫ニ依ル被害ナシ。

◎旱・風 害

民國8年旱害アリテ、飮料水缺乏シ收量又半減ス。　宣統1年大風ノ爲、高粱倒伏シ收量4割減ナリキ。

雪害民國18年甚シク收穫皆無ナリト。

◎病 虫 害

民國22年高粱、黃豆3. 4寸ノ頃、黑色ノ陸牀虫發生シ、再播種ヲナシ5割ノ減收ナリキ。

廢耕地ノ有無其ノ原因

ナ シ

5. 匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ

匪害及事變ノ影響ナシ。　屯ノ一般的生活程度ハ10年前ヨリ稍々向上セリ。

6. 度 量 衡

桝ノ大キサ（**メートル**尺ニテ測ル）

舊秤12斤 8 新度量衡斤＝1.25斤 8 （同一物ヲ秤ル）

1晌＝7,200弓　　1弓＝5尺（横）　5尺（從）

1尺＝31.3Cm

屯ノ概況

1　晌當收量並小作關係

天地當		地價	高粱	黄豆	粳子	粟	小作料 金納	小作料 物納定額	小作料 分益		附加物條件 小作地附加的押租銀	附加物條件 晌捐	附加物條件 村費
現在收量	上地	圓 300	8.0石	6.0石	5.0石	4.0石	圓 30	—	—	地主側負擔	全額	全額	—
	中地	〃 250	5.0石	4.0石	3.0石	30石	20	—	—				
	下地	〃 100	2.0石	1.5石	—	1.5石	15	—	—	小作人側負擔	—	—	全額
最豐作年時			徳康 2年	民國14年	民國 7年	民國14年							
其ノ收量			8.0石	7.0石	8.0石	6.5石							
最凶作年時			民國18年	民國18年	民國18年	民國18年							
其ノ收量			0.6石	1.0石	0.5石	0.5石							
開拓當時收量			雍正 2年 1.0石	雍正 2年 1.0石	—	—							

備考

金納ノ場合ハ前納カ　前納（契約ハ前納ナレド後納スル者多少アリ）
物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　ナシ
小作料ニ附加物（建物・役畜・農具・種子・肥料）　ナシ
小作人ノ義務　ナシ
不在地主ト屯住地主ノ差異　ナシ

2　大　地　主

屯內大地主 氏名	職業	身分	所有耕地	所有荒耕地	其他所有地	屯外大地主（屯內ニ土地ヲ所有スル者） 氏名	住所	職業	身分	所有耕地	所有荒耕地	其他所有地
顧天相	地・自	牌長	天地 5.30	—	—	彭士珍	城內	地主	—	天地 19.50	—	—

屯ノ概況

雑　　項

1. 勞働ノ過不足

屯内勞働力ニテ足リルカ

普通ノ場合ハ過剰ナリ。

不足ノ時期

除草收穫期ニハ不足スル。

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係、其ノ大約ノ人数）

第7區大青堆子勞働市場ヨリ補充ス。

除草期　30人

收穫期　20人

2. 勞　　　賃（年内平準値）

日　工　30錢　年　工（現物的）　50圓　月　工（現物的）　5圓

勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

除　草　50錢
收　穫　40錢

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得ザレバ割合ノミ）

黄　豆　4割　高　粱　5割　包　米　―　棉　―　穀子　1割

特色アル作物ノ有無名稱

陸　稻

4. 主　食　物　名

高　粱　　穀　子

5. 販　賣　作　物　名

黄　豆　　穗　子

6. 主要ナル副業　出稼地　（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

豆　腐　　粉　房

夏家樓村内ニ稼グ
行商 2～3 アリ

7. 出稼地特殊ナル事實

土　地　關　係

彭士珍外ノ屯外不在地主多ク本屯ノ殆ド全部ハ其ノ小作人ナリ。

人口過剰ト正比シ、耕地不足ヲ告ゲ、均分相續制ニ依ル土地ノ細分化シ、經營ハ零細化シ、小作人増加スルニ至レリ。

小　作　關　係

大部分銀納定額前拂ニシテ物納殆ンドナシ。

小作期限ハ1ケ年ナリ。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

縣城内ノ地主、富農等ヨリ土地ヲ押トシテ借入月利2分乃至3分デ、金額ハ50圓ヨリ100圓程度デ計3,000圓ノ負債アリ。

30圓ヨリ10圓位迄ハ、當舗等ヲ利用シテ借入シ、屯内ノ貸借關係少シ。

期限ハ1ケ年ナリ。

勞働關係（搒靑、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

搒靑ハナク役畜農具不足ノ爲、插具換工等ニ依リ耕作シ、勞力ノ不足セル農家ハ日工ヲ臨時雇傭ス。

大青堆子ノ勞働市場ニ出ル者アリ。

雇牛具ハ1天地5圓ヨリ9圓程度ナリ。

共　同　耕　作

ナシ

總　有　地　（山林　牧地等）

特ニ總有地ト稱スルモノナシ。

鐵嶺縣第七區夏家樓村任家窩棚屯　　屯　　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數		雇傭	被傭員數		所有面積			自作地	小作地
			男	女	年(月)工	屯内	出稼	計	耕地	其ノ他		
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝
總計			134	126	3	13	8	549.10	474.30	74.80	417.30	1,349.00
一戸當平均			—	—	—	—	—	15.68	13.55	—	—	—
1	漢	地・自	3	1	—	—	—	53.00	50.00	宅地 3.00	20.00	—
2	〃	地・小	1	2	—	—	—	30.00	27.00	3.00	—	25.00
3	〃	自・小	3	2	年工 1	—	—	60.00	56.00	4.00	56.00	20.00
4	〃	〃	7	8	—	—	—	49.00	46.00	3.00	46.00	71.00
5	〃	〃	4	3	—	—	—	47.00	45.00	2.00	45.00	100.00
6	〃	〃	5	2	—	—	—	46.00	43.00	3.00	43.00	40.00
7	〃	〃	3	2	年工 1	—	—	40.50	37.00	3.50	37.00	60.00
8	〃	〃	8	12	—	—	—	36.00	31.00	5.00	31.00	200.00
9	〃	〃	10	11	—	—	—	23.00	20.00	3.00	20.00	168.00
10	〃	〃	4	7	—	—	—	25.00	20.00	5.00	20.00	90.00
11	〃	〃	9	5	—	—	—	23.00	20.00	3.00	20.00	90.00
12	〃	〃	7	5	—	—	—	19.00	16.00	3.00	16.00	95.00
13	〃	〃	2	5	年工 1	—	—	16.00	12.00	4.00	12.00	80.00
14	〃	〃	4	5	—	日工 2人	—	6.00	6.00	—	6.00	10.00
15	〃	〃	5	3	—	—	—	6.00	4.00	2.00	4.00	10.00
16	〃	〃	8	3	—	—	—	6.00	4.00	2.00	4.00	96.00
17	〃	〃	4	5	—	—	—	7.00	4.00	3.00	4.00	17.50
18	〃	自・小・雇	4	1	—	—	日工 1人（45日）	5.00	2.00	3.00	2.00	44.00
19	〃	〃	1	2	—	日工 1人（60日）	—	3.00	2.00	1.00	2.00	8.00
20	〃	自・雇	3	4	—	日工 1人（[illegible]日）	—	14.[illegible]	[illegible]	4.[illegible]	10.00	—
21	〃	〃	3	2	—	—	年工 1人	7.80	7.80	—	7.80	—
22	〃	〃	1	2	—	年工 1人	—	7.50	7.50	—	7.50	—
23	〃	〃	3	1	—	年工 1人	—	4.80	4.00	0.80	4.00	—
24	〃	小作	4	8	—	—	—	—	—	—	—	40.00
25	〃	小・雇	3	5	—	年工 1人	—	3.00	—	3.00	—	34.50
26	〃	〃	2	3	—	日工 1人（45日）	—	4.50	—	4.50	—	10.00
27	〃	〃	4	1	—	年工 1人	—	1.00	—	1.00	—	15.00
28	〃	〃	5	2	—	—	年工 1人	—	—	—	—	10.00
29	〃	〃	1	5	—	日工 1人（20日）	日工 1人（20日）	2.00	—	2.00	—	12.00
30	〃	雇農	4	1	—	—	年工 2人	—	—	—	—	—
31	〃	〃	1	—	—	日工 1人（20日）	月工 1人（2箇月）	3.00	—	3.00	—	—
32	〃	〃	1	2	—	日工 1人（60日）	—	—	—	—	—	—
33	〃	〃	1	1	—	—	日工 1人	—	—	—	—	—
34	〃	雜業	5	4	—	—	—	1.00	—	1.00	—	—
35	〃	〃	1	1	—	大師夫 1	—	—	—	—	—	—

註、本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　　　況（四隣部落其他ノ部）

小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	[illegible]	騾	大農具所有 大車	犂丈	備考	農家番號
定金 23 定物 1	1,766.30	57.00	13	15	5	11	30		總計
—	50.46	—	—	—	—	—	—		一戸當平均
—	20.00	[illegible]	—	—	—	—	2	叔父ノ役畜ヲ無料デ借リル	1
定金前半拂各25圓	25.00	[illegible]	—	1	—	—	1	田家窩棚ニ27畝ヲ貸ス本屯ニ親戚多キ爲挿具ニテ耕作ヲナス	2
定金前 25圓	76.00	—	1	1	—	—	1	半年工ヲ雇フ	3
〃 25～30圓	117.00	—	1	2	—	1	2		4
〃 〃	145.00	—	1	1	1	1	[illegible]		5
〃 〃	83.00	—	1	1	—	1	2		6
〃 26～30圓	97.00	—	—	1	—	1	1		7
〃 25～30圓	231.00	—	1	[illegible]	1	1	3	冬期粉房ヲ兼營ス小作料25圓ハ濕地アル故ナリ	8
定金後 25圓	188.00	—	1	2	—	1	2	契約ハ前納ナレドモ實際ハ後納ニシテ利子ヲ請求セラレタレドモ免ゼラレタリ 出典地17畝アリ（所有地ニ含マズ）	9
定金前 25～30圓	110.00	—	1	1	—	1	2		10
〃	110.00	—	1	—	1	1	2	契約ハ前納ナレドモ實際的ニ後納ナリ利子ハ請求ヲ受ケタレドモ減免セラレタリ	11
〃 15～30圓	111.00	—	1	1	—	1	2		12
〃 25～30圓	92.00	—	1	—	1	1	2		13
〃 30圓	16.00	—	—	—	1	—	—		14
〃 25圓	14.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具1天地9圓ニテ耕作ス	15
〃 30圓	100.00	—	1	1	—	1	2		16
〃 25圓	21.50	—	—	1	—	—	1	出典地17.5畝アリ（所有地ニ含マズ）出典地ヲ小作ス挿具ヲシテ耕作ヲナス	17
〃 25圓	46.00	—	1	—	—	—	1	大ᐧ堆子ノ勞働市場ニ出ル挿具ヲナシテ耕作ス 出典地10畝アリ（所有地ニ含マズ）出典地ヲ小作ス	18
定物納前 穀子1天地2石	10.00	—	—	—	—	—	—	副業トシテ燃料採取雇牛具ニテ耕作ス1ケ年8圓ヲ要ス	19
	10.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具ヲナシ1日ニ對シ6人ノ割ニ換工ス	20
	7.80	—	—	—	—	—	—	父任王山ノ役畜ヲ無償ニテ使用ス	21
	7.50	—	—	—	—	—	—	代奎トシテ耕作シ5圓ヲ勞賃ヨリ差引カル	22
	4.00	—	—	—	—	—	—	代奎トシテ雇主耕作シテ3圓ノ耕作料ヲ勞賃ヨリ引カル半年工ニシテ他ハ自家勞働ヲナス	23
定金後 30圓	40.00	—	1	—	—	—	—	小作附加物トシテ1.5間房子借家ス挿具ニテ耕作セリ	24
定金前 30圓	34.50	—	—	—	—	—	2	契約ハ前拂ナレドモ實際ハ後拂ニシテ利子ヲ要ス	25
〃 28圓	10.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作ス年5圓ヲ要ス	26
〃	15.00	—	—	—	—	—	—	宅地1畝及家屋ヲ160圓ニテ入典ス所有地ニ含ム親類ノ役畜ヲ無償ニテ使用ス	27
〃 30圓	13.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具ニテ耕作セリ	28
〃	12.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具ト人ト換工ス	29
—	—	—	—	—	—	—	—	康德2年2月來屯呂某ノ家ヲ年4圓ニテ借用ス年工2人ニテ90圓收入アリ	30
—	—	—	—	—	—	—	—	康德3年2月ニ本屯ニ來住ス	31
—	—	—	—	—	—	—	—	同族顧景財ニ寄寓セリ	32
—	—	—	—	—	—	—	—	蘇家屯ニテ日工ヲナス	33
—	—	—	—	—	—	—	—	宅地10畝ヲ入典セリ所有地ニ含ム敎員ヲナス	34
—	—	—	—	—	—	—	—	大師夫ヲナシ父任玉琢ノ中庭ニ房子ヲ作リ住居ス	35

屯ノ概況

總　　括

1. 戸　　　數　34戸

　　耕作農家　17戸

　　其ノ他　17戸

2. 人　　　口

　　男　93人

　　女　85人

　　計　178人

3. 勞　　　働

　　雇傭年月工　9人

　　被傭者　23人（屯内　14人　出稼　9人）

4. 土地所有

　　耕地　804.10畝　1戸當耕地　23.65畝

5. 土地利用

　　自作地　499.60畝

　　小作地　267.50〃

　　耕作地計　767.10〃　1戸耕作地　22.56畝

　　貸付地　302.00〃

6. 小作關係

　　定額金納　7件

　　定額物納　1〃

　　分益物納　8〃

　　計　16件

7. 大家畜所有

　　馬　6頭

　　騾　3〃

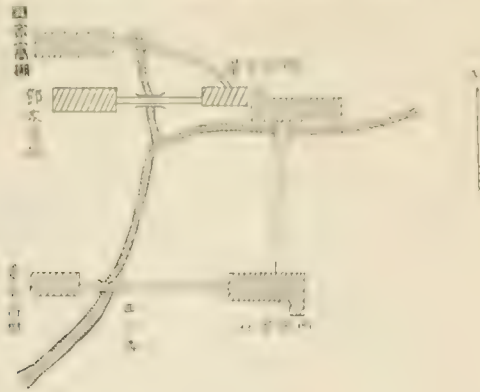
　　驢　7〃

8. 大農具所有

　　大車　4臺

　　犁丈　6架

屯 ノ 概 況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・交通關係）

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

250年前某屯ノ郎氏開拓シ、郎家窩棚ト稱セリ。

200年前現在ノ田姓ノ同族來屯シ、22[illegible]年前ニ田喜豐ノ組來屯シテ土地ヲ獲得ス、20年前迄ハ郎家窩棚ト稱セシヲ、田家窩棚ト改ム。

3. 交 易 關 係

○中心都市・其レトノ交通關係

鐵嶺縣城ヲ主トス。

○賣却及購入市場（都市名）

本縣城ヲ主トシ、夏家棲之ニ次グ。

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）

年工2.3人位デ其ノ他關係少ナシ。

4. 自然的條件並ニ災害

地 質・地 味	水 質
粘質壤土地味中ノ下ナリ。	硬 質

◎水　害

水害ナシ。民國5年降雨多ク、耕地家屋共ニ被害ヲ受ケタリ。

◎旱・風 害

民國12年5月中旬始メテ降雨アリ、此ノ旱害ニヨリ收量半減ス。　民國1年大風ノ為、作況5割減ナリキ。

◎病 虫 害

粘虫ハ毎年發生シテ高粱、黄豆等ニ被害アリ、宣統2年ニハ穀子全滅セシコトアリ。　病害ナシ。

廢耕地ノ有無其ノ原因

ナ シ

5. 匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ

事變及匪害ノ影響ナシ、　屯ノ一般的生活狀況ハ中位ナリ。

6. 度 量 衡

桝ノ大キサ（**メートル**尺ニテ測ル）

舊秤1.2斤 ≒ 新度量衡斤＝1.2 ≒　（同一物ヲ秤ル）

1晌＝7,200弓　　1弓＝5尺（横）　5尺（從）

1尺＝（裁尺）35.2 Cm
（法度尺）64.0 Cm

屯ノ概況

1 晌當收量並小作關係

天地當		地價	高粱	黄豆	粒子	穀子	稗子	黍	小作料 金納	小作料 物納定額
現在收量	上地									
	中地		4.0石	3.5石	5.0石	3.0石			24圓	高粱穀子二色均納 2.0石
	下地		2.0〃	1.5〃	—	2.0〃			18〃	1.6石
最豐作年時 其ノ收量			民國14年 5.0石	〃 4.0石	〃 6.0石	〃 4.0石				
最凶作年時 其ノ收量			民國 5年 1.5石	〃 0.7石	〃 2.0石	皆無				
開拓當時收量			220年前 1.0石	〃 耕作	〃 不能	〃	〃 2.0石	〃 1.0石		

附加物條件	晌捐村費	
地主側負擔	全額	物納折半
小作人側負擔	—	銀納全額

備考
金納ノ場合ハ前納カ　　前後納半分
物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　　二色均納　　高粱、穀子
小作料ニ附加物　（建物・役畜・農具・種子肥料）　ナシ
小作人ノ義務　　ナシ
不在地主ト屯住地主ノ差異　　ナシ

2 大地主

屯内大地主					
氏名	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地
田喜豐	地主	牌長	天地 12.05	—	天地 1.30
田兆豐	地主	同	11.00	—	1.30
田祈豐	地・小	同	11.13	—	0.35

屯 ノ 概 況

雜　　項

1. 勞働ノ過不足

屯內勞働力ニテ足リルカ

過剩ナリ。

不足ノ時期

ナシ

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係共ノ大約ノ人數）

ナシ

2. 勞　　賃（年內平準値）

日工　25錢　年工（跟做的）　40圓　月工（跟做的）　6圓

勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

除草　一
收穫　30錢

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得サレハ割合ノミ）

黃豆　3割　高粱　4割　粳子　1割　穀子　2割

特色アル作物ノ有無名稱

ナシ

4. 主食物名

高粱　穀子

5. 販賣作物名

黃豆　粳子

6. 主要ナル副業　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

ナシ　　隣屯ニ農繁期日工ニ出ル。

7. 特殊ナル事實

土地關係

賣買スル場合ハ日測ニ依リテ面積ヲ決ス、地媒、中介人等ガ介在ス。

地價ハ畢家窩棚ヨリ廉價ナリ。

入典出典少キハ負債少キ爲ナリ。

面積ハ壠數ト長サニテ測ル。

小作關係

租納物納半々ナリ。

地主、小作人共ニ屯內ニアリ。

小作人ノ義務ナシ、期限ハ1ケ年トス。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

當舖ヨリ融通スルコトアレドモ極少數ニシテ全屯ニテ50圓位ナリ、屯內間ノ個人貸借最モ多ク70圓程度ナリ、月利2分ヲ普通トス。

勞働關係（撈靑、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

撈靑　穀物ノミ折半ノ場合ハ、村費小作人負擔、莖稈類、肥料、種子折半ノ場合ハ、村費折半トス。

雇牛具　1天地 老套 4圓 人間ノミニ給食ス
　　　　　　　 打點兒 1圓 飼料、共食被傭者負擔

共同耕作

ナシ

總有地（山林　牧地等）

ナシ

鐵嶺縣第七區夏家樓村田家窩棚屯　　屯　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數		雇傭	被傭員數		所有面積			自作地	小作地
			男	女	年(月)工	屯內	出稼	計	耕地	其ノ他		
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝
總計			**93**	**85**	**9**	**14**	**9**	**867.70**	**804.10**	**63.60**	**499.60**	**267.50**
一戸當平均			—	—	—	—	—	**25.52**	**23.65**	—	—	—
1	漢	地主	2	3	年工 1	—	—	136.50	123.50	13.00	—	—
2	〃	〃	3	2	—	—	—	120.00	110.00	10.00	—	—
3	〃	地・自	2	1	—	—	—	45.30	44.00	1.30	34.00	—
4	〃	〃	3	1	—	—	—	36.80	35.00	1.80	30.00	—
5	〃	地・小	3	3	—	—	—	58.50	53.50	5.00	—	20.00
6	〃	自作	4	4	—	—	—	55.00	55.00	—	55.00	—
7	〃	自・小	7	5	年工 1	—	—	114.80	111.30	3.50	111.00	19.00
8	〃	〃	1	3	年工 2 月工 3	—	—	70.50	65.00	5.50	65.00	40.00
9	〃	〃	3	6	月工 2	—	—	66.50	61.50	5.00	61.50	58.50
10	〃	〃	4	3	—	—	—	49.80	48.00	1.80	48.00	5.00
11	〃	〃	3	6	—	—	—	26.00	26.00	—	26.00	22.50
12	〃	〃	6	2	—	—	—	47.80	41.80	6.00	41.80	36.00
13	〃	〃	1	2	—	—	—	12.80	12.50	0.30	10.00	13.00
14	〃	自・小・雇(年)	4	3	—	—	(年)1	7.60	6.00	1.60	6.00	20.00
15	〃	自・雇(月・日)	1	2	—	(日)1	(月・日)1	6.00	6.00	—	6.00	—
16	〃	〃 (年)	2	2	—	—	(年)1	5.00	5.00	—	5.00	—
17	〃	小作	3	2	—	—	—	1.00	—	1.00	—	20.00
18	〃	〃	1	2	—	—	—	—	—	—	—	10.00
19	〃	〃	4	5	—	—	—	2.50	—	2.50	—	3.50
20	〃	雇農(月・日)	5	3	—	(月)1 (日)1	(月)1 (日)1	4.00	—	4.00	—	—
21	〃	〃 (月)	5	1	—	(月)1	—	1.30	—	1.30	—	—
22	〃	〃 (年・日)	3	1	—	(年)1 (日)1	—	—	—	—	—	—
23	〃	〃 (月・日)	2	2	—	(月・日)1	—	—	—	—	—	—
24	〃	〃 (月)	2	3	—	—	(月)1	—	—	—	—	—
25	〃	〃 (月・日)	1	3	—	(月・日)1	—	—	—	—	—	—
26	〃	〃 (〃)	1	1	—	〃	—	—	—	—	—	—
27	〃	〃 (〃)	3	2	—	〃	—	—	—	—	—	—
28	〃	〃 (〃)	2	2	—	〃	—	—	—	—	—	—
29	〃	〃 (〃)	1	1	—	〃	—	—	—	—	—	—
30	〃	〃 (月)	3	2	—	—	(月)1	—	—	—	—	—
31	〃	〃 (日)	1	2	—	—	(日)1	—	—	—	—	—
32	〃	雇 (月) 雜 (看青的)	3	2	—	(月工)1	(看青的)1	—	—	—	—	—
33	〃	雜 (大師夫)	2	3	—	大師夫 1	—	—	—	—	—	—
34	〃	無職	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況（四隣部落其他ノ部）

小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有 馬	騾	驢	大農具所有 大車	犁丈	備考	農家番號
定金 7 定物 1 分益 8	767.10	302.00	6	3	7	4	6		總計
—	22.56	—	—	—	—	—	—		一戸當平均
—	—	123.50	—	—	—	—	—	出典地16畝アリ（所有地ニ含マズ）	1
—	—	110.00	—	—	—	—	—		2
—	34.00	10.00	—	—	1	—	—	挿具ニテ耕作ス	3
—	30.00	5.00	—	—	1	—	1	〃　入典地10畝所有地ニ含ム	4
定金 半前半後 25圓	20.00	53.50	—	—	—	—	—	雇牛具ヲナシ耕作ス	5
分物 (5:5) 定金前 20圓	55.00	—	1	—	—	—	—	挿具ニテ耕作ス	6
定物 穀子1.0石	130.30	—	1	1	—	1	1	出典地75畝アリ（所有地ニ含マズ）	7
定金前 物分 (5:5)	105.00	—	2	1	—	1	2	挿具ニテ耕作ス	8
定金前 24圓	120.00	—	1	—	1	1	1	〃	9
定金 半前半後 25圓	53.00	—	—	—	1	—	—	〃　入典地８畝所有地ニ含ム	10
分物 (5:5) 定金{半前半後 17圓	48.50	—	—	1	—	—	1	雇牛具ヲナシ人力ト換工ス　入典地２畝所有地ニ含ム	11
分物 (5:5)	77.80	—	1	—	—	1	—	挿具ニテ耕作	12
〃	23.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具4.50圓　入典地10畝所有地ニ含ム	13
〃	26.00	—	—	—	1	—	—	親戚ノ牛具ヲ無償ニテ借用ス	14
—	6.00	—	—	—	—	—	—	挿具ニテ耕作	15
—	5.00	—	—	—	—	—	—	雇牛具ヲナシ人力ト換工ス	16
分物 (5:5)	20.00	—	—	—	1	—	—	挿具	17
〃	10.00	—	—	—	—	—	—		18
定金前 25圓	3.50	—	—	—	1	—	—		19
—	—	—	—	—	—	—	—		20
—	—	—	—	—	—	—	—		21
—	—	—	—	—	—	—	—		22
—	—	—	—	—	—	—	—		23
—	—	—	—	—	—	—	—		24
—	—	—	—	—	—	—	—		25
—	—	—	—	—	—	—	—		26
—	—	—	—	—	—	—	—		27
—	—	—	—	—	—	—	—		28
—	—	—	—	—	—	—	—		29
—	—	—	—	—	—	—	—		30
—	—	—	—	—	—	—	—		31
—	—	—	—	—	—	—	—		32
—	—	—	—	—	—	—	—		33
—	—	—	—	—	—	—	—	乞食トシテ生活ス	34

屯ノ概況

總　　括

1. 戸　　數　29戸
   - 耕作農家　22戸
   - 其ノ他　7戸
2. 人　　口
   - 男　110人
   - 女　110人
   - 計　220人
3. 勞　　働
   - 雇傭年月工　12人
   - 被傭者　17人（屯内　7人　出稼　10人）
4. 土地所有
   - 耕地　1,017.00畝、1戸當耕地　35.07畝
5. 土地利用
   - 自作地　945.00畝
   - 小作地　563.00畝
   - 耕作地計　1,508.00畝　1戸當耕作地　52.00畝
   - 貸付地　72.00畝
6. 小作關係
   - 定額金納　7件
   - 定額物納　8〃
   - 分益　1〃
   - 計　16件
7. 大家畜所有
   - 馬　14頭
   - 騾　13〃
   - 驢　1〃
8. 大農具所有
   - 大車　10臺
   - 犂丈　21架

屯ノ概況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・交通關係）

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

200年前劉連江ノ祖先河北省ヨリ（順天府）渡滿シ、本屯開拓ノ祖トナル。

3. 交易關係

○中心都市・其レトノ交通係關　　本縣城及青堆子ト關係密接ナリ。

○賣却及購入市場（都市名）　　同　上

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）

行商關係ナシ。

勞力ハ本屯ヨリ調査屯ニ供給スルコト皆無ナルモ、農繁期ニ於テ年工、月工、日工ヲ調査屯ヨリ需要ス。

年工ハ年2乃至3人、月工、日工ハ極少ナリ。

4. 自然的條件並ニ災害

地　質・地　味

粘質黑土、地味肥沃ニシテ3年ニ1回施肥ス。

水　質

不良ナリ

◎水　　害

春期水害アリ、特ニ康德1年ハ洪水ノ被害大ナリ。

◎旱・風　害

秋期旱害ノ害アリシモ風害ナシ。

◎病　虫　害

病害殆ドナキモ、黄豆ト高粱ニハ油虫、粟子ニハ轉心虫（ズイ虫）、白虫（根切虫）等ノ被害甚ダシ、本年ハ白虫ノ害特ニ多シ。

廢耕地ノ有無其ノ原因　　ナ　シ

5. 匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ

近來匪害ノ例ナシ。　事變後警備ノ必要少ナク治安確立シ生活ニ不安ナキモ、經濟的ナ影響モ大差ナキモノノ如シ。

屯一般ノ生活狀況惡シク、水、旱害ノ年ハ富家ヨリ高粱ノ無償交付ヲ受ク、從ツテ生活相當疲弊セルモノト見做ス。

6. 度　量　衡

枡ノ大キサ（メートル尺ニテ測ル）　　度量衡大夏家樓屯ト同樣ノ爲省略ス

舊秤　　斤 ° 新度量衡斤＝　　　°　　（同一物ヲ秤ル）

1晌＝　　弓　　1弓＝　　尺（横）　　尺（從）

1尺＝　　cm

屯ノ概況

1 晌當收量並小作關係

天地當		地價	高粱	黃豆	穀子	稗子	粳子	小作料 金納	小作料 物納定額	小作料 分益
現在收量	上地									
	中地	圓 250	3.50石	3.00石	3.00石	—	3.00石	圓 20	高粱 石 2.00	5:5
	下地	〃 200	2.50石	2.00石	2.50石	5.00石	—	15	1.5	5:5
最豐作年時			大同 1年	大同 1年	大同 1年	康德 2年	大同 1年			
其ノ收量			4.50石	4.00石	4.00石	5.00石	4.50石			
最凶作年時			康德 1年	康德 1年	康德 1年	康德 1年	康德 2年			
其ノ收量			1.50石	2.00石	1.50石	4.00石	3.00石			
開拓當時收量			200年前 5.00石	200 年前 5.00石	200 年前 5.00石	200 年前 6.00石	—			

附加物條件

	晌捐	村費	自衛團費
地主側負擔	國縣稅全額負擔	—	會設費全部負擔
小作人側負擔		全額負擔	看青費全額負擔

備考

金納ノ場合ハ前納カ　前納又ハ分納ニシテ利子ナシ

物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　契約ノ場合口頭ニテ決定シ穀物ハ定メナシ

小作料ニ附加物（建物・役畜・農具・種子・肥料）ナシ

小作人ノ義務　ナシ

不在地主ト屯住地主ノ差異　ナシ

2 大地主

屯內大地主

氏名	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地
仲兆豐	地・自	ナシ	天地 9.0	—	天地 0.4

屯外大地主（屯內ニ土地ヲ所有スル者）

氏名	住所	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地
黃景新	本縣城	地主	—	天地 10.00	—	—

屯ノ概況

雜　　項

1. 勞働ノ過不足

屯内勞働力ニテ足リルカ

過不足ナシ。

不足ノ時期

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係、其ノ大約ノ人數）　無

2. 勞　　　貸（年內平準値）

日工　0.40円　年工（跟做的）　50.00円　月工（跟做的）　5.00円

勞貸ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

{除草　0.60円
{收穫　0.60〃

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得ザレハ割合ノミ）

黃豆　高粱　包米　棉　穀子

特色アル作物ノ有無名稱

ナシ

4. 主食物名

高粱、穀子、稗子、

5. 賣販作物名

黃豆、高粱、穀子、

6. 主要ナル副業　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

ナシ

大靑堆子　黃家窩棚等ナリ。

7. 特殊ナル事實

土地關係

洪水ノ被害ノ爲、典關係皆無ノ狀態ナリ。

倘近來土地ノ賣買移動殆ドナシ。

他屯ニ比シ耕地面積少ナシト。

小作關係

肥沃ニシテ、比較的洪水ノ害少キ地ハ概ネ銀納定額前拂ニシテ、瘦地ハ物納定額或ハ分益ノ形態ナリ。

洪水甚シキ年ハ小作料ノ減免行ハル。

本屯ヨリ外屯ニ移住スル小作人ヲ生ズレドモ、本屯ニ來屯スルモノ尠ナシ。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

土地狹小ニシテ、返濟ノ方法無キ爲、金融ノ途ナク從ツテ負債モナシ。

典關係殆ンド無シ。

勞働關係（撈靑、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

撈靑、雇牛具、殆ンドナシ。

插具ハ6戶、換工 4戶、役畜1頭ニ勞力 3人トス、但シ農具持參トス。

共同耕作

ナシ

總有地　（山林　牧地等）

山林ナシ　牧地（低濕地）14ケ所

總面積 6天地アリ。

鐵嶺縣第七區夏家樓村前腰堡屯　　屯　　ノ

農家番號	族別	經營樣式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭 年(月)工	被傭員數 屯內	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 林地	所有面積 其ノ他	自作地	小作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
總計			110	110	12	7	10	1,133.50	1,017.00	8.00	108.50	945.00	563.00
一戸當平均			—	—	—	—	—	29.08	35.07	—	—	—	—
1	漢	地・自	3	4	—	—	—	94.00	90.00	—	4.00	18.00	—
2	〃	自作	6	10	年工 6	—	—	320.00	304.00	8.00	8.00	304.00	—
3	〃	〃	3	5	〃 1	—	—	108.00	100.00	—	8.00	100.00	—
4	〃	〃	5	7	〃 1	—	—	105.00	98.00	—	7.00	98.00	—
5	〃	〃	2	3	—	—	—	27.00	25.00	—	2.00	25.00	—
6	〃	〃	3	—	—	—	—	12.00	12.00	—	—	12.00	—
7	〃	〃	2	1	—	—	—	17.00	10.00	—	7.00	10.00	—
8	〃	〃	1	1	—	—	—	12.00	5.00	—	7.00	5.00	—
9	〃	自・小	5	7	年工 1	—	—	94.00	90.00	—	4.00	90.00	40.00
10	〃	〃	7	4	〃 1	—	—	85.00	80.00	—	5.00	80.00	30.00
11	〃	〃	4	6	—	—	—	94.00	75.00	—	19.00	75.00	35.00
12	〃	〃	7	7	—	—	—	40.00	37.00	—	3.00	37.00	75.00
13	〃	〃	7	4	—	—	—	33.00	27.00	—	6.00	27.00	63.00
14	〃	〃	5	5	月工 1	—	—	27.50	23.00	—	4.50	23.00	69.00
15	〃	〃	3	2	—	—	—	12.00	12.00	—	—	12.00	24.00
16	〃	自・雇(年)	2	2	—	—	(年)1	25.00	25.00	—	—	25.00	—
17	〃	〃(年・日)	4	5	月工 1	(月)1	城内(年)1	4.00	4.00	—	—	4.00	—
18	〃	小作	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	90.00
19	〃	〃	3	6	—	—	—	8.00	—	—	8.00	—	50.00
20	〃	〃	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	30.00
21	〃	小・雇(年)	5	4	—	—	(年)1	5.00	—	—	5.00	—	45.00
22	〃	〃(年)	4	3	—	(年)1	〃 1	4.00	—	—	4.00	—	12.00
23	〃	雇農(年)	3	3	—	—	〃 3	—	—	—	—	—	—
24	〃	〃　〃	2	2	—	(年)1	〃 1	—	—	—	—	—	—
25	〃	〃　〃	4	2	—	〃 1	—	—	—	—	—	—	—
26	〃	〃　〃	4	2	—	〃 1	(年)1	—	—	—	—	—	—
27	〃	〃　〃	3	3	—	〃 1	—	—	—	—	—	—	—
28	〃	〃　〃	4	1	—	〃 1	—	—	—	—	—	—	—
29	〃	雜業(看青的)	4	4	—	—	看青的 1	7.00	—	—	7.00	—	—

註　本表ニ現レタル石ハ舊制石ナリ

概　　況（四隣部落其他ノ部）

小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有			大農具所有		備考	農家番號
			馬	騾	驢	大車	犂丈		
	畝	畝	頭	頭	頭	臺	架		
定金 7 定物 8 分益 1	**1,508.00**	**72.00**	**14**	**13**	**1**	**10**	**24**		**總計**
—	**52.00**	—	—	—	—	—	—		**一戸當平均**
—	18.00	72.00	—	—	—	—	—	屯外ノ{仲菜 14.00 / 張菜 30.00 / 〃〃 28.00} ニ小作セシム	1
—	304.00	—	2	2	1	1	4		2
—	100.00	—	1	1	—	1	2		3
—	98.00	—	1	1	—	1	2		4
—	25.00	—	—	1	—	—	1		5
—	12.0[illegible]	—	—	—	—	—	—		6
—	[illegible]	—	—	—	—	—	—		7
—	5.00	—	—	—	—	—	—		8
定金(前)20.00圓	130.00	—	1	1	—	1	2		9
〃	110.00	—	1	1	—	1	2		10
定物(後) 2.0石	110.00	—	1	1	—	1	1		11
〃 〃	112.00	—	1	1	—	1	2		12
〃 1.8石	90.00	—	1	1	—	1	2		13
定金(前)20.00圓	92.00	—	—	2	—	1	2		14
〃 (前)25.00圓 定物 2.5石	36.00	—	1	—	—	—	1		15
—	25.00	—	—	—	—	—	—		16
—	4.00	—	—	—	—	—	—		17
定物 1.8石	90.00	—	1	1	—	1	1	20年前法庫縣ヨリ移住ス墓地法庫縣ニ所有シ同地ニ埋葬ス	18
〃 4.0石 定金 20.00圓 物分 (5:5)	50.00	—	1	—	—	—	—		19
定金(前)20.00圓	30.00	—	1	—	—	—	—	本年來住セリ	20
{定金(前)20.00圓 定物 1.8石}	45.00	—	1	—	—	—	1		21
〃 2.0石	12.00	—	—	—	—	—	1		22
—	—	—	—	—	—	—	—		23
—	—	—	—	—	—	—	—		24
—	—	—	—	—	—	—	—		25
—	—	—	—	—	—	—	—		26
—	—	—	—	—	—	—	—		27
—	—	—	—	—	—	—	—		28
—	—	—	—	—	—	—	—	看青的年收高粱4.5石アリ	29

屯ノ概況

總　　括

1. 戸　　數　29戸
   - 耕作農家　1[illegible]戸
   - 其ノ他　1[illegible]戸

2. 人　　口
   - 男　125人
   - 女　99人
   - **計　224人**

3. 勞　　働
   - 雇傭年月工　4人
   - 被傭者　26人（屯内　14人　出稼　12人）

4. 土地所有
   - 耕地　647.00畝　1戸當耕地　22.31畝

5. 土地利用
   - 自作地　619.00畝
   - 小作地　632.00畝
   - 耕地地計　1,251.00畝　1戸當耕作地　43.13畝
   - 貸付地　28.00畝

6. 小作關係
   - 定額金納　17件
   - 定額物納　—
   - 分益物納　2件
   - **計　19件**

7. 大家畜所有
   - 馬　10頭
   - 騾　6〃
   - 驢　[illegible]〃

8. 大農具所有
   - 大車　10臺
   - 犂杖　14架

屯ノ概況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・通路・鐵道・地形・交通關係）

2. 屯ノ開發年代（今カラ何年前）

300年前本屯ノ發生ヲ見ル。

3. 交易關係

○中心都市・其レトノ交通關係　　鐵嶺縣城及法庫

○賣却及購入市場（都市名）　　夏家樓村、大靑堆子、及本縣城等ナリ。

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）　　關係ナシ。

4. 自然的條件並ニ災害

地　質・地　味　　　　　水　質

粘質壤土　排水不良ニシテ地味惡シ。　　硬　質

◎水　害

低窪地ナル爲、10年ニ7年位ハ水害ヲ受ク。　本年ハ特ニ甚シク收量半減以下トナル。

尙遠ク同治13年ハ大水害ニシテ收量1〜2割ニ止マラズ。

◎旱・風　害

旱害ナキモ、風害春期季節風ノ爲ニ、再播種スルコトアリ。　15年前ハ收量$\frac{1}{3}$ニ減ゼルコトアリ。

◎病　虫　害

病害ハ黑穗病多ク、民國2年ニ夜盜虫發生シ、收穫皆無トナル。

其ノ他穀子ノ節虫、高粱ノ根切虫、黃豆ノ豆こがね虫等發生ス。

廢耕地ノ有無其ノ原因

ナ　シ

5. 匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ

大同2年義勇軍入屯シ、穀物衣服等ヲ掠奪ス。　事變後影響ナシ。

一般的屯ノ生活程度ハ、他屯ニ比シ低シ、之ハ地味惡シク生產力低キト資產家少キ爲ナリ。

6. 度　量　衡　　大夏家樓屯ニ同ジ

枡ノ大キサ（**メートル**尺ニテ測ル）

舊秤　　斤 ⁰₀ 新度量衡斤＝　　⁰₀　　（同一物ヲ秤ル）

1晌＝　　弓　　　1弓＝　　尺（横）　　尺（從）

1尺＝　　cm

屯ノ概況

1. 晌當收量小作關係

天地當		地價	高粱	黄豆	粒子	穀子	小作料			附加物條件		
							金納	物納定額	分益		晌捐	村費
現在收量	上地	圓 200	石 4.00	石 4.00	石 5.00	石 3.00	圓 25.00	高粱 石 2.00	5:5	地主側負擔	全額	—
	中地	〃 150	〃 2.00	〃 3.00	〃 4.00	〃 1.50	〃 20.00	〃 1.50	5:5			
	下地	〃 100	〃 1.00	〃 1.50	〃 3.00	〃 1.00	〃 15.00	〃 1.00	5:5	小作人側負擔	—	全額

	高粱	黄豆	粒子	穀子
最豐作年時	康德1年	同	民國19年	10年前
其ノ收量	石 4.50	5.00	6.00	6.00
最凶作年時	〃 7年前	民國19年	19年前	12.3年前
其ノ收量	1.00	1.00	0.50	1.00
開拓當時收量	250年前 6.00	同 5.00	同 —	同 5.00

備考

金納ノ場合ハ前納カ　前納契約ナレド分納スルモノアリ其場合ハ月利3分トス

物納ノ場合ハ穀物＝定メナキカ　契約ノ際決定ス普通高粱ナリ

小作料＝附加物（建物•役畜•農具•種子•肥料）　分益ノ場合肥料折半負擔スルコトアリ

小作人ノ義務　ナシ

不在地主ト屯住地主ノ差異　ナシ

2 大地主

屯内大地主						屯外大地主（屯内＝土地ヲ所有スル者）						
氏名	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地	氏名	住所	職業	身分	所有耕地	所有廢耕地	其他所有地
						劉巨川	夏家樓	地•自	—	天地 16.00	—	—

屯ノ概況

雜　　項

1. 勞働ノ過不足

屯內勞働力ニテ足リルカ

過剩ナリ。

不足ノ時期

ナシ

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係、其ノ大約ノ人數）

ナシ

2. 勞　　賃（年內平準値）

日　工　0.30圓　年　工（跟做的）　50.00圓　月　工（跟做的）　5.00圓

勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

除　草　0.35圓
收　穫　0.35〃

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得サレハ割合ノミ）

黃　豆　3割　高　粱　3割　粳　子　1割　穀　子　2割　其他1割

特色アル作物ノ有無名稱

ナシ

4. 主食物名

高　粱　穀　子　粳　子

5. 販賣作物名

黃　豆　粳　子

6. 主要ナル副業　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

ナシ

勞働者ハ夏家樓ニ雇ハル。

7. 特殊ナル事實

土地關係

以前ハ旗地ニシテ、現在ハ廢耕地ナシ。
土地ノ入出典近來ナシ。
5年前屯長ノ劉某所有地7天地ヲ賣却シ、本屯ヲ去ル。
不在地主ノ所有地ハ35天地位ナリ。

小作關係

銀納、物納、分益等混然トシテ居リ、契約ハ1箇年毎ニ更新ス。
小作料滯納者アリ、月利2分5厘～3分ノ利子ヲ附ス。
屯外ノ小作地モ相當アリ、小作料ハ地主ヘ持參ス。

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

10年前ハ地券ヲ利用シテ縣城ノ財産家ヨリ借入セルモ現在ハ認メズ。
屯內ノ個人貸借或ハ屯外ノ知人等ヨリ金融ス。
負債總額1,500圓程度ナリ。

勞働關係（榜靑、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

榜靑雇牛具共ニナシ
插具ニ依ル耕作多ク換工ト關聯ス。
役畜及ビ農具ナキ者ハ換工シ、插具シテ耕作ス。

共同耕作

ナシ

總有地（山林　牧地等）

ナシ

鐵嶺縣第七區夏家樓村小夏家樓屯　　屯　　ノ

農家番號	族別	經營様式	家族員數 男	家族員數 女	雇傭 年(月)工	被傭員數 屯内	被傭員數 出稼	所有面積 計	所有面積 耕地	所有面積 廢耕地	所有面積 其ノ他	自作地	小作地
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	畝
總計			125	99	4	14	12	744.10	647.00	4.00	93.10	619.00	632.00
一戸當平均			—	—	—	—	—	25.66	22.31	—	—	—	—
1	漢	地・自・小	2	2	—	—	—	43.00	40.00	—	3.00	30.00	40.00
2	〃	地・雇	2	2	—	—	日 1	20.50	18.00	—	2.50	—	—
3	〃	自作	4	1	年 1	—	—	44.50	41.00	—	3.50	41.00	—
4	〃	〃	2	4	—	—	—	60.50	57.00	—	3.50	57.00	—
5	〃	自・小	6	5	—	—	—	92.00	80.00	—	12.00	80.00	40.00
6	〃	〃	6	6	—	—	—	74.50	70.00	—	4.50	70.00	24.00
7	〃	〃	12	11	—	—	—	66.60	61.00	—	5.60	61.00	132.00
8	〃	〃	8	6	—	—	—	44.00	40.00	—	4.00	40.00	15.00
9	〃	〃	7	3	—	—	—	22.00	12.00	—	10.00	12.00	197.00
10	〃	〃	4	1	—	—	—	18.00	18.00	—	—	18.00	44.00
11	〃	〃	6	5	—	—	—	16.00	11.00	—	5.00	11.00	35.00
12	〃	自・小・雇	4	3	—	日 1	年 1	13.00	8.00	—	5.00	8.00	4.00
13	〃	自・小・雜	10	11	年 3	—	—	146.00	132.00	—	14.00	132.00	50.00
14	〃	自・雇	6	5	—	日 2	—	47.00	45.00	—	2.00	45.00	—
15	〃	〃	3	2	—	月 1	年 1	5.50	5.50	—	—	5.50	—
16	〃	自・雜	2	—	—	—	—	8.00	7.00	—	1.00	7.00	—
17	〃	〃	1	1	—	—	—	2.00	1.50	—	0.50	1.50	—
18	〃	小・雇	7	8	—	—	年 2	2.00	—	—	2.00	—	21.00
19	〃	〃	3	2	—	日 1	年 2	—	—	—	—	—	10.00
20	〃	〃	3	2	—	年 1	—	—	—	—	—	—	10.00
21	〃	雇農	5	2	—	年 1	年 2	3.00	—	—	3.00	—	—
22	〃	〃	3	2	—	—	年 1 日 1	—	—	—	—	—	—
23	〃	〃	4	1	—	年 2	—	7.00	—	—	7.00	—	—
24	〃	〃	3	3	—	日 1	年 1	—	—	—	—	—	—
25	〃	〃	2	1	—	日 1	—	—	—	—	—	—	—
26	旗	雇・雜	1	3	—	年 1	—	2.00	—	—	2.00	—	—
27	漢	〃	2	3	—	日 1	—	3.00	—	—	3.00	—	—
28	〃	〃	6	3	—	日 1	—	4.00	—	4.00	—	—	—
29	〃	雜	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

概　　　　況　（四隣部落其他ノ部）

小作形態		耕作面積	貸付地	大家畜所有			大農具所有		備考	農家番號
				馬	騾	驢	大車	犂丈		
定金前 分益	17 2	1,251.00	28.00	10	9	5	10	14		總計
	—	43.13	—	—	—	—	—	—		一戸當平均
定金前 分益	22圓 5:5	70.00	10.00	1	—	—	1	1	挿具ヲナシ耕作ス	1
	—	—	18.00	—	—	—	—	—	日工屯外12.00圓貸付地ノ全部分益ナリ	2
	—	41.00	—	1	—	—	—	—	本屯ノ劉振ト挿具ヲナス	3
	—	57.00	—	—	1	—	—	—	屯内ノ劉喜忠ト挿具ヲナス入典地30畝アリ所有地ニ含ム	4
定金前	25圓	120.00	—	1	1	—	1	1	墓地ハ耕地中ニアリ地主ハ縣城ノ不在地主トス	5
〃	22圓	94.00	—	1	—	1	1	1	出典地20畝アリ（所有地ニ含マズ）10畝200圓トス	6
〃	18～25圓	193.00	—	1	2	—	1	2	入典地10畝アリ所有地ヲ含ム170圓ナリ	7
〃	27圓	55.00	—	1	—	1	1	1	小作地ハ屯外ニアリ	8
定金前	21～27圓	[illegible]	—	1	2	—	1	2	出典地2畝アリ4[illegible]圓トス（所有地ニ含マズ）挿具換工ニヨリ耕作ス	9
〃	22圓	62.00	—	1	—	—	1	2	出典地21畝アリ（所有地ニ含マズ）1[illegible]畝14[illegible]圓ナリ挿具ニテ耕作ス小作地屯外ナリ	10
〃	20～25圓	46.00	—	1	—	1	1	1		11
〃	24圓	12.00	—	—	—	1	—	—	勞働收入40圓挿具換工ヲナシ耕作ス	12
〃	24圓	182.00	—	1	2	—	1	2	勞銀3人年193圓ナリ車店ヲ經營ス	13
〃		45.00	—	—	1	—	1	1		14
〃		5.50	—	—	—	—	—	—	勞銀收入年80圓挿具換工ニテ耕作ス	15
〃		7.00	—	—	—	—	—	—	尹玉山ト換工ス宿屋ヲ經營年收30圓	16
〃		1.50	—	—	—	—	—	—	蔬菜ヲ耕作スル傍ラ乞食ヲナス	17
定金前 分益	20圓 5:5	31.00	—	—	—	1	—	—	勞働收入80圓挿具ヲナシ耕作ス	18
定金前	25圓	10.00	—	—	—	—	—	—	勞銀收入100圓挿具換工ヲナシ耕作ス	19
〃	24圓	10.00	—	—	—	—	—	—	親類ノ農具ヲ無償借用ス	20
	—	—	—	—	—	—	—	—	2畝ヲ60圓ニテ出典ス（所有地ニ含マズ）看青收入130圓アリ	21
	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入59圓	22
	—	—	—	—	—	—	—	—	勞銀收入80圓	23
	—	—	—	—	—	—	—	—	勞働收入64圓	24
	—	—	—	—	—	—	—	—	日工年收60圓	25
	—	—	—	—	—	—	—	—	入典宅地2畝アリ所有地ニ含ム車店年收益70圓	26
	—	—	—	—	—	—	—	—	入典宅地3畝アリ所有地ニ含ム日工收入36圓醫業收入60圓	27
	—	—	—	—	—	—	—	—	日工收入20圓看青的ヲナス	28
	—	—	—	—	—	—	—	—	大工年收60圓	29

屯ノ概況

總括

1. 戸　　數　13戸
   耕作農家　11戸
   其ノ他　2戸
2. 人　　口
   男　38人
   女　42人
   計　80人
3. 勞　　働
   雇傭年工　4人　月工　2人
   被傭者　9人（屯內　8人　出稼　1人）
4. 土地所有
   耕地　251.00畝　1戸當耕地　19.30畝
5. 土地利用
   自作地　171.00畝
   小作地　460.00〃
   耕作地計　631.00〃　1戸當耕作地　48.54畝
   貸付地　80.00〃
6. 小作關係
   定額金納　8件
   定額物納　—〃
   分益物納　5〃
   計　13件
7. 大家畜所有
   馬　5頭
   騾　3〃
   驢　7〃
8. 大農具所有
   大車　4臺
   犂丈　9架

屯ノ概況

1. 關係屯附近略圖（主要ナル部落・河・山・道路・鐵道・地形・方向等）

2. **屯ノ開發年代**（今カラ何年前）

雍正2年黃某ノ開拓ニ依ル爲、黃家窩棚ノ由來スル所トナル。　現在ハ黃家ハ沒落セリ。

3. **交　易　關　係**

○中心都市・其レトノ交通係關　　鐵嶺縣城

○賣却及購入市場（都市名）　　同　　上

實態調査屯トノ交易（行商勞力需給等ニツキ）　　關係ナシ

4. **自然的條件並ニ災害**

地　質・地　味　　　　　　　　　　水　質

粘質ノ黑土帶ニシテ地味肥沃ナリ。　　　　あるかり性ノ硬水

◎水　　害

光緒8年1週間ニ亘ル連雨ノ爲、調兵山ヨリ氾濫シ、耕地ハ殆ド水浸トナリ、水害8割ニ達シ辛クモ2分作況ニ止メタリ。降リテ光緒30年、再ビ水害ヲ被リ康徳1年ハ降雨甚ダシク作況5割以内ナリキ。

◎旱・風　害

低濕ナレバ旱害ナキモ、毎年季節風ノ爲、再播種ヲナス、

◎病　虫　害

病害ハ主トシテ高粱、穀子ノ黑穗病、　虫害ハ高粱、穀子ノ蚜虫、黃豆ノ豆こがね等ノ發生最モ多ク本年ハ特ニ甚シ。

廢耕地ノ有無其ノ原因

ナ　シ

5. **匪害、事變等ノ影響　　屯一般ノ暮向キ**

民國20年事變直後匪賊ノ襲擊ヲ受ケ役畜、穀物等ヲ掠奪ヲ蒙リタルノミニシテ、其後治安恢復シ、現在ニ至ルモ被害ナシ。民國15〜16年間迄ハ生活ノ困難ヲ感ゼザリシガ、18年頃ヨリ急轉直下生活難ノドン底ニ陷リ、一般的ニ生活狀況ハ未ダ充分恢復ノ域ニ達セズ。

6. **度　量　衡**　　萬家房身ト同樣參照セラレタシ

桝ノ大キサ（**メートル**尺ニテ測ル）

舊秤　　斤 ％ 新度量衡斤＝　　　％　　　（同一物ヲ秤ル）

1晌＝　　弓　　　1弓＝　　尺（横）　　　尺（從）

1尺＝　　cm

屯ノ概況

1 晌當收量並小作關係

天地當		地價	高粱	黄豆	粳子	穀子	稗子	小作料 金納	小作料 物納定額	小作料 分益	附加物條件	附加物條件 晌捐	附加物條件 村費
現在收量	上地										地主側負擔	全額負擔	—
	中地	圓 200	石 4.50	石 3.00	石 4.00	石 3.00	—	圓 23	石 1.70～2.00	5:5			
	下地	〃 130	〃 3.00	〃 2.00	〃 4.00	〃 2.00	—	〃 13	〃 0.70～1.20	5:5	小作人側負擔	—	全額負擔
最豐作年時			不明	〃	〃	〃	〃						
其ノ收量			石 5.00	4.00	5.50	4.00	5.00						
最凶作年時			不明	〃	〃	〃	〃						
其ノ收量			石 1.50	1.50	2.00	0.80	2.00						
開拓當時收量			雍正2年 石 6.00	〃 小麥 3.00									

備考

金納ノ場合ハ前納カ　前拂前拂各半分

物納ノ場合ハ穀物ニ定メナキカ　高粱本位ナレド黄豆モアリ

小作料ニ附加物（建物・役畜・農具・種子・肥料）　建物・役畜・農具等ヲ附加物トス
但シ不在地主ノミナリ

小作人ノ義務　ナシ

不在地主ト屯住地主ノ差異　不在地主ハ小作料滞納ノ場合ハ利子ヲ附セドモ屯内地主ハ物納代納セシム

2 大地主

屯内大地主 氏名	職業	身分	所有耕地	所有荒耕地	其他所有地	屯外大地主（屯内ニ土地ヲ所有スル者） 氏名	住所	職業	身分	所有耕地	所有荒耕地	其他所有地
播繼益	地主	—	天地 20.00	—	天地 0.30	黄景新	本縣城	地主	—	天地 30.00	—	天地 1.00

屯ノ概況

雜　　　　項

1. 勞働ノ過不足

屯内勞働力ニテ足リルカ

一般的ニ不足セリ。

不足ノ時期

5月中旬採種期ト8月中旬以後ノ收穫期トス。

補充ハ何處ヨリスルカ（勞働市場トノ關係、其ノ大約ノ人數）

附近ノ部落ヨリ雇傭ス。

2. 勞　　　　賃（年内平準値）

日工　30錢　　年工（跟做的）　50圓　　月工（跟做的）　7圓

勞賃ハ何時最モ高キカ、高キ時ノ値（日工ニツイテノミ）

除草　45錢
收穫　50〃

3. 全屯耕地播種割合、大略、（面積ヲ得サレハ割合ノミ）

黄豆　30%　高粱　35%　粳子　10%　棉　一　穀子　10%　其他15%

特色アル作物ノ有無名稱

ナシ

4. 主食物名

高粱　60%

穀子　40%

5. 販賣作物名

黄豆　55石　1石　11圓

粳子　25〃　〃　10〃

6. 主要ナル副業　　出稼地（行商其ノ他餘業ニツイテモ）

ナシ　　　　ナシ

7. 特殊ナル事實

土地關係

出典地ハ以前相當存在セルモ、現在ハ全ク其ノ影ヲ見ズ。
不在地主ハ民國15年治安不良ノ爲、縣城ニ移住セリ。
其ノ他特殊ナル土地關係ナシ。

小作關係

一般的形態ニシテ左ノ割合トス。

定額金納　7割
定額物納　2〃
分　益　1〃

金融事情（主ナル金融ノ方法利率等）

主トシテ屯内ニ於テ金融ヲ計リ、利子ハ月2分5厘乃至3分ニシテ10ケ月ノ期限ヲ普通トス。
其ノ他質屋ヨリ特殊ナル融通ヲ受クルモノアリ。
1戸平均負債額150圓ニシテ、最高400圓乃至500圓ナリ。
主トシテ信用貸ヲ行フ。

勞働關係（搒靑、雇牛具、插具、換工等ニ注意）

雇牛具、插具換工等ヲナス。

共同耕作

ナシ

總有地　（山林　牧地等）

ナシ

鐵嶺縣第七區夏家樓村黃家窩棚屯 屯ノ概況 （四隣部落其他ノ部）

農家番號	族別	經營樣式	家族員數		雇傭	被傭員數		所有面積			自作地	小作地	農家番號
			男	女	年(月)工	屯內	出稼	計	耕地	其ノ他			
			人	人	人	人	人	畝	畝	畝	畝	畝	
總計			38	42	6	8	1	285.00	251.00	34.00	171.00	460.00	總計
一戸當平均			—	—	—	—	—	21.92	19.30	—	—	—	一戸當平均
1	滿	地主	—	6	—	—	—	52.00	50.00	2.00	—	—	1
2	〃	地・小	3	4	(年2 月1)3	—	—	30.00	30.00	—	—	200.00	2
3	〃	自作	2	4	(年)1	—	—	103.00	100.00	3.00	100.00	—	3
4	〃	自・小	4	5	(月)1	—	—	25.00	20.00	5.00	20.00	50.00	4
5	〃	〃	4	4	—	—	—	22.00	20.00	2.00	20.00	30.00	5
6	〃	自・小・雇(年)	2	2	—	(年)1	—	7.00	6.00	1.00	6.00	10.00	6
7	〃	自・雇(月・日)	4	2	—	(月1・日1)2	—	29.00	25.00	4.00	25.00	—	7
8	〃	小・雜(警官)	5	3	—	—	(警士) 1	1.00	—	1.00	—	70.00	8
9	〃	小作	3	3	(年)1	—	—	2.00	—	2.00	—	60.00	9
10	〃	小・雇(年・日)	2	2	—	(年1・日1)2	—	1.00	—	1.00	—	20.00	10
11	〃	〃 (日)	2	2	—	(日)1	—	9.00	—	9.00	—	10.00	11
12	〃	〃 (日)	3	1	—	(〃)1	—	2.00	—	2.00	—	10.00	12
13	〃	雇農(年)	4	4	—	(年)1	—	2.00	—	2.00	—	—	13

農家番號	小作形態	耕作面積	貸付地	大家畜所有			大農具所有		備考	農家番號
				馬	騾	驢	大車	犁丈		
		畝	畝	頭	頭	頭	臺	臺		
總計	定金 8 分物 5	631.00	80.00	5	3	7	4	9		總計
一戸當平均	—	48.54	—	—	—	—	—	—		一戸當平均
1	—	—	50.00	—	—	—	—	—		1
2	物分 (5:5)	200.00	30.00	1	1	1	1	1		2
3	—	100.00	—	1	1	—	1	1		3
4	定金(前)20.00圓 分物 (5:5)	70.00	—	1	1	—	1	1		4
5	定金 22.00圓	50.00	—	—	—	2	—	1		5
6	定金(後)18.00圓	16.00	—	—	—	—	—	—	揚某ヲ雇牛具	6
7	—	25.00	—	—	—	1	—	1	劉某ト換牛具6日	7
8	定金 22.00圓 分物 (5:5)	70.00	—	1	—	1	—	1	子供警察署ニ勤務年收[illegible]圓	8
9	分物 (5:5) 定金(後)20.00圓	[illegible]	—	1	—	—	1	2	揚某ト換牛具6日ナス	9
10	定金(後) 28.00	20.00	—	—	—	1	—	—	〃 ト換牛具ヲナス	10
11	〃 18.00圓	10.00	—	—	—	1	—	1	劉某ト換牛具ヲナス	11
12	分物 (5:5) 定金 25.00圓	10.00	—	—	—	—	—	—	日工收入16.00圓	12
13	—	—	—	—	—	—	—	—	拾糞收入年6圓アリ	13

康德四年四月十五日印刷
康德四年四月二十日發行

實業部臨時産業調査局

新京特別市西七馬路十四號
印刷人　川口芳太郎

新京特別市西七馬路十四號
印刷所　康德圖書印刷所